配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ものづくりと環境		
科目キー	2600001001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　功雄 渡邉　正美	関根　泰	市橋　宏

副題

授業概要　ものづくり技術は豊かな社会の基盤であり、その開発は社会の発展に欠かすことができない。科学技術の原理を駆使し、いろいろな機能を有する素材からエネルギーにいたるまで物質の化学変換技術がその鍵となる。近年ではものづくりに関しては経済性ばかりでなく、環境に負荷を与えない持続可能で循環型の「ものづくり」技術がもとめられている。本講義では、最先端機能材料開発事例をはじめ、過去、わが国が経験した苦い過去でもある公害問題等にまなびつつ、環境に配慮した「ものづくり」のあるべき将来像を実例を引いて提示することを試みる。産業におけるこれからの考え方の柱となるグリーンテクノロジーの考え方とグリーンなプロセスの開発事例を学ぶことにより、研究者・技術者として身につけておくべき新技術開発における倫理観を滋養する。さらに、環境に配慮した「ものづくり」を推進するための、政策的、社会的、工学的考え方についても講義する。

授業の到達目標

シラバス　9月30日プロローグ：ものづくりと社会（清水功雄）
この講義の趣旨と概要を解説するとともに、講義に対する取り組み方、修得方法について説明する。現代社会の物質社会の基盤となっている石油化学について概説し、産業構造や物質社会の問題点を指摘し、高度物質社会における精密合成化学への移行について理解する。

10月07日バイオテクノロジーと創薬・医療（清水功雄）
20世紀後半に始まった生物学革命とものづくりおよび環境への関連について講述する。

10月14日　研究開発型企業におけるものづくりR&D事例／機能材料：電子材料（1）（渡邉正美）
デジタル素材などの機能材料産業は、資源が乏しいわが国が先導的な立場にある知識集約型産業群であり、現在、世界的に圧倒的なシェアを誇っている領域である。これらのR&Dにおける企業研究の実例を3回にわたって講述する。第一回目は、有機EL（エレクトロルミネッセンス）材料や導電性高分子などに代表される、近年発展が目覚しい有機エレクトロニクス材料全般について概説する。

10月21日　創立記念日による休業日

11月04日理工展（片付け）のため授業なし

11月11日研究開発型企業におけるものづくりR&D事例／機能材料：電子材料（2）（渡邉正美）
　　第二回目は、有機エレクトロニクスが拓く，新しいライフスタイルへの可能性に向かった動向を説明する。具体的には有機EL材料の実用化を中心に、有機デバイスの発展の経緯と今後の進む方向を述べ，併せてそれらを実現するサイエンス（技術）の進展と集約について述べる。

11月18日研究開発型企業におけるものづくりR&D事例／機能材料：電子材料（3）（渡邉正美）
第三回目は、無機エレクトロニクス材料全般を概説し、実用化の具体例として透明導電材料の開発について講述する。

11月25日グリーンケミストリー（1）化学コンビナート（市橋　宏）
化学工業は化学反応を利用して有益な化合物を製造する産業である。100%目的物のみを合成できる反応はまれなケースで、多くは副反応を伴い様々な化合物が出来てしまう。副生物を有効に利用するためにコンビナートが形成されている。化学会社では大量の化学物質が使われており、これらを環境と健康に配慮し安全に扱うためレスポンシブル・ケアと呼ばれる活動が行われている。いくつか例をあげて解説する。

12月02日グリーンケミストリー（2）グリーンケミストリーの考え方（市橋　宏）将来に亘って持続可能な社会を作るためには、ものの製造からそれが使われて最終的に処分されるまでの全工程を通して「環境に対するやさしさ」を考慮する必要がある。化学ではものづくりの段階から地球環境への影響を考える「グリーンケミストリー」の考えが提唱さており、実践の段階に入っている。グリーンケミストリーが生まれるきっかけとなった背景を述べグリーンケミストリーの考え方を解説する。

12月09日グリーンケミストリー（3）グリーンケミストリーの実践例（市橋　宏）繊維やフィルムなどとして広く使われるナイロン6ポリマーの原料であるε-カプロラクタムの新しい製造技術が2003年日本で工業化された。このプロセスは典型的なグリーンケミストリーの実践例で、これの開発にまつわる講師の経験を話す。

12月16日炭素資源とエネルギー（1）20世紀のエネルギーと環境（関根　泰）
炭素資源のこれまでとこれからの展望について概説する。その後、20世紀のエネルギーとして君臨した石炭の利

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ものづくりと環境		
科目キー	2600001001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　功雄 渡邉　正美	関根　泰	市橋　宏

用について振り返り、環境に配慮した今後の石炭利用のあるべき方向性について解説する。

1月13日炭素資源とエネルギー(2)石油と天然ガスの時代(関根　泰)
石炭にとって代わり主役となった石油、そして天然ガスについて、これまでの利用法と今後の展望について、環境、経済そして「ものづくり」の観点から解説する。

1月20日炭素資源とエネルギー(3)環境調和型次世代エネルギー(関根　泰)バイオマスや代替燃料合成、自然エネルギーなどについてその可能性、利点と欠点をまとめ、環境に調和した次世代のエネルギーがどうあるべきかを総括する。

教科書　教科書は使わない。

参考文献

評価方法　授業への参加、レポート、および試験を実施し、総合的に判断する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	科学技術と危機管理		
科目キー	2600001002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村山　武彦	中尾　康二	小川　雄二郎

副題

授業概要　科学技術の高度化は、現代生活の豊かさを向上させることに大いに貢献してきたが、その一方で、新たな社会問題や環境問題などを生み出しつつある。本講では、科学技術に伴う危機管理やリスクマネジメントの問題に焦点を結び、事例を通じて今後のあり方について考える。まず、建築・都市環境の災害現場を観察するところからはじめ、都市環境の危機管理システムについて考え、高度技術の危機管理を含むリスクマネジメントの方法論を探求し、急速に発展している情報・ネットワーク技術がもたらすセキュリティ上の問題点を展望する。

授業の到達目標

シラバス

第１部「リスクマネジメントの方法論」（村山　武彦）
1)公害・環境問題からみた危機管理問題
2)高度技術から見た危機管理問題
3)危機管理のための基本的枠組み
4)危機管理と社会システム専門家の役割と市民参加、コミュニケーション

第２部「建築・都市環境の災害と危機管理」（小川　雄二郎）

第３部「情報ネットワークにおけるセキュリティ技術」（中尾　康二）
1)ネットワーク（インターネット）におけるリスク分析
2)リスク回避のためのセキュリティ対策：運用管理技術
　侵入検知システム、ファイヤーウォールなど
3)リスク回避のためのセキュリティ対策：暗号技術
4)ネットワークシステムのための危機管理：標準化動向

教科書

参考文献

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	21世紀における科学技術と社会		
科目キー	2600001003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	三輪　敬之 綾部　広則	木野　邦器	村山　武彦

副題　ナノスケールの科学技術の展望

授業概要　(財)経済広報センターから寄附講座の設置を要請された早稲田大学理工学部は、1997年度より4年間にわたって、「21世紀へ向けての科学技術政策」をメインテーマとし、講座を開講してきた。本講座は多くの学生諸君の関心を惹き、社会的にも大いに評価を得てきたことから、2001年度以降も継続して設置されることになり、世界的にも科学技術と社会の関係を問うSTS(Science、Technology、and Society)研究が注目されている状況をふまえて、「21世紀における科学技術と社会」をメインテーマとする科目を開設し、多角的な視点から科学技術のあり方を探求していく。2007年度は、各国で開発が目覚しく進められている宇宙に関連した産業を対象とし、現状と展望を探ることとする。具体的には、ハードな側面としてのロケット・輸送システムや宇宙ステーション、有人宇宙開発の視点、ソフトな側面としての地球観測、通信、放送、衛星惑星探査の視点、そして、新素材開発や有人飛行、体験などの宇宙ビジネスの視点を検討した。

2008年度は、ナノテクノロジーを中心としたテーマを検討している。21世紀の科学技術に広く関わりつつあり、既に実用化されている技術が現れているとともに、今後あらゆる分野で利用可能性が期待されている。本講座では、ナノスケールのテクノロジーやサイエンスの可能性や課題について展望する。

授業の到達目標

シラバス　※下記のスケジュールならびに担当者は、都合により変更がありえる。

9月30日オリエンテーション
　早稲田大学創造理工学部教授村山　武彦

10月　7日固体イオニクス分野
　ソニー(株)マテリアル研究所固体イオニクス研究部統括部長　野田　和宏　氏

10月14日電機・通信系(半導体など)
　(株)日立製作所研究開発本部技師長　内山　邦男　氏

10月28日磁気・記録分野
　(株)日立グローバルストレージテクノロジーズ
　研究・技術開発 主管技師長　次世代技術開発プロジェクトリーダ　城石　芳博　氏

11月11日MEMS(MicroElectroMechanicalSystems:マイクロマシン)関連
　オリンパス(株)
　MEMS開発部企画G課長　松本　一哉　氏

11月18日MEMS(MicroElectroMechanicalSystems:マイクロマシン)関連
　(株)島津製作所
　基盤技術研究所　主幹研究員中西　博昭　氏

11月25日計測・精密技術
　(株)日立ハイテクノロジーズ
　執行役常務　研究開発本部本部長　大木　博　氏

12月　2日素材・化学系
　フロンティアカーボン(株)
　代表取締役社長　有川　峯幸　氏

12月　9日素材・化学系
　東レ(株)
　研究・開発企画部 主幹 兼 IR室(本社)主幹　松田　良夫　氏

12月16日ライフサイエンス系
　ナノキャリア(株)
　研究部　取締役CSO加藤　泰己　氏

1月13日環境・エネルギー系

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	21世紀における科学技術と社会		
科目キー	2600001003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

ダイハツ工業(株)
先端技術開発部エクゼクティブテクニカルエキスパート　田中　裕久　氏

1月20日ナノマテリアルの安全性に関する国内外の議論の動向
独立行政法人国立環境研究所、環境リスク研究センター
環境ナノ生体影響研究室　室長　平野　靖史郎　氏

教科書

参考文献

評価方法　出席、定期試験による。

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法(2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	国際保健政策と科学倫理		
科目キー	2600001004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	町田　和彦	澤　良世	吉永　真理

副題

授業概要　日本の医療政策は世界の中でも特異的なものであることが認識され始めている。これまでの政策の評価は一概には言えないものの、現状のまま放置することが最悪な状況を導く可能性があることは否定できない。過去の状況を見つめ、また諸外国の現状を探りながら追究してことを本講の狙いとする。より具体的には、日本の医療政策の過去と現在に関して、その特徴を明らかにし、我々の生活にどのような影響を及ぼしたかを考える。また、日本の医療の現状を他の先進諸国と比較考察するとともに、米国の現状を紹介し、日本の取るべき進路を探る。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	開発協力論		
科目キー	2600001005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大和田　秀二	成田　弘成	三井　久明

副題

授業概要　日本の国際貢献の目玉であるODA（対外援助協力）は、近年世界最高額を拠出しておりながら、それに見合った評価が得られていないのが現状である。当講座において、政府の援助政策策定の分析、技術開発と移転、そして開発と文化についてそれぞれの分野から、効率の高い、持続的開発と発展の姿を浮き彫りにして、これからの日本の国際協力の指針を探ってみる。また、技術移転に際して特に重要となる環境・資源問題に関して、その現状と問題点を紹介する。

授業の到達目標

シラバス

教科書　毎回，資料を配布する。

参考文献

評価方法　毎回の小テストおよび定期試験による。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	現代経済の構造と変容		
科目キー	2600001006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	荒木　勝啓	太田　愛之	篠崎　武久

副題

授業概要　これまで理系の科目を主に勉強してきた諸君に我々を取り巻く経済環境ないし、経済構造をわかり易く講義する事で、今日の経済社会がどのような仕組みになっているか、われわれはその中でどのような生活をしていったらよいのかについて考えるきっかけを提供する事を目的としている。
国全体から経済を捉える国民経済の仕組みを、中心に複数の教員がそれぞれ分野を分担して講義する。

授業の到達目標

シラバス

教科書　太田愛之担当部分
太田愛之・川口浩・藤井信幸(2006)『日本経済の二千年』(改訂版)、勁草書房。

その他のテキストや参考文献については、教場にて適宜指示する。

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	企業行動と経営		
科目キー	2600001007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	樋口　清秀 上村　シーラ・千賀子	小松原　聡	大場　昭義

副題

授業概要　企業社会の仕組みを中心に複数の教員がそれぞれ分野を分担して講義する。 担当する4回の講義のテーマは、わが国の「経済制度の変化と企業金融」である。 企業の金融行動に焦点をあて、その基本的な概略を学ぶとともに、日本の金融システムとの関連についてもみていく。さらに、近年の抜本的な金融制度改革が進捗するにつれて、従来の企業金融のあり方がどのように変容しつつあるかを調べ、それが金融の金融面だけにとどまらず、企業の経営システムにも大きな改変を迫り得るものであることを学んで行きたい。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	高齢化社会の設計		
科目キー	2600001009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	臼井　恒夫	増田　金重	大竹　登志子

副題

授業概要　総合科目「高齢化社会の設計」では、日本社会の高齢化の趨勢および現在の高齢者の生活実態をふまえて、将来に向けての健常な高齢者のライフスタイルの望ましいあり方ならび高齢者に対する看護・介護を検討する。次いで、老人保健福祉計画（いわゆるゴールド・プラン）の具体例を素材に用いながら、高齢者政策や高齢者福祉計画の一連の過程を考察し、高齢者のみでなくあらゆる世代の人々にとって望ましい高齢社会のあり方を展望する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会参加とボランティア		
科目キー	2600001010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浦野　正樹	海野　和之	菅　磨志保

副題

授業概要　本講義では、地域社会に根ざした住民運動から広範な参加形態をもつボランティア活動に至るまでの広がりをもつ〈市民の社会参加活動〉に焦点をあて、それらの活動の現代的な意義と可能性、また抱えている問題点等を、具体的な活動事例等も参考にしながら論じていく。なお、こうした社会参加活動の背後には、生活ビジョンや活動を支える価値理念が存在しているため、行政の守備範囲が生活者へのサービスにまで拡大するなかで、何らかの形で行政機能との接点をもち政治現象としても現れることになる。したがって，市民の自発的行為としてのボランティア活動は，個人としての生き方と深く関連するだけではなく，同時に社会制度と関わり社会変動を誘う政治的意味を帯びる場合も少なくない。
本講義では、まず、こうした領域が大きくクローズアップされた阪神淡路大震災などの災害現象をとりあげ、なぜ現代社会においてボランティア活動やそれと関係するNPOなどの領域が注目を集めるのか問題提起したあと、その背景にある社会参加の概念を吟味していきたい。そののち、住民運動やコミュニティ活動の歴史を検討し地域社会における住民の社会参加のあり方も変化していく様相をたどり、現代の地域に関わるさまざまなボランティア活動の背景を探っていく。続いて、現代社会における「ボランティア」の諸相にスポットをあて、ボランティアやボランタリズム、日本型のボランティアの評価、ボランティアの現代的トレンドについて考察を加えていく。また、ボランティア活動を進めていくうえでのさまざまな問題点などにも言及する予定である。

授業の到達目標

シラバス　浦野の担当するパートでは、講義全体の導入として、災害現象を手がかりに参加の概念を含めた全体的なイントロダクションをしたうえで、「対抗的な異議申し立て」としての住民運動から地域社会の生活空間を豊かにしようとするコミュニティ活動、さらに新しい都市社会運動の展開へと時代とともに、公と私との関係が変容し、地域社会における住民の社会参加のあり方も変化していく様相をたどっていく。現代の地域に関わるさまざまなボランティア活動は、こうした系譜の延長上に位置付けられることを確認していきたい（下記項目1-2）。
海野の担当するパートでは、現代社会における「ボランティア」の諸相にスポットをあてる。おおよその展開としては、ボランティアやボランタリズムをどう分析するか、日本型のボランティアをどう捉えるか、ボランティアの現代的トレンドをどう評価するか、ボランティア・セクターの役割をどう位置づけるか、といった流れを想定し、人間科学および社会科学の諸領域から関連する知見を紹介する（下記項目3）。
菅の担当するパートでは、まず無償を前提としていたボランタリーな活動が、社会的な役割を自覚し、「市民活動」という概念を提唱して、新たな活動実態を創出していった経緯について概観する。そして、従来のボランティア活動と比較しながら、NPOによる活動の特徴について考察する。また、ボランタリーな人々によって運営される組織が抱えやすい問題や、そうした問題を解消するためにどのような社会的施策（社会基盤整備）が必要であるのか等についても考察していく（下記項目4-6）。

授業の主な項目
1　社会参加とボランティア＜概説＞　　導入（ボランティアの背後にあるもの）
2　＜参加概念＞と地域社会における住民の社会参加の系譜
＊対抗的な異議申し立てとしての住民運動
＊地域社会におけるコミュニティ活動
＊新しい都市社会運動と地域住民活動
＊現代の地域ボランティア活動の諸相
　―ゴミのリサイクル運動とむらおこし・まちおこし運動―　（以上　浦野担当）
3　現代社会におけるボランティア活動
＊ボランタリズムとボランティア
＊日本社会とボランティア
＊現代におけるボランティア活動の広がり
＊ボランタリズムの発展と展開　　（以上　海野担当）
4　ボランティア活動から市民活動・NPOへ＜概念の広がりと実態＞
＊ボランティア活動への関心の高まりとその背景
＊日本におけるボランティア活動の広がりと新たな潮流
＊ボランティア・市民活動とNPO―その概念整理の試み
5　NPOとは何か―第3セクターを構成する新たな社会的主体
＊ボランティアから市民活動・NPOへ
＊NPOとは何か？
＊ボランティアNPOの関係
6　ボランティア・市民活動の基盤整備
＊ボランティア・市民活動は、なぜ支援が必要なのか
＊どんな支援が必要なのか

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会参加とボランティア		
科目キー	2600001010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

＊日本におけるボランティア・市民活動の基盤整備の経緯
＊ボランティア活動推進機関とNPOサポート
＊市民活動・NPOを支える機関の創設
＊ポスト・NPO法の市民活動・NPOの実態の変化と今後の課題（以上、菅担当）

教科書　浦野・大矢根・吉川編著「復興コミュニティ論入門」弘文堂
大矢根・浦野・田中・吉井編著「災害社会学入門」弘文堂

参考文献　その他の参考文献については、教場及びコースナビ上などにおいて適宜指示する。

評価方法　授業への出席（出席カードを使ったレビューシートの提出必須）30%、最終試験の成績70%を目安とする。

備考　授業日時は、前期木曜日4限（4月10日、17日、24日、5月01日は浦野担当、5月08日、15日、22日、29日は海野担当）であるが、菅磨志保講師の担当の4回分については土曜日集中授業形式(6月28日を予定）で行う。とくに、集中講義については、不測の事態の際には変更もあり得るので、その授業スケジュールについては、コースナビ上のお知らせ機能に充分注意すること。また、それ以降の7月の授業スケジュールについても、コースナビ上のお知らせ機能の指示に従うこと。

関連URL:　http://www.waseda.jp/sem-muranolt01/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	変革期の社会と心理		
科目キー	2600001011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　道子	徳重　篤史	星野　朝子

副題

授業概要

（清水道子）“消費意識や行動の変化と ビジネスの変化”
日本の景気復活が期待されたが 世界全体が大きな景気変動に入ってきた。
日本の消費者の消費意識や行動には 新たな変化が推測される。
社会全体の激しい変化の中で ますます加速する消費行動や意識の変化を
どうとらえるか。
そして、消費者リード型の消費市場に見られる変化の内容と 、
消費者の変化に対応し、あるいは変化を先取りしようとする商品やサービスの
提供側としてのビジネスの動きの 両サイドから 具体例で検証する。

（徳重篤史）変革期と少年非行
　少年非行や家族を巡る問題は、変化する社会を集約的に映し出す鏡であるといえる。
思春期危機と呼ばれる時期には家族問題や非行問題が相乗的に悪影響し合って顕在化することが多く見られる。
　ここでは、少年非行のメカニズム、それに対応する社会や少年法制について概説的に考究する。具体的ケースなども例示しながら、臨床的援助方法についても考察する。

授業の到達目標

シラバス

（清水道子）
合計 4回（日程は 5月20日火曜日より 4回）

（徳重篤史）
1 思春期危機
2 少年非行や家族問題 顕在化するメカニズム
3 少年法制、社会体制
4 臨床的援助方法

教科書

（徳重篤史）資料配付

参考文献

評価方法

定期試験

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	高度情報社会における人間関係		
科目キー	2600001012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	春日　伸予	安田　孝	佐野　秀典

副題

授業概要

第1回-第4回(予定)(担当:春日伸予)
現代社会は，高度情報化が進むことによる人の孤立や人格疎外など様々な人間関係の問題を抱えている。産業のグローバル化によって価値観の異なる民族同士の交流を強いられ，個人のアイデンティティを危機にさらしている人もいれば，実生活での孤独感から逃れるためにインターネット等で名も知らぬ人々との交流に耽溺し，実生活での孤立を深める人もいる。また，人と接触することなく必要な情報を得られる社会であるため，豊かな人間関係を持たなかったり，引きこもったりする人も増えている。高度情報化は，社会に与える恩恵の裏で，人間関係に深刻な問題を増やしているとも言える。本授業においては，そうした人間関係の問題に関連して，この社会で人が健全な人間関係を育むために必要な要素についての解説を行う。

第5回-第8回(予定)(担当:佐野秀典)
世界的規模で加速している高度情報社会は、私たちの人間関係にさまざまな影響を与えている。本講座では高度情報社会と人間関係について、精神医学的観点から講義を行う。人格・性格とは何か、人格間の関係とは何か、社会と個人の関わりは今後どうあるべきなのか。これらの基本的事項の理解をした上で、長時間情報と接するものに起こりやすいメンタル障害や対人関係障害などについて分かりやすく解説する。

第9回-第12回(予定)(担当:安田孝)
高度情報化により，我々が接する情報量は飛躍的に増大している。こうした中で，我々が情報に接する態度と，情報処理・伝達の仕組みについて理解しておくことは重要であると言える。情報に接した際の人間の振る舞いについて，我々個人が持つ特性，集団となった場合の特性，情報を提供する側の戦略，インターネット普及における人間心理や行動の変容について解説を行う。

授業の到達目標

シラバス

(1)(2)(3)(4)孤独感，アイデンティティ，人間関係を悪くする要因，等人間関係に関連したテーマを適宜解説していく。

(5)(6)(7)(8)人格、性格、意識と無意識、自我、超自我、イドなどの精神医学の基本的事項とともに、抑うつ状態、SEシンドロームなどについて解説していく。

(9)(10)(11)(12)人間の情報処理・伝達の特性，集団の振る舞い，インターネットにおける行動と対人関係の変容，情報提供と操作の特性について解説を行う。

教科書

参考文献

評価方法

定期試験・(定期試験の成績による。)

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ストレスと自殺		
科目キー	2600001013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	坂田　成輝		

副題

授業概要　「現代はストレス社会である」「ストレス性の疾患」などストレスという用語は日常的に頻繁に使われている。誰にでもストレスはあるものだと，殆どの人が認めるであろう。それでは，ストレスとは一体何であるのか，と問われて具体的に説明できる人はどれだけいるであろうか？具体的に説明できなければその対処も難しい。
学術研究の分野でストレスが初めてテーマとして取り上げられたのは1930年代であった。その後，生理学，医学，社会学など幅広い分野で研究テーマとして取り上げられていく中で，心理学的アプローチの必要性が指摘されようになった。
そこでこの講義の前半では，心理学の立場からストレスを解説し，実際に受講生のストレス状況を調査しその結果を踏まえてストレスとは如何なるものか，理解を深めていきたい。さらにストレスの延長線上には多様な問題行動が位置づけられる。講義後半では，昨今，社会問題化されている自殺について取り上げる。人はどうして自殺をするのか，自殺をくい止めるにはどのような方法があるのか，精神医学的な立場から考えていく。

授業の到達目標

シラバス
第1回　ガイダンス
第2回　ストレスの基礎：ストレスの概念と研究の変遷
第3回　ストレスと心理的機能：知覚・認知・情動の作用について
第4回　ストレス・モデル1：心理学的アプローチによるストレス・モデル
第5回　ストレス・モデル2：心理学的アプローチによるストレス・モデル
第6回　ストレス・モデル3：心理学的アプローチによるストレス・モデル
第7回　ストレスと問題行動
第8回　職場，医療現場，介護現場におけるストレス
第9回　予備日
第10回　自殺について1
第11回　自殺について2
第12回　自殺について3
第13回　自殺について4
第14回　予備日

教科書

参考文献

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	依存症と社会		
科目キー	2600001014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	安田　美弥子	松本　桂樹	津久井　要

副題

授業概要　医学的な依存症の代表であるアルコール依存においては、その問題は単一ではなく、身体依存、精神依存、身体的障害、社会的障害と多岐にわたる。さらに、その背景としては、依存を成立させているイネイブラーとよばれるパートナーの存在（社会的要因）が指摘されている。他にも、依存と関連を持った医学的病態としては、下剤などの薬物乱用、一部の摂食障害などもあげられる。
　このように、依存の構造は、単に原因物質（薬物）によるのみでなく、プロセス依存、人間関係性依存、が複合的・連鎖的に関与し複雑な構造をもつ。かかるがゆえに、依存を克服することは、容易ではなく、医療の限界も自ずと存在する。
　そして広義の依存としては、ギャンブル依存、買い物依存、ネット依存など様々な状態が認められている。
　講義では、まず狭義の医学的な依存症を切り口として、依存の特徴と構造について考え、続いて、より社会的特性に重心を置く現代の広義の依存について、複眼的視点から考察していく。

授業の到達目標

シラバス
（1）医学的な依存症−その1
（2）医学的な依存症−その2
（3）現代社会に特徴的な広義の依存
（4）日本人と依存、まとめ

以下、（5）から（8）は松本担当分
（5）アルコール依存症の基礎知識チェック
（6）アルコール依存症の専門治療の実際
（7）アルコール依存症の予防対策
（8）勤労者のアルコール問題対応

教科書　特に特定しない

参考文献　アルコール依存症の治療と回復（東峰書房）

評価方法　平常点

備考　講義における活発な討議・演習を重視するため、積極的な関与・発言を重視する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	科学技術とコミュニケーション		
科目キー	2600001015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中島　誠一		

副題

授業概要　時代を追って急速に進化する科学技術により、人類の英知は限りなく高度なレベルに到達しつつある。一方でその科学技術は専門化し、先端にいる一部の人だけのものになる傾向がある。人類に共通した知識と、その集大成である文化として科学技術が得た英知を残すためには、最先端の科学者と大衆をつなぐ作業、すなわち両者間のコミュニケーションが最重要課題となる。
科学技術にたずさわるものは自らの研究を進展するために、その内容や成果などを必要とされる場で表現し、伝えなければならない。そればかりでなく、研究や技術に対する社会の問題提起や要請を研究活動に反映させ、社会のために役立て、文化を育んでいくことが求められる。
授業では、コミュニケーションの基本とその重要性、メディアの機能と役割、科学技術とコミュニケーションの現状と諸問題といった基礎知識を最初に学ぶ。そのうえで、科学技術とコミュニケーションの諸問題を実地に考察し、よりよいコミュニケーションの手法を編み出せるようになることを、第一の目標とする。
さらに科学ジャーナリズムに積極的な関心を持ち、その責務にたずさわるための力を養う訓練を演習や実習を交えて行ない、高度なコミュニケーション能力を持つ人材を育成することを、第二の目標とする。

授業の到達目標

シラバス　(1) コミュニケーション概論
コミュニケーションの概念について、基本を理解する。また、コミュニケーションの重要性とそれを阻害するものについて、いくつかの実例を検証する。
(2) メディアの種類と役割
コミュニケーションの媒介物であるメディアの種類を知る。そのうえでそれぞれの役割を学ぶ。
(3) メディアの機能とその進化
メディアの種類別に機能を分析し、科学技術が寄与して発展を続けるメディアの近未来を予測する。
(4) メディアと表現
メディアの種類ごとに異なる表現法を体得し、メディアの両側に人が居ることをよく理解したうえで最良の表現法を知る。
(5) メディアの諸問題
メディアごとに日々報じられる問題、事件などを分析。なぜそのような問題や事件が発生するか考察し、対策を考える。
(6) マスメディアと大衆
マスメディアが伝える情報に操作される大衆を実例で知り、「事実」とは何か、「報道」の責任、「世論」の意味などを考える。
(7) 科学技術が伝えなければならないこと
大衆が置かれた情報環境を認識し、そのうえで今の科学技術は何をどのように伝えるべきなのかを考察する。
(8) プレゼンテーション
科学研究、技術開発に大衆の理解と支持が前提であり、研究費や開発費の獲得にもプレゼンテーション能力が問われることを理解する。
(9) 科学技術と社会システム
科学技術の発展に必要な組織、制度、評価、情報公開などの仕組みを考える。
(10) 科学技術と危機管理
「人間は間違うもの、機械は壊れるもの」。フェールセーフの概念がコミュニケーションにおいても重要であることを学ぶ。
(11) 科学ジャーナリズム
ジャーナリズムの持つ「新しきこと」「珍しきこと」「面白きこと」への渇望は、時にセンセーショナリズムに化ける。真のジャーナリズムのあり方を実習を交えて体得する。
(12) 科学ジャーナリスト
科学ジャーナリストに求められる資質を知り、自らをそれに合わせて分析する。そのうえで自分に足りない資質を補う方法を得る。
(13) 科学技術者とコミュニケーション
社会がコミュニケーションという潤滑油で動いていることを再認識し、科学技術者かつ科学コミュニケーターたることを探る。

教科書

参考文献　参考書:「触覚メディア」中島誠一 (1999)インプレス。資料等は授業で配布する。

評価方法　定期試験・平常点(出席状況)

備考　授業では自ら感じ、自ら考えることをモットーとして、学生、教師ともに真剣な研究考察を行ないながら成長する。この

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	科学技術とコミュニケーション		
科目キー	2600001015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

ため、授業を阻害する要素は基本的に排除する。
【担当教員連絡先等】
中島　誠一　say@ijockey.net

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	プレゼンテーションスキル		
科目キー	2600001016		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(後期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐川　健太郎		

副題

授業概要

学生・社会人を問わず、また理工系・文科系を問わず、研究者は、自らが関わる研究やプロジェクトについて、学会はもとより多様な場面において、多様な人々に「発表する、伝達する、説得する、共感してもらう」等々の機会があります。リアルな場面で、それを行うことを通常「プレゼンテーション」と呼びます。その機会は、近年、急増しています。情報社会が進展すればするほど、リアルな場面でのプレゼンテーションが増えているのは、まさにリアルなコミュニケーションの重要性が増していることを意味しているでしょう。

では、プレゼンテーションがうまい、とは一体どういうことなのでしょうか。それは単に表面的な技法やテクニックの問題ではありません。自らの言いたいことを相手に的確に伝えるために、自らの考え方を整理するという思考法の側面もあれば、それを端的に表現するコンセプトワークや論理的に構成するといったこともあります。また、相手の欲するものに応える解釈力の側面もあります。さらに、相手に驚きをあたえるエンターテインメントの側面もあれば、それを可能にする想像力や、センスの良い資料を作成するデザイン感覚も求められるでしょう。

本科目の狙いは3つあります。第1は、プレゼンテーションを価値あるものとするために必要な考え方の習得です。すなわち、プレゼンテーションの考え方、コンセプトワーク、 思考法等々を包含した一種の「知識論、表現論」として講義を行います。狙いの第2は、実際にプレゼンテーションを効果的・魅力的に行えるような実践力の習得です。多様なプレゼンテーションの機会に対応ができるように繰り返し演習を行います。なお、プレゼンテーションのテーマとして、受講生自らの抱える課題(自己紹介から理工学部の卒業研究の研究構想まで)を取り上げる予定です。第3の狙いは、プレゼンテーションを効果的・効率的に行うための思考法の習得です。自らの頭を整理できなければ、相手は理解や共感が得られないからです。

そこで、本科目では、実践的なドリルやワークショップを通じて、プレゼンテーションの考え方と実践スキルを学びます。なお、本科目は連続4週の土曜集中で行います。集中講義期間を通じて個人課題と実際の発表をワークショップ形式で繰り返しますので、受講生の学習負荷はそれなりに大きいと覚悟しておいてください。

授業の到達目標

シラバス

第1回　10／4(土)1-4時限
(1)オリエンテーション:プレゼンテーションの考え方
(2)(3)ショートプレゼンテーション実践(グループセッション)
(4)プレゼンテーションの意味
第2回　10／18(土)1-4時限
(5)紹介のプレゼンテーション
(6)プレゼンテーションのアウトライン
(7)個人課題発表と討議(クラスセッション)
(8)プレゼンテーションの資料と表現
第3回　11／8(土)1-4時限
(9)説得のプレゼンテーション
(10)個人課題発表と討議(クラスセッション)
(11)プレゼンテーションの論理と構成
第4回　11／22(土)1-2時限
(12)共感のプレゼンテーション
(13)個人課題発表と討議(クラスセッション)
(14)まとめとリフレクション
(ただし、受講生の人数・レベル・進度等を勘案して内容・進め方を変更する可能性があります)

※63号館3階コンピュータールームBにて実施

教科書

・妹尾堅一郎『考える力をつけるための「読む」技術』(ダイヤモンド社)
その他、必要に応じて、ハンドアウツを配布。また適宜参考図書を紹介します。

参考文献

評価方法

成績評価方法:
1)授業への参画度:50%、
(2)最終課題のプレゼンテーションパフォーマンス:30%
(1)授業への参画度:60%、
(2)個人課題のプレゼンテーションパフォーマンス:20%
(3)個人課題の資料等ペーパープレゼンテーション:20%
上記の3点を合計し、下記の基準によって成績評価を行います。
A+:100%から91%、A:89から80%、B:79%から70%、C:69%から60%　F:60%未満(不合格)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	プレゼンテーションスキル		
科目キー	2600001016		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(後期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	1年以上

★備考(出席):
全4回(14コマ)の出席を前提にします。毎回発表があるので、原則として欠席は認めませんので、注意してください。

備考

★履修上の注意:(必要とする予備知識)　受講前に特に知識は必要ありません。
　ただし、各自がPCによるデジタルプレゼンテーション(マイクロソフト・パワーポイント使用)を作成実施して頂きますので、最低限のPCリテラシー・操作はできるものとして授業を行います。

★公開メールアドレス
　sagawa@rp96.co.jp　佐川健太郎

★教室は、「63号館3階コンピュータールームB」にて実施

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	産業社会のメンタルヘルス		
科目キー	2600001018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渡部　卓	小林　祐一	佐藤　陽

副題　職場ストレスの理解と改善を目指して

授業概要　職場のメンタルヘルスの悪化が社会的に関心を集め懸念されている。自殺という問題や生産性の悪化などが顕在化し経営課題ともなっている。またメンタルヘルスは学校、家庭、自治体、地域社会の課題でもある。本講座では職場のメンタルヘルス問題の理解とその対策を心身健康の視点のみならず、企業と社会、家族、人と組織の関係性、心身医学、ストレス・マネジメント、ワークライフバランス、コミュニケーション、モチベーション、キャリアなどの多彩な見地からその原因への考察を行い最新の対策を多面的に考察していく。

【佐藤担当分の講義概要】
　約10年間、新聞記者として「職場のメンタルヘルス」を取材してきた経験から、感じたこと、伝えたいこと、記事に書けなかった取材の裏話をお話したいと思います。私は、小林先生、渡部先生と違い、メンタルヘルスの専門家ではありません。逆に、外の人間だからこそ見えることをお伝えできるのでは、と思います。
　具体的には、会社員の過労自殺や過労死が減らない「過労社会」の実態、大手企業100社メンタルヘルス対策アンケートから見えてきた「心の病への偏見」、その偏見を減らすためのメディアの役割、30代に増える心の病、自身が心の病を経験し見えてきたこと――などをお話する予定です。
　メンタルヘルスの問題は、身近にそういう人がいない限り、「他人事」と考えがちです。しかし、リストラや成果主義の導入で職場の環境が悪化する中、うつ病になる会社員は増えています。自分自身が、自分の家族や友人が、いつ心の病になってもおかしくありません。私の講義をきっかけに、メンタルヘルスに少しでも関心を持って頂ければ幸いです。
　なお講義は、私からの一方通行でなく、グループディスカッションなども採り入れた「双方向」の授業にしたいと考えております。ですので、講義ではみなさんの活発なご意見やご質問をお待ちしております。私は「教えるプロ」ではありません。講義へのご批判も遠慮なく聞かせて下さい。

授業の到達目標

シラバス　講義日程と担当講師

04月15日 佐藤　1
04月22日 佐藤　2
04月29日 昭和の日（休講）
05月06日 振替休日（休講）
05月13日 渡部　1
05月20日 佐藤　3
05月27日 小林　1
06月03日 佐藤　4
06月10日 小林　2
06月17日 小林　3
06月24日 渡部　2
07月01日 渡部　3
07月08日 渡部　4
07月15日 小林　4

教科書　特に指定しない

参考書:

『会社うつは上司の責任です！』(大和書房) 渡部　卓（著）
『会社のストレスに負けない本』(大和書房) 渡部　卓（著）
『メンタルヘルス対策の実務と法律知識』(日本実業出版社)渡部　卓（著）
ワークライフバランス社会へ―個人が主役の働き方 大沢 真知子 (著)
新しい人事戦略 ワークライフバランス―考え方と導入法―　小室 淑恵　(著)

参考文献

評価方法　期末試験　各講師より出題の論述形式　持ち込み無し

備考　講師のプロファイル

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	産業社会のメンタルヘルス		
科目キー	2600001018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

小林 祐一
95年HOYAグループ総括産業医。98年労働衛生コンサルタント。2003年 経済産業省労働保健統括医、同年日本産業衛生学会認定産業医学指導医。04年から現職。日本産業衛生学会、日本産業精神保健学会、日本産業ストレス学会（監事、評議員）、日本内科学会会員、日本心身医学会会員、日本心療内科学会会員、日本災害医学会会員

渡部卓
早稲田大学政経学部卒業後、モービル石油入社。その間に海外派遣留学生として、米国コーネル大学で人事組織論を学び、引き続き、米国ノースウェスタン大学／ケロッグ経営大学院でMBAを取得。その後、ペプシコ社、AOL、シスコ・システムズ、ネットエイジなどで米国本社勤務を含む、本部長、副社長職などを経て現在、株式会社ライフバランスマネジメント 代表取締役社長。中華人民共和国・西北工業大学客員教授
認定コーチングメンター、認定 産業カウンセラー、心理相談員。日産業カウンセリング学会、日本うつ病学会、日本心身医学会、国際EAP協会などの正会員。
株式会社ネットエイジグループ取締役。
【著書】『会社うつは上司の責任です！』(大和書房・近刊)
『こころをラクにする・メンタフダイアリー』(日本実業出版社)
『会社のストレスに負けない本』(大和書房)

佐藤　陽（さとう・よう）
朝日新聞生活グループ記者。90年米・ジョージワシントン大学政治学部卒業、91年慶應義塾大学法学部政治学科卒業。91年朝日新聞社入社。東京本社学芸部、くらし編集部などを経て、05年9月より現職。学芸部時代より、自身が心の病を経験したことをきっかけに、うつ病や自殺などメンタルヘルスの取材を始める。以後、約10年間にわたり、主に職場のメンタルヘルスについて継続的に取材を続ける。
98年に自殺者が3万人を超えた時は、他社に先駆け「中高年男性の自殺」をテーマに連載した。03年には、全国紙としては初めて、大手企業100社を対象にした「メンタルヘルス対策」アンケートを実施した。また02-03年に、長期連載「過労社会」の中で、増加する会社員の過労自殺や30代のメンタルヘルスの悪化などを採り上げた。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	知的財産と技術経営I		
科目キー	2600001019		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	森　康晃		

副題

授業概要　ナノ、IT、バイオ等先端技術の研究開発においては欧米としのぎを削り、日本のアニメキャラクターは世界の子供達に人気があり、ゲームソフトも世界を席巻している。豊かな造形や画像は新たな価値創造を生み出す日本のお家芸に育ちつつあり、我が国の国家戦略としても重要なものと位置づけられている。研究者としても、ビジネスの世界においても、価値創造の生命線となる知的財産について事例分析や演習を用いた実践的な講義を行うこととし、Iは主として著作権についての講義を行う。

前期と後期の内容の区分けは、知的財産と技術経営1(前期)は知的財産の概要と著作権(コンピュータプログラム、データベースの著作権を含む。)、知的財産と技術経営2(後期)は、特許を中心に意匠、商標等について行う。

なお、2008年度から知的財産検定が国家試験になることも踏まえて、同レベルの内容に準拠し、過去の事例、問題の解説も行う。

授業の到達目標

シラバス　前期は、知的財産の概論と、著作権、意匠権、商標権等の表現系の知的財産について講義を行う。

教科書　レジュメを毎回配布する。

参考文献

評価方法　定期試験又は教場試験による。

備考　(参考)理工における知財系科目の学習の進め方

知財系の科目は、寄附講座の企業等の協力も受けて複数設置されている。研究技術者の立場や権利を守るものとして必要なルールを学ぶためである。弁理士や企業の知財部を将来のキャリアとして考える者は、以下の基礎的な科目と、自分の専門分野等の必要に応じとることができる。また、知財の専門家になるのでなく、研究者・技術者として必要最低限を学ぶ目的ならば、特許関係と著作権関係の基礎的な科目をそれぞれどれか一つでも履修することで理工系の基礎としては十分である。国家・地方公務員や公的団体やシンクタンクなどを志望する学生は、知財系の中でも企業分析ができる科目や産学連携、産業政策についての科目も推奨する。

1. 学部生の初歩としては、前期「知的財産と技術経営1」(著作権等の基礎。)、後期「知的財産と技術経営2」(特許、意匠、商標等の産業財産権の基礎。)が、基本となる。これらは、知財検定に準拠し基礎固めを行う。国際的な側面に照点を合わせた後期「知財のグローバリゼーションと言語の多様性」(海外(米国、欧州、アジア等)知財制度の運用等。一部知財検定に準拠した内容も含まれる。)、特許法の実用例や米国等のベンチャーについても照点を合わせた後期「知的財産と起業」(特許法とベンチャーの基礎)は、関連する知財系の科目として推奨する。

2. 応用編として、IT知財は後期のソニー・マイクロソフト寄附講座「ユビキタス社会とIT知財」、バイオ知財は後期の武田薬品寄附講座「バイオ創薬と知財イノベーション」、新素材・化学知財は後期の三菱化学寄附講座「新素材ビジネスと知的財産」の科目は応用編として設けられているが著作権は行わず特許、国際標準化が中心である。企業の最前線の知財戦略を各企業の方やゲストスピーカーが豊富な実例で解説を行ってくれる。

3. 知財の企業分析を自分で行ってみる力を身につける科目としては、後期「技術革新と産業社会B」がある。この科目は、企業や金融機関の調査部門やシンクタンクの手法も含まれる。オリジナルの特許データベースを用いコンピュータルームでの企業の競争力比較分析をグループ討議の上、発表する形式であり、法律、制度でなく研究者、技術者のための分析編(1年生でも可)である。

4. 著作権については、学生の身近な生活において、音楽と著作権のビジネスについて、後期「国際コンテンツビジネスと著作権」は、ヤマハ、第一興商、朝日新聞社などの音楽、著作権ビジネスの最前線から、音楽製作現場の話や、新聞社見学等のプログラムもとりいれて行う。著作権法の法律の全体像についても解説を行う。(知財検定に準拠するものでなく、音楽産業に関するケーススタディを中心とする。)

5. なお、大学院との併設科目として、国際知財経営論は、少人数で討議形式での企業の戦略分析と併せて、基礎固めとしての知財検定の知識も学ぶ。研究者・技術者として、知財の即戦力を養うことに重点を置く。

(知財と関連して、産学連携、産業政策、イノベーションの科目は、前期及び後期「産学連携、ベンチャー起業の基礎1、2」、前期「産業政策」、前期「技術革新と産業社会A」、前期「バイオイノベーションとベンチャー」が関連科目であ

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	知的財産と技術経営I		
科目キー	2600001019		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

る。）

関連URL: 早稲田大学　知財・産業社会政策領域森研究室
http://www.waseda.jp/sem-mo

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	知的財産と技術経営II		
科目キー	2600001020		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	森　康晃		

副題

授業概要

ナノ、IT、バイオ等先端技術の研究開発においては欧米としのぎを削り、日本のアニメキャラクターは世界の子供達に人気があり、ゲームソフトも世界を席巻している。豊かな造形や画像は新たな価値創造を生み出す日本のお家芸に育ちつつあり、我が国の国家戦略としても重要なものと位置づけられている。

また、日本経済の発展を支える戦略的分野として、燃料電池、情報家電、ロボットなど7つの新産業領域が挙げられている。新産業分野の発展には、ナノテクノロジー・材料、情報技術、ライフサイエンス、環境・エネルギーの4分野の革新的技術の導入が必須であるといわれている。その中で、ナノテクノロジー・材料は、他の3技術分野に大きく寄与する基盤技術であり、現在、企業、大学、公的研究機関などにおいて技術開発が活発に行われている。

本講座においては、知的財産の創造・保護・活用の各段階のサイクルにおける現状と課題をビジネスの最前線の事例によって掘り下げ、初めて知的財産を学ぶ学生にも企業の実例でわかりやすく提示し、もって我が国の国際競争力に資する人材育成に貢献することを目的とする。
研究者としても、ビジネスの世界においても、価値創造の生命線となる知的財産について、特許庁や日本弁理士会の有志の専門家、企業の知的財産部の若手スタッフの協力をいただき、政策面と現場の実務面の両方から実践的な講義を行う。

前期と後期の内容の区分けは、知的財産と技術経営1(前期)は知的財産の概要と著作権(コンピュータプログラム、データベースの著作権を含む。)、知的財産と技術経営2(後期)は、特許を中心に意匠、商標等について行う。

なお、2008年度から知的財産検定が国家試験になることも踏まえて、同レベルの内容に準拠し、過去の事例、問題の解説も行う。

授業の到達目標

シラバス

後期は、知的財産のうち特許を中心に、知的財産の創造・保護・活用のサイクルを学ぶ。イノベーションが特許によっていかに促進されるか企業の知財戦略についても、ケーススタディによって考察していく。
なお、11月18日は、特許庁、12月2日は、岡部国際特許事務所　松井孝夫弁理士に、特許庁や弁理士の業務についてゲストにお迎えしている。

前期は、知的財産の概論と、著作権、意匠権、商標権等の表現系の知的財産について講義を行う。

教科書

毎回レジュメを配布する。

参考文献

評価方法

定期試験又は教場試験による。

備考

(参考)理工における知財系科目の学習の進め方

知財系の科目は、寄附講座の企業等の協力も受けて複数設置されている。研究技術者の立場や権利を守るものとして必要なルールを学ぶためである。弁理士や企業の知財部を将来のキャリアとして考える者は、以下の基礎的な科目と、自分の専門分野等の必要に応じとることができる。また、知財の専門家になるのでなく、研究者・技術者として必要最低限を学ぶ目的ならば、特許関係と著作権関係の基礎的な科目をそれぞれどれか一つでも履修することで理工系の基礎としては十分である。国家・地方公務員や公的団体やシンクタンクなどを志望する学生は、知財系の中でも企業分析ができる科目や産学連携、産業政策についての科目も推奨する。

1. 学部生の初歩としては、前期「知的財産と技術経営1」(著作権等の基礎。)、後期「知的財産と技術経営2」(特許、意匠、商標等の産業財産権の基礎。)が、基本となる。これらは、知財検定に準拠し基礎固めを行う。国際的な側面に照点を合わせた後期「知財のグローバリゼーションと言語の多様性」(海外(米国、欧州、アジア等)知財制度の運用等。一部知財検定に準拠した内容も含まれる。)、特許法の実用例や米国等のベンチャーについても照点を合わせた後期「知的財産と起業」(特許法とベンチャーの基礎)は、関連する知財系の科目として推奨する。

2. 応用編として、IT知財は後期のソニー・マイクロソフト寄附講座「ユビキタス社会とIT知財」、バイオ知財は後期の武田薬品寄附講座「バイオ創薬と知財イノベーション」、新素材・化学知財は後期の三菱化学寄附講座「新素材ビジネスと知的財産」の科目は応用編として設けられているが著作権は行わず特許、国際標準化が中心である。企業の最前線の知財戦略を各企業の方やゲストスピーカーが豊富な実例で解説を行ってくれる。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	知的財産と技術経営II		
科目キー	2600001020		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

3. 知財の企業分析を自分で行ってみる力を身につける科目としては、後期「技術革新と産業社会B」がある。この科目は、企業や金融機関の調査部門やシンクタンクの手法も含まれる。オリジナルの特許データベースを用いコンピュータルームでの企業の競争力比較分析をグループ討議の上、発表する形式であり、法律、制度でなく研究者、技術者のための分析編（1年生でも可）である。

4. 著作権については、学生の身近な生活において、音楽と著作権のビジネスについて、後期「国際コンテンツビジネスと著作権」は、ヤマハ、第一興商、朝日新聞社などの音楽、著作権ビジネスの最前線から、音楽製作現場の話や、新聞社見学等のプログラムもとりいれて行う。著作権法の法律の全体像についても解説を行う。（知財検定に準拠するものでなく、音楽産業に関するケーススタディを中心とする。）

5. なお、大学院との併設科目として、国際知財経営論は、少人数で討議形式での企業の戦略分析と併せて、基礎固めとしての知財検定の知識も学ぶ。研究者・技術者として、知財の即戦力を養うことに重点を置く。

（知財と関連して、産学連携、産業政策、イノベーションの科目は、前期及び後期「産学連携、ベンチャー起業の基礎1、2」、前期「産業政策」、前期「技術革新と産業社会A」、前期「バイオイノベーションとベンチャー」が関連科目である。）

関連URL: 早稲田大学　知財・産業社会政策領域森研究室
http://www.waseda.jp/sem-mo

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	科学技術史I		
科目キー	2600001021		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　近代科学はいつ頃、どのように誕生して現在のような姿になったかについて俯瞰することが本講義のねらい。科学技術史といえば、理論的体系や技術的生産物がどのように発展していったかという歴史を想起する人も多いかもしれないが、本講義では、むしろ科学や技術を現在の形に育んだ社会、経済、政治的な側面に注目しつつその歩みを垣間見ることにしたい。

授業の到達目標

シラバス　基本的には以下の流れに沿って概説する予定である。

1. 序論
2. ルネサンスと科学
3. キリスト教と科学
4. 近代科学の始まり
5. フランス革命と科学
6. ドイツにおける近代大学の誕生と科学
7. 産業革命と科学――イギリス
8. 産業と科学――アメリカ
9. ナショナリズムと科学
10. 戦争と科学

教科書　指定しない

参考文献　古川安『科学の社会史――ルネサンスから20世紀まで』増訂版、南窓社、2001年。

評価方法　定期試験による

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	技術革新と産業社会A		
科目キー	2600001022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	森　康晃	河尻　耕太郎	

副題

授業概要　本講義においては、技術革新＝イノベーションと産業社会について、単に制度論としての解説を行うのではなく、個々人の構想力、プロジェクトメーキング力、交渉力をいかに培い、基礎研究と応用研究、商品化、事業化の各ステージに対応した戦略論を技術経営（MOT）的な観点から学んでいく。2015年までの技術戦略マップを適用し、イノベーションを創出していくために有益な講義を行う。Aでは主としてイノベーション論を中心に講義を行う。また、グループによるディスカッションを通じ、考察、分析、発表、コミュニケーションの能力を養う。

授業の到達目標

シラバス　第1回（4月11日）　オリエンテーション
第2回（4月18日）イノベーションとは？
第3回（4月25日）イノベーションのモデル
第4回（5月2日）組織戦略1
第5回（5月9日）組織戦略2
第6回（5月16日）組織設計
第7回（5月23日）研究開発マネジメント1
第8回（5月30日）研究開発マネジメント2
第9回（6月6日）品質管理
第10回（6月20日）技術評価
第11回（6月27日）グループ発表1
第12回（7月４日）グループ発表2
第13回　教場試験

（注）2回目　グループ方式の説明、グループ分け
3回目以降　最初は、技術革新がどのように研究開発から製品開発の現場で行われていくかを解説するとともに、例えばIT、バイオ、ナノ、環境、エネルギー、金融工学、建設、社会インフラ等各グループごとのテーマを討議し、発表を行う。

教科書　特になし。授業でレジュメを配布することもある。

参考文献　各グループのテーマに応じその都度必要があれば指示する。

評価方法　教場試験による。

備考　（参考）理工における技術経営、知財系科目の学習の進め方

技術経営、知財系の科目は、寄附講座の企業等の協力も受けて複数設置されている。研究技術者の立場や権利を守るものとして必要なルールを学ぶためである。弁理士や企業の知財部を将来のキャリアとして考える者は、以下の基礎的な科目と、自分の専門分野等の必要に応じとることができる。また、知財の専門家になるのでなく、研究者・技術者として必要最低限を学ぶ目的ならば、特許関係と著作権関係の基礎的な科目をそれぞれどれか一つでも履修することで理工系の基礎としては十分である。国家・地方公務員や公的団体やシンクタンクなどを志望する学生は、技術経営、知財系の中でも企業分析ができる科目や産学連携、産業政策についての科目も推奨する。

1. 本「技術革新と産業社会A」は、技術経営に関し、企業や研究機関の分析を自分で行ってみる力を身につける科目である。本科目は、知財法や制度を対象とするものではない。本科目は、我が国最大の公的研究所だる産業技術総合研究所のイノベーション分析を中心に、企業や金融機関の調査部門やシンクタンクの手法への応用も含まれる。イノベーションの生成メカニズムや企業への製品応用、技術マーケティングの比較分析をグループ討議の上、法律、制度でなく研究者、技術者のための分析編（1年生でも可）である。
後期の「技術革新と産業社会B」は、知財戦略につながる企業や大学、研究機関の事例をについて、Aと同様にグループ討議を取り入れ、特許データベースの分析についてはコンピュータルームを使用して実習を行う。

2. 学部生の知財系科目の初歩としては、前期「知的財産と技術経営1」（著作権等の基礎。）、後期「知的財産と技術経営2」（特許、意匠、商標等の産業財産権の基礎。）が、基本となる。これらは、知財検定に準拠し基礎固めを行う。国際的な側面に照点を合わせた後期「知財のグローバリゼーションと言語の多様性」（海外（米国、欧州、アジア等）知財制度の運用等。一部知財検定に準拠した内容も含まれる。）、特許法の実用例や米国等のベンチャーについても照点を合わせた後期「知的財産と起業」（特許法とベンチャーの基礎）は、関連する知財系の科目として推奨する。

3. 応用編として、IT知財は後期のソニー・マイクロソフト寄附講座「ユビキタス社会とIT知財」、バイオ知財は後期の武

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	技術革新と産業社会A		
科目キー	2600001022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

田薬品寄附講座「バイオ創薬と知財イノベーション」、新素材・化学知財は後期の三菱化学寄附講座「新素材ビジネスと知的財産」の科目は応用編として設けられているが著作権は行わず特許、国際標準化が中心である。企業の最前線の知財戦略を各企業の方やゲストスピーカーが豊富な実例で解説を行ってくれる。

4. 著作権については、学生の身近な生活において、音楽と著作権のビジネスについて、後期「国際コンテンツビジネスと著作権」は、ヤマハ、第一興商、朝日新聞社などの音楽、著作権ビジネスの最前線から、音楽製作現場の話や、新聞社見学等のプログラムもとりいれて行う。著作権法の法律の全体像についても解説を行う。（知財検定に準拠するものでなく、音楽産業に関するケーススタディを中心とする。）

5. なお、大学院との併設科目として、国際知財経営論は、少人数で討議形式での企業の戦略分析と併せて、基礎固めとしての知財検定の知識も学ぶ。研究者・技術者として、知財の即戦力を養うことに重点を置く。

（知財と関連して、産学連携、産業政策、イノベーションの科目は、前期及び後期「産学連携、ベンチャー起業の基礎1、2」、前期「産業政策」、後期「技術革新と産業社会B」、前期「バイオイノベーションとベンチャー」が関連科目である。）

関連URL: http://www.waseda.jp/sem-morizemi/index.html

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ロボット産業とイノベーション		
科目キー	2600001023		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	森　康晃	下倉　健一朗	

副題

授業概要　ロボット市場は今後5年間に約2倍、20年後には10倍に拡大すると予想されている。なかでも今後急速に伸びる市場は、介護等の生活支援ロボットや危険作業の代替手段としてのロボット開発と考えられ、エンタテイメント用のみならず、非産業用途として家庭に普及することが期待されている。
ロボットはメカトロニクス、情報処理、情報通信、ヒューマンインタフェース等の様々な分野の技術が融合して初めて機能するものであり、この融合こそがロボット分野に関するイノベーションと強く関連する。
本講座では、ロボットを機能させるために必要となる様々な技術に関して、センシング/情報処理/システム化という観点から議論する。

授業の到達目標

シラバス　＜講義の特徴＞
ロボットが動作するために必要となる様々な技術分野を概観し、それらの分野の技術が融合することでシステムとしてどのような機能が生み出されるか？それらが具体的なサービスにどのように応用されているか、を理解することができる。

＜学習の目標＞
ロボットを成り立たせている要素技術の基本原理が理解できるようになること。要素を組み合わせることで構築するシステムがどのように動作するか、簡単な例題を解けるレベルの理解力がつくこと。

＜授業計画＞（予定）
01回目　オリエンテーション
02回目　ロボットの歴史
03回目　要素技術編-1
04回目　要素技術編-2
05回目　情報処理編-1
06回目　情報処理編-2
07回目　システム編-1
08回目　システム編-2
09回目　最先端のロボットプロジェクト紹介
10回目　ロボットサービス普及に向けた課題
11回目　テスト

教科書　特に無し。授業においてレジュメを配布することもある。

参考文献

評価方法　教場試験にて行う。配布資料、ノート等は持ち込み可。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	現代環境論		
科目キー	2600001024		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要　環境に関連した社会的な問題は、空間的のみならず時間的にも大きな広がりをみせている。こうした問題解決のためには法律による規制や税制・補助金等による経済的誘導に加え、多様な主体の関係を社会システムとして捉え施策の評価と実施を繰り返す計画的なアプローチが求められている。そこで、本講義では、1)様々な視点からみた環境問題の現状と原因、そして解決のための基本的な方向性を踏まえた上で、2)個別の具体的な事例を紹介しながら、問題解決のための計画論的アプローチについて論じる。
前期は、主として計画的側面について扱い、具体的な計画づくりを通じて、環境計画のあり方について考える。

授業の到達目標

シラバス
- 環境計画の基礎論
- 環境問題の具体例
  （大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、土壌汚染、自然環境の保全、
  廃棄物、地球環境問題、ダイオキシンと環境ホルモン）
- 計画とシステムズアプローチ
- 行政からの対応（環境基本計画、環境アセスメントなど）
- 企業からの対応
  （ISO14000シリーズ、環境レポート・環境監査等、
  ゼロエミッションなど）
- 市民からの対応（環境家計簿、環境NGOの役割等）
- 環境情報の整備手法
- 新たな環境問題への取り組み（環境リスク）

教科書

参考文献

評価方法　授業時の演習課題、および期末課題による。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	企業と労働I		
科目キー	2600001025		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	白木　三秀		

副題

授業概要　本講義の目的は、「企業と労働に関する経済学的・経営学的・政策論的諸研究」を検討することである。より具体的には、企業の生産活動と労働者の経済活動との出会いである「労働市場を巡る諸課題」について検討を加える。労働市場における需要と供給の関係を概観し、さらに労働市場を外部労働市場と内部労働市場に分けて詳細に検討する。
本講義の特徴は第1に、現代を取り扱うことであり、ホワイトカラーとブルーカラー、キャリア、就職・失業、処遇・昇進・給与、派遣労働など身近なテーマを取り上げ、生の情報やデータをできるだけ多く取り入れ、分析する。
本講義の第2の特徴は、アジアを中心として国際的な視点を重視することである。企業のうち、とりわけ国境を越えて経営活動を展開する多国籍企業における人的資源管理（国際人的資源管理）の諸特徴、諸課題について検討を加えることにする。その際に、有用な視点を得る目的で日系多国籍企業と米系および欧州系多国籍企業との比較を人的資源管理の機能ごとに検討を加える予定である。
受講生の講義への積極的な参加を期待する。

授業の到達目標

シラバス

教科書　白木三秀著『国際人的資源管理の比較分析』有斐閣、2006年。
ドーリンジャー＆ピオレ著（白木監訳）『内部労働市場とマンパワー分析』早稲田大学出版部、2007年。他の関連文献については適宜、講義中に紹介する。

参考文献

評価方法　(1)試験（2回実施）、(2)リポート、(3)講義への参加度を総合的に評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会人類学I		
科目キー	2600001026		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	西村　正雄		

副題

授業概要　社会人類学は、生物人類学と並んで、人類学を支える2大柱の一つである。人類学は、過去及び現在における人間行動すべて、そしてその結果生まれた産物すべてを扱う学問である。こうした人間の行動と、その産物を総称して「文化」と呼ぶ。人類学は、この人間の文化のすべての様相を総合して扱い、文化の統合された全体像を探求する。そこで本科目の目的は、人間の文化を総合的に把握することで、特に、人間と彼らの文化を、自然及び社会環境への適応という点から概観し、その内容と構造を詳細に検討することである。本年の授業では、文化の変動してゆく状況に焦点をあててゆく。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	情報社会論I		
科目キー	2600001027		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　情報社会論とは、情報技術の進展・普及と、それによって実現されるとされる新たな社会像に関する一連の議論である。近年では、「Web2.0」論や「ユビキタス社会」論がその代表的なものといえる。
情報社会論によって想定される社会像は、時代の変化や社会からの期待、情報技術の進展によって変化している部分と、数十年にわたって変わらない部分がある。
本講義では、古典から最新のものまで含めた情報社会論の主要トピックスを取りあげ、その議論の構造や意味するものについて学び、情報社会論自体を相対的にとらえる視点の獲得を目標とする。

授業の到達目標

シラバス　以下のトピックスについて、1から3回の講義を行なう。
情報社会論の系譜
社会の情報化とその進展
情報化と地域社会
情報化と新たな「コミュニティ」
情報化は社会を変えるか

教科書　特に指定しない。参考資料として、公文俊平（編）, 2003,『リーディングズ 情報社会』NTT出版。

参考文献

評価方法　レポートによって行なう。その他不定期に行なう課題等も考慮する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	環境心理学		
科目キー	2600001028		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	広田　すみれ		

副題

授業概要　今日、都市化の進展、情報ネットワークの浸透、異文化の衝突などによって、環境はますます複雑化し、不安定性を増大させている。そしてその影響は、人間生活にもさまざまなかたちで現れ始めている。こうした環境の変化を契機として、人間の心理や行動の仕組みを環境との関わりで問い直す「環境心理学」が展開されるようになった。本講義では、環境心理学の全体像を概観し、この分野の基礎的な知見・考え方の習得をねらいとする。

授業の到達目標

シラバス　※授業の進度により、順序・時期・内容は多少変化する場合がある。
（1）ガイダンス　授業の概要、進め方について
（2）環境心理学とは
　　環境心理学の成り立ち、問題意識とその対象など
（3）環境の知覚と認知1　−知覚の基礎的な仕組み−
　　感覚と知覚、知覚のしくみ、錯覚、大脳や生理的機構との関係など
（4）環境の知覚と認知2　−知覚の基礎的な仕組み2−
　　知覚の恒常性、知覚の体制化、奥行き知覚
（5）空間の認知と探索1
　　空間定位、心的回転、距離感・方向の歪み、幼児の空間認知
（6）空間の認知と探索2
　　認知地図、空間認知の方略、わかりやすい地図・わかりにくい地図とサイン表示
（7）環境の評価と環境美学　−美しく見える環境−
　　環境の査定と評価、環境評価の構造、環境美学
　（黄金比、部分と全体、色の好みなど）
（8）距離と心理・行動　−社会関係と空間−
　　プロクセミックス、対人距離とパーソナルスペース、着席行動、
　　ステンザー効果、ソシオペタルとソシオフーガル
（9）テリトリーとクラウディング
　　なわばり性、テリトリーとマーキング、密度、込み合いとストレス、
　　クラウディング、クラウディングによる行動沈下
(10)環境とストレス　−プライバシー、騒音の影響−
　　セリエによるストレスの概念、込み合いとストレス、プライバシー感と行動
(11)犯罪と環境1
　　犯罪原因論と犯罪機会論、セキュリティの街づくり、
　　領域性・監視性・抵抗性、防犯環境設計（CEPTED）
(12)犯罪と環境2
　　セキュリティの街づくり（英国・米国の対策例）、割れ窓理論、地域安全マップ
(13)地球環境と環境心理学
　　社会的ジレンマ、遅延による判断の変化、ゴミ捨て行動における行動コストと
　　ベネフィット、NIMBY、環境リスクの認知構造

教科書　教科書は特に定めず適宜資料を配布。

参考文献　佐古順彦 ・小西啓史（編）（2007）「朝倉心理学講座12環境心理学」（朝倉書店）
R.ギフォード（2007）「環境心理学（上）（下）」（北大路書房）など。
その他授業時に紹介。

評価方法　主に定期試験による。平常点（小レポート、出席点）も評価の対象とする。

備考　授業はパワーポイントを使用して進めるが、パワーポイントの全てのスライドのコピーは配布しないので、各自ノートを取ること（細かい図表等の資料については必要に応じて配布）。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	環境心理学		
科目キー	2600001028		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	知財のグローバリゼーションと言語の多様性		
科目キー	2600001029		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	森　康晃	平塚　三好	

副題

授業概要　我が国の知的財産を権利として創造・保護・活用していくためには、日本の特許など知的財産法制だけでは不十分であり、米国、欧州、アジアなどの各国の法制で保護し、活用していくことが必要となる。確かに、特許などの知的財産法制はグローバル化の調整過程にあるが、各国の産業政策や文化の障壁は大きく、グローバルな視点からアジアのリーダーとなる素養として多言語情報処理の基本的なシステムや科学技術・工業外国語等の活用事例を学ぶ。

授業の到達目標

シラバス

1. オリエンテーション
2. 知的財産オーバービュー（知的財産の全体像を俯瞰する。）
3. 知的財産基礎1（特許・実用新案など、技術系の保護について、事例から法制度や言語を基礎とする書面主義の実務の実態を学び、検討する。）
4. 知的財産基礎2（特許・実用新案など、技術系の保護について、事例から法制度や言語を基礎とする書面主義の実務の実態を学び、検討する。）
5. 知的財産基礎3（意匠・商標など、非技術系の知財の保護について、事例から法制度や実態を学び、検討する。）
6. 知的財産基礎4（意匠・商標など、非技術系の知財の保護について、事例から法制度や実態を学び、検討する。）
7. 世界の知的財産制度の潮流1（外国の知的財産制度と国際調和の動きを学び、課題と解決策を探る。）
8. 世界の知的財産制度の潮流2（外国の知的財産制度と国際調和の動きを学び、課題と解決策を探る。）
9. 多言語情報処理（多言語情報処理の基本的な仕組みを知り、知的財産実務の活用等について、検討する。）
10. ゲスト・スピーカ（企業の専門家により、知財の創造・保護・活用の現場の実態を知得し、検討する。）
11. 技術英語・特許英語1（英文特許明細書の検討を通じて、技術英語・特許英語を習得する。）
12. 技術英語・特許英語2（英文特許明細書の検討を通じて、技術英語・特許英語を習得する。）＊学習深度等に応じ、適切な講義となるよう、変更となることがある。
13. 知財のグローバリゼーションと言語の多様性1（言語の多様性がもたらす、知財のグローバリゼーションへの影響や、知財のグローバリゼーション化の中で、書面主義に基づく知財の権利化から要請される使用言語の有り様について、検討するとともに、多言語情報処理の活用を探る。）＊ゲストスピーカを予定。
14. 知財のグローバリゼーションと言語の多様性2（言語の多様性がもたらす、知財のグローバリゼーションへの影響や、知財のグローバリゼーション化の中で、書面主義に基づく知財の権利化から要請される使用言語の有り様について、検討するとともに、多言語情報処理の活用を探る。）＊ゲストスピーカを予定。
15. 総括(テスト形式のレポート作成)

教科書　使用教材（予定）：産業財産権テキスト総合編　工業所有権情報・研修館発行、他、毎講義に資料等を配布する。

参考文献

評価方法　最終回の教場試験による。

備考　＊学習深度等に応じ、適切な講義となるよう、授業計画が変更となることがある。

関連URL:　早稲田大学　知財・産業社会政策領域森研究室
http://www.waseda.jp/sem-mo

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	知財のグローバリゼーションと言語の多様性		
科目キー	2600001029		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	技術革新と産業社会B		
科目キー	2600001030		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	森　康晃	河尻　耕太郎	中村　達生

副題

授業概要　米国のプロパテント政策から遅れること20年を経て、我が国でも知財立国に向けた各種取り組みや、施策が稼働を開始している。その中でも、知財活用、技術の客観的な評価については、その要望が高まっているにもかかわらず、企業の中においても十分には実施されていないのが現状である。これらは技術進歩の加速、分野横断的な新技術の誕生が近年になって急速に進んでいることが起因している。そこで、当該授業では、知財の技術書としての側面に着目し、知財を対象に技術体系を把握したり、動向ををを把握する手法について、事例を交えた講義を行う。

(コンピュータルームでの知財データベース実習を行うので、スペースの制約の関係から登録学生数は50名以下に限定する。)

授業の到達目標

シラバス　・知財をベースとした分析の目的、方法の全体像把握
・知財分析による動向分析、戦略立案のための方法論
・主要企業の分析事例研究
・実務に即した先端的分析ツールによる実習(理工のコンピュータルームでの実習)
グループ分けし、IT、バイオ、ナノ、環境、エネルギー、金融工学、建設、社会インフラ等の各グループごとのテーマを討議し、発表を行う。

教科書　特にないが、授業でレジュメを配布することもある。

参考文献　各グループのテーマに応じ、必要があれば指示する。

評価方法　教場試験による。グループの討議による発表・レポート(グループ毎)も評価に加味する。

備考　(参考)理工における技術経営、知財系科目の学習の進め方

技術経営、知財系の科目は、寄附講座の企業等の協力も受けて複数設置されている。研究技術者の立場や権利を守るものとして必要なルールを学ぶためである。弁理士や企業の知財部を将来のキャリアとして考える者は、以下の基礎的な科目と、自分の専門分野等の必要に応じとることができる。また、知財の専門家になるのでなく、研究者・技術者として必要最低限を学ぶ目的ならば、特許関係と著作権関係の基礎的な科目をそれぞれどれか一つでも履修することで理工系の基礎としては十分である。国家・地方公務員や公的団体やシンクタンクなどを志望する学生は、技術経営、知財系の中でも企業分析ができる科目や産学連携、産業政策についての科目も推奨する。

1. 本「技術革新と産業社会B」は、技術経営、知財の企業分析を自分で行ってみる力を身につける科目である。本科目は、企業や金融機関の調査部門やシンクタンクの手法も含まれる。我が国最大の公的研究所である産業総合研究所のイノベーション分析やオリジナルの特許データベースを用いコンピュータルームでの企業の競争力比較分析をグループ討議の上、発表する形式であり、法律、制度でなく研究者、技術者のための分析編(1年生でも可)である。

2. 学部生の初歩としては、前期「知的財産と技術経営1」(著作権等の基礎。)、後期「知的財産と技術経営2」(特許、意匠、商標等の産業財産権の基礎。)が、基本となる。これらは、知財検定に準拠し基礎固めを行う。国際的な側面に照点を合わせた後期「知財のグローバリゼーションと言語の多様性」(海外(米国、欧州、アジア等)知財制度の運用等。一部知財検定に準拠した内容も含まれる。)、特許法の実用例や米国等のベンチャーについても照点を合わせた後期「知的財産と起業」(特許法とベンチャーの基礎)は、関連する知財系の科目として推奨する。

3. 応用編として、IT知財は後期のソニー・マイクロソフト寄附講座「ユビキタス社会とIT知財」、バイオ知財は後期の武田薬品寄附講座「バイオ創薬と知財イノベーション」、新素材・化学知財は後期の三菱化学寄附講座「新素材ビジネスと知的財産」の科目は応用編として設けられているが著作権は行わず特許、国際標準化が中心である。企業の最前線の知財戦略を各企業の方やゲストスピーカーが豊富な実例で解説を行ってくれる。

4. 著作権については、学生の身近な生活において、音楽と著作権のビジネスについて、後期「国際コンテンツビジネスと著作権」は、ヤマハ、第一興商、朝日新聞社などの音楽、著作権ビジネスの最前線から、音楽製作現場の話や、新聞社見学等のプログラムもとりいれて行う。著作権法の法律の全体像についても解説を行う。(知財検定に準拠するものでなく、音楽産業に関するケーススタディを中心とする。)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	技術革新と産業社会B		
科目キー	2600001030		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

---

5. なお、大学院との併設科目として、国際知財経営論は、少人数で討議形式での企業の戦略分析と併せて、基礎固めとしての知財検定の知識も学ぶ。研究者・技術者として、知財の即戦力を養うことに重点を置く。

（産学連携、産業政策、イノベーションの科目は、前期及び後期「産学連携、ベンチャー起業の基礎1、2」、前期「産業政策」、前期「技術革新と産業社会A」、前期「バイオイノベーションとベンチャー」が関連科目である。）

関連URL: http://www.waseda.jp/sem-morizemi/index.html
知特許庁

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	新素材ビジネスと知的財産		
科目キー	2600001031		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	阿部　仁		

副題　ビジネス・製品開発において知的財産をどう役立てるか（三菱化学寄付講座）

授業概要　特許、商標、著作権等の知的財産権の社会的な重要性は、近年になって益々高まっており、今後も高まっていくことが予想される。このような重要性は、特に産業界において顕著である。産業界（特にいわゆる民間企業）は、知的財産を生み出し、活用する現場の中心にいると言ってよい。その意味で、産業界から見た知的財産に対する考え方を知ることは、それを生かす本人（企業で働く人たち）だけでなく、知的財産に関与する全ての人々（企業以外で研究開発に携わる人や法律を学ぶ人を含む）に有用であろう。
このような産業界、特に個々の企業における事業の推進という立場から見た場合に、知的財産に関する法律（特許法、商標法、著作権法、不正競争防止法等）自体を学ぶことと同様又はそれ以上に大事なのは、「知的財産を事業に生かす方法」を考えることである。法律を学ぶことは勿論重要であるが、企業が事業を遂行し成功させるためには、法律を「知る」だけでなく「使える」ことが必須である。
今回の講義では、上記のような観点から、（必要最小限の法律、法制度の解説を加えつつ）、
「企業の立場から見て、知的財産をどう生かすか」
「企業経営や事業遂行、技術開発における知的財産の役割」
「知的財産という立場から、事業（特に研究開発）をどのように進めるべきか」
というような点について、特に素材の技術開発及び事業遂行と特許との関係を中心に、その考え方の解説を行なっていく。講義は、化学メーカとして種々の新素材ビジネスに携わる三菱化学で実際に知的財産業務を行なっている知的財産の実務家より行なう。

授業の到達目標

シラバス　＜講義の特徴＞
1．知的財産を、「どのような法律」かという立場からでなく、「企業の事業活動から見てどのように生かすか」という立場から考え、知的財産と企業経営・事業推進・研究開発との関係及びその考え方を解説する。
2．講義は、化学メーカとして種々の新素材ビジネスに携わる三菱化学で実際に知的財産業務を遂行する実務家より行なう。
3．法律論は可能な範囲で最小限に留め、(1)事業（特に研究開発）を遂行する上で、どのような知的財産権を取得し、活用すべきか、(2)知的財産という立場から、事業（特に研究開発）をどのように進めるべきかという、より実践的な講義を行なう。
4．講義で論じる知的財産権の対象は、主に特許権であるが、一部、著作権、商標、ノウハウ等についても論じる。主に「新素材」の開発、事業遂行を視野に入れた内容とするが、これにこだわらず、全ての製品やサービスに適用可能な内容とする。
5．将来企業で知的財産業務や研究開発に携わる人だけでなく、大学等で研究を進める人、法律を学びたい人、その他の皆さんにとって、非常によい経験になる講義である。
＜授業計画＞（予定）
1Intoroduction
2特許制度の概要
3特許出願
4特許の取得
5特許の活用（権利行使）
6外国特許
7他社特許対策
8特許調査
9特許とノウハウ・情報管理
10特許戦略
11契約と知的財産
12共同開発（産学連携含む）＆実施許諾（ライセンス）
13研究者にとっての知的財産、企業における知的財産部の役割
（上記に加え1-2回の特別講義を予定）

教科書　特になし。必要な資料は講義の際に都度配布する。

参考文献

評価方法　試験にて成績評価する。何をどのぐらい覚えたかではなく、本講義を踏まえてどの程度自分で考えたかという観点で採点する。出席率も状況に応じ考慮する。

備考　abe.hitoshi@mv.m-kagaku.co.jp

関連URL:

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	新素材ビジネスと知的財産		
科目キー	2600001031		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	人文地理学I		
科目キー	2600001032		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高柳　長直		

副題　「食」をめぐる地域と空間

授業概要　我々の社会や経済は、国境の垣根を越えて、ますますグローバル化しようとしている。しかし、世界はどこでも同じではなく、依然として多様な地域から構成されている。この講義では、とくに「食」の問題に焦点を当てる。かつて、我々の食べ物はローカルな範域で生産され、消費されてきた。しかし、食料の生産地域と消費地域が空間的に分離し、現代の日本では、まさに世界中から食料や農産物が輸入されている。
　人文地理学は、位置・場所・地域・空間など土地に関する知識の体系化を行なってきた学問分野である。そこで、最初に、地理学の基礎的な考え方を提示し、次いで、食料や農業について具体的な課題を考察していく。

授業の到達目標

シラバス
(1)地理学の基本原理：プロ野球キャンプ地は，なぜ九州などで行なわれているのか？
(2)環境論：心地よい気候は高い文明を発展させる
(3)地域論：千葉県にあっても「東京ディズニーランド」
(4)自然環境と食料生産：作物生育を妨げる自然環境は何であろうか？
(5)農業の歴史的発展：3つの農業革命
(6)農業立地論(1)：北海道東部では，なぜ米の作付がみられなくなったのか？
(7)農業立地論(2)：都市からの距離による違い
(8)世界の農業貿易：グローバル化の背後にあるもの
(9)グローバル化とアメリカの農業：地名物産の地理はもう古い！
(10)日本の農業地域構造：地域による違い
(11)産地の振興の課題（1）：食の安全・安心と日本の農業
(12)産地の振興の課題（2）：どのようにコストダウンを図るか？
(13)食品の品質と表示：夕張メロンは、どのようにしてブランド化したのか？
(14)まとめ

教科書　高柳長直（2006）：『フードシステムの空間構造論』筑波書房

参考文献

評価方法　学期末試験で評価とレポートで評価する。

備考　人文地理学2を同年度に受講することが望ましい。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	科学と非科学		
科目キー	2600001033		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山本　勝弘 平尾　淳一	内田　種臣	海野　和之

副題

授業概要　科学とは何かを、工学、数学、人文社会科学などいろいろな視点から論じる。最近特に、世界政治体制の激変、民族紛争、世界経済の不透明性、地球環境問題などを契機に、国際的な政治、経済のインフラストラクチャーの再編成、それにともなう企業のリエンジニアリング、政党の再編、新しい宗教現象の流行などが広まっている。これに対応するかのように、学問の領域においても質的にも量的にもこれまでなかった程の不透明で複雑な現象を対象にせざるを得なくなっており、大幅な、再構成を行う必要が起きている。これらの問題を念頭に置きながら、伝統的な科学観をもう一度見直す。

授業の到達目標

シラバス

内田種臣の内容
- 科学以前
- 基礎論主義と整合主義
- 4タイプの科学観と計画論
- 科学の限界という概念

海野和之の内容
- 社会科学とは何か？

平尾淳一の内容
- 自然科学論

山本勝弘の内容
- 理学と工学

教科書

参考文献

評価方法　綜合科目試験による

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	科学と芸術		
科目キー	2600001034		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　種臣 盛川　浩志	佐藤　洋一	沖　啓介

副題

授業概要　かつて「アート」という言葉が科学と芸術の両方に用いられていたように、両者はその根底において深く結びついている。実際、自動車、コンピュータ、住宅など身近にある事物を考えてみれば、それらがすぐれた機能を発揮するには科学技術の裏付けが必要であり、魅力ある存在となるには芸術的なセンスが必要であるように、真のクリエーションは両者を架橋するところに現れるものである。本講座のねらいは、こうした科学と芸術との関係を多角的な視点から探求し、両者を深いレベルで結びつけている仕組みを理解することである。

授業の到達目標

シラバス　担当教員
沖啓介

佐藤洋一

盛川浩志

教科書

参考文献

評価方法　綜合科目の試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	音と音楽の表現領域		
科目キー	2600001035		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	橋本　周司	山崎　芳男	菅野　由弘

副題

授業概要　生の音楽を聴く3回のコンサートを軸に、菅野が作曲家として実際に手がけたNHK大河ドラマ「炎立つ」の音楽や、様々な作品を紹介します。また、日本人自身が忘れている日本の伝統音楽の価値、最新のテクノロジーによる音楽表現（電子音楽、コンピュータ音楽）に関して論じるとともに、理工学部専門教授による科学的な意味での「音」の講義も行います。

教室は、本部キャンパス14号館201教室、また、コンサートは大隈講堂を使用します。

授業の到達目標

シラバス　1：シリアス・ミュージックとコマーシャル・ミュージック
菅野の自己紹介をかねて、大河ドラマ「炎立つ」、NHKスペシャル「フィレンツェ・ルネサンス」のために作曲した音楽、また、NHK交響楽団の委嘱で作曲した「崩壊の神話」、国立劇場のために書いた「西行−光の道」などを聴き、DVDで見ながら進めます。
――――――――――――――――――――

2：映像と音楽
歴代の大河ドラマの音楽を紹介し、また、それを作曲した作曲家が、シリアスミュージックとして作曲した作品を紹介し、意図や、意味による音楽の違いを考えます。
――――――――――――――――――――

3：5月13日（火）：笛の世界（大隈小講堂）
笛：一噌幸弘　ピアノ：菅野由弘
一噌流の笛方、一噌幸広弘は、伝統的な能管の名手であると同時に、様々な日本の笛、また様々な国の笛を縦横無尽に扱う演奏家です。一噌流の後継者であり、能楽界になくてはならない人材ではありますが、持ち前の若さと意欲から、その活動範囲を様々なジャンルに広げています。能管による笛の古典はじめ、様々な笛による新しい伝統の響きを聴いていただきます。（なお、この日は、大隈大講堂を仮予約して演奏家とのスケジュール調整に入ったにもかかわらず、早稲田大学文化推進部文化企画課の勝手な裁量により、キャンセルされたため、小講堂に移さざるを得なかったことを、学生諸君にお詫びします。）

――――――――――――――――――――

4：駆け足でオーケストラ音楽の歴史
西洋音楽、とりわけオーケストラ音楽の歴史と特徴を、駆け足で網羅的に紹介します。

――――――――――――――――――――

5：山崎芳男先生
早稲田大学・国際情報通信大学院教授の山崎先生による「音響」のお話です。この授業で使用している14号館201教室は、様々な音響上の工夫がなされています。その音響設計を担当したのが、この山崎芳男先生です。この部屋の設備を駆使しつつ、工学的な「響き」の世界に誘います。
――――――――――――――――――――

6：6月3日（火）：ヴァイオリンとピアノの地平（大隈講堂）

ヴァイオリン：大谷康子　ピアノ：藤井一興
東京交響楽団のコンサートマスターであり、ソリストとしても活躍しているヴァイオリニスト、大谷康子と、フランス留学後、国際的にも活躍するピアニスト、藤井一興によるコンサートです。比較的、知られている曲を中心にしたプログラムです。

――――――――――――――――――――

7：橋本周二先生
早稲田大学理工学部・応用物理学科教授の橋本先生による、「音」の物理的なお話です。橋本研究室では、たとえば「指揮ロボット」などを制作しています。人間が指揮をすると、そのテンポや表情に従って演奏するロボット、またカラオケでは、歌う人のテンポを察して、カラオケの方が人間について来る装置なども開発しています。そうした研究の一端をお話しして頂きます。
――――――――――――――――――――

8：6月17日（火）：生きている邦楽器（大隈講堂）

尺八：中村 明一　箏：八木 美知依　箏：元井 美智子
邦楽器の持つ様々な面を引き出す演奏家たちによる、ひと味違った日本音楽の世界を聴きます。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	音と音楽の表現領域		
科目キー	2600001035		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

・虚無僧伝承曲「鶴の巣籠」
尺八：中村 明一

・二世吉沢検校作曲 箏曲「千鳥の曲」
箏：八木 美知依

・菅野由弘作曲「水鏡」
尺八：中村 明一
箏：八木 美知依

・中村明一作曲「不思議の森の物語」
尺八：中村 明一
二十絃箏：八木 美知依
十七絃箏：元井 美智子

・伊福部昭作曲／高山博編曲「ゴジラのテーマ」
尺八：中村 明一
箏：八木 美知依
十七絃箏：元井 美智子

9:ビートルズを巡って

短期間に爆発的な活動を行い、現在も語り伝えられる伝説の音楽について。

10:西行一光の道
菅野が国立劇場の委嘱で作曲した、雅楽、聲明、正倉院からの復元による古代楽器ノための作品を聞き、表現とその背景を説明します。

その他

教科書

参考文献

評価方法　レポートです。
提出方法などは、授業の中で発表します。

備考　音を扱うという性質上、私語は厳禁にします。また、出席を重要視します。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	日常と非日常のレトリック		
科目キー	2600001036		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　種臣	福島　泰樹	畠山　宗明

副題

授業概要　人間は言葉を使う動物であるとはよく言われることである。さらに進んで、「私は、私の言葉である。」とまで断言した哲学者もいる。われわれの生活には、言葉を含むいろいろな表現が満ちあふれている。表現は物事を記述したり、情報を伝達するだけでなく、現状をかえたり、人間関係を維持したり、ほかにも非常に多くの働きをしている。このコースでは、表現行為の特性を概観し、レトリック、映画の文法、現代短歌の技法、を取り上げる。

授業の到達目標

シラバス　講師の順序
　内田種臣の内容
1）全体の説明
2）語用論
3）言語行為論
4）ファラシー
　福島泰樹
現代短歌
　畠山宗明
映画論

教科書

参考文献

評価方法　綜合科目の試験による

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	メディアリテラシー論		
科目キー	2600001038		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　恭子		

副題　「現実」を構成する広告

授業概要　多種多様なメディアが偏在する「メディア社会」を生きる今日、メディアを社会的文脈でクリティカルに読み解き、主体的にメディアを選択する能力が必要です。本講座では、既存のメディアを検証し、メディアが提示する「現実」と私たちのものの見方との関係を意識化し、マスメディアから抜け落ちている視点（オルタナティブな視点）からコミュニケーションを創りだす力を考えていきます。今年度は広告を中心にメディアについての考え方を深めていきます。授業は講義とワークショップを組み合わせます。ワークショップでは、小グループを作り、グループで分析、討論、発表という一連の活動をします。川口芸術学校と共同授業になります。

授業の到達目標

シラバス

1.メディア社会を生きる私たち・メディア・リテラシーとは
2.メディアはどのように「現実」を構成するか
3.CMで映像言語を学ぶ
4.CMに見る価値観−コカコーラされた世界
5.CMに見る価値観−マクドナルド化された世界
6.イメージと価値観の販売
7.街なかの広告ウォチング
8.ポップミュージックとプロダクト・プレイスメント
9.街なかの広告ウォチング−広告が提示する価値観
10.PSA（公共広告）
11.次世代メディアを読み解く
12.アニメーションを読み解く
13.オルタナティブな広告
14.次世代メディアを読み解く　プレゼンテーション

受講生の理解度に応じて、講義・ワークショップの内容を変更することもある。

教科書

参考文献

・「新版スタディ・ガイド　メディア・リテラシー入門編」鈴木みどり編著、リベルタ出版
・「メディア・リテラシー・マスメディアを読み解く」カナダ・オンタリオ州教育省編、リベルタ出版
・「スキャニング・テレビジョン」イメージ・サイエンス

評価方法　学期末にレポートを出します。
評価は授業への参加状況、発表の結果などを加味して行います。

備考　5月29日の授業は、22日に伝えましたが、校外学習になります。
欠席者は高橋（kyt@waseda.jp）まで連絡してください。

関連URL:　準備中

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 （2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	心・脳・ボディ		
科目キー	2600001039		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	三輪　敬之 菅野　重樹 松井　龍哉	内田　種臣 井上　哲理	高西　淳夫 藤江　正克

副題

授業概要　哲学では、伝統的に、心身問題といわれてきた問題がある。それは、心と身体あるいは物と言われてきたもののもし可能であれば区別するとか、もし二つのものであったとすればそれら二つのものの間にどのような関係があるかを論じるものである。このような区別あるいは区別らしきものは、学問の分類とか物の考え方などにも広く影響を及ぼしている。たとえば、心の活動である意志が身体を動かしているという見方などがそうである。先端のロボット工学、医療看護機器設計の方法論を具体事例で紹介する。

授業の到達目標

シラバス
内田　哲学の心身問題の観点から
井上　立体映像の仕組や臨場感向上技術についての講義。
高西／菅野　ロボティックスの立場から。
三輪　植物の伝達、場の共創。
藤正　脳のメカニズム。
松井　ロボットのデザイン。
藤江　医療機械とロボット。

教科書

参考文献

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	生活空間の文化		
科目キー	2600001040		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　種臣 長沢　伸也	宮城　俊作	高橋　信之

副題

授業概要　人間−環境系に焦点を結び、身近な建築・都市を中心とした生活環境、自然と人間の営みが深く結びついたランドスケープデザイン、さらには地球環境にいたる様々なレベルにおける環境の問題をとりあげ、現場の映像や体験に触れながら、環境と文化との多面的な関係についての理解を深めていくことにする。このことは、経済の拡大発展を第一義的に考えてきたこれまでの社会を「環境と文化」という視点からとらえ直し、21世紀に向けて文化的な豊かさを実感できる新しい世界をかたちづくる科学・技術のあり方を展望する契機となるであろう。

長沢担当分では「生活空間のデザイン」をテーマとし、衣・食・住等の生活空間におけるデザインの意義や価値について講義する。具体的な企業や商品の事例を中心とする。

高橋信之　担当
　生活空間を巨大都市環境論の中にテーマを求めると、自然環境を破壊しながら都市　化を図ってきた宿命から、水、空気、緑、風、熱　等々が大きく犠牲になってき　た。その変化の経緯と実態とを把握することは、今後の都市生活空間のデザインを　考えるとき重要な要因となる。それらの調査実態を通して具体的に事例を中心として講義する。

授業の到達目標

シラバス　1）　生活空間とデザイン（長沢伸也）
第1回　食生活・衣生活におけるデザイン：京菓子司「末富」、高級ファッション「エルメス」の事例
第2回　暮らしにおけるデザイン：香老舗「松栄堂」の事例、お香のデザインマネジメント
第3回　製造業におけるおもてなし価値のデザイン：シャープ 液晶TV「AQUOS」、ワーコル ラグジュアリーブランド「WACOAL DIA」の事例
第4回　デザインが導く経験価値創造：コクヨ 消しゴム「カドケシ」、バンダイ エンターテイメント・オーディオ「リトルジャマー」の事例
2）　都市環境の展望
3）　ランドスケープデザイン
1．風景　–　自然へのはたらきかけの結果として立ち現れる視覚像
2．都市　–　東京という都市をランドスケープから読み解く
3．庭園　–　日本の庭文化にみるランドスケープ像
4．デザイン　–　新しい風景の創造にとりくむ職能蔵

2）　生活空間とデザイン（高橋信之）
第1回：都市の環境論　　都市空間計測と時空間スケールについて
第2回：都市の地下空間　都市の地下空間利用の現状と将来活用について
第3回：都市の水環境　　都市化の最も大きな犠牲となった河川や水路、運河環境について事例をもとに講義する。
第4回：都市の風環境　　生活の中に夕凪や朝凪を感ずる環境が少なくなった。都市の風道を考えることは夏のヒートアイランド対策やエネルギー消費を考えるとき、重要な要素となる。事例をもとに講義する。

教科書　生活空間とデザイン（長沢伸也）
〇長沢伸也編著、早稲田大学ビジネススクール長沢研究室著『老舗ブランド企業の経験価値創造−顧客との出会いのデザイン マネジメント−』同友館、2006年
〇長沢伸也編著、早稲田大学ビジネススクール長沢研究室共著『経験価値ものづくり−ブランド価値とヒットを生む「こと」づくり−』日科技連出版社、2007年

参考文献　生活空間とデザイン（長沢伸也）
〇長沢伸也・岩谷昌樹共編著、佐藤典司・岩倉信弥・中西元男共著『デザインマネジメント入門−デザインの戦略的活用−』京都新聞出版センター、2003年

評価方法　定期試験
高橋信之：時間並びに試験用紙スペースは1/3分割で実施する。

備考　【担当教員連絡先等】長沢　伸也、原　剛、宮城　俊作

生活空間とデザイン（長沢伸也）履修上の注意
　教科書を読んでいるという前提で講義する。講義資料（パワーポイント）は教科書の図表・写真が中心なので配布しない。教科書は必ずしも購入する必要はないが、友人や図書館から借りる等して読んでおくこと。
　最低到達目標は、衣・食・住等の生活空間におけるデザインの意義や価値についての正しい知識を得ることであ

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	生活空間の文化		
科目キー	2600001040		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

る。また、努力目標は、生活空間におけるデザインの意義や価値についてマスコミ等に惑わされずに自分で考えるカを養うことである。

関連URL: 高橋信之：http://www.takahashi.rise.waseda.ac.jp/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	シミュレーション技術と文化		
科目キー	2600001041		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	内田　種臣 及川　靖広	橋本　周司	遠藤　隆也

副題

授業概要　近年の計算機の発達は、従来の思考実験あるいは模擬実験の役割を大きく変えて、科学技術ばかりでなく我々の文化へも多大な影響を与えている。ここでは、自然科学の方法論としての仮説・推定・検証の枠組みとシミュレーションの役割を具体的な事例に基づいて検討すると共に、社会・文化と技術の関係を考える。また、人工現実感、コンピュータゲームなどにおける感覚の仮想化とリアリティの関係を通して、シミュレーション技術の将来像とそこに内在する問題点を考察する。

授業の到達目標

シラバス　原則として3人の教員が4回連続で、ビデオおよび実際のデモンストレーションを交えて講義を行なう。

主な話題は以下の通りである。
1）シミュレーションと科学技術
2）環境とシミュレーション
3）人工現実感
4）ネットワーク社会
5）人工生命
6）次世代ロボットとインタフェース
7）人工感性
8）行動とシミュレーション
9）シミュレーション文化論

教科書

参考文献

評価方法　筆記試験、各教員が一問ずつ出題。

備考　3人の教員がそれぞれ独自の立場から講義するので,必ずすべてを受講し、それらを総合して独自の考えを組み立てること。講義の予定は1回目に配布する。

【担当教員連絡先等】
橋本　周司 (shuji@waseda.jp)

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	音楽論		
科目キー	2600001042		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	菅野　由弘		

副題

授業概要　音楽には様々な形がありますが、それらを作曲家の視点から考えながら聴いて行きます。菅野が作曲した音楽などを、実作者の立場からアプローチし、分析を加えて講義します。日本では、クラシック音楽とポピュラー音楽、といった区分が一般的ですが、菅野は、シリアス・ミュージックとコマーシャル・ミュージックという、ジャンルを横断した区分を提唱しています。こうしたことを踏まえ、この講座では、ジャンルに囚われないシリアス・ミュージックを中心に、映像と音楽、コンピュータと音楽、日本文化と音楽、などを論じます。

授業の到達目標

シラバス　◎菅野が作曲家として実際に手がけた作品や、表現、その背景などについて、音楽を聴きながら考えて行きます。
　また、日本人自身が忘れている日本の伝統音楽の価値、最新のテクノロジーによる音楽表現（電子音楽、コンピュータ音楽）など、幅広いトピックを論じる予定です。

以下にあげる項目は順不同で、ご要望によっても変化しますので、あくまでも参考と考えてください。
(1)再生された音と生の音：SPレコード、CD、iPodの音(音楽)、またピアノの実演も交え「再生された音」「生の音」の違い、「良い音」「悪い音」とは何か、また「良い音楽」「悪い音楽」とは何かを考えます。

(2)耳の聞こえないパーカッショニストのエヴェリン・グレニー。彼女のパワフルな演奏の秘密と、音の意味、音楽は果たして耳だけで聴くものかを考えます。

(3)音とは何か、ということを本質的に考えた作曲家、ジョン・ケージの作品を通して、音と表現の意味を探ります。

(4)ハリウッド映画音楽の礎「コルンゴルトの音楽」
退廃音楽の烙印を押され、アメリカに亡命した作曲家、コルンゴルトは、現在のハリウッド映画音楽のスタイルを作り上げた作曲家の一人です。

(5)「退廃音楽」
ナチス・ドイツ、ヒトラーによる芸術支配の姿を紹介します。

(6)「日本音楽の歴史」
奈良・平安時代に始まる日本音楽の歴史を概説し、流れをつかみます。
(7)「日本音楽について」
日本の伝統音楽が持つ、日本の社会、文化に通じる特徴を考えます。
「雅楽」
「聲明」
「邦楽」
「中国、韓国、ベトナム、そして日本の雅楽」
(8)「コンピュータ音楽」
実際にコンピュータを持ち込んでの実演
歴史
現在の作品

(9)「ピンク・フロイドのThe Wall」
ロックの持つメッセージ性と政治的意味合いについて

(10)″Low″を巡って
東西を隔てる壁が存在したベルリンで、ブライアン・イーノのプロデュースによるデビッド・ボウイの″Low″が制作された。それを、ベルリンの壁崩壊後に、フィリップ・グラスが″Low Symphony″にした意味は？

(11)「フランク・ザッパ　ロックの横断領域」
シリアスミュージックとしてのロックと現代音楽

(12)「冗談音楽」
ホフナング音楽祭

(13)ベートーベン「第九交響曲」を巡って

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	音楽論		
科目キー	2600001042		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

年末恒例の、ベートーベンの「第九」、現在演奏されているテンポは、ベートーベン自身が指定したテンポとは、かけ離れた速度で演奏されています。

(14)「風の都市 & 不思議」
菅野がニューヨークで初演した、コンピュータと映像のための音楽作品を聞き、コンピュータ音楽の現在を紹介します。

教科書

参考文献

評価方法　出席・レポート

備考　音を扱うという性質の授業ですので、私語は厳禁です。また、出席を重要視します。

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	象徴の諸相		
科目キー	2600001043		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　泰完 井上　明久	内田　種臣	村井　浩一

副題

授業概要　映画『薔薇の名前』を見たり、場合によっては『ダヴィンチ・コード』のいくつかのシーンも参考にしながら、中世に関わるさまざまな興味深い事柄を含むこの映画の成立，内容，構成等の説明から、進んでいろいろな注釈や文献を参考にしながら、そこに現れている記号論的な技法、モダニズムに対比されるポストモダニズムの思想や技法、宗教上のシンボルの意味を学習する。また、中世の都市や文化の特性、そこに現れている人間の在り方、それを取り巻く状況、とくに科学観、宗教論争、異端の問題、大学、図書館、中世の愛、騎士道、笑いと道化などに対する見方・考え方等を取り上げ、さらにはそれらの現代的な意義を論じる。
また，さまざまな物語やわれわれの実際の活動の中で出て来る真相の追求，真理の探求という優れて人間的な知的活動がもつ物語構造に関しても議論を展開する。

授業の到達目標

シラバス　＊はじめに、象徴、象徴的なるものについての概説を行なう。
＊続いて映画「薔薇の名前」を見る。
＊映画の成立，内容，構成等の説明や中世の社会、教会、図書館、愛の問題、異端の問題などを講義する。
＊他のさまざまな分野の映画と比較しながら，映画・映像に関する講義を行う。
＊近代の表現をめぐる記号論的／美学的問題、ポストモダニズムの問題、普遍論争などをテーマに関して講義を行なう。
＊映画の主人公がとる真相究明の態度を手がかりに探求の記号論を展開する。

教科書　プリントを配布する。

参考文献　その都度指示する。

評価方法　定期試験

備考　【担当教員連絡先等】
山田泰完(taik@waseda.jp)

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	プラクティカルリーズニング		
科目キー	2600001044		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高頭　直樹		

副題

授業概要　地域社会や企業等の組織において出会う困難な倫理的決定において、どのように思考・判断すればよいか、ということを中心に学ぶ。(1)倫理的な問題を扱うための実践的な道具や倫理に関わる代表的な問題を示しながら、倫理的推論を行う方法論を紹介し、(2)そのような方法を具体的に適用する技術を習得することを目標にする。(3)倫理的な問題を建設的に解決し、どちらが勝ったかではなくて、どちらがどの点で正しいのかが、熟慮できる創造性を養うこと。「一方の勝ち」は社会の進歩ではないので、新しい「進歩」概念を探求する能力も必要になる。

授業の到達目標

シラバス
1. 「実践的推論」とは何か
2. 「分かる」と「分からない」の構造
3. 「討論」の構造
4. 「論駁」と「説得」
5. 具体的問題による討論

教科書　適宜紹介する。

参考文献　プリント等を配布する。

評価方法　試験および、その他。

備考　一部演習形式で行うので，講義に積極的に参加する意欲のある諸君の参加を期待する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	マスターズ・オブ・シネマ　映画のすべて		
科目キー	2600001047		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	安藤　紘平		

副題　株式会社ヒューマントラスト寄付講座

授業概要　映画界を支える魅力的なゲストを迎え、何故映画にかかわったか、どう映画に取り組むべきか、手法やエピソードなどを語ってもらう。学生には事前に予習させ、講座直前に映像を上映し、質の高いディスカッションを求める。

授業の到達目標

シラバス　【ゲスト講師予定】 多少変更となる場合があります。
山田洋次（監督）、行定勲（監督）、柄本明（俳優）、樋口真嗣（監督）、久石譲（音楽監督）、是枝裕和（監督）、亀山千広（プロデューサー）、大林宣彦（映像作家）、澤登翠（活弁士）、犬童一心（監督）、篠田正浩（監督）、角川歴彦（プロデューサー）、塩田明彦（監督）など

教科書　特になし

参考文献　「映像プロフェッショナル入門」安藤紘平著、フィルムアート社刊　定価2,000円
※早稲田大学生協にて生協組合員は1,800円で購入出来ます。

評価方法　レポート、授業への参加度を総合的に評価する。
※大学院学生と学部学生では、評価基準を別に定め、それぞれに見合った学業成績判定を行います。

備考　本科目は、大学院との合併科目です。
授業時間は4時限ですが、2時限終了後から同じ教室にて当日講義いただく先生に関係のある映画の上映を行いますので、できるだけ参加してください。上映する映画の内容・スケジュールについては授業中およびCourseN@viにて周知します。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	精神分析論I		
科目キー	2600002002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	八尋　華那雄		

副題

授業概要　精神分析とは、フロイトによって創始された人間の神経症的不適応行動理解のための理論とその治療技法を指すものである。その理論は多くの後継者たちによって発展され、人間理解と援助のための大きな体系となっている。精神分析学は人間行動の理解のための主要なパラダイムの一つであるが、他にも人間学的アプローチや行動理論という重要なパラダイムがある。また、人の行動の特徴を把握し、分析（理解）するにはその人のさまざまな機能をアセスメントする必要がある。そこでこの講義では、前期は主に精神的機能の把握（アセスメント）について実習を交えながら講義する。
後期は、人間学的パラダイムや行動理論にも触れながら、精神分析学の歴史・主要な概念・治療技法としての特徴などについて講義する。

授業の到達目標

シラバス
(1)精神分析学の精神医学や臨床心理学における位置
(2)心理アセスメントと精神（心理）療法
(3)心理理解のための3つのパラダイム
(4)理解するということ
(5)アセスメントとアセスメントの方略
(6)知能の査定
(7)認知機能の査定
(8)人格の査定
(9)質問紙法演習
(10)　〃
(11)投影法　1　（ロールシャッハ）
(12)投影法　2　（TATと描画）
(13)その他の検査法
(14)まとめ

教科書
心理学総合事典　海保・楠見監修　朝倉書店　23章心理臨床　p535~558
ヒルガードの心理学（第14版）内田監訳ブレーン出版13章人格　p587~640
異常心理学　村瀬監訳　誠信書房　p29~57

参考文献

評価方法　レポート　80%、　出席・小テストなどの平常点　20%

備考　履修上の注意）：特になし

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	精神分析論II		
科目キー	2600002003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	八尋　華那雄		

副題

授業概要　精神分析とは、フロイトによって創始された人間の神経症的不適応行動理解のための理論とその治療技法を指すものである。その理論は多くの後継者たちによって発展され、人間理解と援助のための大きな体系となっている。精神分析学は人間行動の理解のための主要なパラダイムの一つであるが、他にも人間学的アプローチや行動理論という重要なパラダイムがある。また、人の行動の特徴を把握し、分析（理解）するにはその人のさまざまな機能をアセスメントする必要がある。そこでこの講義では、前期は主に精神的機能の把握（アセスメント）について実習を交えながら講義する。
後期は、人間学的パラダイムや行動理論にも触れながら、精神分析学の歴史・主要な概念・治療技法としての特徴などについて講義する。

授業の到達目標

シラバス
(1)再び心理理解のための3つのパラダイム
(2)精神分析の歴史
(3)精神分析の主要な理論
(4)　〃
(5)治療技法
(6)　〃
(7)受容ということ
(8)行動療法　1
(9)行動療法　2
(10)人間学的アプローチ　1
(11)人間学的アプローチ　2
(12)その他の援助法　1
(13)その他の援助法　2
(14)まとめ

教科書
心理学総合事典　海保・楠見監修　朝倉書店　23章心理臨床　p535~558
ヒルガードの心理学（第14版）内田監訳ブレーン出版13章人格　p587~640
異常心理学　村瀬監訳　誠信書房　p29~57

参考文献

評価方法　レポート　80%、 出席・小テストなどの平常点　20%

備考　履修上の注意）：特になし

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	心理学I		
科目キー	2600002004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	安田　孝		

副題

授業概要　この講義では，心理学の歴史と基本的な考え方について学ぶことを目的としている。心理学は人間の心を対象としているが，現在の心理学は細分化が進んでおり，心の働きとその仕組みを理解するための様々なアプローチが存在する。シラバスにあげた内容を中心に，その目的や方法，明らかになった心の側面を概観する。

授業の到達目標

シラバス
・心理学の歴史と現状
・知覚
・記憶
・行動
・パーソナリティ（人格）
・発達

教科書　特になし

参考文献　講義の際に適宜紹介します

評価方法　定期試験による

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	心理学II		
科目キー	2600002005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	安田　孝		

副題

授業概要　この講義では，心理学の中でも応用的で，日常場面に近い内容ついて学ぶことを目的としている。心理学は人間の心を対象としているが，現在の心理学は細分化が進んでおり，心の働きとその仕組みを理解するための様々なアプローチが存在する。シラバスにあげた内容を中心に，その目的や方法，明らかになった心の側面を概観する。

授業の到達目標

シラバス
・ヒューマンエラー
・コミュニケーションと対人認知
・集団行動
・ストレスと情動・動機づけ
・知性と感性

教科書　特になし

参考文献　講義の際に適宜紹介します

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	環境と生物		
科目キー	2600002006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤森　嶺	小泉　博	

副題　農業生産と科学技術(藤森)

授業概要　【藤森担当部分】現在の地球環境問題は人間が地球資源を独占的に使用して大量のエネルギーを得、化学工業製品を生産していることに起因している。人間社会という小さな環境の向上が地球全体の大きな環境に負荷を与えている。食糧生産と農薬、遺伝子組換え作物に特に注目して環境と人間の生活について考察したい。

授業の到達目標

シラバス　(藤森担当部分)
1. 地球の歴史と生物:地球46億年の歴史の中で生命体が誕生した。その進化の先に出現したヒトは火と道具を使うことを出発点に、技術の進展をはかり生活の形態を変化させ続けてきた。それはヒトの生活の快適化に貢献しているが、環境への負荷も大きなものとなってきた。
2. 食糧生産と化学技術:1万年前から始まった農耕は人口増加を支えてきたが、最近の急激な人口増加には化学肥料と化学農薬の貢献が大きい。
3. 化学農薬と環境:化学農薬は現在の農業には必須とされるが、環境問題の元凶の一つでもあった。
4. フェロモン、微生物農薬、そして有機農産物:環境保全型農業の登場。有機農産物の需要増大について考える。
5. 農薬と遺伝子組換え作物の関係:遺伝子組換え作物登場の背景。遺伝子組換え作物の急成長を検証する。
6. まとめとテスト

教科書　(藤森担当部分)
教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考文献　(藤森担当部分)
地球環境システム/円城寺　守編著/学文社
農薬学/佐藤仁彦・宮本　徹編/朝倉書店
微生物農薬/山田昌雄編著/全国農村教育協会

評価方法　(藤森担当部分)
担当授業の最後の回に30分程度の試験を行う。

備考　出席を重視する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ゲーム理論		
科目キー	2600002008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	樋口　清秀		

副題

授業概要　ゲーム理論は経済学、経営学、政治学、社会学、生物学、近年は物理学などで用いられる重要な数理的分析手法であり、何らかの相互関係（ライバル関係、協調関係、等々）があるプレイヤーの戦略形成のありようや、プレイヤー間の「闘い」の結果生じる社会的均衡状態などを扱う。 講義では、オークションや家の取引、就職のマッチングなど、身近な応用問題を紹介することから出発し、ゲーム理論の基本的な概念の応用を数学的な証明を含めて解説することを計画しています。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	情報倫理		
科目キー	2600002009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　情報技術の進展・普及にともない、個人情報や著作権など、流通する情報の取りあつかいをめぐる問題が重要視されるようになってきた。情報倫理学は、そのような情報の取り扱いをめぐって生じる問題をその学問領域とする。
本講義では、有害情報や、プライバシー、表現の自由、知的所有権の問題など、近年の主要な問題を取りあげ、情報倫理上の問題に対して、「こうすべき」という処方箋を提供するのではなく、そのような問題がなぜ発生するのかの解明にまで一歩踏み込んだ視点の習得を目標とする。

授業の到達目標

シラバス　以下のトピックスについて、1から3回の講義を行なう。
情報倫理の射程
・倫理学の基礎
・情報と専門家倫理
個人情報をめぐる問題
知的所有権をめぐる問題
メディア的実践をめぐる問題
表現と倫理

教科書　特に指定しない。

参考文献　参考文献については適宜講義中に指示する。

評価方法　レポートによって行なう。その他不定期に行なう課題等も考慮する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	デジタル家電の興亡		
科目キー	2600002010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	伊藤　裕太		

副題　情報家電産業の進化と国際競争の激化の中で、これからの日本の取るべき進路を考えます。

授業概要　昨年に引き続き今年度もこの科目を担当します。
2008年になるとサブプライム問題がいよいよ表面化して、世界経済に不透明感が漂い始めました。経済の専門家でも近い将来が予測できないようなこうした環境下で、皆さんが世界に対する自らの視点を確立し、社会に出てからの行動規範を築いて行くことはそう簡単なことではありません。
本講義では、毎年、デジタル化の両輪とも言うべきテクノロジーとコンテンツについて触れてきています。テクノロジーやコンテンツの分野における日本の立場・位置も10年前・20年前とは大きく変化してきています。この講義では、1980年代・90年代・2000年代のデジタル化の勃興・発展をたどりながら、今後の日本の強みとなるであろう分野の展望を考えて行きたいと思います。また今年は、次世代DVD覇権争いが東芝のHD-DVDからの撤退発表でソニーの提唱するブルーレイ方式で決着がついたり、マイクロソフトによるヤフーの買収提案が行われたりと、この科目に関連する話題が多く、この授業のテーマを学ぶにはよい年です。コンテンツの分野では、2003年が「千と千尋の神隠し」のアカデミー賞受賞で記念碑的な年となり、日本のこの分野における優位性に注目が集まりました。また、最近はソフトパワーとかジャパンクールなどの概念も注目されています。2008年もこの分野に時間を割きたいと考えています。
1980年代・90年代は海外の国との競争をあまり意識しなくても、日本は十分に競争できた時代ですが、2000年代に入ってからは、中国や韓国との競争で、日本の産業も視点を広げて行かないと勝ち残れない時代となりつつあります。
皆さんが卒業する2010年代は世界や日本がどうなっていくでしょうか？授業を通して、日本が豊かに、かつ安全に暮らして行けるデジタル化社会について一緒に勉強して行きましょう。

授業の到達目標

シラバス　＜第1回＞
■はじめに
この講義で学ぶこと
この講義で扱うテーマ
この講義で扱うメディア領域
大学における授業の進め方
これからの社会で待ち受けていること

＜第2回＞
■参考文献紹介
アナログからデジタルへ
デジタルメディアの覇権の歴史

＜第3回＞
■パソコンの歴史
インターネットとは？
統合型ネットワークと分散型ネットワーク
WWWとは？
情報スーパーハイウェー構想
インターネットでできること
ネット社会がもたらしたもの

＜第4回＞
■ベンチャービジネス入門
コンピュータ億万長者
インターネットバブルの崩壊
孫正義研究・三木谷浩史研究

＜第5回＞
■流通手段としてのインターネット
秘密鍵と公開鍵
坂村健とTRON OS
ICタグ

＜第6回＞

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	デジタル家電の興亡		
科目キー	2600002010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

■メディアとしてのインターネット
Google研究
Pod Casting
Web2.0

＜第7回＞
■ネット社会の裏側にあるもの
国家と安全保障
ネットワーク社会の弊害
（ネットワーク犯罪、ウィルス）

＜第8回＞
■ネット時代の音楽流通-iPodを中心として
ナプスターとMP3
ネットワークの著作権、ウィニー問題

■課題説明
前期は試験を行いません
レポートの提出をもって試験にかえます

＜第9回＞
■マルチメディアとエンターテインメント
-デジタル国富論（ゲーム、アニメ、漫画を中心として）-
ゲーム機
ファミコンからPS3まで
ネットワークゲーム機
デジタル携帯ゲーム機

＜第10回＞
■ケーブルテレビ／衛星放送事業
ケーブルテレビ事業のフレームワーク
日本におけるCATVと衛星放送
多チャンネル時代のソフトビジネス
テレビのデジタル化、世界のテレビのデジタル化
ブロードバンド

＜第11回＞
■携帯電話とPDA
iモードの登場
第3世代携帯電話
携帯電話のPDA化
これからの携帯電話

＜第12回＞
■これからの日本の国富を考える
アジアの中の日本
うさぎ(アメリカ)とかめ(日本)とドラゴン(中国)と象（インド）
BRICs、Next11

■最新メディア事情
情報機器、通信機器、AV家電の融合
最新デジタル情報家電

教科書　適宜、資料を配布します。

参考文献　授業内で参考文献リストを配布

評価方法　出席をとります。評価の際は、出席を重視します（60点）。試験は行わない予定です。代わりに、レポートを提出していただきます（40点）。レポートの提出期限は7月末です。レポートの課題は6月初旬に説明します。また、加点制度

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	デジタル家電の興亡		
科目キー	2600002010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

を採っています。授業への参画に応じて加点しています。

備考　伊藤　裕太　yutaitocello@yahoo.co.jp

関連URL:　講師紹介
http://www.polaroid.co.jp/aboutpola/press/04

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	現代企業論		
科目キー	2600002011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要　日本企業の人事管理制度とその変化について講義する。 90年代以降の経済低迷の中、日本企業は過剰設備、過剰債務、過剰人員の解消に追われ続け、その過程で多くの変化が生じた。 特に雇用面では、正社員採用の減少と非正規社員、派遣社員、請負労働の活用が急速に進んだ。正社員管理についても、社員の育成、訓練に企業側が全面的に責任を負う形態から、社員自身が自らのキャリア形成に責任を持つ形態への移行が生じつつある。 本講義では特に雇用面に注目して、日本企業の人事管理制度とその変化について講義する。

授業の到達目標

シラバス
・社員格付け制度
・採用管理
・配置と異動
・教育訓練
・人事評価
・昇進管理
・報酬管理
・労働時間
・仕事と生活
・雇用調整
・外部人材の活用
・労働組合、労使関係

教科書

参考文献

評価方法　期末試験1回のみで評価する。
期末試験未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
試験は持ち込み不可。
出席点は出席状況を見て判断する。

備考

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
(学内からのアクセスに限定)

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	生命倫理		
科目キー	2600002012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森川　功		

副題

授業概要　医科学の分野では、発見→研究→応用→実用のテンポが極度に短縮される一方で、倫理、道徳および法律の面での対応が遅れている。本講義では、まず生命倫理学の成立に影響した数々の出来事、代表的な倫理理論、生命倫理の基本原則を紹介し、その後に医科学分野の具体的な事案を採りあげ、それらの事案が基本原則に照らして正当化されるか否かを検討する。本講義のねらいは、倫理問題を基本原則に照らして考え、自己の主張を論理的に展開することができるようになることである。

授業の到達目標

シラバス

1. 生命倫理学とは
2. 生命倫理学の成立に影響した数々の出来事
3. なぜいま生命倫理学なのか
4. 倫理理論
   (1)直観主義　(2)義務尊重主義　(3)結果尊重主義　(4)権利重視の倫理
5. 生命倫理の基本原則
   (1)侵害回避の原則　(2)恩恵の原則　(3)自律の原則　(4)公正の原則
6. インフォームド・コンセント
7. 基本原則の適用による具体的な事案の検討
   (事案として何を採りあげるかは履修者との相談で決定する)
8. 将来に向けての総括
   (ES細胞研究の倫理性の問題を採りあげる予定である)

教科書　レジュメを配布するので、教科書はない。

参考文献　(1)木村利人『自分のいのちは自分で決める』(集英社、2000年)
(2)森川　功『生命倫理の基本原則とインフォームド・コンセント』(じほう、2002年)

評価方法　レポート(作品を含む)・平常点

備考　履修者には、講義において情報を得ることばかりでなく、自分自身で深く考えることも要求する。また、講義中に問いが発せられた場合には、積極的に発言することを期待する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	環境倫理		
科目キー	2600002013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要

科学技術の実践は、何らかのかたちで環境とその中で生命と暮らしを営んでいる（人間を含む）生命体に大きな影響を及ぼしていく。それゆえ、科学技術に携わる者は、誰にとってどのような価値をもつ環境を実現するかという環境倫理の問題を避けて通ることはできない。しかし、これまでの価値中立的な科学技術のもとでは、近代化＝西欧化をめざす環境開発が推進され、地域の文化特性を生かした開発が行なわれてこなかったのである。

一般に環境問題はうまく定義できない意地悪な問題である。問題を解こうとすると、次々に新たな問題が現れるからである（特定の専門分野の問題にうまく絞り込むことができない）。こうした問題に立ち向かうには、問題を科学的に解決するだけでなく、環境倫理に対する深い理解に基づく豊かな環境のビジョンを構想していく必要がある。

自然環境・人工物環境・社会−文化環境・情報環境の問題が複雑に絡まりあう多元的な環境問題を解決するためには、なぜ人類は地球生態系を破壊する可能性を持っているのか、それを回避する有効な決定システムをもっているのか、といった環境倫理に関する根源的な問いに立ち向かうことが求められる。例えば、(1)自然の生存権の問題（生物の種、生態系、景観などにも生存の権利がある）、(2)世代間倫理の問題（現代世代は、未来世代の生存可能性に対して責任がある）、(3)地球全体主義（地球の生態系は開いた宇宙ではなく、閉じた世界であり、利用可能な物質とエネルギーの総量は有限であるため、配分の問題が根本の問題となる）といった問題がそれである。

この授業では、「環境倫理」に関する理論的な講義を行うと同時に、リアルな環境問題をケーススタディとしてとりあげ、異なる立場からディスカッションを行う試みを展開する。同じ問題が視点のとり方によって異なる意味をもつことを理解し、それに対してどのような行動をとるべきかを考えることは、きわめて有意義な体験となるであろう。

授業の到達目標

シラバス

科学技術の高度化に伴い、環境技術・情報技術・バイオテクノロジーを想起してみれば明らかなように、私たちの日常生活もドラスティックに変容しつつある。このため、科学技術と社会の関係（STS;Science, Technology, and Society）を深く理解することは、21世紀の科学技術に携わる者にとって必須の教養とならざるを得ない。「環境倫理」はそのSTS教育の重要な柱となるものである。

特に、経済・社会・文化のグローバル化が進み、終身雇用制も次第に姿を消しつつある今日、自分が所属している集団・組織の不利益になることでも、広い意味での社会的公正さという視点から判断して、敢えて遂行するだけの倫理的判断力が、科学者やエンジニアに求められるようになっているのである。

この講義では、抽象的な理論にとどまらず、なるべく多くの教訓を含む興味深いケーススタディをとりあげ、ディスカッションを通してそこに潜む問題点を探ることによって、環境倫理のダイナミックな本質に触れるようにしたい。
具体的には、次のような項目をとりあげていく予定である。

（1）環境倫理に関する基本概念
・外界と環境、生物多様性、サスティナビリティ（持続可能性）、保存・修復・再生など。
・倫理と道徳（モラル）、価値、評価、権利、公正さ、行為と規則、義務と責任など。
・科学技術倫理と環境倫理

（2）応用倫理としての環境倫理
・自然の生存権（人間中心主義からの脱却）
・過去世代・未来世代に対する現在世代の責任（世代間の公平性）
・地球全体主義（フロンティア倫理、救命ボート、宇宙船倫理）
・開発と保存（経済と倫理）

（3）環境倫理の理論
・人間優先主義に立脚した考え方（共有地の悲劇、社会的ジレンマ）
・非・人間優先主義の立場から（動物の権利、土地の倫理）
・環境的公正とエコフェニミズム
・環境リスクと公正
・施設立地問題とNIMBY
・自然観・世界観（ディープエコロジー、エコフェミニズム、ガイヤ仮説、宗教など）

（4）ケーススタディ
・自然生態系の破壊の問題（森林・土・水など）
・化学物質による環境汚染の問題、農薬の問題
・資源・エネルギー問題
・廃棄物処理施設の立地問題
・環境・景観の開発と保存の問題

教科書

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	環境倫理		
科目キー	2600002013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

参考文献

評価方法　授業中の演習、およびディスカッション。オプションとして、期末課題を検討。

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	リスクマネジメント論		
科目キー	2600002014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村山　武彦		

副題　環境や災害を中心としたリスク管理のあり方を考える。

授業概要　近年の環境問題や事故・災害の中には、極めて低濃度でありながら影響を及ぼしたり、稀ではあるが甚大な被害をもたらす事例が出てきている。本講では、こうした問題を「リスク」というキーワードで捉え、アセスメントとマネジメントに分けて考え方や手法を紹介する。前半では、リスクアセスメントを中心にリスクの概念や技術的な推定や評価の方法とともに、具体的な事例を紹介する。後半では、マネジメントの基礎論から法制度をはじめとする社会科学的な観点も含めてリスク管理のあり方を論じる。

授業の到達目標

シラバス
1) オリエンテーション
2) わが国におけるリスク管理の失敗:環境問題を例にして
3) リスク概念とマネジメントのフロー
　リスクの同定／予測／評価／管理
4) 環境リスク:推定と評価＋事例
（ディーゼル排ガス（DEP）、アスベスト、トリブチルスズ（TBT）ほか）
5) 技術的リスク:ETAやFTA等による技術の安全解析
（原子力発電を中心に）
6) 自然災害によるリスク:発生頻度の推定とリスク評価
（地震災害を中心に）
7) マネジメントの方法論
8) リスクマネジメントと保険の機能
9) リスク認知とコミュニケーション

教科書

参考文献　随時紹介

評価方法　演習課題、および期末試験

備考　教員連絡先:tmura@waseda.jp

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	科学技術政策論		
科目キー	2600002015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　日本および諸外国における科学技術政策の歴史と現状について学ぶことが本講義のねらい。日本では1995年に科学技術基本法が制定され、翌96年からは5年間を1タームとする科学技術基本計画が始まり、厳しい財政状況にも関わらず、多額の政府研究開発投資がなされる等、科学技術に対する政府や産業界からの期待は高い。
本講義では、こうした状況はいつ頃、どのような経緯で始まり現在に至っているのかについてまず歴史的にふり返る。その上で、科学技術が如何なる思想や構造に基づいて推進されており、それらは（近年）どう変化しつつあるのかについて概説する。

授業の到達目標

シラバス　以下の流れに沿って概説する予定である。
1．科学技術政策の見方
2．アマチュア科学からアカデミズム科学へ
3．アカデミズム科学から体制化科学・産業化科学へ
4．体制化科学・産業化科学の展開
5．公共のための科学技術政策に向けて

教科書　指定しない

参考文献　授業の中で随時紹介する。

評価方法　定期試験による

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	日本産業の将来設計		
科目キー	2600002016		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	眞野　芳樹		

副題

授業概要　急激に変化する経済環境に対して、個々の企業も産業全体も変化を余儀なくされている現在にあって、将来進み行くべき姿は何かを経済学的に考えるための講座である。産業活動に欠かせない自然資源、人的資源、金融資源、技術資源が過去から現在に向かってどのように変化してきたか、そして今後どのように展開していくのかを考えてみる。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	消費者の経済学		
科目キー	2600002017		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	眞野　芳樹		

副題

授業概要　本講義では、消費者の立場から、現代の経済問題を理論的・現状分析的を解説する。まずミクロ経済学、マクロ経済学、国際経済学の基礎的経済内容をやさしく解説する。その解説方法として、消費者教育支援センターが作成したテストを用いて、その内容を解説することで、基礎的経済概念、市場経済、財政、金融、国民所得、国際経済、消費者問題、時事問題を学んでいく。また、米国、韓国、オーストラリア、ニュージーランドでのテスト結果を日本と比較することで、各国の経済教育の現状も解説する。本講義は、消費者として、納税者として、市民として、賢く生きるための基礎的経済知識を提供するものである。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	雇用環境と労働		
科目キー	2600002018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要　変化しつつある日本の雇用環境について講義する。
90年代半ばからの景気後退に伴い、日本経済には様々な変化が生じている。それは働く環境についても例外でなく、人員削減や賃金減少、非正規労働者や無業者の増加など、これまでの日本ではみられなかった現象が次々と生じている。
ただ、これらの変化の背景には、景気後退以外にも、人口構造の変化、国際競争の激化、進学率の上昇など多様な要因が存在している。雇用環境の変化の意味を正確に理解するためには、その背景と関連づけて考えることが重要である。
本講義では、現在観察されている雇用環境の変化が、どのような要因によって生じているのかを、可能な限り具体的な数字に基づいて検証する。

授業の到達目標

シラバス
・若年者の雇用情勢の変化
・女性の働き方の変化
・契約、派遣、請負
・雇用の流動化
・雇用慣行の変化
・成果主義
・労働時間
・高齢化
・格差

教科書

参考文献

評価方法　期末試験1回のみで評価する。
期末試験未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
試験は持ち込み不可。
出席点は出席状況を見て判断する。

備考

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
(学内からのアクセスに限定)

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	環境アセスメント論		
科目キー	2600002019		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要　様々な施設の建設に際しては、予め環境影響を予測し好ましくない影響を回避する環境アセスメントの手法が定着しつつある。わが国でもようやく国の制度として位置付けられるようになったが、様々な課題も多い。本講では、まずアセスメントの基礎や具体的な手法、わが国の法制度的なシステムの概要を示す。その後、国内外の事例を通じて、制度上の課題、住民参加のあり方、最近の新たな試みから今後のアセスメントのあり方を論じる。

授業の到達目標

シラバス
- 環境アセスメントとは−最近の事例から
- アセスメントとシステム分析
- 検討範囲の絞込み−スコーピングとスクリーニング
- 環境影響の予測
- 環境影響の評価
- 多様な関係者とのコミュニケーションの方法
- 日本の制度と事例
- 外国の制度と事例
- 国際協力と環境社会配慮
- 新たな流れ−戦略的環境アセスメントとは何か

教科書

参考文献

評価方法　演習課題、および期末試験を予定

備考　教員連絡先：tmura@waseda.jp

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	自然生態調査論		
科目キー	2600002020		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大堀　聰		

副題

授業概要

身近な自然である雑木林は、約50年前までは生活の糧であった。都市部を除き、煮炊きや暖をとるための薪炭、シイタケ栽培のためのホダ木、畑への堆肥やサツマイモ苗床譲熱剤、家畜の刈敷や飼料など、私たちの生活と深く結びついていた。生活の糧を提供してくれる林は「ヤマ」としてあがめられ大切に使用されていた。

第二次世界大戦に敗れ、私たちの生活は大きく変化した。生活革命や燃料革命により落葉も落枝も不用になったため、下刈りや落葉採取も萌芽更新のための定期的な伐採も行なわれなくなった。その結果、管理放棄された雑木林では二次遷移が進行し、常緑樹や外来種が侵入した。

管理放棄された林には、新たな価値が生まれた。土地としての価値である。1960年代の高度成長期には、都市部に人口が集中し、林は宅地供給源となった。首都圏の狭山丘陵でも、1970年代から大規模な宅地開発が行なわれ、町は何倍にも大きくなった。

身近な林には、土地としての価値しかないのだろうか。物質生産、水や栄養塩類循環、大気の浄化、気候の緩和、崩壊阻止、保水効果や緑のダムとしての水源涵養など、林は目に見えない多くの恵みを与えてくれる。また、雑木林は最も身近な自然であり、小さな面積でも生物的多様性（遺伝子・種・生態系・景観の多様性）の維持にとって重要な役割を果たしていることが明らかになっている。都市部に点在する小さな緑のネットワークが、動植物の分散を助け多様性の維持に寄与している。

緑は量だけではなく、質も重要である。移動力の小さいカタクリやシジミチョウなどは、雑木林でしか生きることが出来ない種（遺存種）である。このような種は雑木林（落葉樹林）が管理放棄され遷移して常緑樹林になれば、すべて滅びてしまう。

保全とは、持続可能（sustainable）な利用による人と自然の共存の概念である。過度な利用や開発は、自然環境に回復不能なダメージを与える。本講義では首都圏の緑の孤島と呼ばれる狭山丘陵や本庄キャンパスのある大久保山の自然環境を題材に、生物的多様性に配慮した身近な自然との共生のあり方を考える。

授業の到達目標

シラバス

1.ガイダンス
2.里山の生物
3.生き物たちの生活（1）
4.生き物たちの生活（2）
5.里山の生態学（1）
6.里山の生態学（2）
7.里山の生態学（3）
8.里山の生態学（4）
9.里山の問題点（1）
10.里山の問題点（2）
11.里山の保全（1）
12.里山の保全（2）
13.里山の保全（3）

教科書

なし

参考文献

保全生態学入門（1996）　鷲谷いずみ・矢原徹一　文一総合出版
保全生物学（1997）　樋口広芳　東京大学出版
保全生物学のすすめ(1997)　リチャード　B. プリマック　小堀洋美訳　文一総合出版

評価方法

筆記試験

備考

受講者数が多すぎなければ、林を散策し実際の様子を見る。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 （2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	心理療法		
科目キー	2600002021		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　信之		

副題

授業概要　「心理療法」、「カウンセリング」という言葉は、専門家以外の人々にも知られるようになってきた。しかし、いろいろな立場があることは十分には知られていないのが現状だろう。そこで本授業では、1950年代に登場し、現在でも広く用いられている3つの心理療法を選んで紹介する。とりあげるのは、アルバート・エリスの論理療法、カール・ロジャーズのクライエント中心療法、エリック・バーンのTA（交流分析）である。

授業の到達目標

シラバス
1)種々の精神障害（1回）
2)精神科における臨床心理士の仕事（2回）
3)論理療法の理論（3回）
4)論理療法による治療例（4回）
5)クライエント中心療法の理論（5-6回）
6)クライエント中心療法の治療例（7回）
7)TAの理論（8-10回）
8)TAによる治療例（11回-）

教科書　資料を授業中に配布する（3回の授業で1回配布というペースの予定）。そのなかで、参考文献を示す 。

参考文献

評価方法　授業中の小レポートと定期試験による。

備考　文章による自己表現が苦ではないことが望ましい。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	テクノストレス		
科目キー	2600002022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	春日　伸予		

副題

授業概要　テクノストレスとは，情報社会の主役と言えるコンピュータを操作することによって生じるストレスを指すが，この授業では、コンピュータによるストレスだけでなく，現代社会におけるストレス全般について、ストレスとはどういうものか、いかに対処していけばよいのかということに関して解説する。そして、学生一人一人が、ストレス状態やその原因に関する知識やストレス状態を軽減したりストレス予防に関する知識を取得することを目標としている。特に，自分のストレス状態について正しく把握できることを目指している。

授業の到達目標

シラバス

1.ストレスの発症機序
　ストレスの発症過程とストレッサー
2.ストレスと個人差
　ストレッサーに対する反応の個人差
3.ストレスへの対処方法
　ストレスへの対処行動とストレッサーの処理
4.ストレスに陥りやすいタイプとその修正法1
　無力感の強いタイプ、タイプA行動パターン
5.ストレスに陥りやすいタイプとその修正方法2
　帰属スタイル、イラショナル･ビリーフ
6.深刻なストレスを生む状況とその克服
　PTSD（外傷性ストレス障害）
7.感情の統制1
　音楽療法の理論と実際，アロマセラピーの理論と実際
8.ストレス対処に必要な自己変革
9.コンピュータ（機械）によるストレス1
　身体的なストレスとその対処方法
10.コンピュータ（機械）によるストレス2
　精神的なストレス（テクノストレス）に関する解説
11.情報環境におけるストレス
　インターネット依存に関する解説
12.期末試験（教場）

教科書　授業で配布する資料がすべて。

参考文献

評価方法　期末試験。100点満点中60点以上を合格とする。
ただし，授業回数の1/3以上の欠席をした場合は期末試験受験(単位取得)の資格を失う。

備考　シラバスをよく読んで授業意義と概要を理解しておくこと。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	マルチメディア政策論		
科目キー	2600002023		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	三友　仁志	田尻　信行	

副題

授業概要　情報通信分野における近年の急速な技術革新に伴い、様々なサービスが安価に利用可能になるとともに、メディアが多様化し、コンテンツの流通も活発となっているが、ここでの政策の役割は大きなものがある。
　政策の立案・実施においては、市場メカニズムをベースとしつつ、必要に応じてさまざまな政策手段を講ずることによって、国民生活の向上や経済全体の成長等を図っていくことが重要となっている。
　本講義では、市場の現状を踏まえつつ、情報通信、メディアに関する主要なトピックスをいくつか選び、実際の政策、その評価と分析等について体系的に解説する。情報通信等に関する政策を理解するための基礎的な概念を説明するとともに、各テーマについて市場の現状と日本における政策について解説する。外部講師による講義も実施する。

授業の到達目標

シラバス　2008年度の講義項目（案）は以下のとおり（2008年9月14日改定）。
ただし、今後、変更の可能性もあるので随時最新版をチェックされたい。
・ガイダンス、序論 [初回]
・電波政策（基本的枠組み）
・放送政策（基本的枠組み）
・日本の情報通信戦略
・情報通信政策に関する規制とその緩和
・ユニバーサルサービス
・NGN・NWGNの動向と政府の取組
・電子政府
・ブロードバンド整備
・融合法制
・通信事業に関する政策実務
・教場での期末試験 [最終回]

教科書　教科書は特に定めない。
講義時の資料については、必要に応じてCourseN@viにアップロードする。講義時に紙媒体での配布は原則として行わないので、各自で事前にダウンロードして授業に臨むこと。

参考文献　必要に応じ、講義の都度、指示する。

評価方法　講義ごとの課題（各回講義時に理解度確認のために実施、40%）、期末試験(60%)

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	技術開発論		
科目キー	2600002024		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	後藤　芳一		

副題

授業概要　工学における研究と技術開発を社会的ニーズに適合させながら、合理的かつ効率よく遂行するために必要な基礎知識を講ずる。基礎研究から公的な大規模プロジェクト研究、企業における技術・製品開発研究、またそれを支える技術政策の在り方について取り扱う。技術予測、課題設定のあり方、組織、計画立案と資金の導入、執行と人・技術の中間と最終評価、技術の社会的受容性、技術の移転、投資の回収、及び国際協力、日本の技術開発と欧米、アジアの技術開発、技術政策などについて具体的事例を含めて明らかにする。

授業の到達目標

シラバス　講義では、プロジェクトマネジメント、産学官の連携、ベンチャーや起業、専門人材による支援、インキュベーション施設、販売促進、ファンドとベンチャーキャピタル、それらを活用した事業やプロジェクトの企画、政策の立案や運営などに触れる。講義には、必要に応じて、企業や公的機関でそれらを実際に行っている専門家を招き、具体的な事例をもとに考える。

教科書　毎回、レジメを配布する。

参考文献

評価方法　教場試験またはレポートによる。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	日本企業とワークライフバランス		
科目キー	2600002025		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	渡部　卓		

副題　生きがいのある生き方の構築にむけて

授業概要　ワークライフバランスという言葉が頻繁にメディアに登場し人々の関心を集めています。2008年の時代のキーワードとしてもトップ10にランクされ、企業での関心と
取り組みが盛んになっています。

『ワーク・ライフ・バランスとは、老若男女誰もが仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、さまざまな活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態である。このことは、"仕事の充実"と"仕事以外の生活の充実"の好循環をもたらし、多様性に富んだ活力ある社会を創出する基盤として極めて重要である』
と東京都男女平等参画審議会による定義されています。

また近年高まる職業性ストレスやハラスメント、モチベーションの低下など
が社会的な問題になっています。またこれらの現象は企業にとっても大きな
生産性の阻害要因、法的なリスク、働きがいの喪失など、心の健康を崩す原因と
して明らかになってきています。
これらのトラブルが原因でうつ病や早期離職、長期欠勤、職場の人間関係の
崩壊などを招くことも多く、企業でのメンタルヘルス対策を含む
ワークライフバランスへの施策は企業、個人にとっても喫緊の課題になっております。
企業とその働く人々のワークライフバランスへの理解を深め、有効なマネジメント施策を企画実行することは経営戦略での要のひとつとなろうと予測されます。
本講座ではマスコミなどでよく取り上げられる子育て支援や制度論、少子化論などの
見地はもとよりさらに包括した経営学的見地、社会心理、メンタルヘルスなど
企業をとりまくワークライフバランスの課題を幅広く抽出し、分析、議論、
理解、改善案の提案までをグループでの共同作業を通じて理解していきます。
そのため基本的に一方的な講師からの講義スタイルではなく、学生の講義への発言、発表などをグループワークで講義時間外でも行うことも期待されています。
職場や生活への関心が高く、社会や産業への問題意識の高い、
また自発的な発言、他の受講生とグループを組み、講義の時間外での
共同作業や話し合いを厭わない学生の登録を期待します。

(特徴)
日本ではワークライフバランスを扱う講座はごく少数で2?3大学のみです。
企業とはどんなことをするのか？
働くということはどういうことか？
生きがいとは？
働くことの基本は　心身の健康維持
メンタルヘルスやストレスマネジメントを知る
グループ発表を取り入れる
グループ学習から学ぶ
グループ発表の内容を成績に加味する予定

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
グループ発表のテーマへの視座

人は何故働くのか
働くことは苦痛なことか
働かなくて済めば幸せか
人はどのような仕事や生活の時間的なバランスを求めているのか
仕事とプライベートは対立するものなのか
転職が増えているのはなぜか
何歳まで働きたいか
ベンチャーと大企業、官庁で働くことの違いは
父親、母親、兄弟の職場でのWLBへの取り組み

自分はどんな働き方をしたいのか
自分はどんな人生を歩みたいのか

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	日本企業とワークライフバランス		
科目キー	2600002025		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

そのためには何を知って、何を考えたらよいのか
この講座から何を学ぶか、何を目標とするか

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
グループ発表のテーマのカテゴリー
人材育成と評価
資格取得支援、社内留学
透明な人事評価、360度評価
コーチング、メンタリング
働く側に配慮した職場志向
ヘルシー・カンパニー　MM施策
再就職斡旋。定年延長
社員の意欲を向上させる仕組み
在宅勤務
フレックスタイム
幅広い人事制度
FA制度、社内公募
子育てに配慮した職場づくり
再雇用制度
育児休業の啓発
育児休業への保障、補填
保育施設への利用援助
企業や個人の実例紹介
海外の事例紹介

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
グループ発表のテーマのサンプル
日本企業のワークライフ バランス マネジメントへの取り組み
日本政府のワークライフ バランス マネジメントへの取り組み
自治体のワークライフ バランス マネジメントへの取り組み
海外企業のワークライフ バランス マネジメントへの取り組み
海外政府のワークライフ バランス マネジメントへの取り組み
NPOのワークライフ バランス マネジメントへの取り組み

授業の到達目標

シラバス　暫定のスケジュール

9月30日　1.　イントロダクション　グループ組成
10月　7日　2.　ワーク・ライフ・バランスとは
10月14日　3.　企業活動とは
10月21日　4.　企業とメンタルヘルス施策
11月28日5　ストレスマネジメントの重要性
11月17日　6.　家族、ジェンダー、少子化問題
11月11日　7.　キャリアとは、多様化する働き方
11月18日　8.　ダイバーシティマネジメント、海外事例
11月25日　9.　グループ発表
12月2日　10.　グループ発表
12月9日　11.　グループ発表
1月13日　12.　グループ発表
1月20日　13.　グループ発表

教科書　特に指定しない

参考文献　インターネットでの検索
新聞メディア
日本経済新聞、4大新聞
日経産業新聞
フジサンケイビジネスアイ（日刊紙・月曜版）
ネットニュース各種

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	日本企業とワークライフバランス		
科目キー	2600002025		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

政府・公共団体の各種資料・白書
ワークライフバランスに取り組む企業の会社案内
親戚、OB、OGの話
労働経済学関連書籍
『会社うつは上司の責任です！』(大和書房)　渡部　卓(著)
『会社のストレスに負けない本』(大和書房)　渡部　卓(著)
『メンタルヘルス対策の実務と法律知識』(日本実業出版社)渡部　卓(著)
ワークライフバランス社会へ―個人が主役の働き方 大沢 真知子 (著)
新しい人事戦略 ワークライフバランス一考え方と導入法一　小室 淑恵　(著)

評価方法

レポートの評価と、講義への出欠、講義への参加態度、講義中の発言、グループワークへの参加態度など総合して評価する。
期末試験は持ち込み不可。自由記述方式を予定。

講義に内容についての事前質問については、
watanabe@lifebalance.co.jp　へ。
評価・採点方法に関する質問は遠慮ください。

備考

渡部卓
早稲田大学政経学部卒業後、モービル石油入社。その間に海外派遣留学生として、米国コーネル大学で人事組織論を学び、引き続き、米国ノースウェスタン大学／ケロッグ経営大学院でMBAを取得。その後、ペプシコ社、AOL、シスコ・システムズ、ネットエイジなどで米国本社勤務を含む、本部長、副社長職などを経て現在、株式会社ライフバランスマネジメント 代表取締役社長
中華人民共和国・西北工業大学・大学院　客員教授
認定コーチングメンター、認定 産業カウンセラー、心理相談員
日本産業カウンセリング学会 理事、
日本うつ病学会、日本心身医学会、国際EAP協会などの正会員。
LOHAS　ビジネスアライアンス理事
【著書】『部下を会社うつから守る本』(大和書房)
『こころをラクにする・メンタフダイアリー』(日本実業出版社)
『会社のストレスに負けない本』(大和書房)
『メンタルヘルス対策の実務と法律知識』(日本実業出版社)

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	健康の生態学		
科目キー	2600002026		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	吉永　真理		

副題

授業概要

本講義では環境が健康に与える影響について、多様なトピックスを取り上げ、論じていく。人間と環境の相互作用を見つめながら、健康と生態の関係性を包括的な視点で論じることができるようになることが本講義の目的である。

主として、ヒトの環境への適応を研究する分野である人類生態学的視点と研究の方法論にたって、健康の問題を考えていく。その際、集団としての人類の適応の問題と個としての人間の健康の問題の二つの側面からアプローチする。人類は環境に適応しながら地球上の広い範囲に活動域を拡大してきた。その過程では生物学的、社会的、文化的および行動上の適応がなされ、種の存続や個体の生命を脅かす多様な健康問題を克服してきた。

講義の前半では人類が直面してきた健康問題の歴史的変遷を地球規模の気候変動のような自然環境と文明誕生に始まる社会的環境との関連から論じる。

後半はリプロダクティブ・ヘルス、新しい感染症、生活習慣病や環境問題の健康影響などの現代の健康問題について最近の論点を紹介しながら解説する。

受講者が積極的に講義に参加できるように、毎時間終了時に講義に関する質問を提出してもらい、次回講義時に解説を行う。知識を確認できるようアンケート形式の小テストを実施し、講義ごとの題材に対する自分なりの見解がまとめられるようにしたい。

授業の到達目標

シラバス

1.イントロダクション:時間と空間の中の人類の健康像
2.ヒトの誕生と環境への適応
3.こころの進化
4.文明と環境問題の始まり:公害問題から地球環境問題へ
5.リプロダクティブ・ヘルス(1)人口爆発
6.リプロダクティブ・ヘルス(2)少子高齢化
7.感染症との闘い
8.新興･再興感染症
9.社会・文化とがん
10.生活様式と健康:生活習慣病
11.加齢と健康
12.健康を生態学的に考えるとは？
13.教場試験

教科書

参考文献

参考書
人類生態学　大塚柳太郎ほか著　東京大学出版会　2003
そのほか講義中に示します。

評価方法

教場試験、出席率、質問の内容(質問賞)等で評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	企業の社会的責任（CSR)と利益相反		
科目キー	2600002027		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　康晃	大久保　和孝	野田　健太郎

副題　社会から信頼される企業経営とは何か

授業概要　我が国の経済社会において、企業の社会的責任（CSR）が時代の潮流のように取り沙汰されている。実際、バブル経済崩壊後、企業の不祥事によるCSRの浸透と実践による信頼性の回復、安全・安心の観点からの技術者倫理の向上、市場のグローバル化による環境、地域貢献、社会的開発などの側面、SRIファンドの普及などの社会責任投資の観点などの企業の対応が求められている。短期的な利益収奪を追及するビジネスモデルではなく、安全・安心や環境負荷の低減、福祉社会の実現などのあるべき企業のビジネスモデルについて学ぶ。

授業の到達目標

シラバス　（講義の特徴）
続発する企業不祥事。企業の社会的責任がますます重要性を帯びてくる。企業価値の向上を謳いながら、株式市場や投資家を裏切るような行為、あるいは特定の株主に偏った企業行動が目に付く。
とりわけ、昨今の経済事件を見ていると、法令等の違反行為はいざしらず、企業は法令等だけを遵守していれば良いのかという問題に突き当たる。不二家、パロマなどにみられるように、企業が本来果たすべき社会的責任とは何なのか、という問題を、CSR（企業の社会的責任）の観点から論じてみたい。
すなわち、企業は、持続的な成長をとげるためには、中長期の視点に立って社会からの要請を柔軟に受け入れ、適時的確な経営を行わなければならないのである。そのためには、企業は、自らの持続的成長を目指すと同時に社会の持続的発展に貢献することを求められているはずであり、そこにこそCSRの根源がある。
本講座では、CSRの一般的な考え方を整理したうえで、企業経営と社会的責任の関係をせいりし、昨今の企業不祥事など具体的な事例をもとに検証をかさね、今後の企業経営のあるべきすがたをうたう。そして、後半の方では、実践的なCSRをとりあげるべく、日本政策投資銀行における、投融資の金融判断において、企業の環境経営力、防災力を「格付」という手法を用いて評価し、企業価値評価のひとつのあり方として提案してきた事例などを解説してもらうなど、より実務的な内容を提供して行く。本講義では、その実践の中から、CSRを意識した企業行動のあるべき姿の提示を試みる。

（学習の目標）
日本ではCSR＝環境配慮という感が強いが、CSRの意味はもっと広く捉える必要がある。社会からの要請を鋭敏に感じ取り、企業経営に生かしていくことで、当該企業が社会と調和した経営を行い、持続的成長を目指す姿を学んでもらいたい。それは、結果として、今後どういう企業が社会的評価を受けることになるのかが明らかになるであろう。

（授業計画）
回数内容担当
第1回10/1CSR総論 社会的要請
第2回　10/8　CSR総論 CSRとは何か
第3回　10/15　CSR総論 シンポジウム「社会環境の変化とその適応方法について」
第4回　10/22　CSR総論 CSRの本質と歴史的経緯について
第5回　11/5　CSR総論 CSR経営について
第6回　11/12　CSR総論 CSR報告書の読み方

第7回11/19CSRの概念整理、基本的捕らえ方
第8回11/26金融とCSR
第9回12/3知的資産と企業価値
第10回12/10BCP（事業継続計画）に見るサステナビリティ
第11回12/17総括・利益相反
第12回1/14試験

※カリキュラムの内容が変更になることがあります。
※一部、各分野のご専門のゲストの方も招聘しながら実践的なテーマを取り上げることがあります。

教科書　授業の資料以外は特になし。

参考文献　•　大久保和孝他「会社員のためのCSR入門」（第一法規）、「会社員のためのCSR経営入門」（第一法規）（注）以上2冊は、大久保講師の授業での指定図書とする。（早大生協にて購入できる。）
•塚越寛「いい会社をつくりましょう」（2004年7月文屋）
•藤井敏彦「ヨーロッパのCSRと日本のCSR」（2005年9月日科技連出版社）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	企業の社会的責任（CSR)と利益相反		
科目キー	2600002027		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

•藤井良広「金融で解く地球環境」（2005年12月岩波書店）
•財団法人トラスト60編「ソーシャル・ファイナンス」ヨーロッパの事例に学ぶ“草の根金融”の挑戦（2006年4月金融財政事情研究会）
•小樽雅章「「良心ある企業」の見わけ方」（2006年6月宝島新書）
•環境省：環境と金融に関する懇談会編「環境等に配慮した「お金」の流れの拡大に向けて」（2006年7月環境省）
•ロナルド・ドーア「誰のための会社にするか」（2006年7月岩波新書）
•橘木俊詔「格差社会」（2006年9月岩波新書）
•野田健太郎「事業継続マネジメントBCMを理解する本」（2006年11月日刊工業新聞社
•金融CSR総覧（2007年1月経済法令研究会）
•

評価方法　成績評価方法
教場試験による。出席、授業への積極性（授業中にアンケートやコメントを求めることもある。）も加味する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	情報通信経済		
科目キー	2600002028		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	三友　仁志		

副題

授業概要　情報通信は、社会･経済･生活を大きく変化させています。これほどまでに急速に普及した技術はわれわれの歴史の中で例がなく、それゆえ、その分析は技術の視点を超えて、広く社会科学の分野においても興味が持たれています。この授業では、情報通信というサービスがこのような急速な普及を遂げる本源的な要因を持つことに着目し、その性質を経済学を中心とした社会科学的視点から明らかにすることを目的とします。
さらに、これまでネットワーク中心であった分析が、徐々にその中身すなわちコンテンツを含めた分析へと拡張されてきています。デジタルコンテンツの持つ経済的特性等についても解説することにします。
講義は3つのパートに分かれます。まず第1に、情報通信やコンテンツを理解するための経済学的基礎を学びます。ミクロ経済学の初歩をもとに、情報通信やコンテンツの市場をどのように分析するかを習得します。第2に、情報通信サービスの市場を経済学的に分析し、情報通信の急速な発展が生じるプロセスとメカニズムをなるべく平易に解説します。最後に、ネットワーク活用の観点から、デジタルコンテンツの特性とその市場について、考察を加えます。全体的に数理的な思考を要求します。

授業の到達目標

シラバス　講義では、以下の内容について適宜具体例を交えながら講義します。
講義全体のオリエンテーション
利用者の視点---情報通信サービスへの需要
事業者の視点---情報通信サービスの供給
市場の視点---情報通信サービスの需給均衡と料金
情報通信サービスの普及（1） ネットワーク効果
情報通信サービスの普及（2） 成長分析
料金戦略の重要性（1） 選択的料金制度
料金戦略の重要性（2） 利用者はどのような料金制度を好むか
利用者の選択---技術的要因と経済的要因
コンテンツ市場
新しいビジネスモデル---経済的対価という概念からの転換
最後に教場試験

教科書　指定しません。

参考文献　講義の中で適宜指示します。

評価方法　毎回の講義における課題50%　講義開始時に問題を設定し、講義の最後に回答してもらいます。
教場試験50%

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	暮らしの中の先端技術		
科目キー	2600002029		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中里　純	永松　陽明	沢　真司

副題

授業概要　近年我々の「暮らし」の利便性が著しく向上しています。これは自動車，携帯電話に代表されるハードウェアや流通を含むビジネススタイルに適用される「先端技術」の高度化による産物です。そこで本講座では各種事例を織り交ぜながら，
(1)先端技術による暮らしの変化，(2)先端技術を支えるものづくり技術，(3)先端技術の新たな潮流，(4)先端技術の創生と活用，(5)さらなる先端技術の発展に向けて，の5つテーマを講義します。これにより「暮らしの中の先端技術」に関する基礎知識を理解していただきます。
　併せて，今後皆さんが研究分野を絞る上で参考となるように，本授業では幅広い技術を取り扱っていきます。

授業の到達目標

シラバス
1.授業ガイダンス
・授業全体の概要説明
・　参考文献
2.先端技術による暮らしの変化(1)「自動車」
・自動車産業概要
・　自動車技術が社会に与える影響
・　自動車産業における企業と技術の将来動向
3.先端技術による暮らしの変化(2)「流通」
・流通産業概要
・　流通技術が社会に与える影響
・　流通産業における企業と技術の将来動向
4.先端技術による暮らしの変化(3)「携帯電話」
・携帯電話産業概要
・　携帯電話技術が社会に与える影響
・　携帯電話産業における企業と技術の将来動向
5.先端技術を支えるものづくり技術(1)「製造プロセス」
・パソコンを構成するデバイス製品の製造プロセス
事例：LSI，LCD(Liquid Crystal Display)
6.先端技術を支えるものづくり技術(2)「生産システム」
・生産活動例（ハンバーガーの調理システム）
事例：大手ファーストフードチェーン
・BTO(Build To Order) /CTO (Configure To Order)
・　組み立て屋台方式
7.先端技術を支えるものづくり技術(3)「サプライチェーンマネジメント」
・ワールドワイド需給調整
・　VMI (Vender Managed Inventory)
8.先端技術の新たな潮流(1)「新エネルギー技術の発展」
・新エネルギー概要
・　新エネルギー技術開発
事例：太陽電池
9.先端技術の新たな潮流(2)「情報通信技術の隆盛」
・FTTH(Fiber To The Home)
・　検索エンジン会社のビジネスモデルと検索技術
・　セキュリティ技術
10.先端技術の新たな潮流(3)「脚光を浴びる材料」
・希少金属を利用した技術開発
事例：電池，電子部品
・世界的な金属需要増大
11.先端技術の創生と活用(1)
・海外からの技術の導入
・　共同研究/国家主導プロジェクト
・　技術の評価
12.先端技術の創生と活用(2)
・失敗技術の有効活用
事例：大手精密機器メーカ
・デファクトスタンダードの獲得戦略

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	暮らしの中の先端技術		
科目キー	2600002029		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

13.さらなる先端技術の発展に向けて(1)
・環境技術
・　安全な製品の設計と品質管理技術
14.さらなる先端技術の発展に向けて(2)
・技術者倫理
・　リスクマネジメント

教科書　教科書はなし。参考資料は授業にて掲示します。

参考文献

評価方法　定期試験に，出席を勘案して評価します。

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	バイオ・イノベーションとベンチャー		
科目キー	2600002031		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　康晃	木山　亮一	河原林　裕

副題

授業概要　本講座では、まずバイオ・イノベーションを支える知財について最近の事例をもとに解説し理解を深めることにより、バイオ産業の基盤となる特許の重要性を説明する。

次に、我が国のバイオ産業を支えるバイオテクノロジーに関して概論を行なう。さらに、病気診断や環境リスク評価などにおける利用例を見ることにより、世界の技術動向を理解し、さらに、将来のバイオ産業について議論する。

また、醗酵等の伝統的なバイオ技術が先進的なバイオ技術へと変化した先鞭は、ゲノム科学の進展である。このゲノム科学の一例として微生物 ゲノム解析情報と知的財産・産業化との関連について概説したい。また、成功を収めている海外のバイオベンチャーの実例を挙げて、日本のバイオベンチャーとの違い等 についても概説する。

授業の到達目標

シラバス　授業は、90分講義（適宜質疑応答を挟む）を原則に行う。

[1]4月9日：バイオテクノロジー知財

[2]4月16日：バイオテクノロジー概論

[3]4月23日：癌とバイオテクノロジー

[4]4月30日：環境ホルモンとバイオテクノロジー

[5]5月7日：ゲノムと利用技術

[6]5月14日：バイオイノベーションの過去と未来

[7]5月21日：バイオベンチャー

[8]5月28日：生物が有する能力の利用

[9]6月　4日：生物の能力から遺伝子へ

[10]6月11日：微生物ゲノム情報の意味

[11]6月18日：ゲノム由来新規酵素の解析と利用

[12]6月25日：極限環境中の遺伝子資源の探索と特許化

[13]7月　2日：日本と世界のバイオベンチャーの実例

[14]7月09日：テスト

なお、各回の担当、内容は、必要に応じ変更もあり得る。

バイオの専門学科以外の学生にも、基礎的なところから解説を行うので、受講可能である。

教科書　特に無し。授業においてレジュメを配布することもある。

参考文献

評価方法　教場試験又はレポートによる。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	バイオ・イノベーションとベンチャー		
科目キー	2600002031		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	２年以上

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	産業政策		
科目キー	2600002032		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　康晃	藤末　健三	宿輪　純一

副題

授業概要　「産業政策論」を、の3人の講師で講義する。(1)競争力・イノベーションなどのミクロ的観点から、(2)は経済・経営・金融などのマクロ的観点から、その双方向から講義し立体的に理解を深める。共に産業・大学の最先端における長年の経験があり、実践的な講義を旨とする。
特に、(1)は米国のケースをベースに日本の産業の将来像を分析する。また、(2)はエコノミストで金融機関の経営企画の経験を生かし、日本経済と産業(政策)を経済学や心理的効果も含め、単なる歴史にならず考え方・戦略から解説する。(3)は、日本と中国等アジアの産業政策との関係について解説する。
それぞれが、対応している経営・経済・金融分野の最新･最先端の課題・問題意識についても、講義の場で報告し・まさに実践的に検討したい。

授業の到達目標

シラバス　授業は、60分講演＋30分ディスカッションを原則に行う。

[1]4月9日:オリエンテーション(3)
[2]4月16日:産業と生産性、日本の産業の課題(1)
[3]4月23日:イノベーションと日本経済、自動車産業(1)
[4]4月30日:半導体産業、移動体通信産業(1)
[5]5月07日:エネルギー産業、鉄鋼産業(1)
[6]5月14日:ディスカッション(外部講師) (1)
[7]5月21日:総括(1)
[8]5月28日:産業政策の考え方(経済と経営と個人の考え方/経済・金融・国際の視点/構造改革とイノベーション)(2)
[9]6月04日:経済政策と日本経済の低迷(日本経済の4つの罠/制度疲労/景気と産業の関係)(2)
[10]6月11日:経済の進化と産業(時間の概念/電子化(e)の流れ/環境と産業(2)
[11]6月18日:金融経済と産業(モノ(製造)とおカネ(金融)の考え方/産業とファイナンス/銀行と証券/デリバティヴ)(2)
[12]6月25日:グローバル経済と産業(貿易と産業/通貨・為替レート/ユーロ・ドル、アジア経済、イスラム金融他)(2)
[13]7月02日:産業(ビジネス)と個人(日本型計画経済の終焉/変化に対する考え方/リスク/経済学の変貌/自分ブランド戦略)(2)
[14]7月09日:総括・課題(3)
(なお、各回の担当、内容は、必要に応じ変更もあり得る。)

教科書　毎回レジュメを配布する。

参考文献　藤末:『Productive Edge(和訳:競争力)』
宿輪:『実学入門 社長になる人のための経済学―経営環境、リスク、戦略の先を読む』
(日本経済新聞社)宿輪純一
森:『中国知的財産管理実務ハンドブック』(共著・中央経済社)

評価方法　教場試験(B4の答案用紙裏表に記述する形)を原則とする。また、授業におけるディスカッション(産業ごとに米国のケース(教材の整理)日本の現状と将来像を報告。)における積極的貢献度も加味して評価する。

備考　日本を代表する企業の生産・マネジメントの現場を見学する機会を作ることを検討している。(希望者のみ。この場合、参加の有無は、評価には加味しない。)

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	環境政策と計画		
科目キー	2600002033		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要　環境に関連した社会的な問題は、空間的のみならず時間的にも大きな広がりをみせている。こうした問題解決のためには法律による規制や税制・補助金等による経済的誘導に加え、多様な主体の関係を社会システムとして捉え施策の評価と実施を繰り返す計画的なアプローチが求められている。そこで、本講義では、1)様々な視点からみた環境問題の現状と原因、そして解決のための基本的な方向性を踏まえた上で、2)個別の具体的な事例を紹介しながら、問題解決のための政策論的アプローチについて論じる。

授業の到達目標

シラバス　主として、政策的側面について論じる。
- ・環境政策論とは
- ・環境問題の変遷と政策の経緯
- ・環境政策の目標
- ・実施段階の原則
- ・対策の実施主体の原則
- ・政策の実施主体の原則
- ・対策の実施手法
  - ・規制的方法
  - ・経済的方法
  - ・情報提供による方法
  - ・合意形成的方法
- ・政策選択(ポリシーミックス)の方向

教科書

参考文献　倉阪秀史『環境政策論』、信山社、2004年ほか

評価方法　授業時の演習課題、および期末課題による。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会病理学I		
科目キー	2600002034		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高塚　雄介		

副題

授業概要　（前期）
人は日常生活はもとより、日々の心の営みを含めてその社会が有するさまざまな問題によって振り回されることが少なくない。虐待・いじめ・不登校・非行など子どもたちが直面するさまざまな問題、アルコールや薬物への依存・摂食障害・リストカットなどの嗜癖行為に浸る若者たちの増加、心身症・うつ病・ノイローゼ・自殺などの病理現象が多発する中・高年層、そして年代を超えて蔓延しつつあるひきこもり現象など、精神衛生上の課題とされる現象の背後には、その社会が有するひずみや問題状況が潜んでいることが多いと考えられている。さまざまな現象の背後にどのような社会病理が存在しているかについて検証する。

授業の到達目標

シラバス　概要に示された諸現象を精神病理と社会病理のそれぞれの観点から解説する。その時々に問題となっている現象を出来るだけテーマとして取り上げるので、必ずしも順序だてた授業計画とはならない。

教科書　人間関係と心の健康　金剛出版

参考文献

評価方法　レポート・教場試験等を総合的に判断する

備考　E-mail　yusuke6923@nifty. com

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会病理学II		
科目キー	2600002035		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高塚　雄介		

副題

授業概要　（後期）
家庭・学校・職場・地域社会など、人々が生活の基盤としている領域ごとに、今日さまざまな社会病理とされるものが存在していることが指摘されている。そしてまた、それらの病理をもたらす時代背景や価値意識、さらには人々の意識や行動における共通感覚を作る「文化」がもたらすひずみというものについての関心が高まってきている。近年、文化との関連において発生する可能性が高い精神病理現象を、社会精神病理という概念によって一括して論じることも少なくない。社会病理と精神病理との狭間に現れやすい現象や問題について言及する。

授業の到達目標

シラバス　概要に示された諸現象を精神病理と社会病理のそれぞれの観点から解説する。その時々に問題となっている現象を出来るだけテーマとして取り上げるので、必ずしも順序だてた授業計画とはならない。

教科書　人間関係と心の健康　金剛出版

参考文献

評価方法　レポート・教場試験等を総合的に判断する

備考　E-mail　yusuke6923@nifty. com

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会調査法I		
科目キー	2600002036		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　社会調査は社会生活のさまざまな局面で広く活用されており、社会は調査データであふれているが、マスコミ報道などによって流通する「調査データ」には、データの取り方や読み方に問題のあるものも多い。
したがって、社会に流通している調査データや分析結果を適切に読みとるには、社会調査がどのように行なわれているか、どのように分析されているかを知る必要がある。
この講義では、社会調査一般の概要ならびに数量的および質的社会調査がどのようになされているのか学ぶことで、基本的な「リサーチ・リテラシー」の修得を目標とする。

授業の到達目標

シラバス　以下のトピックスについて、1から2回の講義を行なう。
社会調査とはなにか
社会調査のすすめ方
社会調査の企画
調査票の作成
サンプリング
調査の実施と調査後の処理
質的調査とその実践
社会調査の現状と課題

教科書　大谷信介ほか編著, 2005,『社会調査へのアプローチ 第2版』ミネルヴァ書房

参考文献

評価方法　筆記試験によって行なう。試験の成績を重視するが、不定期に行なう課題等も考慮する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会調査法II		
科目キー	2600002037		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　社会調査 Iに引き続いて、数量的社会調査の基本的な分析方法の修得を目標とする。基本は講義形式だが、ケース・スタディや実習作業を採り入れながら進める。
講義中には、適宜実習課題を課すので、統計処理が可能な計算機（関数電卓等）を用意すること。

授業の到達目標

シラバス　以下のトピックスについて、1から3回の講義を行なう。
データの種類と尺度
データの分布と統計量
変数間の関係の推定
統計的推測と仮説検定
統計の誤用・活用

教科書　開講時に指示する。

参考文献

評価方法　筆記試験によって行なう。試験の成績を重視するが、不定期に行なう課題等も考慮する。

備考　講義資料はCourseN@viにて配布する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	統計学I		
科目キー	2600002038		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	毛利　裕昭		

副題　データ解析の基礎と基本的な確率分布

授業概要　各種のデータ処理手法を通して，統計的な発想を身に付けてもらうことが本科目の目的である．統計学の基本的な考え方を説明し，データ解析の基礎(平均などの基本統計量の意味等)および実験データの解析などでよく利用される基本的な確率分布と初歩的な検定推定について述べる。

授業の到達目標

シラバス
(1) 統計学の基礎
(2) 初歩的なデータ解析1(記述統計)
(3) 初歩的なデータ解析2(記述統計)
(4) 初歩的なデータ解析3(記述統計)
(5) 確率の基礎
(6) 確率分布1
(7) 確率分布2
(8) 確率分布3
(9) 確率分布に関する演習問題
(10) 推定検定の基礎
(11) 初歩の検定
(12) 初歩の推定

教科書　特に指定しない。参考書については授業で述べる

参考文献

評価方法　平常点およびレポート、定期試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	統計学II		
科目キー	2600002039		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	毛利　裕昭		

副題　理論的(哲学的)確率論および多変量データ解析法の基礎

授業概要　各種のデータ解析手法および基本的な確率分布を基に，推測統計学(統計的仮説検定や推定など)の基本概念および多変量データ解析法(回帰分析や主成分分析など)の初歩について講義をする．

授業の到達目標

シラバス
(1) 理論的確率論の必要性
(2) 確率変数の意味とは？
(3) 積分論(測度論)と確率論の関係
(4) 大数の法則と中心極限定理
(5) さまざまな確率分布について
(6) 統計学で応用される確率分布
(7) 点推定・区間推定
(8) 検定
(9) 回帰分析
(10) 判別分析
(11) 数量化1類
(12) 数量化2類

教科書

参考文献　確率概論 河野敬雄 著 京都大学学術出版会 1999
確率・統計入門　小針 あき宏 岩波書店

評価方法　定期試験およびレポート、平常点

備考　なんどか、確率統計に関する授業を行っているが、今回は実験的な試みも行うつもりである。確率論における意味づけとはなにか？教養教育の立場で考えてみたい。哲学的な意味や物理学、社会科学とのかかわりについても述べたいと思っている。純粋に数学的な部分についても、「意味」なるものについて考えてみたい。数学や物理が専門ではなくても理解できるよう配慮するつもりであるが、授業は受講者諸君の意見に応じて授業の順序や詳しさの加減について変えるつもりである。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	憲法I		
科目キー	2600002040		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小林　幸夫		

副題

授業概要　日本国憲法は、施行から60年を越えた。わが国の憲法学者は、一般に現行憲法を絶対視してきた。これでは、戦後の日本で憲法が果した役割、また憲法の下で生じた不都合は明確にならない。そこで日本国憲法とは何であるか、そしてこの憲法を通して現れている近代憲法の理念･原則･特徴は何なのか、という問題関心により日本国憲法の特徴と現在を明らかにしたい。
憲法1では、日本国憲法第3章までを中心に、講義を行う。

授業の到達目標

シラバス
1. 授業の概説
2. 日本国憲法の制定過程
3. 象徴天皇制(1)
4. 象徴天皇制(2)
5. 平和主義(1)
6. 平和主義(2)
7. 人権宣言の歴史(1)
8. 人権宣言の歴史(2)
9. 自由権と社会権の特徴と両権利の関係
10. 法の下の平等
11. 日本国憲法における人権規定(1)
12. 日本国憲法における人権規定(2)
13. まとめ

教科書　教科書は使用しないので、項目ごとにプリント配付する。

参考文献
抱喜久雄･野畑健太郎･吉川智編『新･初めての憲法』法律文化社
小林昭三著『日本国憲法の条件』成文堂
憲法政治学研究会編『人権の条件』嵯峨野書院
加藤秀治郎編『憲法改革の構想』一藝社

評価方法　定期試験

備考　憲法をめぐるマスコミの話題及び日常的な出来事に関心を持ってほしい。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	憲法II		
科目キー	2600002041		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小林　幸夫		

副題

授業概要　日本国憲法は、施行から60年を越えた。わが国の憲法学者は、一般に現行憲法を絶対視してきた。これでは、戦後の日本で憲法が果した役割、また憲法の下で生じた不都合は明確にならない。そこで日本国憲法とは何であるか、そしてこの憲法を通して現れている近代憲法の理念･原則･特徴は何なのか、という問題関心により日本国憲法の特徴と現在を明らかにしたい。
憲法2では、日本国憲法第4章以降の統治機構について中心に、講義を行う。

授業の到達目標

シラバス
1. 講義の概要
2. 直接民主制と代表民主制
3. 一院制と二院制
4. 日本国憲法における国会(1)
5. 日本国憲法における国会(2)
6. 選挙制度
7. 議院内閣制と大統領制
8. 日本国憲法における議院内閣制(1)
9. 日本国憲法における議院内閣制(2)
10. 日本国憲法における司法権の独立と制度(1)
11. 日本国憲法における司法権の独立と制度(2)
12. 地方自治制度
13. 憲法改正、最高法規
14. まとめ

教科書　教科書は使用しないので、項目ごとにプリント配付する。

参考文献　抱喜久雄･野畑健太郎･吉川智編『新･初めての憲法』法律文化社
小林昭三著『日本国憲法の条件』成文堂
加藤秀治郎編『憲法改革の構想』一藝社

評価方法　定期試験

備考　憲法をめぐるマスコミの話題及び日常的な出来事に関心を持ってほしい。

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経済学AI		
科目キー	2600002042		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要　経済学の基礎的な考え方を学ぶ。
前期はミクロ経済学について講義する。

授業の到達目標

シラバス

教科書　武隈慎一 (1999)、『ミクロ経済学』(増補版)、新世社。

参考文献　大竹文雄 (2005)、『経済学的思考のセンス：お金がない人を助けるには』、中央公論新社。
Becker, G.S. and G.N. Becker (1996), The economics of life: From Baseball to Affirmative Action to Immigration, How Real-World Issues Affect Our Everyday Life, McGraw-Hill (鞍谷雅敏・岡田滋行訳 (1998)、『ベッカー教授の経済学ではこう考える』、東洋経済新報社).

評価方法　期末試験1回のみで評価する。
期末試験未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
試験は持ち込み不可。
出席点はなし。

備考

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
(学内からのアクセスに限定)

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経済学AII		
科目キー	2600002043		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要　経済学の基礎的な考え方を学ぶ。
後期はマクロ経済学について講義する。

授業の到達目標

シラバス

教科書　Mankiw, N.G. (2000), Macroeconomics (forth edition), Worth Publishers (足立英之・地主敏樹・中谷武・柳川隆訳 (2003)、『マンキューマクロ経済学I 入門編』『マンキューマクロ経済学II 応用編』、東洋経済新報社).

参考文献　大竹文雄 (2005)、『経済学的思考のセンス：お金がない人を助けるには』、中央公論新社。
Becker, G.S. and G.N. Becker (1996), The economics of life: From Baseball to Affirmative Action to Immigration, How Real-World Issues Affect Our Everyday Life, McGraw-Hill (鞍谷雅敏・岡田滋行訳 (1998)、『ベッカー教授の経済学ではこう考える』、東洋経済新報社).

評価方法　期末試験1回のみで評価する。
期末試験未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
試験は持ち込み不可。
出席点はなし。

備考　経済学AIの単位を取得した者のみが履修できるので注意すること。

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
(学内からのアクセスに限定)

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経済学BI		
科目キー	2600002044		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	東　晋司		

副題　ミクロ経済学

授業概要　経済学が分析対象とするところは、我々が日々体験している日常生活そのものであり、極めて広範に及び複雑であることは云うまでもない。その経済社会において我々が抱く疑問や関心事を整理し、また考察する科学として経済理論がある。本講義で解説するミクロ経済学は、家計(消費者)や企業(生産者)といった個々の経済主体の行動や、それらから構成される市場を分析対象とし、種々の資源配分問題を取り扱う分野である。ここで取り上げられる概念は、経済学における他の応用分野でも多用される。それゆえ、ミクロ経済学は経済学における基礎科目として位置付けられている。経済理論を習得し、また抽象的思考を繰り返すことにより現実の経済問題を見る能力を養って頂きたい。

授業の到達目標

シラバス
(1)消費者行動
(2)生産者行動
(3)完全競争市場と効率性
(4)不完全競争市場
(5)外部性と公共性
(6)不確実性と情報

教科書　武隈慎一『ミクロ経済学　増補版』(新世社)

参考文献
奥野正寛・鈴村興太郎『ミクロ経済学I・II』(岩波書店)
西村和雄『ミクロ経済学』(東洋経済新報社)
スティグリッツ『ミクロ経済学』(東洋経済新報社)

評価方法　定期試験により成績を評価する。

備考　後期の経済学BII(マクロ経済学)を履修予定の者は本講義を履修していることが望ましい。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経済学BII		
科目キー	2600002045		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	東　晋司		

副題　マクロ経済学

授業概要　経済学が分析対象とするところは、我々が日々体験している日常生活そのものであり、極めて広範に及び複雑であることは云うまでもない。その経済社会において我々が抱く疑問や関心事を整理し、また考察する科学として経済理論がある。本講義で解説するマクロ経済学は、インフレーションやデフレーション、失業問題、および経済成長といった諸問題を取り扱い、文字通り巨視的観点から一国経済全体の動向を分析する分野である。マクロ経済学は、ミクロ経済学と同様、経済学における基礎科目として位置付けられている。これら経済理論を習得し、抽象的思考を繰り返すことにより現実の経済問題を見る能力を養って頂きたい。

授業の到達目標

シラバス
(1)国民所得統計
(2)マクロ経済学の長期均衡
(3)労働市場
(4)生産物市場
(5)貨幣市場
(6)IS-LMモデル
(7)AD-ASモデル
(8)経済成長理論の基礎

教科書　児玉俊介『ベーシック マクロ経済学』(中央経済社)

参考文献

評価方法　定期試験により成績を評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経営戦略論		
科目キー	2600002046		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小松原　聡		

副題

授業概要　本科目では、最初に企業の社会における本質的な存在意義について考察する。その上で、企業の行動を決定付ける各種戦略論の考え方の修得を目指す。企業経営における戦略論のスコープは広範囲であり、またその策定視点も多様性に富むので、戦略論の体系を俯瞰した上で、個別の戦略策定の議論に関する理解を深める。

授業の到達目標

シラバス

1. 株式会社の本質:　株式会社の本質とは一体何であるのかを、株式会社の目的、コーポレート・ガバナンス問題、CSR経営といった観点から考察する。

2. 戦略論の系譜と戦略の体系:　戦略策定に関する様々なスクールの存在とそれらの概要について学ぶ。

3. 規範的な戦略策定に関する理論を学ぶ:
   1)SWOT分析
   2)ポートフォリオ・マネジメント(PPM)
   3)ポーター戦略論: 競争分析モデル、基本戦略、価値連鎖

4. ダイナミックな環境に適合した戦略策定に関する理論とその必要性を理解する:
   1)資源論に基づく戦略策定方法とその基礎となるVRIO分析
   2)その他のダイナミック戦略論の概要
   3)創発的戦略の特徴と重要性を理解する。

5. 個別の戦略策定に関する理論を理解する:
   1)機能戦略とバリューチェーン変革の考え方
   2)多角化戦略
   3)国際戦略
   4)M&A戦略、等

教科書　特に定めない。資料を授業時に適宜配布します。

参考文献　伊丹敬之・藤本隆宏他、『リーディングス日本の企業システム、第二巻、企業とガバナンス』(有斐閣)
ジェイB・バーニー、『企業戦略論(上・中・下)』(ダイヤモンド社)
ヘンリー・ミンツバーグ、『戦略サファリ』(東洋経済新報社)

評価方法　教場試験

備考　【担当教員連絡先等】
小松原　聡 (satoshi@mri.co.jp)

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経営管理論		
科目キー	2600002047		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小松原　聡		

副題

授業概要　本科目では、経営学が対象とする領域のうち、主として経営管理論・組織論の領域をカバーする。経営管理制度・組織設計は起業の内部環境に関するイシューとして捉えられがちであるが、実際は戦略と表裏一体の関係において構築される。経営管理・組織論に関する主要理論を体系的に理解すると共に、戦略展開とマネジメント・システムの整合性確保の考え方を修得する。

授業の到達目標

シラバス

1. マネジメント・システムの考え方： 企業を社会における価値創造システムとして捉え、そのような社会的機能を有効に果たす上で必要となるマネジメント要素を紹介する。
2. 組織論の系譜： 組織問題への接近方法の変遷を辿り、組織が持つ多様な要素に対する基礎的な知識を習得する。
3. 古典的組織論： マネジメントの原点ともいえる、大規模組織の基本である官僚制組織や科学的管理法の概要とその根底にある考え方を理解する。
4. 行動科学的組織論： 古典的組織論の限界を理解した上で、新たな発展を示した人間関係論的視点の組織論、行動科学的組織論の概要を理解する。
5. 近代の組織論： バーナードによる協働システムとしての組織の考え方を理解する。意思決定論的視点に基づく組織、人間の限定合理性とコンティンジェンシー理論等、現在までの組織論を展望した上で、組織の基本構造を理解する。
6. 現代の組織論： 意思決定論的視点に基づく組織、人間の限定合理性とコンティンジェンシー理論等、現在までの組織論を展望した上で、組織開発の基礎を理解する。
7. 目的別の組織戦略の考え方： 国際事業組織、新事業組織等、目的別の組織戦略の考え方を概観する。
8. グループ経営管理フレーム： 連結経営時代を迎え、グループ経営の高度化が不可欠である。グループ経営管理のフレームを理解し、グループ・プレミアムを創出するためにグループ・シナジーを最大限発揮するための指針を考察する。
9. マネジメント・コントロールとPDCAサイクル： 重層的なPDCAサイクルの確立、有効なコントロール・レバーの設定、全社戦略と事業戦略・機能戦略レベルのマネジメントの差異等について学ぶ。
10. 最近のマネジメント・コントロールに関する論点： 自律分権型経営と企業価値重視のマネジメントの狙いと限界や、活動レベルのマネジメント・コントロールの考え方を学ぶ。
11. 業績評価目的： 業績評価はマネジメント・コントロールの重要な要素の一つであるが、業績評価はその目的に応じて多元的に設計される必要があることを理解する。

教科書　特に定めない。資料は授業時に適宜配布します。

参考文献　リチャード　L・タフト、『組織の経営学』（ダイヤモンド社）
ロバート・サイモンズ、『戦略評価の経営学』（ダイヤモンド社）
J.R.ガルブレイス、D.A.ネサンソン、『経営戦略と組織デザイン』（白桃書房）

評価方法　教場試験

備考　担当教員連絡先等】
小松原　聡（satoshi@mri.co.jp）

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経済制度論AI		
科目キー	2600002048		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石原　裕也		

副題

授業概要　会計学を基礎から学ぶ。まず，会計学がなぜ必要なのかということから説明していく。具体的には，われわれの身近にある計算書（家計簿，クラブの計算書など）の作り方から入っていき，最終的には，会社の会計計算書（財務諸表）の作り方や見方を学ぶ。ただし，ここでは非常に簡略化した会社を想定し，複雑なものは，次の経済制度論A?で学ぶ。

授業の到達目標

シラバス

【第1回】
オリエンテーション
講義の進め方，成績評価の方法などを説明する。
【第2回】
会計行為とは何かを説明する。
【第3回】
社会における会計学の役割と必要性を説明する。
【第4回】
さまざまな会計報告書を紹介し，その大まかな成り立ちや見方を説明する。
【第5回】
最も簡単な形の会計計算書である現金出納帳を示し，その作り方を説明する。
【第6回】
株式会社の仕組みを説明し，株式会社が必要とする会計計算書を説明する。
【第7回】
株式会社の設立の仕方と，そのときに作られる会計計算書を説明する。
【第8回】
会計計算書を作るために必要な簿記の仕組みを説明する。
【第9回】
会計計算書を作る過程を説明する。
【第10回】
会計計算書を作る過程のうち，特に決算について説明する。
【第11回】
会社の損益計算書の作り方を説明する。
【第12回】
会社の貸借対照表の作り方を説明する。
【第13回】
損益計算書と貸借対照表の関係について説明する。
【第14回】
これまでの復習として，会社の会計計算書（損益計算と貸借対照表）からわかること（会計情報）の意味を説明する。

教科書　新田，村田，佐々木，溝上『会計学･簿記入門』〔第9版〕白桃書房

参考文献

評価方法　教場試験を予定している。

備考　毎回の講義が相互に関連してくるので，講義の内容を理解するためには，継続的な出席が必要となる。また，実際に計算を行ってもらうので，計算機（携帯電話は不可）を毎回持ってくることが望ましい。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経済制度論AII		
科目キー	2600002049		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石原　裕也		

副題

授業概要　近年，わが国のみならず世界的規模で会計の変革が進んでいるといわれている。わが国会計制度におけるこの動きの現れが，会計ビッグ・バンともいわれる会計制度の大幅な変革である。この根底には，収益・費用観から資産・負債観へという会計観の転換があるといわれている。
そこで，本講義では，まずこれら2つの会計観の概要を学び，次に2つの違いが会計上そのように顕在化してくるのかを学ぶ。そして最後に，いずれかの会計観を選択した場合に，経済活動の投影としての会計報告書が，企業の何を伝えるものとなるのかを考える。

授業の到達目標

シラバス
(1) 2つの会計観　収益・費用観と資産・負債観
(2) わが国の会計制度（その1）
(3) わが国の会計制度（その2）
(4) 収益・費用観にもとづく会計（その1）
(5) 収益・費用観にもとづく会計（その2）
(6) 収益・費用観にもとづく会計（その3）
(7) 資産・負債観にもとづく会計（その1）
(8) 資産・負債観にもとづく会計（その2）
(9) 資産・負債観にもとづく会計（その3）
(10)収益・費用観による会計報告書
(11)資産・負債観による会計報告書
(12)わが国の会計観の流れ
(13)まとめ　会計観の転換と会計報告書の意味

教科書　教科書指定は無し、資料配布で対応

参考文献

評価方法　教場試験

備考　私語は厳禁である。ただし，質問，意見等，講義に対して積極的な発言は歓迎する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経済制度論BI		
科目キー	2600002050		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要

日本の社会保障制度について講義する。
少子高齢化社会を迎え、年金や医療などの社会保障制度の将来像に関する議論が活発になっている。ただ、現在進んでいる社会保障制度改革の内容を正確に理解するには、まず社会保障制度の基礎知識を習得する必要がある。
年金改革や医療保険制度改革は、高齢者や病気に罹った人のみに関係のある話ではない。日本で生活する人はすべて、これらの社会保障制度に何らかの形で直接的に関わっている。
本講義の内容は、自分がどのような形で社会保障制度に関わり、どの程度の負担をし、どれくらいの給付を受けることが出来るのか、そしてこれらがどのように変化するのかを知る手がかりとなる。

授業の到達目標

シラバス

・医療保険
・社会福祉
・年金
・介護保険

教科書

参考文献

評価方法

期末試験1回のみで評価する。
期末試験未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
試験は持ち込み不可。
出席点は出席状況を見て判断する。

備考

関連URL: http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
（学内からのアクセスに限定）

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 （2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経済制度論BII		
科目キー	2600002051		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	篠崎　武久		

副題

授業概要　日本の社会保障制度について講義する。
少子高齢化社会を迎え、年金や医療などの社会保障制度の将来像に関する議論が活発になっている。ただ、現在進んでいる社会保障制度改革の内容を正確に理解するには、まず社会保障制度の基礎知識を習得する必要がある。
年金改革や医療保険制度改革は、高齢者や病気に罹った人のみに関係のある話ではない。日本で生活する人はすべて、これらの社会保障制度に何らかの形で直接的に関わっている。
本講義の内容は、自分がどのような形で社会保障制度に関わり、どの程度の負担をし、どれくらいの給付を受けることが出来るのか、そしてこれらがどのように変化するのかを知る手がかりとなる。

授業の到達目標

シラバス
・雇用保険
・労災保険
・社会保険と民間保険
・社会保障の歴史

教科書

参考文献

評価方法　期末試験1回のみで評価する。
期末試験未受験者は、単位を取得できないので注意すること。
試験は持ち込み不可。
出席点は出席状況を見て判断する。

備考　経済制度論BIの単位を取得した者のみが履修できるので注意すること。

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/shinozaki/
（学内からのアクセスに限定）

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
（2010年度以前）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経済政策論I		
科目キー	2600002052		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　幸俊		

副題

授業概要　この科目の目的は、ミクロ経済学の基礎理論を利用して、ミクロ的経済政策に関する諸問題を理解することである。受講者は、需要と供給とがぶつかりあう市場メカニズムの特徴を理解した上で、市場では解決できない問題とは何かを考え、とくに規制、公共財、環境汚染などの問題を学習する。

授業の到達目標

シラバス

1　経済学と経済政策
2　市場と政府
3　需要(1)
4　需要(2)
5　供給(1)
6　供給(2)
7　市場メカニズム(1)
8　市場メカニズム(2)
9　独占・寡占
10　規制と規制緩和(1)
11　規制と規制緩和(2)
12　公共財
13　外部性（環境税）
14　まとめ

教科書　特定の教科書は指定しない。
講義は、板書とプリントで行う。

参考文献　授業中に紹介する。

評価方法　教場試験で評価される。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	経済政策論II		
科目キー	2600002053		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　幸俊		

副題

授業概要　この科目の目的は、マクロ経済学の基礎理論を利用して、マクロ的経済政策に関する諸問題を理解することである。受講者は、財・サービス市場、貨幣市場、労働市場の個々の性格と相互関係を理解して、財政政策と金融政策の効果を学習する。

授業の到達目標

シラバス
1 マクロ(巨視的)とは
2 国民経済計算の基礎(1)
3 国民経済計算の基礎(2)
4 財・サービス市場(有効需要理論)
5 財・サービス市場(乗数理論)
6 財政政策
7 貨幣市場(貨幣供給:貨幣の機能、中央銀行の機能)
8 貨幣市場(信用創造、貨幣需要)
9 IS曲線とLM曲線
10 財政政策と金融政策の効果(1)
11 財政政策と金融政策の効果(2)
12 外国為替市場
13 開放経済における財政政策と金融政策の効果
14 まとめ

教科書　特定の教科書は指定しない。板書とプリントで講義する。

参考文献　授業中に紹介する。

評価方法　教場試験で評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	国際経済論I		
科目キー	2600002054		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	樋口　清秀		

副題　貿易とその効果、対策を学ぶ

授業概要　現在世界各国とも市場経済を柱として経済運営が行われている。これは市場経済が経済効率の確保という面で優れているとの実践結果であるといえる。また各国はこの市場経済を各国市場を融合させる事によって世界レベルで市場の効率化を図ろうと努力してきている。これがグローバライゼイションである。安価な品が自由に取引され、それを購入する人は大きな恩恵をうけることができる。ところが最近、とくに農産物の自由取引化では、先進国・途上国双方の農民から強烈な反対行動がでてきている。また仕事においても簡単に国境を越えて以来できるようになり、高賃金国の求職者は思うような仕事にありつけない現状さえでてきており、国境を越えた仕事の依頼を抑制する動きも一部にでてきている。果たしてモノ、サービスの自由貿易は国民にとって有益だろうか、また有益は一部、他の多くは有害となるのであろうか。

本講義ではこれらの問題点に焦点をあて、貿易発生、現代的理論および不都合なケースにおける対策などを考えていく。

授業の到達目標

シラバス
1. 貿易の発生
2. 現代貿易理論
3. 貿易障壁
4. 通商政策
5. 貿易と経済発展
6. 貿易と環境問題
7. WTOと途上国問題

教科書　ステファン・ベーカー（樋口訳）『エッセンシャル国際経済学』CAP出版

参考文献　講義時に指示

評価方法　数回の出席点
1回の試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	国際経済論II		
科目キー	2600002055		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	樋口　清秀		

副題　開放マクロ経済とその問題を学ぶ

授業概要　本講義では、モノ、カネ、人、情報、アイディアなどなどが自由に他国と取引されることに伴って発生するさまざまな国民経済問題を取り扱う。こうした経済財の自由取引は国民経済にある場合にはプラスの効果をもたらすが、マイナスのケースも多々ある。
こうしたマイナスの効果に対処しつつ、国民経済にとって望ましい政策運営をするためにはどのような理論的根拠に頼ればよいのであろうか。開放マクロ経済学を学びながらその方策を考えていくことにしよう。

授業の到達目標

シラバス
1. 外国為替と外国為替市場
2. 国際収支
3. 開放経済下の国民所得決定
4. 国際収支の調整問題
5. 開放経済下の経済政策
6. グローバライゼイションと先進国・途上国の調和問題

教科書　ステファン・ベーカー（樋口訳）『エッセンシャル国際経済学』CAP出版

参考文献　講義時に指示

評価方法　数回の出席点
1回の試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	産業構造論I		
科目キー	2600002056		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	眞野　芳樹		

副題

授業概要　産業構造を考察するためには、経済社会がどのような仕組みによって成り立っているかを理解しなければならない。個別企業の活動を検討するのがミクロ経済学であり、社会レベルの経済活動を分析するのがマクロ経済学である。本講座では、この両者の中間に位置する産業レベルに焦点を当て、戦後期の日本経済を分析対象として、産業活動について、多くの統計資料を用いて検討を行う。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	産業構造論II		
科目キー	2600002057		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	眞野　芳樹		

副題

授業概要　産業構造を考察するためには、経済社会がどのような仕組みによって成り立っているかを理解しなければならない。個別企業の活動を検討するのがミクロ経済学であり、社会レベルの経済活動を分析するのがマクロ経済学である。本講座では、この両者の中間に位置する産業レベルに焦点を当て、戦後期の日本経済を分析対象として、産業活動について、多くの統計資料を用いて検討を行う。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	企業と労働II		
科目キー	2600002058		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	白木　三秀		

副題

授業概要　本講義の目的は、「企業と労働に関する経済学的・経営学的・政策論的諸研究」を検討することである。より具体的には、企業の生産活動と労働者の経済活動との出会いである「労働市場を巡る諸課題」について検討を加える。労働市場における需要と供給の関係を概観し、さらに労働市場を外部労働市場と内部労働市場に分けて詳細に検討する。
本講義の特徴は第1に、現代を取り扱うことであり、ホワイトカラーとブルーカラー、キャリア、就職・失業、処遇・昇進・給与、派遣労働など身近なテーマを取り上げ、生の情報やデータをできるだけ多く取り入れ、分析する。
本講義の第2の特徴は、アジアを中心として国際的な視点を重視することである。企業のうち、とりわけ国境を越えて経営活動を展開する多国籍企業における人的資源管理（国際人的資源管理）の諸特徴、諸課題について検討を加えることにする。その際に、有用な視点を得る目的で日系多国籍企業と米系および欧州系多国籍企業との比較を人的資源管理の機能ごとに検討を加える予定である。
受講生の講義への積極的な参加を期待する。

授業の到達目標

シラバス

教科書　白木三秀著『国際人的資源管理の比較分析』有斐閣、2006年。
ドーリンジャー＆ピオレ著（白木監訳）『内部労働市場とマンパワー分析』早稲田大学出版部、2007年。他の関連文献については適宜、講義中に紹介する。

参考文献

評価方法　(1)試験（2回実施）、(2)リポート、(3)講義への参加度を総合的に評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	都市地域計画論		
科目キー	2600002061		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	市川　宏雄		

副題

授業概要

この授業は，講師が過去数十年間にわたり，実際に関わってきた日本と海外の都市と地域の計画プロジェクトの立案，政策形成の経験に基づき，都市や地域がいかに形成され，そして現在の都市空間がいかなるメカニズムを内包しているのかを，政策分析的視点から解明することを目的としている。そのための導入として，都市発生から現代までの都市形成のプロセスを初めに振り返り，世界諸都市の特徴や都市問題等の国際比較をした上で，過去から現在に至るまでの様々な都市計画・都市政策の有効性や是非についての考察を行う。特に計画・政策の分析にあたっては，講師が東京都等の行政の政策委員を長く歴任してきており，最近の状況についても現在進行形の最新情報を提供しながら分析を加える。

授業では，先ず都市形成のプロセスを，古代からの歴史的系譜を通じて現代までの世界の主要な都市（東京，ニューヨーク，ロンドン，パリ等）について，その特徴を文化的背景を踏まえながら概観，考察する。そうした理解に立ったうえで，大都市形成の諸段階で適用された都市計画と政策の是非に触れる。授業の主たる対象は東京であるが，とくに，一極集中によって生み出される大都市問題とその解決を求めて適用された都市計画・政策等に焦点をあてて，都市計画と政策の知識と理解を深め，これからの都市と地域の未来を描いてみる。なお，都市と地域を理解するにあたって知っておかなければならないことは，都市と地方の関係である。これは，成熟化する国家の状況の下で改めて問われているもので，特に，最近の都市再生の動きのなかで，富める大都市と衰退する地方という対峙関係から，そのあり方に答えを見出さねばならない状況となっている。授業では，そのあるべき姿についての答えを導くことにも注力したい。

なお，授業の進行にあたっては，教科書ならびに補助教材を使用する。適宜，ビデオ等の視聴覚教材の使用と最新情報についてのプリントの配布をする。講義はおおむねつぎのようなテーマを対象とするが，その詳細な予定は第一回目の授業で発表する。

授業の到達目標

シラバス

1.世界の都市空間
・代表的な世界の都市開発
　20世紀後半を代表するヨーロッパとアメリカの注目すべき都市開発
・都市空間の形成とコンセプト
　世界を代表するニューヨーク，ロンドン，パリの三大都市について，その都市空間の　形成とコンセプトについて，都市政策的視点から分析する
・東京の大規模開発
　日本の大規模開発の実例として東京を取り上げ，スクラップアンドビルドに始まる開　発から，成熟化する都市基盤整備の課題までを追う
2.巨大都市東京と東京問題
・巨大都市における一極集中の功罪と東京問題の構図
　巨大都市東京における一極集中の功罪を都市経済学視点と，都市と地方の対峙という　関係での東京問題の構図から考える
・一極集中の生み出す諸問題
　一極集中による土地利用の問題，バブル期における東京都心の地価高騰問題とその後
・情報化と都市問題の解決
　進展する技術革新が都市問題の解決に寄与するのか，情報化を例にして考える。
3.主要な都市計画・政策とその有効性
・首都圏計画の変遷
　戦後の市街地形成と首都圏計画の変遷を開発圧力とそれに立ち向かった政策の有効性　の視点から見る
・東京構想2000と都市ビジョン
　東京の最新の都市政策を長期総合計画である「東京構想2000」と都市計画の構想であ　る「都市づくりビジョン」から考える
・知事にみる政策の変遷
　戦後，東京の都知事6人の都市政策を振り返り，その功罪，その後の都市発展への寄　与などを考察する
4.都市政策と国土計画
・都市と地方
　地方分権推進法，市町村合併などの制度論がかまびすしいが，そもそも，都市と地方　の関係とはどうあるべきなのか
・全国総合開発計画
　均衡ある発展の名の下に行われてきた戦後の国土計画は，低経済成長化でどこに向か　うのか
・遷都・首都機能移転
　既に15年を経た遷都・首都機能移転は，都市と地方の脈略にいかに位置づけるのか，　また，大都市問題解決の可能性はあるのか

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	都市地域計画論		
科目キー	2600002061		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

教科書　市川宏雄『文化としての都市空間』千倉書房，2007年。
市川宏雄『都市地域計画論補助教材（2008年度版）』2008年。

参考文献　福川伸次・市川宏雄『グローバルフロント東京』，都市出版，2008年。
市川宏雄『東京都を読む事典』，東洋経済新報社，2002年。
市川宏雄『首都圏自治体の攻防―分散政策の現実と展望』，ぎょうせい，2001年。
市川宏雄『「NO」首都移転』，光文社，1999年。
市川宏雄『成熟都市・東京のゆくえ―2008年の都市基盤と政策』，ぎょうせい，1997年
市川宏雄ほか『東京はこう変わる―遷都・分権の基礎知識』，東洋経済新報社，1995年

評価方法　成績評価は，原則として前期末の試験結果による。この期末試験については教科書、補助教材、ノートの「持ち込み可」とし，設問にマークシート方式で解答する形式とする。また，若干の小テストを授業中に行う。授業の出欠についてはとらない。なお，前期末試験は，事情があって授業に出席できない場合はレポート提出に変えることができるが，その場合は、事前に申し出ること。

備考　この授業は，都市や地域についての基礎知識を持たない初学者にも，分かりやすく自ずと興味の湧く形で進められる。また，持ち込み可となる期末試験については，出題範囲や出題形式について，事前に「傾向と対策」を具体的にレクチャーする。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	人間都市地域計画論		
科目キー	2600002062		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中川　義英		

副題

授業概要　一人一人と都市とのかかわりに焦点を当て、都市地域について概説する。「都市とは」、「都市の盛衰」、「都市の個性」、「共有の都市を意識しているか」、「都市地域の姿を考える手立ては」など、都市・地域を作り上げ、計画していく要素に関わる内容を基礎知識として講義する。これらを通して、市民がより充実し生涯いきいきと生活できる都市づくりを進める方策を考えてもらいたい。

授業の到達目標

シラバス　1:概説

2:＜テーマ1都市を形作ってきたもの＞　都市の盛衰
3:＜テーマ1＞築城術／城下町と理想都市（古代・中世・近世の都市）
4:＜テーマ1＞ニュータウン・近隣住区、街区型住宅
5:＜テーマ1＞東京、ロンドン、ベルリンの都市再生・改造
　＜課題出題＞「あなたにとっての理想的な都市」

6:＜テーマ2まちの個性と人、そして意識の共有と共生＞　個性あるまち
7:＜テーマ2＞クラブ、パブ、町会、コミュニティ
8:＜テーマ2＞スポーツとまち
9:＜テーマ2＞子どもと地域・まち（外国）
10:＜テーマ2＞子どもと地域・まち（日本）
　＜課題出題＞「コミュニティ」

11:＜テーマ3生涯学習都市づくりにむけて＞日本における都市計画とは
12:＜テーマ3＞地方公共団体と市民のかかわり（NPO、市民活動、ボランティア）
13:＜テーマ3＞人間行動、地域性と都市・地域の計画
14:＜テーマ3＞土地の所有と利用

教科書

参考文献

評価方法　出席（2／3以上）、課題提出2回をおこなった者を評価対象者とする。
評価は、提出された課題および定期試験の結果による。
定期試験は3問（それぞれ40点満点）、合計120点満点で出題する。各問の評価は20点を基準とし、解答のプラス要因、マイナス要因を加味し、採点する。120点満点の半分、60点に満たない場合は不可（F）とする。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会人類学II		
科目キー	2600002063		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	西村　正雄		

副題

授業概要　社会人類学は、生物人類学と並んで、人類学を支える2大柱の一つである。人類学は、過去及び現在における人間行動すべて、そしてその結果生まれた産物すべてを扱う学問である。こうした人間の行動と、その産物を総称して「文化」と呼ぶ。人類学は、この人間の文化のすべての様相を総合して扱い、文化の統合された全体像を探求する。そこで本科目の目的は、人間の文化を総合的に把握することで、特に、人間と彼らの文化を、自然及び社会環境への適応という点から概観し、その内容と構造を詳細に検討することである。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	認知心理学I		
科目キー	2600002064		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	宇根　優子		

副題

授業概要　認知心理学とは認識と知識についての実験心理学であり、応用分野は多岐にわたる。本講では、人間の基本的な情報処理活動を支えるメカニズムについて、簡単な実験を交えつつ紹介する。したがって、実験や調査への参加が必須である。
認知心理学Iでは，人間のより基本的な情報処理について学ぶ。

なお本講では性格検査，カウンセリング理論などの紹介は行わない。

授業の到達目標

シラバス
・認知心理学史と情報処理アプローチ
・知覚の基礎
・高次知覚処理
・パタン認識
・注意
・短期記憶とワーキングメモリ
・長期記憶
・忘却

教科書

参考文献　サイエンス社　新心理学ライブラリ7「最新　認知心理学への招待」

評価方法　教場試験（レポート含む）・平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	認知心理学II		
科目キー	2600002065		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	宇根　優子		

副題

授業概要　認知心理学とは認識と知識についての実験心理学であり、応用分野は多岐にわたる。本講では、人間の基本的な情報処理活動を支えるメカニズムについて簡単な実験を交えつつ紹介する。したがって、実験や調査への参加が必須である。
IIでは人間のより高次の情報処理について学ぶ。認知心理学Iの内容を前提として講義するため、認知心理学Iを受講していることが望まれる。
なお本講では人格理論（性格検査）、カウンセリング理論の紹介は行わない。

授業の到達目標

シラバス
・アナログ表象と命題表象
・スキーマ
・概念
・日常記憶
・学習と認知発達
・思考
・問題解決
・推論
・社会的認知
・PDPモデル

教科書

参考文献　新心理学ライブラリ7「最新　認知心理学への招待」 サイエンス社

評価方法　教場試験・レポート（作品を含む）・平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	情報社会論II		
科目キー	2600002066		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　情報社会論の中でも、マスメディアやさまざまなインターネットサービスの進展、その受容など、メディアと社会の関係を扱った議論を取りあげ、講義を行なう。
印刷技術や通信技術などの、初期メディア史に関する議論や、人々がメディアやそれによって流通する情報をどのようなものとして捉えているのかというメディア受容についての講義が中心となる。
講義では、映画や視覚的見世物など視聴覚資料も採り入れる予定である。

授業の到達目標

シラバス　以下のトピックスについて、1から3回の講義を行なう。
情報とメディア
メディアとその歴史
メディア・イベントとその構造
メディア的実践の現状とその問題
メディアをめぐる想像力

教科書　特に指定しない。参考文献については適宜講義中に指示する。

参考文献

評価方法　レポートによって行なう。その他不定期に行なう課題等も考慮する。

備考　講義資料はCourseN@viにて配布する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会システム概論		
科目キー	2600002069		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要　現代社会が抱える様々な問題の解決方策として、法制度や経済的手法による規制や誘導が中心であった。これらに加えて、最近では多様な主体間の関係を社会システムとして捉え、現状の把握から始まり、解決策の代替案の検討、案ごとの予測・評価、施策の決定と実施、モニタリングという一連のプロセスを継続的に繰り返していく計画的アプローチが必要になっている。社会システムを工学的なアプローチで捉えることは、こうした要請に応えるべく社会が抱える様々な課題を解決するためのソフトなテクノロジーを開発する学問領域であるといえる。

現状把握や予測・評価では、定量的な調査や分析、あるいはコンピュータによるシミュレーションなど自然科学的な手法が求められるが、社会学や法律学、経済学、政治学、教育学などの諸科学との学際的な連携が極めて重要になる。また、工学には欠かすことができない「実験」はこれまで実施が困難であったが、最近ではモデル的に一種の社会実験を実施する例もでてきた。

本講では、様々な政策や計画のための意思決定の理論や現状を踏まえた上で、具体的な事例を紹介しながらよりよい決定方策とは何かを論じる。

授業の到達目標

シラバス

1. 社会システムの基礎論
  - ・システムの諸要素
  - ・古典的な社会システム論：機械モデル（17世紀-）
  - ・有機体的側面の導入（代表的存在：パーソンズ、1950年代）
  - ・変更を求める視点（部分の自律性、非目的性、構造生成性、自己組織性）
  - ・市場システムと公共システムの比較
  - ・公共政策の構成要素（目的、提供財、受益と負担の関係など）
2. システム分析と問題の構造化
  - ・システム分析概論
  - ・問題の発見と構造化
  - ・構造化手法の概要
    - ・基本的スタンスの違い（ボトムアップ、トップダウン、アブダクション）
    - ・一般的手法-定性的構造化
      （自然連想法、ブレーンストーミング法、シナリオライティング法）
    - ・KJ法の概要と事例
    - ・ISM（Interpretive Structural Modeling）法と目的設定法の概要
    - ・AHP（Analytic Hierarchy Process）法の概要と事例
3. データの収集
  - ・統計的資料：わが国の統計情報の特性と全体像
    （情報の集中と分散、分類の標準化、有用な資料、データ集、世論調査の例）
  - ・人々の意識行動に関する情報
    （調査の目的、調査の流れ、質問紙調査、聞き取り調査、参与観察など）
4. 統計データの表現
  - ・統計の基礎（分布の代表値やばらつきの表現方法、様々な確率分布と正規分布）
  - ・サンプルの平均値が持つ特性
  - ・平均や分散などの統計的推定や検定の方法
  - ・いくつかの統計分析手法の特性
    （相関分析、回帰分析、主成分分析、因子分析、判別分析、クラスター分析、数量化理論など）
5. 調査に基づく枠組み設定と代替案の設計
  - ・問題の枠組み設定（目的の階層構造、スクリーニングとスコーピング）
  - ・代替案の設計（案の分類、政策代替案の頑強性、シナリオ設定のための8つのステップ）

教科書

参考文献

評価方法　演習課題、および期末課題

備考

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会システム概論		
科目キー	2600002069		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会システム設計論		
科目キー	2600002070		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村山　武彦		

副題

授業概要　現代社会が抱える様々な問題の解決方策として、法制度や経済的手法による規制や誘導が中心であった。これらに加えて、最近では多様な主体間の関係を社会システムとして捉え、現状の把握から始まり、解決策の代替案の検討、案ごとの予測・評価、施策の決定と実施、モニタリングという一連のプロセスを継続的に繰り返していく計画的アプローチが必要になっている。社会システムを工学的なアプローチで捉えることは、こうした要請に応えるべく社会が抱える様々な課題を解決するためのソフトなテクノロジーを開発する学問領域であるといえる。

現状把握や予測・評価では、定量的な調査や分析、あるいはコンピュータによるシミュレーションなど自然科学的な手法が求められるが、社会学や法律学、経済学、政治学、教育学などの諸科学との学際的な連携が極めて重要になる。また、工学には欠かすことができない「実験」はこれまで実施が困難であったが、最近ではモデル的に一種の社会実験を実施する例もでてきた。

本講では、様々な政策や計画のための意思決定の理論や現状を踏まえた上で、具体的な事例を紹介しながらよりよい決定方策とは何かを論じる。

授業の到達目標

シラバス

1. 予測の方法
 ・3つのタイプ：投影的予測、理論的予測、直観的予測
 ・デルファイ法（Delphi Method）
 ・シナリオライティング
 ・システムダイナミクス
 ・未来学的眺望法
 ・クロスインパクト法
 ・実現可能性評価法（Feasibility Assessment Technique）
2. 評価の概念と枠組み
 ・評価の概念：行政評価、管理評価、政策評価
 ・評価の基準：効率性、有効性、公平性、十分性
 ・費用と効果の計測
3. 産業連関分析による波及効果の把握
 ・投入係数表と逆行列係数表
 ・産業連関表の活用範囲
 ・公園建設による波及効果の把握例
4. 便益の測定手法
 ・顕示選好
  ヘドニックアプローチ／消費者余剰法／トラベルコスト法／代替法
 ・表明選好
  仮想市場法（CVM）／コンジョイント分析
 ・鉄道、道路、都市公園などの事例
 ・各測定手法の課題
5. 効率性に関する評価手法（1）：費用便益分析
 ・一般的手順
  ・波及効果の範囲
  ・現在価値と割引率
  ・評価尺度：純便益、費用便益比、内部収益率
 ・事例：　道路整備、諫早湾の干拓事業など
6. 効率性に関する評価手法（2）：費用効果分析、コスト分析
 ・基本概念
 ・事例1：アスベスト汚染対策
 ・事例2：イギリスの技術革新施策
7. 有効性に着目した評価
 ・統計解析法
  ・対照実験法
  ・業績指標：アウトプットとアウトカム、三重県における政策評価の試み
  ・定性的側面に着目した評価
   ピア・レビュー／プロジェクトデザインマトリクス
8. 合意形成、コミュニケーションと市民参加の手法
 ・レスポンシビリティ（執行責任）とアカウタンビリティ（説明責任）
 ・知る権利と情報公開

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会システム設計論		
科目キー	2600002070		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

・参加の概念:文書形式による手法／会議形式による手法
・最近の動き:コンセンサス会議、戦略的環境アセスメント、パブリックインボルブメントなど
9. 意思決定システムとしての住民投票、国民投票
・市民参加としての投票制度
・アメリカにおける二つの制度: イニシアティブとレファレンダム
・日本の制度: 地方自治法における直接請求制度／地方自治特別法に対する住民投票／原子力施設、市町村合併など特定の問題を対象に条例化した事例など
・投票制度の意義と課題

教科書

参考文献

評価方法　演習課題、および期末課題

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	国際コンテンツビジネスと著作権		
科目キー	2600002071		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　康晃		

副題

授業概要　国際コンテンツビジネスにおいては、各国の文化的特徴を活かした競争力の発揮が求められる。我が国においてはゲームソフトやアニメーションと言った分野において欧米、アジア市場などにおいて、優れた作品が創作されている。しかしながら、欧米に比べて資金調達やビジネスモデルシステムの構築面において、課題が残っており、アジアなどの新興国の台頭を前に著作権保護の対応も益々重要になっている。本講義においては、我が国の文化の個性を活かし、グローバルな文化とつながる産業の創出を成功させるための、基本的な視点を学ぶ。

授業の到達目標

シラバス　私たちの生活におけるデジタル化は日々急速に進展している。朝起きて寝るまで音楽、映像は、生活に潤いを与え、必要な情報を迅速に提供してくれる。携帯や端末で、身につけ歩行、移動しながらも楽しむことができるようになったのはデジタル化のおかげだ。
他方、コンテンツを無許諾ダウンロードさせることによる侵害行為や海賊版頒布などの著作権の問題は、時には警察による逮捕という刑事事件となったり、創作された著作物の使い方、使われ方をめぐって有名人間の民事訴訟や争いもマスコミで報じられることもある。

しかしながら、悪意のない一般人がインターネットで普通におこなうことであっても違法ソフトの開発者とプロバイダーの関係の中で自ら利用者として犯罪に巻き込まれることや、一般人同士で自ら創作した作品の権利侵害を争うことなどもデジタル化の進展によって、容易に発生してしまう危険性がある。また、何気なく使っているデジタル機器にコピーによる補償金があらかじめ課せられていたり、課せられていなかったりする。いわゆるプロパテント（特許や知財重視）の流れに沿って創作者の権利保護を手厚くするのか、それともクリエィティヴ・コモンズ（創造的に共有していこうという主義）を取り入れていくのか、社会のためにはその均衡点を一体どこに求めていけばいいのか・・・音楽、映像の著作権の問題は身近にあるものにもかかわらず実に複雑な様相を呈する状況の中、私たちはイノベーションと流動化促進をめぐる諸問題の重層的な絡みをほぐすことに立ち向かい的確な判断を下していかなければならない。

本科目では、我が国の代表的な音楽配信産業から、社団法人音楽電子事業協会(AMEI)を代表してヤマハ株式会社、株式会社エクシング、マスメディア界から朝日新聞社、また著作権管理団体から社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）のご協力をいただき、毎回企業の最前線における事例をベースに講義を進めていく。また、希望者には、実地見学として、可能な限り音楽製作現場の見学や新聞社本社見学、社会人との意見交換会も予定している。（ただし、実地見学の参加の有無は、評価の対象としない。）

1．10月03日：オリエンテーション

2．10月10日：各国の著作権法とコンテンツビジネス実体とのギャップ。

3．10月17日：著作権の基礎知識。新聞社の業務と著作権。

4．10月24日：新聞社見学（夕刊印刷現場見学含む。）／講義（ニュースから拾う著作権とコンテンツをめぐる最近のトピックスなど。）。（移動時間のため後の授業等で訪問が可能でない学生は、11月7日の授業で資料を配布する。訪問の有無は評価の対象にしない。）

5．11月07日：ビジネス事業者、エンドユーザーの立ち位置から読み解く著作権。「許諾する」という言葉の意味。人格権解説と事例、支分権解説。

6．11月14日：支分権解説／トラブル事例の紹介。著作隣接権の解説／事例紹介。実演家とデジタル化にまつわる諸問題。私的複製など制限規定解説。

7．11月21日：着うたが配信できるまでの業務フローと権利許諾・実績報告フロー。音楽データ製作の実体と簡単なデモ。VOKALOID2(初音ミク)。

8．11月28日：DRM技術の紹介と最新のビジネスモデル解説。AMEIの電子透かし。制限機能付きダウンロード、サブスクリプションモデル、等々。

9．12月05日：JASRAC(財団法人　日本音楽著作権協会）の著作権管理の概要
JASRACの国際ネットワーク（海外の著作権団体との相互管理契約など）
ゲスト講師：JASRAC　渡辺国際部長

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	国際コンテンツビジネスと著作権		
科目キー	2600002071		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

10．12月12日：配信ビジネスに関する諸権利の説明。

11．12月19日：新サービス（エクシングの事例）にまつわる権利処理の実務。

12．01月09日：カラオケビジネスとその特許について。

13．01月16日：試験

教科書　各回の授業で講義資料を配布する。
副教材として、早大創造理工学部森研究室・朝日新聞知的財産センター共同編集『新聞記事で見る知的財産の今（2008年版）』も配布する。

参考文献　早大創造理工学部森研究室・朝日新聞知的財産センター共同編集『新聞記事で見る知的財産の今（2008年版）』、作花文雄『著作権法　基礎と応用』（発明協会）、
加藤君人・片岡朋行・大川原紀之『エンターティンメントビジネスの法律実務』（日本経済新聞出版社）、菅谷実・中村清『映像コンテンツ産業論』、

文化庁長官官房著作権課『著作権テキスト』「著作権テキスト」
（http://www.bunka.go.jp/chosakuken/pdf/chosaku_text.pdf）

評価方法　教場試験又は定期試験による。
各回の講義の内容が十分把握されているかどうか、次に著作者と著作権者と使用者の間でのそれぞれの立場を踏まえ、国内、海外のコンテンツビジネスと著作権の問題について理解がなされているかどうか、さらにデジタル化の進展する中で自分たちの身近な生活の中で、新しい著作権の枠組みやビジネスモデル、製品、サービスについて、自分なりのアイデアや提言を有しているかについて、評価を行っていく。

試験（満点100点の内0から80点の範囲）、授業への参加の積極性（出席だけでなく質問や発言等）（0から20点）。尚、試験の中に下記のテーマの記述問題が含まれる。テーマは「学内図書館で利用できる朝日新聞『聞蔵』のデータベースまたは新聞各紙記事から、08年に起こった著作権かコンテンツのトピックスを選び、考察せよ」とするので、事前に、取り上げるテーマと記述内容の準備を行うこと（資料持ち込み不可）。

（なお、出席していても授業中の私語は、当然のことながら授業、他の学生の迷惑になるので厳禁とするので、登録前にあらかじめご留意いただきたい。）

備考　学部生の初歩としては、「知的財産と技術経営1」（著作権等の基礎。知財検定準拠。）、「知財のグローバリゼーションと言語の多様性」（海外（米国、欧州、アジア等）知財制度の中で著作権含む。）、「知的財産と起業」（特許法とベンチャーの基礎）を必要に応じ合わせて履修することが望ましい。

なお、応用編としてIT知財はソニー・マイクロソフト寄附講座「ユビキタス社会とIT知財」、バイオ知財は武田薬品寄附講座「バイオ創薬と知財イノベーション」、新素材・化学知財は三菱化学寄附講座「新素材ビジネスと知的財産」の科目は著作権は行わず特許、国際標準化が中心である。

「技術革新と産業社会B」は、「知的財産と技術経営2」（特許、商標、意匠等の基礎。知財検定準拠）をベースに、オリジナルの特許データベースを用いコンピュータルームでの企業の競争力比較分析をグループ討議の上、発表する形式であり、法律、制度でなく研究者、技術者のための分析編（1年生でも可）であるが、著作権は対象としない。また、本科目同様、著作権については、大学院国際情報通信研究科の境真良教授による「アジアの視点から見たコンテンツ産業の基礎」も中国等アジアのコンテンツ産業の競争力、海賊版対策などに特色ある科目であり推奨する。

関連URL:　関連業界団体

AMEI:　社団法人音楽電子事業協会　http://www.amei.or.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	国際コンテンツビジネスと著作権		
科目キー	2600002071		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	科学技術史II		
科目キー	2600002072		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　科学技術史Iの続編。本講義では、特に日本における科学技術の歩みを、それを取り巻く社会・経済・政治的状況との関連で概観する。対象とする時期は、江戸末期頃から1970年前後まで（70年代以降については、「科学技術と現代社会」の授業で扱う）。また、同時代における諸外国の動向と対比させることで、日本の科学技術体制の世界的な位置づけを行う。

授業の到達目標

シラバス　基本的には、教科書に沿った説明とするが、重要と思われる幾つかのトピックに関しては、別途関連する文献や史料を用いながらやや掘り下げた議論を行う予定である。

1. 日本における近代科学技術の導入過程
2. 科学の体制化・国家のテクノロジー化
3. 第一次世界大戦とそのインパクト
4. 戦間期の科学技術体制（1）――科学動員への端緒
5. 戦間期の科学技術体制（2）――戦前の科学者・技術者の教育
6. 第二次世界大戦中の科学技術体制
7. 占領下の科学技術
8. 高度成長への道
9. 高度成長と科学技術大国への道
10. 転換期の科学技術

教科書　廣重徹『科学の社会史』岩波現代文庫（上下2冊）、2003年。

参考文献

評価方法　定期試験による

備考　本講義に参加するためには、科学技術史Iの単位を取得している必要があるので注意すること。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	改善技術論		
科目キー	2600002073		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　博	和泉　高雄	上埜　安英
	大塚　寛弘	中野　金次郎	

副題

授業概要　グローバル化時代において企業や産業が生き残る方法の1つは組織競争力の向上であるといわれている。そして、競争力はその組織が生み出す成果の水準によって測られる。本講義では、主として製造業を対象とし、その競争力の源である組織パフォーマンスの構成要素について論じ、それらの水準を向上させるための方法論を紹介する。我が国の製造業及び産業は歴史的にこの技術（改善技術）の開発と実務への応用において高い水準にあり、このゆえに世界のものづくりを主導してきた側面を持つ。具体的な項目は以下のようである。

1. 改善技術の発展過程
2. 改善の考え方
3. 代表的改善技術スキーム
4. 改善技術スキームの機能構成と推進法（TPMを例として）
5. 改善要素技術と適用事例（TPMを例として）
6. 改善技術の将来展望

授業の到達目標

シラバス

第1回（片山、中野）
4月13日　改善技術のフレームワーク（ガイダンス・改善の必要性、歴史）
PDCAの要素展開、TPM・TQMなどの改善スキーム、ロス解析、ステップ展開、改善技術要素、QC7つ道具等
キーワード　PDCA、TMP、改善要素技術、QCストーリー、7つ道具

第2回（中野）
4月20日　生産効率評価法
生産阻害ロスの把握、OEE(Overall Efficiency of Equipment)の算出方法と演習・ケーススタディ
キーワード　OEE

第3回（和泉）
4月27日　製造力（現場力）強化マネジメントプログラム
TPM活動の概論、8つの活動と成果、現場力と見える化の推進法
キーワード　8本柱（個別改善、自主保全、計画保全、開発管理、教育訓練、品質保全）

第4回（中野）
5月11日　メンテナンスマネジメント
製造業における生産ロスの諸悪の根源である故障撲滅の展開法
キーワード　計画保全

第5回（和泉）
5月18日　改善のための観察、解析、対策技術
タイプ別ロスのアプローチ（突発型・慢性型）、ミシン教材による機構の理解
キーワード　観察（層別）、解析、対策

第6回（和泉）
5月25日　非価値時間撲滅技術
PM分析による因子の洗い出し法
ミシン教材による実習、原理・原則をふまえた解析法の習得
キーワード　PM分析

第7回（和泉）
6月1日　100%良品技術
加工点保証、モニタリング技術、工程・設備で品質を作りこむ品質保全の考え方、進め方の理解、目で見る管理
キーワード　工程・設備で品質を作りこむ、品質保全

第8回（大塚）
6月8日　生産の流れを把握する技術
サイコロを使用した生産工程擬似体験演習により停滞ロス改善の進め方の理解
キーワード　ボトルネック、バッファ、変動

第9回（大塚）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	改善技術論		
科目キー	2600002073		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

6月22日　ネック工程を分析する技術
『モノと情報の流れ図』を用いた生産工程の改善の進め方の理解
キーワード　在庫、リードタイム、生産指示、運搬、VSM(value stream mapping)

第10回（大塚）
6月29日　チェンジオーバー短縮技術　からくり（LCA）
IE手法も用いた演習により段取り改善の進め方と定石の理解。からくり
キーワード　IE、作業分析、ECRS

第11回（上埜）
7月6日　データマイニング(1)
企業データをもとに、データ解析を行う。エクセルを使用し、パレート、ヒストグラム、重回帰分析を行う。(1)
キーワード　エクセル、パレート、ヒストグラム、層別

第12回（上埜）
7月13日　データマイニング(2)
企業データをもとに、データ解析を行う。エクセルを使用し、パレート、ヒストグラム、重回帰分析を行う。(2)
キーワード　回帰式、重回帰式、予測

第13回（上埜）
7月17日　CUDBAS(A Method of Curriculum Developing Based on Ability Structure)
職業能力分析(CUDBAS)を活用した各作業に必要な能力の摘出法（演習）
キーワード　2007年問題、必要能力抽出法

第14回（片山）
7月18日　改善技術の実況見分

第15回（片山）
7月19日-23日　定期試験日・レポート提出期限

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ユビキタス社会におけるIT知財		
科目キー	2600002075		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	伊藤　ゆみ子	青柳　進	

副題

授業概要　1995年に爆発的に普及し始めたインターネット技術に代表されるIT技術は、産業にも劇的な変化をもたらした。この普及を加速するWindows95やInternet Explorerを送り出し、ことに大きな貢献をしたマイクロソフトおよびCD規格など色々なデジタル家電を製品化しているソニーの両企業の実務家を講師に迎え、IT産業の最前線で起こっている知的財産問題を具体的な事例も踏まえて、知的財産問題を嚆矢としてIT産業を俯瞰し、企業における知的財産戦略を学び、先端技術系人材育成のための学習機会を創設する。

授業の到達目標

シラバス　〈講義の特徴〉
1.マイクロソフト、ソニーの実務家が具体的な事例を紹介し、これらのケースを学ぶことにより、ダイナミックに変化する産業の最前線における知的財産問題の現状と動向を知ることができる。
2.ソニースクウェアの見学　ソニーの家電製品や放送機器の見学と、ゲーム、音楽、映画ビジネスの紹介・デモンストレーション

〈学習の目標〉
受講者は、IT産業の現状と知的財産問題の変遷および所在を理解することにより、単眼で狭隘な視野でなく、俯瞰的な戦略視点を持った思考を身に付けられることを目標とする。

〈授業計画〉(予定)

10／2 『オリエンテーション』（森）
10／9 『マイクロソフトの知的財産戦略』(伊藤、Phelps)
10／16 『ソニーの知的財産戦略』（青柳）
10／23 『インターネット社会とイノベーション』　(Foster)
11／06 『企業における知的財産と特許実務』（藤井）
11／13 『特許とイノベーション』（山口）
11／20 『標準化、フォーマットと知的財産』（守屋）
11／27 『著作権とイノベーション』（楠）
12／04 『ソニーのR＆Dと知的財産』(木村)、ゲストスピーカー
12／11 『標準化とイノベーション』（加治佐）
12／18 『ソニーSquare見学』
1／08 『競争法とイノベーション』　(伊藤)
1／15 『ブランド保護を担保する知財活動-商標・意匠について-』(講師未定)

教科書　特になし

参考文献　『ソニー自叙伝』(2001)ソニー広報部 (著), ワック編集部 (編集), ワック文庫
『ビーイング・デジタル:ビットの時代』(2001)ニコラス・ネグロポンテ(著), アスキー

評価方法　論文形式の集合試験により評価する

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	知的財産と起業		
科目キー	2600002076		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	尾崎　光三	原田　泉	森　康晃

副題

授業概要　米国シリコンバレーを中心に、中国、韓国の状況も加え、IT分野におけるベンチャーの現状と問題点を示し、知的財産権にまつわる現代的課題を考察する。

授業の到達目標

シラバス　1、「ベンチャーとIT革命」

IT革命とインターネットの歴史、日米の知財政策

2、「シリコンバレーのベンチービジネス」

実際のベンチャーキャピタルとベンチャービジネス（ビデオ）

3、「中国と韓国のIT革命とベンチャー」

中国の最新動向、韓国の最新動向

4、「産業発展と知財保護のバランス」

情報化と知的財産権、インターネットと著作権問題

教科書

参考文献　「クリエーティブ・シティ」NTT出版　2007年２月

「インターネットにおける言語と文化受容」NTT出版　2005年12月

「ネット社会の自由と安全保障」NTT出版　2005年3月

「デジタル・ツナガリ」 NTT出版　2004年10月

「21世紀北東アジア世界の展望」　日本経済評論社　2004年4月

「ブロードバンド国家戦略」 NTT出版　2003年10月

「デジタル・デバイド」 NTT出版　2002年8月

評価方法　試験

備考

関連URL:　創造理工学部 知財・産業社会政策領域森研究室
http://www.waseda.jp/sem-m

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	知的資産経営におけるコミュニケーション		
科目キー	2600002077		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	花堂　靖仁		

副題　知識化経済における価値創造に向けて

授業概要　企業の社会的使命は生産活動を通しての価値創造にある。そのために、供給する製品やサービスの付加価値をどのように高めるのか、顧客満足度を上げるためのブランド形成にいかに取り組むのか、といったことが企業経営のテーマとして問われることになる。具体的には、知的財産や知的資産の概念の形成と関連情報の体系化、知的財産やノウハウの管理、機密保持・プライバシーの確保と情報開示のバランス、ナレジマネジメントとITの活用などが企業経営の重要なテーマとなってきている。知的資産経営の視点からみれば、資金を含め経営資源の調達、研究開発と製品開発、知的財産のクロスライセンス、ブランド・エクイティーの形成、個人知と組織知の連関、持続的成長とリスク・マネジメントなどの企業経営の各プロセスにおける企業とステークホルダーとの双方向コミュニケーションの向上を通した情報共有が求められることになる。
本講義においては、総論において、工業化経済における企業経営から知識化経済における企業経営への変遷を辿りつつ、それぞれの特徴を整理する。そのうえで、各論として、経営理念と価値創造、経営資源の類型化と情報化、対外交渉力、組織知の形成とITの活用、情報共有によるCo-Productionとリスク管理などの知的資産経営の基本を学ぶ。

授業の到達目標

シラバス
【総論1】企業経営とは(1)ー経済・市場・企業・競争・情報
【総論2】企業経営とは(2)個人企業・会社企業・人的会社・物的会社
【総論3】工業化経済の企業経営(1)規格化・標準化・大量生産・大量消費・資本の固定化・規模の経済
【総論4】工業化経済の企業経営(2)持株会社と連結会計・公開会社と投資家保護・管理会計と財務会計
【総論5】知識化経済の企業経営(1)ーインターネット・ICT・レレバンスロストとBSC・経済レントとコンピテンシー
【総論6】知識化経済の企業経営(2)ー財務報告から改善された事業報告へ・リスボン計画と知的資本経営・失われた10年と知的資産経営
中間試験
【各論1】知的財産経営(1)ー知的財産の概念と管理・プロパテント政策・知的財産戦略
【各論2】知的財産経営(2)ーR＆Dプッシュ経営と価値創造・知的財産報告書の活用と限界
【各論3】知的資産経営(1)ー経営資源の体系化と知的資産の概念・知的資産経営の必要性
【各論4】知的資産経営(2)ーディマンドプル経営と価値創造・知的資産経営報告書の役割
【各論5】知的資産経営(3)ー知的資産経営のグローバル展開・XBRLタクソノミの形成とWICI
【各論6】知的資産経営(4)ー双方向コミュニケーション・情報共有と創発・CO-Production
期末試験

教科書　教科書は使用しない。
授業で使用するパワーポイントその他の教材については、掲出するサイトを初回授業時に紹介します。

参考文献
経済産業省『通商白書2004-新たな価値創造経営に向けてー』、ぎょうせい、2004年
古賀智敏著『知的資産の会計』、東洋経済新報社、2005年
伊藤邦雄編著『無形資産の会計』、中央経済社、2006年
花堂靖仁・ダイヤモンド社著『XBRLの衝撃』、ダイヤモンド社、2008年
花堂靖仁稿「Intangiblesの情報化とコミュニケーションに向けて」、ARI研究所/あずさ監査法人研究誌『人的資本についての論考ー非財務項目における人財の評価』所収、2008年2月

評価方法
授業時のショートレポートと意見表明　40%
中間試験　20%
期末試験　40%

備考

関連URL:　http://www.wiaps.waseda.ac.jp/user/hanado

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	産業・技術移転論		
科目キー	2600002079		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　博	後藤　芳一	

副題

授業概要　産業界では目下、グローバル化を背景に工場や事業所および技術の海外移転が盛んに行われている。また、特定の分野で開発された技術や事業の成功体験を他の分野に応用する試みも多くなされており、実務界におけるこのような資産やノウハウの移転活動は世界経済に大きな貢献を果たしているといえる。そこで本講義では、移転活動に関わる以下の各項目について考察する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	企業活動と国際金融		
科目キー	2600002080		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	北村　歳治		

副題

授業概要　本講義では、国際ビジネスを支えるシステム的な側面と貿易･投資の問題を議論する。その他、今日の企業が直面する国際的な企業活動の問題を取上げる。
また、EUに典型的に見られる地域統合論議やユーロ、米ドル、中国人民元等の通貨の問題の背景、またその相互関係等の問題にも触れる。

授業の到達目標

シラバス
1. シラバスの説明、さまざまな国:「国」の概念の複雑さと国際機関
2. 企業形態のさまざま:国際企業とは
3. 企業統治(コーポレート･ガバナンス)の構造:社長とは、取締役と執行役
4、5. 貿易の歴史と理論:沈黙貿易、生糸･絹･木綿、故障･茶の時代から工業製品、部品等の資本財貿易、そしてサービス貿易、その他パナマックス等
6. 国際収支の見方、財とサービス取引
7. 直接投資と技術移転
8、9. 為替レートの表示法
10、11. EU問題とユーロ
12. 国際通貨と為替レートの取決め
13、14. 人民元、通貨バスケット、香港ドルとカレンシーボード、ドル化(ユーロ化)
15. 国際金融資本市場(ロンドン、ニューヨーク、東京)

教科書

参考文献　「現代論国際金融論」上川孝夫･藤田誠一･向寿一(編)　有斐閣ブックス、(2007年の第3版)

評価方法
1. 2、3週間に一度与えられるレポート作成(A4版の2、3ページの短いもの)の回答。
2. レポートの内容が(1)問題の明確化、(2)その問題を巡るさまざまな議論、(3)学生自身の結論、(4)結論に至る論証･例証等の論理構成。(wikipedia等の出所に拠るコピーものは一切評価しない。)
3. 全出席を前提としており、不芳(かんばしくないこと)の場合にはマイナスに評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	産学連携、ベンチャー起業の基礎I		
科目キー	2600002081		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	出川　通		

副題　研究開発の成果を事業にしていくイノベーションのマネジメントの基礎

授業概要　研究と開発を社会的ニーズに適合させながら、事業化できるまでを効率よく遂行するために必要な基礎知識とその方法論を講ずる。日米のベンチャー企業と産学などの連携・アライアンスのあり方を中心にして技術シーズを製品開発しビジネスにするまでの全体を取り扱う。

製造業における付加価値構造のパラダイムシフトと研究、開発、事業化への時系列的な概念を明確化したあと、開発プロジェクトの実行とマーケットによる課題設定の重要性を示す。事例研究として組織やマネジメント上の問題点と克服手段を具体的に明らかにし、研究開発をした結果をビジネスプランに仕上げていくための知識と実例についても基礎的体系的に講義する。

授業の到達目標

シラバス　＊毎回の講義内容:産学連携・ベンチャー論（基礎）
(1)全体ガイダンス（全授業の内容、受講の注意事項、教科書、参考書、単位取得など）、講義全体の俯瞰と新事業創出の成功への日本の課題を学ぶ
(2)イノベーションのパラダイムシフト、研究、開発から事業化までのプロセスを学ぶ
(3)研究開発案件の技術・事業性に関する価値評価の手法を学ぶ
(4)ベンチャー企業の分類と特徴と事業創出に対する役割を学ぶ
(5)米国のベンチャー企業の成立と東海岸、西海岸の違いとベンチャー企業の基礎概念を説明
(6)大学発、開発連携型などの日本のベンチャー企業の特徴と展開例を学ぶ
(7)新技術をもとに展開するマーケティングを説明し、従来のマーケティング手法との共通点、相違点を明確化する
(8)知財の価値と技術移転、ライセンスと契約の重要性について説明する
(9)産学連携を中心としたアライアンスの基本的構図と課題、その解決策について説明する
(10)開発・事業化のためのプロジェクト・マネジメントと人材マネジメントについて説明する
(11)ビジネスプランニングI　ビジネスプランの基礎について説明する
(12)ビジネスプランニングII　ビジネスプランの応用例について説明する
(13)全体の復習と質疑、技術者の適性を生き方について紹介し、議論する

教科書　旧教科書:「最新MOTがよ-くわかる本」 秀和システム　・・・品切れ中につき手配できず。
新教科書:「新事業創出のすすめ-日米ベンチャーに学ぶビジネス・イノベーションとマネジメント-」
著者:出川　通
出版社:オプトロニクス社
◇2006年12月刊行
◇ISBN:4-902312-21-2
◇税込価格:1,575円
◇体裁:B6　288頁

参考文献　・講師の本講義に関して著した記事や最新関連資料などを適宜配布する予定
・出川　通著:新事業創出のすすめ:日米ベンチャーに学ぶビジネス・イノベーションとマネジメント、オプトロニクス社、2006．12刊
・出川　通著:技術経営の考え方—MOTと開発ベンチャーの現場から、光文社新書（143）、2004．4刊。
・クレイトン・クリステンセン（伊豆原弓訳）著:「イノベーションのジレンマ」翔泳社、2000刊
・ジェフリー・ムーア著:「キャズム」翔泳社、2002

評価方法　毎回講義後の時間内に、簡単なA4　1枚程度のレポートを課し、出席と内容の理解度を確認する。

備考　講義が主体で、一部演習・発表を課す。

関連URL:　http://www.techno-ig.com

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	産学連携、ベンチャー起業の基礎II		
科目キー	2600002082		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	原田　泉	山田　太郎	平塚　三好

副題

授業概要　今後、我が国のイノベーションシステムでは、欧米やアジア新興国との国際競争力の強化に鑑み、産学連携における研究開発型中小企業及びベンチャー企業の役割に着目することが重要と考えられる。本講義では、産学連携の形態として、特許利用や技術導入などの技術移転型のベンチャー起業だけでなく、企業を起点とした研究開発体制と企業ニーズからスタートする例などを示し、企業側と研究者側両方のメリットと産学連携を阻む問題点について論じる。

授業の到達目標

シラバス　本講義の3人の講師の各テーマ分担としては、原田泉：中国（清華大学（北京市）、東北大学（大連市）の実例、米国（シリコンバレー等）の産学官連携の現状と今後の日本の課題、平塚三好：日本及び海外の産学官連携・技術移転（知的財産の概要、知財人材・地域振興の観点から）、山田太郎：ベンチャー企業の成長と起業の研究（日本・米国）と早稲田発ベンチャー起業家として上場を成功させたプロセスとし、各分担のテーマ毎に産学連携、ベンチャー起業についての基礎的な知識、考え方を養う。現役の上場企業(東証マザーズ上場企業：ネクステック株式会社)の社長が、実際の起業やベンチャー企業の上場を通じて得られた経験や様々な現実を受講者に正確に伝え、理論や研究だけでは理解できない起業や上場プロセスと生の姿を解説する。理論では、起業の手法やベンチャー企業の特徴や構造を学んでいても、企業経営では、想像だにしない様々な現実が繰り広げられている。上場のプロセスにおいても、上場の為の情報も体験した経験者も少なく、一度その経験をしてみないとわからないことも多い。このように、講義内では、起業のプロセスと上場の裏表を解説する。

＜授業計画＞
10月01日　平塚「知的財産の概要」
10月08日　山田「産学連携ベンチャーの起業の実際」

10月15日　山田「上場の実際・上場の裏表1」
10月22日　山田「上場の実際・上場の裏表2」
11月05日　山田「起業の研究(日本・米国)」
（11月05日の授業終了後、2週間以内にレポートの提出を指定するメールアドレス宛に提出することを求める。成績評価の一部として採点の対象となる。）
11月12日　原田
11月19日　原田
11月26日　原田
12月03日　原田　教場にて、レポートの作成、提出を求める。（12月03日は成績評価の一部として採点の対象となる。持ち込みは授業で配布した講義資料、ノートに限って可。）
12月10日　平塚「日本の産学官連携・技術移転」
12月17日　平塚「海外の産学官連携・技術移転事情−知財人材の視点から−」

01月14日　平塚「海外の産学官連携・技術移転事情−地域振興の視点から−」

その後定期試験

教科書　授業での配布資料及び「次世代プロフェッショナルの働き方」 山田太郎著（生協で購入可）

参考文献

評価方法　上記の授業計画のとおり、1．レポートの提出（山田担当分　（注）レポート課題は、授業内を提示する。提出は、11/5の授業終了後より2週間以内(Eメールにて)。詳細は、授業内に説明する。）、2．12月03日授業時間でのレポート作成、提出（原田担当分）、3．期末定期試験（平塚担当分）ということで、3つを総合的に評価を行って採点する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	産学連携、ベンチャー起業の基礎II		
科目キー	2600002082		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	１時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	２年以上

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	人文地理学II		
科目キー	2600002083		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高柳　長直		

副題　アメリカ合衆国の人文地理

授業概要　本講義では、人文地理学1の応用として、人間の諸活動の場所的差違形成の論理や地域問題に対する視点を提示していくことにする。具体的には、アメリカ合衆国の事例をとりあげて、人口と民族問題・都市問題・政治と地理との関係などのサブテーマに関して人文地理学的考察を行なっていく。

授業の到達目標

シラバス
（1）メンタルマップ：アメリカ人は，どこに住みたいと思っているか？
（2）人口地理：南部や西部で人口増加が著しいのはなぜ？
（3）先住民族：ネイティブアメリカンの人々が住んでいるのはどこか？
（4）移民問題：なぜ，時代によって移民の出身国が異なっているのか？
（5）都市構造：アメリカの都市内部の各地区はどうして異なっているのか？
（6）都市構造：民族ごとのすみわけはどのようになっているのか？
（7）国際関係：プエルトリコはなぜ独立国でも州でもないのか？
（8）政治地理：「合州国」としての特徴は何であろう？
（9）文化地理：バイブルベルトとは何であろう？
（10）健康地理：アメリカ人はなぜ太っているのか？
（11）農業問題：グローバル化の中でどのように変動しているか？
（12）環境問題：環境に対する二面性
（13）まとめ

教科書　使用しない。

参考文献　Artbur Getis etal The United States and Canada（McGraw-Hill）
川島浩平他編『地図でよむアメリカ　歴史と現在』（雄山閣出版）

評価方法　学期末試験とレポートで評価する。

備考　人文地理学1を同年度に受講することが望ましい。
アメリカ合衆国に興味のある方や将来留学等を考えている方の受講も歓迎する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	様相論理学		
科目キー	2600002084		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	内田　種臣		

副題

授業概要　広い意味での様相論理学と言われるものの入門にあたることを主に扱う。これは、推論の内容を表わす文の中に、「……は必然的である」とか「……は可能である」などの表現、時制を表す表現など、いわゆる広い意味での、様相表現が現われ、それらの意味が推論の正当性に関与しているようなものを扱う論理学である。これらの論理体系は、社会科学の基礎概念の研究、理論言語学の研究、さらには、自然言語処理の理論などにも関係してくる。また、この講義は、命題論理学、述語論理学、モンタギュー文法などもカバーする。

授業の到達目標

シラバス
1）形式演繹論理学
「形式」の意味 「演繹」の意味
「構文論　意味論　語用論」の意味
2）命題論理
　タブロー式証明
　ヒルベルト式証明
3）広い意味での様相論理
　いろいろな公理体系
　いろいろなモデル構造
4）モンタギュー文法
　カテゴリー文法
　高階内包論理学

教科書

参考文献　Symbolic Logic (Harry J. Gensler)

評価方法　出席と試験による

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	境界領域アート論		
科目キー	2600002085		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	菅野　由弘		

副題

授業概要　芸術活動は従来、美術、音楽、演劇、文学と明確に分類されてきた。しかし現在、これらの境界が取り払われ、明確に分類出来ないクロスした領域に様々な新しいアートが生まれ、それらが生き生きと活動している。絵画や彫刻が美術館に、音楽がコンサートホールに、演劇が劇場に、文学が本の中に閉じこもっている間に、自由闊達さが失われ、本来の芸術の意味さえ問われかねない状況になっていることも事実であろう。本講座では、それらの境界領域に属する表現活動を実際に見学鑑賞し、論じ、ゼミ形式で話し合うことを目的とする。

授業の到達目標

シラバス　◎授業内容は、パブリック・アート、メディア・アート、パフォーミング・アート、ランド・アート、などを論じ、刻一刻変化するアート形態に、リアルタイムで対応して行きたいと考えている。

実際に出かける場所は、六本木ヒルズ、けやき坂のパブリックアート見学を皮切りに、東京オペラシティアートギャラリー、森美術館、東京都現代美術館、NTTインターコミュニケーションセンターなどを予定している。尚、時間内に理エキャンパスに戻れる範囲としている。場所は、授業開始後、随時発表し、シラバスにも記載して行く。

最初の授業：教室にて、クリスト、ジェームズ・タレルなどの作品を紹介し、この講座の全体像と、今後の予定を述べる。

2008年4月17日

六本木ヒルズ、パブリック・アート鑑賞
（野外なので、雨天順延、雨天の場合は教室に集合--中止の場合、午前中に登録のメールアドレスに事務所からメールが送られます。）

13:00に、六本木ヒルズの彫刻「ママン」の下に集合の後、ガイドツアー形式で見て回るので、遅刻しないように集合のこと。なお、この日は、出席票に学籍番号と氏名を記入したものを持参し、現地で提出する。

地下鉄日比谷線、六本木下車、六本木ヒルズ方面1c出口を出ると、六本木ヒルズの真下に着くので、長いエスカレーターで地上2階へ。正面すぐに「ママン」が見える。

新大久保12:30発（山手線内回り）--恵比寿12:46(東京メトロ日比谷線、東武動物公園行き）--六本木12:52着--1c出口

4月24日教室にて、パブリック・アートに関する発表とディスカッション
5月1日教室にて、パブリック・アートに関する発表とディスカッション

5月8日、六本木森美術館「ターナー賞の歩み展」鑑賞
13:00現地集合の場合：
往路：新大久保12:30発（山手線内回り）--恵比寿12:46(東京メトロ日比谷線、東武動物公園行き）--六本木12:52着--1c出口
復路：六本木14:03---恵比寿14:17---新大久保14:28

教科書

参考文献

評価方法

備考　ほぼ一回おきに実際の展覧会等を見学、鑑賞し、それについて、学生自身が発表し、ディスカッションするゼミ形式で授業を行うので、主体的な参加態度を望んでいる。また、遅刻は認めない。なお、展覧会等の入場料（それぞれ600円から3000円程度）は自己負担となる。

第一回目の授業で、次週からの予定を発表するので、必ず出席すること。また、展覧会見学鑑賞に出かける週は、教室ではなく、現地集合となるので、注意すること。集合場所等は、授業計画に随時記載する。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	境界領域アート論		
科目キー	2600002085		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	心身問題研究		
科目キー	2600002086		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	内田　種臣		

副題

授業概要　本講座では、「心」という概念、「身体」という概念、「物」という概念が古代ギリシャ以降歴史的にどのように変化してきたか、また心と身体はどのように関係するものと見なされてきたか（哲学では、いわゆる「心的問題」といわれるもの）、これらの問題が哲学においてどのような位置を占めてきたかを、文献をもとに議論する。文献は伝統的な哲学の分野だけに限らず、認知科学、人工知能に関する哲学のものも含む。講義というよりむしろ学生参加の演習形式にし、これによって「自己」との関わりという問題が現れてくるようにする。

授業の到達目標

シラバス
1）心身問題とは何か？
2）コンピュータは考えられるか？
3）認知科学
4）行為の構造
5）社会科学の特徴
6）自由意志について
7）自己意識とは何か？

教科書

参考文献
心・脳・科学（ジョン・サール）
心の概念（ギルバート・ライル）
心の中の身体（マーク・ジョンソン）
心を自然化する（フレッド・ドレツキ）

評価方法　ディベート式の討論の評価とレポート

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	物語研究		
科目キー	2600002087		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　泰完 市川　真人		中野　葉子

副題

授業概要　対象となる「物語」は単にそう命名されそうなものだけでない。テクストになりうるもの、あるいはわれわれがテクストとして取り上げるものはすべて、その瞬間から「物語」になると言ってもいいからだ。新聞記事やテレビの報道、種々のレポートの「物語性」をもいっしょに考えていく。そうしてわれわれは、われわれの世界理解そのものが物語性ぬきには考えられないという認識から、物語研究をすべての人間的営為の物語構造研究への出発点になる重要な研究として位置付けているのある。

授業の到達目標

シラバス

中野
そもそも物語とは何か、というところから授業を始める。絵画、写真、新聞記事、日常のふとした出来事の中にも物語はある。また、世代や国境を超えて人々をひきつける物語に共通点があるとすれば、それは何なのか、物語を面白くするのは何なのか、といったことも考察していく。最後に課題として短編を実際に書いてもらう。

山田
今回は言葉の，あるいは単語のもつ物語性について考える。

シュレヒト
ドイツ語圏で読まれている日本の文学作品を取り上げ、日本の物語が海外でどのように評価されているかを考える。日本を代表する文学作品、いわゆる純文学はもちろん、ここ数年村上春樹や吉本ばななのような、日本の大衆文学作家が話題を呼んでいる。日本のまんがも若い人々に熱狂的に受け入れられている。これらの翻訳された「日本の物語」需要に注目し、ドイツ語圏内でポピュラーな作品と比較していく。最終回ではドイツの映画『ベルンの奇跡』（予定）を取り上げ、時事問題と個人（家族）との関わりという物語について、検討する。

市川
講義を前半と後半とに分割しておこなう。
前半では、私たちの生活や社会を「物語」がどのように支配しているかを、肯定的・否定的な両側面で紹介していく。
後半では、実際の作品を物語構造に分解し、そこに各自が課題として応用や拡張を試みる。

教科書　種々のプリントを配付する。

参考文献　参考文献等に関してはそのつど指示する。

評価方法　レポート（作品を含む）

備考

【担当教員連絡先等】
山田泰完(taik@waseda.jp)

レポートはかならず三つ提出しなければならない。
テーマは授業中に指示。
別に指示がない場合には、51号館2階のレポートボックスに提出のこと。

レポートボックスが設置される前，あるいは撤去されている場合は51号館5階の504A（山田研究室）のメールボックスの入れること。ただし期限は厳守のこと。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フィクション設計論		
科目キー	2600002088		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　泰完	市川　真人	

副題

授業概要　小説、映画、コミックなど、さまざまなメディアを成立させる要素とは、ひとつに物語であり、同時にそれを載せる器としての、文章、映像、構図などでもあります。

たとえば文学についてなら、「なにを書くのか」だけでなく、「どう書くのか」「なにを書かないのか」といった選択が、無意識的・意識的を問わず、行われているわけです。

この講義では、そうした形式性を文体・フィクションの構造・細部の配置などから見出すとともに、文学のみにとどまらず、映画やコミックなどの作品も随時参照し、あるいは社会構造における同種のフィクション（想像の共同体としての「社会」）なども批評的に視野に入れながら、さまざまなフィクションの生産に再利用することを考えます。

授業の到達目標

シラバス　最初の4回は概論、つづく4回は個別の作品を分析し、人数にもよりますが最後の4回は物語行為論などを参照しつつワークショップ的な実習をする予定です。

教科書　授業内で指示します。

参考文献　授業内で指示します。

評価方法　平常点・課題およびレポート

備考　【担当教員連絡先等】
山田泰完(taik@waseda.jp)

担当教員連絡先は山田になっていますが，講義および演習は専ら市川が行ないます。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	語源研究		
科目キー	2600002089		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　泰完		

副題

授業概要　言語は絶えず変化する。言語の大きな特性はそれが変化することであると言ってもよい。人間の営みの総体を文化と呼ぶならば、言語の変化は最も文化的な現象であると言うことができる。一つの語の歴史を探ることは、単に語形・音韻・意味等の変化を知るだけに留まらない。それはその語と密接につながっている他のさまざまな語と、それらの言の葉を担う枝・幹を、言語という一本の大木を見るということ、つまりは言語そのものの構造に触れるということなのだ。
「語源研究」によってぼくたちは、どの言語においても見られる言葉遊び・語源俗解などによる、時には苦笑せざるをえない、また時には感心させられるほどに見事な、語源理解のさまざまな例にも目配りを怠らず、ゆっくりとしかし着実に言語の古い森に分け入ろうと思う。いくつかの興味深い木々の観察をしてみよう。

授業の到達目標

シラバス　＊　「語源」あるいは「語源学」に相当する例えば英語は　″etymology″　であるが、これはもともとギリシャ語の″etymos″（本当の）と ″logos″（言葉）をもとにしている。はたして古代ギリシャでは『語源』というものがどのように考えられていたのだろうか？中世から現代までのヨーロッパでは？日本では？興味はつきない。そこで、 語源に関する古今東西のさまざまな考え方をまずは概観する。そして語源研究の歴史を辿ることで、言語そのものにたいしてはさまざまな態度があること、ありうることを確認する。
＊　語源研究が、一時の停滞を経て、今日また見直され関心を集めてきたのには理由がある。もちろん語源研究が、いつも発見のよろこびがある「楽しい学問」gaya scienza であるということは一方にはあるが、さまざまな次元での歴史理解の増大がかなりの信憑性をもって語源の確定を可能にするようになった、ということもまた一方にあるのである。この意味でこれまで語源俗解の無法にさらされてきたさまざまな解釈をもう一度考え直す作業をおこなう。
＊　そうして、概説・解説の段階で扱われる膨大な量の参考例を自ら操作することによって、初出の言葉にたいしても漸次なんらかの類推形を出す練習をおこなう。
＊　概説・練習ののちに各人が日本語の音・訓そして共通外国語としての英語の語源を探究して、レポートにまとめる。

教科書　種々のプリントを配付する。

参考文献　参考文献等に関してはそのつど指示する。

評価方法　レポート

備考　レポート提出期限：　7月31日（厳守）

レポート提出先：51号館504A　山田研究室レターボックス

研究室開室日：　メールで確認してください。その都度調整します，

【担当教員連絡先等】山田泰完(taik@waseda.jp)

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	実験の思想史I		
科目キー	2600002090		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	平尾　淳一		

副題

授業概要　自然に関する認識が，実験・観測を通じて，歴史的にどのように変遷してきたかを紹介する．本講義では特に「重力と運動」にスポットライトをあてる．実験を可能にした技術の進歩にも可能な限り触れることにしたい．

授業の到達目標

シラバス
(1)天文学と運動の分析
(2)ニュートン力学
(3)地球の形状と運動
(4)重力の法則と重力定数
(5)等価原理とマッハ原理
(6)特殊および一般相対論と重力波

教科書　教科書は指定しない．
参考書として，
「古典物理学を創った人々」エミリオ・セグレ著／みすず書房
「重力と力学的世界」山本義隆著／現代数学社
をあげておく．

参考文献

評価方法　教場試験

備考　高等学校程度の物理学の理解を前提とするが，それ以上の知識は必要としない．

【担当教員連絡先等】
平尾　淳一（chris@aoni.waseda.jp）

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	実験の思想史II		
科目キー	2600002091		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	平尾　淳一		

副題

授業概要　自然に関する認識が，実験・観測を通じて，歴史的にどのように変遷してきたかを紹介する．本講義では特に光学と電磁気学にスポットライトをあてる．実験を可能にした技術の進歩にも可能な限り触れることにしたい．

授業の到達目標

シラバス
(1)光の基本的性質
(2)光速の測定
(3)光を伝える媒質
(4)電気と磁気に関する現象
(5)電磁波
(6)電子と量子

教科書　教科書は指定しない．
参考書として，
「古典物理学を創った人々」エミリオ・セグレ著／みすず書房
「歴史を変えた物理実験」霜田光一著／丸善
をあげておく．

参考文献

評価方法　教場試験・レポート（作品を含む）

備考　高等学校程度の物理学の理解を前提とするが，それ以上の知識は必要としない．

【担当教員連絡先等】
平尾　淳一（chris@aoni.waseda.jp）

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	芸術表現I		
科目キー	2600002092		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	藪野　健		

副題

授業概要　場、記憶、制作をキーワードにして芸術のあり方、可能性を探っていく。
絵画、彫刻、建築、都市、デザイン、映像、文学とジャンルを越えて作品をあげて授業をすすめていきたい。実習（描く）、見学も予定している。

授業の到達目標

シラバス　〇表現の始まり〇描いてみる
〇どう表現するか〇記憶を描く
〇テーマ〇制作の場（レオナルド、ベラスケス、ゴヤ、ピカソ、ヴォルス、ポロツク等）〇工学と芸術（人とのインターフェイス、例えばブガティ、イスパノ・スイザ、フェラーリ等の車のデザイン）〇メッセージとプロパガンダ〇造形の言語
〇美術館

教科書　資料は授業の折に配布

参考文献　他に参考として
拙著「絵画の着想」
　「プラド美術館　名画に隠れた謎を解く」いずれも中央公論新社

評価方法　採点は出席を重視。課題、通常試験による。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	芸術表現II		
科目キー	2600002093		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	板屋　緑		

副題

授業概要　都市の表現は人間の幸福への探求行為としてあり、そこには芸術作品と同じように、多くの人々の美への驚きや構築への意志が堆積しているはずである。本授業では、この現実の都市や建築の表現と絵画や映画に描かれた都市を対照することで、芸術表現の可能性を考察していく。

授業の到達目標

シラバス
(1) エイゼンシュテインとピラネージの形式の流動性 (オデッサ,ローマ)
(2) A.ロレンツェッティの幻想のシエナ (シエナ)
(3) <感じやすさ>の人々と<構築家>たち (フィレンツェ)
(4) クロード・ロランとニコラ・プッサンの風景都市 (ティヴォリ)
(5) 内面の都市としてのパッサージュ (パリ,トリノ,ミラノ,ナポリ,モスクワ)
(6) 古代ローマの壁画の建築ファンタジー1. (ポンペイ,エルコラーノ)
(7) 古代ローマの壁画の建築ファンタジー2. (ポンペイ,エルコラーノ)
(8) パン屋の墓と水道橋 (ローマ)
(9) スッラのフォルトゥーナ・プリミゲニアの神域 (パレストリーナ)
(10) ネロ帝のドムス・アウレア (ローマ)
(11) 映画の中の都市のドラマトゥルギー (パリ,ベルリン)

教科書　資料を授業の折に配布

参考文献　板屋リョク著『古代ローマの建築家たち』丸善、2001

評価方法　講義内容に基づく後期試験と出席を評価の対象とする。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	映像史I		
科目キー	2600002094		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	井上　明久		

副題

授業概要　世界を代表する都市の一つである東京は、世界で最も激しく変貌する都市でもある。江戸の町並みから明治、大正、昭和、平成と大きく様変わりする東京の映像を、ドキュメントと映画作品を通して見ていく。そして、それらの映像を通して、東京という町の意味を考察する。

授業の到達目標

シラバス　1回目は「映像史I」についての全体的な内容について講義し、2回目以降は、山中貞雄、小津安二郎、黒澤明、成瀬巳喜男他の映像作品の一部分をビデオを使用して講義する。

教科書

参考文献

評価方法　前期の最終回授業日（7月9日）において、その授業時間内で「課題」について小論文を書く。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	映像史II		
科目キー	2600002095		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	有木　宏二		

副題

授業概要　20世紀の映像史（映画史）を、主にハリウッドで製作された映画を中心に「ユダヤ人」、「群集」という観点から検証します。そこで明らかになるのは、ハリウッド映画の娯楽性ではなく、そのアクチュアルな歴史認識です。最終的にはホロコーストと歴史の表象不可能性という、表現におけるもっとも困難な問題を考えてみます。すなわち、いかにすれば映像は、その絶対的な禁忌と向き合うことができるのか――。もちろん、余裕があれば、エンターテイメントとしての映画にも触れていきたいと思います。それも映画史の重要な一部なのですから。

授業の到達目標

シラバス　映像史の通史の講義ではありますが、ある意味、映画史の読み替えとなりますので、できればハリウッド映画についての知識（断片的でもかまいません）を持って授業に臨んでください。取り組むテーマは難しく感じられるかもしれませんが、できるかぎり理解すべき事柄を共有しながらゆっくりと授業を進めていきたいと思います。大まかに以下のような進行を考えています。

1　映画の誕生と映画文法の確立
2　ナチス・ドイツとフリッツ・ラング
3　第二次世界大戦とアウシュヴィッツの記憶
4　スティーヴン・スピルバーグとクロード・ランズマン
5　ジャン=リュック・ゴダール『映画史』

教科書　蓮見重彦『ハリウッド映画史講義――翳りの歴史のために』（筑摩書房）
加藤幹郎『映画とは何か』（みすず書房）
鵜飼哲、高橋哲哉［編］『「ショアー」の衝撃』（未来社）
ジョルジュ・ディディ・ユベルマン『イメージ、それでもなお――アウシュヴィッツからもぎ取られた四枚の写真』（平凡社）

参考文献

評価方法　出席とレポートによって判定します。

備考　特になし

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ラテン語文献基礎研究I		
科目キー	2600002096		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　泰完		

副題

授業概要　古代ローマにおいて使用されたラテン語は、中世およびルネサンス期のヨーロッパにおいて知識人共通の言語であった。これらの時期の文化的営為はラテン語によって行われていた、とも言える。当時、科学的思考もまたラテン語によって表現されていた。したがって科学史を研究したりローマ時代以後の科学論文を読もうとする者は、当然ラテン語の知識がなければならない。
この講義ではシーザー、セネカなどの文章の明快な箇所を学習する一方、理系の学生が絶えず直面するさまざまな科学用語の解明もある程度はできるように、語源意識をもった文法構造理解にも努める。

授業の到達目標

シラバス　習うより慣れよ、をモットーに様々な練習を通してラテン語の基礎知識を見につけて行く。

教科書　プリントを配布する。

参考文献　辞書・参考文献はその都度指示する。

評価方法　平常点＋定期試験。

備考　レポート提出期限：　8月10日（厳守）
レポート題目：　25ページの問題を訳して、変化する語（名詞、形容詞、動詞）をすべて変化させなさい。
レポート提出先：51号館504A　山田研究室レターボックス

研究室開室日：　7月19日午後1時ー5時、7月20日、26日、27日、8月2日、3日、9日、10日10時ー16時

【担当教員連絡先等】
山田泰完(taik@waseda.jp)

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ラテン語文献基礎研究II		
科目キー	2600002097		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　泰完		

副題

授業概要　古代ローマにおいて使用されたラテン語は、中世およびルネサンス期のヨーロッパにおいて知識人共通の言語であった。これらの時期の文化的営為はラテン語によって行われていた、とも言える。当時、科学的思考もまたラテン語によって表現されていた。したがって科学史を研究したりローマ時代以後の科学論文を読もうとする者は、当然ラテン語の知識がなければならない。
この講義ではシーザー、セネカなどの文章の明快な箇所を学習する一方、理系の学生が絶えず直面するさまざまな科学用語の解明もある程度はできるように、語源意識をもった文法構造理解にも努める。
ラテン語の習得によって身についた教養は単に自然科学の範囲にとどまるものではない。それはまた古代ローマや中世以降のヨーロッパ文化全体にも広い展望を開いてくれ、諸君の知的営為に大きなインパクトを与えるものなのだ

授業の到達目標

シラバス　この講義ではIで学んだラテン語の基礎的な文法と語彙を確認しながら、学期が終わる頃にはニュートンのプリンキピア(Philosophiae Naturalis Principia Mathematica)の諸定義を読破する。
同時に近代語の構造的理解や語源的理解を深めるための練習も行なう。

教科書　プリントを配布する。

参考文献　辞書・参考文献はその都度指示する。

評価方法　平常点＋定期試験。

備考　【担当教員連絡先等】
山田泰完(taik@waseda.jp)

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	プロデュース特論		
科目キー	2600002099		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	安藤　紘平	元村　直樹	

副題

授業概要　映画のプロデューサーの仕事は、企画、デベロップメント、マーケッティングリサーチ、ファイナンス、映画製作、契約、著作権、宣伝、配給、回収、マーチャンダイズ、海外展開など、多彩です。「陰陽師」「世界の中心で愛をさけぶ」の濱名一哉氏、「ナビィの恋」「カナリア」の佐々木史朗氏など、ヒットメーカープロデューサーとして活躍する各部門の専門家をゲストに迎え、プロデューサーの何たるかを学びます。

授業の到達目標

シラバス　安藤が統括、“世界の中心で愛をさけぶ”“ナビィの恋”などで活躍のプロデューサー濱名氏・佐々木氏を中心に多彩なゲストがそれぞれの専門分野を担当する。

【ゲスト講師予定】 多少変更となる場合があります。
（1）濱名一哉（TBS） 時代が求めるプロデューサーとは・映画事業の可能性
（2）佐々木史朗（オフィスシロウズ） インディペンデントプロデューサーとは・ミニシアター映画製作
（3）市川南（東宝） 公開映画を基にしたプロデュースの実際
（4）和田倉和利（シネバザール） 映画製作現場の実際
（5）濱名一哉（TBS） 映画企画デベロップメントと製作
（6）久保田修（IMJ）＆犬童一心　プロデューサーと監督
（7）平野直樹（TBS） 映画事業における著作権・契約
（8）小谷靖（エンタテインメント・ファーム） 映画ファイナンス
（9）市川南（東宝） 映画宣伝とマーケティング
（10） 濱名一哉（TBS） 映画制作の収支構造・ビジネスの実際
（11）辻本珠子（TBS） マーチャンダイジングとプロモーション（12） 佐久間□工（WOWOW） WOWOWをプロデュースする
（13）久保雅一（小学館） ポケモンと日本アニメの国際戦略
（14）濱名一哉（TBS） 総括と課題

教科書　場合により、授業中に適宜配付する。

参考文献　『コンテンツ・プロデュース機能の基盤強化に関する調査研究』
URL: http://www.meti.go.jp/policy/media_contents/index.html
「映像プロフェッショナル入門」安藤紘平著、フィルムアート社刊　定価2,000円
※早稲田大学生協にて生協組合員は1,800円で購入出来ます。

評価方法　レポート、授業への参加度を総合的に評価する。
※大学院学生と学部学生では、評価基準を別に定め、それぞれに見合った学業成績判定を行います。

備考　本科目は、大学院との合併科目です。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンテンツマーケティングリサーチ		
科目キー	2600002102		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森　一美		

副題

授業概要　マーケティングという言葉は日本語・フランス語・ドイツ語・ロシア語どこの国でも共通語として使われる。
また概念は「trade（商取引）selling（販売）でないものをいうと定義されている。
コンテンツ（メディア素材）の売り上げから利潤をあげるために、消費者の動向・嗜好を調査・分析をすること、
それらの調査・分析の結果に基づいてコンテンツ販売を行うこと、これはマーケティングの一部概念とされ、
マーケティングリサーチである。
リサーチとは関係なく、販売ルートを最適化して利益をあげることもマーケティングである。
マーケティングが関わる分野は非常に広い。
具体的なマーケティング戦略は、その時代・市場により、最適なものは異なる。
現代においては、情報技術(IT)を活用したマーケティングが必須である。
この講義では「コンテンツ」のマーケティングをする為のリサーチ（調査）方法について学習する。

授業の到達目標

シラバス　1）マーケティング志向とは何か
コンテンツの定義とマーケティング的なアプローチ、考え方とは何かについて、
マーケティング成立の背景や要因、歴史にふれながら考察する。
2）メディアとマーケティング
身近な素材であるメディア（テレビ・ラジオ・新聞・雑誌）をテーマにマーケティングの意味や役割を解説する。
マーケティングに関するいくつかの代表的な理論・定義を紹介し今何がマーケティングに求められているかを考察する。
3）マーケティングリサーチ
マーケティングリサーチの種類、流れ、調査の組立方等について解説し、特に調査票の重要性を理解してもらう。
標本調査についてサンプリングの実務も含めて解説し、社会調査の果たす役割などを考察する。
4）調査結果の分析方法
誤差検定、数量化分析の基本、回帰分析・重回帰分析、数量化1類、因子分析、クラスター分析、データマイニング、
コンジョイント分析などの概念と分析結果の使われ方について考察する。
5）実例紹介と今後の使われ方
現実の社会で使われているデータを用い今後のマーケティングを考察する。
・パチンコ業界のマーケティング、 ・プロモーショナルマーケティング、 ・クーポン・ダイレクトマーケティング
マーケティングの原点に立って、消費者（生活者）とマーケティングのこれからのかかわり方、方向等を考察する。

教科書　教科書はなし　資料は実例を紹介するが　企業名などは公表しない。

参考文献

評価方法　講義最終日にテーマ発表　レポートによって採点する。

備考　事前の学習は不要だが講義内容に付いての質問を希望する。
疑問を持つこと考える事を大事にしたい。
小レポートを講義中に書いてもらう（数回）このレポートも採点基準にする、同時に出席点として評価する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	企業金融論		
科目キー	2600002103		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	北村　歳治		

副題

授業概要　企業金融論の中で、特にベンチャー・ビジネスを含む企業の資金調達問題に焦点を当て、資金に関する需要供給条件を明らかにする。また、企業の諸形態及び会社法のフレームワーク、取引の多様化の経緯を踏まえた利子率の諸側面、資本コスト及び資本構成、法人税の影響、フィナンシャル・レバレッジ、決済システム等の問題を扱う。また、時間の許す範囲で資産運用にかかわる資産選択（ポートフォリオ）の問題にも言及し、金融工学の基礎的な問題にも触れる。

授業の到達目標

シラバス
1. 講義予定の概要とレポートの書き方
2. 企業とは、ベンチャー･ビジネスとは（企業と会社の違い、その歴史）
3. 企業の貸借対照表とコーポレートガバナンス、取締役会の位置づけとCEO(最高経営責任者)、CIO等の経営責任者。
4. 新会社法と金融商品取引法、そして分かりにくい「内部統制」とは
5. さまざまな資金調達法と(法人)税の影響（資本コストの問題）
6. 現在価値の概念、（DCF法、不良債権処理等）
7. ニワトリか卵か、さまざまな投資基準(エクセルによる表計算)、
8. 借金経営と無借金経営
9. 資金を調達するには、銀行か証券会社か、エクィティ･ファイナンスとデット･ファイナンス、ROAとROE
10. 企業の利益はどうして決まるのか、なぜ粉飾決算が絶えないのか
11. 金融仲介とは何か
12. 人的資本（Saach＆Saach）
13. 資産選択の議論

教科書

参考文献
「証券市場―基礎から発展―」川村雄介著　財経詳報社、2006年
「入門　金融論」池尾和人編　ダイヤモンド社、2004年
「SEのための金融の基礎知識」克元亮編　日本能率協会マネジメントセンター、2005年
「行動ファイナンス入門」岡田克彦　秀和システム、2007年
「会計がよく分かる講座」（金児昭(監)）中島清視著　かんき出版、2006年

評価方法
1. 2、3週間に一度与えられるレポート作成（A4版の2、3ページの短いもの）の回答。
2. レポートの内容が(1)問題の明確化、(2)その問題を巡るさまざまな議論、(3)学生自身の結論、(4)結論に至る論証･例証等の論理構成。(wikipedia等の出所に拠るコピーものは一切評価しない。)
3. 全出席を前提としており、不芳(かんばしくないこと)の場合にはマイナスに評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	インターメディア作曲I		
科目キー	2600002104		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	菅野　由弘		

副題

授業概要　コンピュータ音楽を作曲するコースである。

現代のテクノロジーは、新しいメディアを生み、新たな音楽の創造領域を作り出している。楽器が音楽作品を生み、音楽が楽器を変化させたように、テクノロジーが 生んだ新しいメディアは、新たな音楽作品を生み、音楽はメディアを変化させ、新たなテクノロジーを必要としている。こうした動きに対応すべく、コンピューターによる作曲、音楽制作を実際に行い、ニューメディアにアプローチし、テクノロジーを見直すコースである。コンピュータに強い学生に音楽を教える、という方針で講義を進める。いわゆる既存のクラシック、ポップス、一般に言うところのDTMは扱わない。受講者はそれぞれ各自ミニ・ステレオ・ジャックのヘッドフォンを持参すること。

受講者は、次の通りです。
1G05A041-2
1G05A052-1
1G05A088-6
1G05A255-2
1G05Q095-1
1G05Q219-1
1G060214-7
1G06A155-4
1G06A176-7
1G06A308-3
1G06D194-8
1G06J026-6
1G06J027-0
1G06J042-1
1G06L079-2
1G06Q150-8
1G06Q169-5
1G06Q184-6
1G06R130-5
1G06R166-1
1G06R224-1

4月14日開講です。61号館305教室に集合してください。

授業の到達目標

シラバス　コンピュータ音楽の基礎として、現実音の加工による音作りと、画像データから音への変換ソフトによる音作りを中心に進める。そうした音たちとの対話から、自分の音楽を作り出すことを目的とする。いわゆる既存のクラシック、ポップスとは全く違った創造への手がかりをつかみ、それぞれの個性を紡ぎ出したいと思っている。

教科書

参考文献

評価方法　作品提出と平常点

備考

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/ykanno/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	インターメディア作曲II		
科目キー	2600002105		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	菅野　由弘		

副題

授業概要　現代のテクノロジーは、新しいメディアを生み、新たな音楽の創造領域を作り出している。楽器が音楽作品を生み、音楽が楽器を変化させたように、テクノロジーが 生んだ新しいメディアは、新たな音楽作品を生み、音楽はメディアを変化させ、新たなテクノロジーを必要としている。こうした動きに対応すべく、コンピューターによる作曲、音楽制作を実際に行い、ニューメディアにアプローチし、テクノロジーを見直すコースである。

授業の到達目標

シラバス　前期に作曲した「現実音の加工による音楽」をベースに、更に個性的な音楽作りを目指す。ここでは、前期の方法に加え、Reason、ProToolsといったソフトを駆使して、作品を完成させてゆく。

教科書

参考文献

評価方法　作品提出・平常点

備考　インターメディア作曲Iを履修、単位取得者のみエントリーできる。（原則として、今年度前期の履修者に限る）

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/ykanno/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ニーズ型社会と新産業創出		
科目キー	2600002107		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(前期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	後藤　芳一		

副題

授業概要　ニーズが経済を主導する社会に移るなかで、新産業の創出が求められている。社会のニーズとは、持続的な社会にむけて、少子高齢化、環境問題、格差の問題、消費や流通の変化、情報化などへの対応である。講義では、事例をもとに、受講者が産業、行政、NPOなどで、企画立案を通じてリーダーシップを発揮するための、実践的な方法を論じる。

授業の到達目標

シラバス　第1回8月18日(月)

▼第1講 「ニーズ型社会と日本の現状」(起こりつつあること)

第1講では、本講全体の枠組を概観するとともに、「ニーズ型社会」を定義し、それに対応するための必要条件を整理する。

経済社会の成熟とともに、経済社会のあり方を決める要因が、これまでの、量的成長、規模の経済、技術シーズ主導から、社会のニーズへの対応に移りつつある。

一方、そうした対応を行うためには、健全な経済と、それを支える産業の競争力が必要である。産業の競争力としては、日本の産業や経済の活力を支える、中小企業、ベンチャー、それらの支援策(例:ファンド、インキュベーション)に注目する。

【事例】「ニーズ型社会」、「中小企業の力」、「ベンチャー」、「ファンド」

第2回8月19日(火)

▼第2講 「競争力の確保と必要な視点」(これから必要なこと)

第2講では、今後の経営環境のもとで、産業をはじめとする、各種組織の、競争力の確保に必要な視点を整理する。

社会のフラット化、経済活動のグローバル化が進むなか、企業をはじめとする組織は、限られた経営資源や時間のもとで、より的確な対応が求められている。

こうした状況で、個々の取組みの質の高さの前に成否を分けると考えられる、課題をどう認識して定義するか、対応策を考える際にどのスコープ(対応策の幅の広さ)で考えるか、といった取組みの視点に注目する。

【事例】「経営戦略」、「マネジメント」、「ビジネスモデル」、「販売促進」

第3回8月25日(月)

▼第3講 「ニーズに応えて市場を創る」(成功している事例)

第3講では、ニーズに対応する新しい産業と、その条件を考える。

社会の成熟とともに高齢化が進み、障害者対応も、一層のきめ細かさが求められている。こうしたニーズに対応しつつ、新しい市場を開拓する産業が求められる。

その代表例として、福祉用具や共用品(バリアフリー、ユニバーサルデザインも同義)に注目し、ニーズに応えることと、利益をあげて続けていくこと(事業性)の調和のあり方を考える。

【事例】「福祉用具」、「共用品(バリアフリー、UD)」、「ニーズ型産業」、「高齢化対応産業」

第4回8月26日(火)

▼第4講 「企業活動と社会の関わり」(これからの方向)

第4講では、持続的な社会を実現するために、産業としての社会への寄与のあり方を考える。

人の暮らしや、社会を健全に続けていくために、環境、高齢化、貧困などが、国際的課題になっている。こうした課題に対応できることは、産業や経済が発展するための必要条件になっている。

政府などの取組みが進んでいるが、世界規模で活動し、影響力をもつ企業には、課題対応に、大きい役割を果たすことが期待される。こうした役割と、取組みのあり方を、企業の社会的責任(CSR)の視点から考える。

【事例】「企業の社会的責任(CSR)」、「社会起業家」、「日本生活支援工学会」、「メンテナンスの産業化」

時間:各、午前一杯(9:00-13:00)

教科書　必要に応じて、資料を配付する

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ニーズ型社会と新産業創出		
科目キー	2600002107		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義（前期）	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	２年以上

参考文献　講義の中で提示する

評価方法　平常点（講義の際に簡単な課題提出）・レポート

備考　【担当教員連絡先等】
後藤芳一（goto-yoshikazu@aoni.waseda.jp）

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	CIO（最高情報責任者）概論		
科目キー	2600002108		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小尾　敏夫		

副題

授業概要　CIOの人材育成や需要が求められる一方で、CIOの核心的な定義や役割は構築されていない。そこで、歴史的背景、現状、役割、定義、活動範囲など多角的な面からCIOを考察して理解を深め、企業戦略、ITマネジメント、予算、プロジェクト立案、システム構築を含むCIOに必要な能力を検証し、「CIO学」を集大成させる。また、米国のクリンガーコーヘン法に基づくCIOに必要不可欠なコアコンピタンス、及びCIO大学(7大学)の教育科目の必修分野及び専門分野を参考として取り上げ、日本に必要なCIOコンピタンスを検討し、CIO標準モデルを構築する。

授業の到達目標

シラバス
1：CIO学とは
2：CIOの定義
3：CIOの歴史
4：CIOと組織文化
5：CIOの機能・役割(1)
6：CIOの機能・役割(2)
7：日本のCIO
8：アメリカのCIO
9：アジアのCIO
10：中小企業とCIO
11：CIOとITSS（ITスキル標準）

教科書　「CIO」小尾敏夫監修、（社）電気通信協会

参考文献　「CIO学」東大出版、小尾敏夫編

評価方法　受講生の平常点（毎回の参加内容）及び、期末テストによって採点する。

備考

関連URL:　http://www.obi.giti.waseda.ac.jp/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータアートA		
科目キー	2600002110		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	4時限～5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小畑　正好		

副題　CG制作の基本

授業概要　コンピュータを使った映像表現は、工業的分野、学術的分野を初め
多くの分野で必要不可欠なものとなりました。
エンターテインメントの分野でも映像作品には重要な手段の一つです。
この授業ではコンピューターによる画像処理のアートとエンターテインメントの
現状を実習をしながら理解してゆきます。
CGの制作ソフトの使い方等をマスターします。

授業の到達目標

シラバス　2008年度履修可能な生徒
3月28日　53号館　202教室　15:30からのオリエンテーションに当日参加してアンケートに記入し提出した生徒で、他の授業と授業時間が重複しない生徒は全員履修できます。

本授業はコンピューターグラフィックスの制作実習を行います。
教室は63号館　3階　PC端末室Dルームです。(2008年4月18日記)

教科書

参考文献

評価方法　作品提出

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータアートB		
科目キー	2600002111		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	4時限～5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小畑　正好		

副題　CG制作の応用

授業概要　コンピュータを使った映像表現は、工業的分野、学術的分野を初め
多くの分野で必要不可欠なものとなりました。
エンターテインメントの分野でも映像作品には重要な手段の一つです。
この授業ではコンピューターによる画像処理のアートとエンターテインメントの
現状を実習をしながら理解してゆきます。
コンピューターグラフィックスの制作ソフトを使ってグループ制作で作品を作品として完成させます。

授業の到達目標

シラバス　コンピューターアートAを履修できなかった生徒も受講登録できます。

本授業はコンピューターグラフィックスのグループ制作実習を行います。
教室は63号館　3階　PC端末室Dルームです。(2008年4月18日記)

教科書

参考文献

評価方法　グループ作品の講評

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	デジタル映像コンテンツ概論		
科目キー	2600002112		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小畑　正好		

副題　デジタル映像の成り立ち

授業概要　コンピューターによるビジュアル表現はファインアートと比べると歴史的には始まって間もないのに等しい。
しかし表現の手法としては様々な形態があり、今日芸術表現やビジネスとしても発展している。
この授業ではコンピューターによるアートの歴史を考察したり、表現手法の解説したりしつつデジタル映像の基礎を学ぶ。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　最終授業時間の教場試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	デジタル映像コンテンツビジネス論		
科目キー	2600002113		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小畑　正好		

副題　デジタル映像のビジネス

授業概要　コンピューターによるビジュアル表現はファインアートと比べると歴史的には始まって間もないのに等しい。
しかしビジネスとしては確立されており市場は拡大している。
この授業ではデジタル映像のビジネスの概要を解説する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　最終授業時間の教場試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	文化遺産のデジタルアーカイブ		
科目キー	2600002114		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	盛川　浩志		

副題

授業概要　デジタルデータとして文化財を保存する、デジタルアーカイブの活動が盛んに行われている。しかし、文化財には有形無形含めてさまざまな形態があり、またその文化財が持つ情報についても、見るものの視点によって変化してくる。そのため、それぞれの文化財に対して、どのようにデジタルアーカイブするか検討することが重要である。
本講義では、遺跡や文物などの有形文化財の3次元デジタイザを用いた形状の保存や、無形文化財のモーションキャプチャによる動きの保存、CTスキャンなどによる隠された情報の可視化、さらにはそれらの情報の表現方法なども含め解説する。

授業の到達目標

シラバス　講義予定
（授業内容は進度によって多少の変更が生じる可能性がある。）

第1回　ガイダンス
第2回　デジタルアーカイブへの取り組み
第3回　各団体の取り組み
第4回　デジタルアーカイブのデータ形式
第5回　2次元画像の記録
第6回　3次元形状の計測
第7回　様々な形式のデジタル化手法
第8回　デジタルアーカイブの事例紹介1
第9回　デジタルアーカイブの事例紹介2
第10回　デジタルアーカイブの実践
第11回　公開と権利
第12回　総括

講義期間中、3回のレポート課題を予定

教科書

参考文献

評価方法　期間内に提出されたレポートによって判断し、評価を行う。

備考　CourseN@viにて資料を配付予定

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	3Dコンテンツの医療・福祉応用		
科目キー	2600002115		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	盛川　浩志		

副題

授業概要　医学分野においては、多岐にわたって3Dコンテンツの開発や導入が進んでいる。コンテンツの普及、活用促進には、映像や3Dモデルのクリエータと、医師や研究者との連携が必要である。しかし、3Dコンテンツの制作には未だスキルや制作環境において課題が残されている。
本講義では、このように普及が期待されている3Dコンテンツについて、撮影や編集から呈示環境の構築といった、どのようにコンテンツを制作するかについての技術的な解説と、さまざまな分野の手術3Dコンテンツ撮影、手術ナビゲーションシステム、VRコンテンツの利用、インフォームドコンセント用3Dコンテンツといった例を挙げ、どのようなコンテンツが制作、活用されているのかについて具体的に紹介を行う。

授業の到達目標

シラバス　講義予定
（授業内容は進度によって多少の変更が生じる可能性がある。）

第1回　ガイダンス
第2回　立体視の基礎
第3回　立体映像の表示・撮影
第4回　立体映像の編集・公開
第5回　様々な医用画像
第6回　3次元CGの基礎
第7回　医用画像からの3次元モデル構築
第8回　3次元CGによる仮想内視鏡の制作
第9回　外科手術とインフォームドコンセント
第10回　脳神経外科・手術シミュレータ
第11回　パニック障害治療用VR
第12回　眼科、耳鼻科での3Dコンテンツ

講義期間中、3回のレポート課題を予定。

教科書

参考文献　「医学3Dコンテンツの最先端」カットシステム発行

評価方法　出席状況およびレポート提出状況などから総合的に判断し、評価を行う。

備考　CourseN@viにて資料を配付予定

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	クロスメディアビジネス		
科目キー	2600002117		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	藤田　高弘		

副題

授業概要　メディアからもたらされるコンテンツはわれわれにとって、情報ソースや娯楽として日常的な存在であるが、これらは、近年、新しい産業として注目されつつある。一方でこの「日常的な」メディアやコンテンツを、産業的視点や経済のながれという文脈のなかに位置づけて検討すると、日頃あまり意識したり確認することが少ない、新しい捉え方が可能になる。そこで、本講義では、このようなメディアやコンテンツ制作の非日常的な姿を把握できるように、マスメディアを中心としたコンテンツビジネスのこれまでの流れと、ネットワーク環境が普及しつつある現状におけるコンテンツビジネス、そして今後の課題を検討していきたい考える。
　現代のコンテンツビジネスは、本来様々な分野に広がりながら成立しているが、限られた時間のなかで本講義では、主に映画やテレビなどの映像に関わる分野を核に据えて、その他のメディアやコンテンツビジネスに関してはその関連のなかで言及をすることにしたいと考えている。

授業の到達目標

シラバス　おおむね次のような展開を予定している

1. 放送という産業の特色と通信
2. 「テレビ番組」を制作という視点で見るときの経済性とコミュニケーション
3. マクロな産業として見るマスメディア
4. メディアの流通の特徴と問題
5. グローバル化とコンテンツビジネス
6. 通信と放送の融合−そのビジネス的な意味
7. マーケティングとコンテンツビジネス

教科書　講義中に指示する。

参考文献　講義中に指示する。

評価方法　期末に試験を予定している。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	家族と子ども		
科目キー	2600002118		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	徳重　篤史		

副題

授業概要　近年、子ども達の世界では、深刻な問題行動が繰り返されている。子どもの最も身近にいる大人は親であり家族であるが、家族の形態や機能には、かってない著しい変化が生じている。
生活の現実感を失いつつある家族は、子どもに対する教育機能の低下をもたらし、また、家族法の分野でも世間の実情に対応するための新たな家族観の探求が差し迫った課題となっている。
伝統的な家族は、愛情と習俗などを絆とする非合理な人間関係によって構成されているので、これまで家族と子どもに関わる問題に対しては、多くの学際的な研究・実践が行われてきた。
本授業では、先ず、これらの人間関係諸科学の知見と最新のデータを手掛かりとして問題点の全体像を概観する。次に、家族理解のための主要な理論や技法を検討する。
急激な変革期を迎えている社会において、家族と子どもが直面している課題について出来るだけ実例を上げながら分析し、受講者が根源から考えて将来の生活に役立てられることを目指したい。

授業の到達目標

シラバス

（1）わが国の家族変容の特徴
- (1) 少子高齢化
- (2) 家族機能の変化
- (3) 法律婚の動向

（2）家族と子どもに関する法制の動向
- (1) 家族法−民法の一部改正
- (2) 改正少年法
- (3) その他

（3）家族と子どもの問題行動
- (1) 子どもの問題行動と家族
- (2) 児童虐待
- (3) ドメスティック・バイオレンス

（4）家族理解の理論・技法の概略
- (1) 精神分析理論
- (2) 学習理論
- (3) システム理論

教科書　資料を配布する。

参考文献　講義の中で提示する。

評価方法　出席及び受講態度、毎回その日に学んだ要点を出席カードの裏面に記述して提出
定期試験
以上を総合して評定する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	写真表現		
科目キー	2600002119		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～3時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	下村　純一		

副題

授業概要　写真は、誰もが手軽に楽しめる表現メディアである。だが、自分の撮った写真によって人に何かを伝える、あるいは自己表現をするという、楽しむ段階よりもう一段深くメディアとして活用するためには、写真に関する知識、技術、撮る対象に対する認識、等、学んで考えることが必要である。
実習と講義とを繰り返しながら、写真を撮ること、そして撮った写真を自己の表現としてプレゼンテーションすることを学ぶ。また他学生の撮った写真も分析することを通して、写真による表現とは何かを考える。

授業の到達目標

シラバス　この授業は東京の街のフォト・スケッチ・ウォーキングによって、都市東京の写真メディアによる解体そして再構築を目指すものである。その中間結果を理工展での写真展という形で発表する予定なので、基礎実習を1-2回、基礎講義1回程度を後期授業開始とともに集中的に行う。

実習（7-8回）
今年度のテーマは"屋上庭園"。かつては家族連れの"楽園"であったデパート屋上の現在を目撃したい。新宿、渋谷、銀座、二子玉川など、デパートの集中する街へ繰り出して、考現学的な観察をカメラを通して行う。果たして屋上の楽園と呼べる特異な、特化された空間があるのか、訪れる人はデパ屋に何を求めてくるのか。改めて現代の屋上物語をカメラで綴りたい。

講義
上記実習時に撮影した写真の講評を通常時間に5回予定。

教科書

参考文献

評価方法　実習への参加、講評授業での発表、理工展での作品発表及び学期末の写真展実施

備考　原則としてデジタルカメラ（ケータイ付属のカメラは不可、マニュアル操作可能なもの）を持ち、その操作に習熟していること。また実習は、早大キャンパス外へ出ることが多く、土曜日を利用することになるので、メール等で授業スケジュールを常時確認すること。
定員は50名。その選考を兼ねて登録希望者は、オリエンテーションを3／28に行うので出席すること。また、実習テーマは内田研究室との共同プロジェクトで都電荒川線沿線の街々になる可能性もあり。

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	現代マスコミ論Ｉ		
科目キー	2600002120		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	田村　穣生		

副題

授業概要　「現代マスコミ論]I、IIでは、現代社会において重要な役割を果たしているマスメディアの多様な側面について考察する。マスメディアはジャーナリズム、娯楽、知識、広告などの基本的な役割を果たすとともに、社会的な圧力、技術的インパクトなどを受ける存在でもある。Iでは、日本におけるマスメディアの発展過程を概観するとともに、マスメディアの原理を分析し、そのあと伝統的なマスメディアを個別にとりあげて考察する。

授業の到達目標

シラバス
（1）
（2）マスメディアの発展(1)
（3）マスメディアの発展(2)
（4）マスメディアの発展(3)
（5）情報とは何か
（6）コミュニケーション
（7）情報メディアの特性
（8）情報メディアの周辺概念
（9）新　聞(1)
（10）出　版(1)
（11）出　版(2)
（12）放　送(1)
（13）放　送(2)
（14）映　画
（15）個別メディアと情報ジャンル

教科書　毎回独自のプリントを配布する。

参考文献

評価方法　レポートによる。

備考　とくになし。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	現代マスコミ論 II		
科目キー	2600002121		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	田村　穣生		

副題

授業概要　IIでは Iでとりあげなかったメディアや電気通信メディア等を分析するとともに、マスメディアと社会、文化の関係について考察する。

授業の到達目標

シラバス
(1)ビデオソフト
(2)衛星放送
(3)CATV
(4)電　話
(5)郵　便
(6)広　告
(7)マスメディアの文化的役割(1)
(8)マスメディアの文化的役割(2)
(9)マスメディアの文化的役割(3)
(10)情報化社会(1)
(11)情報化社会(2)
(12)情報化社会(3)
(13)マスメディアと公共性
(14)マスメディアの権利と法規制
(15)日本の将来

教科書　毎回独自のプリントを配布する。

参考文献

評価方法　レポートによる。

備考　とくになし。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	メディア産業論Ⅰ		
科目キー	2600002122		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	田村　穣生		

副題

授業概要　「メディア産業論」、Ⅰ、Ⅱではマスメディアその他さまざまな情報メディアの、産業としての側面に注目して、その原理、特質などを考察する。またとくにⅠでは新聞や出版、放送など伝統的なメディアを中心にとりあげるが、そのほか情報メディアを構成する諸要素の原理的な特質の分析も行う。

授業の到達目標

シラバス
（1）メディア産業論を学ぶ意味
（2）情報
（3）コミュニケーション
（4）情報メディア
（5）出版産業(1)書籍
（6）出版産業(2)雑誌
（7）新聞産業(1)一般紙
（8）新聞産業(2)スポーツ紙
（9）放送産業(1)民放テレビ
（10）放送産業(2)NHK
（11）ラジオ産業
（12）衛星放送産業
（13）CATV産業
（14）情報メディア発達の方向性
　（15） メディア概念の諸問題（その1）

教科書　毎回独自のプリントを配布する。

参考文献

評価方法　レポートによる。

備考　とくになし。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	メディア産業論 II		
科目キー	2600002123		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	田村　穣生		

副題

授業概要　IIではやや個性的なマスメディアや通信メディアをとりあげるほか、情報メディアの重要な役割である社会的・文化的機能についても考察する。

授業の到達目標

シラバス
（1）映画産業
（2）ビデオソフト産業
（3）電話産業
（4）郵便事業
（5）広告産業
（6）マスメディアの経済システム
（7）情報化社会(1)
（8）情報化社会(2)
（9）情報化社会(3)
（10）情報メディアと文化(1)
（11）情報メディアと文化(2)
（12情報メディアと文化(3)
（13）情報メディアと文化(4)
（14）メディア概念の諸問題（その2）
（15）日本の将来

教科書　毎回独自のプリントを配布する。

参考文献

評価方法　レポートによる。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	技術倫理		
科目キー	2600002124		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　将来科学者や技術者として活躍する際に直面せざるを得ない「社会」との関係について、その基本的な考え方を学ぶことが本講義のねらい。科学技術が現代社会においてきわめて大きな影響力をもつ状況下において、科学者や技術者はどのようなスタンスで望まなければならないか。本講義では、技術者倫理、研究倫理といった現代の科学者・技術者にとって最低限必要不可欠な行動規範の概説に加えて、そうした行動規範が必要とされる背景についても概説する。さらに技術倫理、研究倫理の意義と限界についても若干の考察を加える。

授業の到達目標

シラバス　概ね以下の3つの観点から概説する。
1）技術者倫理
技術者倫理の基本的事項を学ぶ。特にさまざまな制約条件下において技術者はどう行動すべきかに関する従来の考え方について紹介する。
2）研究倫理
研究者としてどう行動すべきかに関する基本的事項を学ぶ。捏造、改竄、盗用といった問題も然ることながら、そうした事態がなぜ生ずるのか、あるいはなぜ問題とされるかという点について概説する。
3）まとめ
技術者倫理・研究倫理の意義と限界についての考察。いわば「倫理の倫理」について考える。

教科書　指定しない。

参考文献　授業の中で随時紹介する

評価方法　定期試験による

備考　講義資料はCourseN@viにて配布する予定。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	科学社会学		
科目キー	2600002125		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　科学技術と社会を考えるために最低限必要とされる基本的な知識と考え方を学ぶ。個人的な体験や信念をもとにすれば、科学技術と社会については、如何様にでも語ることが可能であるが、しかし、欧米のみならず日本でも少なからず積み重ねられてきた過去の議論を踏まえていなければ、「車輪の再発明」的な議論になることは否めない。本講義では、科学技術と社会に関して今後より実りある議論を展開するために必要不可欠な過去の蓄積を紹介するとともに、現代においてこのテーマをどう考えればよいかについても若干の考察を加える。

授業の到達目標

シラバス　主に以下の内容について概説する。
1. 序論
基本的事項の確認
2. 科学者とは何か――科学者集団の社会学
その歴史、科学者集団の動態に関する質的・量的分析
3. 科学知識とは何か――科学知識の社会学
科学革命論、社会構成主義科学論、技術の社会的構成
4. 科学が産み出される場とは――科学人類学
実験室の人類学的研究、アクターネットワーク理論
5. 科学技術と社会の関係は――科学技術社会論
科学コミュニケーション、科学技術と公共性

教科書　指定しない。

参考文献　講義の中で適宜紹介する

評価方法　定期試験による

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	科学技術と現代社会		
科目キー	2600002126		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　広則		

副題

授業概要　本講義のねらいは、主に1970年代以降の科学技術と社会の関係変容について、日本を中心に諸外国と対比させながら理解を深めることにある。具体的には、まず第二次世界大戦後から60年代末までの動きを一瞥した後、70年代においてどのような変化が生じたかを、さしあたり公害・環境問題、エネルギー、日米関係、経済・財政の観点から概観する。その上で、こうした70年代における変化がその後、現在にどう引き継がれて行ったかを垣間見る。また同時に変容の分析に関する論考についても紹介する。

授業の到達目標

シラバス　概ね以下の内容について概説する予定である。
1.序論：歴史的前提
2.転換期（1）公害・環境問題
3.転換期（2）エネルギー問題をめぐる科学技術と政治
4.転換期（3）日米関係
5.転換期（4）経済・財政
6.科学技術体制の民主・民生転換
7.科学技術と現代社会の関係変容とその捉え方

教科書　指定しない

参考文献　授業の中で随時紹介する

評価方法　定期試験による

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	社会学概論		
科目キー	2600002127		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石倉　義博		

副題

授業概要　社会学とは社会を読みとく学問であると同時に、一般的な「ものの見方」がどのように構成されているかを読みとく学問でもある。
この授業では、社会学の主要トピックスから、家族や地域移動、社会的ネットワークなど身近な題材を取りあげ、社会学の基本的な考えかたや視点の修得を目標とする。

授業の到達目標

シラバス　以下のトピックスについて、1から3回の講義を行なう。
社会学とはなにか
家族と人口
社会移動
コミュニティとネットワーク
都市と空間

教科書　特に指定しない。

参考文献　参考文献については適宜講義中に指示する。

評価方法　レポートによって行なう。その他不定期に行なう課題等も考慮する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	日本をめぐる国際関係		
科目キー	2600002128		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	川島　高峰	坪内　淳	片岡　貞治

副題　北朝鮮の人権・人道問題と国際人権システム

授業概要

「北朝鮮帰還（帰国）事業」をご存知でしょうか？

近年は、拉致・核開発、そして、脱北者問題を中心に北朝鮮の人権問題がよく報道されるので、ご存知の学生もいると思います。私は、この問題の日本側の対応を（北朝鮮側の対応は知りたくても資料が公開されません）研究してきたので、最初は、この帰還事業を導入に話をしていきたいと思います。このような問題は、直ぐに、親日か、反日かという非常に極端で単純化された尺度で議論されがちですが、生身の人間にとって生きることの意味は、もう少し複雑です。在日韓国・朝鮮人、そして、もう一段抽象化した時、在日外国人にとってのアイデンティについても考えてみましょう。なにしろ、在外日本人は、130万人以上もいるのですから。

次に北朝鮮の飢餓と脱北者について話をします。脱北者というのは、妙な言葉ですね。どうして、「難民」と呼ばれないのでしょうか？　また、脱北者はどうやって韓国や日本に来ると思いますか？　タイには何と1000名も脱北者がいます。ドイツには200名前後です。どういうことでしょうか。

その他方で、無理矢理、北朝鮮に入国させられてしまう人々がいます。拉致です。拉致被害国は世界で少なくとも13ヶ国にも及びます。

このような北朝鮮という国が、今、国際社会の人権システムの中でどのように位置づけられているのか、そして、位置づけられていくのか、これを諸君とともに考えていきたいです。

教室の環境が許すのであれば、映像資料なども利用したいと思っています。

授業の到達目標

シラバス

第一回　北朝鮮帰還事業とは何か　その論じられ方の類型と先生の立場・考え
第二回　飢餓と脱北の諸問題　飢民と難民　中国の人権問題
第三回　拉致　疑惑から問題へ　左派知識人の犯罪的無視から被害国の国際連帯へ
第四回　国際人権システムと北朝鮮人権法、国連人権理事会、強制失踪防止条約など

教科書

参考文献

川島高峰監修『アメリカ国務省人権報告』現代史料出版
申東赫（シン・ドンヒョク）『収容所に生まれた僕は愛を知らない』KKベストセラーズ
萩原遼『北朝鮮に消えた友と私の物語』文春文庫

評価方法

備考　授業時に携帯電話を活用したアンケートを実施します。協力してください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	バイオ創薬分野における知財・イノベーション		
科目キー	2600002129		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	木山　亮一		

副題

授業概要　バイオベンチャーの設立の事例、特に大学発バイオベンチャーの支援の具体例を紹介する。さらには、バイオベンチャーの設立における特許の位置づけなど、バイオベンチャーが如何に特許を活用すべきかを解説する。また、生物を扱うことに起因するバイオ特許特有の問題点を各国特許制度の比較を交えながら概説する。さらに、医薬特有の特許事情、特に新薬とジェネリック医薬の知財における攻防などの事例を挙げて解説する。(高島担当)

さらに、創薬バイオ分野に関する特許の俯瞰的な分析を実施し、創薬を支える研究現場から知財までの道筋の中で実際に必要な点や近年の蛋白質立体構造の解析から得られる創薬に結びつく情報の重要性、さらにはゲノム情報を基礎とした新規生物活性や機能の獲得への結びつきを解説することで、現実に即したバイオ分野での知財獲得から創薬までの関連について考察を行う。(河原林担当)

最後に、最近のバイオ・創薬分野のイノベーションに関して具体的な事例を挙げて解説を行なうとともに、創薬分野での知財訴訟の動向、特許審査現場から見た知財動向、さらに、政策的な知財戦略についてそれぞれの専門分野の専門家によるレクチャーを通じて将来のバイオ及び医薬産業について議論する(木山担当)。

授業の到達目標

シラバス　授業は、90分講義(適宜質疑応答を挟む)を原則に行う。

[1]10月1日、「バイオ創薬分野における知財・イノベーション概論」(担当:木山、森)

[2]10月8日、「バイオ分野における知財ポートフォリオ戦略」講師:隅蔵康一(政策研究大学院大学)(担当:木山)

[3]10月15日、「理工100周年記念寄付講座関係シンポジウム」講師:秋元浩(前武田薬品工業)荒井寿光(中小企業投資育成株式会社)、丸島儀一(日本弁理士会)(担当:木山)

[4]10月22日、「医薬品研究開発から創造される知的財産権とその活用」奥村洋一(武田薬品工業知財部)(担当:河原林)

[5]11月5日、「産業応用を目指したタンパク質の立体構造解析」田之倉優(東京大学大学院農学生命科学研究科)(担当:河原林)

[6]11月12日、「ゲノム情報利用の実際、ゲノム解析から実証まで」(担当:河原林)

[7]11月19日、「バイオベンチャーの特許の活用」奥村洋一(武田薬品工業知財部)(担当:高島)

[8]11月26日、「大学発バイオ創薬およびバイオベンチャー支援」村田美由紀(高島国際特許事務所)(担当:高島)

[9]12月3日、「バイオ特許特有の諸問題について」鎌田光宜(高島国際特許事務所)(担当:高島)

[10]12月10日、「医薬に関する特許事情　新薬とジェネリック医薬の知財攻防など」(担当:高島)

[11]12月17日、「知財への道のり------創薬研究の現場と知財業務との接点」木村 徹(大日本住友製薬ゲノム科学研究所ゲノミクス研究部)(担当:河原林)

[12]1月14日、「特許審査の現場からみたライフサイエンス関連特許について」講師:當麻博文(特許庁)(担当:木山)

(なお、各回の担当、内容は、必要に応じ変更もあり得る。)

教科書　毎回レジュメを配布する

参考文献

評価方法　本講義受講の成績は、試験結果と講義出席回数を参考にして決定する。

備考

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	バイオ創薬分野における知財・イノベーション		
科目キー	2600002129		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	劇場と文化		
科目キー	2600005001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	今岡　謙太郎		

副題

授業概要　ひと誰しも生きていれば、出会いがあり別れがある。愛があり憎しみがある。喜びがあり悲しみがある。すぐれた戯曲には、そうした生の姿がくっきりと描き出されている。そして役者の演技を通して、現実の人間以上にリアルな人間が生き始める。この授業では、戯曲や上演をその時代や社会との関わりのうちに考察し、普遍性と独自性を探る。演劇は役者と同じ時空に身をおいてはじめて享受しうるジャンルである。この反文明的な表現形式のうちに生物（なまもの・いきもの）としての演劇の生命力と魅力を探りたい。

授業の到達目標

シラバス　演劇は劇場に足を運んではじめて享受しうるジャンルであるが、授業ではそれが
叶わないので、次善の策として、映像情報を利用して、作品の持つ意味を考える。
ヴィデオ鑑賞をしたのち、戯曲や台本で細部を検討するといった構成になろう。
開講時に、授業の進め方について説明をするので、必ず出席して欲しい。おおよそ、
2週に1つの作品を扱い、さまざまな戯曲や上演に触れてみたい。

教科書　この一冊、という教科書は使用しない。
各時間に必要な文献は、配付する。

参考文献　授業時に指示する。

評価方法　教場試験と平常点を加味する。試験問題は事前に予告する。
平常点には、出席と受講態度が含まれる。遅刻は欠席とする。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	舞台芸術論		
科目キー	2600005002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山形　治江		

副題

授業概要　芸術とは知性ある文化社会の象徴である。特に劇場文化は、日本では未だに趣味としてしか認知していない人も多い。だが欧米においては、劇場文化は知性と教養のレベルを計る尺度であり、社交に不可欠な知識として位置づけられている。本講義では、ギリシャ悲劇・シェイクスピア劇・バレエ・オペラ・ミュージカルの代表作を実際にビデオで観るとともに、作品の社会的背景や思想、鑑賞の視点を解説する。国際的な活躍をめざす者にとっては基礎教養に、専門技術者を志す者にとっては発想力と創造力の原点になるだろう。

授業の到達目標

シラバス　予定される学習項目は、(1)世界最古の演劇　(2)上演数世界最多の劇　(3)美は科学的に証明できるか　(4)命と人生を賭した芸術　(5)アナログとハイテクの舞台技術　(6)独創性＝解釈と表現。授業は、90分講義と(60分講義＋30分小論文執筆)を交互におこなう。小論文は翌週に返却し、数点を選んで紹介し、評価説明をおこなう。

教科書　資料プリントを配布

参考文献

評価方法　出席点と小論文点の総合評価。定期試験なし。レポートなし。現時点での得点がわかる成績計算式を初日に公示。

備考　(1)欠席は理由の如何にかかわらず出席点はゼロ
(2)30分を超えて遅刻した場合、出席点はゼロ

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	「ことば」の世界		
科目キー	2600005003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片田　房		

副題　言語の普遍的特性を探求する

授業概要　言語という観点から世界と人間を展望することは、情報技術革命があらゆる民族を巻き込んで進行する現代社会において大きな意味を持つ。本講義では、ヒトという種に生まれついた人間のみが持つ言語獲得能力の特性について理解し、受講者の母語への認識を高めると共に、ゆうに6000を超える多種多様な言語文化が絡み合って醸し出される様々な現象について考察する。遺伝子の解読にも大きなヒントを与えたといわれる音素の体系に始まり、スピーチ・チェーンと言語獲得の原理、脳機能と失語症、吃音者の言語世界、聾者の言語世界、消滅の危機に瀕した多くの言語の存在、その原因と人間が被る影響などを取り上げる。受講者は講義関連項目についてインターネットによる情報検索を行い、フォリオを作成する。

言語を科学的な視点から再発見することに興味のある学生、母語話者としての言語能力を再認識し、外国語学習に対する発想の転換を試みたい学生、また社会的競争に晒される人間と言語との関係を再考することに興味のある学生に受講を勧める。

授業の到達目標

シラバス　（以下のスケジュールに従って講義を展開する。）
週1　言語の世界地図（自然言語、公用語、母語・非母語、文字の種類）
　　言語獲得にまつわるプラトンの問題／スピーチ・チェーンの原理
週2　驚異の小宇宙（言語と脳）
週3　ことばの不思議：音韻の体系（雑音と言語音、チャイルドグラマー）
週4　ことばの不思議：形態の体系（未知の言語と日本語の形態素分析）
週5　ことばの不思議：統語の体系（なぜ人間は話せるのか）
週6　言語野の発見：脳機能と失語症
週7　言語野の発見：脳機能と失語症（一部映像）
週8　吃音者の言語世界（映像―カナダ制作）
週9　聾者の言語世界（映像―米国制作）
週10　消滅する世界の言語（映像）
週11　消滅する世界の言語、討論
週12　未来の言語政策を考える（米国の多言語事情と言語政策から）
週13　期末試験／レポート提出

教科書　プリントを配布する。

参考文献　・岩田誠（1996）『脳とことば―言語の神経機構』共立出版.
・The Ohio State University (2005)『Language Files』Advocate Publishing.
・片田房（訳）(1999, 2005)『世界言語文化図鑑―世界の言語の起源と伝播』東洋書林　（原著：Comrie, Matthews & Polinsky (1996, 2003)『Atlas of Language』Facts on　Files.）
・その他、逐次紹介する。

評価方法　次の3点を総合して最終評価とする。
・出席、および授業への参加度
・フォリオおよびレポート
・期末試験

備考　言語にまつわる素朴な疑問に対して回答を探ることが主要部分を占める。従って、出席し、考えることが重要視される。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	越境する文化		
科目キー	2600005004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中村　采女 塩塚　秀一郎	石井　道子 小林　拓也	熊　遠報

副題

授業概要　さまざまな「文化」が境界を越える。異なる文化、異なる価値観、異なる生活、異なる性。欧米文化やアジア諸国の文化は日本にどのように受容されているか、また日本文化はどのように近隣諸国や欧米に受け容れられているか。身の回りの生活から文学、演劇、映画にいたるまで、文化の越境はいたる所で確認されるだろう。本講義は5人の教員がそれぞれの専門領域を活かしつつ、数回ずつ交代で担当するオムニバス形式である。

授業の到達目標

シラバス　各教員は下記の順序で講義を行う（かっこ内は講義回数）。

塩塚（1）「言語の越境と文学」:
亡命、移民などの事情で、言語を越境して創作する作家たちが存在する。一方で、近年には、多和田葉子、リービ英雄など、自ら望んで母語の外に出る作家たちも出現し始めた。さまざなまケースにおける「言語の越境」は、文学にとって、言語にとって、いかなる意味をもつのか考察する。

中村（3）:まず、ジェンダーとは何かを、身近な事柄、歴史的な事象を手がかりとして確認し、そのうえで、ジェンダー間の越境について考える。また、かつてのドイツを例に、東西間の文化的越境についても考察する予定である。

熊（1）:世界各地域に分布している華僑について。彼らは母国の伝統を守りながら、
いかにして在地社会に影響を与えたのか。また漢字に関しても多少触れる予定である。

石井（3）:古来より、日本は中国・韓国をはじめ、さまざまな文化を受け入れ、消化・応用・発展させることによって独自の文化を築き上げてきた。講義では日本文化をあらためて見つめ直し、特徴を明らかにする。また、近年の外国における日本文化受容についても考察する。

小林（4）:独、仏、伊、ロマンシュの4カ国語が混在するスイスという国を取り上げる。
『アルプスの少女ハイジ』のイメージが強いこのEU非加盟の小国は、実はチューリッヒ
工科大学や製薬会社ロシュなどを抱える技術大国であり、UBS銀行を筆頭とする金融大国、
傭兵で名を馳せた軍事大国、WHOやFIFAといった国際組織の本部を抱える外交大国でもある。
異なる言語や文化との接触、自然−人工、個人−共同体、ブランド戦略といったキーワード
をもとに、混沌とする世界で生き残るためのヒントを浮び上らせたい。

ゲストスピーカーによる講演（1）

教科書　なし。資料の必要があれば、担当教員がその都度配布する。

参考文献

評価方法　平常点（出席回数・受講態度）と学期末レポートで評価する。
レポートの評価に際しては、出版物、Webからの剽窃は、カンニングと
みなし、厳しく対処する。

備考　授業中の私語には厳しく対処する（退席を命じる）

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	翻訳と文化		
科目キー	2600005005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	塩塚　秀一郎	中野　京子	小田島　恒志

副題　翻訳を考える

授業概要　欧米諸国との言語体系の違いにより、はやくから日本では多様な翻訳文化が発達してきた。翻訳は諸外国との文化・学問・技術などの情報の伝達に大きな役割を果たしていることは間違いない。英語が世界的な共通言語としての地位を確立しつつある現代社会においても、基本的な情報は母語を中心に伝達されている。そのため非英語圏地域との交流では、英語を介さない母語同士の翻訳が現在でも重要視されているといえる。本講座では、翻訳の果たす役割やそこから生じる問題点などを、具体例を挙げながら考察していく。

授業の到達目標

シラバス　（1）塩塚秀一郎

1回目：翻訳の意義
　翻訳という行為によって高度な外国文化を受容する際、受け入れ側の言語や文化は否応なしに変質する。このような変質がもたらした功罪を、主にフランスと日本に例を求め、具体的に論ずる予定である。

2回目：翻訳と日本文化
　近代日本は西洋文化を翻訳を通して受容してきたわけだが、そのことがもたらした功罪を、具体例を通して考察する。とりわけ、文学作品の翻訳とその影響に焦点をあてるつもりである。

3回目：翻訳の創造性
　翻訳とは劣化コピーを作ることではない。母語の枠内では決して発想されえなかったような思想や表現をもたらすことで、母語を鍛え豊かにしてくれるのが、翻訳のもつ創造性である。詩や言語遊戯といった、翻訳しにくいとされるテクストの翻訳が、言語に何をもたらすのか、具体例に即して考える。

****

（2）中野京子

1回目：「日本における翻訳出版の現実」
　今年、自分が翻訳したツヴァイク「マリー・アントワネット」（角川文庫）について。実際にどういう経緯で出版社から依頼があり、どういう手順を踏んで出版されるかを具体的に。また翻訳の実際的な作業（どんな辞書や参考文献が必要か、など）及び出版社内における校正部の実力、増刷の場合のあれこれについても触れたい。

2回目：「日本の本が海外で出版されるまで」
　3年前に出版した拙著「情熱の女流昆虫画家メーリアン」（講談社）が、韓国で翻訳出版されるまでについての実際的な手続きについて。双方の出版社どうしのやりとりや、著者と翻訳者の意思疎通の問題点、印税についても。

3回目：「翻訳をやってみたい人のために」
　1にも2にも母語の力が必要である。さまざまな本の具体例から、良い例悪い例を個別に見てゆきたい。

****

（3）小田島恒志

舞台翻訳の実際：
　講師が日ごろ手がけている英米演劇の実際の舞台翻訳に関して、できるだけ数多くの具体例に即して考察する。

1回目：セリフを訳す、ということの特殊性について考察する。
　［例］
A: What comes after twenty-nine？
B: Thirty.
A: Your face is dirty.

2回目：英米の文化と日本語との「すり合わせ」について考察する。
　［例］
A: Goodnight, John

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	翻訳と文化		
科目キー	2600005005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

B: Goodnight.
A: I thought the bedroom scene tonight was brilliant.
B: Did you？

これらはほんの一例。できれば、近日中に上演予定の新訳作品を例に使うつもり。

****

（4） W. シュレヒト

1回目:「翻訳のいろいろ」
　異文化間における翻訳の問題点について紹介する。生活習慣や制度、価値観や発想の違いが翻訳にどのような影響をもたらすのか、具体例をあげながら見ていく。

2回目:「いろいろな翻訳」
　様々な分野の翻訳について紹介する。文学作品の翻訳や、商業的翻訳、映画の字幕、通訳や自動翻訳など、多岐にわたる領域の現状を考える。

3回目:「日本文学の“翻訳”-- ドイツ語圏の場合」
　ドイツで受容されている日本文学を、古典から現代文学、マンガに至るまで、様々な角度から検討し、翻訳の際に生じる問題点などについて考察する。

教科書　コピーなどを授業中に適宜配布する。

参考文献　授業中に指示する。

評価方法　出席状況とレポート。

備考　教員ごとにレポートの課題が出されるので、授業にはきちんと出席すること。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	時代の青年像		
科目キー	2600005006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子	但田　栄	市川　真人

副題

授業概要　青年期を「第二の誕生」と称した思想家もいます。この科目は、青年のそのような新たな誕生に伴う期待と不安、ときには挫折と悲しみを古今東西の古典に探りながら、現代を生きる若者に人生の指針を提示しようとするものです。
科目は3名で分担担当し、各自4回ずつ交代で講義します。それぞれ取りあげる作品は異なりますが、そこに、ある時代に特有な精神と、またそれを超える普遍的な「青年像」を発見できるでしょう。これらの講義を通し、受講者に古典に親しむきっかけを提供できればと願っています。

今年度の授業の担当者と、扱う作品は下記の通りです。

[担当者]
(1)ドイツ文学:石井道子(いしい・みちこ)
ゲーテ『若きウェルテルの悩み』(1774年)と
森鴎外『舞姫』(1890年)

(2)フランス文学:但田　栄(ただ・さかえ)
J.-J.ルソー『エミール』—第二の誕生—

(3)日本文学:市川真人(いちかわ・まこと)
明治期から第二次大戦後までの日本文学における「青年」像の変遷

授業の到達目標

シラバス　(1)担当者:石井道子

テーマ:ゲーテ『若きウェルテルの悩み』(1774年)と森鴎外『舞姫』(1890年)

ドイツ文学の古典、ゲーテ『若きウェルテルの悩み』(1774年)および、
ドイツの首都ベルリンを舞台にした、森鴎外『舞姫』(1890年)を扱う。
今から百年前、二百年前の小説の主人公たちの感性は、現代とどこが同じで
どこが違うのか、という興味で読んでいきたい。時代特有の精神と人間の普
遍性を論じる。

履修上の注意:
下の二冊を各自入手し、講義前に通読しておくこと。どの版でも可。
ゲーテ『若きウェルテルの悩み』(岩波文庫・旺文社文庫)
森鴎外『舞姫』(新潮文庫・岩波文庫・集英社文庫)

(2)担当者:但田　栄

テーマ:J.-J.ルソー『エミール』—第二の誕生—

『エミール』(1762年刊)はジャン＝ジャック・ルソーの全思想を集大成した代表作である。ルソーはそこに彼の人間観、文明批判を全面的に織り込んだ。発刊以来、その与えた影響には絶大なものがあり、現代でも教育論の古典として世界中で広く読みつがれている。『エミール』は全五篇からなり、各篇は子どもの成長段階に対応している。講義では主に、その第四篇の冒頭部分、子どもが思春期から青年期へと移行する時期、ルソーのいう「第二の誕生」を描いた箇所を取りあげ、ルソーが理想とした青年像を探る。

1. ルソー:作品とその時代
—『学問芸術論』(1750)『人間不平等起源論』
(1755)から『『エミール』へ—
2. 『エミール』第3巻までの概観
3. 『エミール』第4巻、—第二の誕生—
4. ルソーにとって理想の青年像とは何か

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	時代の青年像		
科目キー	2600005006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

（3）担当者：市川真人
　明治期から第二次大戦後までの日本文学における「青年」像の変遷

　日本の小説は、明治期における「近代」の成立 に促されるよう誕生しました。この新しい表現手段にとりわけ強い興味を示したのは当時の若き文学者たちであり、そこで描かれる対象にも、彼らと近い「青年」たちが少なからぬ割合を占めていました。以降、「近代国家としての日本」の青年期と平行して、日本の近代小説も育っていったわけです。
　この科目では、いまから百年前の「青年」作家たちがどのように「青年」を描いたのか、き、またどのような「青年」たちが描かれたのかを、現代の作品とも適宜対照しつつ、読んでいきます。
　各授業では教材プリントを配布しますが、作品の全部は配布できませんので、原則として講義開始までの期間に、下記四作品は読んでおいてください。

1．日本近代小説と「近代国家」としての日本の成立（概論・夏目漱石「坊ちゃん」）
2．明治末期の「青年」たち（田山花袋「蒲団」ほか）
3．大正から昭和初期の「青年像」（太宰治「走れメロス」ほか）
4．戦争を経験した青年たち（大江健三郎「飼育」ほか）

以上

教科書　各教員が教場で指示します。

参考文献　各教員が教場で指示します。

評価方法　学期末試験により評価します。

期末試験では、各先生がそれぞれの講義内容に応じた問題を出します。
問題は3問あることになります。受講者はいずれの設問にも解答すること。最終評価は、各先生の点数を偏差値化し、総合点を出します。

備考　（1）石井道子先生

　テーマ：ゲーテ『若きウェルテルの悩み』（1774年）と森鴎外『舞姫』（1890年）

履修上の注意：
下の二冊を各自入手し、講義前に通読しておくこと。どの版でも可。
ゲーテ『若きウェルテルの悩み』（岩波文庫・旺文社文庫）
森鴎外『舞姫』（新潮文庫・岩波文庫・集英社文庫）

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (4)		
科目キー	2600005007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	濱野　智子		

副題　ドイツ語圏の都市と文化―ウィーンと音楽・舞台芸術―

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

この講義ではおもに音楽、舞台作品を通してドイツ語圏の文化、歴史と社会に触れることにより、ヨーロッパ文化に対する関心を高め、異文化理解を深めることを目的とする。

学生時代にさまざまな芸術作品を鑑賞する能力を養っておくことは、社会人となってからもおおいに役立つはずであり、その基盤となる教養を身につけることが大学教育にも必要だと確信する。

授業の到達目標

シラバス

オーストリアの首都、ウィーンの音楽文化を中心に映像・音源も用いて講義する。

近年ドイツ語圏（および日本）で上演中のウィーン発、現代の音楽劇（ミュージカル「エリーザベト」、「モーツァルト！」、「レベッカ」など）から始め、20世紀のオペレッタ（レハールの「メリー・ウィドウ」とヨハン・シュトラウスの「こうもり」）と歌劇（リヒャルト・シュトラウスの「ばらの騎士」）、そして19世紀の歌劇（ベートーベン作曲「フィデリオ」）、さらに18世紀のジングシュピール（モーツァルトの「魔笛」、「後宮からの逃走」）へとさかのぼり、ドイツ語の音楽劇と劇場の変遷を時代の背景とともに解説する。

あいさつ、自己紹介など初歩的な日常会話も習得する。

発音の練習もかねて、簡単なドイツ語の歌も実際に、聞いて、歌う。

歌は「野ばら」「すみれ」「鱒」「ローレライ」「菩提樹」「魔王」などよく耳にする曲や現代のミュージカルナンバーなどを取り上げる。

教科書　随時配布の予定

参考文献

評価方法　レポート
グループ単位でドイツ語会話のスキットを作成し、発表

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (8)		
科目キー	2600005007		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	濱野　智子		

副題　ドイツ語圏の都市と文化―ベルリンと映像文化―

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

学生時代にさまざま芸術作品を鑑賞する能力を養っておくことは、社会人となってからおおいに役立つはずであり、その基盤となる教養を身につけることが現代の大学教育にも必要だと確信する。

授業の到達目標

シラバス　ドイツの首都、ベルリンを舞台にしたエーリヒ・ケストナーの児童文学作品(「点子ちゃんとアントン」、「エーミールと探偵たち」)とその映画化作品を比較しながら鑑賞し、同時に時代とともに変貌をとげる首都ベルリンの姿を紹介する。映画産業の中心でもあった映画都市ベルリンおよびドイツ映画史にも触れる。

また時期的にクリスマスにちなんだ作品として、同じケストナーの「飛ぶ教室」とグリム童話から生まれたエンゲルベルト・フンパーディンク作曲のメルヘン・オペラ「ヘンゼルとグレーテル」を取り上げ、ドイツ語圏のクリスマスの行事などにも触れる。

あいさつ、自己紹介など初歩的な日常会話も習得する。

発音の練習もかねて、簡単なドイツ語の歌も実際に、聞いて、歌う。
歌はベートーベンの第九の合唱「喜びの歌」やドイツ語のクリスマスソングなど。

教科書　随時配布の予定

参考文献

評価方法　レポート
グループ単位でドイツ語会話のスキットを作成し、発表

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (2)		
科目キー	2600005007		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	樋口　純明		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

授業の到達目標

シラバス　毎回、ドイツ語の手ほどきと、文化紹介を同時に進めていく。学生の要望が特にあれば、できる範囲でその要望にも添って行きたい。ドイツ語は発音の仕方、数詞、動詞や名詞の変化の仕組みなどの手ほどきをし、簡単な自己紹介ができるくらいまで学ぶ。ドイツ語の単語もある程度覚えてもらう。ドイツ・オーストリア・スイスなどの風景・建物、芸術、人々の習慣・考え方などをできるだけ映像も交えて紹介する。現地で特に目立ったことが起こったときは、適宜ニュースとしてとりあげるつもりである。あまり堅苦しくない授業にし、学生同士がお互いの考えも分かるような工夫もしていく。

教科書　教場でプリント類を配布する。

参考文献　教場で適宜紹介する。

評価方法　授業への参加度や、最後のレポートないしテストで総合評価する。どちらにするかは講義を進めるうちに決める。

備考　授業の性質上、あまり欠席が多いと単位が認定されない可能性もある。

関連URL:　ドイツ語コム
http://www.asahi-net.or.jp/~vg5t-ngi/
マルチ

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (5)		
科目キー	2600005007		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	樋口　純明		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

授業の到達目標

シラバス　毎回、ドイツ語の手ほどきと、文化紹介を同時に進めていく。学生の要望が特にあれば、できる範囲でその要望にも添って行きたい。ドイツ語は発音の仕方、数詞、動詞や名詞の変化の仕組みなどの手ほどきをし、簡単な自己紹介ができるくらいまで学ぶ。ドイツ語の単語もある程度覚えてもらう。ドイツ・オーストリア・スイスなどの風景・建物、芸術、人々の習慣・考え方などをできるだけ映像も交えて紹介する。現地で特に目立ったことが起こったときは、適宜ニュースとしてとりあげるつもりである。あまり堅苦しくない授業にし、学生同士がお互いの考えも分かるような工夫もしていく。

教科書　教場でプリント類を配布する。

参考文献　教場で適宜紹介する。

評価方法　授業への参加度や、最後のレポートないしテストで総合評価する。どちらにするかは講義を進めるうちに決める。

備考　授業の性質上、あまり欠席が多いと単位が認定されない可能性もある。

関連URL:　ドイツ語コム
http://www.asahi-net.or.jp/~vg5t-ngi/
マルチ

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (3)		
科目キー	2600005007		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	近藤　武		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

授業の到達目標

シラバス　毎時間、初歩のドイツ語を学習し、他方で映像情報を通して、ドイツ語圏の文化紹介に努める。ドイツ語はアルファベット、発音の仕方、つづり方、数字動詞や名詞の変化、構文などについて学ぶ。初歩ではあるが、語彙力がついていけば、日常生活に必要な相当部分の表現をカバーできるはずである。ドイツ語を通して文化に触れ、また文化を通してドイツ語への関心を育てたい。異なるものとの触れ合いは、つねにスリリングである。スリリングな出会い、カルチャーショックを味わって欲しい。

教科書　教場で指示する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　教場試験と平常点を加味する。平常点には、出席と受講態度が含まれる。

備考　開講時に、授業の進め方を説明する。必ず出席して欲しい。遅刻は欠席とする。

関連URL:　ドイツ語コム
http://www.asahi-net.or.jp/~vg5t-ngi/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (7)		
科目キー	2600005007		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	近藤　武		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

授業の到達目標

シラバス　毎時間、初歩のドイツ語を学習し、他方で映像情報を通して、ドイツ語圏の文化紹介に努める。ドイツ語はアルファベット、発音の仕方、つづり方、数字動詞や名詞の変化、構文などについて学ぶ。初歩ではあるが、語彙力がついていけば、日常生活に必要な相当部分の表現をカバーできるはずである。ドイツ語を通して文化に触れ、また文化を通してドイツ語への関心を育てたい。異なるものとの触れ合いは、つねにスリリングである。スリリングな出会い、カルチャーショックを味わって欲しい。

教科書　教場で指示する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　教場試験と平常点を加味する。平常点には、出席と受講態度が含まれる。

備考　開講時に、授業の進め方を説明する。必ず出席して欲しい。遅刻は欠席とする。

関連URL:　ドイツ語コム
http://www.asahi-net.or.jp/~vg5t-ngi/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (1)		
科目キー	2600005007		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

授業の到達目標

シラバス　毎時間、ドイツ語の手ほどきと、文化紹介を同時に進めていく。
ドイツ語は発音の仕方、数詞、動詞や名詞の変化の仕組みなどを学ぶ。到達目標は、簡単な自己紹介ができるようになることである。ドイツ語の単語もある程度覚えてもらう。
ドイツ・オーストリア・スイスなどの歴史と地理を踏まえて、各国の代表的な街の風景・建物、音楽、文学、演劇、芸術、人びとの習慣・考え方などを映像も交えて紹介する。以下のような順序で進めて行く予定である。

1. アルファベットと数詞(つづりと読み方)
   ドイツ語圏の国と街1
2. 挨拶のドイツ語(つづりと読み方)
   ドイツ語圏の国と街2
3. 挨拶のドイツ語(つづりと読み方)
   ドイツ語圏の国と街3
4. 自己紹介をする(動詞の変化)
   ドイツ語圏の街と音楽1
5. 自己紹介をする(動詞の変化)
   ドイツ語圏の街と音楽2
6. 自己紹介を聞く(動詞の変化)
   ドイツ語圏の文学と演劇1
8. 名詞の特徴1
   ドイツ語圏の文学と演劇2
9. 名詞の特徴2
   ドイツ語圏の食文化
10. 名詞の特徴3
    ドイツ語圏の環境問題
11. 名詞の特徴4
    ドイツ語圏の人々
12. 会話を作る
    ドイツ語圏の歴史

教科書　教場で資料を配付する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　平常点と試験結果を総合評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (6)		
科目キー	2600005007		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　ドイツ語の使用される国には、ヨーロッパ連合の中でも政治的経済的に重要な位置を占めるドイツ、音楽・芸術の国として知られるオーストリア、独自の道をゆくスイスなどがある。これらドイツ語圏の文化から我が国が受けてきた影響は大きいが、本講座では、これらドイツ語圏の国々とその文化の歴史と現状について、さまざまな角度から講義を行い、同時に、文化のより深い理解に向けて、ドイツ語についても、文字の綴り方、音韻上、語法上の特徴など、初歩的な知識を教授する。

授業の到達目標

シラバス　毎時間、ドイツ語の手ほどきと、文化紹介を同時に進めていく。
ドイツ語は発音の仕方、数詞、動詞や名詞の変化の仕組みなどを学ぶ。到達目標は、簡単な自己紹介ができるようになることである。ドイツ語の単語もある程度覚えてもらう。
ドイツ語圏の国々の歴史と地理を踏まえて、代表的な街の風景・建物、音楽、文学、演劇、芸術、人びとの習慣・考え方などをできるだけ映像も交えて紹介する。ドイツを中心に講義するが、オーストリア・スイスの文化についても触れる。

[ドイツ語超入門]
1. アルファベットと数詞(つづりと読み方)
2. 挨拶のドイツ語(つづりと読み方)・数
3. 動詞の変化1:自己紹介(名前と出身地)
4. 動詞の変化2:自己紹介(仕事と家族)
5. 名詞の特徴1:身の回りの言葉
6. 名詞の特徴2:レストランで注文
7. 名詞の特徴3:買い物をしよう
8. 会話を作る

[ドイツ文化紹介]
日本にとけ込んだドイツ文化
現代ドイツの社会事情(暮らし、大学、文化)
伝統的ドイツの文化(音楽・美術)
ドイツの環境問題
ドイツの歴史(中世ヨーロッパの文化)
第二次大戦と戦後

教科書　教場で指示する。

参考文献　期末試験のための参考文献
試験準備として、以下の図書・HPを紹介します。これ以外にも多数ありますから、単行本は総合図書館や皆さんの地元の公立図書館で探してみてください。HPで何かを調べたときも、かならずアドレスをメモしておいてください。
『物語ドイツの歴史』阿部謹也
　中公新書　中世からEUまでの分かりやすい通史
『戦争責任・戦後責任　日本とドイツはどう違うか』
　粟谷憲太郎ほか　朝日選書
　第二次世界大戦敗戦後の両国の比較を扱った論文集。

ドイツ大使館　環境問題関連ページ
http://www.tokyo.diplo.de/Vertretung/tokyo/ja/05_WiWiss/Umwelt/Umwelt.html
大阪・神戸ドイツ総領事館　環境関連ページ
http://www.german-consulate.or.jp/jp/umwelt/index.html
スイスの環境問題　http://www.swissworld.org/jp/environment/
(財)環境情報普及センター　http://www.eic.or.jp/

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語文化入門 (6)		
科目キー	2600005007		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

各国発のニュースが読める
ホロコースト記念館（広島県福山市）
http://www.urban.ne.jp/home/hecjpn/
左のバー「関連施設」にリンク集、「関連書籍」に参考書籍
アウシュビッツ収容所記念館（英語）
http://en.auschwitz.org.pl/m/
アンネ・フランク博物館 （英語）
http://www.annefrank.org/content.asp?pid=1&lid=2
第二次大戦後のベルリン（壁・東西ドイツ）（ドイツ語。リンク先は英語多数あり）
http://www.nachkriegsmuseen.de/grenze.html

評価方法　平常点と試験結果を総合評価する。

1月20日に教場試験を行う。試験は2部構成。
（1部）授業でとりあげたドイツ語圏の国々に関わる諸問題から興味のあるテーマを選びなさい。それについて参考文献・HPで調べたことを元に、意見を述べなさい。
（注意事項）その際、参考文献、HPを挙げること。
何も手に入れられなかった場合は、授業中に配布された新聞記事を利用しても良い。
シラバス上の参考文献を参照のこと。
（その2）ドイツ語の基礎知識。
あいさつ、自己紹介、数字（電話番号や値段）、授業で用いた表現・名詞に関する問題。

試験に関する質問に対しては1月13日の授業で答えます。

備考

関連URL:　ドイツ語コム
http://www.asahi-net.or.jp/~vg5t-ngi/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (2)		
科目キー	2600005015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	床鍋　剛彦		

副題

授業概要　フランス文化のひとつの特徴として、民衆文化のレベルの高さが挙げられる。その一例として、大衆音楽としてのシャンソンがある。この講義では、シャンソンの歴史や現状、さらにフランスで愛されるスタンダード曲の歌詞の紹介等を通じて、フランス文化の豊かさの一端に触れてもらう。歌詞は対訳を用意するのでフランス語の知識は必要ないが、歌詞に関連していくつかの魅力的なフランス語表現を紹介する。

授業の到達目標

シラバス　1回目はガイダンス。
以降、シャンソン文化の概要や特徴を紹介しながら、楽曲の理解・鑑賞を行う。

教科書　逐次、プリントを配布する。

参考文献　特になし。

評価方法　学期末に、授業内容に関するレポートを提出。レポート7割、平常点3割を目安とする。ただし、開講の時点で、若干の追加課題を提示することもありうる。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (7)		
科目キー	2600005015		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	床鍋　剛彦		

副題

授業概要　フランス文化のひとつの特徴として、民衆文化のレベルの高さが挙げられる。その一例として、大衆音楽としてのシャンソンがある。この講義では、シャンソンの歴史や現状、さらにフランスで愛されるスタンダード曲の歌詞の紹介等を通じて、フランス文化の豊かさの一端に触れてもらう。歌詞は対訳を用意するのでフランス語の知識は必要ないが、歌詞に関連していくつかの魅力的なフランス語表現を紹介する。

授業の到達目標

シラバス　1回目はガイダンス。
以降、シャンソン文化の概要や特徴を紹介しながら、楽曲の理解・鑑賞を行う。

教科書　逐次、プリントを配布する。

参考文献　特になし。

評価方法　学期末に、授業内容に関するレポートを提出。レポート7割、平常点3割を目安とする。ただし、開講の時点で、若干の追加課題を提示することもありうる。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (3)		
科目キー	2600005015		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	坂口　哲啓		

副題

授業概要　みなさんは「フランス」という国名を聞いて何を思い浮かべますか？芸術、ワイン、チーズ、料理、サッカー、ファッション、映画、美しい風景等々。きっと、さまざまなことを連想するのではないでしょうか。
この授業では、知っているようで意外と知らないフランスという国についてさまざまな角度からお話をしていきたいと思っています。そして、この講義を聴いたみなさんが「フランスに行ってみよう！」と思えるような楽しい授業にしたいと思っています。また、文化的な話だけでなく、旅行で使える簡単な会話表現も学びたいと考えています。ちょっとでもフランスに興味があったら是非履修してみてください。

授業の到達目標

シラバス　主な講義内容は次のとおりです。
フランスの地理・風土 / フランスの歴史 / 現代フランスの社会問題 / フランス映画の歴史 /フランス料理 / フランス絵画の魅力 等々

教科書　教科書は使用しません。毎回プリントを配布します。

参考文献　参考書等は授業中に適宜紹介します。

評価方法　レポートにて評価します。

備考　受講するにあたってフランス語の知識は必要ありませんが、是非フランス語科目を並行して履修することをお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (5)		
科目キー	2600005015		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	坂口　哲啓		

副題

授業概要　みなさんは「フランス」という国名を聞いて何を思い浮かべますか？芸術、ワイン、チーズ、料理、サッカー、ファッション、映画、美しい風景等々。きっと、さまざまなことを連想するのではないでしょうか。
この授業では、知っているようで意外と知らないフランスという国についてさまざまな角度からお話をしていきたいと思っています。そして、この講義を聴いたみなさんが「フランスに行ってみよう！」と思えるような楽しい授業にしたいと思っています。また、文化的な話だけでなく、旅行で使える簡単な会話表現も学びたいと考えています。ちょっとでもフランスに興味があったら是非履修してみてください。

授業の到達目標

シラバス　主な講義内容は次のとおりです。
フランスの地理・風土 / フランスの歴史 / 現代フランスの社会問題 / フランス映画の歴史 /フランス料理 / フランス絵画の魅力 等々

教科書　教科書は使用しません。毎回プリントを配布します。

参考文献　参考書等は授業中に適宜紹介します。

評価方法　レポートにて評価します。

備考　受講するにあたってフランス語の知識は必要ありませんが、是非フランス語科目を並行して履修することをお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (1)		
科目キー	2600005015		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	昼間　賢		

副題　フランス(語)って何？

授業概要　フランス(語)入門のクラスです。
近年は、主に情報経路の細分化のため、フランスに関する一般的な情報が逆に入手しにくくなり、
またフランスという国のイメージも、様々な点で揺らぎ始めています。その中で、
大学で第二外国語としてフランス語を学ぶことは、決して簡単ではないでしょう。

このクラスでは、フランスの事柄に慣れることを第一の目標とします。
時間が限られているので、実際には、現実のフランスについてあれこれと講義するよりは、
いろいろな角度からフランス語に接してもらう時間を増やすつもりです(教科書は、そのための道具であり、
逐一教科書に沿って学習するわけではありません)。

具体的には、フランス共和国の基礎知識、フランス語の読み方、英語との比較、学習上のポイント、
簡単な会話表現、等々、基本的な事柄を確認しながら、日本でアクセス可能なフランス関連の催し物を
紹介したり、身の回りに実は数多く見つかるフランス語を拾い集めたりして、フランス(語)を
できるだけ身近に感じられるように構成するつもりです。

授業の到達目標

シラバス

教科書　添田・後藤『プティ・フランセ』(早美出版社)

参考文献

評価方法　平常点(出席重視)と学期末試験の結果で評価します。

備考　仏和辞書は、必携ではありませんが、辞書の引き方が一つのポイントになるので、
一冊用意できれば理解はより深まります。どれを選ぶかは、開講時に説明します。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (8)		
科目キー	2600005015		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	宇田川　和夫		

副題　フランスの文化と言語に触れる

授業概要　フランス文化の様々な面に触れると同時に，フランス語の発音や基本的な会話文の練習を行います。

授業の到達目標

シラバス　初回は，ガイダンス的な内容の授業です。それ以降は，フランスの地理，歴史，文学，美術，生活，社会問題など，できる限り多方面からフランス文化を扱う予定です。
　授業時間90分のうち，約60分を文化的な面の講義にあて，残りの約30分をフランス語の発音や会話表現の練習にあてます。

教科書　必要に応じてプリントを使用します。

参考文献　気軽に読める文献をあげておきます。下記の本はいずれも早稲田大学図書館に入っています。
　　篠沢秀夫「フランス三昧」　中公新書1624　　2002年
　　小林義彦「フランス学入門」白水社　　1991年
　　柴田三千雄「フランス史10講」岩波新書（新赤版1016）2006年

評価方法　平常点・出席状況およびレポートをもとにして評価する予定ですが，筆記試験を行うことも考えています。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (4)		
科目キー	2600005015		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	斎藤　公一		

副題　フランスそしてフランス語とは何だろう？

授業概要　フランスは、革命以来、自由・平等といった普遍的理念の主導者としてふるまってきました。アメリカー極支配の強まる現代国際社会においても、独特の外交戦略において存在感を示す国です。しかし、国内では雇用、移民等先進国が共通して抱える問題が先鋭的に顕在化しています。日本の進路を考えるうえでも示唆的なフランスという地域に関して、その地理・歴史・政治・宗教・文化の基礎知識を、日本語で講義しつつ、同時にフランス語という言語についても、簡単な日常会話が出来る程度の基礎知識を身につけることを目指します。

フランス語を学習する上で知っておくと便利な基本的な知識の習得を目的とします。
言語の背景にはそれを用いる人々の文化や習慣があります。新しい言語に出会う時には必ず軽い（人によっては重い）カルチャーショックを受けます。そのショックを少しでも心地よいものにするためにフランス、フランス語を覗いてみましょう。
具体的には
1.フランスの地理・風土・歴史
2.フランスの芸術（映画・音楽・絵画・建築・演劇など）
3.フランスの食文化（料理・ワイン・チーズなど）
4.フランスの生活など
といった項目を十数回の講義で取り上げていきます。

授業の到達目標

シラバス　第1回目の授業でガイダンスを行い、受講生に対してアンケートをとります。
第2回目から講義概要に記していることとアンケートをふまえて授業を進めて行きます。
最終回の授業で試験を行います。

教科書　適宜プリントなどを配布します。

参考文献　講義の流れの中で挙げていきます。

評価方法　平常点（小テストなど）、レポート及び試験によって評価をします。。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語文化入門 (6)		
科目キー	2600005015		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	斎藤　公一		

副題　フランスそしてフランス語とは何だろう？

授業概要　フランスは、革命以来、自由・平等といった普遍的理念の主導者としてふるまってきました。アメリカー極支配の強まる現代国際社会においても、独特の外交戦略において存在感を示す国です。しかし、国内では雇用、移民等先進国が共通して抱える問題が先鋭的に顕在化しています。日本の進路を考えるうえでも示唆的なフランスという地域に関して、その地理・歴史・政治・宗教・文化の基礎知識を、日本語で講義しつつ、同時にフランス語という言語についても、簡単な日常会話が出来る程度の基礎知識を身につけることを目指します。

フランス語を学習する上で知っておくと便利な基本的な知識の習得を目的とします。
言語の背景にはそれを用いる人々の文化や習慣があります。新しい言語に出会う時には必ず軽い（人によっては重い）カルチャーショックを受けます。そのショックを少しでも心地よいものにするためにフランス、フランス語を覗いてみましょう。
具体的には
1.フランスの地理・風土・歴史
2.フランスの芸術（映画・音楽・絵画・建築・演劇など）
3.フランスの食文化（料理・ワイン・チーズなど）
4.フランスの生活など
といった項目を十数回の講義で取り上げていきます。

授業の到達目標

シラバス　第1回目の授業でガイダンスを行い、受講生に対してアンケートをとります。
第2回目から講義概要に記していることとアンケートをふまえて授業を進めて行きます。
最終回の授業で試験を行います。

教科書　適宜プリントなどを配布します。

参考文献　講義の流れの中で挙げていきます。

評価方法　平常点（小テストなど）、レポート及び試験によって評価をします。。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (1)		
科目キー	2600005023		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　中国語と中国文化の双方を同時に学ぶことによって、中国に対する視野を広げると共に、自国の言語や文化を振り返る契機にもなることを目標とする。中国語に関しては発音の基礎と基本文型を学ぶ。また中国文化に関しては、言語と文化の関連を、主に歴史的な変遷を追いながら考えてみたい。

授業の到達目標

シラバス　＜中国語＞ガイダンス:1回　発音:3回　本文:10回　教場試験:1回
＜中国文化＞ガイダンス:1回　中国の歴史:1回　中国語と中国文化:12回　教場試験:1回

教科書　中国語:未定。(開講時に指示する。)
中国文化:プリントを配布予定。

参考文献　辞書・参考書等は開講時に指示する。

評価方法　教場試験100点(中国語:50点　中国文化:50点)から、遅刻・欠席・態度不良等を減点する。

備考　中国語に関しては、時間は短いが語学の授業として基礎はしっかりやるので、復習は必要である。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (5)		
科目キー	2600005023		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　中国語と中国文化の双方を同時に学ぶことによって、中国に対する視野を広げると共に、自国の言語や文化を振り返る契機にもなることを目標とする。中国語に関しては発音の基礎と基本文型を学ぶ。また中国文化に関しては、言語と文化の関連を、主に歴史的な変遷を追いながら考えてみたい。

授業の到達目標

シラバス　＜中国語＞ガイダンス:1回　発音:3回　本文:10回　教場試験:1回
＜中国文化＞ガイダンス:1回　中国の歴史:1回　中国語と中国文化:12回　教場試験:1回

教科書　中国語:未定。(開講時に指示する。)
中国文化:プリントを配布予定。

参考文献　辞書・参考書等は開講時に指示する。

評価方法　教場試験100点(中国語:50点　中国文化:50点)から、遅刻・欠席・態度不良等を減点する。

備考　中国語に関しては、時間は短いが語学の授業として基礎はしっかりやるので、復習は必要である。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (3)		
科目キー	2600005023		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	張　娜麗		

副題

授業概要　本講座では、初修者、及びある程度の中国語に接した学生に対し、具体的資料を用いて中国の語学と文化について理解をはかり、学習の基礎を培わせる。授業はその半ばを語学の学習とし、半ばを中国の多様な文化の紹介とする。

授業の到達目標

シラバス　概説：中国語・中国文化について
語学と文化：
・発音の学習(1)と文字の周辺(1)
・発音の学習(2)と文字の周辺(2)
・第一課と食の周辺(1)
・第二課と食の周辺(2)
・まとめ
・第三課と中国の山岳
・第四課と中国の寺廟
・第五課と古人の勉学
・第六課と民間行事の周辺
・第七課と文化交流の周辺
・第八課と古跡・文物の周辺
・第九課と音楽・演劇の周辺
最終時間：教場試験を行う

教科書　中国語：プリント使用
中国文化：『あたらしい中国語（応用編）』駿河台出版社 1995年

参考文献

評価方法　出席状況、受講状況、定期試験の成績等による評価

備考　出席重視

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (4)		
科目キー	2600005023		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	張　娜麗		

副題

授業概要　本講座では、初修者、及びある程度の中国語に接した学生に対し、具体的資料を用いて中国の語学と文化について理解をはかり、学習の基礎を培わせる。授業はその半ばを語学の学習とし、半ばを中国の多様な文化の紹介とする。

授業の到達目標

シラバス　概説：中国語・中国文化について
語学と文化：
・発音の学習(1)と文字の周辺(1)
・発音の学習(2)と文字の周辺(2)
・第一課と食の周辺(1)
・第二課と食の周辺(2)
・まとめ
・第三課と中国の山岳
・第四課と中国の寺廟
・第五課と古人の勉学
・第六課と民間行事の周辺
・第七課と文化交流の周辺
・第八課と古跡・文物の周辺
・第九課と音楽・演劇の周辺
最終時間：教場試験を行う

教科書　中国語：プリント使用
中国文化：『あたらしい中国語（応用編）』駿河台出版社 1995年

参考文献

評価方法　出席状況、受講状況、定期試験の成績等による評価

備考　出席重視

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (7)		
科目キー	2600005023		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	張　娜麗		

副題

授業概要　本講座では、初修者、及びある程度の中国語に接した学生に対し、具体的資料を用いて中国の語学と文化について理解をはかり、学習の基礎を培わせる。授業はその半ばを語学の学習とし、半ばを中国の多様な文化の紹介とする。

授業の到達目標

シラバス　概説：中国語・中国文化について
語学と文化：
・発音の学習(1)と文字の周辺(1)
・発音の学習(2)と文字の周辺(2)
・第一課と食の周辺(1)
・第二課と食の周辺(2)
・まとめ
・第三課と中国の山岳
・第四課と中国の寺廟
・第五課と古人の勉学
・第六課と民間行事の周辺
・第七課と文化交流の周辺
・第八課と古跡・文物の周辺
・第九課と音楽・演劇の周辺
最終時間：教場試験を行う

教科書　中国語：プリント使用
中国文化：『あたらしい中国語（応用編）』駿河台出版社 1995年

参考文献

評価方法　出席状況、受講状況、定期試験の成績等による評価

備考　出席重視

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (8)		
科目キー	2600005023		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	張　娜麗		

副題

授業概要　本講座では、初修者、及びある程度の中国語に接した学生に対し、具体的資料を用いて中国の語学と文化について理解をはかり、学習の基礎を培わせる。授業はその半ばを語学の学習とし、半ばを中国の多様な文化の紹介とする。

授業の到達目標

シラバス　概説：中国語・中国文化について
語学と文化：
・発音の学習(1)と文字の周辺(1)
・発音の学習(2)と文字の周辺(2)
・第一課と食の周辺(1)
・第二課と食の周辺(2)
・まとめ
・第三課と中国の山岳
・第四課と中国の寺廟
・第五課と古人の勉学
・第六課と民間行事の周辺
・第七課と文化交流の周辺
・第八課と古跡・文物の周辺
・第九課と音楽・演劇の周辺
最終時間：教場試験を行う

教科書　中国語：プリント使用
中国文化：『あたらしい中国語（応用編）』駿河台出版社 1995年

参考文献

評価方法　出席状況、受講状況、定期試験の成績等による評価

備考　出席重視

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (2)		
科目キー	2600005023		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　中国語と中国文化の双方を同時に学ぶことによって、中国に対する視野を広げると共に、自国の言語や文化を振り返る契機にもなることを目標とする。中国語に関しては発音の基礎と基本文型を学ぶ。また中国文化に関しては、言語と文化の関連を、主に歴史的な変遷を追いながら考えてみたい。

授業の到達目標

シラバス　＜中国語＞ガイダンス:1回　発音:3回　本文:10回　教場試験:1回
＜中国文化＞ガイダンス:1回　中国の歴史:1回　中国語と中国文化:12回　教場試験:1回

教科書　中国語:未定。(開講時に指示する。)
中国文化:プリントを配布予定。

参考文献　辞書・参考書等は開講時に指示する。

評価方法　教場試験100点(中国語:50点　中国文化:50点)から、遅刻・欠席・態度不良等を減点する。

備考　中国語に関しては、時間は短いが語学の授業として基礎はしっかりやるので、復習は必要である。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語文化入門 (6)		
科目キー	2600005023		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　中国語と中国文化の双方を同時に学ぶことによって、中国に対する視野を広げると共に、自国の言語や文化を振り返る契機にもなることを目標とする。中国語に関しては発音の基礎と基本文型を学ぶ。また中国文化に関しては、言語と文化の関連を、主に歴史的な変遷を追いながら考えてみたい。

授業の到達目標

シラバス　＜中国語＞ガイダンス:１回　発音:3回　本文:１0回　教場試験:１回
＜中国文化＞ガイダンス:１回　中国の歴史:１回　中国語と中国文化:１2回　教場試験:１回

教科書　中国語:未定。(開講時に指示する。)
中国文化:プリントを配布予定。

参考文献　辞書・参考書等は開講時に指示する。

評価方法　教場試験１００点(中国語:５0点　中国文化:５0点)から、遅刻・欠席・態度不良等を減点する。

備考　中国語に関しては、時間は短いが語学の授業として基礎はしっかりやるので、復習は必要である。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	スペイン語文化入門 (2)		
科目キー	2600005031		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　スペイン語は、スペイン、ラテンアメリカ18ヶ国、アフリカの赤道ギニアの計20ヶ国で公用語となっています。全世界での使用人口は3億5千万人とも言われています。日本はスペインやラテンアメリカの国々と古くから深い関係を結び、現在でも文化・経済面で友好的な関係を保っています。
　このクラスでは、これらスペイン語圏の文化を理解するために、映像を多く使ってさまざまな角度から見ていきます。
また、スペイン語についても毎回、ごく初歩的な知識を学習して、簡単な表現を覚えていくようにします。

授業の到達目標

シラバス　授業初回：　受講案内、スペイン語圏とスペイン語について、アンケート
2回目：　スペイン国内の言語事情、スペイン語の成立、挨拶言葉、など
3回目以後：　プリント、ビデオ、CDなどを使って、地理・歴史・生活習慣・風俗・芸術・スポーツなどについて見ていきます。また、毎回、スペイン語のごく初歩的な知識を学び、簡単なスペイン語の表現を覚えていきます。
最終回：　課題の発表と提出（予定）

教科書　特に定めません。プリントを配布する予定です。

参考文献　授業中に適宜紹介します。

評価方法　出席状況と課題によって評価します。3分の2以上の出席が最低限必要です。

備考　授業初回に、受講案内をするほか、関心のある分野などについてアンケートを取ります。履修しようと考えている人は必ず出席してください。
　授業には、楽しみながら積極的に参加してください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	スペイン語文化入門 (1)		
科目キー	2600005031		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　日本はスペインや中南米の国々と古くから深い関係を結び、現在でも文化・経済面で友好的な関係を維持しています。本講座では、これらスペイン語圏の国々の文化をより深く理解できるようさまざまな角度から概観します。なお、スペイン語文化圏に親しみが持てるよう、スペイン語についても初歩的な知識を学習します。

授業の到達目標

シラバス　スペインや中南米の国々がいったいどのような国なのか知ってもらう為に、主にビデオを使って紹介していきます。また、毎回、スペイン語に関しても、アルファベット、読み方、挨拶など簡単な知識を覚えます。

教科書

参考文献

評価方法　レポートと平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ロシア語文化入門 (1)		
科目キー	2600005035		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	ジンベルグ　茱萸		

副題

授業概要　ロシアは比較的短い歴史の間に、文学・芸術・学術の分野で普遍的な価値を生み出した。世界はそれを共有し、ロシアがなし遂げたものの知的影響を受けつづけている。それとともに、ロシアの風土に深く根ざしながら、他の民族にとっても魅力的な、それでいてまだよくは知られていないロシア固有の価値もまた、それに深いまなざしを注ぐことにより、普遍的な意味に転化する可能性がある。この授業では、ロシア文化の普遍的な価値と、ロシア文化固有の魅力ある現象の両面を紹介する。ロシア語の初歩的な知識を学ぶ場ともなる。

授業の到達目標

シラバス　テーマ

＊ ロシア語の文字。キリル文字の形。

＊ オペラにみるロシア中世の歴史

＊ ロシアの民謡にうたわれた反乱者のイメージ。

＊ 支配者に翻弄されたコサックたち。

＊ロシアのふたつの町。モスクワとサンクトペテルブルグ

＊ロシア・アニメーションの作家ノルシュテイン

*ロシア映画の魅力

*ロシア永遠のディレンマ。西か東か。

*ロシア文学:ゴーゴリの世界は不変(普遍)。

*ロシア文学2: ドストエフスキー。

教科書　プリント配布。

参考文献　特になし。

評価方法　レポート

備考

関連URL:　東京ロシア語学院:http://www.tokyorus.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ロシア語文化入門 (2)		
科目キー	2600005035		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要　ロシアは比較的短い歴史の間に、文学・芸術・学術の分野で普遍的な価値を生み出した。世界はそれを共有し、ロシアがなし遂げたものの知的影響を受けつづけている。それとともに、ロシアの風土に深く根ざしながら、他の民族にとっても魅力的な、それでいてまだよくは知られていないロシア固有の価値もまた、それに深いまなざしを注ぐことにより、普遍的な意味に転化する可能性がある。この授業では、ロシア文化の普遍的な価値と、ロシア文化固有の魅力ある現象の両面を紹介する。ロシア語の初歩的な知識を学ぶ場ともなる。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	入門・外国語案内		
科目キー	2600005040		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	南平　かおり		但田　栄
	北田　よ志子	熊　遠報	伊藤　英人

副題

授業概要　この科目は、理系の学生を対象に、初修外国語としてのドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、朝鮮語について入門的な紹介をするものです。各言語について、6名の担当者が2回ずつ交代で講義します。なお、本年度は、招聘講師を招き、アラビア語について講義してもらいます。ただし、アラビア語の講義は1回のみです。

[担当者および講義の順番]:
(1)ドイツ語:W.シュレヒト　(2)フランス語:但田(ただ)栄
(3)中国語:熊(ゆう)遠報　(4)スペイン語:北田よ志子
(5)ロシア語:南平かおり、　(6)朝鮮語:伊藤英人
(7)アラビア語:青柳かおる

参考:
※ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語については、後期からでも履修できる「初級」クラスが設置されています。
※朝鮮語は理工には設置されていません。同言語の履修を希望する学生は、オープン教育センターのクラスを履修してください。
※アラビア語についても、オープン教育センターに「初級」から始めるクラスが設置されています。

授業の到達目標

シラバス　上記、講義概要を参照のこと。

教科書　各外国語の担当教員が指示します。

参考文献　各外国語の担当教員が指示します。

評価方法　●基本的には、平常点(出席)をもとに評価します。

●ただし、学期末に各言語についての講義内容や、
初修外国語への関心度などを尋ねるアンケートを実施します。
このアンケートは記名です。かならず提出して下さい。
評価の一部に含めます。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	日本の詩、世界の詩		
科目キー	2600005041		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	床鍋　剛彦 島村　輝	井上　一之	栩木　伸明

副題

授業概要　ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なるーひらの雲

教科書にも載っている歌であるが、ふつうの文章を作成するときには、このように助詞の「の」を重ねることはない。ワープロでこのような文を書いたら、チェック機能が働いて、他の助詞に変えるように指示されるかもしれない。しかし、この歌では「の」という助詞がズーム・インの役割をして、晩秋の澄み切った青空に浮かぶ一片の雲が、空に深く突き入る薬師寺の塔と印象的な一つの情景を形作っている。「の」という助詞の持つ種々な意味合いが並列されていると同時に、「の」の連なりがリズミカルに響く。言葉の意味と言葉の音楽の融合。この「の」を他の助詞に置き換えることはできるだろうか。おそらく無理であろう。詩が詩であるのは、一句一句、一節一節が有機的に結びついていて、それこそ結晶体を形作っているのである。日本の詩歌ばかりではなく、世界の詩歌にも目を向けて、言語による芸術作品の精髄に触れてみよう。

授業の到達目標

シラバス　担当者は各々3回の講義を担当する。
（1）井上一之先生
本講義では、韻律とイメージの観点から唐詩の諸作品を分析してみたい。中国の詩（漢詩）の歴史は紀元前6世紀の『詩経』に遡る。元来、器楽の伴奏を伴う楽歌であった詩（歌）が、その後、音楽を離れ、目で読まれるものとなったとき、詩の言語は自律化の途を辿りはじめ、徐々に洗練の度を加えてゆくこととなった。その完成の頂点が、李白、杜甫、王維、白楽天に代表される、唐詩である。わが国の文芸作品にも大きな影響を与えたとされる唐詩の美しさをより深く、より細やかに理解していただきたい。

1回　中国詩の韻律
2回　詩型とその表現機能
3回　中国詩のイメージ

（2）床鍋剛彦先生
「歌に見る、フランス恋愛詩の系譜」
　中世の歌曲から、現代のラヴソングに至るフランスの流行歌(いわゆるシャンソン)に見る恋愛観は、日本のそれとは相当に異なっている。ひとことでいえば、一時の感情よりも、恋愛が人生に与えるものを大きな視野で捉えたものが多く、個性や表現の工夫が最重視される。将来有為な学生諸君に国際感覚を磨いてもらうきっかけとして、フランス恋愛詩の論理的分析を試みる。フランス語の知識は不要。

1. 中世から19世紀までの恋愛詩を、フランスの歴史と絡めて。
2. 20世紀恋愛詩のスタンダード解析と、歌い継がれる理由
3. 20世紀後半の新しい恋愛詩とフランス人の人生観

（3）島村輝先生
日本の近代詩、あるいは現代詩というと、国語の授業の教材としての印象もあって、とっつきにくいものという感じを持っている人も少なくないと思います。しかし近代詩・現代詩は、言葉による表現という方法を用いて、その時々の文化や世相の最先端を映し出すものでもあります。私の担当する三回の授業では、毎回違ったテーマから、この近代詩・現代詩の姿を示し、言葉という表現媒体の持つ力を感得していただきたいと思います。

第1回 「機械」を詠った詩（蒲原有明「浄妙華」から中野重治「きくわん車」まで）
第2回 「戦争」を詠った詩（外山↘山「抜刀隊」から大岡信「一九五一年降誕祭前後」まで）
第3回 「現代詩最前線」 いま詩人たちはなにをどう詠っているか

（4）栩木伸明先生
英語圏の短い詩を読む

　英語圏文学（イギリス、アメリカ、アイルランドなど）は詩の宝庫である。シェイクスピア、ワーズワス、キーツ、ホイットマン、ディキンソン、イェイツ、エリオット、パウンドなどという名前をどこかで聞いたことあるかもしれない。ビートルズも今では詩人扱いされている。ぼくの三回の講義では、原文で
比較的やさしく読めて短い詩ばかりを詰め合わせて、お話してみたいとおもう。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	日本の詩、世界の詩		
科目キー	2600005041		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上

第一回　イギリスの詩を中心に
第二回　アメリカの詩を中心に
第三回　ポップスの歌詞を聴く

教科書　教場で指示する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　平常点と試験。

備考　出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ジェンダーと科学		
科目キー	2600005042		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義(前期)	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	川田　宏之 橋本　周司 高松　敦子 小川　眞里子	中村　采女 内田　亮子 若杉　なおみ	梅津　光生 弓削　尚子 菱山　玲子

副題

授業概要　この科目は、自然科学のさまざまな分野におけるジェンダー(社会的文化的性差)の問題を概観し、科学研究の営みをジェンダーの観点から検討する。男女を問わず、若手研究者のジェンダーについての認識を深めていくことが目的である。

授業の到達目標

シラバス

6/7(1)
オリエンテーション　橋本周司(理工学術院長)、中村采女(理工学術院教員)
科目成立の背景と科目の趣旨について

6/21　2・3・4限　(2)、(3)、(4)
「科学史とジェンダー」
小川眞里子(三重大学教員)
1)　客観的普遍的と考えられている科学で、なぜジェンダーが問題になるのかを考える。
2)　18世紀の博物学を中心に、科学知識にジェンダーが投影された事例を学ぶ。
3)　誰が科学をするのかが、重要な局面となる場合があることを理解する。

6/28　2・3・4限　(5)、(6)、(7)
「医学とジェンダー」
若杉なおみ(政治経済学学術院教員)
1)　ジェンダー・セックス・セクシュアリティの基本理解
2)　差異と差別について考える
3)　医学とジェンダーの接点
1)医学はその発生と発展の中でジェンダーをどのように扱ってきたのか
2)ジェンダーは医学をどう変えるのか
4)　リプロダクティブヘルス＆ライツとジェンダーについて学ぶ
　エイズの女性化、FGM、生殖補助医療、少子化などを例として
5)　女性科学研究者の幸せで息の長いキャリアは可能か

7/5　2限　(8)
「マイノリティーの生き方」
高松敦子(理工学術院教員)
女性研究者たちは何故この道を選んだのか、自己の体験談を交えながら何人かの女性研究者からのコメントを紹介し、マイノリティーの生き方について話をする予定。

7/5　3限　(9)
「生命科学、医工学における女性研究者・男性研究者」
「東京女子医科大学・早稲田大学連携生命科学研究教育施設(TWIns; ツインズ)について」
梅津光生(理工学術院教員)
生命科学、医工学関連の研究で博士号を取得した若手の女性研究者と、男性研究者を当日講義に招き、そこでの質疑のやり取りを通じて、本分野での研究の特徴、方法などを明らかにする。東京女子医科大学・早稲田大学連携生命科学研究教育施設(TWIns; ツインズ)の紹介も行う。

7/12　1・2・3限　(10)、(11)、(12)
　注　9時30分-12時10分(途中休憩あり)　13時-15時10分(途中休憩あり)
「生物人類学とジェンダー」
内田亮子(国際教養学術院教員)
1)性の進化&性分化のメカニズム、
2)人間の身心の性差、
3)人類学での性とジェンダー
の議論について概観した後、
4)ジェンダーをめぐる社会問題の建設的な対応における科学的思考法および人間の科学的理解など、科学(と科学に携わる者)の役割と責任について考察する。

教科書　特に指定しない

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ジェンダーと科学		
科目キー	2600005042		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	集中講義（前期）	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	２年以上

参考文献

小川眞里子『フェミニズムと科学／技術』岩波書店　2001
宇野賀津子・坂東昌子『理系の女の生き方ガイド』講談社　2000
ロンダ・シービンガー『ジェンダーは科学を変える！？』小川眞里子ほか訳　工作舎　2002
内田亮子『人類はどのように進化したか？生物人類学の現在』 勁草書房　2007

評価方法　出席点と提出したレポートによる評価点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	東アジア文化研究		
科目キー	2600006001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　東アジア地域は、歴史上、漢字や仏教、律令などの制度と文化を中心に、一つの文化圏を形成してきた。この文化圏には、中国、朝鮮半島、日本列島、ヴェトナムが含まれる。この文化圏の中心に位置する中国社会が、どのような文化や制度を創出し発信したのか、朝鮮半島、日本列島、ヴェトナムなどの地域がどのように中国の文化と制度を受容したのか、という問題を中心に、より深く東アジア地域の文明と文化を紹介する。主に東アジアの歴史に関する基本知識を習得した学生を対象とする。

授業の到達目標

シラバス
1、東アジア文化圏の成立
2、漢字と東アジア社会
3、中国の書籍の出版と東アジア社会
4、儒教の世界
5、孔子とその周辺
6、論語講読（上）
7、論語講読（下）
8、論語と東アジア社会
9、仏教と道教
10、中国の家族・宗族組織
11、族譜と東アジア世界
12、科挙と官僚制
13、東アジアの巨大都市

教科書　プリントを配布する。

参考文献　教室で指示する。

評価方法　出席（無断欠席4回は不可,出席状況も評価の内容）
平常点（講義後の討論に積極的な質問、発言を高く評価する）
レポート（小論文式、参考文献と注は明示）

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	歴史社会学I		
科目キー	2600006002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　政治経済のグローバル化が急速に展開している現代社会の中で、私たちは、民族、宗教、生命に関わる様々な価値観の相違に起因した諸問題や貧困、発展、環境などの問題に直面している。こうした人類共通の諸課題の解決方法を模索する際、そこにいたるまでの人類の歴史を辿る作業が必要不可欠となる。この授業では、中国の古代を中心に、中国社会の形成と展開の基本的な流れを紹介しながら、歴史社会学の知識と方法を教える。歴史社会学Iは、歴史の流れに重点をおき、宋代以前の歴史を紹介する。

授業の到達目標

シラバス
1、ガイダンス
2、中国社会の特徴
3、中国文明の形成（上）
4、中国文明の形成（下）
5、都市国家連合
6、始皇帝と統一帝国の形成（上）
7、始皇帝と統一帝国の形成（下）
8、農耕社会と遊牧社会
9、三国時代とその時代の英雄達
10、分裂と統合（上）
11、分裂と統合（下）
12、隋唐帝国(上)
13、隋唐帝国(下)

教科書　プリントを配布する。

参考文献　教室で指示する。

評価方法　出席（無断欠席四回は不可,出席状況も評価の内容）
レポート（小論文式、参考文献と注は明示）
平常点（積極的な質問、発言を高く評価する）

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	歴史社会学II		
科目キー	2600006003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　政治経済のグローバル化が急速に展開している現代社会の中で、私たちは、民族、宗教、生命に関わる様々な価値観の相違に起因した諸問題や貧困、発展、環境などの問題に直面している。こうした人類共通の諸課題の解決方法を模索する際、そこにいたるまでの人類の歴史を辿る作業が必要不可欠となる。この授業では、16世紀以来の中国の歴史と社会を中心に、中国社会の形成と展開の基本的な流れを紹介しながら、歴史社会学の知識と方法を教える。歴史社会学IIは、歴史の流れに重点をおき、専門的なテーマをも紹介する。

授業の到達目標

シラバス
1、宋代以前の歴史の大筋
2、北方民族の台頭と宋代社会
3、ユーラシアに跨る元の世界(上)
4、ユーラシアに跨る元の世界(下)
5、明清時代(上)
6、明清時代(下)
7、満洲族の役割
8、アヘン戦争から洋務運動へ(上)
9、アヘン戦争から洋務運動へ(下)
10、辛亥革命と国民国家への模索
11、社会主義の選択
12、兵馬俑の世界
13、万里の長城

教科書　プリントを配布する。

参考文献　教室で指示する。

評価方法　出席(無断欠席四回は不可,出席状況も評価の内容)
レポート(小論文式、参考文献と注は明示)
平常点(積極的な質問、発言などを高く評価する)

備考　映像資料なども使用

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	「こころ」と宇宙		
科目キー	2600006004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小曽戸　洋		

副題　中国伝統医学の世界

授業概要　中国伝統医学においては、人体はミクロコスモスとして、大宇宙と平行する存在とされてきた。今日の医学の常識からすると荒唐無稽とも思える不合理さと、底知れない奥深さが同居するところに伝統医学の魅力は存在するのである。本講座では、そのような一見矛盾するかのような伝統医学の世界を紹介していきたい。

授業の到達目標

シラバス　永冨の作成したプリントに沿って進めて行く。

教科書　永冨の作成したプリントをテキストとする。

参考文献

評価方法　教場試験および平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	過去の伝承		
科目キー	2600006005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石井　道子		

副題　記憶の伝承としての文学

授業概要　「第二次世界大戦」を扱った詩・エッセイ・短編小説・ドラマ・マンガなど、多様な形式の作品を扱う。いわゆる「戦後文学」作品を中心に、客観的な記録（歴史書）ではなく、個人的な思いをこめたテキストを扱う。
講義では、それぞれの文学様式の特性について解説をおこない、また、時代を映し、伝えていくという文学の意義に触れていく。また、映画化された作品も扱う。
指定された作品の資料は前もって指示するので、あらかじめ読んだ上で参加してほしい。

授業の到達目標

シラバス　過去を振り返るとき、人は様々な感慨を抱く。そして、自分の思いを文字を使って記録していく。
授業ではこのような人間の行動の意味、「記録」と「主観的記述」の違い、文学の多様なジャンルの特性、などに触れながら、作品を解説していく。授業と平行して、各作品を各自でも読んでいくことが必要である。

取り扱い作品

オーウェン『不思議な出会い』
ブリテン『戦争レクイエム』歌詞
モーパッサン『二人の友』
加島祥造『あの夜』
梅崎春生『桜島』
太宰治『雀』
ハインリヒ・ベル 『旅人よ、スパルタの地に赴かば…』
こうの史代『夕凪の街』『桜の国』
井上ひさし『父と暮らせば』

教科書

参考文献　授業中に資料を配付または指示する。
資料の取り忘れがないよう、注意すること。

評価方法　レヴューシート、学期末の試験で評価。

備考　Web上のシラバス（このページ）に、授業の進行状況を反映させていくので、参加者は4月以降もシラバスを定期的にチェックすること。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	文化と科学・技術者		
科目キー	2600006006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　時代とともに科学・技術の重要性は増大してきた。科学・技術者の表象もそれにつれ大きく変化した。中世に語り継がれた伝説の魔術師ファウストは、その後も戯曲、小説、漫画など様々なジャンルの作品の中に生き続けた。本講義では、近代科学誕生以前のファウスト博士像、近代科学の父ガリレオ像の変遷をも視野にいれながら、科学・技術者たちの表象の変遷をたどる。小説、戯曲、あるいは伝記文学に現れた科学・技術者たちの姿を通して、今日に生きる科学・技術者のあり方を考えてゆく。

授業の到達目標

シラバス　以下のテーマを扱う。映像等も交えていく予定である。

1. 民衆本『ファウスト』からゲーテの『ファウスト』へ
伝説の人物ファウストがどのように伝えられてきたかを概説し、そののちゲーテの戯曲『ファウスト』に描かれた学者像を検討する。

2. ブレヒト『ガリレイの生涯』を読む。
誰もが知る科学・技術者ガリレイを主人公とした戯曲だが、この作品には現代の科学者への根本的な問いかけが含まれている。じっくり読んでいきたい。

3. ビューヒナー『ヴォイツェク』について
19世紀に書かれた未完の戯曲を通して，科学者と「実験」の問題を考える。

4. 現代の科学･技術者像
P. S. バック、M. フレイン、あるいは日本の作家たちの描く科学･技術者像を通して、現代の科学・技術者の在り方を考える。ジェンダーの問題にも触れてみたい。

教科書　教場で指示する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　平常点と試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	現代宗教論I		
科目キー	2600006007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	岩本　一夫		

副題

授業概要　現在世界各地に見られる紛争のほとんどは宗教の理解を欠いては理解できないだろう。宗教理解は現代を解くキーワードの一つであると言っても過言ではない。 にもかかわらず、ある意味で日本人は宗教音痴とも言われている。これには様々な理由が挙げられるであろうが，少なくとも我々には宗教を真正面から考えてみる機会にはあまり恵まれてはいなかった。この授業では，偏ることなく出来るだけ多くの宗教情報を提供することによって自ら宗教を考える機会となることを願うものである。

授業の到達目標

シラバス
1. 宗教とは何か
2. 日本の宗教事情
3. アジアの宗教事情
4. 世界の宗教紛争
5. 宗教と科学

※　1項目に2限ほどを予定している。

教科書　教科書は特に指定しないが，参考書は授業中に適宜紹介し，必要な資料を配布する。

参考文献

評価方法　【担当教員連絡先等】
岩本　一夫 (iwamoto@gen.t-kougei.ac.jp)

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	現代宗教論II		
科目キー	2600006008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	岩本　一夫		

副題

授業概要　現在世界各地に見られる紛争のほとんどは宗教の理解を欠いては理解できないだろう。宗教理解は現代を解くキーワードの一つであると言っても過言ではない。 にもかかわらず、ある意味で日本人は宗教音痴とも言われている。これには様々な理由が挙げられるであろうが，少なくとも我々には宗教を真正面から考えてみる機会にはあまり恵まれてはいなかった。この授業では，偏ることなく出来るだけ多くの宗教情報を提供することによって自ら宗教を考える機会となることを願うものである。

授業の到達目標

シラバス
1．宗教の分類
2．未開と民族宗教
3．仏教
4．キリスト教
5．イスラム教
6．日本人の宗教的心性
※　1項目に2限ほどを予定している。

教科書　教科書は特に指定しないが，参考書は授業中に適宜紹介し，必要な資料を配布する。

参考文献

評価方法

備考　【担当教員連絡先等】
岩本　一夫（iwamoto@gen.t-kougei.ac.jp）

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	都市と文化		
科目キー	2600006009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中村　采女	永冨　青地	大澤　清治

副題

授業概要　文学にしても音楽にしてもあるいは建造物にしても、それを生み出した都市を如実に反映している。都市にはそれぞれの歴史があり、歴史に育まれた気風があり、個性がある。国の内外に目を向けて、思想や芸術の背景や特質を、母胎としての都市のうちに探る。3人の担当者とともに探訪するのは大都会が中心であるが、時には小都市との出会いもある。よく知る大都市の知られざる側面を知り、あるいは、無名の小都市に、独自の歴史と文化が育まれてきたことを知り、私たち自身の都市生活を検証することになるだろう。

授業の到達目標

シラバス　次の順に講義を行う。

1. 担当:大澤
次の内容について画像、映像を交えて概説する。
1) ケルン
成立史(ローマ帝国の植民地ケルン)— 大聖堂の建築(様式と歴史)
— ライン川と大聖堂と民族主義(ゲーテやハイネなどによるコメント)
— 現代のケルン
2) マールブルク
成立史 — 小都市のたたずまい(木組みの民家建築や城など) — 宗教改革と大学
— グリム兄弟(「グリム童話」の発端)— 現代のマールブルク
3) ライプツィヒ、そしてストラスブール
成立史 — J. S. バッハ — ゲーテ — メンデルスゾーン
ストラスブールのゲーテ — フリーデリケとの恋、その「詩と真実」
4) ベルリン
成立史とプロイセン時代のベルリン — 森鴎外の留学と『舞姫』
— ナチ支配と「頽廃芸術」— 戦後の東西ドイツ分裂とベルリン、壁の建設と崩壊、 現状 —「博物館島」など

2. 担当:永冨
上海と北京とは、日本における大阪と東京のように、対照的な性格の都市として常に対比されてきた。ここでは、映画を含む近代の文芸を通して、これら二都市の性格を探っていきたい。また、J・G・バラードの『太陽の少年』を通して、上海の街の発展について触れていきたい。

3. 担当:中村
東京という巨大な都市とその文化について、時代を三つに区分して考察する。
1. 明治維新から関東大震災後の復興まで
2. 第二次世界大戦の戦前・戦中・戦後
3. 戦後から現在へ
西欧的近代化の流れと日本固有の文化的な伝統は互いにどのように関わって東京の姿を形作ってきたのだろうか。ヨーロッパの都市の発展と対比させながら、東京を考える。

教科書　教場で指示する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　平常点と試験

備考　出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	言語文化論		
科目キー	2600006010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題　フランス文学にみる奇想の系譜

授業概要　シュルレアリスムの先駆者たちから、ウリポと呼ばれる文学集団の動向までを概観する。ルネッサンス期のラブレー以来、フランス文学の底流をなしてきたものの、伝統的文学史では傍流に追いやられていた一つの流れ（笑い、グロテスク、突飛、といったものへの関心）を把握する。
具体的には、ロートレアモン、ルーセル、アンドレ・ブルトンやその周辺の作家、建築家シュヴァル、といった一風変わった作品や人物を、一回完結のかたちで取りあげる。映像資料を利用することもある。

授業の到達目標

シラバス
(1)第一回：ロートレアモン「私は汚い。虱たちが私を齧る。豚どもは私を見るとげろを吐く」
(2)第二回：ルーセル（奇想天外の演芸大会、荒唐無稽の博覧会）
(3)第三回：シュルレアリスム（『ナジャ』他）
(4)第四回：『不正確科学百科事典』
(5)第五回：レーモン・クノー『地下鉄のザジ』
(6)第六回：シュヴァルの理想宮（パラノイア建築）
(7)第七回：ボリス・ヴィアン（サン＝ジェルマン＝デ＝プレのプリンス）
(8)第八回：ウリポの言語遊戯
(9)第九回：落語のナンセンス、シュルレアリスム、言語遊戯
(10)第十回：ペレック『人生　使用法』（制約下の創作）
(11)第十一回：『ぼくは思いだす』（「ぼくは思い出す、鉱石ラジオのことを。」）
(12)第十二回：『さまざまな空間』（「生きること、それは空間から空間へ、なるべく身体をぶつけないように移動することなのである」）

ただし、諸事情により変更されることもある。

教科書　毎回、教員がプリントを配布する。

参考文献　直接関係するわけではないが、講義のテーマと関連するものとして、

春日武彦、『奇妙な情熱にかられて　ミニチュア・境界線・贋物・蒐集』（集英社新書）

その他、随時講義で指示する。

評価方法　レポートおよび平常点（出席）。
欠席が一定数を超えると、評価の対象にしない。また、授業中の私語については厳しく評価に反映させる。
レポートにおける剽窃行為（他人の論文、レポート、Web上の記事など）に対しては、カンニングと同じとみなし、厳しく対処する。

備考　フランス語の知識は必要としない。
授業中の私語には厳しく対処する（退席を命じることもある）。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	近代思想と現代		
科目キー	2600006011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　現代人の世界観や人間観の多くは、自由や平等、社会的正義といった人間の基本的な権利を尊重し、個々人の幸福を追求するという考え方に基づいています。このような基本的人権の思想は、アメリカの独立宣言（1776）や、フランス革命（1789）の人権宣言に明確に表明されているものです。

本講義では、そのような思想の普及を準備し、強力に推進したフランス18世紀の代表的な啓蒙思想家たち、とりわけ、その中でも特異なポジションを占めるJ.-J.ルソー（1712ー1778）を中心に取りあげます。テキストしては、主にルソーの思想を集大成した教育論『エミール』（1762）を読みます。ルソーにとって、基本的人権とは何か、かれの構想した近代人とはいかなるものであったかを検証しながら、ルソーの現代に通じるアクチュアリティーを探りたいと考えています。

授業は原則、講義形式で行いますが、受講者の人数がゼミ形式に適したものなら、そのような形式で行うこともあり得ます。

教材：J.-J.ルソー著『エミール』、今野訳、岩波文庫（全3巻）
基本的なテキスト（日本語）は、教員のほうで準備する。

評価方法：平常点（出席）と、筆記試験

授業の到達目標

シラバス　主な講義内容：

（1）J.-J.ルソーとその時代

（2）『学問芸術論』（1750）について

（3）『人間不平等起源論』（1755）について

（4）『エミール』（1762）について

（5）ルソーの現代性

教科書

参考文献　授業の最初に紹介します。

評価方法　特に、出席を重視します。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	地域研究：中国		
科目キー	2600006012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　冷戦構造の崩壊、世界の政治経済の一体化という流れの中で、中国は高度経済成長と政治改革によって、世界の中で重要性を増大させている。近年日本と中国は、様々な分野やレベルにおいてこれまで以上に交流が進展している。特に日本企業の中国進出も目立っている。こうした変化を背景にした現代中国の政治・社会体制の形成とその展開、とりわけ現代中国社会における人口、教育、貧富格差、都市・農村等の社会問題と最新動向を紹介しながら、現代中国社会に対する学生の複眼的な考察力の向上を目指す。

授業の到達目標

シラバス
1、現代中国とは？
2、二十世紀後半の社会体制の形成とその変化
3、文化大革命とその後の改革
4、「一国二制度」と香港返還
5、農業と農村社会
6、戸籍・「単位」制と都市社会
7、「一人っ子」政策と人口問題
8、教育制度
9、少数民族
10、宗教・信仰
11、上海と北京
12、開発・エネルギーと環境
13、最新の中国出来事

教科書　プリントを配布する。

参考文献　教室で指示する。

評価方法　出席（無断欠席4回は不可,出席状況も評価の内容）
レポート（小論文、参考文献と注）
平常点（講義後の討論に積極的な質問、発言を高く評価する）

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	地域研究:ドイツ		
科目キー	2600006013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	近藤　武		

副題

授業概要　ドイツは、第2次大戦前にはナチスによる戦時統制経済、戦後には資本主義と社会主義と言う二つの全く異なった経済体制が併存した珍しい高度先進国である。授業ではナチス経済の性格と問題点を論じた後、西独の資本主義（社会的市場経済）と東独の社会主義との両経済体制の相違を理論的に説明するとともに、その成立、発展を歴史的に講義する。社会主義の崩壊は重大な歴史的事件であったが、どんな欠陥が内在していたかを説明し、両独の統一と経済体制の市場経済化について触れる。最後にドイツ経済とEUについて言及する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	地域研究:フランス		
科目キー	2600006014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	昼間　賢		

副題　パリ――ある文明の舞台

授業概要　このクラスでは、フランスの首都パリの成り立ちを確認しながら、人間の営みが展開する都市空間の諸問題を考察する。
第一のレベルは、パリに関する基礎知識を共有すること。世界一の観光国であるフランスの首都は、なぜそれほど多くの人を惹きつけてきたのだろうか。「先進国」の首都としては異例の小ささや、それにもかかわらず、地区ごとの際立った多様性や、都市計画のデザイン性などが、漠然と思い浮かぶだろう。
第二のレベルは、その社会性を理解すること。たとえば、整然とした大通りは、専ら都市計画的な「美しさ」のために開かれたのだろうか。「光の都」パリには、工場も、農場も、ゴミ処理場も見られないが、なぜなのか。
世界中の民族がひしめきあう街で、社会という共通項を維持するにはどうしたらよいのか。
最終的な目標は、講師の人文学的な視点によって受講者の理工学的な素養がより豊かなものとなることである。
少ない授業回数の中で、二回ほど映像を見る予定。

授業の到達目標

シラバス

教科書　なし

参考文献　ミシェル・パンソン『パリの万華鏡　多彩な街の履歴書』(原書房)
石井リーサ明理『都市と光　照らされたパリ』(水曜社)
中野隆生ほか『都市空間と民衆　日本とフランス』(山川出版社)

評価方法　出席＋レポート。ただし一定の出席数に満たない受講者はレポートを提出することができない。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	地域研究:ロシア		
科目キー	2600006016		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	桜井　厚二		

副題

授業概要　ソ連崩壊後，隣国ロシアの生活，文化，社会はどのように変わったのでしょうか。ロシアの映画，音楽，文学を通じて，現代ロシアの文化，社会状況を学びます。

授業の到達目標

シラバス　テーマ1:＜導入＞ 新生ロシアの文化と社会

テーマ2:＜主題＞ 転換期のロシア映画と社会
帝政ロシアへの郷愁と軍隊における同胞愛を描いた『シベリアの理髪師』(ニキータ・ミハルコフ監督，1998年)，殺し屋の青年の精神的彷徨を描いて，若者を中心に大反響を呼んだアレクセイ・バラバーノフ監督の『ロシアン・ブラザー』(1997年)，ソ連崩壊後の家族像を叙情的に表現したアンドレイ・ズヴャギンツェフの『父，帰る』(2003年)等，国内外で流行した現代ロシア映画を扱い，アレクサンドル・ソクーロフ，アンドレイ・タルコフスキーらの映画と比較しながら，新生ロシアの社会的状況について考えます。

テーマ3:＜展開＞ ロシア現代美術・文学・大衆文化にみる現代ロシアのイメージ
転換期のロシア映画の分析を通じて提示した諸問題(歴史認識，ノスタルジー，家族，国家体制の変化)を，映画以外のジャンルを事例に再考します。現代文学，ポップス，現代美術などの作品を扱います。

教科書　毎回参考資料のプリントを配布します。

参考文献

評価方法　コメントカード＋レポート

備考　毎回授業時にコメントカード用の用紙を配布しますので，授業の最後の10から15分を使って，授業中に扱われたテーマついての簡単な感想や質問を書いて提出してください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	地域研究:アフリカ		
科目キー	2600006017		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高林　敏之		

副題　現代アフリカ政治史

授業概要　日本におけるアフリカのイメージは、紛争、貧困などの悲劇や、自然の事物などに画一化される傾向が強い。しかし、現実のアフリカの様相はきわめて多様であり、また20世紀後半における脱植民地化、1990年代以降の政治民主化や紛争解決努力など、現代史における自主性模索の動きを抜きに、その実像を理解することはできない。本講義では、現代政治史の概観を通じて、アフリカが現在抱える諸問題の原因、アフリカにおける政治的・経済的・文化的自主性追求の努力、地域協力の取り組み、日本との歴史的関係に関する基本的理解の確立をはかる。

授業の到達目標

シラバス
1、「アフリカ」とは何か　その定義、多様性
2、植民地支配と独立闘争（1）
3、植民地支配と独立闘争（2）
4、苦難の国家建設（1）　植民地宗主国の影響
5、苦難の国家建設（2）　一党独裁と軍事クーデタ
6、苦難の国家建設（3）「民族問題」と紛争
7、南アフリカのアパルトヘイト
8、地域協力の模索（1）　アフリカ統一機構（OAU）
9、地域協力の模索（2）　下位地域協力
10、冷戦終結とアフリカの変動（1）　政治的自由化の推進
11、冷戦終結とアフリカの変動（2）　新たな紛争
12、再生と統一への取り組み　OAUからアフリカ連合（AU）へ
13、アフリカと日本　外交的側面を中心に
（授業の進度や現地の情勢により変更の可能性がある。）

教科書　資料を授業中に適宜配布する。

参考文献　以下の書籍の講読を勧める。
・宮本正興・松田素二編『新書アフリカ史』講談社現代新書
・岡倉登志編著『ハンドブック現代アフリカ』明石書店

評価方法　期末レポート、および学期中数回（5回から7回程度を予定。不定期）提出を求めるコメントペーパーによる総合評価。ただしコメントペーパーの提出が皆無の場合は無条件で不可とする。

備考　原則としてインターネット情報に安易に依存したレポートは不可とするので注意。詳細な注意事項は初回オリエンテーション、およびレポート告示の際に説明する。

関連URL:　http://www.geocities.jp/viva_saharawi_tt

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
（2010年度以前）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	地域研究:イスラム圏		
科目キー	2600006018		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	青柳　かおる		

副題

授業概要　現代の国際社会における平和的共存、異文化理解、宗教間対話といった諸問題を考える上で、13億人以上の信徒を持ち、世界中に広がっているイスラーム(イスラム)に関する正しく客観的な理解は必要不可欠です。この講義では、イスラームの宗教的側面、思想について理解を深めることを目標とします。イスラームと関わりの深い中東の歴史、政治、思想について基本的知識を持つことも目標です。

授業の到達目標

シラバス　以下の内容の予定ですが、若干変更する場合もあります。

イスラームに関する文献紹介

イスラーム以前のジャーヒリーヤ時代

預言者ムハンマドの生涯

イスラームの教義(六信五行)

クルアーンとハディース(ムハンマドの言行録)

シーア派とイランの歴史

イスラームにおける婚姻、女性、セクシュアリティー

スーフィズム(イスラーム神秘主義)

イスラーム世界のギリシア文明

中東の民族と宗教

聖地エルサレム

イスラーム法

イスラーム原理主義

教科書　青柳かおる『面白いほどよくわかるイスラーム』日本文芸社2007年(1400円)
適宜、プリントを配布します。

参考文献　詳しくは、第1回目の授業で文献リストを配布します。

評価方法　教場試験(またはレポート)、出欠を兼ねた授業中の提出物(感想文、質問など)により、総合的に評価します。試験(またはレポート)では、イスラームに関して興味のあるテーマを自分で決め、参考文献を読み、調べて明らかになったことに対して自分の見解を書いていただく予定です。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	地域研究：東ヨーロッパ		
科目キー	2600006019		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	浅野　啓子		

副題

授業概要　大国にはさまれた東ヨーロッパ諸国は，しばしば民族滅亡の危機に直面しながらも，周辺諸国と交流を深めながら独自の歴史と文化を守り，ヨーロッパにおいて重要な位置を占めてきた。そして今日，これらの諸国はEUに加盟し，政治や経済の分野においてもますます存在意義を高めつつある。戦争や民族対立という苦難を経験したこれらの国々の歴史と伝統は，グローバル化のもたらす諸問題の解決を求められている私たちにも，多くの示唆を与えてくれるだろう。東ヨーロッパ諸国の歴史と文化を映像資料も交えながら学ぶことで，これらの諸国がなおいっそう身近な存在となるように努めたい。

授業の到達目標

シラバス

1．東ヨーロッパとは何か
　一国・地理的範囲・民族・言語・宗教・概念一

2．中世の歴史と文化一現代社会の土台の形成一
（1）王国の成立とキリスト教の受容
（2）プラハ大学と宗教改革運動

3．近代の歴史と文化一大国の支配と解放運動一
（1）チェコにおける民族意識の高まり
（2）ポーランド分割と祖国解放の文学
（3）ハンガリーとオーストリア

4．現代の歴史と文化一大国のはざまで一
（1）独立からナチス・ドイツの侵攻まで
（2）社会主義体制と文化人
（3）旧ユーゴスラヴィアの解体

5．日本と東ヨーロッパ

教科書　レジュメを配付

参考文献　授業中に参考文献を指示

評価方法　平常点，教場試験

備考　出席が極端に少ない場合には，単位の取得は認められません。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	地域研究：中南米		
科目キー	2600006020		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山本　昭代		

副題

授業概要　経済のグローバル化、国境を超えた人の移動が急速に進展し、またその一方で地域統合が進められるなど、ラテンアメリカ地域は近年、複雑で活発な動向を見せている。この地域は、社会的･文化的な状況や歴史的な背景も、国や地域、さらにはそれぞれの地域内のエスニシティ集団や社会階層によっても、非常に多様性に富んでいる。本講義では、この地域の政治的･社会的･歴史的な概況をとらえるとともに、具体的な事例をもとに、その重層的な社会と文化の一端に触れ、ラテンアメリカ地域に対する総合的な視点の形成を目指す。

授業の到達目標

シラバス
1回 ラテンアメリカの概要
2回 ラテンアメリカの歴史
3回 ラテンアメリカの政治
4回 ラテンアメリカの経済
5回 ラテンアメリカの社会
6回 ラテンアメリカの文化
7回 メキシコ
8回 中米諸国
9回 カリブ海地域
10回 アンデス･ラプラタ地域
11回 ブラジル
12回 世界のラテンアメリカ移民
13回 日本とラテンアメリカ
14回 ラテンアメリカ研究の課題

教科書

参考文献　『ラテンアメリカ研究への招待』(改定新版) 国本伊代・中川文雄著、新評論
『中米・カリブ海、南米』綾部恒雄監修、明石書店

評価方法　授業に関連した短いレポート(A41枚程度)を3から4回課し、これと授業への参加度によって評価する。期末試験は行わない。レポートの書き方については第1回の講義で指示する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	地域研究:英語文化圏		
科目キー	2600006021		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松本　佳穂子		

副題

授業概要　グローバルなIT時代の到来に伴い、英語は世界共通語としての地位を高めつつある。本講義では、英語帝国主義といわれる程の影響力を持つに至った言語を使用する英語圏に焦点をあてる。英語圏には、英語を母語とする地域と英語を第二言語或いは公用語とする地域があり、そこでは異なる特徴を備えた様々な英語が話されている。多様な地域英語が生まれた背景について、歴史、言語、文化、政治、経済の各方面から考察する。また、話者の社会的地位、年齢、性、エスニシティーなどの社会的要因が実際のコミュニケーションに作用していることを考察する。

授業の到達目標

シラバス　第1講　言語と文化の関係について
第2-3講　世界の様々な英語について概説
第4-9講　英語の変種について(毎回1、2種類を取り上げ、音声や映像による例を使いながら詳しく解説する)
第10-最終講　学生による発表と議論

教科書　Englishes of the World (Judy　Yoneoka、Jun Arimoto著)三修社

参考文献　参考書は各自の発表に役立つものを随時クラスで紹介する。

評価方法　クラスでの発表、最終レポート、平常点による総合評価とする。

備考　一方的な講義形式ではなく、グループ活動や議論をできるだけ取り入れて行くので、積極的な参加を期待する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (1)		
科目キー	2600006022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題　音楽で学ぶドイツ語

授業概要　「ドイツ語中級II」を履修した者、または同程度以上のドイツ語の知識をもった者を対象とする科目である。これまでに学んだドイツ語の基礎をもとに、さらにドイツ語の力を高めていく。同時に、ドイツ語圏の社会・文化についての理解を深めることがめざされる。

この講義ではドイツの音楽シーンを通じ、ドイツ語を学んでいきます。クラウトロック（ジャーマンロック）、フォーク、シュラーガー(ポップス)、民謡、歌曲・・・ドイツのさまざまな音楽を実際に聴いて、歌詞の意味を理解し、そこから日常会話で使える表現を練習していきます。

講義で扱うアーティスト(ドイツのポップグループ、ロックバンド、シンガーソングライターなど)の情報を入手できるURL情報も提供していきます。

授業では、LINCSというInternet-based E-Learning Systemを使います。このSystemで、授業関連および宿題などのファイルのやり取りが可能です。最初の講義の際に詳しいことを説明しますので、受講生は必ず参加して下さい。

授業の到達目標

シラバス　まず曲を聴き、歌詞に登場する重要な単語に注目し、語彙を増やします。新しい表現を学習し、意味を理解して、実際に使用する練習を行います。歌の内容について語り合い、それに関連するテーマについて、ドイツ語で話す練習をします。たとえば、生活、友情、恋愛、仕事、社会問題、将来など、現代のドイツの若者、そして私たちがどのように考えているのか、共通点や相違点について議論していきたいと考えています。

歌の原語テキストと、歌手に関する情報はあらかじめ配布しますので、事前に歌詞に目を通しておくことができます。曲の内容に沿った練習問題で、学習した事柄を復習します。

講義計画（予定）

The Beatles "I want to hold your hand"のドイツ語版："Komm, gib mir deine Hand".
■Beatlesに関するドイツ語のテキストを読む。
■"Komm, gib mir deine Hand!"を聴く。
■語彙の確認
■復習する文法項目：命令形・不規則動詞・形容詞
■文法の練習
■会話の練習

Rammstein（ドイツの代表的なロックグループ）の"Ich will".
■Rammsteinに関するドイツ語のテキストを読む。
■"Ich will"を聴く。
■語彙の確認
■復習する文法項目：話法の助動詞・人称代名詞
■文法の練習
■会話の練習

ポップス・シンガーJuliane Werdingの"Ich vergess dich"
■Juliane Werdingに関するドイツ語のテキストを読む。
■"Ich vergess dich"を聴く。
■語彙の確認
■復習する文法項目：vergessenの使い方・時間を表す表現・頻度を表す表現・程度を表す表現
■文法の練習
■会話の練習

人気ロック・グループTokio Hotelの"Durch den Monsun"
■Tokio Hotelに関するドイツ語のテキストを読む。
■"Durch den Monsun"を聴く。
■語彙の確認
■復習する文法項目：形容詞の使い方・前置詞
■文法の練習

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (1)		
科目キー	2600006022		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

■会話の練習

Schandmaul（中世ロック）の"Dein Anblick"
■ドイツの中世や中世の音楽に関するドイツ語のテキストを読む。
■"Dein Anblick"を聴く。
■語彙の確認
■復習する文法項目：形容詞の語尾変化・接続法第１式・接続法第２式
■文法の練習
■会話の練習

ロック・シンガーHerbert Groenemeyerの"Mensch"
■Herbert Groenemeyerに関するドイツ語のテキストを読む。
■"Mensch"を聴く。
■語彙の確認
■復習する文法項目：副文・接続詞
■文法の練習
■会話の練習

ポップス・シンガーStoppokの"Wie tief kann man seh'n？"
■Stoppokに関するドイツ語のテキストを読む。
■"Wie tief kann man seh'n？"を聴く。
■語彙の確認
■復習する文法項目：分離動詞・非分離動詞・動詞の現在完了形・関係代名詞・現在分詞・過去分詞
■文法の練習
■会話の練習

ドイツの代表的なロックグループScorpionsの紹介
■Scorpionsに関するドイツ語のテキストを読む。
■Scorpionsの曲を聴く。
■語彙の確認

教科書　適宜資料のコピーを配布します。練習問題、宿題はその都度教室で指示します。

参考文献　詳細は授業中に説明します。

評価方法　教場試験や小テスト、平常点や出席状況、宿題の提出など、総合的に評価します。

備考　この講座を履修するには、ドイツ語文法の基礎知識とある程度の語彙力を必要とします。すでに最低2年間程度ドイツ語を勉強しているか、またはそれと同程度のドイツ語力を前提とします。

担当教員連絡先：W. シュレヒト (schlecht@waseda.jp)

関連URL:　国際文化領域ドイツ語教室HP（http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (2)		
科目キー	2600006022		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　「ドイツ語中級II」を履修した者、または同程度以上のドイツ語の知識を
もった者を対象とする科目である。これまでに学んだドイツ語の基礎をもとに、
さらにドイツ語の力を高めていく。同時に、ドイツ語圏の社会・文化についての
理解を深めることがめざされる。原書講読と映像資料分析を行う。

授業の到達目標

シラバス
1. 短編小説・伝説を読む
2. ドイツ語のシナリオを読み、映画を見る
3. ドイツ語圏の地誌を学ぶ
4. ドイツ語のネット情報を手に入れるための演習
（ホームページ、Google、Wikipediaなど）

教科書　授業中に配布

参考文献

評価方法　平常点、レポート

備考　初回の授業の時に、参加者のドイツ語力に応じた授業進度・レベルを決定する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (3)		
科目キー	2600006022		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題　独語で学ぶ現代ドイツの実情/ドイツ語圏に見られる日本文化の影響

授業概要　「ドイツ語中級II」を履修した者、または同程度以上のドイツ語の知識をもった者を対象とする科目である。これまでに学んだドイツ語の基礎をもとに、さらにドイツ語の力を高めていく。同時に、ドイツ語圏の社会・文化についての理解を深めることがめざされる。

簡単なテキスト、または映像、音声など、様々な教材を使ってドイツ語の表現力を伸ばしながら、現代のドイツ語圏における文化、時事問題、社会現象などを理解していきます。同時に会話を練習し、日常会話、自己紹介、ディスカッションなどを行います。

授業では、LINCSというInternet-based E-Learning Systemを使います。このSystemで、授業関連および宿題などのファイルのやり取りが可能です。最初の講義の際に詳しいことを説明しますので、受講者は必ず参加して下さい。

授業の到達目標

シラバス　日常会話(住まい、仕事、休暇、学校、買い物、飲食、レジャー、家庭等)についての短い対話文による練習を行います。さらにドイツ語による討論の方法について学び、議論を進める会話テクニックを扱います。受講者は様々なテーマについて、ドイツ語で討論できるようになることが学習のねらいです。議論のテーマは受講者と一緒に決めていきます。さらに外国人が興味を持つ、日本の様々な事柄や出来事について、簡単な発表をドイツ語で行ってもらいます。

教科書　適宜コピーを配布します。

参考文献　詳細は授業中に説明します。

評価方法　教場試験、小テスト、平常点、出席の状況、宿題の提出など、総合的に評価します。

備考　この講座を履修するには、ドイツ語文法の基礎知識とある程度の語彙力が必要です。すでに最低2年間程度ドイツ語を勉強しているか、またはそれと同程度のドイツ語力を前提とします。

担当教員連絡先:W. シュレヒト (schlecht@waseda.jp)

関連URL:　国際文化領域ドイツ語教室HP:

http://www.german.sci.waseda.ac

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ドイツ語圏文化論 (4)		
科目キー	2600006022		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　「ドイツ語中級II」を履修した者、または同程度以上のドイツ語の知識をもった者を対象とする科目である。これまでに学んだドイツ語の基礎をもとに、さらにドイツ語の力を高めていく。同時に、ドイツ語圏の社会・文化についての理解を深めることがめざされる。原書講読と映像資料分析を行う。

授業の到達目標

シラバス　以下の順に進めていく予定ですが、受講者の興味によってテーマや教材を変更することも考えます。

1. 百科事典の読み方
   ドイツ語圏の文化に関わる項目を選択し、辞典の読み方を学びます。
2. ドイツ語圏の都市生活について
   フランクフルトの歴史と文化を学びます。
3. ドイツ語圏の環境意識について
   ドイツ人の環境についての価値意識を学びます。
4. ドイツ映画を観る
   台詞を読み、場面設定、筋立てを分析します。

教科書　教場で資料を配付する。

参考文献　教場で指示する。

評価方法　平常点と期末レポート。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語圏文化論 (1)		
科目キー	2600006024		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　この授業では、比較的やさしいフランス語で書かれたフランス全般に関するテキストを読みます。同国の地理や人口、歴史、政治、経済、文化、文学、芸術などにつき、さまざまな観点から簡潔に紹介されており、現代のフランスについての広範囲にわたる基礎的な知識を得ることができるでしょう。
なお、授業の中休みとして、歴史との関連で、Jeanne d'Arc（1412―1431）の宗教裁判を扱った不滅の名作といわれるフランスのサイレント映画「裁かるるジャンヌ」（監督：カール・ドライアー、１９２８年）を鑑賞する予定。８０分。

授業の到達目標

シラバス　上記、講義概要を参照のこと。

教科書　ドラ・トーザン著「現代フランスの基礎知識」（第2版）、白水社
１、９９０円（税別）

理工生協書籍部取り扱い

参考文献

評価方法　平常点（出席）を重視します。
期末試験も実施します。
試験は辞書使用「可」とします。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語圏文化論 (2)		
科目キー	2600006024		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	楠本　重行		

副題

授業概要　このクラスはフランス語を大学で2年以上履修した人、あるいは高校でフランス語を履修し大学でも1年以上履修した人を対象としています。したがって一般には3年生以上が対象ですが、高校で履修した人にかぎっては2年生からでも受講することが可能です。
　授業の内容は、既習の初歩的なフランス語の知識を活用し、またそれを補強しながら、フランスの文化や社会についての知識を少しでも多く獲得する練習をすることです。

授業の到達目標

シラバス　フランスの地理・歴史の概観からはじめて、あとは受講者のみなさんの興味や関心にも配慮しながら、教科書以外の視聴覚資料なども活用しつつ、フランスの社会や文化の諸相に触れたいと思っています。

教科書　未定

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語圏文化論 (3)		
科目キー	2600006024		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	綾部　素幸		

副題　フランス語を学び続けて、さらに世界を広げよう

授業概要　この授業では、文学固有のフランス語というよりも、フランスで日常普通に使われている明快で正統的なフランス語を学びます。
　フランスの地理、歴史、政治、経済、教育、社会、芸術と文学、それにフランス人の生活、世界におけるフランスの地位や現代フランス社会の基本的な仕組みや特質などをテーマにした文章を読み解きます。
　また、もし希望者がいれば、そのひとには個別に練習問題を課して仏検4級3級2級　受験対策を講じたり、仏文和訳の添削問題を出したりすることも厭いません。

授業の到達目標

シラバス　指定教科書を用いて、フランス語を味わうようにして急がずに無理のないペースで授業を進めて行きます。進行中、必要であればフランス語文法を復習する時間を織り交ぜましょう。その際のプリント教材は、こちらで用意します。
　この一年でフランス語がさらに好きになって、フランス語、さらにはフランスやフランス文化への関心をさらに高めてください。
　教室では前方の席から座って下さい。これは、双方向の授業にしたいからです。きちんきちんと授業に出て、無用な遠慮なくどんどん発言し、授業に積極的に参加することが大切です。リラックスして、しかし適度の緊張感をもって授業に臨んでください。
　また、授業の合間には関連のあるビデオやDVD、あるいは映画を見たり、季節にあったシャンソンを聞いたりもしましょう。たとえば、晩秋には「枯葉」、クリスマスが近くなったら「きよしこの夜」というように。映画や展覧会の紹介も積極的に行うつもりです。皆さんは「コーラス」という邦題のフランス映画（2004年の作品）は見ましたか。ぜひお勧めします。歌声もすばらしい、秀逸な映画です。

教科書　『現代フランスの基礎知識（改訂版）』 ドラ・トーザン著、三浦信孝編　白水社刊
定価（本体1900円＋税）　本学生協理工店で 購入してください。

参考文献　授業の中で適宜、紹介しますが、ここでは一冊、指定教科書と同じ著者ドラ・トーザンさんが執筆した、軽妙な筆致のパリ入門書をあげておきます。『パリジェンヌのパリ20区散歩』2007年　ポプラ社刊、本体1600円。

評価方法　期末試験の成績に普段の出席状況や学習姿勢（平常点）等を加味して総合的に評価します。まず例外なく、成績は出席状況の良しあしの反映になっているものです。出席を特に重視するのではありませんが、全授業時間数の3分の2以上の出席が単位取得の最低条件です。正当な止むない理由で何週も連続して欠席する（あるいは欠席した）場合は、事前に（あるいは事後すぐに）必ず私に知らせてください。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	フランス語圏文化論 (4)		
科目キー	2600006024		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題　夢の記録を読む

授業概要　作家Georges Perec による夢の記録 La Boutique obscure から興味深いものを選んで読みます。
摩訶不思議な世界が描かれていますが、フランス語の文章自体はシンプルで読みやすいものです。
用いるのは教科書版ではありませんが、平易な文章ですし、説明は丁寧におこないますので、語学力に不安がある学生でも心配しないでください。
また本を読むだけではなく、ときには関連する内容の音声・映像教材なども利用することを考えています。

授業の到達目標

シラバス　毎回、学生に分担箇所を当てておくので、必ず準備してくること。

教科書　教科書・参考書：Georges Perec, La Boutique obscure, Denoel, 1988
→その都度コピーを配布する

参考文献

評価方法　平常点を重視する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語圏文化論 (1)		
科目キー	2600006026		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　本講座においては、中国語の基礎を学んだ学生諸君を対象として、より深く中国を学ぶため、中国語原典を利用して授業を進めていく。現在、新聞紙上に中国に関するニュースがない日はない。しかし、本当に隣人である中国について、我々は十分な理解を持っているのだろうか。本講座においては、中国に関心を持つ学生諸君に、より本質的な中国理解のための内容を準備している。関心のある学生諸君の受講を期待したい。

授業の到達目標

シラバス　適当な内容の新聞記事を選び読み進める。

教科書

参考文献

評価方法　授業への参加、出席

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語圏文化論 (2)		
科目キー	2600006026		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　最近の中国は急激な変化を見せている。コンピューターの普及、インターネットの社会への浸透により、中国の言語と文化が大きく変化している。そのような中で、マルチメディアの手段を使って中国の言語と文化を実践的に習得し柔軟に対応できるよう力を養う。

授業の到達目標

シラバス　(1)前回の授業で解説された、その週に起こった中国語圏でのニュースに基づいて、最初の30分を2，3人が一人ずつ発表をしていく。
(2)その次の30分でその発表された内容に基づき、皆で討論する。
(3)最後の30分でその週に起こった中国語圏のニュースをこちらから解説をする。このニュースは、基本的には日本のメディアで報道されたもので。NHKやCCTV（中国中央テレビ局）等の報道番組とし構成する。内容は複数のものを集め紹介する。そしてその中の一つを受講生と相談した上で、次週のトピックとして決める。

■到達目標
授業の内容から、受講生の自発的な参加が重要となる。発表の際も資料集めや、討論の際も内容についての知識も必要となる。語学力は勿論のこと、情報収集の能力や、分析力も養うことが出来る。

教科書　特に使用しない。

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法　授業への参加40%
日常点（小テスト・課題等）40%
その他20%出席回数

備考　■履修上のアドバイス
(1)授業への参加を重視する。教室で他の履修者とともに作業をすることが重要になる。
(2)クラス全体の学習意欲を高めていくよう，発表等もしていきたい。質問などの発言は大いに歓迎する。
(3)毎回授業を受ける前に予習・準備を必要とする。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語圏文化論 (3)		
科目キー	2600006026		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　本講座においては、中国語の基礎を学んだ学生諸君を対象として、より深く中国を学ぶため、中国語原典を利用して授業を進めていく。現在、新聞紙上に中国に関するニュースがない日はない。しかし、本当に隣人である中国について、我々は十分な理解を持っているのだろうか。本講座においては、中国に関心を持つ学生諸君に、より本質的な中国理解のための内容を準備している。関心のある学生諸君の受講を期待したい。

授業の到達目標

シラバス　適当な内容の新聞記事を選び読み進める。

教科書

参考文献

評価方法　授業への参加、出席

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語圏文化論 (4)		
科目キー	2600006026		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　最近の中国は急激な変化を見せている。コンピューターの普及、インターネットの社会への浸透により、中国の言語と文化が大きく変化している。そのような中で、マルチメディアの手段を使って中国の言語と文化を実践的に習得し柔軟に対応できるよう力を養う。

授業の到達目標

シラバス　(1)前回の授業で解説された、その週に起こった中国語圏でのニュースに基づいて、最初の30分を2，3人が一人ずつ発表をしていく。
(2)その次の30分でその発表された内容に基づき、皆で討論する。
(3)最後の30分でその週に起こった中国語圏のニュースをこちらから解説をする。このニュースは、基本的には日本のメディアで報道されたもので。NHKやCCTV（中国中央テレビ局）等の報道番組とし構成する。内容は複数のものを集め紹介する。そしてその中の一つを受講生と相談した上で、次週のトピックとして決める。

■到達目標
授業の内容から、受講生の自発的な参加が重要となる。発表の際も資料集めや、討論の際も内容についての知識も必要となる。語学力は勿論のこと、情報収集の能力や、分析力も養うことが出来る。

教科書　特に使用しない。

参考文献　王元編著『現代中国の軌跡』白帝社　1,800円

評価方法　授業への参加40%
日常点（小テスト・課題等）40%
その他20%出席回数

備考　■履修上のアドバイス
(1)授業への参加を重視する。教室で他の履修者とともに作業をすることが重要になる。
(2)クラス全体の学習意欲を高めていくよう，発表等もしていきたい。質問などの発言は大いに歓迎する。
(3)毎回授業を受ける前に予習・準備を必要とする。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	スペイン語圏文化論		
科目キー	2600006028		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	森本　栄晴		

副題

授業概要　スペイン語は、スペインをはじめ、北・中南米の19ヶ国とアフリカの赤道ギニア、アジアではフィリピンを含む22ヶ国の公用語、あるいは一部の住民の母語となっており、その人口は4億人を超えると言われています。日本はスペインや中南米の国々と古くから深い関係を結び、現在でも文化・経済面で友好的な関係を維持しています。この多種多様なスペイン語圏の共通基盤となっている、文化的な諸要素と言語の発祥の地、イベリア半島における、諸民族の融合、地理的条件の差異に由来する地方色豊かな文化模様、風俗習慣、物の見方、考え方等を色々な側面から紹介します。

授業の到達目標

シラバス　スペイン語圏に関する次のような内容を、ビデオやスペイン語、日本語テクストを通じて紹介する予定ですが、順番は、必ずしも列挙通りではありません。
（1）オリエンテーション・多様性の国、スペイン
（2）イベリア半島の言語事情
（3）カスティジャ語の誕生と歴史
（4）地方探訪
（5）世界遺産
（6）時事
（7）食文化
（8）歴史
（9）文化全般
（10）その他2008年度の受講生が希望するスペイン語圏に関する内容

教科書　プリント配布の予定。

参考文献　適宜紹介します。

評価方法　授業への積極性、期末試験、（可能性として）レポートなどを総合的に判断して評価致します。

備考　スペイン語圏（特にイベリア半島）に興味を持っている人、積極的に知識を吸収したい人を歓迎します。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ロシア語圏文化論		
科目キー	2600006029		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	ジンベルグ　茱萸		

副題

授業概要　ロシアだけではなく、旧ソ連地域を中心に、ロシア語をコミュニケーション言語として用いる機会の多い、またロシアの影響の濃い地域のニュースやトピックを新聞や雑誌、ときにインターネットサイトからとった音源などを使いながら、地域の文化、人々の生活などを学んでいきます。授業にはロシア語の辞書が必要となりますから、必ず準備してください。
ふだん知ることの少ない地域からの情報は、世界に関するイメージに
新しい色彩を与えてくれるはずです。

授業の到達目標

シラバス　とりあげる地域は、ロシア、ウクライナ、ベラルシ、モルドヴァ、エストニア、リトアニア、ラトヴィア、カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、グルジア、アルメニア、アゼルバイジヤンなどです。

教科書　プリント、テープ(CDなど)の音源。

参考文献　参考文献は授業で紹介しますが、
授業で使う教材を通して学ぶことを基本とします。
辞書は必ず準備してください。

評価方法　平常点

備考

関連URL:　東京ロシア語学院:http://www.tokyorus.ac.jp
パソコンへのロシア語入力方法

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	古代ギリシア文化と現代		
科目キー	2600006030		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	土屋　睦廣	屋敷　紘一	兼利　琢也

副題

授業概要　古代ギリシア世界は西洋文化の母胎であり、したがって、西洋の文化や制度の支配的な影響下で生きる現代の我々にとっても、それはけっして無縁ではない。ヨーロッパの知的伝統の根幹をなしてきた哲学は古代ギリシアに誕生し、プラトンやアリストテレスはじめとする古代の哲学者たちの思索は現代でもその意義を失っていない。今日の世界を支える科学技術文明は、直接には17世紀にヨーロッパで成立した近代科学の産物だが、それとてもギリシアにおいて生まれ育った古代の数学と科学の成果なしにはありえなかった。そもそも西洋の学問は、すべからくその源を古代ギリシアに負っていると言っても過言ではない。もちろん学問ばかりではない。たとえば、ギリシア神話とそれを題材とした古代の文学と美術は、後の西洋の文学・美術・音楽・演劇に計り知れない影響を与え、その輝きは今日でも色褪せることがない。古代ギリシアはいつの時代にも文化的創造力を提供してきた。西洋思想のもう一つの源泉であるキリスト教も、ギリシア思想との相克の中でみずからの神学を形成した。イスラム世界もギリシアから多くを学ぶことによって独自の文化を
発展させた。本講義では、このように豊穣な古代ギリシアの思想と文化について、いくつかのテーマを設定して、それらをたんなる過去の遺物としてではなく、現代との関わりを踏まえて、多角的に、わかりやすく解説する。それらよって、西洋の文化をより深く理解することができるとともに、現代の問題を批判的に考察するための視点をも提供できればと考えている。

授業の到達目標

シラバス　1）土屋　睦廣先生
古代ギリシアにおける科学の誕生と、その展開を論じる。まず、ミレトス派における科学の始まりを解説したうえで、天文学、医学、応用技術という三つの異なる分野を主題として論じる。エウドクソスからプトレマイオスにいたる数学的天文学の発展、ヒポクラテスからガレノにいたる医学の展開、アレクサンドリアの機械学と応用技術の発展を解説する。古代の科学を知ることは、今日の科学技術のあり方を考えるうえでも有意義であろう。
1回目　科学の始まり
2回目　天文学の発展
3回目　医学の誕生と発展
4回目　応用技術の発展

（2）屋敷紘一先生
私は自分の著書『日本の心は亡びゆく一夏目漱石と本居宣長一』
（文化書房博文社、2007年3月刊）において、先ず漱石を手がかりとして明治以来の日本の問題をとらえ、そこから江戸時代の本居宣長に遡り、彼を通して日本の神話の中に見える日本人の生き方、感じ方、考え方を探り、そこから得たものを、古代ギリシアのヘシオドスの神話の世界及び、旧約聖書の『創世記』と比較しました。そのようにしてそれを手がかりとして日本人の問題を考えました。私は理工での授業では特にヘシオドスの
『神統記』をプラトンの対話編『ポリティコス』のプラトンによる神話解釈を利用しつつ、それを『古事記』からしられる日本の神々の世界とを比較したいと思います。これはまた同時に現代の問題にも通じています。

（3）兼利 琢也先生
ギリシア神話は，世界と人間に対して異教古代が抱いた観念の物語による表出の総体であり，ギリシア・ローマの文学と芸術の，それゆえ西洋文化の豊饒な素材であった．その力は不断の再生の多様性にあり，共振する時代的感性と芸術家の出現とともに生まれ，改変とともに反復され，人間の想像力の中に常に新たな生を得ている．今回の講義では，そ
の中でもよく知られたオイディプースを取り上げ，この喚起力に豊んだ物語の変遷を具体的に追っていきたいと思う．以下を予定している．

1．オイディプース物語：神話圏と話形群
2．ソポクレースと『オイディプース王』：ギリシア的人間共同体の境界と外部
3．セネカ『オエディプース』：帝政期ローマの世界と自我の閉塞
4．エディプスの時代としての現代：19世紀末から今日まで

教科書

参考文献

評価方法　いずれの講義も、平常点（出席）を重視する。
また、各担当者は、期末試験に独自に問題を出題する。
最終的には、各担当者の評点をまとめ、平常点も加味し、総合的に評価する。

備考

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	古代ギリシア文化と現代		
科目キー	2600006030		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピューティングと表現　1クラス		
科目キー	2600011001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　泰完	戸川　望	内田　種臣
	大附　辰夫	入江　克	河合　隆史
	小畑　正好	村岡　洋一	筧　捷彦
	笠原　博徳	深澤　良彰	小松　尚久

副題

授業概要　コンピューティングとそれによる表現は、我々の日常生活における様々な局面で重要性を増しつつあり、その基本構造や応用は今や技術者・研究者・芸術的作品の制作者が知らなくてはならない常識と言える。本講義では、コンピューティングの基本的な動作原理と表現の概念について学んだ後、様々な応用の紹介を通して理解を深める。本講義により、コンピューティングとそれによる表現を利用する基本的な技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

第1回　講義の概要
　講義の概要を紹介する。
第2回　情報のデジタル化
　符号化、情報量等の情報のデジタル化に関する基礎概念を紹介する
第3回　情報表現・処理の基礎
　計算機構成、論理演算等の計算機システムの基礎に関して紹介する
第4回　アルゴリズムと情報のモデル
　アルゴリズムの記述、情報のモデル化等のコンピューティングの基礎に
　関して紹介する
第5回　人工知能
人工知能の狙いと主な技術。
第6回　画像処理
画像処理の概要と画像処理の例を講述する。
第7回　生体情報表現
ヒトの生体情報特性と表現の関連を学ぶ。
第8回　音コミュニケーション
文化と技術の両面から見る音響と音楽の姿
第9回　ソフトウエアシステム
　ソフトウエアの構築には様々な数学的側面が重要となる。本講義では、数学とコンピューテイングとの関係に関して紹介する
第10回　情報基盤システム
エンタープライズシステム、インターネットサービス、組込みシステム等社会活動の基盤となっているIT基盤システムに関して紹介する
第11回　情報メディアシステム
　ロボティクス、マルチメディア通信、ビジョンなど様々なメディアを扱う情報システムに関すて紹介する
第12回　情報と実世界
　社会と情報の関わりについて倫理面を中心に紹介する

教科書　教科書として情報処理学会IT Text（一般教育シリーズ）「情報とコンピューティング」ISBN-4-274—13309-5（出版：オーム社）

参考文献

評価方法　成績は出席，宿題，試験により評価する．

備考

関連URL:　http://www.katto.comm.waseda.ac.jp/~suzhou/classhp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピューティングと表現　2クラス		
科目キー	2600011001		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　泰完	戸川　望	内田　種臣
	大附　辰夫	入江　克	河合　隆史
	小畑　正好	村岡　洋一	筧　捷彦
	笠原　博徳	深澤　良彰	小松　尚久

副題

授業概要　コンピューティングとそれによる表現は、我々の日常生活における様々な局面で重要性を増しつつあり、その基本構造や応用は今や技術者・研究者・芸術的作品の制作者が知らなくてはならない常識と言える。本講義では、コンピューティングの基本的な動作原理と表現の概念について学んだ後、様々な応用の紹介を通して理解を深める。本講義により、コンピューティングとそれによる表現を利用する基本的な技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

第1回　講義の概要
　講義の概要を紹介する。
第2回　情報のデジタル化
　符号化、情報量等の情報のデジタル化に関する基礎概念を紹介する
第3回　情報表現・処理の基礎
　計算機構成、論理演算等の計算機システムの基礎に関して紹介する
第4回　アルゴリズムと情報のモデル
　アルゴリズムの記述、情報のモデル化等のコンピューティングの基礎に
　関して紹介する
第5回　人工知能
人工知能の狙いと主な技術。
第6回　画像処理
画像処理の概要と画像処理の例を講述する。
第7回　生体情報表現
ヒトの生体情報特性と表現の関連を学ぶ。
第8回　音コミュニケーション
文化と技術の両面から見る音響と音楽の姿
第9回　ソフトウエアシステム
　ソフトウエアの構築には様々な数学的側面が重要となる。本講義では、数学とコンピューテイングとの関係に関して紹介する
第10回　情報基盤システム
エンタープライズシステム、インターネットサービス、組込みシステム等社会活動の基盤となっているIT基盤システムに関して紹介する
第11回　情報メディアシステム
　ロボティクス、マルチメディア通信、ビジョンなど様々なメディアを扱う情報システムに関すて紹介する
第12回　情報と実世界
　社会と情報の関わりについて倫理面を中心に紹介する

教科書　教科書として情報処理学会IT Text（一般教育シリーズ）「情報とコンピューティング」ISBN-4-274―13309-5（出版：オーム社）

参考文献

評価方法　成績は出席，宿題，試験により評価する．

備考

関連URL:　http://www.katto.comm.waseda.ac.jp/~suzhou/classhp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	モデリング		
科目キー	2600011002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	河合　素直	山本　勝弘	武藤　寛
	山本　知之	太田　有	山中　由也
	谷井　孝至	渡邉　孝信	手塚　亜聖

副題

授業概要　“モデリング”とは，現象を単純化して数式で表わし（数理モデル），その数式を解くことによりその現象の予測・評価および現象におよぼすパラメータの影響を明らかにしようとするものである．このようなモデリングの考え方，手法は今日自然現象に留まらず，社会現象，経済現象など幅広い分野で用いられているが，ここで対象とする現象は，基幹理工学部の共通基礎である力学，電気・電子回路，化学反応など主に自然現象の分野である．この授業で取り上げる法則や数学の知識は大学初年級程度であり，演習を通じて問題の定式化と法則の関係を把握し，様々な問題に共通する考え方，センスを身に付けることを重視する．
講義の内容は2部からなる．Part1は常微分方程式の体系を様々な応用問題を解くことにより学習する．Part2は力学をベースに基本的な剛体運動の問題といくつかの具体的な工学上の問題を定式化し，解析することによりモデリングの要点学ぶ．

授業の到達目標

シラバス　学籍番号により全体をA,B2組に分ける．各クラスの受講教室と講義内容の順序は以下のとおりとする．
A組（学籍番号奇数，57-201教室）：Part1（前半）→Part2（後半），
B組（学籍番号偶数，57-202教室）：Part2（前半）→Part1（後半），

Part 1 の内容
第1週
・微分方程式概説
・近似
・Taylor展開（第1.2.5節まで）
第2週
・微分方程式の分類
・1階常微分方程式の解法（第2.2節まで）
第3週
・1階常微分方程式の解法（第2.3節）
・2階線形常微分方程式（第3.1節）
第4週
・定数係数2階線形常微分方程式の解法（斉次方程式，非斉次方程式（第3章）
第5週
・RLC回路（第4章）
第6週
・連成振動・波動入門（第5章）

Part2の内容
第1週
「工学基礎」とはなにか，「工学問題に取り組む」とはどういうことかについて，いく つかの例を挙げつつ2週にわたり講義を展開する．そこでは，それぞれの例について 工学対象を抽象化してモデル化するプロセス，モデルを数式で記述するプロセス，数 式を解析的に解きその挙動を調べるプロセスについて説明する．
第2週
・工学問題のモデル化（続き）
第3週
・機械式メトロノームのデモンストレーション（力学モデルの周期を測る）
・力の合成とモーメント，ベクトルの外積
・物体の静力学的な釣り合いと重心（質量中心）
第4週
・物体の動力学的な釣り合い（ダランベールの原理）
・剛体の速度と角速度，動座標系とベクトルの時間微分
・微分方程式を導く
第5週
・線形近似の微分方程式を解く．
・周期におよぼすパラメータの影響
・エネルギー積分と相平面の流れ，平衡点の安定性
第6週
・数値計算の誤差
・データの離散化

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	モデリング		
科目キー	2600011002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

・常微分方程式の初期値問題

教科書　Part1については小冊子教科書を，Part2については補助教材としてプリントを全員に配布する．

参考文献　授業中必要に応じて紹介する．

評価方法　授業中の演習，宿題のレポートと期末試験により総合評価する．

備考　Part2第6週では電卓を使用する演習を予定している（詳細は後日通知）．

関連URL:　Part1で出題する演習問題の解答およびPart2の講義内容は、Waseda-net Course

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1人見		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	人見 憲司		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1人見		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1ファーン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1ファーン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1片田		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片田 房		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1片田		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1コズウォスキー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1コズウォスキー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1バン　クリーヴ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1バン　クリーヴ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1ローズ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1ローズ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1オヒガン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月1オヒガン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月3ヘルウィグ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月3ヘルウィグ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月3松永		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　月3松永		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1高橋		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1高橋		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1片山		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1片山		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1マグワイア		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1マグワイア		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ソルヤ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ソルヤ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1コズウォスキー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1コズウォスキー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ハドランド		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ハドランド		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1松永		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1松永		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1キャンベル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1キャンベル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ローズ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1ローズ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1マーフィー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火1マーフィー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2高橋		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2高橋		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2片山		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2片山		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2野邊		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野邊　修一		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2野邊		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2マグワイア		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2マグワイア		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2ソルヤ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2ソルヤ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2コズウォスキー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2コズウォスキー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2ハドランド		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2ハドランド		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2レナード		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2レナード		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2マーフィー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2マーフィー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2キャンベル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　火2キャンベル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1高橋		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1高橋		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1片山		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1片山		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1レナード		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水1レナード		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2高橋		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2高橋		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2片山		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2片山		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2レナード		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2レナード		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2コズウォスキー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2コズウォスキー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2ファーン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2ファーン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2リトル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水2リトル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3ファーン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3ファーン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3中野		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3中野		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3上野		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3上野		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3サリバン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3サリバン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3リトル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　水3リトル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1ホサイン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1ホサイン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1モズデル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1モズデル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1バン　クリーヴ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1バン　クリーヴ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1バーティウム		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1バーティウム		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1片田		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片田 房		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1片田		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1オヒガン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1オヒガン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1グリブル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1グリブル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1ソルヤ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1ソルヤ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1サンダーズ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木1サンダーズ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4中野		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4中野		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4バン　クリーヴ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4バン　クリーヴ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4バーティウム		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4バーティウム		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4グリブル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4グリブル		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4ソルヤ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4ソルヤ		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4エディソン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4エディソン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4ホサイン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　木4ホサイン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3ハドランド		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3ハドランド		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3エディソン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3エディソン		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3テイラー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金3テイラー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金4トゥージー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including education in the U.S., aging society, recycling, disaster prevention, and U.S. manufacturing.

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main points.
・Give short, simple answers to prepared questions related to the news report.
・Use different question types to obtain simple information
・Form simple, accurate, meaningful sentences.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues verbally.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Course Orientation/Unit 1 Community College
Week 2: Unit 2 Hospice
Week 3: Unit 2 Hospice
Week 4: Unit 3 Recycling
Week 5: Unit 3 Recycling
Week 6: Unit 4 African Burial Ground
Week 7: Unit 4 African Burial Ground
Week 8: Unit 5 Twister Detection
Week 9: Unit 5 Twister Detection
Week 10: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 11: Unit 6 Manufacturing & Productivity in America
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced
Week 14: To be announced

Standardized Tests
STD Test 1: May 30, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 2 and 3.
STD Test 2: July 11, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 4, 5, and 6.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 points each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
・Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
・Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
・Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 1　金4トゥージー		
科目キー	2600111001		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1人見		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	人見 憲司		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1人見		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1ファーン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1ファーン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1片田		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片田 房		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1片田		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1コズウォスキー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1コズウォスキー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1バン　クリーヴ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1バン　クリーヴ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1ローズ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1ローズ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1オヒガン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月1オヒガン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月3ヘルウィグ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月3ヘルウィグ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月3松永		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　月3松永		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1高橋		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1高橋		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1片山		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1片山		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1マグワイア		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1マグワイア		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ソルヤ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ソルヤ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1コズウォスキー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1コズウォスキー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ハドランド		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ハドランド		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1松永		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1松永		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1キャンベル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1キャンベル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ローズ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1ローズ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1マーフィー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火1マーフィー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2高橋		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2高橋		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2片山		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2片山		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2野邊		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野邊　修一		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2野邊		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2マグワイア		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2マグワイア		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2ソルヤ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2ソルヤ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2コズウォスキー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2コズウォスキー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2ハドランド		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2ハドランド		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2レナード		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2レナード		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2マーフィー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2マーフィー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2キャンベル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　火2キャンベル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1高橋		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1高橋		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1片山		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1片山		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1レナード		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水1レナード		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2高橋		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2高橋		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2片山		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2片山		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2レナード		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2レナード		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2コズウォスキー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2コズウォスキー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2ファーン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2ファーン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2リトル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水2リトル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3ファーン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3ファーン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3中野		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3中野		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3上野		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3上野		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3サリバン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3サリバン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3リトル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　水3リトル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1ホサイン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1ホサイン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1モズデル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1モズデル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1バン　クリーヴ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1バン　クリーヴ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1バーティウム		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1バーティウム		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1片田		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	片田 房		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1片田		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1オヒガン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1オヒガン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1グリブル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1グリブル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1ソルヤ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1ソルヤ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1サンダーズ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木1サンダーズ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4中野		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4中野		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4バン　クリーヴ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4バン　クリーヴ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4バーティウム		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4バーティウム		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4グリブル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4グリブル		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4ソルヤ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4ソルヤ		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4エディソン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4エディソン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4ホサイン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　木4ホサイン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3ハドランド		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3ハドランド		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	63	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3エディソン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3エディソン		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	64	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3テイラー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金3テイラー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	65	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金4トゥージー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their communication skills through a variety of pair, group and class activities. Emphasis will be placed on developing effective listening and speaking skills, and improving pronunciation, intonation and grammar knowledge. In addition, students will learn about interesting and sometimes controversial topics in American society, including sport, the justice system, cloning, and product safety

Course Goals
・Listen to 2-3 minute news reports in English and understand the main ideas and specific details.
・Give long, multiple clause answers to prepared and free questions related to the news report.
・Use various strategies to obtain simple and complex information.
・Construct long, meaningful sentences with ease.
・Deliver prepared sentences with comprehensible pronunciation, speed, and intonation.
・Express opinions on a wide range of scientific and social issues.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule (subject to adjustment)
Week 1: Unit 7 Extreme Sports
Week 2: Unit 7 Extreme Sports
Week 3: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 4: Unit 8 Alternative Sentencing
Week 5: Unit 9 Cloning
Week 6: Unit 9 Cloning
Week 7: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 8: Unit 11 Consumer Product Safety
Week 9: Unit 12 Henry Ford
Week 10: Unit 12 Henry Ford
Week 11: Interview Test (or Unit 10)
Week 12: Interview Test
Week 13: To be announced

Standardized Tests (STD Tests)
STD Test 1: November 7, 2008 (Friday) at 18:30, to cover Units 7 and 8.
STD Test 2: January 9, 2009 (Friday) at 18:30, to cover Units 9, 11, and 12.

教科書

Textbook: Talking about America (Tsurumi Shoten)
E-learning materials: Waseda IMPRESS (Interactive Multimedia PRogarm for Self-Study)

参考文献

Supplementary resource materials as provided by each teacher

評価方法

Grades are based on the following:
・In class component (Attendance, participation, one interview test)
・2 Standardized Tests (50 point each x 2 tests = 100 points)
・TOEIC-IP

Grading Policy
1. Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their STD Test or TOEIC-IP scores.
2. Students who miss both STD Tests will receive an F for their final grade.
3. Students who miss more than one third of the classes will receive an F for the final grade.

備考

Homework and Participation
・Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class.
・The homework will include studying the relevant sections of both the textbook and of the on-line program as assigned by the teacher.
・Students should also review the previous class, and prepare for tests.

関連URL:

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Communication Strategies 2　金4トゥージー		
科目キー	2600111002		
科目クラスコード	66	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2人見		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	人見 憲司		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2人見		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2ケリー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2ケリー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2ドモンドン		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2ドモンドン		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2コズウォスキー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2コズウォスキー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バン　クリーヴ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バン　クリーヴ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バーティウム		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バーティウム		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2ファーン		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2ファーン		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バーカス		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2バーカス		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2オヒガン		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　月2オヒガン		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　水1コズウォスキー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　水1コズウォスキー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　水1シェパード		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　水1シェパード		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2レイナ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2レイナ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2中野		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2中野		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2モズデル		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2モズデル		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2バン　クリーヴ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2バン　クリーヴ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2バーティウム		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2バーティウム		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2保坂		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	保坂　華子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木2保坂		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3中野		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3中野		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3バン　クリーヴ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3バン　クリーヴ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3バーティウム		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3バーティウム		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3レイナ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3レイナ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3グリブル		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3グリブル		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3ソルヤ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3ソルヤ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3デイビス		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3デイビス		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3保坂		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	保坂　華子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3保坂		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3トゥージー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　木3トゥージー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1松永		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1松永		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1野中		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野中　久武		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1野中		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1藤井		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤井　正嗣		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Chapters 2, 4, and 5)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Chapters 7 and 8)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1藤井		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1虎岩		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	虎岩 直子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1虎岩		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1服部		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	服部　孝彦		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1服部		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2藤井		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤井　正嗣		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Chapters 2, 4, and 5)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Chapters 7 and 8)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2藤井		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2野中		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野中　久武		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2野中		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2高橋		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2高橋		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2虎岩		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	虎岩　直子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2虎岩		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2服部		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	服部　孝彦		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2服部		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2コズウォスキー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2コズウォスキー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2松永		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2松永		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2ブレイクフィールド		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Lecture 1: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Lecture 2: Process – Internet 1
Week 5: Lecture 2: Process – Internet 2
Week 6: Lecture 3: Process – Language 1
Week 7: Lecture 3: Process – Language 2
Standardized Test 1 (Lecture 1, 2 and 3)
Week 8: Lecture 4: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Lecture 4: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Lecture 5: Classification and Definition – Power 1
Week 11: Lecture 5: Classification and Definition – Power 2
Week 12: Lecture 6: MIT Lecture Summary 1 and in-class tests
Week 13: Lecture 6: MIT Lecture Summary 2 and in-class tests
Standardized Test 2 (Lecture 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line.
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Three components:
In class component: Class Participation, summaries and other homework
Standardized Tests: Two Tests
MIT Lecture Summary

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2ブレイクフィールド		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2アントニ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金2アントニ		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1コズウォスキー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures of varying lengths. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer simple questions about the lecture.
•Read and understand (one-page) articles related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 2: Chronology – Pompeii 1
Week 3: Chapter 2: Chronology – Pompeii 2
Week 4: Chapter 4: Process – Internet 1
Week 5: Chapter 4: Process – Internet 2
Week 6: Chapter 5: Process – Language 1
Week 7: Chapter 5: Process – Language 2
Week 8: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 1
Week 9: Chapter 7: Classification and Definition – Tidal Waves 2
Week 10: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 1
Week 11: Chapter 8: Classification and Definition – Language Use 2
Week 12: MIT Lecture Summary 1
Week 13: MIT Lecture Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: May 30 (Friday), 18:30 (Lectures 1, 2, and 3)
Standardized Test 2; July 11 (Friday), 18:30 (Lectures 4 and 5)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Attendance, participation, summaries, in-class tests, and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 1　金1コズウォスキー		
科目キー	2600111003		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2人見		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	人見 憲司		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2人見		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2ケリー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2ケリー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2ドモンドン		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2ドモンドン		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2コズウォスキー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2コズウォスキー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バン　クリーヴ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バン　クリーヴ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バーティウム		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バーティウム		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2ファーン		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2ファーン		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バーカス		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2バーカス		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2オヒガン		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　月2オヒガン		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　水1コズウォスキー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　水1コズウォスキー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　水1シェパード		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　水1シェパード		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2レイナ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2レイナ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2中野		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2中野		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2モズデル		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2モズデル		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2バン　クリーヴ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2バン　クリーヴ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2バーティウム		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2バーティウム		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2保坂		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	保坂　華子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木2保坂		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3中野		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中野　葉子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3中野		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3バン　クリーヴ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3バン　クリーヴ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3バーティウム		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3バーティウム		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3レイナ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3レイナ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3グリブル		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3グリブル		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3ソルヤ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3ソルヤ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3デイビス		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3デイビス		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3保坂		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	保坂　華子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3保坂		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3トゥージー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　木3トゥージー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1松永		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1松永		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1野中		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野中　久武		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1野中		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1藤井		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤井　正嗣		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9th (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1藤井		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1虎岩		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	虎岩　直子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1虎岩		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1服部		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	服部　孝彦		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1服部		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2藤井		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤井　正嗣		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9th (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2藤井		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2野中		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	野中　久武		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2野中		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2高橋		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2高橋		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2虎岩		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	虎岩　直子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2虎岩		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2服部		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	服部　孝彦		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2服部		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2コズウォスキー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2コズウォスキー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2松永		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　正樹		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2松永		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2ブレイクフィールド		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures . Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend 10 to 20 min. lectures in English.
•Understand the structure of different lecture types (chronology, process, and classification and definition)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture.
•Ask and answer detailed questions about the lecture.
•Read and understand long articles (one to five pages) related to the lecture content
•Write simple paragraph-long lecture summaries
•Attain a working 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation
Week 2: Lecture 6: Chronology – Lance Armstrong 1
Week 3: Lecture 6: Chronology – Lance Armstrong 2
Week 4: Lecture 7: Similarities and Differences – Asian and African Elephants 1
Week 5: Lecture 7: Similarities and Differences – Asian and African Elephants 2
Week 6: Lecture 8: Similarities and Differences – The Titanic and Andrea Doria 1
Week 7: Lecture 8: Similarities and Differences – The Titanic and Andrea Doria 2
Standardized Test 1 (Lecture 6,7 and 8)
Week 8: Lecture 9: Causal Analysis – Dinosaurs1
Week 9: Lecture 9: Causal Analysis – Dinosaurs2
Week 10: Lecture 10: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Lecture 10: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12: Lecture 6: MIT Lecture Summary 1 and in-class tests
Week 13: Lecture 6: MIT Lecture Summary 2 and in-class tests
Standardized Test 2 (Lectures 9 and 10)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line:
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Three components
In class component: Class Participation, summaries and other homework
Standardized Tests: Two Tests
MIT Lecture Summary

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include page-long reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2ブレイクフィールド		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2アントニ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金2アントニ		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1コズウォスキー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will develop their academic listening, reading, and note-taking skills through study and discussion of English lectures. Activities will include watching and listening to lectures in class, taking structured notes, discussion, answering questions, and writing summaries. In addition, related reading will be assigned before each lecture.

Course Goals
•Comprehend five- to ten-minute lectures in English
•Understand the structure of different lecture types (comparison/ contrast and causal analysis)
•Take notes of sufficient detail to answer basic comprehension questions about the lecture
•Ask and answer simple questions about the lecture
•Read and understand (two page) articles related to the lecture content
•Write simple one or two paragraph-long lecture summaries
•Attain a 2000-word vocabulary

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Each Unit will be covered in two weeks. Five chapters must be covered with an optional sixth depending on the teacher and class time. The suggested curriculum is as follows:

Week 1: Orientation and Review
Week 2:Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 1
Week 3: Chapter 10: Comparison/ Contrast – Asian and African Elephants 2
Week 4: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 1
Week 5: Chapter 12: Comparison/ Contrast – The Titanic and the Andrea Doria 2
Week 6: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 1
Week 7: Chapter 13: Causal Analysis – Dinosaurs 2
Week 8: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 1
Week 9: Chapter 14: Causal Analysis – The American Civil War 2
Week 10: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 1
Week 11: Chapter 15: Causal Analysis – Endangered Species 2
Week 12:MIT Lecture and Summary 1
Week 13: MIT Lecture and Summary 2

Standardized Test Schedule
Standardized Test 1: November 7th (Friday, 18:30) Chapters 10 and 12
Standardized Test 2: January 9 (Friday, 18:30) Chapters 13, 14, and 15)

教科書

Textbook and materials
1. Academic Lecture Comprehension, Dunkel, P.A. and Lim, P.L. Thomson ISBN: 9784902902587
2. Supplementary resources will be available on line. (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp/)
Reading Texts
Vocabulary lists
Note-taking practice
Asking and answering question practice

参考文献

評価方法

Grading
Two components:
In class component: Class Participation, summaries, MIT Lecture Summary, in-class tests and other homework
Standardized Tests: Two Tests

Students who receive an F for their class grade will receive an F for the final grade regardless of their standardized test score.
Students who miss both standardized tests will receive an F for the final grade, regardless of their class grade

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Lecture Comprehension 2　金1コズウォスキー		
科目キー	2600111004		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

Students who miss more than 33% of the classes will receive an F for the class and their final grade.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework for this class. The homework will include reading assignments, vocabulary study, question preparation, written summaries of the lecture and other tasks assigned by the teacher. It should also include revision of the previous class, and test-study time.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月1ドモンドン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月1ドモンドン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月1シェパード		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月1シェパード		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月5ヘルウィグ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月5ヘルウィグ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月5ニルソン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月5ニルソン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月5リトル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　月5リトル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火1ニルソン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火1ニルソン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火1レナード		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火1レナード		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4キャンベル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4キャンベル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4ソルヤ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4ソルヤ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4ヘルウィッグ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4ヘルウィッグ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4ローズ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火4ローズ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5キャンベル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5キャンベル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ソルヤ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ソルヤ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ヘルウィグ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ヘルウィグ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ローズ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ローズ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ニルソン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　火5ニルソン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4ケリー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4ケリー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4村岡		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村岡　有香		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4村岡		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4ファーン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水4ファーン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5ケリー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5ケリー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5ファーン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5ファーン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5ローズ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5ローズ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5大山		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大山 恭子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5大山		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5村岡		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村岡　有香		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5村岡		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5サリバン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　水5サリバン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4ヒントン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4ヒントン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4ワーリントン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4ワーリントン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4トゥージー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木4トゥージー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ワーリントン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ワーリントン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5トゥージー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5トゥージー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ヒントン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ヒントン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5リトル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5リトル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ミルティアドス		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ミルティアドス		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ソルヤ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5ソルヤ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5グリブル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　木5グリブル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ケリー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ケリー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1シェパード		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1シェパード		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1高橋		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1高橋		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ハドランド		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ハドランド		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ブレイクフィールド		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金1ブレイクフィールド		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3ケリー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3ケリー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3虎岩		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	虎岩　直子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3虎岩		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3片山		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3片山		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3ブレイクフィールド		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金3ブレイクフィールド		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4ハドランド		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4ハドランド		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4キャンベル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4キャンベル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4片山		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4片山		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4エディソン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4エディソン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4テイラー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4テイラー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4久世		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4久世		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4イングリッシュ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4イングリッシュ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4マイヤーズ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金4マイヤーズ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5ハドランド		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5ハドランド		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5シェパード		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5シェパード		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5キャンベル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	55	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5キャンベル		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	55	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5アントニ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5アントニ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5ケリー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5ケリー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5エディソン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5エディソン		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5テイラー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5テイラー		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5久世		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5久世		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5マイヤーズ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5マイヤーズ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5イングリッシュ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will build on the communicative strategies they acquired in communication strategies 1 and 2 through a serious of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the language skills needed to gather information from a variety of sources, summarize that information, and present results and conclusions to an audience. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group and present findings to an audience in well-formed sentence with native-like pronunciation and intonation.

Course Goals
Use Internet and library resources to find information on a chosen topic
Understand the concepts related to plagiarism
Work in a group and solve simple problems in English with teacher assistance
Present simple findings to an audience in well-formed sentences from a prepared script
Prepare and deliver a convincing speech with near-native pronunciation and intonation
write two to three paragraph reports based on the information discussed/ researched
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Task One
Week Three:Task Two
Week Four:Task Three
Week Five:Task Four
Week Six:Internet and Library Research and Summary
Week Seven:Plagiarism and Citation
Week Eight:Group Research Project (Negotiating Roles, Topic Determination)
Week Nine:Group Research Project (Research)
Week Ten:Group Presentations
Week Eleven:Presentation pronunciation
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted at the end of the course.

備考

Homework and Participation

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 1　金5イングリッシュ		
科目キー	2600112001		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月1ドモンドン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月1ドモンドン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月1シェパード		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月1シェパード		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月5ヘルウィグ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月5ヘルウィグ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月5ニルソン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月5ニルソン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月5リトル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　月5リトル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火1ニルソン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火1ニルソン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火1レナード		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火1レナード		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4キャンベル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4キャンベル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4ソルヤ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4ソルヤ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4ヘルウィッグ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4ヘルウィッグ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4ローズ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火4ローズ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5キャンベル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5キャンベル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ソルヤ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ソルヤ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ヘルウィグ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ヘルウィグ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ローズ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5ローズ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5エディソン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　火5エディソン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4ケリー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4ケリー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4村岡		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村岡　有香		

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4村岡		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4ファーン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水4ファーン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5ケリー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5ケリー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5ファーン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5ファーン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5ローズ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5ローズ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5大山		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大山　恭子		

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5大山		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5村岡		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村岡　有香		

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5村岡		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5サリバン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　水5サリバン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4ヒントン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4ヒントン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4ワーリントン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4ワーリントン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4トゥージー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木4トゥージー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ワーリントン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ワーリントン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5トゥージー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5トゥージー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ヒントン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ヒントン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5リトル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5リトル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ミルティアドス		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ミルティアドス		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ソルヤ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5ソルヤ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5グリブル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　木5グリブル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ケリー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ケリー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1シェパード		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1シェパード		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1高橋		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高橋　美弥子		

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1高橋		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法（2010年度以前）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ハドランド		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ハドランド		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ブレイクフィールド		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金1ブレイクフィールド		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3ケリー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3ケリー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	41	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3虎岩		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	虎岩　直子		

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3虎岩		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	42	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3片山		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3片山		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	43	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法（2010年度以前）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3ブレイクフィールド		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金3ブレイクフィールド		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	44	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4ハドランド		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4ハドランド		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	45	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4キャンベル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4キャンベル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	46	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4片山		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片山　晶子		

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4片山		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	47	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4エディソン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4エディソン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	48	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4テイラー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4テイラー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	49	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4久世		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4久世		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	50	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法（2010年度以前）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4イングリッシュ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4イングリッシュ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	51	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4マイヤーズ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金4マイヤーズ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	52	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5ハドランド		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5ハドランド		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	53	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5シェパード		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5シェパード		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	54	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5キャンベル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	55	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5キャンベル		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	55	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5アントニ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5アントニ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	56	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5ケリー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5ケリー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	57	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5エディソン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5エディソン		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	58	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5テイラー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5テイラー		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	59	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5久世		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	久世　恭子		

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5久世		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	60	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5マイヤーズ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5マイヤーズ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	61	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5イングリッシュ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description

In this course, students will continue to build on the communicative strategies they acquired in Concept Building and Discussion 1 through a series of individual and team projects related to their target field of study. Emphasis will be placed on negotiation, discussion and problem solving in a group setting, and the basic paragraph writing skills needed for presenting results in a written report. Students will also study using and citing sources. After completing the course, students should be able to find information on a topic through library and Internet sources, discuss this information in a group, and present findings in a written report.

Course Goals
Design and complete a project within a small group
Organize ideas and conduct simple research using a variety of information resources
Work independently or in a group using problem-solving and negotiating skills to address issues related to a chosen topic
Present extended findings to an audience in well-formed sentences
Deliver a speech with near-native pronunciation and intonation
Write a report of four to five well-structured paragraphs
Understand research documentation
Use vocabulary from the first 2000 words and the university word list effectively

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
The pace of the course will change based on the level of the students in the class. The schedule below is suggested for an average level class.

Week One: Course Orientation
Week Two:Project One
Week Three:Project One
Week Four:Project One
Week Five:Project One: Group Presentations
Week Six:Project Two
Week Seven:Project Two
Week Eight:Project Two
Week Nine:Project Two: Individual Presentations
Week Ten:Project Two: Individual Presentations
Week Eleven:Project Two: Individual Presentations
Week Twelve:Individual Presentations
(Week Thirteen):Individual Presentations

教科書

Textbook and Materials
Supplementary materials available on-line (http://www.celese.sci.waseda.ac.jp)
Supplementary materials supplied by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
The grading is based on:
written assignments
participation in discussion tasks
participation in group work
presentations
portfolio
TOEIC

Portfolio
Each student must keep all research materials, readings and written assignments. This portfolio must be submitted

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Concept Building And Discussion 2　金5イングリッシュ		
科目キー	2600112002		
科目クラスコード	62	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

---

at the end of the course.

備考

Homework and Participation
Students are expected to complete a minimum of 90 minutes of homework to achieve a passing grade in this class. The homework will include written assignments, doing research on the internet and from the library, and preparing presentations.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月1バーカス		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3バン　クリーヴ		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3エルヴィン		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3オヒガン		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3ローズ		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3マーティン		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月3バーティウム		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月4バーティウム		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月4バン　クリーヴ		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月4エルヴィン		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月4ケリー		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月４ウィルコックス		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5バーティウム		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5エルヴィン		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5ケリー		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5上野		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5ローズ		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5マーティン		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　月5ウィルコックス		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火3マグワイア		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火3野邊		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	野邊　修一		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火3マーフィー		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火4マーフィー		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火4杉山		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	杉山　由希子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火5マーフィー		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　火5杉山		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	杉山　由希子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　水5上野		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　水5ニルソン		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　水5片田		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片田 房		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木3オヒガン		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木3ヒントン		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木3ミルティアドス		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4デイビス		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4ミルティアドス		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4マーティン		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木4杉山		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	杉山　由希子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木5杉山		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	杉山　由希子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　木5デイビス		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　金1ニルソン		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 1　金1上野		
科目キー	2600112003		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered.

Course Goals
・Learn various reading skills.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 1 and Part 2 of the textbook will be covered. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 1 – Vocabulary Development Strategies: Using Context Clues
Week 3: Chapter 2 – Recognizing Technical Terms Defined in Context
Week 4: Chapter 3 – Pronouns and Restatements: Identifying Continuing Ideas
Week 5: Chapter 4 – Logical Connectors: Recognizing Development of Ideas
Week 6: Chapter 5 – Determining Main Ideas
Week 7: Chapter 6 – Enumeration and Classification Organization
Week 8: Chapter 7 – Comparison-Contrast Organization
Week 9: Chapter 8 – Time Order and cause-and-Effect Organization
Week 10: Review and Practice

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月1バーカス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月１バーカス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	１時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3バン　クリーヴ		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3バン　クリーヴ		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3エルヴィン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3エルヴィン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3オヒガン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3オヒガン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3ローズ		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3ローズ		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3マーティン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3マーティン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3バーティウム		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月3バーティウム		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月4バーティウム		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月４バーティウム		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月4バン　クリーヴ		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月４バン　クリーヴ		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月4エルヴィン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月4エルヴィン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月4ケリー		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月４ケリー		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月４ウィルコックス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月４ウィルコックス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5バーティウム		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５バーティウム		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5エルヴィン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5エルヴィン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5ケリー		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５ケリー		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	15	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5上野		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５上野		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	16	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5ローズ		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5ローズ		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	17	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5マーティン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５マーティン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	18	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月5ウィルコックス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　月５ウィルコックス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	19	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3マグワイア		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3マグワイア		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	20	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3野邊		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	野邊　修一		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3野邊		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	21	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3マーフィー		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火3マーフィー		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	22	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火4マーフィー		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火４マーフィー		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	23	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火4杉山		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	杉山　由希子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火4杉山		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	24	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火5マーフィー		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火５マーフィー		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	25	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	２年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火5杉山		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	杉山　由希子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　火5杉山		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	26	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5上野		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5上野		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	27	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5ニルソン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5ニルソン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	28	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5片田		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	片田 房		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　水5片田		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	29	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3オヒガン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3オヒガン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3ヒントン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3ヒントン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3ミルティアドス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木3ミルティアドス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4デイビス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4デイビス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	33	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4ミルティアドス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4ミルティアドス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	34	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4マーティン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4マーティン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	35	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4杉山		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	杉山　由希子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木4杉山		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	36	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5杉山		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	杉山　由希子		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5杉山		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	37	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5デイビス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　木5デイビス		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	38	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　金1ニルソン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	国吉　ニルソン		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　金1ニルソン		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	39	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　金1上野		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	上野　義雄		

副題

授業概要

Course Description
In this course, students will improve their academic reading skills through study and discussion of newspaper, magazine, and journal articles of varying lengths related to important issues in science and engineering. Emphasis will be placed on developing a deep understanding of sentence and text structure, and on developing micro- and macro-reading skills, so that relevant information can be found quickly and effectively, without the need for translation into the native language. In particular, students will be urged to start understanding English in English. They will also be encouraged to read beyond the target texts to gain a deeper understanding of the topics covered. After completing Academic Reading 2, students should be familiar with a wide range of academic texts, be able to understand and apply a wide range of reading skills necessary to tackling such texts, and have an understanding of recent issues in science and engineering.

Course Goals
・Learn various reading skills and how to apply those skills in effective and efficient ways.
・Learn vocabulary.
・Develop reading fluency.
・Comprehend academic texts in science and engineering.

授業の到達目標

シラバス

Course Schedule
Part 3 of the textbook will be covered in the first part of the semester and the second part will be spent practicing how to apply various reading skills in effective and efficient ways by reading authentic materials. The suggested schedule is as follows:
(The number of weeks available will vary depending on the class day.)

Week 1: Orientation
Week 2: Chapter 9 – Improving Study Skills: Introduction to Reading Strategies
Week 3: Chapter 10 – Study-Reading Strategies: SQ3R
Week 4: Chapter 11 – Taking Notes: The Cornell Method
Week 5: Application (technical article)
Week 6: Application (technical article)
Week 7: Application (critical review)
Week 8: Application (critical review)
Week 9: Application (writing academic reaction paper)
Week 10: Application (writing academic reaction paper)

教科書

Textbook and Materials
・Reading Skills for Success: A Guide to Academic Texts. (The University of Michigan Press)
・Supplementary materials provided by the teacher

参考文献

評価方法

Grading
Two Components
・Class component: attendance, participation (skill practice and reading), pair and group work, quizzes, and other homework
・Standardized Final Test

備考

Homework and Participation
・Students are expected to spend three hours out of class every week to do the weekly assignment and prepare for the class.
・Students who miss more than one-third of the classes will receive an F.
・Further information about this course is available at the CELESE (Eigo-kyoiku-senta) homepage.

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Academic Reading 2　金1上野		
科目キー	2600112004		
科目クラスコード	40	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期月3秋葉		
科目キー	2600121001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

授業の到達目標

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。使用教材の各課の構成は、次のようになっています。

1.「私はミュンヘンに住んでいる.」Ich wohne in München.
主な学習項目：　主語になる人称代名詞／動詞の現在人称変化／動詞の位置／疑問詞
2.「彼はよくベルリンに行く」Er fährt oft nach Berlin.
主な学習項目：　不規則動詞／命令形
3.「私はコンピュータを持っている.」Ich habe einen Computer.
主な学習項目：　名詞／定冠詞／不定冠詞
4.「君のガールフレンドの名前は？」Wie heißt deine Freundin？
主な学習項目：ドイツ語の「こそあど」／所有冠詞／人称代名詞
5.「君にあした電話するよ.」Ich rufe dich morgen an.
主な学習項目：　分離動詞と非分離動詞／接続詞／非人称動詞

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期火１土屋		
科目キー	2600121001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	１時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	土屋　睦廣		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

授業の到達目標

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。使用教材の各課の構成は、次のようになっています。

1.「私はミュンヘンに住んでいる.」Ich wohne in München.
主な学習項目：　主語になる人称代名詞／動詞の現在人称変化／動詞の位置／疑問詞
2.「彼はよくベルリンに行く」Er fährt oft nach Berlin.
主な学習項目：　不規則動詞／命令形
3.「私はコンピュータを持っている.」Ich habe einen Computer.
主な学習項目：　名詞／定冠詞／不定冠詞
4.「君のガールフレンドの名前は？」Wie heißt deine Freundin？
主な学習項目：ドイツ語の「こそあど」／所有冠詞／人称代名詞
5.「君にあした電話するよ.」Ich rufe dich morgen an.
主な学習項目：　分離動詞と非分離動詞／接続詞／非人称動詞

教科書　『ドイツ語１００』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期火3石井		
科目キー	2600121001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

授業の到達目標

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。使用教材の各課の構成は、次のようになっています。

1.「私はミュンヘンに住んでいる.」Ich wohne in München.
主な学習項目：　主語になる人称代名詞／動詞の現在人称変化／動詞の位置／疑問詞
2.「彼はよくベルリンに行く」Er fährt oft nach Berlin.
主な学習項目：　不規則動詞／命令形
3.「私はコンピュータを持っている.」Ich habe einen Computer.
主な学習項目：　名詞／定冠詞／不定冠詞
4.「君のガールフレンドの名前は？」Wie heißt deine Freundin？
主な学習項目：ドイツ語の「こそあど」／所有冠詞／人称代名詞
5.「君にあした電話するよ.」Ich rufe dich morgen an.
主な学習項目：　分離動詞と非分離動詞／接続詞／非人称動詞

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期火4高橋		
科目キー	2600121001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　憲子		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

授業の到達目標

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。使用教材の各課の構成は、次のようになっています。

1.「私はミュンヘンに住んでいる.」Ich wohne in München.
主な学習項目：　主語になる人称代名詞／動詞の現在人称変化／動詞の位置／疑問詞
2.「彼はよくベルリンに行く」Er fährt oft nach Berlin.
主な学習項目：　不規則動詞／命令形
3.「私はコンピュータを持っている.」Ich habe einen Computer.
主な学習項目：　名詞／定冠詞／不定冠詞
4.「君のガールフレンドの名前は？」Wie heißt deine Freundin？
主な学習項目：ドイツ語の「こそあど」／所有冠詞／人称代名詞
5.「君にあした電話するよ.」Ich rufe dich morgen an.
主な学習項目：　分離動詞と非分離動詞／接続詞／非人称動詞

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期木1中村		
科目キー	2600121001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

授業の到達目標

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。使用教材の各課の構成は、次のようになっています。

1.「私はミュンヘンに住んでいる.」Ich wohne in München.
主な学習項目：　主語になる人称代名詞／動詞の現在人称変化／動詞の位置／疑問詞
2.「彼はよくベルリンに行く」Er fährt oft nach Berlin.
主な学習項目：　不規則動詞／命令形
3.「私はコンピュータを持っている.」Ich habe einen Computer.
主な学習項目：　名詞／定冠詞／不定冠詞
4.「君のガールフレンドの名前は？」Wie heißt deine Freundin？
主な学習項目：ドイツ語の「こそあど」／所有冠詞／人称代名詞
5.「君にあした電話するよ.」Ich rufe dich morgen an.
主な学習項目：　分離動詞と非分離動詞／接続詞／非人称動詞

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期木3飯塚		
科目キー	2600121001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	飯塚　公夫		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

授業の到達目標

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。使用教材の各課の構成は、次のようになっています。

1.「私はミュンヘンに住んでいる.」Ich wohne in München.
主な学習項目：　主語になる人称代名詞／動詞の現在人称変化／動詞の位置／疑問詞
2.「彼はよくベルリンに行く」Er fährt oft nach Berlin.
主な学習項目：　不規則動詞／命令形
3.「私はコンピュータを持っている.」Ich habe einen Computer.
主な学習項目：　名詞／定冠詞／不定冠詞
4.「君のガールフレンドの名前は？」Wie heißt deine Freundin？
主な学習項目：ドイツ語の「こそあど」／所有冠詞／人称代名詞
5.「君にあした電話するよ.」Ich rufe dich morgen an.
主な学習項目：　分離動詞と非分離動詞／接続詞／非人称動詞

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期木4飯塚		
科目キー	2600121001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	飯塚　公夫		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

授業の到達目標

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。使用教材の各課の構成は、次のようになっています。

1.「私はミュンヘンに住んでいる.」Ich wohne in München.
主な学習項目：　主語になる人称代名詞／動詞の現在人称変化／動詞の位置／疑問詞
2.「彼はよくベルリンに行く」Er fährt oft nach Berlin.
主な学習項目：　不規則動詞／命令形
3.「私はコンピュータを持っている.」Ich habe einen Computer.
主な学習項目：　名詞／定冠詞／不定冠詞
4.「君のガールフレンドの名前は？」Wie heißt deine Freundin？
主な学習項目：ドイツ語の「こそあど」／所有冠詞／人称代名詞
5.「君にあした電話するよ.」Ich rufe dich morgen an.
主な学習項目：　分離動詞と非分離動詞／接続詞／非人称動詞

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期金4浅野		
科目キー	2600121001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浅野　啓子		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

授業の到達目標

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。使用教材の各課の構成は、次のようになっています。

1.「私はミュンヘンに住んでいる.」Ich wohne in München.
主な学習項目：　主語になる人称代名詞／動詞の現在人称変化／動詞の位置／疑問詞
2.「彼はよくベルリンに行く」Er fährt oft nach Berlin.
主な学習項目：　不規則動詞／命令形
3.「私はコンピュータを持っている.」Ich habe einen Computer.
主な学習項目：　名詞／定冠詞／不定冠詞
4.「君のガールフレンドの名前は？」Wie heißt deine Freundin？
主な学習項目：ドイツ語の「こそあど」／所有冠詞／人称代名詞
5.「君にあした電話するよ.」Ich rufe dich morgen an.
主な学習項目：　分離動詞と非分離動詞／接続詞／非人称動詞

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　前期金5屋敷晃		
科目キー	2600121001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	屋敷　晃子		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

授業の到達目標

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。使用教材の各課の構成は、次のようになっています。

1.「私はミュンヘンに住んでいる.」Ich wohne in München.
主な学習項目：　主語になる人称代名詞／動詞の現在人称変化／動詞の位置／疑問詞
2.「彼はよくベルリンに行く」Er fährt oft nach Berlin.
主な学習項目：　不規則動詞／命令形
3.「私はコンピュータを持っている.」Ich habe einen Computer.
主な学習項目：　名詞／定冠詞／不定冠詞
4.「君のガールフレンドの名前は？」Wie heißt deine Freundin？
主な学習項目：ドイツ語の「こそあど」／所有冠詞／人称代名詞
5.「君にあした電話するよ.」Ich rufe dich morgen an.
主な学習項目：　分離動詞と非分離動詞／接続詞／非人称動詞

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IA　後期金４屋敷晃		
科目キー	2600121001		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	屋敷　晃子		

副題

授業概要　ドイツ語文法の最初の一歩、アルファベットの読み方、つづり方から始めて、基本的な動詞の現在形、人称代名詞、名詞や冠詞の用法などを学びます。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法を身につけます。初歩から体系的に積み上げられた文法の知識は、ドイツ語を読んだり聞いたりする場合に、そして自ら話したり書いたりする場合に、つねに指針となってくれることでしょう。「初級IA」で扱われる文法項目は多くはありません。しかし、文法項目一つ一つが文法体系全体の土台です。きちんと確認されていれば、ドイツ語の基本的な表現の相当部分を理解できることになります。

授業の到達目標

シラバス　指定教科書の5課までを学びます。各課について2週程度を割り当てます。初歩の大事な項目ばかりですから、復習も交えながら、授業を進めます。最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。ドイツ語のアルファベットや、単語のつづり、発音、数字についても学びます。使用教材の各課の構成は、次のようになっています。

1.「私はミュンヘンに住んでいる.」Ich wohne in München.
主な学習項目：　主語になる人称代名詞／動詞の現在人称変化／動詞の位置／疑問詞
2.「彼はよくベルリンに行く」Er fährt oft nach Berlin.
主な学習項目：　不規則動詞／命令形
3.「私はコンピュータを持っている.」Ich habe einen Computer.
主な学習項目：　名詞／定冠詞／不定冠詞
4.「君のガールフレンドの名前は？」Wie heißt deine Freundin？
主な学習項目：ドイツ語の「こそあど」／所有冠詞／人称代名詞
5.「君にあした電話するよ.」Ich rufe dich morgen an.
主な学習項目：　分離動詞と非分離動詞／接続詞／非人称動詞

教科書　『ドイツ語１００』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期月４大澤		
科目キー	2600121002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	大澤　清治		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

授業の到達目標

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IBのクラスでは、教科書の前半部分を学習することになります。どのレッスンについても、日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

各レッスンの構成は以下のとおりです。

1. Guten Tag. Mein Name ist ... こんにちは。私の名前は・・・.
主な学習項目:
アルファベット。動詞の変化・1人称と2人称。疑問詞。
2. Familie und Freunde 家族と友人
主な学習項目:
数詞(1-20)。動詞の変化・3人称。名詞の性・数。
3. Essen und Trinken 食べる、飲む
主な学習項目:
　不定冠詞・否定冠詞。複数形。数詞(-100)。
4. Meine Wohnung 私の住まい　その1
主な学習項目:
　定冠詞。人称代名詞。否定文について。

教科書　„Schritte international 1“ （理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期火2石井		
科目キー	2600121002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

授業の到達目標

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IBのクラスでは、教科書の前半部分を学習することになります。どのレッスンについても、日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

各レッスンの構成は以下のとおりです。

1. Guten Tag. Mein Name ist ... こんにちは。私の名前は・・・.
主な学習項目:
アルファベット。動詞の変化・1人称と2人称。疑問詞。
2. Familie und Freunde 家族と友人
主な学習項目:
数詞(1-20)。動詞の変化・3人称。名詞の性・数。
3. Essen und Trinken 食べる、飲む
主な学習項目:
　不定冠詞・否定冠詞。複数形。数詞(-100)。
4. Meine Wohnung 私の住まい　その1
主な学習項目:
　定冠詞。人称代名詞。否定文について。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期火３中村		
科目キー	2600121002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

授業の到達目標

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IBのクラスでは、教科書の前半部分を学習することになります。どのレッスンについても、日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

各レッスンの構成は以下のとおりです。

1. Guten Tag. Mein Name ist ... こんにちは。私の名前は・・・.
主な学習項目:
アルファベット。動詞の変化・1人称と2人称。疑問詞。
2. Familie und Freunde 家族と友人
主な学習項目:
数詞(1-20)。動詞の変化・３人称。名詞の性・数。
3. Essen und Trinken 食べる、飲む
主な学習項目:
　不定冠詞・否定冠詞。複数形。数詞(-100)。
4. Meine Wohnung 私の住まい　その1
主な学習項目:
　定冠詞。人称代名詞。否定文について。

教科書　„Schritte international 1“ （理工生協書籍部扱い）

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期水3村井		
科目キー	2600121002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

授業の到達目標

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IBのクラスでは、教科書の前半部分を学習することになります。どのレッスンについても、日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

各レッスンの構成は以下のとおりです。

1. Guten Tag. Mein Name ist ... こんにちは。私の名前は・・・.
主な学習項目:
アルファベット。動詞の変化・1人称と2人称。疑問詞。
2. Familie und Freunde 家族と友人
主な学習項目:
数詞(1-20)。動詞の変化・3人称。名詞の性・数。
3. Essen und Trinken 食べる、飲む
主な学習項目:
　不定冠詞・否定冠詞。複数形。数詞(-100)。
4. Meine Wohnung 私の住まい　その1
主な学習項目:
　定冠詞。人称代名詞。否定文について。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期木4濱野		
科目キー	2600121002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	濱野　智子		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

授業の到達目標

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IBのクラスでは、教科書の前半部分を学習することになります。どのレッスンについても、日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

各レッスンの構成は以下のとおりです。

1. Guten Tag. Mein Name ist ... こんにちは。私の名前は・・・.
主な学習項目:
アルファベット。動詞の変化・1人称と2人称。疑問詞。
2. Familie und Freunde 家族と友人
主な学習項目:
数詞(1-20)。動詞の変化・3人称。名詞の性・数。
3. Essen und Trinken 食べる、飲む
主な学習項目:
　不定冠詞・否定冠詞。複数形。数詞(-100)。
4. Meine Wohnung 私の住まい　その1
主な学習項目:
　定冠詞。人称代名詞。否定文について。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期水4杉本		
科目キー	2600121002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	杉本　正俊		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

授業の到達目標

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IBのクラスでは、教科書の前半部分を学習することになります。どのレッスンについても、日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

各レッスンの構成は以下のとおりです。

1. Guten Tag. Mein Name ist ... こんにちは。私の名前は・・・.
主な学習項目:
アルファベット。動詞の変化・1人称と2人称。疑問詞。
2. Familie und Freunde 家族と友人
主な学習項目:
数詞(1-20)。動詞の変化・3人称。名詞の性・数。
3. Essen und Trinken 食べる、飲む
主な学習項目:
　不定冠詞・否定冠詞。複数形。数詞(-100)。
4. Meine Wohnung 私の住まい　その1
主な学習項目:
　定冠詞。人称代名詞。否定文について。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期木2シュレヒト		
科目キー	2600121002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

授業の到達目標

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IBのクラスでは、教科書の前半部分を学習することになります。どのレッスンについても、日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

各レッスンの構成は以下のとおりです。

1. Guten Tag. Mein Name ist ... こんにちは。私の名前は・・・.
主な学習項目:
アルファベット。動詞の変化・1人称と2人称。疑問詞。
2. Familie und Freunde 家族と友人
主な学習項目:
数詞(1-20)。動詞の変化・3人称。名詞の性・数。
3. Essen und Trinken 食べる、飲む
主な学習項目:
　不定冠詞・否定冠詞。複数形。数詞(-100)。
4. Meine Wohnung 私の住まい　その1
主な学習項目:
　定冠詞。人称代名詞。否定文について。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期木3秋葉		
科目キー	2600121002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

授業の到達目標

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IBのクラスでは、教科書の前半部分を学習することになります。どのレッスンについても、日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

各レッスンの構成は以下のとおりです。

1. Guten Tag. Mein Name ist ... こんにちは。私の名前は・・・.
主な学習項目:
アルファベット。動詞の変化・1人称と2人称。疑問詞。
2. Familie und Freunde 家族と友人
主な学習項目:
数詞(1-20)。動詞の変化・3人称。名詞の性・数。
3. Essen und Trinken 食べる、飲む
主な学習項目:
　不定冠詞・否定冠詞。複数形。数詞(-100)。
4. Meine Wohnung 私の住まい　その1
主な学習項目:
　定冠詞。人称代名詞。否定文について。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　前期木5ケルバーアベ		
科目キー	2600121002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

授業の到達目標

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IBのクラスでは、教科書の前半部分を学習することになります。どのレッスンについても、日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

各レッスンの構成は以下のとおりです。

1. Guten Tag. Mein Name ist ... こんにちは。私の名前は・・・.
主な学習項目:
アルファベット。動詞の変化・1人称と2人称。疑問詞。
2. Familie und Freunde 家族と友人
主な学習項目:
数詞(1-20)。動詞の変化・3人称。名詞の性・数。
3. Essen und Trinken 食べる、飲む
主な学習項目:
　不定冠詞・否定冠詞。複数形。数詞(-100)。
4. Meine Wohnung 私の住まい　その1
主な学習項目:
　定冠詞。人称代名詞。否定文について。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IB　後期水2村井		
科目キー	2600121002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　日常的に交わされるあいさつや、やさしい構文の会話文を用いて、ドイツ語の基本的な表現法を学びます。同時に、アルファベットの読み方、つづり方の原則、基本的な動詞の現在形と人称代名詞・名詞の変化、冠詞の用法と変化も学習します。

到達目標は、自己紹介や簡単な応答について、読み書きと同時に、重要な情報を聞きとり、また、自らも話すことができるようになることです。

授業の到達目標

シラバス　最初の授業では、ドイツ語がどのような言語か、授業をどのように進めるか、解説や説明があります。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IBのクラスでは、教科書の前半部分を学習することになります。どのレッスンについても、日常的によくある状況が設定されています。その状況に沿って、さまざまな練習を行っていきます。音声教材も活用します。積極的に練習をして、ドイツ語の音、文の仕組み、表現になれていきましょう。

各レッスンの構成は以下のとおりです。

1. Guten Tag. Mein Name ist ... こんにちは。私の名前は・・・.
主な学習項目:
アルファベット。動詞の変化・1人称と2人称。疑問詞。
2. Familie und Freunde 家族と友人
主な学習項目:
数詞(1-20)。動詞の変化・3人称。名詞の性・数。
3. Essen und Trinken 食べる、飲む
主な学習項目:
　不定冠詞・否定冠詞。複数形。数詞(-100)。
4. Meine Wohnung 私の住まい　その1
主な学習項目:
　定冠詞。人称代名詞。否定文について。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期火１土屋		
科目キー	2600121005		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	１時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	土屋　睦廣		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

授業の到達目標

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から１０課までを学びます。
各課について2時間程度を割り当てる予定です。

各課の構成は、次のようになっています。

6.「私たちは夏，海に行く．」Wir fahren im Sommer ans Meer.
主な学習項目：　前置詞／疑問詞
7.「私はあした来られません．」Ich kann morgen nicht kommen.
主な学習項目：　助動詞／助動詞と本動詞の位置
8.「ドイツワインは好きですか？」Mögen Sie deutschen Wein？
主な学習項目：　形容詞の用法／形容詞の比較級と最上級
9.「去年、私はドイツにいました．」Letztes Jahr war ich in Deutschland.
主な学習項目：　動詞の三基本形／過去形／現在完了
１０.「今度、いつ会おうか？」Wann sehen wir uns wieder？
主な学習項目：　再帰動詞／zu 不定詞

積極的に授業に参加し、学んだドイツ語が使える、という実感を味わいましょう。

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期火3石井		
科目キー	2600121005		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

授業の到達目標

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2時間程度を割り当てる予定です。

各課の構成は、次のようになっています。

6.「私たちは夏，海に行く．」Wir fahren im Sommer ans Meer.
主な学習項目：　前置詞／疑問詞
7.「私はあした来られません．」Ich kann morgen nicht kommen.
主な学習項目：　助動詞／助動詞と本動詞の位置
8.「ドイツワインは好きですか？」Mögen Sie deutschen Wein？
主な学習項目：　形容詞の用法／形容詞の比較級と最上級
9.「去年、私はドイツにいました．」Letztes Jahr war ich in Deutschland.
主な学習項目：　動詞の三基本形／過去形／現在完了
10.「今度、いつ会おうか？」Wann sehen wir uns wieder？
主な学習項目：　再帰動詞／zu 不定詞

積極的に授業に参加し、学んだドイツ語が使える、という実感を味わいましょう。

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期火４高橋		
科目キー	2600121005		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	高橋　憲子		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

授業の到達目標

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から１０課までを学びます。
各課について2時間程度を割り当てる予定です。

各課の構成は、次のようになっています。

6.「私たちは夏，海に行く．」Wir fahren im Sommer ans Meer.
主な学習項目：　前置詞／疑問詞
7.「私はあした来られません．」Ich kann morgen nicht kommen.
主な学習項目：　助動詞／助動詞と本動詞の位置
8.「ドイツワインは好きですか？」Mögen Sie deutschen Wein？
主な学習項目：　形容詞の用法／形容詞の比較級と最上級
9.「去年、私はドイツにいました．」Letztes Jahr war ich in Deutschland.
主な学習項目：　動詞の三基本形／過去形／現在完了
１０.「今度、いつ会おうか？」Wann sehen wir uns wieder？
主な学習項目：　再帰動詞／zu 不定詞

積極的に授業に参加し、学んだドイツ語が使える、という実感を味わいましょう。

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期木１中村		
科目キー	2600121005		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	１時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

授業の到達目標

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から１０課までを学びます。
各課について2時間程度を割り当てる予定です。

各課の構成は、次のようになっています。

6.「私たちは夏，海に行く．」Wir fahren im Sommer ans Meer.
主な学習項目：　前置詞／疑問詞
7.「私はあした来られません．」Ich kann morgen nicht kommen.
主な学習項目：　助動詞／助動詞と本動詞の位置
8.「ドイツワインは好きですか？」Mögen Sie deutschen Wein？
主な学習項目：　形容詞の用法／形容詞の比較級と最上級
9.「去年、私はドイツにいました．」Letztes Jahr war ich in Deutschland.
主な学習項目：　動詞の三基本形／過去形／現在完了
１０.「今度、いつ会おうか？」Wann sehen wir uns wieder？
主な学習項目：　再帰動詞／zu 不定詞

積極的に授業に参加し、学んだドイツ語が使える、という実感を味わいましょう。

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期木3飯塚		
科目キー	2600121005		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	飯塚　公夫		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

授業の到達目標

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2時間程度を割り当てる予定です。

各課の構成は、次のようになっています。

6.「私たちは夏，海に行く．」Wir fahren im Sommer ans Meer.
主な学習項目：　前置詞／疑問詞
7.「私はあした来られません．」Ich kann morgen nicht kommen.
主な学習項目：　助動詞／助動詞と本動詞の位置
8.「ドイツワインは好きですか？」Mögen Sie deutschen Wein？
主な学習項目：　形容詞の用法／形容詞の比較級と最上級
9.「去年、私はドイツにいました．」Letztes Jahr war ich in Deutschland.
主な学習項目：　動詞の三基本形／過去形／現在完了
10.「今度、いつ会おうか？」Wann sehen wir uns wieder？
主な学習項目：　再帰動詞／zu 不定詞

積極的に授業に参加し、学んだドイツ語が使える、という実感を味わいましょう。

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期木4飯塚		
科目キー	2600121005		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	飯塚　公夫		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

授業の到達目標

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2時間程度を割り当てる予定です。

各課の構成は、次のようになっています。

6.「私たちは夏，海に行く．」Wir fahren im Sommer ans Meer.
主な学習項目：　前置詞／疑問詞
7.「私はあした来られません．」Ich kann morgen nicht kommen.
主な学習項目：　助動詞／助動詞と本動詞の位置
8.「ドイツワインは好きですか？」Mögen Sie deutschen Wein？
主な学習項目：　形容詞の用法／形容詞の比較級と最上級
9.「去年、私はドイツにいました．」Letztes Jahr war ich in Deutschland.
主な学習項目：　動詞の三基本形／過去形／現在完了
10.「今度、いつ会おうか？」Wann sehen wir uns wieder？
主な学習項目：　再帰動詞／zu 不定詞

積極的に授業に参加し、学んだドイツ語が使える、という実感を味わいましょう。

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期金3秋葉		
科目キー	2600121005		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

授業の到達目標

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2時間程度を割り当てる予定です。

各課の構成は、次のようになっています。

6.「私たちは夏，海に行く．」Wir fahren im Sommer ans Meer.
主な学習項目：　前置詞／疑問詞
7.「私はあした来られません．」Ich kann morgen nicht kommen.
主な学習項目：　助動詞／助動詞と本動詞の位置
8.「ドイツワインは好きですか？」Mögen Sie deutschen Wein？
主な学習項目：　形容詞の用法／形容詞の比較級と最上級
9.「去年、私はドイツにいました．」Letztes Jahr war ich in Deutschland.
主な学習項目：　動詞の三基本形／過去形／現在完了
10.「今度、いつ会おうか？」Wann sehen wir uns wieder？
主な学習項目：　再帰動詞／zu 不定詞

積極的に授業に参加し、学んだドイツ語が使える、という実感を味わいましょう。

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期金4浅野		
科目キー	2600121005		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浅野　啓子		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

授業の到達目標

シラバス　「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2時間程度を割り当てる予定です。

各課の構成は、次のようになっています。

6.「私たちは夏，海に行く．」Wir fahren im Sommer ans Meer.
主な学習項目：　前置詞／疑問詞
7.「私はあした来られません．」Ich kann morgen nicht kommen.
主な学習項目：　助動詞／助動詞と本動詞の位置
8.「ドイツワインは好きですか？」Mögen Sie deutschen Wein？
主な学習項目：　形容詞の用法／形容詞の比較級と最上級
9.「去年、私はドイツにいました．」Letztes Jahr war ich in Deutschland.
主な学習項目：　動詞の三基本形／過去形／現在完了
10.「今度、いつ会おうか？」Wann sehen wir uns wieder？
主な学習項目：　再帰動詞／zu 不定詞

積極的に授業に参加し、学んだドイツ語が使える、という実感を味わいましょう。

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　後期金5屋敷晃		
科目キー	2600121005		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	屋敷　晃子		

副題

授業概要　ドイツ語「初級IA」または「初級IB」で学んだことを土台として、教科書の例文・会話文を手がかりに、引き続き、ドイツ語の基礎的な文法項目を学習していきます。使用されるドイツ語の文章は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。練習を積み重ねることによって、文法的な知識を広げ、そして同時に基礎的な語彙を増やし、読み、聞き、書き、話す、という総合的なドイツ語の力をつけることが目標です。

授業の到達目標

シラバス　「「初級IA」の指定教科書を継続して使用します。
学期初めには、まず「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを復習・確認します。
「初級IIA」では、教科書の6課から10課までを学びます。
各課について2時間程度を割り当てる予定です。

各課の構成は、次のようになっています。

6.「私たちは夏，海に行く．」Wir fahren im Sommer ans Meer.
主な学習項目：　前置詞／疑問詞
7.「私はあした来られません．」Ich kann morgen nicht kommen.
主な学習項目：　助動詞／助動詞と本動詞の位置
8.「ドイツワインは好きですか？」Mögen Sie deutschen Wein？
主な学習項目：　形容詞の用法／形容詞の比較級と最上級
9.「去年、私はドイツにいました．」Letztes Jahr war ich in Deutschland.
主な学習項目：　動詞の三基本形／過去形／現在完了
10.「今度、いつ会おうか？」Wann sehen wir uns wieder？
主な学習項目：　再帰動詞／zu 不定詞

積極的に授業に参加し、学んだドイツ語が使える、という実感を味わいましょう。

教科書　『ドイツ語100』(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　平常点、レポート、小テストと教場試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させます。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認めらません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIA　前期金４屋敷晃		
科目キー	2600121005		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	屋敷　晃子		

副題

授業概要　すでにドイツ語「初級IA」または「初級IB」を履修した学生のための科目です。例文に当たり、会話文に触れ、練習問題をすることで、基礎文法の土台固めをします。扱われるドイツ文は、「初級IA」「初級IB」と同じように、日常よく使われる表現ばかりです。「初級 IIA」を履修することで、ドイツ語の基礎文法の大半が網羅されることとなり、表現能力はおおいに高められるはずです。語彙を増やせば、ドイツ語を十分に使いこなせるようになるでしょう。

授業の到達目標

シラバス　初級IA」の指定教科書を継続して使用します。「初級IIA」では、５課から９課までを学びます。各課について２週程度を割り当てます。「初級IA」ないし「初級IB」で学んだことを確認しながら、新しい文法項目に入っていきます。使用教材の各課の構成は、次のようになっています。

５.「君にあした電話するよ.」Ich rufe dich morgen an.
主な学習項目：　分離動詞と非分離動詞／接続詞／非人称動詞
６.「私たちは夏，海に行く.」Wir fahren im Sommer ans Meer.
主な学習項目：　前置詞／疑問詞
７.「私はあした来られません.」Ich kann morgen nicht kommen.
主な学習項目：　助動詞／助動詞と本動詞の位置
８.「ドイツワインは好きですか？」Mögen Sie deutschen Wein?
主な学習項目：　形容詞の用法／形容詞の比較級と最上級
９.「去年、私はドイツにいました.」Letztes Jahr war ich in Deutschland.
主な学習項目：　動詞の三基本形／過去形／現在完了

教科書　『ドイツ語１００』（理工生協書籍部扱い）

参考文献

評価方法　平常点、レポート、小テストと教場試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://german.narita.elec.waseda.ac.jp/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期月４大澤		
科目キー	2600121006		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	大澤　清治		

副題

授業概要　すでにドイツ語のIA、またはIBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

授業の到達目標

シラバス　IBの使用教材を引き続き使用します。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IIBのクラスでは、教科書の後半部分を学習することになります。レッスンごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

教科書の後半部分の構成は以下のとおりです。

4. Meine Wohnung 私の住まい　その2
主な学習項目:
数詞(100以上の数字)。定冠詞。人称代名詞。否定文について。
5. Mein Tag 私の一日
主な学習項目:
分離動詞。前置詞。動詞の位置。時刻。
6. Freizeit 余暇
主な学習項目:
　名詞・1格と4格。Ja, nein, doch。
7. Lernen – ein Leben lang 生涯学習
主な学習項目:
　助動詞。現在完了形。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期火2石井		
科目キー	2600121006		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　すでにドイツ語のIA、またはIBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

授業の到達目標

シラバス　IBの使用教材を引き続き使用します。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IIBのクラスでは、教科書の後半部分を学習することになります。レッスンごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

教科書の後半部分の構成は以下のとおりです。

4. Meine Wohnung 私の住まい　その2
主な学習項目:
数詞(100以上の数字)。定冠詞。人称代名詞。否定文について。
5. Mein Tag 私の一日
主な学習項目:
分離動詞。前置詞。動詞の位置。時刻。
6. Freizeit 余暇
主な学習項目:
　名詞・1格と4格。Ja, nein, doch。
7. Lernen – ein Leben lang 生涯学習
主な学習項目:
　助動詞。現在完了形。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期火3中村		
科目キー	2600121006		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　すでにドイツ語のIA、またはIBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

授業の到達目標

シラバス　IBの使用教材を引き続き使用します。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IIBのクラスでは、教科書の後半部分を学習することになります。レッスンごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

教科書の後半部分の構成は以下のとおりです。

4. Meine Wohnung 私の住まい　その2
主な学習項目:
数詞(100以上の数字)。定冠詞。人称代名詞。否定文について。
5. Mein Tag 私の一日
主な学習項目:
分離動詞。前置詞。動詞の位置。時刻。
6. Freizeit 余暇
主な学習項目:
　名詞・1格と4格。Ja, nein, doch。
7. Lernen – ein Leben lang 生涯学習
主な学習項目:
　助動詞。現在完了形。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期水3村井		
科目キー	2600121006		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　すでにドイツ語のIA、またはIBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

授業の到達目標

シラバス　IBの使用教材を引き続き使用します。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IIBのクラスでは、教科書の後半部分を学習することになります。レッスンごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

教科書の後半部分の構成は以下のとおりです。

4. Meine Wohnung 私の住まい　その2
主な学習項目:
数詞(100以上の数字)。定冠詞。人称代名詞。否定文について。
5. Mein Tag 私の一日
主な学習項目:
分離動詞。前置詞。動詞の位置。時刻。
6. Freizeit 余暇
主な学習項目:
　名詞・1格と4格。Ja, nein, doch。
7. Lernen – ein Leben lang 生涯学習
主な学習項目:
　助動詞。現在完了形。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期水4杉本		
科目キー	2600121006		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	杉本　正俊		

副題

授業概要　すでにドイツ語のIA、またはIBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

授業の到達目標

シラバス　IBの使用教材を引き続き使用します。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IIBのクラスでは、教科書の後半部分を学習することになります。レッスンごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

教科書の後半部分の構成は以下のとおりです。

4. Meine Wohnung 私の住まい　その2
主な学習項目:
数詞(100以上の数字)。定冠詞。人称代名詞。否定文について。
5. Mein Tag 私の一日
主な学習項目:
分離動詞。前置詞。動詞の位置。時刻。
6. Freizeit 余暇
主な学習項目:
　名詞・1格と4格。Ja, nein, doch。
7. Lernen – ein Leben lang 生涯学習
主な学習項目:
　助動詞。現在完了形。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期木2シュレヒト		
科目キー	2600121006		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　すでにドイツ語のIA、またはIBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

授業の到達目標

シラバス　IBの使用教材を引き続き使用します。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IIBのクラスでは、教科書の後半部分を学習することになります。レッスンごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

教科書の後半部分の構成は以下のとおりです。

4. Meine Wohnung 私の住まい　その2
主な学習項目:
数詞(100以上の数字)。定冠詞。人称代名詞。否定文について。
5. Mein Tag 私の一日
主な学習項目:
分離動詞。前置詞。動詞の位置。時刻。
6. Freizeit 余暇
主な学習項目:
　名詞・1格と4格。Ja, nein, doch。
7. Lernen – ein Leben lang 生涯学習
主な学習項目:
　助動詞。現在完了形。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期木3秋葉		
科目キー	2600121006		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　すでにドイツ語のIA、またはIBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

授業の到達目標

シラバス　IBの使用教材を引き続き使用します。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IIBのクラスでは、教科書の後半部分を学習することになります。レッスンごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

教科書の後半部分の構成は以下のとおりです。

4. Meine Wohnung 私の住まい　その2
主な学習項目:
数詞(100以上の数字)。定冠詞。人称代名詞。否定文について。
5. Mein Tag 私の一日
主な学習項目:
分離動詞。前置詞。動詞の位置。時刻。
6. Freizeit 余暇
主な学習項目:
　名詞・1格と4格。Ja, nein, doch。
7. Lernen – ein Leben lang 生涯学習
主な学習項目:
　助動詞。現在完了形。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期木4濱野		
科目キー	2600121006		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	濱野　智子		

副題

授業概要　すでにドイツ語のIA、またはIBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

授業の到達目標

シラバス　IBの使用教材を引き続き使用します。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IIBのクラスでは、教科書の後半部分を学習することになります。レッスンごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

教科書の後半部分の構成は以下のとおりです。

4. Meine Wohnung 私の住まい　その2
主な学習項目:
数詞(100以上の数字)。定冠詞。人称代名詞。否定文について。
5. Mein Tag 私の一日
主な学習項目:
分離動詞。前置詞。動詞の位置。時刻。
6. Freizeit 余暇
主な学習項目:
　名詞・1格と4格。Ja, nein, doch。
7. Lernen – ein Leben lang 生涯学習
主な学習項目:
　助動詞。現在完了形。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　後期木5ケルバーアベ		
科目キー	2600121006		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　すでにドイツ語のIA、またはIBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

授業の到達目標

シラバス　IBの使用教材を引き続き使用します。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IIBのクラスでは、教科書の後半部分を学習することになります。レッスンごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

教科書の後半部分の構成は以下のとおりです。

4. Meine Wohnung 私の住まい　その2
主な学習項目:
数詞(100以上の数字)。定冠詞。人称代名詞。否定文について。
5. Mein Tag 私の一日
主な学習項目:
分離動詞。前置詞。動詞の位置。時刻。
6. Freizeit 余暇
主な学習項目:
　名詞・1格と4格。Ja, nein, doch。
7. Lernen – ein Leben lang 生涯学習
主な学習項目:
　助動詞。現在完了形。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語初級IIB　前期水2村井		
科目キー	2600121006		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村井　浩一		

副題

授業概要　すでにドイツ語のIA、またはIBを履修した学生のための科目です。やさしい会話文をもとに、基礎的な文法の土台固めと、その一段階上の文法項目の習得をめざします。
「読む」「書く」「聞く」「話す」能力について調和的な向上を目標にして、基本となる語彙力をさらに高め、豊かな表現力を身につけましょう。

授業の到達目標

シラバス　IBの使用教材を引き続き使用します。

使用教材のレッスンごとに3時間程度を割り当てる予定です。IIBのクラスでは、教科書の後半部分を学習することになります。レッスンごとに設定された状況に沿って、さまざまな練習を行います。

教科書の後半部分の構成は以下のとおりです。

4. Meine Wohnung 私の住まい　その2
主な学習項目:
数詞(100以上の数字)。定冠詞。人称代名詞。否定文について。
5. Mein Tag 私の一日
主な学習項目:
分離動詞。前置詞。動詞の位置。時刻。
6. Freizeit 余暇
主な学習項目:
　名詞・1格と4格。Ja, nein, doch。
7. Lernen – ein Leben lang 生涯学習
主な学習項目:
　助動詞。現在完了形。

教科書　„Schritte international 1“ (理工生協書籍部扱い)

参考文献　教科書にはCD-ROMが付いています。このCD-ROMには、インターアクティヴな練習問題や聞き取り練習用の音声、さらにはドイツ語学習にとって重要なウェブサイトへのリンクが多数収録されていますから、これを活用してください。

評価方法　平常点、レポート、試験

備考　出席回数・参加態度を成績に反映させる。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語IA（学院クラス）前期月５大澤		
科目キー	2600121007		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	大澤　清治		

副題

授業概要　森鴎外の『舞姫』をもとに製作された映画 Die Taenzerin のシナリオを読みます。既習の文法知識で理解できるテキストに加えて、複雑な構文、長文、ドイツ語特有な表現などが適度に織り交ぜられています。

19世紀末、ドイツに官費留学した主人公は家族の期待や国家的使命を捨てて、愛する女性との生活を選びます。しかし後に、日本での輝かしい出世を約束されると再び決断を迫られます。登場人物たちの喜び、葛藤、苦悶、そして歴史的状況を反映した言葉のやり取りを通して、生きたドイツ語に出会ってほしいと思います。

ドイツと日本の歴史や比較文化的な視点からも、またドイツ語と日本語の言語意識の違いという点からも興味深いものがあり、そこにも踏み込んでみます。

授業の到達目標

シラバス　テキストを理解するという基本的な作業とともに、発音にも留意して登場人物の感情や意識を追体験します。

また、随時ビデオを見て、情景を確認し、聞いて理解する練習をします。

文法については、受動形、関係代名詞、接続法という難度の高い項目を中心に再確認します。基本的な項目は常時点検し、必要に応じて復習します。
また、語法、構文、言語意識、熟語、慣用句、心態詞などについても随時説明していきます。

単語集のプリント、および文法項目に係わる例文のプリントを配布します。授業時および予習・復習のための助けとします。

教科書　橘 好碩 編注『舞姫』(Die Taenzerin)朝日出版社

参考文献

評価方法　平常点（課題提出、授業参加の状態など）と学期末の教場試験の結果を総合的に判断する。

備考　後期に継続して履修することが望ましい。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語IA（学院クラス）前期水3杉本		
科目キー	2600121007		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	杉本　正俊		

副題

授業概要　所定教科書のテキストを読みながら、テキストに関連した練習問題を解き、添付CDを授業中に聞く。このようにして多角的にドイツ語の運用能力を高めてゆくことをねらっている。
このテキストは本教科書のための書き下ろしであり、ドイツ人から見て日本人の日常生活中、少し違和感を点をいろいろな角度からとりあげており、われわれ日本人があたりまえにしている様々なことがらについてあらためて考えさせてくれるような要素を含んでいる。

授業の到達目標

シラバス　所定教科書のテキストと練習をはじめから、省略なしに、順番に扱う。そしてこの教科書は学期中に終了する予定である。
（必要があれば最初の授業で、ドイツ語の発音の原則について説明するが、この発音チェックを行うかどうかは、実際に学生のドイツ語知識を試してみて決めることとする。なお、発音チェックは、授業が進行しても随時おこなうこともある）
最終授業日を試験日とする。

教科書　「CD付き:ドイツ人に答えてみよう」
著者:大谷弘道
発行所:三修社

参考文献

評価方法　授業に、普通にまじめに参加することを条件に、期末のテストを重視し、平常点と期末テストの結果を総合的に判断して評価を下す。

備考　授業中は勉強に注意を集中すること。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語IB （学院クラス） 前期木3シュレヒト		
科目キー	2600121008		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上
担当教員			

副題　「使えるドイツ語」を身につける

授業概要　これまでに学習した基礎的知識をもとに、「使えるドイツ語」の習得をめざし、実践的な授業を行います。講義には、ベルリンの若者の日常生活を描いたビデオ教材『Treffpunkt Berlin』を利用します。口語表現の学習やヒアリングの練習によって、「会話力」を身につけ、語彙を増やしていきます。「読む力」と「聞く力」を様々な練習問題によって向上させていきます。作文の練習を通じ、「書く力」を強化していきます。

ビデオ教材は全部で12課あります。前期は1-6課、後期は7-12課を学習します（後期のみ履修も可）。このビデオでは、ベルリンの若者の日常生活を通じ、ドイツの同年代の人々の生活を描いています。講義のレベルと同等な語彙・表現を使った物語的教材は、ドイツ語の理解力を深めるのに役立つことでしょう。

授業では、LINCSというInternet-based E-Learning Systemを使います。このSystemで、授業に関連するファイル（宿題など）のやり取りが可能です。最初の講義の際に詳しいことを説明しますので、受講者は必ず参加してください。

授業の到達目標

シラバス　『Treffpunkt Berlin』の内容は以下の通り:

第１課: Hallo, Julia!
第２課: Zu Hause
第３課: Was machst du？
第４課: Probleme
第５課: Die Boutique
第６課: Wie schmeckt's？
第７課: Wie gefällt dir das？
第８課: Geburtstag
第９課: Arbeit
第１０課: Besuch
第１１課: Berlin
第１２課: Sport

教科書　『Deutsch Aktuell 1 - Treffpunkt Berlin - Video Manual』（EMC /Paradigm Publishing）。理工生協扱い。

参考文献　授業中に指示します。

評価方法　教場試験や小テストの成績に、授業への出席状況、宿題（レポート）の提出状況等を加味して、総合的に評価します。

備考　「少しでもドイツ語が話せるようになりたい」という気持ちで、積極的に授業に参加してください。

担当教員連絡先：W. シュレヒト（schlecht@waseda.jp）

関連URL:　国際領域ドイツ語教室HP:

http://www.german.sci.waseda.ac.j

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語IB（学院クラス）前期木6ケルバーアベ		
科目キー	2600121008		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　すでにドイツ語の初級を勉強したことのある学生が対象となる授業です。これまで一生懸命学習してきたドイツ語文法を使って、ドイツ人とドイツ語で話せますか？ここでは、知識を実際の運用能力に発展させ、ドイツ語で自然な会話が出来るようになることを目指します。ドイツ語によるコミュニケーション能力を養えば、日本語や英語のチャンネルだけでは得られない新しい視野を広げることができるかも！？最終的には、ドイツ語圏のメディアから主体的に情報収集ができるようになるための足掛かりとなる力を、この授業で身につけてもらいたいと思っています。

授業の到達目標

シラバス　授業では、日常的によく見られる状況を設定し、それに沿って様々な会話文型を練習します。方法としては、プリントやテキストなどの使用をはじめ、ドイツのスポーツビデオや最新音楽などの生教材を取り入れたり、ドイツ語のホームページに実際にアクセスするなどして、楽しく勉強していきます。ドイツ世界に直に触れながら、ドイツ語会話を学べるようにし、ドイツ語が使える面白さを実感してもらいたいと考えています。

教科書　まずは教師作成のプリントやコピーなどを使用して、学習者全体のレベルを見るつもりです。その後で、学生のドイツ語レベルにあった適切なテキストを、学生と相談の上、決定します。

参考文献　参考文献の指定は特にありませんが、有効であると思われるもの、またはドイツ語への興味が広がると思われる楽しい素材についてはその都度、授業の中で提示していく予定です。また授業外でのドイツ語自習を希望する学生のためにも、ドイツ語のウェブサイトの紹介などもしていくつもりです。

評価方法　平常点と教場試験（超難解問題にあらず）

備考　出席回数と参加態度も、成績に大いに反映させるので、安心してください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語IIA（学院クラス）後期月５大澤		
科目キー	2600121009		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	大澤　清治		

副題

授業概要　前期に引き続いて、森鴎外の『舞姫』をもとに製作された映画 Die Taenzerin のシナリオを読みます。既習の文法知識で理解できるテキストに加えて、複雑な構文、長文、ドイツ語特有な表現などが適度に織り交ぜられています。

19世紀末、ドイツに官費留学した主人公は家族の期待や国家的使命を捨てて、愛する女性との生活を選びます。しかし後に、日本での輝かしい出世を約束されると再び決断を迫られます。登場人物たちの喜び、葛藤、苦悶、そして歴史的状況を反映した言葉のやり取りを通して、生きたドイツ語に出会ってほしいと思います。

ドイツと日本の歴史や比較文化的な視点からも、またドイツ語と日本語の言語意識の違いという点からも興味深いものがあり、そこにも踏み込んでみます。
前期で学んだ項目を再確認しつつ、下記の項目を一歩進んで学びます。

授業の到達目標

シラバス　テキストを理解するという基本的な作業とともに、発音にも留意して登場人物の感情や意識を追体験します。

また、随時ビデオを見て、情景を確認し、聞いて理解する練習をします。

文法については、受動形、関係代名詞、接続法という難度の高い項目を中心に再確認します。基本的な項目は常時点検し、必要に応じて復習します。
また、語法、構文、言語意識、熟語、慣用句、心態詞などについても随時説明していきます。

単語集のプリント、および文法項目に係わる例文のプリントを配布します。授業時および予習・復習のための助けとします。

教科書　橘 好碩 編注『舞姫』(Die Taenzerin)朝日出版社

参考文献

評価方法　平常点（課題提出、授業参加の状態など）と学期末の教場試験の結果を総合的に判断する。

備考　前期からの継続授業ですが、新規登録も可能です。
出席が極端に少ない場合には、単位の取得は認められない。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語IIA（学院クラス）後期水3杉本		
科目キー	2600121009		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	杉本　正俊		

副題

授業概要　所定教科書のテキストをよみながら、テキストに関連した練習問題を行う。また教科書添付のCDを聞き、ドイツ語の音声に親しむ。
教科書のテキストは、日本人の目から見た場合には異様に思われるかもしれないドイツ人やドイツ人社会の様々な側面を取り扱っている。
例えば「大学受験」など日本でならば、何度失敗しても再挑戦が可能だが、ドイツではどうなのであろうか？
テキストはこうした問題を扱いながら、ドイツ人の心の内面にまでスポットをゆく。

授業の到達目標

シラバス　テキストをじっくり読むことを主眼に考える。したがって学期内で教科書は全部は終わらないかもしれない。進度はあまり神経質に考えず、しっかりした内容理解を重視して授業を行う。教科書はいちおうはじめから順番に進んでゆくが、全部を扱えない場合には省略箇所がでてくる。その際には、教科書の省略箇所は授業中に指定する。
最終授業日を試験日とする。

教科書　「CD付き:ドイツ人を知る9章＋1（プラス・ワン）」
著者:大谷弘道
発行所:三修社

参考文献

評価方法　平常点と学期末試験

備考　授業中は注意を勉強に集中すること

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語IIB （学院クラス） 後期木3シュレヒト		
科目キー	2600121010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上
担当教員			

副題　「使えるドイツ語」を身につける

授業概要　これまでに学習した基礎的知識をもとに、「使えるドイツ語」の習得をめざし、実践的な授業を行います。講義には、ベルリンの若者の日常生活を描いたビデオ教材『Treffpunkt Berlin』を利用します。口語表現の学習やヒアリングの練習によって、「会話力」を身につけ、語彙を増やしていきます。「読む力」と「聞く力」を様々な練習問題によって向上させていきます。作文の練習を通じ、「書く力」を強化していきます。

ビデオ教材は全部で12課あります。前期は1-6課、後期は7-12課を学習します（後期のみ履修も可）。このビデオでは、ベルリンの若者の日常生活を通じ、ドイツの同年代の人々の生活を描いています。講義のレベルと同等な語彙・表現を使った物語的教材は、ドイツ語の理解力を深めるのに役立つことでしょう。

授業では、LINCSというInternet-based E-Learning Systemを使います。このSystemで、授業に関連するファイル（宿題など）のやり取りが可能です。最初の講義の際に詳しいことを説明しますので、受講者は必ず参加してください。

授業の到達目標

シラバス　『Treffpunkt Berlin』の内容は以下の通り:

第１課: Hallo, Julia!
第２課: Zu Hause
第３課: Was machst du？
第４課: Probleme
第５課: Die Boutique
第６課: Wie schmeckt's？
第７課: Wie gefällt dir das？
第８課: Geburtstag
第９課: Arbeit
第１０課: Besuch
第１１課: Berlin
第１２課: Sport

教科書　『Deutsch Aktuell 1 - Treffpunkt Berlin - Video Manual』（EMC /Paradigm Publishing）。理工生協扱い。

参考文献　授業中に指示します。

評価方法　教場試験や小テストの成績に、授業への出席状況、宿題（レポート）の提出状況等を加味して、総合的に評価します。

備考　「少しでもドイツ語が話せるようになりたい」という気持ちで、積極的に授業に参加してください。

担当教員連絡先：W. シュレヒト（schlecht@waseda.jp）

関連URL:　国際文化領域ドイツ語教室HP:

http://www.german.sci.waseda.ac

成績評価方法		
	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語IIB （学院クラス） 後期木6ケルバーアベ		
科目キー	2600121010		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　すでにドイツ語の初級を勉強したことのある学生が対象となる授業です。これまで一生懸命学習してきたドイツ語文法を使って、ドイツ人とドイツ語で話せますか？ここでは、知識を実際の運用能力に発展させ、ドイツ語で自然な会話が出来るようになることを目指します。ドイツ語によるコミュニケーション能力を養えば、日本語や英語のチャンネルだけでは得られない新しい視野を広げることができるかも！？最終的には、ドイツ語圏のメディアから主体的に情報収集ができるようになるための足掛かりとなる力を、この授業で身につけてもらいたいと思っています。

授業の到達目標

シラバス　授業は前期IBに継続する内容です。日常的によく見られる状況を設定し、それに沿って様々な会話文型を練習します。方法としては、プリントやテキストなどの使用をはじめ、ドイツのスポーツビデオや最新音楽などの生教材を取り入れたり、ドイツ語のホームページに実際にアクセスするなどして、楽しく勉強していきます。ドイツ世界に直に触れながら、ドイツ語会話を学べるようにし、ドイツ語が使える面白さを実感してもらいたいと考えています。

教科書　後期からは以下の教科書を使います。
『ドイチュ・インタアクティーフVer.3(Deutsch Interaktiv Ver.3)』（郁文堂）

参考文献　参考文献の指定は特にありませんが、有効であると思われるもの、またはドイツ語への興味が広がると思われる楽しい素材についてはその都度、授業の中で提示していく予定です。また授業外でのドイツ語自習を希望する学生のためにも、ドイツ語のウェブサイトの紹介などもしていくつもりです。

評価方法　平常点と教場試験（超難解問題にあらず）

備考　出席回数と参加態度も、成績に大いに反映させるので、安心してください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級I　前期月3石井		
科目キー	2600121011		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　すでにドイツ語の初級IIAまたはIIBを履修した学生のための科目です。
初級IIAの延長線上にある文法項目を学びます。同時に、ベルリンに住む若者たちを描いたビデオ教材を用いて、1年次に学習したドイツ語の知識をさらに確実なものとしていきます。主人公の若者たちの発言や行動を通してドイツの日常生活の一端を知ることにもなります。文法的な整理をしながら生活の中で使われるドイツ語を学び、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。

授業の到達目標

シラバス　「ドイツ語100」の10課-14課、ビデオ教材 "Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1" の1課-4課を学びます。「ドイツ語100」の練習問題、ビデオ教材のテキストの読解、語彙練習など、さまざまな練習を行います。

1. ビデオ教材 Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1
   Abschnitt 1, Hallo, Julia!「ハロー, ユーリア！」(1)
   1年次に学んだ文法事項や語彙の復習を兼ねます。
2. ドイツ語100:10課(再帰動詞・zu不定詞)(1)
   Hallo, Julia!「ハロー, ユーリア！」(2)
3. ドイツ語100:10課 (2)
Abschnitt 2, Zu Hause「自宅で」(1)
4. ドイツ語マスター100:第11課 (受動態) (1)
   Abschnitt 2, Zu Hause「自宅で」(2)
5. ドイツ語マスター100:第11課 (2)
   Abschnitt 2, Zu Hause「自宅で」(3)
6. ドイツ語100:12課(関係代名詞・指示代名詞)(1)
   Abschnitt 3, Was machst du?「何をしているの？」(1)
7. ドイツ語100:12課(関係代名詞・指示代名詞)(2)
   Abschnitt 3, Was machst du?「何をしているの？」(2)
8. ドイツ語100:13課(接続法)(1)
   Abschnitt 3, Was machst du?「何をしているの？」(3)
9. ドイツ語100:13課(接続法)(2)
   Abschnitt 4, Probleme「難題」(1)
10. ドイツ語100:13課(接続法)(3)
   Abschnitt 4, Probleme「難題」(2)
11. ドイツ語100:14課(接続詞・合成名詞)(1)
Abschnitt 4, Probleme「難題」(3)

教科書　「ドイツ語100」三修社
"Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1"
(早稲田大学理工学部生協書籍店扱い)

参考文献　予復習のために中型独和辞書が必要です。

評価方法　平常点、提出課題、試験結果を総合して評価します。
第1回テスト 「ドイツ語100」10・11課 ビデオ教材 Abschnitt 1-2
第2回テスト「ドイツ語100」12・14課 ビデオ教材 Abschnitt 3-4

備考　この授業と同一の教材を使用する独語中級IIの授業を同時に受講することはできません。
ドイツ語力の向上のために積極的な授業参加が必要です。出席が極端に少ない場合には単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級I　前期月４中村		
科目キー	2600121011		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　すでにドイツ語の初級IIAまたは初級IIBを履修した学生のための科目です。
IIBの継続教科書を使用します。文法を学びながら、表現力を身につけています。
なお、文法レベルは初級IIAと同程度ですが、初級IA・IIAで学習した文法レベルに応じた語彙力・表現力の獲得を目標にしています。
毎回の授業で、トレーニングを積み上げ、表現演習・読解演習などをします。その成果として、確実なドイツ語力が身につけられることでしょう。

授業の到達目標

シラバス　Schritte international 2のLektion8から11までを学びます。
各課ごとに3回の授業を使い、さまざまな練習を行います。

8課　Beruf und Arbeit 職業と仕事
学習内容：仕事に関する表現
　　現在・過去の出来事の表現
　　求人広告を読む

9課　In einer fremden Stadt　初めての町で
学習内容：観光局での問い合わせ
　　許可・禁止の表現
　　観光パンフレットを読む

10課　Gesundheit　健康
学習内容：身体に関する表現
　　病気や怪我の症状を表現し、治療法を理解する
　　病院の予約をとる
　　問い合わせの手紙を書く

11課　In der Stadt unterwegs 町の中で
学習内容：道順を尋ねる
　　場所・方向を表す表現
　　時刻表を理解する

教科書　Schritte international 2 (Hueber) 理工生協扱い

参考文献　独和辞典が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。
是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出
第１回テスト　８・９課
第２回テスト　10・11課

備考　同一教材（Schritte international 2）を使用する独語中級Iの授業を同時に受講することはできません。
ドイツ語力の向上のために積極的な授業参加が必要です。
出席が極端に少ない場合には単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級I　前期木2秋葉		
科目キー	2600121011		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　ドイツ語入門・初級を学び、ドイツ語の基礎を身につけた学生が対象の授業である。授業は演習形式で行うが、それぞれの授業は特徴ある目標を持ち、履修者は興味と要求にしたがって、「読解」「会話」「視聴覚」「表現」などの特定分野の能力向上を目指す。また、各演習の必要に応じ、基礎を超えた文法事項の解説と演習も行い、より複雑なドイツ語表現能力を身につける。ドイツ語圏に行った際に最低限必要なコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得もドイツ語中級の目標である。

授業の到達目標

シラバス　Schritte international 2のLektion8から11までを学びます。
各課ごとに3回の授業を使い、さまざまな練習を行います。

8課　Beruf und Arbeit 職業と仕事
学習内容：仕事に関する表現
　　現在・過去の出来事の表現
　　求人広告を読む

9課　In einer fremden Stadt　初めての町で
学習内容：観光局での問い合わせ
　　許可・禁止の表現
　　観光パンフレットを読む

10課　Gesundheit　健康
学習内容：身体に関する表現
　　病気や怪我の症状を表現し、治療法を理解する
　　病院の予約をとる
　　問い合わせの手紙を書く

11課　In der Stadt unterwegs 町の中で
学習内容：道順を尋ねる
　　場所・方向を表す表現
　　時刻表を理解する

教科書　Schritte international 2 (Hueber) 理工生協扱い

参考文献　独和辞典が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。
是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出
第1回テスト　8・9課
第2回テスト　10・11課

備考　同一教材（Schritte international 2）を使用する独語中級Iの授業を同時に受講することはできません。
ドイツ語力の向上のために積極的な授業参加が必要です。
出席が極端に少ない場合には単位の取得は認められません。

関連URL:　関連URL
http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級I　前期木3石井		
科目キー	2600121011		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　すでにドイツ語の初級IIAまたはIIBを履修した学生のための科目です。
IIBの継続教科書を使用します。文法を学びながら、表現力を身につけています。
なお、文法レベルは初級IIAと同程度ですが、初級IA・IIAで学習した文法レベルに応じた語彙力・表現力の獲得を目標にしています。
毎回の授業で、トレーニングを積み上げ、表現演習・読解演習などをします。その成果として、確実なドイツ語力が身につけられることでしょう。

授業の到達目標

シラバス　Schritte international 2のLektion8から11までを学びます。
各課ごとに3回の授業を使い、さまざまな練習を行います。

8課　Beruf und Arbeit 職業と仕事
学習内容：仕事に関する表現
　　現在・過去の出来事の表現
　　求人広告を読む

9課　In einer fremden Stadt　初めての町で
学習内容：観光局での問い合わせ
　　許可・禁止の表現
　　観光パンフレットを読む

10課　Gesundheit　健康
学習内容：身体に関する表現
　　病気や怪我の症状を表現し、治療法を理解する
　　病院の予約をとる
　　問い合わせの手紙を書く

11課　In der Stadt unterwegs 町の中で
学習内容：道順を尋ねる
　　場所・方向を表す表現
　　時刻表を理解する

教科書　Schritte international 2 (Hueber) 理工生協扱い

参考文献　独和辞典が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。
是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出
第1回テスト　8・9課
第2回テスト　10・11課

備考　同一教材（Schritte international 2）を使用する独語中級Iの授業を同時に受講することはできません。
ドイツ語力の向上のために積極的な授業参加が必要です。
出席が極端に少ない場合には単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級I　前期木3中村		
科目キー	2600121011		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　すでにドイツ語の初級IIAまたはIIBを履修した学生のための科目です。
初級IIAの延長線上にある文法項目を学びます。同時に、ベルリンに住む若者たちを描いたビデオ教材を用いて、1年次に学習したドイツ語の知識をさらに確実なものとしていきます。主人公の若者たちの発言や行動を通してドイツの日常生活の一端を知ることにもなります。文法的な整理をしながら生活の中で使われるドイツ語を学び、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」ことのできるドイツ語力の獲得をめざします。

授業の到達目標

シラバス　「ドイツ語100」の10課-14課、ビデオ教材 "Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1" の1課-4課を学びます。「ドイツ語100」の練習問題、ビデオ教材のテキストの読解、語彙練習など、さまざまな練習を行います。

1. ビデオ教材 Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1
   Abschnitt 1, Hallo, Julia!「ハロー, ユーリア！」(1)
   1年次に学んだ文法事項や語彙の復習を兼ねます。
2. ドイツ語100:10課(再帰動詞・zu不定詞)(1)
   Hallo, Julia!「ハロー, ユーリア！」(2)
3. ドイツ語100:10課 (2)
   Abschnitt 2, Zu Hause「自宅で」(1)
4. ドイツ語マスター100:第11課 (受動態) (1)
   Abschnitt 2, Zu Hause「自宅で」(2)
5. ドイツ語マスター100:第11課 (2)
   Abschnitt 2, Zu Hause「自宅で」(3)
6. ドイツ語100:12課(関係代名詞・指示代名詞)(1)
   Abschnitt 3, Was machst du?「何をしているの？」(1)
7. ドイツ語100:12課(関係代名詞・指示代名詞)(2)
   Abschnitt 3, Was machst du?「何をしているの？」(2)
8. ドイツ語100:13課(接続法)(1)
   Abschnitt 3, Was machst du?「何をしているの？」(3)
9. ドイツ語100:13課(接続法)(2)
   Abschnitt 4, Probleme「難題」(1)
10. ドイツ語100:13課(接続法)(3)
    Abschnitt 4, Probleme「難題」(2)
11. ドイツ語100:14課(接続詞・合成名詞)(1)
    Abschnitt 4, Probleme「難題」(3)

教科書　「ドイツ語100」
"Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1"
(早稲田大学理工学部生協書籍店扱い)

参考文献　予復習のために中型独和辞書が必要です。

評価方法　平常点、提出課題、試験結果を総合して評価します。
第1回テスト 「ドイツ語100」10・11課 ビデオ教材 Abschnitt 1-2
第2回テスト 「ドイツ語100」12・14課 ビデオ教材 Abschnitt 3-4

備考　この授業と同一の教材("Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1")を使用する独語中級Iの授業を同時に受講することはできません。
ドイツ語力の向上のために積極的な授業参加が必要です。出席が極端に少ない場合には単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級I　前期木３中村		
科目キー	2600121011		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	２年以上

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級II　後期木2秋葉		
科目キー	2600121012		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	秋葉　裕一		

副題

授業概要　ドイツ語入門・初級を学び、ドイツ語の基礎を身につけた学生が対象の授業である。授業は演習形式で行うが、それぞれの授業は特徴ある目標を持ち、履修者は興味と要求にしたがって、「読解」「会話」「視聴覚」「表現」などの特定分野の能力向上を目指す。また、各演習の必要に応じ、基礎を超えた文法事項の解説と演習も行い、より複雑なドイツ語表現能力を身につける。ドイツ語圏に行った際に最低限必要なコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得もドイツ語中級の目標である。

授業の到達目標

シラバス　Schritte international 2のLektion12から14までを学びます。
各課ごとに3・4回の授業を使い、さまざまな練習を行います。

12課　Der Kunde ist Koenig お客様は王様です
学習内容:お店でのやりとり
　ていねいな依頼のしかた
　期限・期日の表現

13課　Neute Kleider 新しい服
学習内容:衣服に関する表現
　好みを表現する
　Dativ(3格)表現の重要動詞

14課　Feste お祝い
学習内容:日にちの正確な表現
　承諾・断りの返答
　招待状を読む・書く

補足教材(授業中に配布)
学習内容:副文表現 dass, weil, alsなどを含む表現の演習

教科書　Schritte international 2 (Hueber)　理工生協扱い

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。
是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出
第1回テスト　12課・13課
第2回テスト　14課・補足教材

備考　備考
同一教材(Schritte international 2)を使用する独語中級IIの授業を同時に受講することはできません。
ドイツ語力の向上のために積極的な授業参加が必要です。
出席が極端に少ない場合には単位の取得は認められません。

関連URL:　関連URL
http://www.german.sci.ac.waseda.jp/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級II　後期木3石井		
科目キー	2600121012		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　すでにドイツ語の中級I(「Schritte international 2 」8課から10課)を履修した学生のための科目です。中級IIの授業では、ヨーロッパ基準A1レベル獲得が目標です。
教材の後半を使用し、初級文法の完成と理解力・表現力の向上をめざします。引き続き、表現演習・読解演習などをします。その成果として、確実なドイツ語力が身につけられることでしょう。

授業の到達目標

シラバス　Schritte international 2のLektion12から14までを学びます。
各課ごとに3・4回の授業を使い、さまざまな練習を行います。

12課　Der Kunde ist Koenig お客様は王様です
学習内容:お店でのやりとり
　ていねいな依頼のしかた
　期限・期日の表現

13課　Neute Kleider 新しい服
学習内容:衣服に関する表現
　好みを表現する
　Dativ(3格)表現の重要動詞

14課　Feste お祝い
学習内容:日にちの正確な表現
　承諾・断りの返答
　招待状を読む・書く

補足教材(授業中に配布)
学習内容:副文表現 dass, weil, alsなどを含む表現の演習

教科書　Schritte international 2 (Hueber)　理工生協扱い

参考文献　独和辞書が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出
第1回テスト　12課・13課
第2回テスト　14課・補足教材

備考　同一教材(Schritte international 2)を使用する独語中級IIの授業を同時に受講することはできません。
ドイツ語力の向上のために積極的な授業参加が必要です。
出席が極端に少ない場合には単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.ac.waseda.jp/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級II　後期木3中村		
科目キー	2600121012		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　中級Iの終了者を対象とする科目です。
ドイツ・ベルリンに住む若い人々の生活ぶりを伝えるビデオ教材を使用します。日常的な使用頻度の高い語彙を用いて，「読む」「聞く」「話す」「書く」練習をし、これまでに学んだドイツ語をさらに定着・深化させていきます。「ドイツ語100」も適宜使用します。
中級IIの授業では、ヨーロッパ基準A1レベル獲得が目標です。

授業の到達目標

シラバス　"Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1" の5課-12課を学びます。学期始めに、1課から4課までの復習をします。
最初は一つの章に2時間程度を予定していますが、語彙にも内容にも慣れたころから、少しずつテンポを速めていきます。読解、語彙練習、会話練習、作文など、さまざまな練習を行います。

Abschnitt 1-4.
登場人物・状況設定の紹介（復習）をします。
Abschnitt 5
Die Boutique 「ブティック」
学習内容　否定：keinとnicht など
Abschnitt 6
Wie schmeckt's？「味はどう？」
学習内容　„so viel“, „nicht so viel“ など
Abschnitt 7
Wie gefällt dir das？「気に入った？」
学習内容　形容詞の変化：ein modernes T-Shirt など
Abschnitt 8
Geburtstag「誕生日」
学習内容　お祝いの言葉（おめでとう）：Herzlichen Glückwunsch! など
Abschnitt 9
Arbeit「仕事」
学習内容　間接話法：..., dass das kein Problem sei. など
Abschnitt 10
Besuch「訪問」
学習内容　謝罪の表現::Es tut mir Leid. など
Abschnitt 11
Berlin「ベルリン」
学習内容　過去の出来事を表現する：Ich hab' s ja gewusst？ など
Abschnitt 12
Sport「スポーツ」
学習内容　副文：Weißt du, wie man Basketball spielt？ など

教科書　"Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1"
「ドイツ語100」
（早稲田大学理工学部生協書籍店扱い）

参考文献　予復習のために中型独和辞書が必要です。

評価方法　平常点、提出課題、試験結果を総合して評価します。
第1回テスト　Abschnitt 5-8
第2回テスト　Abschnitt 9-12

備考　この授業と同一の教材("Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1")を使用する独語中級IIの授業を同時に受講することはできません。
ドイツ語力の向上のために積極的な授業参加が必要です。出席が極端に少ない場合には単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級II　後期木3中村		
科目キー	2600121012		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級II　後期金3石井		
科目キー	2600121012		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石井　道子		

副題

授業概要　中級Iの終了者を対象とする科目です。
ドイツ・ベルリンに住む若い人々の生活ぶりを伝えるビデオ教材を使用します。日常的な使用頻度の高い語彙を用いて，「読む」「聞く」「話す」「書く」練習をし、これまでに学んだドイツ語をさらに定着・深化させていきます。「ドイツ語100」も適宜使用します。
中級IIの授業では、ヨーロッパ基準A1レベル獲得が目標です。

授業の到達目標

シラバス　"Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1" の5課-12課を学びます。学期始めに、1課から4課までの復習をします。
最初は一つの章に2時間程度を予定していますが、語彙にも内容にも慣れたころから、少しずつテンポを速めていきます。読解、語彙練習、会話練習、作文など、さまざまな練習を行います。

Abschnitt 1-4.
　登場人物・状況設定の紹介（復習）をします。
Abschnitt 5
　Die Boutique 「ブティック」
　学習内容　否定：keinとnicht など
Abschnitt 6
　Wie schmeckt's？「味はどう？」
　学習内容　„so viel“, „nicht so viel“ など
Abschnitt 7
　Wie gefällt dir das？「気に入った？」
　学習内容　形容詞の変化：ein modernes T-Shirt など
Abschnitt 8
　Geburtstag「誕生日」
　学習内容　お祝いの言葉（おめでとう）：Herzlichen Glückwunsch! など
Abschnitt 9
　Arbeit「仕事」
　学習内容　間接話法：..., dass das kein Problem sei. など
Abschnitt 10
　Besuch「訪問」
　学習内容　謝罪の表現::Es tut mir Leid. など
Abschnitt 11
　Berlin「ベルリン」
　学習内容　過去の出来事を表現する：Ich hab' s ja gewusst？ など
Abschnitt 12
　Sport「スポーツ」
　学習内容　副文：Weißt du, wie man Basketball spielt？ など

教科書　Treffpunkt Berlin. Deutsch Aktuell 1
「ドイツ語１００」
（早稲田大学理工学部生協書籍店扱い）

参考文献　予復習のために中型独和辞書が必要です。

評価方法　平常点、提出課題、試験結果を総合して評価します。
第１回テスト　Abschnitt 5-8
第２回テスト Abschnitt 9-12

備考　この授業と同一の教材を使用する独語中級IIの授業を同時に受講することはできません。
ドイツ語力の向上のために積極的な授業参加が必要です。出席が極端に少ない場合には単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級II　後期金3石井		
科目キー	2600121012		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

その他　　%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語中級II　後期金４中村		
科目キー	2600121012		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	中村　采女		

副題

授業概要　ドイツ語入門・初級を学び、ドイツ語の基礎を身につけた学生が対象の授業である。授業は演習形式で行うが、それぞれの授業は特徴ある目標を持ち、履修者は興味と要求にしたがって、「読解」「会話」「視聴覚」「表現」などの特定分野の能力向上を目指す。また、各演習の必要に応じ、基礎を超えた文法事項の解説と演習も行い、より複雑なドイツ語表現能力を身につける。ドイツ語圏に行った際に最低限必要なコミュニケーション能力、ドイツ語で情報収集する能力の修得もドイツ語中級の目標である。

授業の到達目標

シラバス　Schritte international 2のLektion12から14までを学びます。
各課ごとに3・4回の授業を使い、さまざまな練習を行います。

12課　Der Kunde ist Koenig お客様は王様です
学習内容：お店でのやりとり
　ていねいな依頼のしかた
　期限・期日の表現

13課　Neute Kleider 新しい服
学習内容：衣服に関する表現
　好みを表現する
　Dativ（3格）表現の重要動詞

14課　Feste お祝い
学習内容：日にちの正確な表現
　承諾・断りの返答
　招待状を読む・書く

補足教材（授業中に配布）
学習内容：副文表現 dass, weil, alsなどを含む表現の演習

教科書　Schritte international 2 (Hueber) 理工生協扱い

参考文献　独和辞典が必要です。
教科書にはCD-ROMが付いています。聞き取り練習、インターアクティヴな練習問題などが多数収録されています。
是非活用してください。

評価方法　平常点、課題提出
第１回テスト　12課・13課
第２回テスト　14課・補足教材

備考　同一教材（Schritte international 2）を使用する独語中級IIの授業を同時に受講することはできません。
ドイツ語力の向上のために積極的な授業参加が必要です。
出席が極端に少ない場合には単位の取得は認められません。

関連URL:　http://www.german.sci.waseda.ac.jp/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語上級I　前期月4シュレヒト		
科目キー	2600121013		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題　Junge Leute in Europa

授業概要　Im Unterricht verwenden wir Videos, in denen sechs junge Leute vorgestellt werden. Sie alle leben in einem europäischen Land: In Deutschland, in Österreich, in der Schweiz, in Liechtenstein oder in Italien (Südtirol). Ihre Muttersprache（母語）ist Deutsch. Wir beschäftigen uns intensiv mit dem Inhalt der einzelnen Szenen, um zu sehen, wie diese jungen Leute leben, was sie denken und was sie fühlen. Wir üben dabei das Hörverständnis（聞き取り能力）und lernen viele neue Wendungen（表現）für den Gebrauch im Alltag（日常会話）. In den einzelnen Szenen gibt es immer wieder auch Diskussionen, z. B. mit Freunden oder anderen Familienmitgliedern. Anhand dieser Diskussionen wollen wir lernen und üben, wie man auf Deutsch seine eigene Meinung（意見）ausdrückt.

Natürlich liefern uns die Videoszenen auch wichtige Informationen über Deutschland, Österreich, die Schweiz, Liechtenstein und Südtirol. Wir beschäftigen uns im Unterricht (anhand von zusätzlichen Lesetexten und anderen Materialien) mit verschiedenen Aspekten dieser Länder: z. B. Schulsystem, Esskultur, Hobby, Freizeit, Urlaub, Lebensstil, Musik, Mode etc.

Im Unterricht verwenden wir ein System mit dem Namen "LINCS" (Internet-based E-Learning System). Die Teilnehmer/innen an dieser Klasse können alle Texte, Übungen und Hausaufgabenblätter über das Internet herunterladen und zu Hause bearbeiten.

授業の到達目標

シラバス　Im Sommersemester（前期）und im Wintersemeter（後期）behandeln wir jeweils zwei Videoszenen. Im ersten Unterricht bekommen die Teilnehmer/innen genauere Informationen.

（前期のみ、または後期のみ履修も可）

Hier ein kurzer Überblick über die einzelnen Szenen:

■ Sandra aus Hamburg:
Sie studiert Medizin. Ihr Freund heißt Jan. Die beiden sind oft zusammen, sie gehen gemeinsam einkaufen, treffen Freunde, gehen ins Cafe, besuchen einen Flohmarkt, bummeln durch den Hamburger Hafen ... Sandras Hobby ist Segeln. Wir sehen sie auf einem Segelboot auf einem See.

■ Björn aus Wien:
Björn besucht das Gymnasium. Seine Schule befindet sich nicht in einem normalen Haus, sondern in einem alten Schiff (!) auf der Donau. Er führt uns durch seine Schule, und dabei lernen wir seine Schulkameraden und seine Lehrer/innen kennen. Sein Hobby ist "Inline-Skating". Er zeigt uns die Stadt Wien. Im Prater, einem Vergnügungspark（遊園地）, trifft er am Nachmittag seine Freunde.

■ Christiane aus Berlin
Sie möchte Schauspielerin werden. Sie stellt uns ihre Schule vor. Sie lebt in einer Wohnung zusammen mit ihrer Freundin Josy in Prenzlauer Berg. Das ist ein Berliner Stadtteil, in dem viele junge Leute wohnen. Dort gibt es zahlreiche nette Cafes, Restaurants, Kneipen ... In ihrer Freizeit malt Christiane gern Bilder.

■ Peter aus Brixen:
Er lebt in Südtirol. Südtirol gehört zu Italien, aber viele Leute dort sprechen Deutsch. Er besucht in Brixen eine Hotelfachschule. Seine Eltern betreiben ein kleines Hotel, das er später übernehmen soll. Seine Hobbys sind Fußball und Snowboarding.

■ Nina aus Luzern:
Luzern ist eine Stadt in der Schweiz. Nina besucht dort ein Gymnasium. Einmal pro Woche arbeitet sie als Ansagerin（アナウンサー）in einem Studio. Ihr Hobby ist "Modern Dance", und oft geht sie mit ihren Freunden in einen Fitness-Park. Am Abend trifft sie meist ihre Freunde und Freundinnen in einen Klub für junge Leute. Der Klub heißt "Treibhaus".

■ Baris aus Liechtenstein:
Baris besucht in der Stadt Vaduz eine Realschule. Er zeigt uns die Stadt und das Schloss. Seine Hobbys sind Kick-

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語上級I　前期月4シュレヒト		
科目キー	2600121013		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

Boxing und Saxophon. Er ist Mitglied in einer Band. Baris stellt uns auch seine Familie vor: Seinen Vater (aus der Türkei) und seine Schwester.

教科書　適宜資料のコピーを配布します。練習問題、宿題はその都度教室で指示します。

参考文献　詳細は授業中に説明します。

評価方法　教場試験や小テスト、平常点や出席状況、宿題の提出など、総合的に評価します。

備考　「少しでもドイツ語が話せるようになりたい」という気持ちで、積極的に授業に参加してください。この講座を履修するには、ドイツ語文法の基礎知識とある程度の語彙力を必要とします。すでに最低3年間程度ドイツ語を勉強しているか、またはそれと同程度のドイツ語力を前提とします。

（前期のみ、または後期のみ履修も可）

＊担当教員連絡先：　W. シュレヒト（schlecht@waseda.jp）

関連URL:　国際文化領域ドイツ語教室HP:

http://www.german.sci.waseda.ac

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語上級II　後期月4シュレヒト		
科目キー	2600121014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

副題　Junge Leute in Europa

授業概要　Im Unterricht verwenden wir Videos, in denen sechs junge Leute vorgestellt werden. Sie alle leben in einem europäischen Land: In Deutschland, in Österreich, in der Schweiz, in Liechtenstein oder in Italien (Südtirol). Ihre Muttersprache(母語)ist Deutsch. Wir beschäftigen uns intensiv mit dem Inhalt der einzelnen Szenen, um zu sehen, wie diese jungen Leute leben, was sie denken und was sie fühlen. Wir üben dabei das Hörverständnis (聞き取り能力)und lernen viele neue Wendungen(表現)für den Gebrauch im Alltag (日常会話). In den einzelnen Szenen gibt es immer wieder auch Diskussionen, z. B. mit Freunden oder anderen Familienmitgliedern. Anhand dieser Diskussionen wollen wir lernen und üben, wie man auf Deutsch seine eigene Meinung (意見)ausdrückt.

Natürlich liefern uns die Videoszenen auch wichtige Informationen über Deutschland, Österreich, die Schweiz, Liechtenstein und Südtirol. Wir beschäftigen uns im Unterricht (anhand von zusätzlichen Lesetexten und anderen Materialien) mit verschiedenen Aspekten dieser Länder: z. B. Schulsystem, Esskultur, Hobby, Freizeit, Urlaub, Lebensstil, Musik, Mode etc.

Im Unterricht verwenden wir ein System mit dem Namen "LINCS" (Internet-based E-Learning System). Die Teilnehmer/innen an dieser Klasse können alle Texte, Übungen und Hausaufgabenblätter über das Internet herunterladen und zu Hause bearbeiten.

授業の到達目標

シラバス　Im Sommersemester(前期)und im Wintersemeter(後期)behandeln wir jeweils zwei Videoszenen. Im ersten Unterricht bekommen die Teilnehmer/innen genauere Informationen.

(前期のみ、または後期のみ履修も可)

Hier ein kurzer Überblick über die einzelnen Szenen:

■ Sandra aus Hamburg:
Sie studiert Medizin. Ihr Freund heißt Jan. Die beiden sind oft zusammen, sie gehen gemeinsam einkaufen, treffen Freunde, gehen ins Cafe, besuchen einen Flohmarkt, bummeln durch den Hamburger Hafen ... Sandras Hobby ist Segeln. Wir sehen sie auf einem Segelboot auf einem See.

■ Björn aus Wien:
Björn besucht das Gymnasium. Seine Schule befindet sich nicht in einem normalen Haus, sondern in einem alten Schiff (!) auf der Donau. Er führt uns durch seine Schule, und dabei lernen wir seine Schulkameraden und seine Lehrer/innen kennen. Sein Hobby ist "Inline-Skating". Er zeigt uns die Stadt Wien. Im Prater, einem Vergnügungspark(遊園地), trifft er am Nachmittag seine Freunde.

■ Christiane aus Berlin
Sie möchte Schauspielerin werden. Sie stellt uns ihre Schule vor. Sie lebt in einer Wohnung zusammen mit ihrer Freundin Josy in Prenzlauer Berg. Das ist ein Berliner Stadtteil, in dem viele junge Leute wohnen. Dort gibt es zahlreiche nette Cafes, Restaurants, Kneipen ... In ihrer Freizeit malt Christiane gern Bilder.

■ Peter aus Brixen:
Er lebt in Südtirol. Südtirol gehört zu Italien, aber viele Leute dort sprechen Deutsch. Er besucht in Brixen eine Hotelfachschule. Seine Eltern betreiben ein kleines Hotel, das er später übernehmen soll. Seine Hobbys sind Fußball und Snowboarding.

■ Nina aus Luzern:
Luzern ist eine Stadt in der Schweiz. Nina besucht dort ein Gymnasium. Einmal pro Woche arbeitet sie als Ansagerin (アナウンサー)in einem Studio. Ihr Hobby ist "Modern Dance", und oft geht sie mit ihren Freunden in einen Fitness-Park. Am Abend trifft sie meist ihre Freunde und Freundinnen in einen Klub für junge Leute. Der Klub heißt "Treibhaus".

■ Baris aus Liechtenstein:
Baris besucht in der Stadt Vaduz eine Realschule. Er zeigt uns die Stadt und das Schloss. Seine Hobbys sind Kick-

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	独語上級II　後期月4シュレヒト		
科目キー	2600121014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員			

Boxing und Saxophon. Er ist Mitglied in einer Band. Baris stellt uns auch seine Familie vor: Seinen Vater (aus der Türkei) und seine Schwester.

教科書　適宜資料のコピーを配布します。練習問題、宿題はその都度教室で指示します。

参考文献　詳細は授業中に説明します。

評価方法　教場試験や小テスト、平常点や出席状況、宿題の提出など、総合的に評価します。

備考　「少しでもドイツ語が話せるようになりたい」という気持ちで、積極的に授業に参加してください。この講座を履修するには、ドイツ語文法の基礎知識とある程度の語彙力を必要とします。すでに最低3年間程度ドイツ語を勉強しているか、またはそれと同程度のドイツ語力を前提とします。

（前期のみ、または後期のみ履修も可）

＊担当教員連絡先：　W. シュレヒト（schlecht@waseda.jp）

関連URL:　国際文化領域ドイツ語教室HP:

http://www.german.sci.waseda.ac

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期月５佐山		
科目キー	2600131001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	佐山　一		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　半年間で、教科書『カジュアルにフランス語１』のうち、第１課から第７課までを学習します。
そのことを通じて、フランス語のしくみの基礎の基礎をじっくりと学び、しっかり確実に身につけることを目指します。
随時かんたんな小テストを行い、ふだんからの反復練習を積み上げてゆきたいと思います。また、できるだけフランス文化に触れる機会を設けて、新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。総体として楽しい授業になるよう心がけます。
少しでもフランス語に興味のある人は、気軽に参加してみてください。

教科書　沼田・松村ほか著『カジュアルにフランス語 1』（朝日出版社）本体価格２２００円。理工生協書籍部扱い。

参考文献　辞書:「プチ・ロワイヤル仏和辞典」旺文社（本体3700円）、同［CD付き版］（本体3800円）

評価方法　小テストを含む平常点を１／２、教場試験の結果を１／２の割合で成績評価を下します。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）がありますが、「仏語初級IA」と「仏語初級IB」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期火3但田		
科目キー	2600131001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1』第1課から第7課まで。

教科書のダイアローグ、単語をくり返しとりあげ、身につけることを目指します。
新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。

教科書　沼田・松村・米谷・バンドロム・エディ著『カジュアルにフランス語』、朝日出版社

理工生協書籍部取り扱い

参考文献　参考書、辞書類については、授業中に紹介します。

評価方法　平常点（出席）と期末試験の成績を合わせて評価します。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）がありますが、「仏語初級IA」と「仏語初級IB」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期火５貴田		
科目キー	2600131001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	貴田　晃		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期(半年)で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身につくはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書のダイアローグ、単語を繰り返しとりあげ、身につけることを目指します。それと同時に、フランス文学に関する映画、ドキュメンタリー、CDなどを鑑賞して、新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるように工夫するつもりです。
楽しい授業を目指しますので気軽に参加してみて下さい。

教科書　「カジュアルにフランス語」第1課から第7課まで

参考文献

評価方法　学期末試験及び平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級1B」(多様な表現の習得に重点)がありますが、「仏語初級1A」と「仏語初級1B」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級1A」の後は「仏語初級2A」を履修することが望まれますが、「仏語初級2B」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級2A」(あるいは「仏語初級2B」)を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期水3加藤		
科目キー	2600131001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	加藤　雅郁		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1』第1課から第7課まで。

フランス語の使い方を基礎から楽しくすすめます。言葉の規則と背景にある文化もいろいろな形で紹介していくつもりです。楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。

教科書　『カジュアルにフランス語1』（朝日出版社） 2200円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）がありますが、「仏語初級IA」と「仏語初級IB」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級 IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏 語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期木2宇田川		
科目キー	2600131001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	宇田川　和夫		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　下に記した教科書『カジュアルにフランス語』の第1課から第7課までを学習します。
発音と文法事項の解説に時間を割き，初めて学ぶ人にできるだけわかりやすい授業を行うつもりです。
教科書にはCDが付属していますので，自宅での学習に活用してください。
時間の許す限り，フランスの文化に関わる事項にも触れたいと思います。

教科書　沼田五十六・松村博史・米谷巍洋・バンドロム　エディ　共著
『カジュアルにフランス語』（朝日出版社）　本体定価2200円

参考文献

評価方法　筆記試験および平常点を主体として総合的に判断します。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）がありますが、「仏語初級IA」と「仏語初級IB」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期木3中沢		
科目キー	2600131001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中沢　信一		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項でも少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身につくはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1』の第1課から第7課まで。
教科書は、簡単な日常会話、文法事項、練習問題の3部構成となっています。並行して開講されている「仏語初級IB」よりやや文法事項が多くなっていますが、文法はあくまでフランス語の解く亮を理解して表現力の向上につなげるための1手段にすぎません。とにかくフランス語で簡単な日常会話ができるようになることを目指しましょう。たまには私のフランスでの体験談なども交えて、楽しい授業にしたいと思います。

教科書　『カジュアルにフランス語1』沼田・他著、朝日出版2200円

参考文献　特に無し

評価方法　学期末試験と平常点による総合評価。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（言葉の仕組みを理解することに重点）がありますが、「仏語初級IA」と「仏語初級IB」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお勧めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　前期木4綾部		
科目キー	2600131001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　素幸		

副題　フランス語の学習を楽しく始めよう。

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　『カジュアルにフランス語1』第1課から第7課まで。
　語学学習の最終的な目的の一つに、総合的なコミュニケーション能力の修得がありますが、この授業では、その最初の段階の基礎作りをします。授業は、じっくりと進めます。教科書に出て来る例文は覚えてしまうようにしてください。例文は自然な日常フランス語です。例文を覚えることでフランス語の文法が身につきます。
　また、時間を見つけて、フランス文化に関する映画、ドキュメンタリーなどの映像、CDなども 鑑賞したいと思います。言語の背景にあるフランス文化に親しむ切っ掛けにしてください。受講する皆さんと協同して楽しい授業にしたいと願っています。

教科書　『カジュアルにフランス語1』（朝日出版社）2200円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）がありますが、「仏語初級IA」と「仏語初級IB」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IA　後期火5楠本		
科目キー	2600131001		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	楠本　重行		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。言葉の仕組みを理解することを主な狙いとしていますが、文法の説明にかたよることなく、日常的な表現も身につけることも目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1』第1課から第7課まで。
文法解説はできるだけ簡潔にし、やさしい練習問題とCDによる発音練習によって基本事項を確実に身につけることをめざします。

教科書　『カジュアルにフランス語1』（朝日出版社）2200円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IB」（多様な表現の習得に重点）がありますが、「仏語初級IA」と「仏語初級IB」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IA」の後は「仏語初級IIA」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIB」を履修することも可能です。このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIA」（あるいは「仏語初級IIB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期月４中沢		
科目キー	2600131002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中沢　信一		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項でも少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身につくはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』の第1課から第16課まで。
教科書は、簡単な会話、慣用表現、文法事項、練習問題の4部構成となっています。極めて平易な内容なので、1回の授業授業で１課半をめどに進めます。文法事項はフランス語の特徴を理解するためのあくまでも補助的なものですので、授業の中心は基本表現を口頭で繰り返し言うことによって完全に身に付けることです。私のフランスでの体験談なども交えながら、楽しい授業にしたいと思います。

教科書　共通教科書『レ・ランコントル1』杉山利恵子著、第三書房2000円

参考文献　特に無し

評価方法　学期末試験と平常点による総合評価。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）がありますが、「仏語初級IB」と「仏語初級IA」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIA」を履修することも可能です。このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお勧めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期火2塩塚		
科目キー	2600131002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル１』第１課から第１６課まで。

教科書のダイアローグ、単語をくり返しとりあげ、身につけることを目指します。
と同時に、フランス文化に関する映画、ドキュメンタリー、CDなどを鑑賞して、新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。
楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。

教科書　『レ・ランコントル１』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之助『外国語の水曜日　学習法としての言語学入門』（現代書館）
→理系大学での語学授業の様子が面白い！

黒田龍之助『その他の外国語　役に立たない語学のはなし』（現代書館）

千野栄一『外国語上達法』（岩波新書）

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）がありますが、「仏語初級IB」と「仏語初級IA」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIA」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:　街角にはへんてこなフランス語があふれている。フランス語を学ぶと、そんな「フランポネ」（日本製フランス

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
（2010年度以前）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期火5坂口		
科目キー	2600131002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	坂口　哲啓		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。
このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第1課から第16課まで。
［教科書のダイアローグ、単語を繰り返しとりあげ、身につけることを目指します。
と同時に、フランス文化に関する映画、ドキュメンタリー、CDなどを鑑賞して、
新しい言葉の学習が新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。楽しい
授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。］

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）がありますが、「仏語初級IB」と「仏語初級IA」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIA」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期水2加藤		
科目キー	2600131002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	加藤　雅郁		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル１』第１課から第１６課まで。

フランス語会話を楽しくできるように、簡単な会話のスケッチを一緒に真似して、声を出していきましょう。発音については、特に丁寧に練習します。フランス文化についても、幅広く紹介していきます。新しい文化との出会いを楽しんでいただければと期待しています。楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。

教科書　『レ・ランコントル１』（第三書房）2000円

参考文献　参考書・資料等は必要に応じて授業で紹介します。

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）がありますが、「仏語初級IB」と「仏語初級IA」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級IIA」を履修することも可能です。このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期木1楠本		
科目キー	2600131002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	楠本　重行		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第1課から第16課まで。
文法解説はできるだけ簡潔にし、CDによる発音練習などを繰り返すことによって基本的な単語や表現を少しでも多く習得できるようにしてゆきます。

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）がありますが、「仏語初級IB」と「仏語初級IA」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級 IIA」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期木4斎藤		
科目キー	2600131002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	斎藤　公一		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第1課から第20課まで。

教科書のダイアローグ、単語をくり返しとりあげ、身につけることを目指します。
時間があれば、フランス文化に関するもの（映画、CDなど）を通して、英語圏以外の世界へヴァーチャルな旅をします。フランス語に触れることによって新しいものの見方ができるように一緒に学びましょう。肩の凝らない授業にしていくつもりです。

教科書　杉山利恵子『レ・ランコントル1』（第三書房）2,000円

参考文献　授業が始まってから必要があれば推薦します。

評価方法　学期末試験および平常点によって行います。

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）がありますが、「仏語初級IB」と「仏語初級IA」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級 IIA」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:　http://npu4.free.fr/dotclear/index.php

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　前期金1佐山		
科目キー	2600131002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐山　一		

副題

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　半年間で、教科書『レ・ランコントル1』のうち第1課から第16課までを終えます。
したがって、2回の授業でほぼ3課ずつ進む予定です。

教科書のダイアローグとその応用をくりかえし練習することによって、
ごく簡単な日常会話をしっかり身につけてしまいましょう。
関連する文法項目も説明しますが、主眼はあくまでも会話練習となります。
さらにはフランスの歌を聴く機会を設けることによって、聞き取りの訓練はもとより、
新しい世界との出会いのきっかけにもなればよいと思います。

楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円。理工生協書籍部扱い。

参考文献　辞書:「プチ・ロワイヤル仏和辞典」旺文社（本体3700円）、同［CD付き版］（本体3800円）

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）がありますが、「仏語初級IB」と「仏語初級IA」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級 IIA」を履修することも可能です。
このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IB　後期木5綾部		
科目キー	2600131002		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	綾部　素幸		

副題　フランス語の学習を楽しく始めよう。

授業概要　初めてフランス語を学ぶ学生を対象に設置されるクラスで、半期（半年）で一区切りとなります。頻繁に目にし耳にする口語的な表現を使いこなせるようになることを主な狙いとしています。同時に文法事項も少しずつ学び、応用能力をつけることを目指します。このクラスを受講するだけでも、旅行などでサバイバルできる程度のフランス語が身に付くはずです。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第1課から第16課まで。
　語学学習の最終的な目的の一つに、総合的なコミュニケーション能力の修得がありますが、この授業では、その最初の段階の基礎作りをします。授業は、じっくりと進めます。教科書に出て来る例文は覚えてしまうようにしてください。例文は自然な日常フランス語です。例文を覚えることでフランス語の文法が身につきます。
　また、時間を見つけて、フランス文化に関する映画、ドキュメンタリーなどの映像、CDなども 鑑賞したいと思います。言語の背景にあるフランス文化に親しむ切っ掛けにしてください。受講する皆さんと協同して楽しい授業にしたいと願っています。

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　同じレベルのクラスに「仏語初級IA」（言葉の仕組みを理解することに重点）がありますが、「仏語初級IB」と「仏語初級IA」は並行して同時に受講することも可能ですし、どちらか片方だけを受講しても構いません。また、「仏語初級IB」の後は「仏語初級IIB」を履修することが望まれますが、「仏語初級 IIA」を履修することも可能です。
　このクラスの履修後は、続けて「仏語初級IIB」（あるいは「仏語初級IIA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期月４昼間		
科目キー	2600131005		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	昼間　賢		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法を学びます。

授業の到達目標

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語１』第８課から第１６課まで。

実際には、授業３回で概ね２課（１課は見開き２ページ）進むことになります。
限られた時間の中で、不可欠な学習事項は簡潔に説明し、
受講生の皆さんにできるだけ読んでもらう、書いてもらう回数を増やすつもりです。

教科書　『カジュアルにフランス語１』（朝日出版社）2200円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期月５佐山		
科目キー	2600131005		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	佐山　一		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法を学びます。

授業の到達目標

シラバス　半年間で、教科書『カジュアルにフランス語１』の後半部、第８課から第１６課までを学習します。
そのことを通じて、フランス語のしくみの基礎の基礎をじっくりと学び、しっかり確実に身につけることを目指します。
随時かんたんな小テストを行い、ふだんからの反復練習を積み上げてゆきたいと思います。また、できるだけフランス文化に触れる機会を設けて、新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。総体として楽しい授業になるよう心がけます。
少しでもフランス語に興味のある人は、気軽に参加してみてください。

教科書　沼田・松村ほか著『カジュアルにフランス語 1』（朝日出版社）本体定価２２００円。理工生協書籍部扱い。

参考文献　辞書：「プチ・ロワイヤル仏和辞典」旺文社（本体3700円）、同［CD付き版］（本体3800円）

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期火５小林		
科目キー	2600131005		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	小林　拓也		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法を学びます。

授業の到達目標

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1』第8課から第16課まで。

外国語をいやいや学んでいませんか？フランス語は、フランス、スイス、カナダ、モロッコなど多くの国と地域で話されている国連の公用語です。また、フランスのエコール・ポリテクニークや原子力庁（CEA）、スイスのローザンヌ工科大学など、理工系の名門での基盤言語でもあり、少しでも身に付ければ様々な可能性が広がります。

本講では、語学だけでなく関連の文化も学び、受験英語とは違った「生きた外国語」としての習得を目指します。言葉の仕組みをしっかりとおさえ、フランス語WEBサイトの大意を理解できるレベルを当面の目標としますが、その先には、日本語や英語による思考システムとは別の物の見方を介した、新しい世界との出会いが待っていることでしょう。Bonne continuation!

教科書　『カジュアルにフランス語1』（朝日出版社）2200円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期水3加藤		
科目キー	2600131005		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	加藤　雅郁		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法を学びます。

授業の到達目標

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語1』第8課から第16課まで。

前期に引き続いて、フランス語の約束事を学んでいきます。単語の覚え方や簡単な文の訳し方など工夫を凝らして、楽しい雰囲気で進めたいと思います。またフランス文化の紹介も時間の許すかぎり積極的にしていきたいと思います。
楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。

教科書　『カジュアルにフランス語1』（朝日出版社） 2200円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期木3但田		
科目キー	2600131005		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。

原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法の後半について学びます。

授業の到達目標

シラバス　上記、講義概要を参照のこと。

授業では、教科書『カジュアルにフランス語』、第8課から第16課まで学習します。

教科書　沼田・松村・米谷・バンドロム・エディ著
『カジュアルにフランス語』、朝日出版社

理工生協書籍部取り扱い

参考文献　辞書、参考書類については、最初の授業のときに紹介します。

評価方法　平常点（出席）と期末試験の成績を合わせて評価します。

備考　「仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IA」（あるいは「仏語中級IB」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期木４床鍋		
科目キー	2600131005		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	床鍋　剛彦		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法の後半について学びます。

授業の到達目標

シラバス　1回目はガイダンス。以降、必要に応じて前期の復習を織り交ぜながら、教科書『レ・ランコントル１』の第２１課〜第４０課を1回2課ずつのペースで学習し、フランス語文法の仕組みを概観する。

教科書　仏語初級IB, IIB:『レ・ランコントル１』（第三書房）

参考文献　特になし。

評価方法　学期末試験(7割)および平常点。学生の理解度によっては若干の小テストを行うこともあり、その場合は平常点に加味する。

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級IB」（あるいは「仏語中級IA」）を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　後期金1宇田川		
科目キー	2600131005		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	宇田川　和夫		

副題

授業概要　仏語初級IA（あるいは仏語初級IB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IAに引き続き、フランス語初等文法を学びます。

授業の到達目標

シラバス　下に記した教科書『カジュアルにフランス語』の第8課から第16課までを学習します。
発音と文法事項の解説に時間を割き，初めて学ぶ人にできるだけわかりやすい授業を行うつもりです。
教科書にはCDが付属していますので，自宅での学習に活用してください。
時間の許す限り，フランスの文化に関わる事項にも触れたいと思います。

教科書　沼田五十六・松村博史・米谷巍洋・バンドロム　エディ共著
『カジュアルにフランス語』（朝日出版社）　本体定価2200円

参考文献

評価方法　筆記試験および平常点などを参考に，できるだけ総合的に判断します。

備考　「仏語初級IIA」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIA　前期金４床鍋		
科目キー	2600131005		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	床鍋　剛彦		

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期月２中沢		
科目キー	2600131006		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中沢　信一		

副題

授業概要　「仏語初級IB」(あるいは「仏語初級IA」)を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、「仏語初級IB」に引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』の第17課から第40課まで。
前期に16課まで終了した「仏語初級IB」に続く口座ですので、授業の進め方は基本的には前期と同じです。後期は前期より内容が多少多めで、全部で24課となります。1回で2課の割合ですが、平易な内容ですので無理なく覚えられると思います。とにかく、簡単な日常会話ができるようになることを目指し、はりきって頑張りましょう。

教科書　教科書『レ・ランコントル1』杉山利恵子著、第三書房

参考文献　特に無し

評価方法　学期末試験と平常点による総合評価。

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお勧めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期月４佐山		
科目キー	2600131006		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	佐山　一		

副題

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　半年間で、教科書『レ・ランコントル１』のうち第17課から第40課までを終えます。
したがって、１回の授業でほぼ2課ずつ進む予定です。

教科書のダイアローグとその応用をくりかえし練習することによって、
ごく簡単な日常会話をしっかり身につけてしまいましょう。
関連する文法項目も説明しますが、主眼はあくまでも会話練習となります。
さらにはフランスの歌を聴く機会を設けることによって、聞き取りの訓練はもとより、
新しい世界との出会いのきっかけにもなればよいと思います。

楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。

教科書　『レ・ランコントル１』（第三書房）2000円。理工生協書籍部扱い。

参考文献　辞書：「プチ・ロワイヤル仏和辞典」旺文社（本体3700円）、同［CD付き版］（本体3800円）

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期火４坂口		
科目キー	2600131006		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	坂口　哲啓		

副題

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル１』第１７課から４０課まで。
［教科書のダイアローグ、単語を繰り返しとりあげ、身につけることを目指します。
と同時に、フランス文化に関する映画、ドキュメンタリー、CDなどを鑑賞して、新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。］

教科書　『レ・ランコントル』（第三書房）2000円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期水2加藤		
科目キー	2600131006		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	加藤　雅郁		

副題

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内
容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第17課から第40課まで。

前期に引き続いて、フランス語会話の練習をスケッチに基づいて進めます。フランス語の発音になれて、聞き取りもうまくできるように少しずつ練習を重ねていきましょう。フランス文化の紹介もできるだけ授業の中で多彩に行いたいと思います。みなさんのリクエストにも応えたいと思います。楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期水４小林		
科目キー	2600131006		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	小林　拓也		

副題

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第17課から第40課まで。

外国語をいやいや学んでいませんか？フランス語は、フランス、スイス、カナダ、モロッコなど多くの国と地域で話されいる国連の公用語です。また、フランスのエコール・ポリテクニークや原子力庁（CEA）、スイスのローザンヌ工科大学など、理工系の名門での基盤言語でもあり、少しでも身に付ければ様々な可能性が広がります。

本講では、語学だけでなく関連の文化も学び、受験英語とは違った「生きた外国語」としての習得を目指します。会話能力を高めることに集中し、旅行で困らないレベルを当面の目標としますが、その先には、日本語や英語による思考システムとは別の物の見方を介した、新しい世界との出会いが待っていることでしょう。Bon courage!

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期木3塩塚		
科目キー	2600131006		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第17課から第40課まで。

教科書のダイアローグ、単語をくり返しとりあげ、身につけることを目指します。
と同時に、フランス文化に関する映画、ドキュメンタリー、CDなどを鑑賞して、新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。
楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之助『外国語の水曜日　学習法としての言語学入門』（現代書館）
→理系大学での語学授業の様子が面白い！

黒田龍之助『その他の外国語　役に立たない語学のはなし』（現代書館）

千野栄一『外国語上達法』（岩波新書）

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:　街角にはへんてこなフランス語があふれている。フランス語を学ぶと、そんな「フランポネ」（日本製フランス

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　後期木4斎藤		
科目キー	2600131006		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	斎藤　公一		

副題

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル1』第21課から第40課まで。

教科書のダイアローグ、単語をくり返しとりあげ、身につけることを目指します。
時間があれば、フランス文化に関するもの（映画、CDなど）を通して、英語圏以外の世界へヴァーチャルな旅をします。フランス語に触れることによって新しいものの見方ができるように一緒に学びましょう。肩の凝らない授業にしていくつもりです。

教科書　『レ・ランコントル1』（第三書房）2000円

参考文献　必要や希望があれば授業で推薦します。

評価方法　学期末試験および平常点によって評価します。

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語初級IIB　前期月４昼間		
科目キー	2600131006		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	昼間　賢		

副題

授業概要　仏語初級IB（あるいは仏語初級IA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。原則として、仏語初級IBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル１』第１７課から第４０課まで。

実際には、授業１回で概ね２課（見開き１ページ）進むことになります。
限られた時間の中で、不可欠な学習事項は簡潔に説明し、
受講生の皆さんにできるだけ読んでもらう、書いてもらう回数を増やすつもりです。

教科書　『レ・ランコントル１』（第三書房）2000円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語初級IIB」を修了したところで、フランス語初等文法の半分が終わったことになりますが、続けて「仏語中級I」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語IA（学院クラス）前期火2但田		
科目キー	2600131007		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　この科目は、早稲田高等学院その他の高校でフランス語の基礎をすでに学んだ学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。文法を復習しながら文章を読む練習をします。

授業では、Jeanne d'Arc（1412ー1431）の生涯を紹介した物語を読みます。ジャンヌ・ダルク、通称「オルレアンの少女」は、中世以来、現代にいたるまで、祖国愛の象徴として親しまれ、詩、小説、戯曲など数多くの作品に描かれてきました。テキストはフランス人が日本の学生向きにやさしいフランス語で書き下ろしたもので、速読に適しているでしょう。前期では、教科書の前半、ジャンヌがオルレアンを解放した後、ランスでシャルル7世を聖別に導いた頃までを講読します。

また、授業の最後に、不滅の名作といわれるフランスのサイレント映画「裁かるるジャンヌ」（監督：カール・ドライアー、1928年）をビデオ版で鑑賞する予定。

授業の到達目標

シラバス　上記、講義概要を参照のこと。

教科書　ボームルー著、『ジャンヌ・ダルク』朝日出版、1、000円（税別）
理工生協書籍部取り扱い

参考文献

評価方法　平常点（出席）を重視します。

期末試験も実施します。
試験は辞書使用「可」とします。

備考　このクラスを修了した学生には、続けて「仏語学院クラスIIA」、
「仏語学院クラスIIB」のいずれかを履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語IA（学院クラス）前期火5楠本		
科目キー	2600131007		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	楠本　重行		

副題

授業概要　早稲田高等学院その他の高校でフランス語の基礎をすでに学んだ学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。「仏語学院クラスIA」では文法を復習しながら文章を読む練習をします。

授業の到達目標

シラバス　教科書を順に読み進めながら解説してゆきます。基本的な文法事項や発音の確認をしながら、フランスの地理、歴史、社会、文化などに関する基礎的知識をできるだけ幅広く獲得することをめざします。

教科書　『現代フランスの基礎知識』(白水社)1900円＋税

参考文献

評価方法　平常点および学期末試験

備考　このクラスを修了した学生には、続けて「仏語学院クラスIIA」、「仏語学院クラスIIB」のいずれかを履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語IB（学院クラス）前期木1宇田川		
科目キー	2600131008		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	宇田川　和夫		

副題

授業概要　早稲田高等学院その他の高校でフランス語の基礎をすでに学んだ学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
「仏語学院クラスIB」では表現習得や講読を主眼としますが、文法の復習はその都度行います。

授業の到達目標

シラバス　下に記した教科書は，本来なら1年かけて学習するべきものですが，フランス語既習者対象のクラスですので，半期で1冊をこなすことを目標にします。また，講読の教科書として編集されていますが，練習問題は文法の演習となっていますので，これまでに学習した内容の復習と定着をはかることができます。。
最初のほうは，基本的な知識の復習となりますが，最後のほうでは，条件法や接続法も学習します。

教科書　加藤晴久・一戸とおる共著
「時事テーマで学ぶ初級フランス語読本」
朝日出版社　本体定価2200円

参考文献　授業時に随時指示します。

評価方法　平常点・小テスト・出席状況などを総合的に判断します。

備考　このクラスを修了した学生には、続けて「仏語学院クラスIIA」、「仏語学院クラスIIB」のいずれかを履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語IB（学院クラス）前期木3塩塚		
科目キー	2600131008		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題　映画で学ぶフランス語

授業概要　早稲田高等学院その他の高校でフランス語の基礎をすでに学んだ学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
「仏語学院クラスIB」では表現習得や講読を主眼としますが、文法の復習はその都度行います。

授業の到達目標

シラバス　教科書『シネマ・フランセ』（早美出版社）

上記の教科書から7本の映画を選び、原則として2回の授業で1本の映画を扱います。主眼はあくまでフランス語の習得にありますが、映画の内容についても若干は立ち入るつもりです。

第1回：イントロダクション
第2回：『パリ空港の人々』(1993)
第3回：『パリ空港の人々』(1993)
第4回：『髪結いの亭主』(1990)
第5回：『髪結いの亭主』(1990)
第6回：『ピクニック』(1936)
第7回：『勝手にしやがれ』(1959)
第8回：『勝手にしやがれ』(1959)
第9回：『太陽がいっぱい』(1960)
第10回：『太陽がいっぱい』(1960)
第11回：『トリュフォーの思春期』(1976)
第12回：『トリュフォーの思春期』(1976)
第13回：『冬物語』(1992)
第14回：『冬物語』(1992)

教科書　饗庭他、『シネマ・フランセ』、（早美出版社）、2000円

参考文献　山田宏一、『山田宏一のフランス映画誌』、ワイズ出版

中条省平、『フランス映画史の誘惑』、集英社新書

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　このクラスを修了した学生には、続けて「仏語学院クラスIIA」、「仏語学院クラスIIB」のいずれかを履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語IIA（学院クラス）後期月１中沢		
科目キー	2600131009		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	１時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中沢　信一		

副題

授業概要　仏語学院クラスIAあるいはIBを修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。購読や表現習得を主眼としますが、文法の復習はその都度行います。

授業の到達目標

シラバス　この口座では次の2つを中心に授業を進めたいと思います。
a)基本動詞の習得：文章理解に最低限必要な動詞を確実にマスターしましょう。これによって同時にフランス語の表現力も向上するはずです。
b)読解技法の習得:読解の問題点をテーマ別に取り上げ、分かりやすく説明します。それを応用して実際の文章を訳してみましょう。
読解用のテクストには新聞や雑誌からの抜粋を用いますので、内容は多様なものとなります。楽しい授業にしたいのはもちろんですが、「何か得るものがあった」と感じてもらえる授業でありたいと思っています。

教科書　随時配布するプリントを使用します。

参考文献

評価方法　学期末試験と平常点による総合評価。

備考　このクラスを修了した学生には、続けて「仏語上級」、「仏語圏文化論」などのクラスを履修することを強くお勧めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語IIA （学院クラス） 後期金４但田		
科目キー	2600131009		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語学院クラスIA、あるいはIBを修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。購読や表現習得を主眼としますが、文法の復習はその都度行います。

授業では、Jeanne d'Arc（1412ー1431）の生涯を紹介した物語の続きを読みます（※）。ジャンヌ・ダルク、通称「オルレアンの少女」は、中世以来、現代にいたるまで、祖国愛の象徴として親しまれ、詩、小説、戯曲など数多くの作品に描かれてきました。テキストはフランス人が日本の学生向きにやさしいフランス語で書き下ろしたもので、速読に適しているでしょう。

また、授業の最後に、不滅の名作といわれるフランスのサイレント映画「裁かるるジャンヌ」（監督：カール・ドライアー、１９２８年）をビデオ版で鑑賞する予定。ただし、この科目を通年で履修した学生は、すでに前期の段階でビデオを鑑賞しているので、その分のみ、別の課題を出します。

（※）後期から初めてこの授業を履修する学生には、前期の授業内容を要約して説明しますので、テキストの理解に支障が生じることはありません。

授業の到達目標

シラバス　上記、講義概要を参照のこと。

教科書　ボームルー著、『ジャンヌ・ダルク』朝日出版、
１、０００円（税別）

理工生協書籍部取り扱い

参考文献

評価方法　平常点（出席）を重視します。

期末試験も実施します。
試験は辞書使用「可」とします。

備考　このクラスを修了した学生には、続けて「仏語上級」、
「仏語圏文化論」などのクラスを履修することを強く
お薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語IIB（学院クラス）後期火5貴田		
科目キー	2600131010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	貴田　晃		

副題

授業概要　仏語学院クラス1Aあるいは1Bを終了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
購読や表現習得を主眼としますが、文法の復習はその都度行います。

授業の到達目標

シラバス

教科書　「レクチュールの冒険」(朝日出版社)　1,800円

参考文献

評価方法　学期末試験及び平常点

備考　このクラスを終了した者には続けて「仏語上級」、「仏語圏文化論」などのクラスを履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語IIB（学院クラス）後期金2塩塚		
科目キー	2600131010		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題

授業概要　仏語学院クラスIAあるいはIBを修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
購読や表現習得を主眼としますが、文法の復習はその都度行います。

授業の到達目標

シラバス　教科書『シネマ・フランセ』（早美出版社）

上記の教科書から5本の映画を選び、原則として2回の授業で1本の映画を扱います。主眼はあくまでフランス語の習得にありますが、映画の内容についても若干は立ち入るつもりです。

第1回：イントロダクション
第2回：『美女と野獣』(1946)
第3回：『美女と野獣』(1946)
第4回：『二十四時間の情事』(1959)
第5回：『二十四時間の情事』(1959)
第6回：『男と女』(1966)
第7回：『男と女』(1966)
第8回：『ディーヴァ』(1981)
第9回：『ディーヴァ』(1981)
第10回：『冬物語』(1992)
第11回：『冬物語』(1992)
第12回：『冬物語』(1992)
第13回：教場試験

教科書　『シネマ・フランセ』（早美出版社）2000円

参考文献　中条省平『フランス映画史の誘惑』（集英社新書）

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　このクラスを修了した学生には、続けて「仏語上級」、「仏語圏文化論」などのクラスを履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語中級I　前期月２塩塚		
科目キー	2600131011		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題

授業概要　仏語初級IIB（あるいは仏語初級IIA）を修了した学生を対象とするクラスで、
半期で一区切りとなります。
このクラスの授業内容は仏語初級IIBに続くもの（『レ・ランコントル2』を
使用）ですが、仏語初級IIAを修了した学生も、このクラスを受講することは
可能です。
原則として、仏語初級IIBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で
講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル2』第４１課から第６０課まで。

教科書のダイアローグ、単語をくり返しとりあげ、身につけることを目指します。
と同時に、フランス文化に関する映画、ドキュメンタリー、CDなどを鑑賞して、新しい言葉の学習が、新しい世界との
出会いとなるよう工夫するつもりです。
楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。

教科書　『レ・ランコントル2』（第三書房）2000円

参考文献　黒田龍之助『外国語の水曜日　学習法としての言語学入門』（現代書館）
→理系大学での語学授業の様子が面白い！

黒田龍之助『その他の外国語　役に立たない語学のはなし』（現代書館）

千野栄一『外国語上達法』（岩波新書）

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級I」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになり
ますが、続けて「仏語中級II」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語中級I　前期月５昼間		
科目キー	2600131011		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	昼間　賢		

副題

授業概要　仏語初級IIA（あるいは仏語初級IIB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
このクラスの授業内容は仏語初級IIAに続くもの（『カジュアルにフランス語2』を使用）ですが、仏語初級IIBを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語初級IIAに引き続き、フランス語初級文法の後半を学びます。

授業の到達目標

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語2』第１課から第７課まで。

実際には、授業３回で概ね２課（１課は見開き２ページ）進むことになります。
限られた時間の中で、不可欠な学習事項は簡潔に説明し、
受講生の皆さんにできるだけ多く問題を解いてもらうつもりです。余裕ができたら、
映像を見たり、音楽を聞いたりしましょう。

教科書　『カジュアルにフランス語2』（朝日出版社）2200円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級I」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになりますが、続けて「仏語中級II」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 （2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語中級I　前期木2但田		
科目キー	2600131011		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語初級IIA（あるいは仏語初級IIB）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。

このクラスの授業内容は仏語初級IIAに続くもの（『カジュアルにフランス語2』を使用）ですが、仏語初級IIBを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。

原則として、仏語初級IIAに引き続き、フランス語初級文法の後半を学びます。

授業の到達目標

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語2』第1課から第7課まで。

教科書のダイアローグ、単語をくり返しとりあげ、身につけることを目指します。
ときには、シャンソンや詩に触れることで、新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。

教科書　沼田・松村・米谷・バンドロム・エディ著『カジュアルにフランス語2』、朝日出版社

理工生協書籍部取り扱い

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級I」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになりますが、続けて「仏語中級II」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語中級I　前期木5綾部		
科目キー	2600131011		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	綾部　素幸		

副題　楽しみつつ、フランス語の学習をさらに続けよう。

授業概要　仏語初級IIB（あるいは仏語初級IIA）を修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
このクラスの授業内容は仏語初級IIBに続くもの（『レ・ランコントル2』を使用）ですが、仏語初級IIAを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、仏語初級IIBに引き続き、フランス語の会話を主体とした内容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル2』第41課から第60課まで。
語学学習の最終的な目的の一つに、総合的なコミュニケーション能力の修得がありますが、この授業では、既習した初級に続く段階の基礎作りをします。授業は、じっくりと進めます。教科書に出て来る例文は覚えてしまうようにしてください。例文は自然な日常フランス語です。例文を覚えることでフランス語の文法が身につきます。
また、時間を見つけて、フランス文化に関する映画、ドキュメンタリーなどの映像、CDなども 鑑賞したいと思います。言語の背景にあるフランス文化に親しむ切っ掛けにしてください。受講する皆さんと協同して楽しい授業にしたいと願っています。

教科書　『レ・ランコントル2』（第三書房）2000円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級I」を修了したところで、フランス語初等文法の四分の三が終わったことになりますが、続けて「仏語中級II」を履修することを強くお薦めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語中級I　前期金3ベルフロワ		
科目キー	2600131011		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要　フランス語会話のクラス。

授業の到達目標

シラバス

教科書　テキストはプリントで配布する（教材：Nouveau objectif-communication-Lecon 1-5）

参考文献

評価方法　平常点と学期末試験

備考　このクラスを履修するには、１年次のクラスを少なくとも2単位取得していなければならない。

科目の趣旨

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語中級II　後期月2塩塚		
科目キー	2600131012		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	塩塚　秀一郎		

副題

授業概要　仏語中級Iを修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
このクラスの授業内容は仏語中級Iのうち会話主体のクラスに続くもの
(『レ・ランコントル2』を使用)ですが、文法主体の中級Iを修了した学生
も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、会話主体の仏語中級Iを継続する内容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『レ・ランコントル2』第61課から第80課まで。

教科書のダイアローグ、単語をくり返しとりあげ、身につけることを目指します。
と同時に、フランス文化に関する映画、ドキュメンタリー、CDなどを鑑賞して、新しい言葉の学習が、新しい世界との出会いとなるよう工夫するつもりです。
楽しい授業を目指しますので、気軽に参加してみてください。

教科書　『レ・ランコントル2』(第三書房)2000円

参考文献　黒田龍之助『外国語の水曜日　学習法としての言語学入門』(現代書館)
→理系大学での語学授業の様子が面白い！

黒田龍之助『その他の外国語　役に立たない語学のはなし』(現代書館)

千野栄一『外国語上達法』(岩波新書)

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級II」を修了すると、フランス語初等文法をすべて終えたことになります。
身につけたフランス語を活かして易しい文章を読んだり、表現力のアップを目指したりしましょう。続けて「仏語上級I」や「仏語圏文化論」などを受講することをお勧めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語中級II　後期月５昼間		
科目キー	2600131012		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	昼間　賢		

副題

授業概要　仏語中級Iを修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。
このクラスの授業内容は仏語中級Iのうち文法主体のクラスに続くもの（『カジュアルにフランス語2』を使用）ですが、
会話主体の中級Iを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。
原則として、文法主体の仏語中級Iを継続する内容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語2』第8課から第１４課まで。

実際には、授業3回で概ね2課（1課は見開き2ページ）進むことになります。
限られた時間の中で、不可欠な学習事項は簡潔に説明し、
受講生の皆さんにできるだけ多く問題を解いてもらうつもりです。余裕ができたら、
映像を見たり、音楽を聞いたりしましょう。

教科書　『カジュアルにフランス語2』（朝日出版社）2200円

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級II」を修了すると、フランス語初等文法をすべて終えたことになります。
身につけたフランス語を活かして易しい文章を読んだり、表現力のアップを目指したりしましょう。続けて「仏語上級I」
や「仏語圏文化論」などを受講することをお勧めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語中級II　後期火5但田		
科目キー	2600131012		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	但田　栄		

副題

授業概要　仏語中級Iを修了した学生を対象とするクラスで、半期で一区切りとなります。

このクラスの授業内容は仏語中級Iのうち、文法主体のクラスに続くもの(『カジュアルにフランス語2』を使用)ですが、会話主体の中級Iを修了した学生も、このクラスを受講することは可能です。

原則として、文法主体の仏語中級Iを継続する内容で講義します。

授業の到達目標

シラバス　教科書『カジュアルにフランス語2』第8課から第14課まで。

教科書のダイアローグ、単語をくり返しとりあげ、身につけることを目指します。
ときには、フランスのシャンソンや詩に触れることも考えています。

教科書　沼田・松村・米谷・バンドロム・エディ著『カジュアルにフランス語2』、朝日出版社

理工生協書籍部取り扱い

参考文献

評価方法　学期末試験および平常点。

備考　「仏語中級II」を修了すると、フランス語初等文法をすべて終えたことになります。

身につけたフランス語を活かして易しい文章を読んだり、表現力のアップを目指したりしましょう。続けて「仏語上級I」や「仏語圏文化論」などを受講することをお勧めします。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語中級II　後期木3ルールム		
科目キー	2600131012		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要　フランス語会話のクラス。

授業の到達目標

シラバス

教科書　テキストはプリントで配布する（教材：Nouveau objectif-communication-Lecon 6-10）

参考文献

評価方法　平常点と学期末試験

備考　このクラスを履修するには、1年次のクラスを少なくとも2単位取得していなければならない。

科目の趣旨

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語中級II　後期金3ベルフロワ		
科目キー	2600131012		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員			

副題

授業概要　フランス語会話のクラス。

授業の到達目標

シラバス

教科書　テキストはプリントで配布する（教材：Nouveau objectif-communication-Lecon 6-10）

参考文献

評価方法　平常点と学期末試験

備考　このクラスを履修するには、1年次のクラスを少なくとも2単位取得していなければならない。

科目の趣旨

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語上級I　前期火４貴田		
科目キー	2600131013		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	３年以上
担当教員	貴田　晃		

副題

授業概要　2年間もしくはそれと同等程度の仏語の力のある人に、さらに実力を高めてもらうためのクラスです。

授業の到達目標

シラバス　フランス語、フランス文学の中でこれぞと思われる文の選文集です。
その中から私と受講者の皆さんの好みに合わせて、読解だけではなく映画、その他の資料も使用して広くフランスの文化、歴史、社会を理解する手助けになれば良いと考えています。
半期ではテキストを全て終えることはできません。引き続き、後期の仏語上級2の履修を薦めます。

教科書　「レクチュールの冒険」(朝日出版社)　1,800円

参考文献

評価方法　学期末試験及び平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	仏語上級II　後期火４貴田		
科目キー	2600131014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	３年以上
担当教員	貴田　晃		

副題

授業概要　2年間もしくはそれと同程度の仏語の力のある人に、さらに実力を高めてもらうためのクラスです。

授業の到達目標

シラバス　フランス語、フランス文学の中でこれぞと思われる文の選文集です。
その中から私と受講者の皆さんの好みに合わせて、読解だけではなく映画、その他の資料も使用して広くフランスの文化、歴史、社会を理解する手助けになれば良いと考えています。

教科書　「レクチュールの冒険」(朝日出版)　1,800円

参考文献

評価方法　学期末試験及び平常点

備考　前期と同じテキストを使用しますが、前期で勉強できなかったところを取り上げます。
通年でも半期のみでも受講可能です。授業は前期の方法をふまえて改めることもできます。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期火２王		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　中国語特有の発音方法（特に声調）を徹底的に習得させながら，中国語の基礎を養わせる。そして，必要な基礎文法の説明，聴き取り練習を行いながら，日常会話を学んでいく。又，言語の背景にある中国の文化面にも言及し，語学に対する理解を深めていく。

授業の到達目標

シラバス

前期
中国語発音の練習のためには，大きな声を出して言うことが大切であり，また，繰り返しの厳しい訓練が必要である。なので，欠席しないで継続学習 することが大事である。必要に応じて宿題を出すこともある。カセット教材も必要に応じて使用する。予習よりも復習に重点を置いていく。
第１回　ガイダンス
第２回　第1課
第３回　第2課
第４回　第3課
第５回　1-3課のまとめ，小テスト
第６回　第4課
第７回　第5課
第８回　4-5課のまとめ，小テスト
第９回　第6課
第10回　第7課
第11回　第6-7課のまとめ
第12回　総復習
第13回　期末テスト

教科書　于保田・王元『こんにちは中国語』白帝社　2，400（CD含）

参考文献

評価方法　定期テストに平常点（出席，小テスト、予習の程度，授業での発表等）6割，期末テスト4割で評価。

備考

■履修上のアドバイス
中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期火2渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業を通じて初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

具体的な到達目標は以下の通り

1　中国語のピンイン（中国語のローマ字による発音表記）と発音の習得。

2　簡単な中国語が話せるようになる

（挨拶言葉、自分の名前、学校名、専攻、家族、年齢、年月日、時刻、数字等をテキストを見ないで正しい発音で話せる）

3　初級文法を正しく理解して、簡単な文章が書けるようになる

（誰が、いつ、どこで、誰と、何をする、という文の肯定・否定・疑問文）

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第1課から第8課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容は以下の通り

第1課　こんにちわ（挨拶文）

第2課　あなたはどこの国の人ですか？（国籍、職業を述べる文）

第3課　どこへ行きますか？（学校の施設をおぼえる）

第4課　これは何ですか？（日用品の名前をおぼえる）

第5課　クラスには女子学生がいますか？（授業の紹介をする）

第6課　あなたの家はどこですか？（家や家族について紹介）

第7課　君のお姉さんは美人ですね！（形容詞の用法）

第8課　一緒に誕生日をすごそうよ（日付・曜日・時刻の言い方）

復習課　自己紹介　私の一日

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期火2渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期火3王		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　中国語特有の発音方法(特に声調)を徹底的に習得させながら，中国語の基礎を養わせる。そして，必要な基礎文法の説明，聴き取り練習を行いながら，日常会話を学んでいく。又，言語の背景にある中国の文化面にも言及し，語学に対する理解を深めていく。

授業の到達目標

シラバス　前期
中国語発音の練習のためには，大きな声を出して言うことが大切であり，また，繰り返しの厳しい訓練が必要である。なので，欠席しないで継続学習 することが大事である。必要に応じて宿題を出すこともある。カセット教材も必要に応じて使用する。予習よりも復習に重点を置いていく。
第1回　ガイダンス
第2回　第1課
第3回　第2課
第4回　第3課
第5回　1-3課のまとめ，小テスト
第6回　第4課
第7回　第5課
第8回　4-5課のまとめ，小テスト
第9回　第6課
第10回　第7課
第11回　第6-7課のまとめ
第12回　総復習
第13回　期末テスト

教科書　于保田・王元『こんにちは中国語』白帝社　2，400(CD含)

参考文献

評価方法　定期テストに平常点(出席，小テスト、予習の程度，授業での発表等)6割，期末テスト4割で評価。

備考　■履修上のアドバイス
中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期火4渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業を通じて初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

具体的な到達目標は以下の通り

1　中国語のピンイン（中国語のローマ字による発音表記）と発音の習得。

2　簡単な中国語が話せるようになる

（挨拶言葉、自分の名前、学校名、専攻、家族、年齢、年月日、時刻、数字等をテキストを見ないで正しい発音で話せる）

3　初級文法を正しく理解して、簡単な文章が書けるようになる

（誰が、いつ、どこで、誰と、何をする、という文の肯定・否定・疑問文）

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第1課から第8課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容は以下の通り

第1課　こんにちわ（挨拶文）

第2課　あなたはどこの国の人ですか？（国籍、職業を述べる文）

第3課　どこへ行きますか？（学校の施設をおぼえる）

第4課　これは何ですか？（日用品の名前をおぼえる）

第5課　クラスには女子学生がいますか？（授業の紹介をする）

第6課　あなたの家はどこですか？（家や家族について紹介）

第7課　君のお姉さんは美人ですね！（形容詞の用法）

第8課　一緒に誕生日をすごそうよ（日付・曜日・時刻の言い方）

復習課　自己紹介　私の一日

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期火４渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期火５田中		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　標準中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法の習得を目指す入門の授業である。最初に発音とローマ字＝「ピンイン」の学習を徹底し、第6課までの基本事項のマスターを目標とする。
その際「読む・書く」は無論のこと、「聞く・話す」といった音声面にも留意し、全体としてバランスのとれた中国語の運用能力獲得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　ガイダンス：1回　声調・母音・子音の発音：4回　教科書1−6課：8回　教場試験：1回の予定

教科書　『『中国語ポイント42』（本間史・孟広学　著、白水社）

参考文献　辞書・参考書については、開講時に指示する。

評価方法　教場試験の点数を80点、小テスト・平常点の点数を20点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　中国語は発音が最初の関門なので、CDを活用し、家でもしっかり練習すること。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期水4渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業を通じて初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

具体的な到達目標は以下の通り

1　中国語のピンイン（中国語のローマ字による発音表記）と発音の習得。

2　簡単な中国語が話せるようになる

（挨拶言葉、自分の名前、学校名、専攻、家族、年齢、年月日、時刻、数字等をテキストを見ないで正しい発音で話せる）

3　初級文法を正しく理解して、簡単な文章が書けるようになる

（誰が、いつ、どこで、誰と、何をする、という文の肯定・否定・疑問文）

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第1課から第8課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容は以下の通り

第1課　こんにちわ（挨拶文）

第2課　あなたはどこの国の人ですか？（国籍、職業を述べる文）

第3課　どこへ行きますか？（学校の施設をおぼえる）

第4課　これは何ですか？（日用品の名前をおぼえる）

第5課　クラスには女子学生がいますか？（授業の紹介をする）

第6課　あなたの家はどこですか？（家や家族について紹介）

第7課　君のお姉さんは美人ですね！（形容詞の用法）

第8課　一緒に誕生日をすごそうよ（日付・曜日・時刻の言い方）

復習課　自己紹介　私の一日

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期水４渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期木1熊		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　会話を中心に中国語を学ぶ。正しい発音で話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得することを目標とする。テキスト、視聴覚教材を適宜使用する。

授業の到達目標

シラバス　テキストに沿って、中国語の基本的な構造、日常生活会話、簡単な作文の練習をする。中国の文化と社会に関連する映像資料も適宜使用する。
1、ガイダンス
2ー4、拼音（発音）
5、復習と小テスト
6、第一課
7、第二課
8、第三課
9、第四課
10、中国語の映画や映像資料
11、第五課
12、第六課
13、復習
14、期末試験

教科書　『話す中国語』（スリム版、董燕・遠藤光暁、朝日出版社）
『クラウン中日辞典』（小型版、松岡榮志他編、三省堂）

参考文献

評価方法　出席(無断欠席四回は不可,出席状況も評価の内容)
平常点（積極的な発言と質問を高く評価する）
定期試験（小テストも参考）

備考　辞書必携。
予習必要。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期木3田中		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　標準中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法の習得を目指す入門の授業である。最初に発音とローマ字＝「ピンイン」の学習を徹底し、第6課までの基本事項のマスターを目標とする。
その際「読む・書く」は無論のこと、「聞く・話す」といった音声面にも留意し、全体としてバランスのとれた中国語の運用能力獲得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　ガイダンス：1回　声調・母音・子音の発音：4回　教科書1−6課：8回　教場試験：1回の予定

教科書　『『中国語ポイント42』（本間史・孟広学　著、白水社）

参考文献　辞書・参考書については、開講時に指示する。

評価方法　教場試験の点数を80点、小テスト・平常点の点数を20点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　中国語は発音が最初の関門なので、CDを活用し、家でもしっかり練習すること。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期木４田中		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　標準中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法の習得を目指す入門の授業である。最初に発音とローマ字＝「ピンイン」の学習を徹底し、第6課までの基本事項のマスターを目標とする。
その際「読む・書く」は無論のこと、「聞く・話す」といった音声面にも留意し、全体としてバランスのとれた中国語の運用能力獲得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　ガイダンス：1回　声調・母音・子音の発音：4回　教科書1−6課：8回　教場試験：1回の予定

教科書　『『中国語ポイント42』（本間史・孟広学　著、白水社）

参考文献　辞書・参考書については、開講時に指示する。

評価方法　教場試験の点数を80点、小テスト・平常点の点数を20点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　中国語は発音が最初の関門なので、CDを活用し、家でもしっかり練習すること。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金3渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業を通じて初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

具体的な到達目標は以下の通り

1　中国語のピンイン（中国語のローマ字による発音表記）と発音の習得。

2　簡単な中国語が話せるようになる

（挨拶言葉、自分の名前、学校名、専攻、家族、年齢、年月日、時刻、数字等をテキストを見ないで正しい発音で話せる）

3　初級文法を正しく理解して、簡単な文章が書けるようになる

（誰が、いつ、どこで、誰と、何をする、という文の肯定・否定・疑問文）

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第1課から第8課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容は以下の通り

第1課　こんにちわ（挨拶文）

第2課　あなたはどこの国の人ですか？（国籍、職業を述べる文）

第3課　どこへ行きますか？（学校の施設をおぼえる）

第4課　これは何ですか？（日用品の名前をおぼえる）

第5課　クラスには女子学生がいますか？（授業の紹介をする）

第6課　あなたの家はどこですか？（家や家族について紹介）

第7課　君のお姉さんは美人ですね！（形容詞の用法）

第8課　一緒に誕生日をすごそうよ（日付・曜日・時刻の言い方）

復習課　自己紹介　私の一日

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金3渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金4渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業を通じて初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

具体的な到達目標は以下の通り

1　中国語のピンイン（中国語のローマ字による発音表記）と発音の習得。

2　簡単な中国語が話せるようになる

（挨拶言葉、自分の名前、学校名、専攻、家族、年齢、年月日、時刻、数字等をテキストを見ないで正しい発音で話せる）

3　初級文法を正しく理解して、簡単な文章が書けるようになる

（誰が、いつ、どこで、誰と、何をする、という文の肯定・否定・疑問文）

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第1課から第8課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容は以下の通り

第1課　こんにちわ（挨拶文）

第2課　あなたはどこの国の人ですか？（国籍、職業を述べる文）

第3課　どこへ行きますか？（学校の施設をおぼえる）

第4課　これは何ですか？（日用品の名前をおぼえる）

第5課　クラスには女子学生がいますか？（授業の紹介をする）

第6課　あなたの家はどこですか？（家や家族について紹介）

第7課　君のお姉さんは美人ですね！（形容詞の用法）

第8課　一緒に誕生日をすごそうよ（日付・曜日・時刻の言い方）

復習課　自己紹介　私の一日

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金４渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金5渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業を通じて初級中国語の基礎がマスターできるようにする。

具体的な到達目標は以下の通り

1　中国語のピンイン（中国語のローマ字による発音表記）と発音の習得。

2　簡単な中国語が話せるようになる

（挨拶言葉、自分の名前、学校名、専攻、家族、年齢、年月日、時刻、数字等をテキストを見ないで正しい発音で話せる）

3　初級文法を正しく理解して、簡単な文章が書けるようになる

（誰が、いつ、どこで、誰と、何をする、という文の肯定・否定・疑問文）

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第1課から第8課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容は以下の通り

第1課　こんにちわ（挨拶文）

第2課　あなたはどこの国の人ですか？（国籍、職業を述べる文）

第3課　どこへ行きますか？（学校の施設をおぼえる）

第4課　これは何ですか？（日用品の名前をおぼえる）

第5課　クラスには女子学生がいますか？（授業の紹介をする）

第6課　あなたの家はどこですか？（家や家族について紹介）

第7課　君のお姉さんは美人ですね！（形容詞の用法）

第8課　一緒に誕生日をすごそうよ（日付・曜日・時刻の言い方）

復習課　自己紹介　私の一日

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期・後期通して履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金5渋谷		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　前期金6永冨		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　初めて履修する中国語を、視覚・聴覚の両面から、十分味わって頂きたい。視聴覚教材もできる限り活用する。とにかく、大きな声を出してもらう事から始めたい。

授業の到達目標

シラバス　教科書に沿って進めて行く。

教科書　『フレッシュ中国語』(改訂版)白水社刊、渡辺晴夫他著
(理工生協書籍部扱い)2000円

参考文献

評価方法　教場試験および平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　後期金3王		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　中国語特有の発音方法(特に声調)を徹底的に習得させながら，中国語の基礎を養わせる。そして，必要な基礎文法の説明，聴き取り練習を行いながら，日常会話を学んでいく。又，言語の背景にある中国の文化面にも言及し，語学に対する理解を深めていく。

授業の到達目標

シラバス　前期
中国語発音の練習のためには，大きな声を出して言うことが大切であり，また，繰り返しの厳しい訓練が必要である。なので，欠席しないで継続学習 することが大事である。必要に応じて宿題を出すこともある。カセット教材も必要に応じて使用する。予習よりも復習に重点を置いていく。
第1回　ガイダンス
第2回　第1課
第3回　第2課
第4回　第3課
第5回　1-3課のまとめ，小テスト
第6回　第4課
第7回　第5課
第8回　4-5課のまとめ，小テスト
第9回　第6課
第10回　第7課
第11回　第6-7課のまとめ
第12回　総復習
第13回　期末テスト

教科書　于保田・王元『こんにちは中国語』白帝社　2，400(CD含)

参考文献

評価方法　定期テストに平常点(出席，小テスト、予習の程度，授業での発表等)6割，期末テスト4割で評価。

備考　■履修上のアドバイス
中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IA　後期金5清水		
科目キー	2600141001		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	清水　則夫		

副題

授業概要　中国語の発音および文法の基礎を習得することを目的とする。いうまでもなく、中国は日本と二千年以上にわたる長い交流の歴史を持つ。われわれが日常使用する漢字もまた中国に生れた。しかし、個々の漢字の意味は日本語と共通する部分が多いとはいえ、発音は全く別のものであり、履修者にも十分な気概を持って授業に臨んでほしい。

授業の到達目標

シラバス　教科書に沿って進めて行く。

教科書　『キャンパスライフ中国語(改定版)』荒川清秀ほか著　白帝社
(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　期末試験および平常点によって評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期木6和		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

授業の到達目標

シラバス

1. はじめに 「快音」
2. 発音および中国語ローマ字(ピンイン)　声調、単母音、複母音
3. 発音およびピンインの習得、声母
4. 発音およびピンインの習得、そり舌音、あいさつ言葉
5. 発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、あいさつ言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」
7. 姓名の言い方、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 動詞述語文、疑問文
10. 「有」と「在」の文、否定文
11. 量詞、指示代詞
12. 形容詞述語文
13. 各種構造助詞
14. 中国語の語順
15. まとめ　テスト

教科書　相原茂『中国語入門300語ワールド―見る、打つ、聞く―』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂(小型版と中型版あり)

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期月２張		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	張　娜麗		

副題

授業概要　初めて中国語に接する学生に対し、中国語に関する基礎的な知識や正しい発音、さらには基本的な語法、慣用表現等を習得させる。これを通して中国語の初歩的な読み書き、聞き話す能力を養わせる。

授業の到達目標

シラバス

中国語概説、及び発音指導:
・漢語、中国語全般、
・中国語の特長:語音上、語彙上、
・中国語の特長:文法上、簡体字
・まとめ

本文:　第4課より教科書の一課につき約二時間あての学習を進めていく。
・一時間目は、例文、ポイント、置き換え練習
・二時間目は、会話、会話練習、ヒヤリング

教科書　『初めての中国語コミュニケーション』同学社　2002年2月

参考文献

評価方法　出席状況、受講状況、及び前後期の定期試験等

備考　履修上の注意　事前の予習と事後の復習を欠かさずに行うこと。

出席重視

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期月４李		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	李　洵		

副題　身につく中国語

授業概要　発音と基本構文の勉強を通じて中国語の基本を身につける。授業では、中国語の文法と特徴を解説するとともに、聴く、話す、書くと三つの側面から実践する。前期では発音、簡単な会話、中国語の基本構文を、後期では中国語のアスペクト、補語を中心に進める。

授業の到達目標

シラバス　内容
第一課　動詞述語文
第二課　疑問詞
第三課　形容詞述語文
第四課　名詞述語文
第五課　場所の表現（所在）
第六課　主述述語文；所有・存在
第七課　連動文；助動詞
第八課　経験の表現

教科書　楊凱栄・張麗群著『初級テキスト　身につく中国語』白帝社

参考文献

評価方法　出席、平常点と期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席４回以上は不合格とする。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期月5李		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	李　洵		

副題　身につく中国語

授業概要　発音と基本構文の勉強を通じて中国語の基本を身につける。授業では、中国語の文法と特徴を解説するとともに、聴く、話す、書くと三つの側面から実践する。前期では発音、簡単な会話、中国語の基本構文を、後期では中国語のアスペクト、補語を中心に進める。

授業の到達目標

シラバス　内容
第一課　動詞述語文
第二課　疑問詞
第三課　形容詞述語文
第四課　名詞述語文
第五課　場所の表現(所在)
第六課　主述述語文;所有・存在
第七課　連動文;助動詞
第八課　経験の表現

教科書　楊凱栄・張麗群著『初級テキスト　身につく中国語』白帝社

参考文献

評価方法　出席、平常点と期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席4回以上は不合格とする。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期月5陳		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　中国語初級のクラスにおいては、中国語入門の既修者を対象に、それまでの発音に重点を置いた授業から、文法をも重視したものへと、より本格的な中国語の学習を目指していきたい。今日の世界において、日本は唯一、中国とかなりの漢字を共有している。この有利さを学習において生かさない手はない。語彙を増やし、中級への足がかりとして、着実に一歩ずつ前進していきたい。意欲ある学生の履修を歓迎する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期火４王		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　中国語特有の発音方法（特に声調）を徹底的に習得させながら，中国語の基礎を養わせる。そして，必要な基礎文法の説明，聴き取り練習を行いながら，日常会話を学んでいく。又，言語の背景にある中国の文化面にも言及し，語学に対する理解を深めていく。

授業の到達目標

シラバス

前期
中国語発音の練習のためには，大きな声を出して言うことが大切であり，また，繰り返しの厳しい訓練が必要である。なので，欠席しないで継続学習 することが大事である。必要に応じて宿題を出すこともある。カセット教材も必要に応じて使用する。予習よりも復習に重点を置いていく。
第１回　ガイダンス
第２回　第1課
第３回　第2課
第４回　第3課
第５回　1-3課のまとめ，小テスト
第６回　第4課
第７回　第5課
第８回　4-5課のまとめ，小テスト
第９回　第6課
第10回　第7課
第11回　第6-7課のまとめ
第12回　総復習
第13回　期末テスト

教科書　于保田・王元『こんにちは中国語』白帝社　2，400（CD含）

参考文献

評価方法　定期テストに平常点（出席，小テスト、予習の程度，授業での発表等）6割，期末テスト4割で評価。

備考

■履修上のアドバイス
中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期水2和		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

授業の到達目標

シラバス

1. はじめに 「快音」
2. 発音および中国語ローマ字(ピンイン)　声調、単母音、複母音
3. 発音およびピンインの習得、声母
4. 発音およびピンインの習得、そり舌音、あいさつ言葉
5. 発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、あいさつ言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」
7. 姓名の言い方、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 動詞述語文、疑問文
10. 「有」と「在」の文、否定文
11. 量詞、指示代詞
12. 形容詞述語文
13. 各種構造助詞
14. 中国語の語順
15. まとめ　テスト

教科書　相原茂『中国語入門300語ワールド―見る、打つ、聞く―』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂(小型版と中型版あり)

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期水3和		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

授業の到達目標

シラバス

1. はじめに 「快音」
2. 発音および中国語ローマ字(ピンイン)　声調、単母音、複母音
3. 発音およびピンインの習得、声母
4. 発音およびピンインの習得、そり舌音、あいさつ言葉
5. 発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、あいさつ言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」
7. 姓名の言い方、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 動詞述語文、疑問文
10. 「有」と「在」の文、否定文
11. 量詞、指示代詞
12. 形容詞述語文
13. 各種構造助詞
14. 中国語の語順
15. まとめ　テスト

教科書　相原茂『中国語入門300語ワールド―見る、打つ、聞く―』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂(小型版と中型版あり)

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期水5和		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

授業の到達目標

シラバス

1. はじめに 「快音」
2. 発音および中国語ローマ字(ピンイン)　声調、単母音、複母音
3. 発音およびピンインの習得、声母
4. 発音およびピンインの習得、そり舌音、あいさつ言葉
5. 発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、あいさつ言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」
7. 姓名の言い方、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 動詞述語文、疑問文
10. 「有」と「在」の文、否定文
11. 量詞、指示代詞
12. 形容詞述語文
13. 各種構造助詞
14. 中国語の語順
15. まとめ　テスト

教科書　相原茂『中国語入門300語ワールド―見る、打つ、聞く―』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂(小型版と中型版あり)

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　前期木1和		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

授業の到達目標

シラバス

1. はじめに 「快音」
2. 発音および中国語ローマ字(ピンイン)　声調、単母音、複母音
3. 発音およびピンインの習得、声母
4. 発音およびピンインの習得、そり舌音、あいさつ言葉
5. 発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、あいさつ言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」
7. 姓名の言い方、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 動詞述語文、疑問文
10. 「有」と「在」の文、否定文
11. 量詞、指示代詞
12. 形容詞述語文
13. 各種構造助詞
14. 中国語の語順
15. まとめ　テスト

教科書　相原茂『中国語入門300語ワールド―見る、打つ、聞く―』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂(小型版と中型版あり)

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　後期月１張		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	１時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	張　娜麗		

副題

授業概要　初めて中国語に接する学生に対し、中国語に関する基礎的な知識や正しい発音、さらには基本的な語法、慣用表現等を習得させる。これを通して中国語の初歩的な読み書き、聞き話す能力を養わせる。

授業の到達目標

シラバス　中国語概説、及び発音指導:

１　漢語、中国語全般、
２　中国語の特長:語音上、語彙上、
３　中国語の特長:文法上、簡体字
４　まとめ

本文:　第4課より教科書の一課につき約二時間あての学習を進めていく。
・一時間目は、例文、ポイント、置き換え練習
・二時間目は、会話、会話練習、ヒヤリング

教科書　『初めての中国語コミュニケーション』高橋良行他　同学社　2002年2月

参考文献

評価方法　出席状況、受講状況、定期試験の成績等による評価

備考　履修上の注意　事前の予習と事後の復習を欠かさずに行うこと

出席重視

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IB　後期月3和		
科目キー	2600141002		
科目クラスコード	32	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、声調を含む正確な発音、基本構文の習得をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

授業の到達目標

シラバス

1. はじめに 「快音」
2. 発音および中国語ローマ字(ピンイン)　声調、単母音、複母音
3. 発音およびピンインの習得、声母
4. 発音およびピンインの習得、そり舌音、あいさつ言葉
5. 発音およびピンインの習得、鼻音韻尾、軽声、あいさつ言葉
6. 人称代詞、「是」構文、否定詞「不」
7. 姓名の言い方、構造助詞「的」、疑問詞
8. 復習
9. 動詞述語文、疑問文
10. 「有」と「在」の文、否定文
11. 量詞、指示代詞
12. 形容詞述語文
13. 各種構造助詞
14. 中国語の語順
15. まとめ　テスト

教科書　相原茂『中国語入門300語ワールド―見る、打つ、聞く―』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂(小型版と中型版あり)

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期火２王		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	２時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	王　元		

副題

授業概要　中国語初級のクラスにおいては、中国語入門の既修者を対象に、それまでの発音に重点を置いた授業から、文法をも重視したものへと、より本格的な中国語の学習を目指していきたい。今日の世界において、日本は唯一、中国とかなりの漢字を共有している。この有利さを学習において生かさない手はない。語彙を増やし、中級への足がかりとして、着実に一歩ずつ前進していきたい。意欲ある学生の履修を歓迎する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期火2渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業に引き続き、初級中国語の会話、文法を勉強する。

具体的な到達目標は以下の通り

1　正しい発音で簡単な日常会話が話せるようになる

2　初級中国語の文法を正しく理解して、中国語検定4級に合格できるヒアリング・

会話・作文力を身につける。

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第9課から第18課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容と主な文法事項は以下の通り

第9課　また遅刻した！（完了の用法）

第10課　麻雀ができますか（助動詞、様態補語）

第11課　早く授業に出ようよ！（助動詞、スポーツの名称をおぼえる）

第12課　友達になろうよ！（前置詞、時間量を表す補語）

第13課　王麗さんの日記（結果補語、比較の表現）

第14課　お兄さんいる？（方向補語）

第15課　酔っぱらったの？（動作の進行、持続の表現）

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期の学習内容を理解した学習者が後期も引き続き履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期火2渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期火3王		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　中国語初級のクラスにおいては、中国語入門の既修者を対象に、それまでの発音に重点を置いた授業から、文法をも重視したものへと、より本格的な中国語の学習を目指していきたい。今日の世界において、日本は唯一、中国とかなりの漢字を共有している。この有利さを学習において生かさない手はない。語彙を増やし、中級への足がかりとして、着実に一歩ずつ前進していきたい。意欲ある学生の履修を歓迎する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期火４渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業に引き続き、初級中国語の会話、文法を勉強する。

具体的な到達目標は以下の通り

１　正しい発音で簡単な日常会話が話せるようになる

２　初級中国語の文法を正しく理解して、中国語検定４級に合格できるヒアリング・

　会話・作文力を身につける。

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第９課から第１８課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容と主な文法事項は以下の通り

第９課　　また遅刻した！（完了の用法）

第１０課　麻雀ができますか（助動詞、様態補語）

第１１課　早く授業に出ようよ！（助動詞、スポーツの名称をおぼえる）

第１２課　友達になろうよ！（前置詞、時間量を表す補語）

第１３課　王麗さんの日記（結果補語、比較の表現）

第１４課　お兄さんいる？（方向補語）

第１５課　酔っぱらったの？（動作の進行、持続の表現）

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期の学習内容を理解した学習者が後期も引き続き履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期火４渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上

評価方法
（2010年度以前）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期火５田中		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　前期の基礎の上に、より複雑な文法、また常用表現の習得を目指す授業になる。後期は第１２課までの基本事項のマスターを目標とするが、具体的に言うと連体・連用修飾語、「態」、「補語」、等の各項目を順序だてて学習し、これらの中国語らしい表現を自由に使いこなせるようになることを目指す。

授業の到達目標

シラバス　教科書7-12課：12回　中間試験：1回　教場試験：1回（期末試験）の予定

教科書　『中国語ポイント42』（本間史・孟広学　著、白水社）

参考文献

評価方法　中間・期末試験の点数を80点、小テスト・平常点の点数を20点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　文法事項が複雑になるので、しっかり復習してほしい。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期水4渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業に引き続き、初級中国語の会話、文法を勉強する。

具体的な到達目標は以下の通り

1　正しい発音で簡単な日常会話が話せるようになる

2　初級中国語の文法を正しく理解して、中国語検定4級に合格できるヒアリング・

会話・作文力を身につける。

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第9課から第18課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容と主な文法事項は以下の通り

第9課　　また遅刻した！（完了の用法）

第10課　麻雀ができますか（助動詞、様態補語）

第11課　早く授業に出ようよ！（助動詞、スポーツの名称をおぼえる）

第12課　友達になろうよ！（前置詞、時間量を表す補語）

第13課　王麗さんの日記（結果補語、比較の表現）

第14課　お兄さんいる？（方向補語）

第15課　酔っぱらったの？（動作の進行、持続の表現）

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期の学習内容を理解した学習者が後期も引き続き履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期水４渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上

評価方法
（2010年度以前）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期木1熊		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　会話を中心に中国語を学ぶ。正しい発音で話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得することを目標とする。テキスト、視聴覚教材を適宜使用する。

授業の到達目標

シラバス　テキストに沿って、中国語の基本的な構造、日常生活会話、簡単な作文の練習をする。中国の文化と社会に関連する映像資料も適宜使用する。

1、第七課
2、第八課
3、第九課
4、第十課
5、中国に関する映像資料
6、第十一課
7、第十二課
8、第十三課
9、第十四課
10、第十五課
11、第十六課
12、第十七課
13、復習
14、期末試験

教科書　『話す中国語』(スリム版、董燕・遠藤光暁、朝日出版社)
『クラウン中日辞典』(小型版、松岡榮志他編、三省堂)

参考文献

評価方法　出席(無断欠席四回は不可、出席状況も評価の内容)
平常点(積極的な発言と質問を高く評価する)
定期試験(小テストも参考)

備考　辞書必携。
予習必要。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期木3田中		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　前期の基礎の上に、より複雑な文法、また常用表現の習得を目指す授業になる。後期は第12課までの基本事項のマスターを目標とするが、具体的に言うと連体・連用修飾語、「態」、「補語」、等の各項目を順序だてて学習し、これらの中国語らしい表現を自由に使いこなせるようになることを目指す。

授業の到達目標

シラバス　教科書7-12課：12回　中間試験：1回　教場試験：1回（期末試験）の予定

教科書　『中国語ポイント42』（本間史・孟広学　著、白水社）

参考文献

評価方法　中間・期末試験の点数を80点、小テスト・平常点の点数を20点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　文法事項が複雑になるので、しっかり復習してほしい。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期木4田中		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田中　理恵		

副題

授業概要　前期の基礎の上に、より複雑な文法、また常用表現の習得を目指す授業になる。後期は第12課までの基本事項のマスターを目標とするが、具体的に言うと連体・連用修飾語、「態」、「補語」、等の各項目を順序だてて学習し、これらの中国語らしい表現を自由に使いこなせるようになることを目指す。

授業の到達目標

シラバス　教科書7-12課：12回　中間試験：1回　教場試験：1回（期末試験）の予定

教科書　『中国語ポイント42』（本間史・孟広学　著、白水社）

参考文献

評価方法　中間・期末試験の点数を80点、小テスト・平常点の点数を20点に換算し、そこから欠席・遅刻分を減点する。

備考　文法事項が複雑になるので、しっかり復習してほしい。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金3渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業に引き続き、初級中国語の会話、文法を勉強する。

具体的な到達目標は以下の通り

1　正しい発音で簡単な日常会話が話せるようになる

2　初級中国語の文法を正しく理解して、中国語検定4級に合格できるヒアリング・

会話・作文力を身につける。

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第9課から第18課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容と主な文法事項は以下の通り

第9課　　また遅刻した！（完了の用法）

第10課　麻雀ができますか（助動詞、様態補語）

第11課　早く授業に出ようよ！（助動詞、スポーツの名称をおぼえる）

第12課　友達になろうよ！（前置詞、時間量を表す補語）

第13課　王麗さんの日記（結果補語、比較の表現）

第14課　お兄さんいる？（方向補語）

第15課　酔っぱらったの？（動作の進行、持続の表現）

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期の学習内容を理解した学習者が後期も引き続き履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金3渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	11	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金4渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業に引き続き、初級中国語の会話、文法を勉強する。

具体的な到達目標は以下の通り

1　正しい発音で簡単な日常会話が話せるようになる

2　初級中国語の文法を正しく理解して、中国語検定4級に合格できるヒアリング・

会話・作文力を身につける。

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第9課から第18課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容と主な文法事項は以下の通り

第9課　　また遅刻した！（完了の用法）

第10課　麻雀ができますか（助動詞、様態補語）

第11課　早く授業に出ようよ！（助動詞、スポーツの名称をおぼえる）

第12課　友達になろうよ！（前置詞、時間量を表す補語）

第13課　王麗さんの日記（結果補語、比較の表現）

第14課　お兄さんいる？（方向補語）

第15課　酔っぱらったの？（動作の進行、持続の表現）

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期の学習内容を理解した学習者が後期も引き続き履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金４渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	12	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上

評価方法
（2010年度以前）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金5渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要　前期の授業に引き続き、初級中国語の会話、文法を勉強する。

具体的な到達目標は以下の通り

1　正しい発音で簡単な日常会話が話せるようになる

2　初級中国語の文法を正しく理解して、中国語検定4級に合格できるヒアリング・

　会話・作文力を身につける。

授業の到達目標

シラバス　新しいキャンパス的中国語　の第9課から第18課を一回一課の進度で行う。

詳しい内容は始めの授業でシラバスを配布する。

毎回の授業で勉強する会話文の内容と主な文法事項は以下の通り

第9課　　また遅刻した！（完了の用法）

第10課　麻雀ができますか（助動詞、様態補語）

第11課　早く授業に出ようよ！（助動詞、スポーツの名称をおぼえる）

第12課　友達になろうよ！（前置詞、時間量を表す補語）

第13課　王麗さんの日記（結果補語、比較の表現）

第14課　お兄さんいる？（方向補語）

第15課　酔っぱらったの？（動作の進行、持続の表現）

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社

参考文献

評価方法　日常点（毎回授業始めに実施する小テスト、授業態度、出席状況）と、

期末に行うテスト（会話テスト、筆記テスト）の成績に基づいて評価をつける

備考　前期の学習内容を理解した学習者が後期も引き続き履修するのが望ましい。

毎回の授業で必ず小テストを実施し、次回授業までの課題をアナウンスするので、

毎回必ず授業に出席すること。遅刻厳禁。

中国語を本当にマスターしたいと希望している学生の履修を希望する。

授業に関する連絡・質問　渋谷裕子　eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金５渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	13	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上

評価方法
（2010年度以前）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　後期金6永冨		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	14	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　前期において学生諸君は中国語の初歩はマスターしたはずである。後期の授業においては、中級へとつながる、新たなステップを登っていきたい。学習者の積極的な参加を期待する。

授業の到達目標

シラバス　教科書に沿って進めて行く。

教科書　『フレッシュ中国語』(改訂版)白水社刊、渡辺晴夫他著
(理工生協書籍部扱い)2,000円

参考文献

評価方法　教場試験および平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIA　前期水５渋谷		
科目キー	2600141005		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	５時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期月2張		
科目キー	2600141006		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	張　娜麗		

副題

授業概要　本講座では、中国語初級Iを修了した学生に対し、さらなる重要な語法、慣用表現等を習得させる。これを通して中国語の自主的勉学を拡げることの出来る読み書き、聞き話す能力を高めさせる。

授業の到達目標

シラバス　本教材の第6課より、教科書の一課につき約二時間あての学習を進めていく。
・一時間目は、例文、ポイント、置き換え練習
・二時間目は、会話、会話練習、ヒヤリング
　補助教材も使用。

教科書　『初めての中国語コミュニケーション』高橋良行他　同学社　2002年2月

参考文献

評価方法　出席状況、受講状況、定期試験の成績等による評価

備考　履修上の注意　事前の予習と事後の復習を欠かさずに行うこと。

出席重視

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期月４李		
科目キー	2600141006		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	李　洵		

副題　身につく中国語

授業概要　発音と基本構文の勉強を通じて中国語の基本を身につける。授業では、中国語の文法と特徴を解説するとともに、聴く、話す、書くと三つの側面から実践する。前期では発音、簡単な会話、中国語の基本構文を、後期では中国語のアスペクト、補語を中心に進める。

授業の到達目標

シラバス　内容
第九課　完了の「了」
第十課　変化の「了」
第十一課　方向補語
第十二課　使役、動作の進行
第十三課　結果補語
第十四課　可能補語、助動詞
第十五課　「把」構文、「被」構文
第十六課　様態補語

教科書　楊凱栄・張麗群著『初級テキスト　身につく中国語』白帝社

参考文献

評価方法　出席、小テスト、期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席４回以上は不合格とする。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期月５李		
科目キー	2600141006		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	李　洵		

副題　身につく中国語

授業概要　発音と基本構文の勉強を通じて中国語の基本を身につける。授業では、中国語の文法と特徴を解説するとともに、聴く、話す、書くと三つの側面から実践する。前期では発音、簡単な会話、中国語の基本構文を、後期では中国語のアスペクト、補語を中心に進める。

授業の到達目標

シラバス　内容
第九課　完了の「了」
第十課　変化の「了」
第十一課　方向補語
第十二課　使役、動作の進行
第十三課　結果補語
第十四課　可能補語、助動詞
第十五課　「把」構文、「被」構文
第十六課　様態補語

教科書　楊凱栄・張麗群著『初級テキスト　身につく中国語』白帝社

参考文献

評価方法　出席、小テスト、期末試験

備考　毎回宿題、小テストあり、予習復習を要する。
欠席４回以上は不合格とする。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期月5陳		
科目キー	2600141006		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　中国語初級のクラスにおいては、中国語入門の既修者を対象に、それまでの発音に重点を置いた授業から、文法をも重視したものへと、より本格的な中国語の学習を目指していきたい。今日の世界において、日本は唯一、中国とかなりの漢字を共有している。この有利さを学習において生かさない手はない。語彙を増やし、中級への足がかりとして、着実に一歩ずつ前進していきたい。意欲ある学生の履修を歓迎する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期火４王		
科目キー	2600141006		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	王 元		

副題

授業概要　中国語特有の発音方法（特に声調）を徹底的に習得させながら，中国語の基礎を養わせる。そして，必要な基礎文法の説明，聴き取り練習を行いながら，日常会話を学んでいく。又，言語の背景にある中国の文化面にも言及し，語学に対する理解を深めていく。

授業の到達目標

シラバス　後期
初級後期のレベルを対象として，前期の復習練習をしながら，日常会話の能力の向上を目指す。同時に中国文化（中国の歴史と中国人の生活習慣など）に興味を持てるようにし，初級終了後も中国語学習に取り組んでいけるようにする。
第１回　ガイダンス
第２回　第8課
第３回　第9課
第４回　第8-9課のまとめ，テスト
第５回　第10課
第６回　第11課
第７回　第10-11課のまとめ，テスト
第８回　第12課
第８回　第13課
第10回　第12-13課のまとめ，テスト
第11回　第l4課
第12回　第8-14課のまとめ
第13回　総復習
第14回　期末テスト

教科書　于保田・王元『こんにちは中国語』白帝社　2，400（CD含）

参考文献

評価方法　定期テストに平常点（出席，小テスト、予習の程度，授業での発表等）6割，期末テスト4割で評価。

備考　■履修上のアドバイス
中国文化と中国人の生活習慣を理解しながらテキストの内容を修得するのが学習範囲である。必要に応じて宿題を出す。CD教材も必要に応じて使用する。選んだテキストは自習できるようなテキストなので，毎回授業を受ける前に予習を必要とする。
質問は大歓迎。講義中の私語厳禁。中途退出は原則禁止。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期水2和		
科目キー	2600141006		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本構文の定着と応用能力の向上をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

授業の到達目標

シラバス

1. はじめに
2. 初級段階の復習
3. 数字表現、主述述語文
4. 存現文、場所詞
5. 各種疑問文
6. 復習
7. 前置詞句、比較構文
8. 結果補語、二重目的語
9. 様態補語、可能補語
10. 「把」構文
11. 復習
12. 使役文、方向補語
13. 受身文、接続詞
14. 各種構文
15. 復習

教科書　相原茂『中国語入門300語ワールド―見る、打つ、聞く―』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂(小型版と中型版あり)

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期水3和		
科目キー	2600141006		
科目クラスコード	07	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本構文の定着と応用能力の向上をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

授業の到達目標

シラバス

1. はじめに　発音
2. 基本文法
3. 助動詞、連動文、疑問詞
4. 時間、アスペクト助詞
5. 親族名称、動詞の重ね型、各種構文
6. 年月日の言い方、副詞
7. 前置詞の使い方
8. 復習
9. 各種疑問文、方位詞
10. 比較構文、お金の言い方
11. 結果補語、二重目的語
12. 使役、「把」構文
13. 受身、方向動詞、各種補語
14. 存現文、近い未来
15. まとめ　テスト

教科書　相原茂『中国語入門300語ワールド―見る、打つ、聞く―』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂(小型版と中型版あり)

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期水5和		
科目キー	2600141006		
科目クラスコード	08	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本構文の定着と応用能力の向上をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

授業の到達目標

シラバス

1. はじめに　発音
2. 基本文法
3. 助動詞、連動文、疑問詞
4. 時間、アスペクト助詞
5. 親族名称、動詞の重ね型、各種構文
6. 年月日の言い方、副詞
7. 前置詞の使い方
8. 復習
9. 各種疑問文、方位詞
10. 比較構文、お金の言い方
11. 結果補語、二重目的語
12. 使役、「把」構文
13. 受身、方向動詞、各種補語
14. 存現文、近い未来
15. まとめ　テスト

教科書　相原茂『中国語入門300語ワールド―見る、打つ、聞く―』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂(小型版と中型版あり)

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期木1和		
科目キー	2600141006		
科目クラスコード	09	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本構文の定着と応用能力の向上をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

授業の到達目標

シラバス

1. はじめに　発音
2. 基本文法
3. 助動詞、連動文、疑問詞
4. 時間、アスペクト助詞
5. 親族名称、動詞の重ね型、各種構文
6. 年月日の言い方、副詞
7. 前置詞の使い方
8. 復習
9. 各種疑問文、方位詞
10. 比較構文、お金の言い方
11. 結果補語、二重目的語
12. 使役、「把」構文
13. 受身、方向動詞、各種補語
14. 存現文、近い未来
15. まとめ　テスト

教科書　相原茂『中国語入門300語ワールド―見る、打つ、聞く―』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂(小型版と中型版あり)

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　後期木6和		
科目キー	2600141006		
科目クラスコード	10	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　会話に重点をおきつつ、個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、基本構文の定着と応用能力の向上をめざします。自然な中国語の発話をたくさん聞くことができるよう、また、言い間違いを気にしないで積極的に練習に参加できるよう、教室の雰囲気作りにも配慮します。現代中国の紹介も兼ねてビデオ教材も使います。

授業の到達目標

シラバス

1．はじめに　発音
2．基本文法
3．助動詞、連動文、疑問詞
4．時間、アスペクト助詞
5．親族名称、動詞の重ね型、各種構文
6．年月日の言い方、副詞
7．前置詞の使い方
8．復習
9．各種疑問文、方位詞
10．比較構文、お金の言い方
11．結果補語、二重目的語
12．使役、「把」構文
13．受身、方向動詞、各種補語
14．存現文、近い未来
15．まとめ　テスト

教科書　相原茂『中国語入門300語ワールド―見る、打つ、聞く―』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂(小型版と中型版あり)

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語初級IIB　前期水４和		
科目キー	2600141006		
科目クラスコード	31	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語IA（学院クラス）前期木6熊		
科目キー	2600141007		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　会話を中心に中国語を学ぶ。正しい発音で話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得することを目標とする。
テキストと視聴覚教材を使用する。

授業の到達目標

シラバス　テキストに沿って、ビデオ資料を中心に中国語の発音、聞き取り、日常会話、中国語の日本語訳、簡単な作文、口頭発表の練習をする。中国の文化と社会に関連する映像資料も適宜使用する。また最新の流行語や中国事情をも紹介する。
1、ガイダンス
2-3、北京の小学校
4-5、北京のアフターファイブ
6-7、中国の流行歌謡界
8-9、新北京の足
10-11、中国のメデイア事情
12-13、港町天津
14、定期試験

教科書　『北京コレクション』（初級〜中級編、相原茂・陳祖蓓、朝日出版社、2006年）

参考文献

評価方法　出席(無断欠席四回は不可、出席状況も評価の内容)
平常点（積極的な発言と質問を高く評価する）
定期試験（小テストと口頭試験も参考）

備考　中国語の既修者、あるいは中国語圏での留学経験者等のクラス。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語IB（学院クラス）前期火6和		
科目キー	2600141008		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　北京を主題とする教科書を使い、現代中国事情にも触れながら、会話や聞き取りの練習をする。個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、本文を正確に訳す能力、基本文型の定着と応用能力の向上を目指す。ビデオ教材併用。

授業の到達目標

シラバス

1. はじめに　発音と基本文法
2. 第1課「北京の小学校」 文法と会話
3. 本文とビデオタイム
4. 第2課「北京のアフターファイブ」 文法と会話
5. 本文とビデオタイム
6. 第3課「中国流行歌謡界、明日のスター」　文法と会話
7. 本文とビデオタイム
8. 第4課「新・北京の足」 文法と会話
9. 本文とビデオタイム
10. 第5課「中国メディア事情」 文法と会話
11. 本文とビデオタイム
12. 第6課「港町天津」 文法と会話
13. 本文とビデオタイム
14. 総復習　オリンピックのこと
15.

教科書　相原茂『北京コレクション（初級-中級編）』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂（小型版と中型版あり）

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語IIA（学院クラス）後期木6熊		
科目キー	2600141009		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	熊　遠報		

副題

授業概要　会話を中心に中国語を学ぶ。正しい発音で話す能力、聞く能力、読み書きする能力を総合的に習得することを目標とする。
テキストと視聴覚教材を使用する。

授業の到達目標

シラバス　テキストに沿って、ビデオ資料を中心に中国語の発音、聞き取り、日常会話、中国語の日本語訳、簡単な作文、口頭発表の練習をする。中国の文化と社会に関連する映像資料も適宜使用する。また最新の流行語や中国事情をも紹介する。

1-2、骨董ブーム
3-4、北京の職人
5-6、北京郊外
7-8、中国の飲食文化
9-10、未来の京劇スターの夢
11-12、オリンピックと胡同
13、作文と口頭発表
14、期末試験

教科書　教科書 『北京コレクション』(初級〜中級編、相原茂・陳祖蓓、朝日出版社、2006年)

参考文献

評価方法　出席(無断欠席四回は不可、出席状況も評価の内容)
平常点(積極的な発言と質問を高く評価する)
定期試験(小テストと口頭試験も参考)

備考　中国語の既修者、あるいは中国語圏での留学経験者等のクラス。

中国の留学経験者等が歓迎。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語IIB（学院クラス）後期火6和		
科目キー	2600141010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和　平		

副題

授業概要　北京を主題とする教科書を使い、現代中国事情にも触れながら、会話や聞き取りの練習をする。個々の音節の正確な発音や文全体の自然なイントネーションの習得、本文を正確に訳す能力、自分の意思を中国語で伝達できる能力の向上を目指す。ビデオ教材併用。

授業の到達目標

シラバス
1. はじめに　発音と基本文法
2. 第7課「骨董ブーム」 文法と会話
3. 本文とビデオタイム
4. 第8課「北京の職人」 文法と会話
5. 本文とビデオタイム
6. 第9課「北京郊外」 文法と会話
7. 本文とビデオタイム
8. 第10課「中国飲食文化」 文法と会話
9. 本文とビデオタイム
10. 第11課「未来の京劇スターの夢」 文法と会話
11. 本文とビデオタイム
12. 第12課「オリンピックと胡同」 文法と会話
13. 本文とビデオタイム
14. 総復習
15. テスト

教科書　相原茂『北京コレクション（初級-中級編）』、朝日出版社

参考文献　『デイリーコンサイス中日日中辞典(第2版)』三省堂（小型版と中型版あり）

評価方法　テスト、出席状況、受講態度などにより総合的に評価

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級I　前期月３李		
科目キー	2600141011		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	李　洵		

副題　中国語検定試験3級ーーリスニング

授業概要　日本中国語検定協会が主催する中国語検定試験（以下「中検」と略す）は、学習者の中国語力を判断する客観的、かつ信頼のおける資格試験です。この授業は、中検試験の3級合格を目指すものです。

授業では中検の過去問題を解きながら、3級合格に必要なリスンニングや文法事項を学びます。前期と後期に分けてそれぞれ「リスンニング」と「筆記」を中心に進めます。
1年間の学習を通じて、3級レベル（＊）の実力を身につけ合格を目指す。

＊中検3級レベルについて
基本的な文書を読み、書くことができること;簡単な日常会話ができること。
学習時間に換算すると、200ー300時間。
一般大学の第二外国語における第二年度履修程度。

授業の到達目標

シラバス　＜前期＞
リスニング
1．時間について
2．時間の量
3．数量、金額、年齢
4．動作
5．人やものの様子、状態、意見
6．場所
7．事実の確認・推測

教科書　特になし

参考文献　柴森著『中国語検定3級頻出問題集』高橋書店
洪潔清・陳敏著『中国語検定3級一ヶ月でできる総仕上げ』白帝社

評価方法　小テスト
期末試験
中国語検定試験3級合格

備考　欠席4回以上は、不合格とする。
前期と後期、あわせて受講することを奨励。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級I　前期月４陳		
科目キー	2600141011		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　二年生以上が履修する中国語中級では、基礎から応用への学力の向上を目指す。中級においては、学生のニーズにより、中国語でコミュニケーションすることを目指す、より応用面を重視した多数の科目が用意されているため、学生は各自の好みのより選択することが可能である。「ことば」の学習から一歩進んで、中国人の「こころ」にも触れて頂けるよう、より意欲的な学生諸君の履修を期待したい。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級I　前期木4石田		
科目キー	2600141011		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　二年生以上が履修する中国語中級では、基礎から応用への学力の向上を目指す。中級においては、学生のニーズにより、中国語でコミュニケーションすることを目指す、より応用面を重視した多数の科目が用意されているため、学生は各自の好みのより選択することが可能である。「ことば」の学習から一歩進んで、中国人の「こころ」にも触れて頂けるよう、より意欲的な学生諸君の履修を期待したい。

授業の到達目標

シラバス　教科書に沿って進めて行く。

教科書　石田知子他『音で覚える中国語会話特訓』同学社
¥2500

参考文献

評価方法　教場試験・平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級I　前期火6永冨		
科目キー	2600141011		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　一年次において学生諸君は中国語の基礎は一通りマスターしたはずである。下記テキストは、中級者向けのより実用的なものであり、各課ごとに会話が設定されている。学習者の積極的な参加を期待する。

授業の到達目標

シラバス　教科書に沿って進めて行く。

教科書　相原茂『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』(朝日出版社)2200円
(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　教場試験および平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級I　前期金2楊		
科目キー	2600141011		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	楊　達		

副題

授業概要　二年生以上が履修する中国語中級では、基礎から応用への学力の向上を目指す。中級においては、学生のニーズにより、中国語でコミュニケーションすることを目指す、より応用面を重視した多数の科目が用意されているため、学生は各自の好みのより選択することが可能である。「ことば」の学習から一歩進んで、中国人の「こころ」にも触れて頂けるよう、より意欲的な学生諸君の履修を期待したい。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級I　前期火3渋谷		
科目キー	2600141011		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題　日中両国の大学キャンパスで中国語を話せるようになろう！

授業概要　昨年度初級で使用した『キャンパス的中国語』の未学習部分（16から18課）とオリジナルプリントの学習を通じて、初級文法の完成と会話力の向上を目指します。

授業の到達目標

シラバス　以下の内容を学習します。

一　基本的な会話力の習得
1　日常会話に使う単語の総復習。
2　日常生活の表現力の向上。

二　基礎文法の完成
1　補語の練習。
2　助動詞の総復習
3　前置詞の総復習
4　存在を示す表現・出現消失を示す表現・自然現象を表す表現
5　“把”を用いた文
6　使役、受身の表現

三　総合力

1　中国語検定4級の問題を用いて総合力をチェックします。
2　具体的な授業計画は第一回目の授業で提示します。

教科書　渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』同学社（昨年度使用教科書）
注）16課から使用するので、テキストを所有していない学生は16から18課のコピーを配布するのでテキストを新たに購入する必要はありません。

参考文献

評価方法　毎回の小テスト、出席、授業態度、期末テスト（会話テスト＋筆記テスト）の点数で評価します。

備考　毎回小テストを実施するので、必ず授業に出席する学生の履修を希望します。
隣の席の人と会話練習をする機会が多いので、積極的に会話練習をする学生の履修を歓迎します。
授業の内容・履修に関する質問をメールで受け付けます。
eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級II　後期月３李		
科目キー	2600141012		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	李　洵		

副題　中国語検定試験3級一一筆記

授業概要　日本中国語検定協会が主催する中国語検定試験（以下「中検」と略す）は、学習者の中国語力を判断する客観的、かつ信頼のおける資格試験です。この授業は、中検試験の3級合格を目指すものです。

授業では中検の過去問題を解きながら、3級合格に必要なリスンニングや文法事項を学びます。前期と後期に分けてそれぞれ「リスンニング」と「筆記」を中心に進めます。
1年間の学習を通じて、3級レベル（＊）の実力を身につけ合格を目指す。

＊中検3級レベルについて
基本的な文書を読み、書くことができること;簡単な日常会話ができること。
学習時間に換算すると、200一300時間。
一般大学の第二外国語における第二年度履修程度。

授業の到達目標

シラバス　＜後期＞
筆記
1. 完了、経験
2. 処置文、受身文
3. 使役文、比較文
5. 程度補語、数量補語
6. 結果補語、方向補語、可能補語
7. 慣用表現、複文

教科書　授業中指定

参考文献　柴森著『中国語検定3級頻出問題集』高橋書店
洪潔清・陳敏著『中国語検定3級一ヶ月でできる総仕上げ』白帝社

評価方法　小テスト
期末試験
中国語検定試験3級合格

備考　欠席4回以上は、不合格とする。
前期と後期、あわせて受講することを奨励。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級II　後期月４陳		
科目キー	2600141012		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	陳　愛玲		

副題

授業概要　二年生以上が履修する中国語中級では、基礎から応用への学力の向上を目指す。中級においては、学生のニーズにより、中国語でコミュニケーションすることを目指す、より応用面を重視した多数の科目が用意されているため、学生は各自の好みのより選択することが可能である。「ことば」の学習から一歩進んで、中国人の「こころ」にも触れて頂けるよう、より意欲的な学生諸君の履修を期待したい。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級II　後期木4石田		
科目キー	2600141012		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石田　知子		

副題

授業概要　二年生以上が履修する中国語中級では、基礎から応用への学力の向上を目指す。中級においては、学生のニーズにより、中国語でコミュニケーションすることを目指す、より応用面を重視した多数の科目が用意されているため、学生は各自の好みのより選択することが可能である。「ことば」の学習から一歩進んで、中国人の「こころ」にも触れて頂けるよう、より意欲的な学生諸君の履修を期待したい。

授業の到達目標

シラバス　教科書に沿って進めて行く。

教科書　石田知子他『音で覚える中国語会話特訓』同学社
¥2500

参考文献

評価方法　教場試験・平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級II　後期火6永冨		
科目キー	2600141012		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　前期に引き続き、下記テキストを学習する。教科書も後半となり、内容もより深みをもったものへと進んでいく。学習者の積極的な参加を期待する。

授業の到達目標

シラバス　教科書に沿って進めて行く。

教科書　相原茂『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』(朝日出版社)2200円
(理工生協書籍部扱い)

参考文献

評価方法　教場試験および平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級II　後期金２楊		
科目キー	2600141012		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	２時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	楊　達		

副題

授業概要　二年生以上が履修する中国語中級では、基礎から応用への学力の向上を目指す。中級においては、学生のニーズにより、中国語でコミュニケーションすることを目指す、より応用面を重視した多数の科目が用意されているため、学生は各自の好みのより選択することが可能である。「ことば」の学習から一歩進んで、中国人の「こころ」にも触れて頂けるよう、より意欲的な学生諸君の履修を期待したい。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語中級II　後期火3渋谷		
科目キー	2600141012		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	渋谷　裕子		

副題　初級文法の再確認と中級会話のマスター

授業概要　中国語中級後期では、基礎から応用への学力の向上を目指します。

目標は次の二つです。

1　初期文法をマスターして語彙力を増やすことによって中国語検定3級が合格できる

　レベルの総合的な実力を身につける。

2、来年の春休みに一人で中国に行っても最低限のコミュニケーションがとれるような

　会話力を身につける。

その他、みなさんの個々のレベルに合わせた応用学習も行いたいので、意欲的な学生諸

君の履修を期待しています。

授業の到達目標

シラバス　中級テキストのプリント（全10課）を使って一回一課ずつ勉強します。

毎回の授業で必ずやる内容は次の通り

1　単語チェック（単語をテーマごとにまとめて復習）

2　文法練習（初級文法が身に付いているか練習問題を通じて確認する）一毎回

3　会話（日常会話をその場でおぼえて発表する）一毎回

4　応用練習　（作文orヒアリング）

学生のレベルを見ながら、1、2、3の内容の確認テストを毎回実施する予定。

教科書　プリントを配布するので、テキストは購入しなくてよいです。

参考文献

評価方法　毎回実施する小テスト、出席状況、授業態度と期末に実施する会話・筆記テストの内容で総合的に判断します。

備考　辞書を使うので必ず用意すること。
授業に関する質問先：eaaa4887@mb.infoweb.ne.jp

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 （2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語上級I　前期月6永冨		
科目キー	2600141013		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　本講座は、中国語上級の習得を目指す学生を対象とする。長年にわたる中国語学習の最後として、より高度な内容にチャレンジしていただきたい。

授業の到達目標

シラバス　教科書に沿って進めて行く。

教科書　教場にて指示する。

参考文献

評価方法　教場試験および平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	中国語上級II　後期月6永冨		
科目キー	2600141014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	永冨　青地		

副題

授業概要　上級の授業も後半となり、やや息切れ気味の学生もいるかもしれない。しかし、中国語学習の完成を目指し、もうひとがんばりしていただきたい。学習者の積極的な参加を期待する。

授業の到達目標

シラバス　教科書に沿って進めて行く。

教科書　教場にて指示する。

参考文献

評価方法　教場試験および平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期月２佐藤		
科目キー	2600151001		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　スペイン語の基礎文法事項の習得がこの授業のねらいです。まず、発音・基礎単語をしっかり覚えることから始め、形容詞・動詞の活用へと入っていきます。動詞は直説法・現在の規則動詞と一部の不規則動詞を中心に学習します。

授業の到達目標

シラバス　指定した教科書に従って1課から7課まで進みます。テキストの例文を反復練習し、実際に使えるようになることを目標にします。各自が学習に目的意識を持って積極的に参加してください。

教科書　「みんなのスペイン語」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期木1佐藤		
科目キー	2600151001		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　スペイン語の基礎文法事項の習得がこの授業のねらいです。まず、発音・基礎単語をしっかり覚えることから始め、形容詞・動詞の活用へと入っていきます。動詞は直説法・現在の規則動詞と一部の不規則動詞を中心に学習します。

授業の到達目標

シラバス　指定した教科書に従って1課から7課まで進みます。テキストの例文を反復練習し、実際に使えるようになることを目標にします。各自が学習に目的意識を持って積極的に参加してください。

教科書　「みんなのスペイン語」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期月３浜田		
科目キー	2600151001		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、文を組み立てるための基本的な文法知識を習得することと、これを活用して身近な場面で簡単な構造の文を作ったり読み取ったりできるようになることです。
授業では、文法説明のあと文法練習をしてから、作文や読解（会話文）などへ進みます。

授業の到達目標

シラバス　授業初回：　受講案内、スペイン語についての話、発音を少し
2回目以後：　アルファベットと発音から始めて、教科書に沿って第6課（時間があれば第7課前半）まで進みます。学習する主な文法項目は次の通りです：名詞、冠詞、動詞ser・estar・hay、各種形容詞、現在形の規則活用動詞（以上第6課まで）、目的格人称代名詞（第7課前半）
授業最終回：　期末試験

教科書　教科書：『Plaza Mayor I（プラサ・マヨールI　ソフト版）』青砥清一、他（朝日出版社、1900円）CD付
辞　書：『現代スペイン語辞典』（白水社）、『新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブ　スペイン語辞典』『西和中辞典』（小学館）、電子辞書、の中から選ぶことを薦めます。（授業初回に辞書の紹介を行います）

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。

備考　スペイン語は発音が日本語と似ていて比較的学びやすい言語です。授業初回に、スペイン語の特徴、授業の進め方、成績評価の仕方、教科書、辞書などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期木4浜田		
科目キー	2600151001		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、文を組み立てるための基本的な文法知識を習得することと、これを活用して身近な場面で簡単な構造の文を作ったり読み取ったりできるようになることです。
授業では、文法説明のあと文法練習をしてから、作文や読解（会話文）などへ進みます。

授業の到達目標

シラバス　授業初回：　受講案内、スペイン語についての話、発音を少し
2回目以後：　アルファベットと発音から始めて、教科書に沿って第6課（時間があれば第7課前半）まで進みます。学習する主な文法項目は次の通りです：名詞、冠詞、動詞ser・estar・hay、各種形容詞、現在形の規則活用動詞（以上第6課まで）、目的格人称代名詞（第7課前半）
授業最終回：　期末試験

教科書　教科書：『Plaza Mayor I（プラサ・マヨールI　ソフト版）』青砥清一、他（朝日出版社、1900円）CD付
辞　書：『現代スペイン語辞典』（白水社）、『新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブ　スペイン語辞典』『西和中辞典』（小学館）、電子辞書、の中から選ぶことを薦めます。（授業初回に辞書の紹介を行います）

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。

備考　スペイン語は発音が日本語と似ていて比較的学びやすい言語です。授業初回に、スペイン語の特徴、授業の進め方、成績評価の仕方、教科書、辞書などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IA　前期火5北田		
科目キー	2600151001		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

第一回:授業の進め方
　　スペイン語について:　発音
第二回:発音　アクセント　単語、短文の読み
第三回:人称代名詞　動詞(1)　疑問文(1)
第四回:名詞の性と数　形容詞と名詞の一致(1)
第五回:動詞(2)　形容詞の一致(2)
第六回:指示詞　所有形容詞
第七回:動詞(3)　数字(1)
第八回:動詞(4)　前置詞　数字(2)
第九回:動詞(5)　形容詞(2)　順序数
第十回:動詞(6)　不定代名詞　不定形容詞
第十一回:予備日
第十二回:予備日
第十三回:試験

受講者の学習進度によって、前後します。

教科書　石崎、レイ著 「スペイン語世界への窓」弘学社

参考文献　辞書等に関しては、最初の授業時にお話しします。

評価方法　前期末の試験と平常点の両方で評価します。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期月1佐藤		
科目キー	2600151002		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　簡単な旅行会話を中心にして、耳からスペイン語を習得することを目標にします。近い将来、スペイン旅行をするチャンスが訪れるかもしれません。イメージの中で一人旅をしてみましょう。教科書に沿って、簡単にスペイン語の文法も解説します。

授業の到達目標

シラバス　指定した教科書に従って1課から6課まで進みます。毎回テープを聴いて、耳からスペイン語に慣れることに重点を置き、旅行会話に必要な重要表現をしっかり覚えます。

教科書　「楽しいスペイン旅行」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期月２浜田		
科目キー	2600151002		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	２時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞（現在形のみ）を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短に文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

授業の到達目標

シラバス　授業初回：　受講案内、スペイン語についての話、挨拶言葉
２回目以後：　アルファベットと発音から始めて、教科書に沿って第７課（時間があれば第8課）まで進みます。学習する主な文法項目は次の通りです：名詞、冠詞、形容詞、動詞ser・estar・hay、各種形容詞、現在形の規則活用動詞（以上７第課まで）、現在形の不規則活用動詞その１、直接目的格人称代名詞
授業最終回：　期末試験

教科書　教科書：『Unas　pinceladas del español （スペイン語でスケッチ)』エウヘニオ・デル・プラド、他（第三書房、2300円）CD付
辞　書：『現代スペイン語辞典』（白水社）、『新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブ　スペイン語辞典』『西和中辞典』（小学館）、電子辞書、の中から選ぶことを薦めます。（授業初回に辞書の紹介を行います）

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。

備考　スペイン語は発音が日本語と似ていて比較的学びやすい言語です。授業初回に、スペイン語の特徴、授業の進め方、成績評価の仕方、教科書、辞書などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。
　授業には、楽しみながら積極的に参加してください。
「スペイン語初級IA」も履修することを勧めます。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期金4ガルシア		
科目キー	2600151002		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　学生が、スペイン語の文章、会話に慣れ親しむことを目標とします。
　所定のテキストに沿いながら、文法、会話、作文といった学習を進め、同時に正確な発音やイントネーションにも気を付けます。
　また、スペインやラテンアメリカ諸国の生活、文化、習慣について様々な知識が得られるよう、適宜その説明やコメントも加えていきます。

授業の到達目標

シラバス
1　アルファベット　発音　アクセント
2　名詞　冠詞　性数
3　主語の人称代名詞　数字
4　“Ser”動詞　“Estar”動詞
5　直説法現在形（規則動詞）
6　国籍　出身
7　直説法現在形（不規則動詞）
8　時間の表現　数字
9　目的語人称代名詞
10　“Gustar”動詞等
11　指示形容詞・代名詞　所有形容詞・代名詞
12　比較級　最上級
13　総合会話練習　復習

教科書　Español Dinámico （動く！スペイン語）朝日出版社

参考文献

評価方法　定期試験　・　平常点

備考　授業への出席、授業の中での積極的な学習態度が非常に大切です。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期金5ガルシア		
科目キー	2600151002		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　スペイン語学習への第一歩となるこの課程においては、今後、口語、筆記双方によるスペイン語の表現、理解に必要不可欠となる正しく、しっかりとしたスペイン語文法知識を
学生が身につけることを目標とします。
授業では所定のテキストを使用しながら、口語及び筆記練習を数多く取り入れていきます。
後期では、学習内容の難易度は当然高くなっていきますが、授業の流れ、目標は基本的に前期と同様です。そして、会話練習をより多く取り入れつつ、スペインやラテンアメリカ諸国の生活、文化、習慣といった側面への理解もより深めていきます。

授業の到達目標

シラバス
1　アルファベット　発音　アクセント
2　名詞　冠詞　性数
3　主語の人称代名詞　数字
4　“Ser”動詞　“Estar”動詞
5　直説法現在形（規則動詞）
6　国籍　出身
7　直説法現在形（不規則動詞）
8　時間の表現　数字
9　目的語人称代名詞
10　“Gustar”動詞等
11　指示形容詞・代名詞　所有形容詞・代名詞
12　比較級　最上級
13　総合会話練習　復習

教科書　Español Dinámico（動く！スペイン語）朝日出版社

参考文献

評価方法　定期試験・平常点

備考　授業への出席、授業の中での積極的な学習態度が非常に大切です。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　前期木5浜田		
科目キー	2600151002		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞(現在形のみ)を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短に文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

授業の到達目標

シラバス　授業初回:　受講案内、スペイン語についての話、挨拶言葉
2回目以後:　アルファベットと発音から始めて、教科書に沿って第7課(時間があれば第8課)まで進みます。学習する主な文法項目は次の通りです:名詞、冠詞、形容詞、動詞ser・estar・hay、各種形容詞、現在形の規則活用動詞(以上7第課まで)、現在形の不規則活用動詞その1、直接目的格人称代名詞
授業最終回:　期末試験

教科書　教科書:『Unas　pinceladas del español　(スペイン語でスケッチ)』エウヘニオ・デル・プラド、他(第三書房、2300円)CD付
辞　書:『現代スペイン語辞典』(白水社)、『新スペイン語辞典』(研究社)、『プログレッシブ　スペイン語辞典』『西和中辞典』(小学館)、電子辞書、の中から選ぶことを薦めます。(授業初回に辞書の紹介を行います)

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点(課題・出席状況など)で総合的に評価します。

備考　スペイン語は発音が日本語と似ていて比較的学びやすい言語です。授業初回に、スペイン語の特徴、授業の進め方、成績評価の仕方、教科書、辞書などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。
「スペイン語初級IA」も履修することを勧めます。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IB　後期木3佐藤		
科目キー	2600151002		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　簡単な旅行会話を中心にして、耳からスペイン語を習得することを目標にします。近い将来、スペインを旅行するチャンスが訪れるかもしれません。イメージの中で一人旅をしてみましょう。教科書にそって、簡単にスペイン語の文法も解説します。

授業の到達目標

シラバス　指定した教科書に従って、1課から6課迄進めます。毎回テープを聞いて、耳からスペイン語に慣れることに重点を置き、旅行会話に必要な重要表現をしっかり覚えます。

教科書　「楽しいスペイン旅行」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期月2佐藤		
科目キー	2600151003		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　スペイン語の基礎文法事項の習得がこの授業のねらいです。直説法・現在の不規則動詞・点過去・線過去・未来形・過去未来形・完了形を中心に学習します。

授業の到達目標

シラバス　指定した教科書に従って8課から14課まで進みます。テキストの例文を反復練習し、実際に使えるようになることを目標にします。各自が学習に目的意識を持って積極的に参加してください。

教科書　「みんなのスペイン語」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期木1佐藤		
科目キー	2600151003		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　スペイン語の基礎文法事項の習得がこの授業のねらいです。直説法・現在の不規則動詞・点過去・線過去・未来形・過去未来形・完了形を中心に学習します。

授業の到達目標

シラバス　指定した教科書に従って8課から14課まで進みます。テキストの例文を反復練習し、実際に使えるようになることを目標にします。各自が学習に目的意識を持って積極的に参加してください。

教科書　「みんなのスペイン語」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期月3浜田		
科目キー	2600151003		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、文を組み立てるための基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で簡単な構造の文を作ったり読み取ったりできるようになることです。
授業では、文法説明のあと文法練習をしてから、作文や会話作成へと進みます。学習した項目でどんなことが言えるかに留意すると効果が上がります。

授業の到達目標

シラバス　授業初回：　受講案内、その他
2回目：　スペイン語初級I（前期）の復習、教科書第5課
3回目以後：　第5課の復習をしてから、教科書に沿って第11課まで進みます。途中、第8課が終わった段階で、中間試験をするか課題を出します。学習する主な文法項目は次の通りです：現在形の不規則活用動詞（2）、間接目的格代名詞、動詞gustar、現在形の不規則活用動詞（3）（語根母音変化動詞）、不定詞を使った表現、再帰動詞、無人称文（以上第8課まで）；動詞の点過去形・線過去形
授業最終回：　期末試験

教科書　『Español　entre　amigos　（スペイン語の小径）』加藤ナツ子（大学書林）CD付

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。

備考　授業初回に、授業の進め方、成績評価の仕方、教科書などについて受講案内をします。関心のある人は出席してください。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期火5北田		
科目キー	2600151003		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要

四億人の人々が生活しているスペイン語圏の世界への一歩として、スペイン語の基本文　法を学びましょう。文法の学習から始めますが、個々の事項のみを取り上げて覚えるので　なく、各々の規則が、文章の中でどの様に使われるのかを確認しながら授業を進めます。　また実際に使ってみます。

スペインの文化や人々の生き方や考え方、また現代の社会に関してもふれたいと考え　ています。

予習、復習はある程度必要ですが、むしろ授業中、熱意を持ち、集中して取り組んで頂　きたいと思います。

後期から出席され、前期の授業内容を学習されていない場合は、個別に対応します。

授業の到達目標

シラバス

第一回　前期の復習
第二回:動詞(7)　疑問詞　量と数
第三回:動詞(8)　時間の表現
第四回:動詞(9)人称代名詞の格による変化
第五回:動詞」(10)
第六回:比較級　最上級
第七回:動詞(11)　過去形の表現(1)
第八回:動詞(12)　過去形の表現(2)
第九回:動詞(13)　過去形の表現(3)
第十回:動詞(14)　未来形の表現
第十一回:予備日
第十二回:試験

受講者の学習進度によって、前後します。

教科書　石崎、レイ著　「スペイン語世界への窓」弘学社

参考文献　最初の授業時にお話しします。

評価方法　前期末の試験と平常点の両方で評価します。

備考　熱意を持って授業に参加して下さい。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIA　後期木4浜田		
科目キー	2600151003		
科目クラスコード	05	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　スペイン語入門を履修した学生を対象に、動詞の現在形の復習から始めて過去形・未来形まで、演習形式によってスペイン語の基礎の完成を目指す。文法演習と表現演習を通して、学んだ知識を活かして身近な場面で基本的なコミュニケーションがとれるようになることを目標とする。文法演習では、各時制について、基本的な動詞の活用形とその用法を重点的に学習する。表現演習では、文法知識に基づいた自己表現力の養成に加えて、基本的な語彙の増強も図り、「話す・聞く・読む・書く」の全ての能力の向上を目指す。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期月1佐藤		
科目キー	2600151004		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　簡単な旅行会話を中心にして、耳からスペイン語を習得することを目標にします。近い将来、スペイン旅行をするチャンスが訪れるかもしれません。イメージの中で一人旅をしてみましょう。
教科書に沿って、簡単にスペイン語の文法も解説します。

授業の到達目標

シラバス　指定した教科書に従って7課から12課まで進みます。毎回テープを聞いて、耳からスペイン語に慣れることに重点を置き、必要な重要表現をしっかり覚えます。

教科書　「楽しいスペイン旅行」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期月2浜田		
科目キー	2600151004		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短に文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

授業の到達目標

シラバス　授業初回:　受講案内、スペイン語初級IBの復習を少し
2回目以後:　初級IBの復習(この教科書では第7課まで。学習した項目を使ってどんなことが表現できるか)をした後、教科書に沿って第8課から第15課まで進みます(第13課は時間がある場合にのみ扱います)。途中、第12課(現在形)が終わった段階で、中間試験をするか課題を出します。
学習する主な文法項目は次の通りです:現在形の不規則活用動詞、目的格人称代名詞、不定詞表現、動詞gustar、再帰動詞、比較表現(以上第12課)、過去形(第14・15課)、現在完了形(第13課)
授業最終回:　期末試験

教科書　教科書:『Unas　pinceladas del español　(スペイン語でスケッチ)』エウヘニオ・デル・プラド、他(第三書房、2300円)CD付

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点(課題・出席状況など)で総合的に評価します。

備考　授業初回に、授業の進め方、成績評価の仕方、教科書などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。
「スペイン語初級IIA」も履修することを勧めます。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期金4ガルシア		
科目キー	2600151004		
科目クラスコード	03	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　前期からの継続の授業ということで、授業のレベルは多少高くなりますが、基本的な目標は前期と同様です。
最初は、既に前期で学習した事柄の中から、必要事項を復習します。その後は、新たな文法事項を学習し、さらにリスニング力、読解力や文章および口語による表現力を身に付けるための練習へと進んでいきます。

授業の到達目標

シラバス
1　点過去形(規則動詞)
2　点過去形(不規則動詞)
3　前置詞　疑問詞　数字
4　線過去形
5　天気・気候の表現
6　現在分詞　現在進行形
7　日付の表現　家族
8　過去分詞　現在完了形
9　受動文　無人称表現
10　再帰動詞　関係代名詞の"que"
11　日常習慣の表現
12　未来・予定の表現
13　総合会話練習　復習

教科書　Español Dinámico(動く！スペイン語)朝日出版社

参考文献

評価方法　定期試験　・　平常点

備考　授業への出席、授業の中での積極的な学習態度が非常に大切です。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期金5ガルシア		
科目キー	2600151004		
科目クラスコード	04	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員			

副題

授業概要　スペイン語学習への第一歩となるこの課程においては、今後、口語、筆記双方によるスペイン語の表現、理解に必要不可欠となる正しく、しっかりとしたスペイン語文法知識を
学生が身につけることを目標とします。
　授業では所定のテキストを使用しながら、口語及び筆記練習を数多く取り入れていきます。
　後期では、学習内容の難易度は当然高くなっていきますが、授業の流れ、目標は基本的に前期と同様です。そして、会話練習をより多く取り入れつつ、スペインやラテンアメリカ諸国の生活、文化、習慣といった側面への理解もより深めていきます。

授業の到達目標

シラバス
1　点過去形(規則動詞)
2　点過去形(不規則動詞)
3　前置詞　疑問詞　数字
4　線過去形
5　天気・気候の表現
6　現在分詞　現在進行形
7　日付の表現　家族
8　過去分詞　現在完了形
9　受動文　無人称表現
10　再帰動詞　関係代名詞の"que"
11　日常習慣の表現
12　未来・予定の表現
13　総合会話練習　復習

教科書　Español Dinámico(動く！スペイン語)朝日出版社

参考文献

評価方法　定期試験・平常点

備考　授業への出席、授業の中での積極的な学習態度が非常に大切です。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　後期木5浜田		
科目キー	2600151004		
科目クラスコード	06	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短に文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

授業の到達目標

シラバス　授業初回:　受講案内、スペイン語初級IBの復習を少し
2回目以後:　初級IBの復習(この教科書では第7課まで。学習した項目を使ってどんなことが表現できるか)をした後、教科書に沿って第8課から第15課まで進みます(第13課は時間がある場合にのみ扱います)。途中、第12課(現在形)が終わった段階で、中間試験をするか課題を出します。
学習する主な文法項目は次の通りです:現在形の不規則活用動詞、目的格人称代名詞、不定詞表現、動詞gustar、再帰動詞、比較表現(以上第12課)、過去形(第14・15課)、現在完了形(第13課)
授業最終回:　期末試験

教科書　教科書:『Unas　pinceladas del español　(スペイン語でスケッチ)』エウヘニオ・デル・プラド、他(第三書房、2300円)CD付

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点(課題・出席状況など)で総合的に評価します。

備考　授業初回に、授業の進め方、成績評価の仕方、教科書などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。
授業には、楽しみながら積極的に参加してください。
「スペイン語初級IIA」も履修することを勧めます。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語初級IIB　前期月４浜田		
科目キー	2600151004		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	浜田　真理子		

副題

授業概要　このクラスの目標は、基本的な文法知識の習得と、これを活用して身近な場面で自分や他の人について話したり初歩的なコミュニケーションがとれるようになることです。このため、基本的な文法事項のほか、動詞を中心とした表現・語彙も学習します。
授業では、口頭練習を多く行います。まず、手短かに文法説明をして、その確認のために文法練習を少しします。そのあと、表現練習、会話の作成や練習へと進みます。
学習した項目を使ってどんなことが表現できるかに留意すると効果が上がります。

授業の到達目標

シラバス　授業初回：　受講案内、スペイン語初級IBの復習を少し
２回目以後：　まず、初級IBの復習（動詞SER・ESTAR・hay、規則活用動詞の現在形で何が表現できるか）。復習の後、教科書に沿って第５課から第１１課まで進みます。途中、第８課（現在形）が終わった段階で、中間試験をするか課題を出します。
学習する主な文法項目は次の通りです：現在形の不規則活用動詞、目的格人称代名詞、動詞gustar、不定詞を使った表現、再帰動詞、無人称文（以上第８課まで）；動詞の点過去形・線過去形
授業最終回：　後期期末試験

教科書　教科書：『Español　entre　amigos　（スペイン語の小径）』加藤ナツ子、他（大学書林、2500円）CD付

参考文献

評価方法　期末の教場試験の結果と平常点（課題・出席状況など）で総合的に評価します。

備考　授業初回に、授業の進め方、成績評価の仕方、教科書などについて受講案内をします。関心のある人は必ず出席してください。
　授業には、楽しみながら積極的に参加してください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語中級I　前期火2北田		
科目キー	2600151005		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要

スペイン語 I で既習の文法、構文を丁寧に復習します。また、未修の文法も少しずつ　学んでいきます。

会話への導入として、テープを使い、スペイン語Iで学んだ簡単な文章のパターン練習　をする予定です。

スペインやヨーロッパの歴史、文化や社会、また人々の生き方や考え方等についてふれてみたいと考えています。

予習、復習はある程度必要ですが、むしろ授業中、熱意を持ち、集中して取り組んで頂　きたいと思います。

授業の到達目標

シラバス　一回目の授業時、受講者の意見を聞いて決めます。

教科書　必要があればプリントを配布します。

参考文献

評価方法　平常点と試験の成績で評価します。平常点の比率は低くありません。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語中級I　前期木2佐藤		
科目キー	2600151005		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　一年次に学習したスペイン語の基礎文法を土台にして、さらに必要な文法事項を学習するのが、この授業のねらいです。
特に、関係代名詞、関係形容詞、関係副詞、過去未来、接続法現在の概略、命令を中心に学習します。

授業の到達目標

シラバス　教科書の目次に従って1課から7課まで進みます。最初に、その日の文法事項を説明し、その後で各自に例文の和訳・練習問題をやってもらいます。例文を土台にして、応用表現ができることを目標とします。

教科書　「スペイン語　2」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語中級II　後期火2北田		
科目キー	2600151006		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	北田　よ志子		

副題

授業概要　スペイン語Ｉで既習の文法、構文を丁寧に復習します。また、未修の文法も少しずつ　学んでいきます。

未修の文法は前期からの継続として学びますが、後期から出席され、前期に学習した文　法を学んでいない方には、個々に対応しますので問題はありません。

会話への導入として、テープを使い、スペイン語Iで学んだ簡単な文章のパターン練習　をする予定です。

スペインやヨーロッパの歴史、文化や社会、また人々の生き方や考え方等についてふれてみたいと考えています。

予習、復習はある程度必要ですが、むしろ授業中、熱意を持ち、集中して取り組んで頂きたいと思います。

授業の到達目標

シラバス　一回目の授業時、受講者の意見を聞いて決めます。

教科書　必要があればプリントを配布します。

参考文献

評価方法　平常点と試験の成績で評価します。平常点の比率は低くありません。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	西語中級II　後期木2佐藤		
科目キー	2600151006		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	佐藤　惣平		

副題

授業概要　一年次に学習したスペイン語の基礎文法を土台にして、さらに必要な文法事項を学習するのが、この授業のねらいです。
特に、接続法現在の用法と接続法過去の用法を中心に学習します。

授業の到達目標

シラバス　教科書の目次に従って8課から14課まで進みます。最初に、その日の文法事項を説明し、その後で各自に例文の和訳・練習問題をやってもらいます。例文を土台にして、応用表現ができることを目標とします。

教科書　「スペイン語　2」 佐藤惣平著 （大学書林）

参考文献

評価方法　教場試験と平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語初級IA　前期水4ジンベルグ		
科目キー	2600151007		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	ジンベルグ　茱萸		

副題

授業概要

前期では、最初の5回でロシア語の発音と文字を学びます。
これは、このあとの学習にとってかならず必要なプロセスです。
このあと簡単なロシア語の構文と表現の学習をすすめていきます。
ロシア語は形態がとても大切な言語ですが、覚えてしまえば、
あとは使うことになじんでいくだけなので、難しさはさほどありません。
あいまいさをのこすことの少ない言語です。
そして、学習のどの段階であっても、すぐに使える表現が
学べます。
今後ロシアとの関係は発展が期待されています。
みなさんの活躍するどの場面でも、ロシア語は役に立つはずです。

授業の到達目標

シラバス

1-5回 ロシア語の発音と文字。
6. 名詞の形。
　表現: これは何ですか。
　　これは誰ですか。
7. 所有代名詞。動詞の変化形(いずれも三人称)
　表現: これは彼の本です。
　　彼はいまラジオを聴いている。
8. 場所を表す前置詞と、名詞の形。
　表現: 彼は運転手です。
　　彼女は図書館に勤めています。
9. 所有代名詞(1,2人称)、動詞の変化(1、2、3人称)
　表現: 私はきょう仕事があります。
　　これは僕のかばんです。
10. 動詞の変化(つづき)。
　表現: 私はロシア語がしゃべれる。

この進度予定は、授業の実施等に変更があった場合は、変わることがあります。

教科書

『百万人のロシア語』(リプリント版。ナウカ出版)

参考文献

博友社『ロシア語辞典』

評価方法

授業中の理解度、到達度を見て評価します。

備考

関連URL:

東京ロシア語学院:http://www.tokyorus.ac.jp
パソコンでロシア語を使うとき

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語初級IB　後期水5ジンベルグ		
科目キー	2600151008		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	ジンベルグ　茱萸		

副題

授業概要　日常の挨拶、簡単な表現を中心に、ロシア語の初歩的な知識を学びますが、
初級では、AとBに大差はありません。
発音と文字の学習からはじめ、簡単な構文に移っていきます。
ロシア語は形態が表現の基本にあるので、形態の変化を知らなくては、
表現できません。まず形態をきちんと覚えることが表現の第一歩となります。

授業の到達目標

シラバス　1-5回 発音と文字。
6回以降で学んでいく表現。
6. これは何ですか。
　これは誰ですか。
7. これは彼の本です。
　彼は散歩している。
8. 彼女は教師です。
　彼は図書館に勤めている。
　いま父は働いていない。年金で暮らしている。
9.これはきみの本? そうです、僕のです。
　私はいま朝食を食べている。
　僕の辞書どこにあるか知らない?
10.僕はフランス語とロシア語がしゃべれる。

以上の進度内容は、授業の過程で変更になる場合があります。

教科書　プリント

参考文献　博友社『ロシア語辞典』

評価方法　授業中の理解度や到達度で評価します。

備考

関連URL:　東京ロシア語学院:htt@://www.tokyorus.ac.jp
パソコンでのロシア語入力方法

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語初級IB　前期金４上野		
科目キー	2600151008		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	上野　理恵		

副題

授業概要　入門者を対象としたクラスです。アルファベットから始め、会話の基本表現とそれに関連する文法事項を学びます。会話の基礎を身につけることが目標です。

現在、ロシアは著しい経済成長を遂げており、今後、日本にとって重要な隣国になることは確実です。仕事でロシア語が必要となる場面もこれからどんどん増えていくでしょう。また宇宙開発の分野でロシアは先進国です。将来この分野に進むことを考えている人にとってロシア語は必須言語といえます。
ロシアの魅力はそれにとどまりません。ご存知のようにロシアは芸術大国でもあります。文学、美術、音楽、演劇、バレエなど、さまざまな分野で優れた芸術家を数多く輩出し、世界に影響を与えてきました。最近の日本では、アニメや絵本といったロシアのサブカルチャーもとても人気があります。
ロシアは実に多様な側面をもったスケールの大きな国です。そんなロシアの魅力をお伝えするために、授業ではロシアの文化事情を紹介する時間ももうける予定です。

ロシア語は視覚的にも音声的にもとても美しい言語です。文字と発音を覚えることはロシア語学習の醍醐味のひとつといえます。また単語の発音も子音と母音の組み合わせが多く、文を構成する格変化も日本語の「てにをは」に近い機能をもっているので、日本人になじみやすい言語でもあります。ゆっくりと学んでいきますので、気軽に受講してください。

授業の到達目標

シラバス　教科書に沿って授業を進めていきます。教科書はロシアの日常生活をテーマにしたテキストと対話で構成されています。「聴く」「話す」「書く」練習を中心に、テキストや対話に出てきた口語表現や基本単語を覚えていきます。

前期はロシア語の文字と発音から入り、教科書の第5課まで進む予定です。

1. ロシア語の文字と発音

2. 第1課
「. . . は. . . である」
「. . . は. . . にいる／ある」
基本文型（その1）、名詞の性

3. 第2課
「これは彼の本です」
「彼は本を読みます」
所有代名詞・動詞の現在人称変化（三人称のみ）
基本文型（その2）、直接目的を示す対格

4. 第3課
「いいえ、彼女は読んでいません」
「彼女は学校で働いています」
否定文、場所を表す疑問詞ｇдеと前置格

5. 第4課
「これは私の息子です」
「私は本を読み、父は新聞を読みます」
所有代名詞・動詞の現在人称変化（一人称と二人称）

6. 第5課
「私はロシア語を話せます」
「私はロシア語を知っています」
по-русски と русский язык、名詞の複数形

教科書　E・ステパーノワ『百万人のロシア語』（ナウカ）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語初級IB　前期金４上野		
科目キー	2600151008		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上

参考文献　教場で指示します。

評価方法　学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考　ロシア語の学習は文字の発音から始まるので最初が肝心です。できるだけ欠席しないように努力してください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語初級IIA　後期水4ジンベルグ		
科目キー	2600151009		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	ジンベルグ　茱萸		

副題

授業概要　前期の初級IAまたは初級IBを履修した後、ロシア語の基礎文法を学ぶ授業。履修後、中級に進むことができます。

授業の到達目標

シラバス

1. 移動の動詞。理由を説明する文。
表現: 彼はいまバスに乗っている。
　　きょうは休みなので、家にいる。
2. 方向をあらわす前置詞と名詞の形。時間の表現。形容詞の形。
表現:—どこへ行くの?
　—学校へ行くところです。
　これは新しいネクタイですね。
　いま5時です。
3. 自動詞と他動詞。曜日の表現。人称代名詞の目的格。
表現: 授業が始まる。授業をはじめる。
　　授業は9時に始まる。
　　土曜日には私はテレビを見る。
　　私は彼をよく知っている。
4. 所有をあらわす構文。接続詞「...するとき」
表現: 僕には兄弟がいる。
　　私は車を持っている。
　　お父さんが新聞を読んでいるとき、私はテレビを見ている。
5. 動詞の過去形。人をあらわす名詞の目的格。関係代名詞。
表現: きのう僕はテニスをした。
　　日曜日公園で友達をみかけた。
　　机の上にあった手紙を見なかった?

この進度予定は、授業の過程で変更される場合があります。

教科書　『百万人のロシア語』(リプリント版。ナウカ出版)

参考文献　博友社『ロシア語辞典』

評価方法　学期末テスト

備考

関連URL:　東京ロシア語学院:
http://www.tokyorus.ac.jp
ロシア語に関連した実務

成績評価方法		
	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語初級IIB　後期金4上野		
科目キー	2600151010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上野　理恵		

副題

授業概要　初級IBもしくは初級IAの履修者を対象としたクラスです。初級Iの教科書を使用しながら、引き続き会話の基本表現とそれに関連する文法事項を学びます。会話の基礎を身につけることが目標です。

現在、ロシアは著しい経済成長を遂げており、今後、日本にとって重要な隣国になることは確実です。仕事でロシア語が必要となる場面もこれからどんどん増えていくでしょう。また宇宙開発の分野でロシアは先進国です。将来この分野に進むことを考えている人にとってロシア語は必須言語といえます。
ロシアの魅力はそれにとどまりません。ご存知のようにロシアは芸術大国でもあります。文学、美術、音楽、演劇、バレエなど、さまざまな分野で優れた芸術家を数多く輩出し、世界に影響を与えてきました。最近の日本では、アニメや絵本といったロシアのサブカルチャーもとても人気があります。
ロシアは実に多様な側面をもったスケールの大きな国です。そんなロシアの魅力をお伝えするために、授業ではロシアの文化事情を紹介する時間ももうける予定です。

ロシア語は視覚的にも音声的にもとても美しい言語です。文字と発音を覚えることはロシア語学習の醍醐味のひとつといえます。また単語の発音も子音と母音の組み合わせが多く、文を構成する格変化も日本語の「てにをは」に近い機能をもっているので、日本人になじみやすい言語でもあります。ゆっくりと学んでいきますので、気軽に受講してください。

授業の到達目標

シラバス　教科書に沿って授業を進めていきます。教科書はロシアの日常生活をテーマにしたテキストと対話で構成されています。「聴く」「話す」「書く」練習を中心に、テキストや対話に出てきた口語表現や基本単語を覚えていきます。

後期は教科書の第6課から10課まで進む予定です。

1. 第6課
「彼は行きます（徒歩で／乗り物で）」
「彼はバスで行きます」
運動の動詞、交通手段

2. 第7課
「私は研究所に行きます」
「これは新しいネクタイです」
「いま5時です」
疑問詞ｋｕｄａとその答えかた、形容詞の変化、時間の表現

3. 第8課
「番組は7時に始まります」
－ｃｑ動詞の変化、疑問詞ｋｏｇｄａとその答えかた

4. 第9課
「私には兄弟がいます」
「本は机の上に、雑誌は机のなかにあります」
「私がテレビを見ているとき……」
存在を表すｅｓｔｂと所有の表現、前置詞の用法、所有代名詞（複数）、
接続詞ｋｏｇｄａ

5. 第10課
「昨日彼は雑誌を読んだ」
「私はマクシムとニーナに会う」
過去形、男性名詞活動体の対格、関係代名詞（主格）

教科書　E・ステパーノワ『百万人のロシア語』（ナウカ）

参考文献　教場で指示します。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語初級IIB　後期金４上野		
科目キー	2600151010		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	１年以上

評価方法　学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考　語学は日々の積み重ねが重要です。なるべく欠席しないように努力してください。

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語初級IIB　前期木2南平		
科目キー	2600151010		
科目クラスコード	30	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要　ロシア語の基礎を学んだ学生を対象とします。本科目では、さらに基本的なロシア語の文法を学習し、平易な文章を読解できる力をつけたいと思います。ロシアの文化について、理解を深めることも目標の一つです。

授業の到達目標

シラバス　受講生の発言する機会を多くもちたいと考えています。そのためにも、積極的に授業に取り組んでいただきたいと思います。

教科書　ステパーノワ他著『百万人のロシア語』(教科書編)ナウカ

参考文献　辞書や参考文献等については、授業中に適宜お話しします。

評価方法　試験は、適宜実施。授業の初回にお話します。
成績評価については、平常点を重視(授業内に、小テストを行う場合もある)。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語IA（学院クラス）前期火5上野		
科目キー	2600151011		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上野　理恵		

副題　ロシア語を話しましょう！

授業概要　早稲田高等学院で三年間ロシア語を学んだ一年生を対象としたクラスですが、ロシア語学習歴がある人なら誰でも受講可能です。基礎的な会話力の育成が目標となります。

授業ではロシアの日常生活をテーマにしたテキストやビデオ教材を用い、リスニングやスピーキングの練習を中心に、具体的なシチュエーションで使われる口語表現を覚えていきます。その過程で、必要な文法事項の説明や復習を行ない、それらの文法事項を運用するためのトレーニングをします。ロシアでの旅行にも役立つ内容になっています。

また基礎文法や基本単語も身につけられるので、ロシア語検定試験の準備にも有効です。自分の学力を知るひとつの方法にロシア語検定試験があります。試験に合格すれば、就職、通訳の際の学力証明にもなります。要望があれば、ロシア語検定試験対策も行ないます。

ロシアという国を身近に感じ、興味を持ってもらえるように、ロシアの文化事情について紹介する時間ももうける予定です（その一環として映画を鑑賞します）。

授業の到達目標

シラバス　以下のラインナップを予定しています。

1. ガイダンス
2. 「自己紹介」（計3回）
3. 「道の聞き方」（計2回）
4. 「レストランで」（計3回）
5. 「買い物の仕方」（計2回）
6. 映画鑑賞

教科書　教場でプリントを配布します。

参考文献　教場で指示します。

評価方法　学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語IB（学院クラス）前期水3南平		
科目キー	2600151012		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要　ある程度まとまった文章を読みこなす力をつけることを目標にします。これまで習得した文法事項の復習、新たな文法事項の学習に関しても本科目では力を入れていきます。読解力のさらなる向上を目指すことに重点を置き、さらに、文学、映画、音楽、演劇、舞踊などロシアの文化に関する理解をより深めていきたいと考えています。

授業の到達目標

シラバス　本科目は主に早稲田高等学院出身者を対象にしています。基本的な文法に関しては、上記の教科書を使用して、適宜復習していきます。さらに、プーシキン、レールモントフなどの19世紀の作家の作品や映画、音楽、演劇、舞踊に関する記事や論文のなかから比較的平易な文章を抜粋し、講読していく予定。

教科書　ステパーノワ他著『百万人のロシア語』(教科書編)ナウカ
それ以外に、木村彰一著「ロシア文法の基礎」を使用。

参考文献　辞書や参考文献等については、授業中に適宜お話しします。

評価方法　・試験について
教場試験を実施。
・成績評価について
平常点を重視(授業内に、小テストを行う場合もある)。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語IIA（学院クラス）後期火５上野		
科目キー	2600151013		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	５時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	上野　理恵		

副題　ロシア語を話しましょう！

授業概要　露語IA(学院クラス)の履修者を対象としたクラスですが、ロシア語学習歴がある人なら誰でも受講可能です。基礎的な会話力の育成が目標となります。

授業ではロシアの日常生活をテーマにしたテキストやビデオ教材を用い、リスニングやスピーキングの練習を中心に、具体的なシチュエーションで使われる口語表現を覚えていきます。その過程で、必要な文法事項の説明や復習を行ない、それらの文法事項を運用するためのトレーニングをします。ロシアでの旅行にも役立つ内容になっています。

また基礎文法や基本単語も身につけられるので、ロシア語検定試験の準備にも有効です。自分の学力を知るひとつの方法にロシア語検定試験があります。試験に合格すれば、就職、通訳の際の学力証明にもなります。要望があれば、ロシア語検定試験対策も行ないます。

ロシアという国を身近に感じ、興味を持ってもらえるように、ロシアの文化事情について紹介する時間ももうける予定です（その一環として映画を鑑賞します）。

授業の到達目標

シラバス　以下のラインナップを予定しています。

1. ガイダンス
2. 「飛行機、列車の旅」（計2回）
3. 「ホテルで」（計2回）
4. 「電話での会話」（計2回）
5. 「劇場に行こう！」（計2回）
6. 「病院で」（計2回）
7. 映画鑑賞

教科書　教場でプリントを配布します。

参考文献　教場で指示します。

評価方法　学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語IIB（学院クラス）後期水3南平		
科目キー	2600151014		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要　この授業は、「露語　IB　　学院クラス」に引き続き、文法の力をさらに確実に身に付け、読解力、コミュニケーション能力の向上を目指します。

授業の到達目標

シラバス　本科目は「露語　IB　　学院クラス」同様、主に早稲田高等学院出身者を対象にしています。基本的な文法に関しては、上記の教科書を使用して、適宜復習していきます。さらに、プーシキン、レールモントフなどの19世紀の作家の作品や映画、音楽、演劇、舞踊に関する記事や論文のなかから比較的平易な文章を抜粋し、講読していく予定。

教科書　ステパーノワ他著『百万人のロシア語』（教科書編）ナウカ
それ以外に、木村彰一著「ロシア文法の基礎」を使用。

参考文献　辞書や参考文献等については、授業中に適宜お話しします。

評価方法　・試験について
教場試験を実施。
・成績評価について
平常点を重視（授業内に、小テストを行う場合もある）。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語中級I　前期火４上野		
科目キー	2600151015		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	上野　理恵		

副題

授業概要　初級IとIIのABのいずれかを履修した人を対象としたクラスです。一年間の勉強でようやくロシア語にも慣れてきたところだと思いますが、ロシア語学習の愉しみはまだまだこれからです。もう一年勉強を続けて基礎を固めることで、インターネットでロシア語の情報を得たり、ロシア人とロシア語で交流することも可能になるのです。ロシア語を通じてあなたの世界はぐっと広がるはずです。

またロシアは日本にとって経済的にも文化的にも重要な隣国です。仕事や勉強でロシア語が必要になる機会もこれから増えていくと思います。宇宙開発の仕事を考えている人にロシア語は必須言語ですし、早稲田大学はモスクワ大学と留学協定を結んでいるので、この制度を利用して、天才的な数学者や物理学者をたくさん輩出しているモスクワ大学に研究に行くことも可能です。語学は若いうちに始めるのが効果的です。今後のためにも、今のうちにロシア語を勉強することをお勧めします。

授業ではロシアの日常生活をテーマにしたテキストや対話を読みながら、口語表現と関連の文法事項を学びます。「聴く」「話す」「書く」練習を中心に、基本的な表現と単語を覚え、一年間の学習で、ロシア語で簡単な文章の読み書きや会話ができるようにします。またロシア語学習をより実りあるものにするため、授業のなかでロシアの文化事情について紹介する時間をもうけます。

授業の到達目標

シラバス　前期は教科書の第11課から16課まで進む予定です。

1. 第11課
「彼は雑誌を2時間読んだ」
「彼はもう雑誌を読んでしまった」
「街は4年間建設された」
継続を表す疑問詞ｓｋｏｌｋｏと対格、体の用法（過去）、不定人称文

2. 第12課
「明日私は新しい雑誌を読む」
「アントンはわれわれに語った」
「ヴェーラは今日雑誌を読まなければならない」
体の用法（未来）、間接目的を示す与格（代名詞）、ｄｏｌｊｅｎ＋動詞の不定形

3. 第13課
「私は休まなければならない」
「アントンは自分の雑誌とあなたの本をかばんに入れた」
無人称文（その1）、再帰所有代名詞、所有代名詞の対格

4. 第14課
「今日の晩、私は読書をする」
「私はアカデムゴロドークで働きたい」
「アントンは新しい雑誌と本を買った」
ｂｙｔｂの未来と不完了体未来、ｘｏｔｅｔｂ＋動詞の不定形、形容詞の対格、
疑問詞ｋｏｇｄａに対する答えかた（その2）

5. 第15課
「今日は寒い」
「あなたが会うヴェーラは……」
「もし良い天気なら……」
無人称文（その2）、関係代名詞（対格）、条件文

6. 第16課
「アントンはモスクワのことを話して聞かせる」
「ヴェーラは自分の仕事のことをたくさん話す」
ｏ＋前置格の用法、所有代名詞の前置格、
疑問詞ｋｏｇｄａに対する答えかた（その3）

教科書　E･ステパーノワ『百万人のロシア語』（ナウカ）

参考文献　教場で指示します。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語中級I　前期火４上野		
科目キー	2600151015		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	２年以上

評価方法　学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語中級I　前期木4南平		
科目キー	2600151015		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要　この講座では、文法の復習、さらに高次な文法知識を身につけ、読解力やコミュニケーション能力を深めることを目標とします。

授業の到達目標

シラバス　講読重視の授業ですので、輪読形式を採用したいと考えます。
ぜひ積極的に授業に参加していただきたいと思います。

教科書　ステパーノワ他著『百万人のロシア語』(教科書編)ナウカ

それ以外に木村彰一『ロシア文法の基礎』白水社を使用。

参考文献　参考文献、及び辞書については、授業中に適宜お話しします。

評価方法　・試験について
教場試験といたします。
・成績評価について
とくに平常点を重視(授業内に、小テストを行う場合もあります)。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語中級II　後期火4上野		
科目キー	2600151016		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	上野　理恵		

副題

授業概要　中級Iの履修者を対象としたクラスです。一年間の勉強でようやくロシア語にも慣れてきたところだと思いますが、ロシア語学習の愉しみはまだまだこれからです。もう一年勉強を続けて基礎を固めることで、インターネットでロシア語の情報を得たり、ロシア人とロシア語で交流することも可能になります。ロシア語を通じてあなたの世界はぐっと広がるはずです。

またロシアは日本にとって経済的にも文化的にも重要な隣国です。仕事や勉強でロシア語が必要になる機会もこれから増えていくと思います。宇宙開発の仕事を考えている人にロシア語は必須言語ですし、早稲田大学はモスクワ大学と留学協定を結んでいるので、この制度を利用して、天才的な数学者や物理学者をたくさん輩出しているモスクワ大学に研究に行くことも可能です。語学は若いうちに始めるのが効果的です。今後のためにも、今のうちにロシア語を勉強することをお勧めします。

授業ではロシアの日常生活をテーマにしたテキストや対話を読みながら、口語表現と関連の文法事項を学びます。「聴く」「話す」「書く」練習を中心に、基本的な表現と単語を覚え、一年間の学習で、ロシア語で簡単な文章の読み書きや会話ができるようにします。またロシア語学習をより実りあるものにするため、授業のなかでロシアの文化事情について紹介する時間をもうけます。

授業の到達目標

シラバス　後期は教科書の第17課から22課まで進む予定です。

1. 第17課
「私たちはこの街の住んでいる」
「ニーナは新しい学校で学んでいる」
指示代名詞・形容詞の前置格、対格を要求する動詞、与格を要求する動詞

2. 第18課
「彼は弟に本を買った」
「君の本を貸してくれ」
「父は彼が大学で学ぶことを望んでいる」
間接目的を示す与格（名詞）、命令形、接続詞 ч т о б ы の用法

3. 第19課
「アントンはノヴォシビルスクが気に入っている」
「ニーナは自分の小さな弟に本を読み聞かせる」
「この通りには本屋がある」
н р а в и т ь с я の用法、所有代名詞・形容詞の与格、存在を表すｅ с т ь

4. 第20課
「アントンは家にいない」
「これはバスの停留所です」
「切符はいくらですか」
否定生格（現在）、所有・所属を示す生格、値段の表現

5. 第21課
「私たちの通りには映画館はなかった／できないだろう」
「アントンはこの小さな男の子の兄です」
否定生格（過去・未来）、指示代名詞・形容詞の生格
н е д а л е к о　о т 生格

6. 第22課
「店から行きます」
「アントンは喫煙してはならない」
「私は足が痛い」
疑問詞 о т к у д а とその答えかた、無人称文（その3）、
. . . は. . . が痛い

教科書　E・ステパーノワ『百万人のロシア語』（ナウカ）

参考文献　教場で指示します。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語中級II　後期火４上野		
科目キー	2600151016		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	４時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	２年以上

評価方法　学期末の試験と平常点（出席時数、小テストの結果など）を総合して評価します。

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語中級II　後期木4南平		
科目キー	2600151016		
科目クラスコード	02	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	南平　かおり		

副題

授業概要　この講座では、初級文法を学んだ方を対象に、さらに高次な文法知識を身につけ、読解力やコミュニケーション能力を高めることを目標とします。指定の教科書を中心に、さまざまなロシア語の文章に触れ、理解を深めていただきたいと考えております。

授業の到達目標

シラバス　講読重視の授業ですので、輪読形式を採用したいと考えます。
ぜひ積極的に授業に参加していただきたいと思います。

教科書　ステパーノワ他著『百万人のロシア語』(教科書編)ナウカ

それ以外に木村彰一『ロシア文法の基礎』白水社を使用。

参考文献　参考文献、及び辞書については、授業中に適宜お話しします。

評価方法　・試験について
教場試験といたします。
・成績評価について
とくに平常点を重視(授業内に、小テストを行う場合もあります)。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語上級I　前期金4ジンベルグ		
科目キー	2600151017		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	ジンベルグ　茱萸		

副題

授業概要

2007年度に中級を履修し、さらにロシア語のスキルを高めたいと希望する人のための
授業です。
履修者の到達度から出発して、学習の内容を決めます。
土台になる文法をたしかなものに
基本的には、読む能力をつけることを課題とします。
テキストを読むことは、構文を読みとくことで、
外国語の思考方法を学ぶことになります。
また、構文を身につけることで、外国語の表現力を身につけること。
このふたつの大きなメリットがあります。
この授業で使う教科書は、学習の過程で学んだことをすぐに
運用できるように作られています。

授業の到達目標

シラバス

1,2年で使った『百万人のロシア語』の、
23課くらいからはじめたいと思っていますが、
これはあくまでおおよその目安です。
実際には、2年後期で学習を終えた課の、
次の課からはじめたいと思います。
これは文法の具体的な内容からいうと、

〇名詞を修飾する生格(つづき)
　民族名と、これに関連した表現。
〇表現:モスクワについて教えてください。(前置格)
　関係代名詞の使い方(つづき)
　形容詞から作る副詞。
〇表現: ...するのは面白い、つまらない
（無人称述語を使った表現)
　表現: ...と一緒に。(造格)
　間接疑問文
〇表現: 彼は医者になる(造格つづき)。
〇表現:君の古い友達と電話で話した。(造格つづき)

教科書

『百万人のロシア語』(リプリント版。ナウカ出版)

参考文献

博友社『ロシア語辞典』

評価方法

授業のなかで成果をあげ、外国語で読んだり、
話したりする楽しさを実感できたか。
つまり、授業に積極的に参加しているかどうかを評価の
基礎にします。

備考

関連URL:　東京ロシア語学院:http://www.tokyorus.ac.jp

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	露語上級II　後期金4ジンベルグ		
科目キー	2600151018		
科目クラスコード	01	**単位数**	1
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	ジンベルグ　茱萸		

副題

授業概要　ロシア語中級を履修した学生を対象に、より実践的な力をつけることが本講座の目的である。「読解力」、「コミュニケーション力」など、全てのロシア語能力においてさらに磨きをかけたい。専門分野の関連論文を読み研究に生かせるレベル、あるいは社会に出たときに即戦力となれるレベルまで到達することを目指す。コミュニケーション力を高めるためには、ロシアの文化や芸術、豊かな自然、歴史などについて精通している必要がある。視覚教材を利用し、ロシア事情を詳しく学びつつ、さらにロシア語の力を深める。

授業の到達目標

シラバス

〇表現:子供たちと一緒にでかけた(造格つづき)
　表現彼は18歳です。
〇表現:昨日コンサートに行ってきた。
〇表現:寮には学生が20人いる。(数量生格)
〇表現:この本屋には雑誌はない(生格つづき)
　命令形の間接話法
〇表現:彼は友達のところにでかけた。
　　きのうは友達のところにいた。
〇表現: もしも天気がよければ、森に出かけたのに。
　現実と異なる状況を仮定する表現。
　表現: 彼は誰か女の人と話していた。
　名詞に付く不定代名詞。
〇表現:子供たちに本を買った。
　複数与格。
　表現:この子は1995年に生まれた。
　　会議は9月に行われる。

この進度はあくまでも予定です。

教科書　『百万人のロシア語』(リプリント版。ナウカ出版)

参考文献

評価方法　平常点

備考

関連URL:　東京ロシア語学院:http://www.tokyorus.ac.jp

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(1)-I		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	上野　喜三雄		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する。

授業の到達目標

シラバス
1）空間における直線と平面のベクトル表示と方程式
2）ベクトルの内積と正射影
3）ベクトルの外積と3重積，面積，体積
4）連立１次方程式と行列の階数
5）１次変換と行列
6）2次行列，３次行列の逆行列
7）複素数と四則演算について
8）複素平面の幾何学
9)ドモアブルの定理とオイラーの公式

教科書　プリントを配布する

参考文献

評価方法　平常点，期末試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(1)-II		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	米田　元		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する。

授業の到達目標

シラバス

集合と写像
1 集合
2 写像

ベクトルと図形の方程式
3 平面ベクトル，空間ベクトル
4 ベクトルの外積
5 直線，平面の方程式
6 円，球の方程式

行列と1次変換
7 1次変換と行列
8 1次変換の像
9 1次変換と長さ，面積

複素数
10 複素数
11 複素平面
12 ドモアブルの定理

教科書　プリントを配布する

参考文献

評価方法　試験と平常点

備考

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/yoneda/in/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(2)-I		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	網谷　泰治		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する。

授業の到達目標

シラバス
- 集合と写像
- 平面・空間の座標，図形，ベクトル
- 直線と平面の方程式
- 円と球と回転面の方程式
- 空間ベクトルの外積
- 1 次変換と行列
- 1 次変換の合成と行列の積
- 1 次変換の像
- 1 次変換と長さ・面積
- 複素数
- 複素平面
- ドモアブルの定理とオイラーの公式

教科書　初回の講義で資料を配布する。

参考文献

評価方法　定期試験と小テストにより、総合的に評価する。

備考　受講に際して、高校教科書の内容は最低限復習しておくこと。
特に、教科書の練習問題は正確にできるようにしておいて下さい。
講義に関する情報や連絡事項はCourse N@vi上に掲載するので、各自確認して下さい。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(2)-II		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岡野　恵司		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する。

授業の到達目標

シラバス

集合と写像
1 集合
2 写像

ベクトルと図形の方程式
3 平面ベクトル，空間ベクトル
4 ベクトルの外積
5 直線，平面の方程式
6 円，球の方程式

行列と1次変換
7 1次変換と行列
8 1次変換の像
9 1次変換と長さ，面積

複素数
10 複素数
11 複素平面
12 ドモアブルの定理

教科書　プリントを配布する

参考文献

評価方法　平常点、期末試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(3)-I		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	大貫　浩二		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する。

授業の到達目標

シラバス
- 集合と写像
- 平面・空間の座標，図形，ベクトル
- 直線と平面の方程式
- 円と球と回転面の方程式
- 空間ベクトルの外積
- 1 次変換と行列
- 1 次変換の合成と行列の積
- 1 次変換の像
- 1 次変換と長さ・面積
- 複素数
- 複素平面
- ドモアブルの定理とオイラーの公式

教科書

参考文献　資料を配付する

評価方法　試験，小テストにより評価する

備考　講義が始まる前までに、最低限、高校の教科書の内容はよく理解しておくこと。
特に教科書の練習問題などはちゃんとできるようになっておいてください。
なお、講義の情報、連絡事項については、waseda-net portal からアクセスできる
Course N@vi
上にも掲載する予定です。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(3)-II		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	岡野　恵司		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する。

授業の到達目標

シラバス

集合と写像
1 集合
2 写像

ベクトルと図形の方程式
3 平面ベクトル，空間ベクトル
4 ベクトルの外積
5 直線，平面の方程式
6 円，球の方程式

行列と1次変換
7 1次変換と行列
8 1次変換の像
9 1次変換と長さ，面積

複素数
10 複素数
11 複素平面
12 ドモアブルの定理

教科書　プリントを配布する

参考文献

評価方法　平常点、期末試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(4)-I		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	室谷　義昭		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する。

授業の到達目標

シラバス

1. 集合と写像

2. ベクトルと図形の方程式
　平面ベクトル、空間ベクトル、ベクトルの外積、直線、平面の方程式、球の方程式

3. 行列と1次変換
　1次変換と行列、1次変換の合成、1次変換の像、1次変換と長さ、面積

4. 複素数
　複素数、複素平面、ドモアブルの定理

教科書　簡易テキストとしてまとめたプリント「基礎の数学」(米田元先生作成)

参考文献

評価方法　平常点と試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(4)-II		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	08	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	陸名　雄一		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する

授業の到達目標

シラバス　毎回、講義前半に教科書の解説を行い、後半に演習を行う。扱う具体的な内容は概ね以下の通り:

（1）集合と写像
（2）平面ベクトルと空間ベクトル
（3）直線・平面の方程式
（4）円・球の方程式
（5）一次変換と行列
（6）一次変換の性質
（7）複素数と複素平面

教科書　印刷物を配布する。詳細は初回の講義中に説明する。

参考文献

評価方法　（1）毎回講義中に行う演習
（2）定期試験
の成績を総合して評価する。

備考　講義内容に関する通知は主に「Course N@vi」上で行う。チェックを怠らないこと。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(5)-I		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	09	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	白石　博		

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(5)-II		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	10	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　義雄		

副題

授業概要　高校数学の新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の基礎を確立することを目的とする. 具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える. 高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学A、Bにつながる内容も丁寧に解説する.

授業の到達目標

シラバス

1. 集合の概念、記号、集合の関係など「集合」に関する基本的な用語、使い方などを説　明する.
2. 集合から集合への写像に関する、基本的な概念を例を交えて説明する.
3. 平面のベクトル、空間のベクトルに関する独立性、従属性の概念、ベクトルの内積に　ついて講義する.
4. ベクトルの外積もついて講義する. とくに3次元ベクトル空間におけるベクトルの外　積については、その幾何的な意味を詳しく解説する.
5. 平面における直線の方程式、空間における直線や平面の方程式について講義し、「距　離」の概念について例により詳しく解説する.
6. 平面内の円の方程式、空間内の球の方程式について、講義する.
7. 1次変換と行列の関係を、平面における2×2行列の演算、空間における3×3行列の演　算と対応させながら、詳しく解説する.
8. 1次変換によって、平面(空間)内の集合がどんな集合に写されるかを行列の階数と　対応させながら解説する.
9. 1次変換により平面内の図形の面積や空間内の図形の体積がどのように変化するかを　解説する.
10. 複素数について和と積、差と商の関係、複素共役や絶対値の概念を説明する.
11. 複素数について、偏角の概念を説明し、複素平面を導入する. 複素平面において、　複素数の和と積、差と商がどのような幾何的意味をもつのかを、詳しく説明する.
12. 複素数に対する極形式を用いることにより、複素数の積や商を取る演算が重要な幾　何的意味をもつことを示す.
13. ドモアブルの定理、オイラーの公式、加法定理との関係などを紹介する.

教科書　教科書は特に指定しないが、印刷教材を配布する.

参考文献

評価方法　定期試験、平常点、レポートなどにより評価する.

備考　講義の中で問題を随時出すので、積極的に解いてほしい.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(6)-I		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	11	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	江田　勝哉		

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(6)-II		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	12	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山崎　昌男		

副題

授業概要　新課程で削除された内容、および大学での数学につながる少し発展した内容を、2, 3 次元空間の具体例を通して考察することにより、独立した科目の中で補填し、数学 A, B などの大学での数学を理解する基礎を確立することを目標とする。具体的な内容として、平面・空間内の図形の方程式による表示、一次変換、ベクトルの外積、複素平面等を扱い、数学 A, B につながる内容も解説する。

授業の到達目標

シラバス
(1) 3 次元空間内のベクトルの内積と外積
(2) 座標空間内の直線・平面の方程式
(3) 座標空間内の曲線・曲面の方程式
(4) 一次変換と行列
(5) 一次変換と図形の変形
(6) 複素数と複素平面
(7) 複素数の極座標表示
(8) Euler の公式
(9) 集合の概念
(10) 写像の概念

教科書　講義中に適宜配布する。

参考文献

評価方法　期末試験、教場試験、レポート等による。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(7)-I		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	13	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	網谷　泰治		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する。

授業の到達目標

シラバス
- 集合と写像
- 平面・空間の座標，図形，ベクトル
- 直線と平面の方程式
- 円と球と回転面の方程式
- 空間ベクトルの外積
- 1 次変換と行列
- 1 次変換の合成と行列の積
- 1 次変換の像
- 1 次変換と長さ・面積
- 複素数
- 複素平面
- ドモアブルの定理とオイラーの公式

教科書　初回の講義で資料を配布する。

参考文献

評価方法　定期試験と小テストにより、総合的に評価する。

備考　受講に際して、高校教科書の内容は最低限復習しておくこと。
特に、教科書の練習問題は正確にできるようにしておいて下さい。
講義に関する情報や連絡事項はCourse N@vi上に掲載するので、各自確認して下さい。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　基幹(7)-II		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	14	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　大輔		

副題

授業概要　新課程で削減された内容を独立した科目の中で補填することと、2、3次元空間の具体例を通して教えることにより、数学A、Bなど大学での数学の理解の基礎を確立することを目的とする。具体的な内容として、平面・空間における図形と1次変換、複素平面を扱う。高校数学旧課程の内容をもとに、ベクトルの外積なども加え、大学での数学教育の視点から教える。高校数学とのギャップを埋め、大学数学との関連がスムーズに理解できるよう、数学 A、Bにつながる内容も丁寧に解説する。

授業の到達目標

シラバス
- 平面・空間の座標，図形，ベクトル
- 直線と平面の方程式
- 円と球と回転面の方程式
- 空間ベクトルの外積
- 1 次変換と行列
- 1 次変換の合成と行列の積
- 1 次変換の像
- 1 次変換と長さ・面積
- 複素数
- 複素平面
- ドモアブルの定理とオイラーの公式
- 集合と写像

教科書　資料を配付する

参考文献

評価方法　試験，小テストにより評価する

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎の数学　外国学生		
科目キー	2600210001		
科目クラスコード	22	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	寺井　伸浩		

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(1)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	01	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村上　順	村上　順	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス
- 連立一次方程式
- 行列の定義と演算
- 正則行列，逆行列
- 行列の基本変形
- 行列式の定義，基本的性質
- 行列式の展開
- 平面ベクトル，空間ベクトル
- 空間内の直線と平面
- 線形空間，基底と次元（一次独立性），部
- 内積空間，正規直交基底
- 線形写像とその行列表示
- 直交行列，対称行列
- 固有値，固有ベクトル
- 簡単な線形微分方程式の解法
- 対称行列の対角化と2次曲線，2次曲面

教科書　H. アントン著 山下純一訳　やさしい線形代数　現代数学社

参考文献

評価方法　出席，レポート，試験等により総合的に評価する

備考　授業を聴くだけでなく，自ら積極的に多くの問題を解いてみること

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(1)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	01	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	村上　順	村上　順	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス
- 連立一次方程式
- 行列の定義と演算
- 正則行列，逆行列
- 行列の基本変形
- 行列式の定義，基本的性質
- 行列式の展開
- 平面ベクトル，空間ベクトル
- 空間内の直線と平面
- 線形空間，基底と次元（一次独立性），部
- 内積空間，正規直交基底
- 線形写像とその行列表示
- 直交行列，対称行列
- 固有値，固有ベクトル
- 簡単な線形微分方程式の解法
- 対称行列の対角化と2次曲線，2次曲面

教科書　H. アントン著 山下純一訳　やさしい線形代数　現代数学社

参考文献

評価方法　出席，レポート，試験等により総合的に評価する

備考　授業を聴くだけでなく，自ら積極的に多くの問題を解いてみること

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(2)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	02	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上野　喜三雄	上野　喜三雄	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス

1）空間の直線と平面のベクトル表示と方程式
2）空間ベクトルの内積と正射影
3）空間ベクトルの外積と行列式，面積，体積
4）行列と1次変換，連立方程式
5）行列の和と積について
6）行列の基本変形と階数
7）行列式の公理的な導入とその性質

%%%%%%%%%%　前期期末試験　%%%%%%%%%%%

以上前期

8）ベクトル空間の公理
9）1次変換と行列，1次変換の核と像
10）ベクトル基底の存在と次元の一意性
11）1次変換の基底による表現
12）行列の特性根と対角化

%%%%%%%%%%　後期中間試験 %%%%%%%%%%

13）ベクトル空間のユークリッド内積，エルミート内積
14）正規直交基底とシュミットの直交化法
15）対称行列，エルミート行列，直交行列，ユニタリ行列
16）エルミート行列の対角化

%%%%%%%%%%　後期期末試験 %%%%%%%%%%%

教科書　『線型代数入門』齋藤正彦著　東京大学出版会　（教科書売り場で購入すること）

参考文献

評価方法　平常点と前期期末，後期中間，後期期末の3回の試験の合計．
ただし，試験の成績を平常点より重視する．

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(2)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	02	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上野　喜三雄	上野　喜三雄	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス

1）空間の直線と平面のベクトル表示と方程式
2）空間ベクトルの内積と正射影
3）空間ベクトルの外積と行列式，面積，体積
4）行列と1次変換，連立方程式
5）行列の和と積について
6）行列の基本変形と階数
7）行列式の公理的な導入とその性質

%%%%%%%%%%　前期期末試験　%%%%%%%%%%%

以上前期

8）ベクトル空間の公理
9）1次変換と行列，1次変換の核と像
10）ベクトル基底の存在と次元の一意性
11）1次変換の基底による表現
12）行列の特性根と対角化

%%%%%%%%%%　後期中間試験 %%%%%%%%%%

13）ベクトル空間のユークリッド内積，エルミート内積
14）正規直交基底とシュミットの直交化法
15）対称行列，エルミート行列，直交行列，ユニタリ行列
16）エルミート行列の対角化

%%%%%%%%%%　後期期末試験 %%%%%%%%%%%

教科書　『線型代数入門』齋藤正彦著　東京大学出版会　（教科書売り場で購入すること）

参考文献

評価方法　平常点と前期期末，後期中間，後期期末の3回の試験の合計．
ただし，試験の成績を平常点より重視する．

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(3)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	03	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　大輔	高橋　大輔	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス
- 連立一次方程式
- 行列の定義と演算
- 正則行列，逆行列
- 行列の基本変形
- 行列式の定義，基本的性質
- 行列式の展開
- 平面ベクトル，空間ベクトル
- 空間内の直線と平面
- 線形空間，基底と次元（一次独立性），部
- 内積空間，正規直交基底
- 線形写像とその行列表示
- 直交行列，対称行列
- 固有値，固有ベクトル
- 簡単な線形微分方程式の解法
- 対称行列の対角化と2次曲線，2次曲面

教科書　齋藤正彦著「基礎数学1　線型代数入門」東京大学出版会

参考文献　高橋大輔著「理工基礎　線形代数」サイエンス社

評価方法　試験と小テストにより評価する

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(3)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	03	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	高橋　大輔	高橋　大輔	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス
- 連立一次方程式
- 行列の定義と演算
- 正則行列，逆行列
- 行列の基本変形
- 行列式の定義，基本的性質
- 行列式の展開
- 平面ベクトル，空間ベクトル
- 空間内の直線と平面
- 線形空間，基底と次元（一次独立性），部
- 内積空間，正規直交基底
- 線形写像とその行列表示
- 直交行列，対称行列
- 固有値，固有ベクトル
- 簡単な線形微分方程式の解法
- 対称行列の対角化と2次曲線，2次曲面

教科書　齋藤正彦著「基礎数学1　線型代数入門」東京大学出版会

参考文献　高橋大輔著「理工基礎　線形代数」サイエンス社

評価方法　試験と小テストにより評価する

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(4)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	04	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渡利　正弘	渡利　正弘	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス　以下の内容を通年で講義していきます。

1　行列
2　連立一次方程式
3　行列式
4　ベクトル空間
5　線形写像
6　固有値と固有ベクトル
7　幾何学的な応用について

教科書　明解　線形代数，木村達雄，竹内光弘，宮本雅彦，森田純　著
日本評論社

参考文献

評価方法　教場試験および定期試験。場合によっては，平常点も評価にいれる。

備考　知識は教えられるものではなく，自ら獲得するものです。大学での授業で教わる内容は量，質ともに膨大になります。なぜだろう？と，常に自分の頭で考える習慣を身につけてください。サークル活動やバイトなどいろいろ忙しいことと思いますが，勉強時間を死守するようにしてください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(4)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	04	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	渡利　正弘	渡利　正弘	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス　以下の内容を通年で講義していきます。

1　行列
2　連立一次方程式
3　行列式
4　ベクトル空間
5　線形写像
6　固有値と固有ベクトル
7　幾何学的な応用について

教科書　明解　線形代数，木村達雄，竹内光弘，宮本雅彦，森田純　著
日本評論社

参考文献

評価方法　教場試験および定期試験。場合によっては，平常点も評価にいれる。

備考　知識は教えられるものではなく，自ら獲得するものです。大学での授業で教わる内容は量，質ともに膨大になります。なぜだろう？と，常に自分の頭で考える習慣を身につけてください。サークル活動やバイトなどいろいろ忙しいことと思いますが，勉強時間を死守するようにしてください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(5)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	05	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和田　秀男	和田　秀男	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。
具体的には、行列、連立一次方程式、行列式、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、対称行列の対角化と2次曲面の分類といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。
教科書は少し高度な内容もあるので、省略したり、基本的なことは、補充を行ったりする。
教科書の問や演習問題はできるだけ黒板で解いてもらう。

授業の到達目標

シラバス　前期に
1. ベクトル
2. 行列
3. 連立方程式
4. 行列式

を行い、後期は
5. ベクトル空間
6. ユークリッドベクトル空間
7. ユークリッドベクトル空間上の幾何学
8. 固有値問題

を行う予定。

教科書　笠原浩司著：線形代数学、サイエンス社

参考文献

評価方法　前期1回、後期1回テストを行う。
黒板で問題を解くことも評価する。黒板でたくさん解く必要はないが、1題は解いてもらいたい。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(5)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	05	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	和田　秀男	和田　秀男	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。
具体的には、行列、連立一次方程式、行列式、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、対称行列の対角化と2次曲面の分類といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。
教科書は少し高度な内容もあるので、省略したり、基本的なことは、補充を行ったりする。
教科書の問や演習問題はできるだけ黒板で解いてもらう。

授業の到達目標

シラバス　前期に
1. ベクトル
2. 行列
3. 連立方程式
4. 行列式

を行い、後期は
5. ベクトル空間
6. ユークリッドベクトル空間
7. ユークリッドベクトル空間上の幾何学
8. 固有値問題

を行う予定。

教科書　笠原浩司著：線形代数学、サイエンス社

参考文献

評価方法　前期1回、後期1回テストを行う。
黒板で問題を解くことも評価する。黒板でたくさん解く必要はないが、1題は解いてもらいたい。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数） 基幹(6)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	06	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	柳谷　晃	柳谷　晃	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数） 基幹(6)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	06	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	柳谷　晃	柳谷　晃	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(7)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	07	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鈴木　達夫	鈴木　達夫	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス
1. 行列とベクトル
2. 連立1次方程式の解法
3. 行列式
4. 線形空間
5. 線形写像
6. 固有値・固有ベクトル
7. さまざまな応用

教科書　「工科系 線形代数」新・工科系の数学
筧 三郎 著　数理工学社

参考文献

評価方法　定期試験、演習による

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数）　基幹(7)		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	07	**単位数**	5
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鈴木　達夫	鈴木　達夫	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス
1. 行列とベクトル
2. 連立1次方程式の解法
3. 行列式
4. 線形空間
5. 線形写像
6. 固有値・固有ベクトル
7. さまざまな応用

教科書　「工科系 線形代数」新・工科系の数学
筧 三郎 著　数理工学社

参考文献

評価方法　定期試験、演習による

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数） 外国学生		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	11	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	寺井　伸浩	寺井　伸浩	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学A2（線形代数） 外国学生		
科目キー	2600210003		
科目クラスコード	11	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	寺井　伸浩	寺井　伸浩	

副題

授業概要　大学で理工系の学問を学ぶためのバックグラウンドとして欠かすことのできない線形代数について基礎から学ぶ。具体的には、連立一次方程式、行列、行列式の理論、線形空間や線形写像の概念、部分空間、基底、内積空間、直交行列や対称行列、固有値、固有ベクトルについて学習するとともに、線形微分方程式や対称行列といった応用についても学ぶ。また、適宜演習を行って理解を深め、理工学分野の具体的な問題への応用に役立てることができるようにする。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 基幹(1)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	01	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	竹林　忠吉	竹林　忠吉	

副題

授業概要　一変数および多変数関数の微分積分学について演習を交えながら学ぶ。具体的には、一変数関数については数列の極限、級数、連続関数、微分、導関数、テイラーの定理、初等関数の級数展開、逆関数定理、積分、有理関数や簡単な無理関数の積分、広義積分などを学び、多変数関数については偏微分、全微分、多変数合成関数の微分、変数変換と偏微分、極値問題、陰関数定理、多変数関数の積分、重積分の変数変換、整級数関数の項別微分、項別積分などを学ぶ。

授業の到達目標

シラバス
1. 実数の連続性
2. 数列の極限
3. 関数の極限
4. 級数の収束と判定法
5. 1変数関数の微分
6. Taylor 展開
7. 多変数関数の微分
8. 多変数関数のTaylor展開
9. 積分の基本的性質
10. 広義積分
11. 重積分

教科書　微分積分　黒田成俊　著
共立出版株式会社

参考文献

評価方法　定期試験

備考　講義の理解を深めるため、授業中に、演習問題を解くので、
教科書を持参すること。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 基幹(1)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	01	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	竹林　忠吉	竹林　忠吉	

副題

授業概要　一変数および多変数関数の微分積分学について演習を交えながら学ぶ。具体的には、一変数関数については数列の極限、級数、連続関数、微分、導関数、テイラーの定理、初等関数の級数展開、逆関数定理、積分、有理関数や簡単な無理関数の積分、広義積分などを学び、多変数関数については偏微分、全微分、多変数合成関数の微分、変数変換と偏微分、極値問題、陰関数定理、多変数関数の積分、重積分の変数変換、整級数関数の項別微分、項別積分などを学ぶ。

授業の到達目標

シラバス
1. 実数の連続性
2. 数列の極限
3. 関数の極限
4. 級数の収束と判定法
5. 1変数関数の微分
6. Taylor 展開
7. 多変数関数の微分
8. 多変数関数のTaylor展開
9. 積分の基本的性質
10. 広義積分
11. 重積分

教科書　微分積分　黒田成俊　著
共立出版株式会社

参考文献

評価方法　定期試験

備考　講義の理解を深めるため、授業中に、演習問題を解くので、
教科書を持参すること。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　基幹(2)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	02	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鶴田　邦夫	鶴田　邦夫	

副題

授業概要　一変数および多変数関数の微分積分学について演習を交えながら学ぶ。具体的には、一変数関数については数列の極限、級数、連続関数、微分、導関数、テイラーの定理、初等関数の級数展開、逆関数定理、積分、有理関数や簡単な無理関数の積分、広義積分などを学び、多変数関数については偏微分、全微分、多変数合成関数の微分、変数変換と偏微分、極値問題、陰関数定理、多変数関数の積分、重積分の変数変換、整級数関数の項別微分、項別積分などを学ぶ。

授業の到達目標

シラバス

第0章　高校からの接続
複素数、初等関数、極限の求め方、演習
第1章　1変数関数の微分
微分と接線、合成関数の微分、逆関数の微分、高階の導関数、微分法の計算練　　習
第2章　1変数関数の微分の応用
平均値の定理、テイラーの定理、関数の増減とグラフ、不定形の極限、演習
第3章　1変数関数の積分
不定積分と定積分、置換積分法、部分積分法、有理関数の積分、三角関数の積分、無理関数の積分、広義積分と無限積分、ラプラス変換、積分法の計算練習
第4章　1変数関数の積分の応用
いろいろな曲線の長さ、いろいろな図形の面積、演習
第5章　多変数関数の微分
2変数関数のグラフ・極限・連続性、偏微分と全微分、合成関数の微分、高階の偏導関数、演習
第6章　多変数関数の微分の応用
陰関数定理と逆写像定理、2変数関数のテイラーの定理、極値問題、演習
第7章　多変数関数の積分
重積分、重積分の変数変換、2変数関数の広義積分、演習
第8章　多変数関数の積分の応用
いろいろな体積の求め方、いろいろな曲面積の求め方、演習
第9章　級数
級数の収束と発散、その判定法、項別微分と項別積分、フーリエ級数、演習

教科書　有馬哲・石村貞夫共著

よくわかる微分積分　　東京図書

参考文献　必要に応じて授業の中で紹介する。

評価方法　前期定期試験と後期試験の結果で評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　基幹(2)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	02	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鶴田　邦夫	鶴田　邦夫	

副題

授業概要　一変数および多変数関数の微分積分学について演習を交えながら学ぶ。具体的には、一変数関数については数列の極限、級数、連続関数、微分、導関数、テイラーの定理、初等関数の級数展開、逆関数定理、積分、有理関数や簡単な無理関数の積分、広義積分などを学び、多変数関数については偏微分、全微分、多変数合成関数の微分、変数変換と偏微分、極値問題、陰関数定理、多変数関数の積分、重積分の変数変換、整級数関数の項別微分、項別積分などを学ぶ。

授業の到達目標

シラバス

第0章　高校からの接続
複素数、初等関数、極限の求め方、演習
第1章　1変数関数の微分
微分と接線、合成関数の微分、逆関数の微分、高階の導関数、微分法の計算練　　習
第2章　1変数関数の微分の応用
平均値の定理、テイラーの定理、関数の増減とグラフ、不定形の極限、演習
第3章　1変数関数の積分
不定積分と定積分、置換積分法、部分積分法、有理関数の積分、三角関数の積分、無理関数の積分、広義積分と無限積分、ラプラス変換、積分法の計算練習
第4章　1変数関数の積分の応用
いろいろな曲線の長さ、いろいろな図形の面積、演習
第5章　多変数関数の微分
2変数関数のグラフ・極限・連続性、偏微分と全微分、合成関数の微分、高階の偏導関数、演習
第6章　多変数関数の微分の応用
陰関数定理と逆写像定理、2変数関数のテイラーの定理、極値問題、演習
第7章　多変数関数の積分
重積分、重積分の変数変換、2変数関数の広義積分、演習
第8章　多変数関数の積分の応用
いろいろな体積の求め方、いろいろな曲面積の求め方、演習
第9章　級数
級数の収束と発散、その判定法、項別微分と項別積分、フーリエ級数、演習

教科書　有馬哲・石村貞夫共著

よくわかる微分積分　　東京図書

参考文献　必要に応じて授業の中で紹介する。

評価方法　前期定期試験と後期試験の結果で評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 基幹(3)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	03	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤田　玄	藤田　玄	

副題

授業概要　一変数および多変数関数の微分積分学について演習を交えながら学ぶ。具体的には、一変数関数については数列の極限、級数、連続関数、微分、導関数、テイラーの定理、初等関数の級数展開、逆関数定理、積分、有理関数や簡単な無理関数の積分、広義積分などを学び、多変数関数については偏微分、全微分、多変数合成関数の微分、変数変換と偏微分、極値問題、陰関数定理、多変数関数の積分、重積分の変数変換、整級数関数の項別微分、項別積分などを学ぶ。

授業の到達目標

シラバス

1.1. 数列の極限
1.2. 関数の極限
1.3. 連続関数

2.1. 導関数
2.2. テイラーの定理
2.3. ロピタルの定理
2.4　微分の応用

3.1. 微分積分学の基本定理
3.2. 不定積分
3.3. 定積分
3.4. 広義積分

4.1. 多変数関数
4.2. 偏微分と全微分
4.3. 連鎖律
4.4. 極値・最大値最小値問題
4.5. 陰関数
4.6. 条件付き極値問題

5.1. 重積分と面積
5.2. 反復積分
5.3. 広義重積分
5.4. 線積分
5.5. 面積分

6.1. 級数
6.2. 関数項級数と一様収束
6.3. 冪級数

教科書　微分積分学 難波誠著 裳華房

参考文献

評価方法　期末・中間試験、レポートおよび平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 基幹(3)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	03	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	藤田　玄	藤田　玄	

副題

授業概要　一変数および多変数関数の微分積分学について演習を交えながら学ぶ。具体的には、一変数関数については数列の極限、級数、連続関数、微分、導関数、テイラーの定理、初等関数の級数展開、逆関数定理、積分、有理関数や簡単な無理関数の積分、広義積分などを学び、多変数関数については偏微分、全微分、多変数合成関数の微分、変数変換と偏微分、極値問題、陰関数定理、多変数関数の積分、重積分の変数変換、整級数関数の項別微分、項別積分などを学ぶ。

授業の到達目標

シラバス

1.1. 数列の極限
1.2. 関数の極限
1.3. 連続関数

2.1. 導関数
2.2. テイラーの定理
2.3. ロピタルの定理
2.4　微分の応用

3.1. 微分積分学の基本定理
3.2. 不定積分
3.3. 定積分
3.4. 広義積分

4.1. 多変数関数
4.2. 偏微分と全微分
4.3. 連鎖律
4.4. 極値・最大値最小値問題
4.5. 陰関数
4.6. 条件付き極値問題

5.1. 重積分と面積
5.2. 反復積分
5.3. 広義重積分
5.4. 線積分
5.5. 面積分

6.1. 級数
6.2. 関数項級数と一様収束
6.3. 冪級数

教科書　微分積分学 難波誠著 裳華房

参考文献

評価方法　期末・中間試験、レポートおよび平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　基幹(4)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	04	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	柴田　良弘	柴田　良弘	

副題

授業概要　理工系の学問の基礎となる微分・積分を講義する.

授業の到達目標

シラバス

1. 実数の完備性, 点列の収束, 級数の収束についげ
2. 連続関数とその性質
3. 一変数関数の微分の定義と基本的性質.
4. テイラーの定理
5. 一変数関数の積分の定義と基本的性質
6. 原始関数、定積分（部分積分, 置換積分などの基礎的な方法, 部分分数展開, 無理関数の積分, 三角関数などの積分）
7. 異常積分
8. 積分の応用(曲線の長さ, 求積法による微分方程式）
9. 2, 3 次元ユークリッド空間についての基礎
10. 多変数関数の偏微分と微分について
11. 合成関数の微分, テイラーの定理
12. 陰関数の定理とその応用
13. 多変数関数の積分の定義
14. 多変数関数の積分順序の交換, 変数変換, 異常積分
15. ガンマ関数, ベータ関数および図形の面積および体積について

教科書　理工系の微分積分学（内田老鶴圃）

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 基幹(4)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	04	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	柴田　良弘	柴田　良弘	

副題

授業概要　理工系の学問の基礎となる微分・積分を講義する.

授業の到達目標

シラバス

1. 実数の完備性, 点列の収束, 級数の収束についげ
2. 連続関数とその性質
3. 一変数関数の微分の定義と基本的性質.
4. テイラーの定理
5. 一変数関数の積分の定義と基本的性質
6. 原始関数、定積分（部分積分, 置換積分などの基礎的な方法, 部分分数展開, 無理関数の積分, 三角関数などの積分）
7. 異常積分
8. 積分の応用(曲線の長さ, 求積法による微分方程式）
9. 2, 3 次元ユークリッド空間についての基礎
10. 多変数関数の偏微分と微分について
11. 合成関数の微分, テイラーの定理
12. 陰関数の定理とその応用
13. 多変数関数の積分の定義
14. 多変数関数の積分順序の交換, 変数変換, 異常積分
15. ガンマ関数, ベータ関数および図形の面積および体積について

教科書　理工系の微分積分学（内田老鶴圃）

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　基幹(5)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	05	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　義雄	山田　義雄	

副題

授業概要　高校で直感的に教えられている連続性や極限の概念を数学的に再構築した後、微分・積分および微分方程式の解法について演習を交えながら講義する.
　前期は主として、実数の基本的性質を講義した後、数列や級数の収束、連続関数の性質、微分可能な関数のTaylor展開、有理型関数の積分、三角関数の積分、広義積分など、１変数関数の微分と積分に関する基本的性質について講義し、演習を通して理解を深める.
　後期は簡単な常微分方程式の初等解法、多変数関数の偏微分、極地問題の解法、多変数関数の積分（重積分）について講義するし、演習を通して理解を深める.
　最終的には、微分積分の演算がスムーズにできることを目指す.

授業の到達目標

シラバス　前期
(1) 実数の連続性、実数からなる集合の上限･下限の概念の導入し、「有界な単調増加数列は極限をもつ」という事実をもとに、高校で学習した微分積分を再構築に踏み出す.
(2)数列の極限を定義し、単調数列をはじめとする数列の収束の判定条件を解説.
(3)関数の極限,連続関数の性質および逆関数(逆三角関数)について講義.
(4)級数の収束とその判定法を解説. とくに正項級数についての収束判定条件（Cauchy の条件、D'Alembert の条件）をどのように用いるかを理解させる.
(5)1変数関数の微分、変数変換と微分の関係、合成関数の微分などを講義.
(6)逆関数の微分に関する講義と関連する対数関数、関数、逆三角関数などの微分演算の演習.
(7)べき級数、関数の Taylor 展開とその応用を講義.
(8)1変数関数の積分の基本的性質を講義し、置換積分および部分積分を利用した積分計算の演習.
(9)有理型関数,無理関数、三角関数を含む有理関数の積分法の解説と演習.
(10)広義積分について解説、演習を通して広義積分の概念を理解させる.

後期
(11)1階常微分方程式の初等解法（求積法、定数変化法などによる解法）の講義と演習.
(12)多変数関数の偏微分を定義し、変数変換と偏微分の関係を講義、演習を通して理解させる.
(13)多変数関数の Taylor 展開とその極値問題への応用を講義.
(14)条件付極値問題をもとに、陰関数定理の意味を解説.
(15)重積分と累次積分による積分計算の講義および演習.
(16)重積分における変数変換の講義および演習.
(17)重積分における広義積分を講義.
(18)重積分の応用（立体の体積計算など）に関する講義および演習.

教科書　鈴木武, 山田義雄, 柴田良弘, 田中和永　著
理工系のための「微分積分I, II」（内田老鶴圃）
および
「微分積分　問題と解説I,II」（内田老鶴圃）

参考文献

評価方法　定期試験(前後期各1回)・教場試験（前後期各1, 2回）・平常点(授業中の演習問題の解答)により総合的に評価する.

備考　講義の理解を深めるためにテーマごとにできる限り多くの演習問題を課す. 成績評価にあたっては試験の成績だけでなく、講義の中で出題する演習問題の解答状況も重視する.

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/yamada/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　基幹(5)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	05	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山田　義雄	山田　義雄	

副題

授業概要　高校で直感的に教えられている連続性や極限の概念を数学的に再構築した後、微分・積分および微分方程式の解法について演習を交えながら講義する.
　前期は主として、実数の基本的性質を講義した後、数列や級数の収束、連続関数の性質、微分可能な関数のTaylor展開、有理型関数の積分、三角関数の積分、広義積分など、１変数関数の微分と積分に関する基本的性質について講義し、演習を通して理解を深める.
　後期は簡単な常微分方程式の初等解法、多変数関数の偏微分、極地問題の解法、多変数関数の積分（重積分）について講義するし、演習を通して理解を深める.
　最終的には、微分積分の演算がスムーズにできることを目指す.

授業の到達目標

シラバス　前期
(1) 実数の連続性、実数からなる集合の上限･下限の概念の導入し、「有界な単調増加数列は極限をもつ」という事実をもとに、高校で学習した微分積分を再構築に踏み出す.
(2)数列の極限を定義し、単調数列をはじめとする数列の収束の判定条件を解説.
(3)関数の極限,連続関数の性質および逆関数(逆三角関数)について講義.
(4)級数の収束とその判定法を解説. とくに正項級数についての収束判定条件（Cauchy の条件、D'Alembert の条件）をどのように用いるかを理解させる.
(5)1変数関数の微分、変数変換と微分の関係、合成関数の微分などを講義.
(6)逆関数の微分に関する講義と関連する対数関数、関数、逆三角関数などの微分演算の演習.
(7)べき級数、関数の Taylor 展開とその応用を講義.
(8)1変数関数の積分の基本的性質を講義し、置換積分および部分積分を利用した積分計算の演習.
(9)有理型関数,無理関数、三角関数を含む有理関数の積分法の解説と演習.
(10)広義積分について解説、演習を通して広義積分の概念を理解させる.

後期
(11)1階常微分方程式の初等解法（求積法、定数変化法などによる解法）の講義と演習.
(12)多変数関数の偏微分を定義し、変数変換と偏微分の関係を講義、演習を通して理解させる.
(13)多変数関数の Taylor 展開とその極値問題への応用を講義.
(14)条件付極値問題をもとに、陰関数定理の意味を解説.
(15)重積分と累次積分による積分計算の講義および演習.
(16)重積分における変数変換の講義および演習.
(17)重積分における広義積分を講義.
(18)重積分の応用（立体の体積計算など）に関する講義および演習.

教科書　鈴木武, 山田義雄, 柴田良弘, 田中和永　著
理工系のための「微分積分I, II」（内田老鶴圃）
および
「微分積分　問題と解説I,II」（内田老鶴圃）

参考文献

評価方法　定期試験(前後期各1回)・教場試験（前後期各1, 2回）・平常点(授業中の演習問題の解答)により総合的に評価する.

備考　講義の理解を深めるためにテーマごとにできる限り多くの演習問題を課す. 成績評価にあたっては試験の成績だけでなく、講義の中で出題する演習問題の解答状況も重視する.

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/yamada/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　基幹(6)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	06	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	楫　元	楫　元	

副題

授業概要　専門教育科目を受講するにあたり, 数学的なバックグラウンドとして, 線型代数学および微分積分学は不可欠である. 数学Bでは, 一変数および多変数関数の微分積分学を扱う.

授業の到達目標

シラバス
1. 準備: 数列の極限, 逆関数, 逆三角関数, 関数の極限, 連続関数.
2. 一変数関数の微分法: 微分係数と導関数, 導関数の計算, 高階導関数, テイラーの定理, 多項式近似, テイラー級数, 初等関数の級数展開, 整級数関数の項別微分・項別積分 , 微分.
3. 一変数関数の積分法: 不定積分, 有理関数の積分, 有理関数の積分に帰着できる積分 (無理関数の積分など), 定積分, 広義積分, ガンマ関数.
4. 多変数の微分法: 関数の極限, 連続関数, 偏微分, 全微分可能性, 合成関数の微分(変数変換), テイラーの定理, 極値問題, 陰関数定理 (逆関数定理).
5. 多変数の積分法: 多重積分, 累次積分, 多重積分の変数変換, 線積分.

教科書　指定しない

参考文献
高木貞治: 解析概論 (岩波書店)
笠原 晧司: 微分積分学 (サイエンス社)
立花 俊一 , 成田 清正, 奈良 知恵: エクササイズ 微分積分, エクササイズ 偏微分・重積分 (共立出版)

評価方法　期末試験, 教場試験, レポート, 受講態度などから総合的に評価する.

備考

関連URL:
http://pc193097.pc.waseda.ac.jp/
http://pc193097.

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　基幹(6)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	06	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	楫　元	楫　元	

副題

授業概要　専門教育科目を受講するにあたり, 数学的なバックグラウンドとして, 線型代数学および微分積分学は不可欠である. 数学Bでは, 一変数および多変数関数の微分積分学を扱う.

授業の到達目標

シラバス
1. 準備: 数列の極限, 逆関数, 逆三角関数, 関数の極限, 連続関数.
2. 一変数関数の微分法: 微分係数と導関数, 導関数の計算, 高階導関数, テイラーの定理, 多項式近似, テイラー級数, 初等関数の級数展開, 整級数関数の項別微分・項別積分 , 微分.
3. 一変数関数の積分法: 不定積分, 有理関数の積分, 有理関数の積分に帰着できる積分 (無理関数の積分など), 定積分, 広義積分, ガンマ関数.
4. 多変数の微分法: 関数の極限, 連続関数, 偏微分, 全微分可能性, 合成関数の微分(変数変換), テイラーの定理, 極値問題, 陰関数定理 (逆関数定理).
5. 多変数の積分法: 多重積分, 累次積分, 多重積分の変数変換, 線積分.

教科書　指定しない

参考文献
高木貞治: 解析概論 (岩波書店)
笠原 晧司: 微分積分学 (サイエンス社)
立花 俊一 , 成田 清正, 奈良 知恵: エクササイズ 微分積分, エクササイズ 偏微分・重積分 (共立出版)

評価方法　期末試験, 教場試験, レポート, 受講態度などから総合的に評価する.

備考

関連URL:
http://pc193097.pc.waseda.ac.jp/
http://pc193097.

成績評価方法

試験	%
レポート	%
平常点評価	%
その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　基幹(7)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	07	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	西田　孝明	西田　孝明	

副題　微分積分学

授業概要　1。実数の性質、数列の収束や極限の概念を理解しやすい範囲で厳密に説明する。

2。関数の連続性、微分の意味を理解し、微分と極値問題や曲線の接線との関係を理解する。 また級数展開で表される関数の特別な意味を理解する。
微分と積分の計算とその技術に習熟する。

3。平面や空間の上の関数や写像の微分について新しく学ぶ。
平面曲線や空間曲線、曲面がどのようなものかを理解し、その接線や接平面の式を書けるようになる。曲線の長さや曲面積の定義を理解し、実際に計算できるようになる。平面や空間の変数変換を用いて重積分の計算ができるようになる。

授業の到達目標

シラバス　1。実数の連続性、 数列の収束、極限。
2。連続関数、微分の正確な定義。
3。単調関数の逆関数、合成関数の微分。
4。平均値の定理、関数の最大値、最小値、グラフの書き方。

5。級数、収束の判定法。べき級数。
6。べき級数で表される関数の微分、テイラー展開。
7。積分の性質、初等関数の積分。
8。有理関数の積分、部分積分法、漸化式。
9。広義積分。

10。平面や空間のなかの領域、その上で定義された関数とその偏微分の定義。
11。常微分方程式の初等解法。
12。曲線や曲面のパラメータ表示、グラフ表示、式表示とそれらの関係、
陰関数定理
13。曲線の法線、接線、曲面の接平面、法線ヴェクトル、の式。
14。曲面積の公式
15。平面や空間のあいだの写像、変数変換の公式。
16。重積分と逐次積分
17。重積分の計算

教科書　微分積分 I、Ⅱ、 鈴木、山田、柴田、田中著、 内田老鶴圃

参考文献　郡　敏昭 著: 微分・積分一理論と計算、学術図書出版
入江 昭二 他著: 微分積分（上・下）、 内田老鶴圃
足立恒雄 著: 微分積分学 I、Ⅱ、 サイエンス社

評価方法　定期試験・教場試験・平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 （2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分）　基幹(7)		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	07	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	西田　孝明	西田　孝明	

副題　微分積分学

授業概要　1。実数の性質、数列の収束や極限の概念を理解しやすい範囲で厳密に説明する。

2。関数の連続性、微分の意味を理解し、微分と極値問題や曲線の接線との関係を理解する。 また級数展開で表される関数の特別な意味を理解する。
微分と積分の計算とその技術に習熟する。

3。平面や空間の上の関数や写像の微分について新しく学ぶ。
平面曲線や空間曲線、曲面がどのようなものかを理解し、その接線や接平面の式を書けるようになる。曲線の長さや曲面積の定義を理解し、実際に計算できるようになる。平面や空間の変数変換を用いて重積分の計算ができるようになる。

授業の到達目標

シラバス　1。実数の連続性、 数列の収束、極限。
2。連続関数、微分の正確な定義。
3。単調関数の逆関数、合成関数の微分。
4。平均値の定理、関数の最大値、最小値、グラフの書き方。

5。級数、収束の判定法。べき級数。
6。べき級数で表される関数の微分、テイラー展開。
7。積分の性質、初等関数の積分。
8。有理関数の積分、部分積分法、漸化式。
9。広義積分。

10。平面や空間のなかの領域、その上で定義された関数とその偏微分の定義。
11。常微分方程式の初等解法。
12。曲線や曲面のパラメータ表示、グラフ表示、式表示とそれらの関係、
陰関数定理
13。曲線の法線、接線、曲面の接平面、法線ヴェクトル、の式。
14。曲面積の公式
15。平面や空間のあいだの写像、変数変換の公式。
16。重積分と逐次積分
17。重積分の計算

教科書　微分積分 I、Ⅱ、 鈴木、山田、柴田、田中著、 内田老鶴圃

参考文献　郡　敏昭 著: 微分・積分一理論と計算、学術図書出版
入江 昭二 他著: 微分積分（上・下）、 内田老鶴圃
足立恒雄 著: 微分積分学 I、Ⅱ、 サイエンス社

評価方法　定期試験・教場試験・平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 （2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 外国学生		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	16	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	本間　泰史	本間　泰史	

副題

授業概要　一変数微分積分学と多変数微分積分学を基礎から応用まで学習する.
また, 講義内容への理解を深めるために, 随時, 演習を行う.

授業の到達目標

シラバス
(1)数列と極限, 級数
(2)一変数関数の極限と連続性
(3)一変数関数の微分法
(4)初等関数, 逆関数, 合成関数の微分
(5)テーラーの定理とその応用
(6)一変数関数の積分
(7)初等関数の積分
(8)広義積分及び積分の応用
(9)関数項級数とべき級数
(9)多変数関数の連続と微分
(10)合成関数の微分, 変数変換
(11)テーラーの定理と極値問題
(12)多変数関数の積分と計算
(13)変数変換
(14)広義積分及び積分の応用
（時間があれば, 微分方程式の基礎）

教科書　「微分積分学概論」越昭三　監修　高橋泰嗣・加藤幹雄　共著　サイエンス社

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポート・出席数

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学B2（微分積分） 外国学生		
科目キー	2600210005		
科目クラスコード	16	**単位数**	6
学期名称	通年	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	本間　泰史	本間　泰史	

副題

授業概要　一変数微分積分学と多変数微分積分学を基礎から応用まで学習する.
また, 講義内容への理解を深めるために, 随時, 演習を行う.

授業の到達目標

シラバス
(1)数列と極限, 級数
(2)一変数関数の極限と連続性
(3)一変数関数の微分法
(4)初等関数, 逆関数, 合成関数の微分
(5)テーラーの定理とその応用
(6)一変数関数の積分
(7)初等関数の積分
(8)広義積分及び積分の応用
(9)関数項級数とべき級数
(9)多変数関数の連続と微分
(10)合成関数の微分, 変数変換
(11)テーラーの定理と極値問題
(12)多変数関数の積分と計算
(13)変数変換
(14)広義積分及び積分の応用
（時間があれば, 微分方程式の基礎）

教科書　「微分積分学概論」越昭三　監修　高橋泰嗣・加藤幹雄　共著　サイエンス社

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポート・出席数

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数学E(関数論)　電子光		
科目キー	2600210008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	福島　延久		

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法(2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学A　基幹(1)		
科目キー	2600220009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	谷川　隆夫		

副題

授業概要　科学・技術の諸分野では、ある特定の問題を考察する際、対象となる現象をモデル化、数式化し、その現象を定性、定量的に検討することが基本作業である。基礎物理学Aの講義では、そのための素養を養うため、現代科学・技術の基礎を構成する最も古くから理論的体系化が進んだ“力学”を取り上げ解説する。必要となる数学の道具をそろえながら日常的な現象からちょっと非日常的な感じのする(例えば宇宙科学に関連するような)現象まで割と簡単な物理法則から理解できることを学んで行きたい。単に原理や決まりきった解法のある問題を学ぶだけでは実際の問題に応用する力が付かないので、自分の「手・頭」を使って解く演習問題をできるだけ多く取り入れて行く予定である。

授業の到達目標

シラバス

1. 運動
   ベクトル、物理における微分、積分の意味、使い方など

2. 運動の法則
   古典力学の基礎となる3つの法則について

3. 質点の運動
   1個の質点の1次元、2次元運動（落体問題、振動現象など）
   仕事とエネルギーの概念及び各種保存則について

4. 惑星の運動と中心力

5. 角運動量

6. 質点系の力学
   2個以上の質点の運動について

7. 剛体の運動

教科書　教科書は特に指定しない。

参考文献　参考書については講義で適宜紹介するが、図書館の検索システムなどを利用して自分に合ったものを探して欲しい。

参考書の例:
1.「力学（新訂版）」阿部龍蔵 著（サイエンス社）
2.「例解 力学演習」戸田盛和、渡辺慎介 著（岩波書店）
3.「クイズで学ぶ大学の物理」飽本一裕 著（講談社、ブルーバックス）
4.「物理学（三訂版）」小出昭一郎 著（裳華房）
5.「物理学」阿部龍蔵、川村清 著（サイエンス社）

評価方法　定期試験:60% 程度
中間試験:10% − 20%
宿題・出席状況等:20% − 30%

備考　できるだけ分かり易い解説を試みるつもりだが、授業時間内に全てを理解することは当然無理である。物理の勉強では予習も大事だが、何よりも各講義後その内容を自分で整理し直しよく復習することが極めて大切である。提起する問題については（全てを宿題にするとは限らない）必ず自分自身で考えて解くよう努めて欲しい。自分の「手と頭」を使って作業をしない限り、単に授業に出たり教科書を熱心に読んだりしても、殆ど時間の無駄である。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学A　基幹(1)		
科目キー	2600220009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上

その他　　%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学A　基幹(2)		
科目キー	2600220009		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上出　健仁		

副題

授業概要　ニュートンの法則を基にする古典力学の体系を学ぶ。力学は物理学の基礎であり，質点の運動を通じて，力，仕事，エネルギー，運動量，角運動量などの概念を学ぶ。

授業の到達目標

シラバス

1. 運動学
   ・質点と座標系
   ・ベクトルの微分積分（速度、加速度）
   ・さまざまな座標系

2. 運動の法則
   ・Newtonの三法則

3. 簡単な運動
   ・放物体、単振動、
   ・強制振動、共鳴、散逸

4. 運動法則の積分形、力学的エネルギーとその保存則
   ・運動エネルギーと位置エネルギー
   ・仕事と保存力
   ・さまざまなポテンシャル
   ・保存則による運動の決定

5. 質点系と運動量保存則

6. 剛体
   ・角速度、角運動量、慣性モーメント
   ・一軸まわりの回転
   ・簡単な剛体の運動（剛体振り子、斜面を転がる剛体、コマの歳差運動）

教科書　″力学　植松恒夫著　学術出版社″をベースに授業を進める。

参考文献　力学の教科書は図書館に沢山あるので、各自気に入った本で勉強すればよい。
力学の思想を理解するには、演習問題を多くこなすとよい(すぐに答えを見ず、じっくり考えると深い理解につながる)。演習書を2つ挙げておく。

1. 詳解 力学演習 後藤憲一ほか編 共立出版
2. 例解 力学演習 戸田盛和ほか著 岩波書店

評価方法　定期試験、小テスト、レポート

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学A　基幹(3)		
科目キー	2600220009		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	栗原　進		

副題

授業概要　基礎物理学Aでは、科学の基礎となる古典力学を学ぶ。
まず、質点の運動を通じて，エネルギー，運動量，角運動量の概念を学ぶ。次に、剛体の運動の初歩的な例を学ぶ。
受講者にはレポートを課し、演習を行ってもらう。

授業の到達目標

シラバス　(1) 物理学における古典力学の位置付け
(2) 運動の法則と運動方程式
(3) 運動の保存則（エネルギー、運動量、角運動量）
(4) 質点系における重要な運動例
(5) 剛体の運動

教科書　教科書、参考書は授業初回に紹介する。

参考文献

評価方法　定期試験、レポート

備考　高校では習わない微積分、ベクトル解析等の数学は、授業時間外に各自学習しておくよう心がけてください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学A　基幹(4)		
科目キー	2600220009		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	古賀　潤一郎		

副題

授業概要　力学の初歩についての講義を行う。まず、質点という概念を導入し、その運動を数学的に表現する方法を説明する。次に、運動方程式を含めて運動法則についての解説を行い、具体的な例を用いて運動方程式の解き方を説明する。さらに、エネルギー保存則を含め、運動の保存則についての解説を行い、それに基づいて、質点系の運動、および、剛体の運動について説明する。

授業の到達目標

シラバス
1. 質点とその運動の数学的表現
2. 運動の法則
3. 運動の例（自由落下、単振動、減衰振動など）
4. 運動の保存則（エネルギー保存則、運動量保存則、角運動量保存則）
5. 質点系の運動
6. 剛体の運動

教科書　なし

参考文献　授業初回に紹介

評価方法　期末試験のみ

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学A　基幹(5)		
科目キー	2600220009		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	北川　盈雄		

副題

授業概要　理工系学部での基礎教育において、物理学は非常に重要な科目である。物理学の成果やそこで使われている多彩な数学的な手法は、理学から工学、あるいは文系を含むその他の広範な分野で広く応用されている。この講義では、物理学の分野の中でも、われわれの視覚的認識に最もマッチした「力学」の学習を行う。

講義内容の大枠は、基礎編である「質点の力学」、応用編である「質点系と剛体の力学」、および「波動」に大別される。これらの学習を通してニュートン力学の世界像を把握し、自然界の物理現象を体系的に理解する。また、学習した手法(微分方程式の解法など)を習得し、将来的に学ぶことになる諸課題を解決できる応用力を養うことを目標にする。

授業の到達目標

シラバス

(1)(2) ニュートンの運動の三法則
- −位置ベクトル、速度、加速度と運動の法則
- −放物運動

(3)(4) 単振動
- −単振動の一般解
- −減衰振動など

(5)(6) 力学的エネルギー保存則
- −仕事と運動エネルギー
- −保存力場とポテンシャルエネルギー
- −応用例

(7) 万有引力と惑星の運動
- −ケプラーの法則と運動方程式の解(2次元極座標)

(8)(9)(10) 運動量と衝突、角運動量
- −二体問題:重心と換算質量
- −運動量保存則
- −弾性衝突と非弾性衝突
- −角運動量

(11)(12)(13) 剛体の運動と慣性モーメント
- −慣性モーメントとは
- −慣性モーメントの各種例
- −応用例

教科書　教科書:小出 昭一郎　物理学(三訂版) 裳華房
資　料:プリントとして適宜配布する

参考文献　原 康夫　物理学　学術図書出版社

評価方法　定期試験、レポート

備考　微分、積分、微分方程式の解法など、数学力と必要とする科目であるので、物理学のみならず数学の予習、復習を心がけて欲しい。

kitagawa@aoni.waseda.jp

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学A　基幹(6)		
科目キー	2600220009		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	千葉　司		

副題

授業概要　物理学の基礎の一つである「力学」を学びます。様々な観測データから仮説を立て、実験で検証し、法則を導き、そしてその法則を通して自然現象を理解するという物理的な考え方を学んで下さい。この授業では、質点の力学と質点系・剛体の力学を取り上げます。

授業の到達目標

シラバス

(1)力のつり合い
　力とは　ベクトルの合成と分解　力のつり合い
(2)速度と加速度
　時間と空間　座標　変位　直線運動　2次元、3次元の運動　円運動の速度と加速度
(3)運動の法則
　慣性の法則　運動方程式　作用反作用の法則
(4)いろいろな振動
　落体の運動　単振動　等速円運動　抵抗力を受けた物体の運動
(5)力学的エネルギー
　仕事　運動エネルギー　保存力と位置エネルギー　力学的エネルギー保存則
(6)運動量と角運動量
　運動量と力積　2体問題　角運動量
(7)慣性力
　慣性系　慣性力　回転座標系
(8)剛体のつり合いと回転運動
　剛体のつり合い　回転運動　慣性モーメント　剛体の運動方程式　剛体の平面運動

教科書　長岡洋介 著「物理の基礎」(東京教学社)

参考文献

評価方法　定期試験（平常点を加点する場合もある）

備考　復習が不十分な人が多々見受けられます。復習は、例題、章末問題も含めて日頃からやっておいてください。

関連URL:　http://www.aoni.waseda.jp/chiba.tks/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学A　基幹(7)		
科目キー	2600220009		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	古賀　潤一郎		

副題

授業概要　力学の初歩についての講義を行う。まず、質点という概念を導入し、その運動を数学的に表現する方法を説明する。次に、運動方程式を含めて運動法則についての解説を行い、具体的な例を用いて運動方程式の解き方を説明する。さらに、エネルギー保存則を含め、運動の保存則についての解説を行い、それに基づいて、質点系の運動、および、剛体の運動について説明する。

授業の到達目標

シラバス
1. 質点とその運動の数学的表現
2. 運動の法則
3. 運動の例（自由落下、単振動、減衰振動など）
4. 運動の保存則（エネルギー保存則、運動量保存則、角運動量保存則）
5. 質点系の運動
6. 剛体の運動

教科書　なし

参考文献　授業初回に紹介

評価方法　期末試験のみ

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学A　外国学生		
科目キー	2600220009		
科目クラスコード	12	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	松永　康		

副題

授業概要　ニュートン力学の基礎法則の理解をねらいとし、質点・剛体の力学の初歩を扱う。必要な数学は、ベクトル解析、微分方程式であるが、これらはその都度解説を行いながら道具として使う。

授業の到達目標

シラバス

1 はじめに一基礎物理学Aで何を学ぶか
2 位置・速度・加速度
3 ベクトル、放物運動、微分方程式
4 力、ニュートンの運動方程式
5 等速円運動、単振動、仕事
6 エネルギー(1) 仕事と運動エネルギー
7 エネルギー(2) ポテンシャルエネルギー・エネルギー保存側
8 エネルギー(3) 非保存力と摩擦
9 粒子系に対する運動の法則
10 運動量の保存、衝突
11 回転(1) 質点系の回転一角速度、角運動量
12 回転(2) 固定軸周りの剛体の運動
13 回転(3) 慣性モーメントの計算
14 予備

教科書　小出昭一郎著「物理学」裳華房

参考文献

評価方法　定期試験・レポート・出席点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学B　基幹(1)		
科目キー	2600220010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	谷川　隆夫		

副題

授業概要　基礎物理学A(前期)で習得した物理的手法、考え方をより発展的に応用すべく現在の我々が恩恵に浴している近代科学技術文明を文字通り直接的に支えている物理の原理・現象を取り上げ(と言ってもここでは"古典的"なものしか扱わないが)学んで行く。
具体的には、まず極めて普遍的な現象である波動現象の基礎について学ぶ。現代文明は電磁現象の基に成り立っていると言っても過言ではない。電磁気学の基礎を学ぶことが基礎物理学Bのメインパートである。携帯電話から電子レンジにいたるまで我々はまさに電波の中に浸っている。光もその一種である電磁波について学ぶことは大きな課題である。

授業の到達目標

シラバス

1. 1次元弾性体と波動
　進行波、定在波、波動方程式など

2. 電磁気学の基礎

A. 電荷と電場

B. ガウスの法則
　球、円柱、板内外の電場

C. 導体

D. 電流と磁場

E. 電磁誘導について

F. 変位電流とマクスウェルの方程式

G. 電磁波とその応用

教科書　教科書は特に指定しない。

参考文献　参考書については講義で適宜紹介するが、図書館の検索システムなどを利用して自分に合ったものを探して欲しい。以下に参考書の例を挙げる。

振動・波動
1.「クイズで学ぶ大学の物理」飽本一裕 著(講談社、ブルーバックス)第4章
2.「振動・波動論講義」際本泰士 著(コロナ社)

電磁気学
1.「電磁気学入門 −クーロンの法則とビオ・サバールの法則を中心に」岸本忠史 著(培風館)
2.「例解 電磁気学演習」長岡洋介、丹慶勝市 著(岩波書店)
3.「電磁気学」砂川重信 著(岩波書店)
4.「理論電磁気学 第3版」砂川重信 著(紀伊國屋書店)

評価方法　定期試験:60%
中間試験:10% − 20%
宿題・出席状況等:20% − 30%

備考　できるだけ分かり易い解説を試みるつもりだが、授業時間内に全てを理解することは当然無理である。物理の勉強では予習も大事だが、何よりも各講義後その内容を自分で整理し直しよく復習することが極めて大切である。提起する問題については(全てを宿題にするとは限らない)必ず自分自身で考えて解くよう努めて欲しい。自分の「手と頭」を使って作業をしない限り、単に授業に出たり教科書を熱心に読んだりしても、殆ど時間の無駄である。

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学B　基幹(1)		
科目キー	2600220010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学B　基幹(2)		
科目キー	2600220010		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	山野　拓也		

副題

授業概要　波動と電磁気学についての内容を学ぶ。高校で学んだ物理のうち電気、磁気に関する内容との接続に注意しながら、大学で習うベクトル解析や微分積分による電磁気現象の表現を理解する。

授業の到達目標

シラバス

1. ガイダンス, 波動
2. 電磁気学イントロ, 電場- クーロン:静止した電荷間に働く力, 電荷は電場をつくる, 直線電荷が作る電場, 平面電荷が作る電場, 電場と立体角
3. 電場- ガウスの法則, 電気力線, 電場の発散と発散密度, 静電場の基本方程式, 保存場
4. ポテンシャル関数- クーロンポテンシャル, ポアソン方程式, 電気双極子モーメント, 導体- 導体の静電場と電位
5. 導体-鏡像法, 電場に蓄えられるエネルギー, 自己場と自己エネルギー
6. 分極- 原子の分極, 電気双極子モーメント, 誘電率
7. 中間テスト, 解説
8. 電流- 電流と電荷保存則, 連続の式, 定常電流, オームの法則, 電流の発熱作用
9. 電流- 起電力, 磁場- アンペールの法則, ビオー-サヴァールの法則, 静電場の基本方程式, ベクトルポテンシャル, 直線電流が作る磁場, ソレノイドの作る磁場
10. 磁場- ゲージ不変性, 磁気モーメント- 磁気双極子モーメント, 磁場中の回路に働く力, 自己誘導と相互誘導
11. 磁気モーメント- 電子の磁気モーメント, 電流に働く力- ローレンツ力, 磁場中の伝導電流とホール効果, 一様電磁場中の電子, サイクロトロン運動,
12. 電流に働く力- 運動する導体に発生する起電力, レンツの法則, 磁場に蓄えられるエネルギー, 電流のエネルギーと磁場のエネルギー, 磁化- 磁性体のエネルギー
13. 変動電磁場- ファラデイの法則, 電流回路に働く力, 回路の方程式, 変位電流, ファラデイの法則とガリレイ不変性

教科書　授業初めに配布したガイダンス参照

参考文献　授業初めに配布したガイダンス参照

評価方法　中間テストと期末試験による。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学B　基幹(3)		
科目キー	2600220010		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	栗原　進		

副題

授業概要　基礎物理学A1で学んだ概念を発展させ，多質点の集団運動としての波動，電荷や電流に働く力を通じて電気と磁気の振る舞いを記述する電磁気学を学ぶ。最も基本的な真空中の電磁気学を中心に解説する。
受講者にはレポートを課し、演習を行ってもらう。

授業の到達目標

シラバス
1. 振動と波動
2. 波動方程式
3. 電荷と電場
4. 電流と磁場
5. 電磁誘導
6. マックスウェルの方程式と電磁波

教科書　教科書、参考書は授業初回に紹介する。

参考文献

評価方法　定期試験、レポート

備考　各自、授業の予習復習をしておくよう心がけてください。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学B　基幹(4)		
科目キー	2600220010		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	古賀　潤一郎		

副題

授業概要　波動と電磁気学の初歩について講義を行う。まず、連続体という概念と多重積分について簡単な解説を行う。次に、波動方程式の導出を行い、波動の基本的なメカニズム、および、その性質について講義する。電磁気学では、はじめに静電場を考え、場という概念を解説する。さらに、電流によって磁場が作られること、電場と磁場が相互に関係する現象であることを講義する。最後に、電場と磁場の基本法則がマックスウェル方程式としてまとめられ、また、これから電磁波の存在が予言されることを解説する。

授業の到達目標

シラバス
1. 連続体
2. 波動方程式とその解
3. 波の重ね合わせと波動現象
4. 静電気
5. 定常電流と磁場
6. 電磁誘導
7. マックスウェル方程式と電磁波

教科書　なし

参考文献　授業初回に紹介

評価方法　期末試験のみ

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学B　基幹(5)		
科目キー	2600220010		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	北川　盈雄		

副題

授業概要　前期の基礎物理学Aの続編である。講義内容は、前期の力学の学習内容を前提とした力学の発展編と電磁気学である。力学の発展編では、多質点の集団運動としての波動について学ぶ。電磁気学では、マクスウェルの方程式によって記述される4つの法則を軸に解説し、電荷や電流に働く力を通じた電気と磁気の諸現象、ならびに電磁波について学ぶ。

電磁気学は、ベクトル解析などの高度な数学を必要とするため、物理学の中でもむずかしい分野であるが、現代のエレクトロニクスなどの技術革新の土台を形成した学問でもある。ベクトル解析の手法の習得を必須とすると共に、電場と磁場の物理的意味とその現象を理解し、応用問題を解法することができる学力を養うことを目標とする。

授業の到達目標

シラバス

(1)(2) 振動と波動
- −波動と波動方程式
- −応用例

(3)(4)(5) クーロンの法則とガウスの法則
- −クーロンの法則、電場と電気力線、電位
- −ガウスの法則
- −ガウスの法則の応用例

(6) コンデンサ
- −静電容量とは

(7)(8)(9) 電流と磁場
- −磁場から受ける力
- −環状電流と磁石
- −アンペールの法則など

(10)(11) 電磁誘導
- −ファラデーの法則と電磁誘導
- −応用例

(12)(13) マクスウェルの方程式と電磁波
- −変位電流とマクスウェルの方程式
- −電磁波とは

教科書　教科書:小出 昭一郎　物理学(三訂版)　裳華房
資　料:プリントとして適宜配布する

参考文献　原 康夫　物理学　学術図書出版社

評価方法　定期試験、レポート

備考　微分、積分、ベクトル解析など、数学力を必要とする科目であるので、物理学のみならず数学の予習、復習を心がけて欲しい。

kitagawa@aoni.waseda.jp

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学B　基幹(6)		
科目キー	2600220010		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	千葉　司		

副題

授業概要　電荷や電流に働く力を通じて電気と磁気の振る舞いを記述する電磁気学を学ぶ。様々な観測データから仮説を立て、実験で検証し、法則を導き、そしてその法則を通して自然現象を理解するという物理的な考え方を学んで下さ

授業の到達目標

シラバス

(1)電荷と静電場
　クーロンの法則　ガウスの法則　静電ポテンシャル　コンデンサー

(2)定常電流
　定常電流の保存則　オームの法則　抵抗の接続　キルヒホッフの法則

(3)電流と磁場
　ビオ・サバールの法則　アンペールの法則　ローレンツ力

(4)電磁誘導
　電磁誘導の法則　相互誘導と自己誘導　インダクタンス　交流回路

(5)マクスウェルの方程式と電磁波
　電磁場の微分法則　マクスウェルの方程式　変位電流　電磁波

(6)振動と波動
　連成振動　連続体の振動　波動方程式　進行波と定在波

教科書　長岡洋介 著「物理の基礎」(東京教学社)

参考文献

評価方法　定期試験 (平常点を加点する場合もある)

備考　復習が不十分な人が多々見受けられます。復習は、例題、章末問題も含めて日頃からやっておいてください。

関連URL:　http://www.aoni.waseda.jp/chiba.tks/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学B　基幹(7)		
科目キー	2600220010		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	古賀　潤一郎		

副題

授業概要　波動と電磁気学の初歩について講義を行う。まず、連続体という概念と多重積分について簡単な解説を行う。次に、波動方程式の導出を行い、波動の基本的なメカニズム、および、その性質について講義する。電磁気学では、はじめに静電場を考え、場という概念を解説する。さらに、電流によって磁場が作られること、電場と磁場が相互に関係する現象であることを講義する。最後に、電場と磁場の基本法則がマックスウェル方程式としてまとめられ、また、これから電磁波の存在が予言されることを解説する。

授業の到達目標

シラバス
1. 連続体
2. 波動方程式とその解
3. 波の重ね合わせと波動現象
4. 静電気
5. 定常電流と磁場
6. 電磁誘導
7. マックスウェル方程式と電磁波

教科書　なし

参考文献　授業初回に紹介

評価方法　期末試験のみ

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	基礎物理学B　外国学生		
科目キー	2600220010		
科目クラスコード	12	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中里　弘道		

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	現代物理学		
科目キー	2600220011		
科目クラスコード	12	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	6時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	湯浅　一哉	寄田　浩平	

副題

授業概要　自然界の各階層で起こる現象を記述し，現代物理学の基盤を様々な側面から支える理論体系を概観しつつ，研究の最先端でまさに話題となっているホット・トピックス（に近いところ）に触れる．

授業の到達目標

シラバス　前期は湯浅が担当し，量子力学で語られるミクロの世界で顕著になる興味深い現象の数々を垣間見るとともに，近年発達してきた量子情報のアイデアに触れる．

後期は寄田が担当し，素粒子実験物理の最先端を解説する．

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	化学B1　電子光1		
科目キー	2600230002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大江　親臣		

副題

授業概要　基礎的な化学の内容を踏まえながら、特に物理化学に関する基礎項目を講義する。
前半は原子や分子を直接取り扱う時に必要な電子状態やそこから導かれる分子の構造や性質について学ぶ。後半は原子や分子の集合体に対しての取り扱いとして、熱力学や反応速度を学ぶ。

授業の到達目標

シラバス

1. 原子
   量子力学を用いた原子波動関数と電子配置や原子の性質について説明する。
2. 化学結合と結合エネルギー
   原子軌道を用いた共有結合の形成とその性質、その他の化学結合について説明する。
3. 分子構造とエネルギー
   化学結合の形成に伴う結合の方向性を説明し、芳香族化合物、金属錯体などの分子の構造を説明する。
4. 分子間相互作用
   分子間に働く力(ファンデルワールス力、水素結合、疎水的相互作用など)とその性質について説明する。
5. 凝集相にある物質と化学的性質
   結晶、非晶質固体、コロイド、高分子などの凝集相での性質などを説明する
6. 物質のエネルギーと平衡状態
   熱力学第1法則と第2法則を用いて、物質の熱的性質、化学平衡、電気化学的性質を説明する。
7. 反応の速度
   反応が進む過程と各過程での反応速度はどのように決まるかを説明する。
8. 分子構造とスペクトル
   分子構造を決定するための各種分光法を紹介する。

教科書　池田憲昭ほか著「化学序説(第4版)」学術図書出版社

参考文献

評価方法　定期試験・平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	化学B1　電子光2		
科目キー	2600230002		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	坂田　健		

副題

授業概要　物理化学の基礎とそれに関連した現代化学のトピックスについて講義する。

授業の到達目標

シラバス
1 原子の構造
2 元素の周期的性質
3 化学結合
4 分子分光学
5 気体
6 熱化学
7 相平衡
8 化学平衡
9 電解質水溶液
10 電池
11 反応速度

教科書　物理化学の基礎」 柴田茂雄著（共立出版）

参考文献　「アトキンス　物理化学（上・下）」 千原秀昭ほか訳（東京化学同人）
「マッカーリ・サイモン　物理化学（上・下）」 千原秀昭ほか訳（東京化学同人）

評価方法　レポート、定期試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	化学B3　電子光		
科目キー	2600230004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松尾　司		

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	化学C　基幹(1)		
科目キー	2600230005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	小出　隆規		

副題

授業概要　我々の体、我々の身の回りにある物はすべて、原子からなっている。原子はある組み合わせで分子となり、固有の性質を示し、それらは反応して変化する。理工系の学生にとって、化学の知識と化学に基づいた物事の考え方は、専門分野に関わらず重要である。本講義では化学の基礎的事項について広く講述する。

授業の到達目標

シラバス
（1）化学のなりたち
（2）原子・分子
（3）物質の状態とエネルギー
（4）元素
（5）酸・塩基、酸化・還元
（6）化学反応
（7）無機化合物
（8）（9）有機化合物
（10）（11）高分子
（12）（13）生化学

教科書　化学教科書シリーズ　一般化学　竹本、伊藤共著　丸善

参考文献

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	化学C　基幹(2)		
科目キー	2600230005		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	中尾　洋一		

副題

授業概要　我々の体、我々の身の回りにある物はすべて、原子からなっている。原子はある組み合わせで分子となり、固有の性質を示し、それらは反応して変化する。理工系の学生にとって、化学の知識と化学に基づいた物事の考え方は、専門分野に関わらず重要である。本講義では化学の基礎的事項について広く講述する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	化学C　基幹(3)		
科目キー	2600230005		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	伊藤　紘一		

副題

授業概要　我々の体、我々の身の回りにある物はすべて、原子からなっている。原子はある組み合わせで分子となり、固有の性質を示し、それらは反応して変化する。理工系の学生にとって、化学の知識と化学に基づいた物事の考え方は、専門分野に関わらず重要である。本講義では化学の基礎的事項について広く講述する。

授業の到達目標

シラバス

第1章　序章
　高校までに学習した化学の基本的な内容を復習し化学で用いられる単位系を説明する。
key words:原子番号と原子量;分子量と分子式;溶液のモル濃度;質量モル濃度およびモル分率;溶液の蒸気圧とラウールの法則;酸化と還元;物質の化学的エネルギー;気体の状態方程式;熱容量;化学で用いられる種々の単位

第2章　原子
　量子力学の簡単な説明とそれによる原子の構造、電子配置、原子の性質について説明する。
key words:ボーアの原子モデルと原子のエネルギー;電子の粒子性と波動性;シェレディンガーの波動方程式と水素原子の電子状態;多電子原子のエネルギーと電子配置;原子の性質

第3章　化学結合と結合エネルギー
　量子化学にもとづき種々の化学結合の性質と有機化合物の骨格を形成する共有結合について説明する。
key word:イオン結合と格子エネルギー;共有結合と結合エネルギー;σ結合とπ結合;分子の極性と双極子モーメント;金属結合

第4章　分子の構造とエネルギー
　化学結合の理論にもとづき原子間の結合の方向性、芳香族化合物の性質、金属錯体の構造、および有機化合物の立体異性について説明する。
key words:混成軌道;多重結合;芳香族性;配位化合物と配位結合;立体異性体

第5章　分子間相互作用
　分子間にはたらく種々の分子間力の性質を明らかにして気体、液体、固体、高分子、生体組織などが分子間のどのような相互作用によって形作られるかを説明する。
key words:イオン−双極子および双極子−双極子相互作用;ファンデルワールス相互作用;水素結合;疎水結合;電荷移動相互作用

第6章　凝集相にある物質と化学的性質
　結晶、非晶質固体、液晶、コロイドなどの分子が形成する凝集相の性質、天然および生体高分子の構造と性質を説明する。
key words:単位格子による結晶の分類;液晶の構造と性質;非晶質固体の性質;コロイド、界面活性剤の性質;天然高分子の構造と性質

第7章　物質のエネルギーと平衡状態
　熱力学の第一法則(エネルギーの保存則)と第二法則(エントロピーの増大則)をもとに物質の熱的性質、溶液の性質、化学平衡、電気化学的性質を説明する。
key words:系と周囲、熱と仕事、内部エネルギーの熱力学の第一法則、エンタルピー、エントロピーと熱力学の第二法則、自由エネルギー、化学ポテンシャルと相平衡、化学平衡、電気化学反応

第8章　反応の速度
　化学反応がどのような過程を経て進むか、また個々の過程の反応速度が何によって決まるかを説明する。
key words:反応速度式と1次および2次反応;反応速度の温度変化;活性化エネルギーと遷移状態;触媒反応

教科書　池田憲昭ほか著「化学序説」(第4版)学術図書出版社

参考文献　特になし

評価方法　期末試験の成績

備考

関連URL:

試験	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	化学C　基幹(3)		
科目キー	2600230005		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	化学C　基幹(4)		
科目キー	2600230005		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	山口　正		

副題

授業概要　我々の体、我々の身の回りにある物はすべて、原子からなっている。原子はある組み合わせで分子となり、固有の性質を示し、それらは反応して変化する。理工系の学生にとって、化学の知識と化学に基づいた物事の考え方は、専門分野に関わらず重要である。本講義では化学の基礎的事項について広く講述する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	化学C　基幹(5)		
科目キー	2600230005		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	松本　一嗣		

副題

授業概要　我々の体、我々の身の回りにある物はすべて、原子からなっている。原子はある組み合わせで分子となり、固有の性質を示し、それらは反応して変化する。理工系の学生にとって、化学の知識と化学に基づいた物事の考え方は、専門分野に関わらず重要である。本講義では化学の基礎的事項について広く講述する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	化学C　外国学生		
科目キー	2600230005		
科目クラスコード	13	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	佐々木　幸夫		

副題

授業概要　化学は物質を対象とする自然科学の重要な分野である。物質は原子や分子から成り立っているが、日常取り扱う物質の中で最も簡単な気体の研究から、数多くの法則が生まれてきた。本授業では先ず気体の性質について学んだ後、物質を原子や分子、いわゆる微視的な観点からの理解の基本となる量子力学の基礎として、原子の構造について学ぶ。

授業の到達目標

シラバス

1. 国際単位(SI)系
2. 気体の諸性質と理想気体の状態方程式
3. 実在気体の状態方程式(ビリアル方程式、ファンデル・ワールス式)
4. 臨界現象
5. 気体分子運動論
6. 分子の速度と速度分布
7. 原子の構成　エネルギー量子
8. 原子スペクトルと原子モデル
9. -10. 電子の波動性とシュレーディンガー波動方程式
11. 波動方程式の解法　波動関数の解釈
12. 水素型原子のシュレーディンガー波動方程式　量子数
13. 原子の電子配置と元素の周期律

教科書　「理工系学生のための化学基礎」 野村浩康、川泉文男共編　卜部和夫、川泉文男、平澤政廣、松井恒雄共著(学術図書出版)

参考文献

評価方法　定期試験および平常点(出席点)

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	生命科学概論A　電子光		
科目キー	2600240001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	朝日　透	青井　議輝	南沢　享

副題

授業概要　これまで十分な生物学教育を高等学校で受けなかった学生対象が、少しでも生命の神秘に興味を持ってもらうために設けられた科目である。また、本講義では、我々ほ乳類だけでなく幅広い生命体の活動、日常生活の場でも良く耳にする遺伝子改変生物の現状と未来や最先端医療の基盤を支える最新科学テクノロジーについてもできるだけ分かりやすく紹介する。さらに、本講義は、細胞生物学など今後より高いレベルの講義の履修を考えている学生にも、生命科学に対して十分な基礎知識をつけてもらうための登竜門と考えてほしい。

授業の到達目標

シラバス
1. 4月18日生命と生命科学　朝日
2. 4月25日遺伝　南沢
3. 5月 2日細胞の構造と各部の役割　南沢
4. 5月 9日生命活動とエネルギー　田中
5. 5月16日環境と生物1　青井
6. 5月23日環境と生物2　青井
7. 5月30日生命の誕生から死まで　朝日
8. 6月 6日生物の進化　朝日
9. 6月13日食物と生物　朝日
10. 6月20日資源・エネルギーと生物　田中
11. 6月27日バイオテクノロジーと医療　南沢
12. 7月 4日生命科学と医療　朝日

教科書　一般的な生物学・細胞生物学の教科書、例えば「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 著和田進　羊土社

参考文献

評価方法　平常点、筆記試験

備考　講義日程の変更の可能性があることに留意。
期末筆記試験の受験資格は、8回以上の講義の出席した学生のみに与える。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	細胞生物学A　電子光		
科目キー	2600240003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	柴田　武彦		

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1A　Iブロック		
科目キー	2600250001		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上江洲　由晃	鷲尾　方一	菅野　重樹
	大島　忠平	常田　聡	大江　親臣
	鹿島　長次	木村　一宇	大貫　浩二
	久保　葉子	小出　隆規	福島　靖孝

副題

授業概要　高校および大学1年次で学ぶ物理、化学、生命科学の基礎分野における実験、製作、コンピュータシュミレーション等を1回1テーマで行う。自分で直接体験することにより基本法則や理論をより深く理解すると同時に、自主性、独創性を伸ばすことを目標としている。後期の「理工学基礎実験1B」と合わせて、理工系学生として必須の素養を養うものでもあるが、頭だけでなく手と目、時には耳や鼻も使って自然現象に働きかける楽しさを味わえるように配慮してある。

授業の到達目標

シラバス　物理系実験では、レンズ、波動、磁石の動き、音の波形、ギター、ラジオ、水の流れなど身近なテーマについて物理現象を理解するものであるが、学生が主体的に取り組めるように「もの作り」の要素を取り入れてある。またコンピュータ・シミュレーションにより物理現象を深く理解すると同時にその有用性を学ぶものである。

化学系実験では、身近なテーマや素材を使って化学の基本的事項の理解を深めるとともに、試薬、ガラス器具、バーナー、ボンベなどの安全な取り扱い方や、排水中の鉄やリンの含有量を分析することにより、環境保全がいかに難しくまた重要であるかについても学ぶ。

生命科学系実験では、生命の基本構成単位である細胞について理解し、実際に生きている動植物細胞の観察を行い生命現象に対する理解を深める。

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1A　IIブロック		
科目キー	2600250001		
科目クラスコード	02	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	濱　義昌	伊藤　紘一	鷹野　正利
	角田　頼彦	中井　浩巳	鵜飼　一彦
	湯浅　一哉	秋元　琢磨	松田　梓
	岩崎　秀雄	林　久治	陸名　雄一

副題

授業概要　高校および大学1年次で学ぶ物理、化学、生命科学の基礎分野における実験、製作、コンピュータシュミレーション等を1回1テーマで行う。自分で直接体験することにより基本法則や理論をより深く理解すると同時に、自主性、独創性を伸ばすことを目標としている。後期の「理工学基礎実験1B」と合わせて、理工系学生として必須の素養を養うものでもあるが、頭だけでなく手と目、時には耳や鼻も使って自然現象に働きかける楽しさを味わえるように配慮してある。

授業の到達目標

シラバス　物理系実験では、レンズ、波動、磁石の動き、音の波形、ギター、ラジオ、水の流れなど身近なテーマについて物理現象を理解するものであるが、学生が主体的に取り組めるように「もの作り」の要素を取り入れてある。またコンピュータ・シミュレーションにより物理現象を深く理解すると同時にその有用性を学ぶものである。

化学系実験では、身近なテーマや素材を使って化学の基本的事項の理解を深めるとともに、試薬、ガラス器具、バーナー、ボンベなどの安全な取り扱い方や、排水中の鉄やリンの含有量を分析することにより、環境保全がいかに難しくまた重要であるかについても学ぶ。

生命科学系実験では、生命の基本構成単位である細胞について理解し、実際に生きている動植物細胞の観察を行い生命現象に対する理解を深める。

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1A　IIIブロック		
科目キー	2600250001		
科目クラスコード	03	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	寺崎　一郎	石原　浩二	宗田　孝之
	川原田　洋	鷹野　正利	庄子　習一
	菊田　敏輝	中田　雅久	宇高　勝之
	栗原　進	榎本　秀一	鄭　宗秀

副題

授業概要　高校および大学1年次で学ぶ物理、化学、生命科学の基礎分野における実験、製作、コンピュータシュミレーション等を1回1テーマで行う。自分で直接体験することにより基本法則や理論をより深く理解すると同時に、自主性、独創性を伸ばすことを目標としている。後期の「理工学基礎実験1B」と合わせて、理工系学生として必須の素養を養うものでもあるが、頭だけでなく手と目、時には耳や鼻も使って自然現象に働きかける楽しさを味わえるように配慮してある。

授業の到達目標

シラバス　物理系実験では、レンズ、波動、磁石の動き、音の波形、ギター、ラジオ、水の流れなど身近なテーマについて物理現象を理解するものであるが、学生が主体的に取り組めるように「もの作り」の要素を取り入れてある。またコンピュータ・シミュレーションにより物理現象を深く理解すると同時にその有用性を学ぶものである。

化学系実験では、身近なテーマや素材を使って化学の基本的事項の理解を深めるとともに、試薬、ガラス器具、バーナー、ボンベなどの安全な取り扱い方や、排水中の鉄やリンの含有量を分析することにより、環境保全がいかに難しくまた重要であるかについても学ぶ。

生命科学系実験では、生命の基本構成単位である細胞について理解し、実際に生きている動植物細胞の観察を行い生命現象に対する理解を深める。

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1A　IVブロック		
科目キー	2600250001		
科目クラスコード	04	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鹿又　宣弘	菊田　敏輝	鈴木　一成
	師　啓二	齋藤　俊和	篠原　邦夫
	吉川　昭	大山　俊行	林　久治
	岡野　俊行	神崎　夏子	福島　靖孝

副題

授業概要　高校および大学1年次で学ぶ物理、化学、生命科学の基礎分野における実験、製作、コンピュータシュミレーション等を1回1テーマで行う。自分で直接体験することにより基本法則や理論をより深く理解すると同時に、自主性、独創性を伸ばすことを目標としている。後期の「理工学基礎実験1B」と合わせて、理工系学生として必須の素養を養うものでもあるが、頭だけでなく手と目、時には耳や鼻も使って自然現象に働きかける楽しさを味わえるように配慮してある。

授業の到達目標

シラバス　物理系実験では、レンズ、波動、磁石の動き、音の波形、ギター、ラジオ、水の流れなど身近なテーマについて物理現象を理解するものであるが、学生が主体的に取り組めるように「もの作り」の要素を取り入れてある。またコンピュータ・シミュレーションにより物理現象を深く理解すると同時にその有用性を学ぶものである。
化学系実験では、身近なテーマや素材を使って化学の基本的事項の理解を深めるとともに、試薬、ガラス器具、バーナー、ボンベなどの安全な取り扱い方や、排水中の鉄やリンの含有量を分析することにより、環境保全がいかに難しくまた重要であるかについても学ぶ。
生命科学系実験では、生命の基本構成単位である細胞について理解し、実際に生きている動植物細胞の観察を行い生命現象に対する理解を深める。

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1A　Vブロック		
科目キー	2600250001		
科目クラスコード	05	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	古川　行夫	長谷部　信行	菊田　敏輝
	大江　親臣	松永　康	北川　盈雄
	寺沢　和洋	勝藤　拓郎	柴田　高範
	山崎　義弘	山口　正	大山　俊行

副題

授業概要　高校および大学1年次で学ぶ物理、化学、生命科学の基礎分野における実験、製作、コンピュータシュミレーション等を1回1テーマで行う。自分で直接体験することにより基本法則や理論をより深く理解すると同時に、自主性、独創性を伸ばすことを目標としている。後期の「理工学基礎実験1B」と合わせて、理工系学生として必須の素養を養うものでもあるが、頭だけでなく手と目、時には耳や鼻も使って自然現象に働きかける楽しさを味わえるように配慮してある。

授業の到達目標

シラバス　物理系実験では、レンズ、波動、磁石の動き、音の波形、ギター、ラジオ、水の流れなど身近なテーマについて物理現象を理解するものであるが、学生が主体的に取り組めるように「もの作り」の要素を取り入れてある。またコンピュータ・シミュレーションにより物理現象を深く理解すると同時にその有用性を学ぶものである。
化学系実験では、身近なテーマや素材を使って化学の基本的事項の理解を深めるとともに、試薬、ガラス器具、バーナー、ボンベなどの安全な取り扱い方や、排水中の鉄やリンの含有量を分析することにより、環境保全がいかに難しくまた重要であるかについても学ぶ。
生命科学系実験では、生命の基本構成単位である細胞について理解し、実際に生きている動植物細胞の観察を行い生命現象に対する理解を深める。

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1Ｂ　Iブロック		
科目キー	2600250002		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	上江洲　由晃	鷲尾　方一	菅野　重樹
	石原　浩二	大島　忠平	菊田　敏輝
	大江　親臣	佐々木　幸夫	鹿島　長次
	井上　貴文	福島　靖孝	石川　知則

副題

授業概要　高校および大学1年次で学ぶ物理、化学、生命科学の基礎分野における実験、製作、コンピュータシュミレーション等を1回1テーマで行う。自分で直接体験することにより基本法則や理論をより深く理解すると同時に、自主性、独創性を伸ばすことを目標としている。
後期の「理工学基礎実験1A」と合わせて、理工系学生として必須の素養を養うものでもあるが、頭だけでなく手と目、時には耳や鼻も使って自然現象に働きかける楽しさを味わえるように配慮してある。

授業の到達目標

シラバス　物理系実験では、エアホッケー、惑星運動、振り子運動などの力学系実験をはじめ、光の分光と干渉、回路素子と波形、電子回路工作などいくつかの重要テーマについて基本的な理解および実験技術の習得がなされるように学ぶ。「発表と討論」では、実際に実験で得られた結果を題材に口頭発表を行い、人にわかりやすく伝えられ、討論もできる能力を養う。
化学系実験では、つぎの3つのテーマの体得を通して、物質を構成する原子、物質の性質、化学反応についての理解を深めることを目的とする。(1)原子の発光スペクトルの測定と解析方法、(2)有機化合物の合成過程における分離、精製、および生成物の同定の方法、(3)化学反応の速度の測定と、反応機構の解析。
生命科学系実験では、生物の遺伝情報を担う物質であるDNAについて理解を深める。またPCR法の原理を学び、DNAを短時間で増幅する実験を行う。さらに実験結果をもとに論理的な考察を行う。

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1Ｂ　IIブロック		
科目キー	2600250002		
科目クラスコード	02	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	濱　義昌	鷹野　正利	菊田　敏輝
	角田　頼彦	鵜飼　一彦	渡邊　亮
	柴田　高範	秋元　琢磨	松田　梓
	岩崎　秀雄	林　久治	木村　一宇

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1Ｂ　IIIブロック		
科目キー	2600250002		
科目クラスコード	03	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	石渡　信一	古川　行夫	鹿又　宣弘
	川原田　洋	庄子　習一	菊田　敏輝
	中里　弘道	宇高　勝之	栗原　進
	常田　聡	谷田貝　文夫	木下　一彦

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1Ｂ　IVブロック		
科目キー	2600250002		
科目クラスコード	04	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	中井　浩巳	鈴木　一成	師　啓二
	齋藤　俊和	鄭　宗秀	篠原　邦夫
	吉川　昭	大山　俊行	林　久治
	岡野　俊行	福島　靖孝	白石　博

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験1Ｂ　Vブロック		
科目キー	2600250002		
科目クラスコード	05	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	2時限～5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	長谷部　信行	中田　雅久	大江　親臣
	北川　盈雄	寺沢　和洋	勝藤　拓郎
	山崎　義弘	山口　正	大山　俊行
	合田　亘人	大貫　浩二	久保　葉子

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験2A　情報理工		
科目キー	2600250003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	戸川　望 前原　文明	村岡　洋一	甲藤　二郎

副題

授業概要　理工学基礎1A，1Bに続いて2年次に行う実験科目である．基礎的実験を通して，多様な実験技術と実験手法に関する素養を修得し，専門実験への準備を行う．講義で学習していない内容が含まれる場合があるので，十分な予習が要求される．

授業の到達目標

シラバス　実験内容の詳細は指導書を参照のこと．

教科書　理工学基礎実験2A指導書

参考文献

評価方法　レポート（作品を含む）・（指示されたすべての実験を行い、指示されたレポートをすべて提出し、その評価が妥当である者）

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験2A　電子光		
科目キー	2600250003		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	庄子　習一	渡邉　孝信	

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工学基礎実験2A　機械・航空		
科目キー	2600250003		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	橋詰　匠	武藤　寛	太田　有
	吉村　浩明	天野　嘉春	齋藤　潔
	荻須　吉洋	内藤　健	

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹1（金1）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	盛川　浩志		

副題

授業概要　本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.情報ツール活用術の習得
研究発表において必要となる「テーマ設定」、「概要書作成」、「研究発表」、「論文作成」という一連の流れを、授業での演習および課題作成を通して体験することで、文書整形・数値計算・プレゼンテーションツール等を「ツール」として活用するための知識・手法（情報ツール活用術）を習得する。

2.情報ツール選択能力の習得
本科目では、授業環境としてのプラットフォームを特定せず、それぞれの学習項目においてさまざまなプラットフォームでの活用方法を学ぶ形式で授業を進める。これによって、プラットフォームに囚われず自身の目的を達成するための情報ツールの活用能力を習得すると同時に、ケースに応じて最適なプラットフォームを自身で選択し、活用できる能力を習得する。

3.文書表現・プレゼンテーション技術の習得
授業では「研究発表」、「論文作成」という演習・課題作成を通して、『効果的に相手に伝える』文書表現技術・プレゼンテーション技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス
1. イントロダクション（第1-4週）
授業の進め方
研究発表の手順
有意義な情報検索手法
さまざまなプラットフォームとその違いを知る
コマンドライン
ファイル・ディレクトリ
エディタ
2. 数値・数式処理ツール（第5-6週）
コンピュータを利用した計算手法について
MATHEMATICA等を利用した数値数式処理演習
3. 文書整形ツール（第7-9週）
効果的に相手に伝える文書表現手法
LaTeX操作、手法
PostScriptやPDFへのファイル変換
4. プレゼンテーション（第10週）
効果的に相手に伝えるプレゼンテーション手法
5. 発表・討論（第11-12週）
発表、質疑応答
授業総評

【課題】
(1)概要書作成および提出。
(2)研究発表資料作成および提出。
(3)論文作成および提出。
課題作成で利用する情報ツール（ソフトウェア）選択は、特に指定しない。
学生に選択させることが理想。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題（レポート・プレゼンテーション）の評価。

備考

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹1（金1）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹2（月４）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上
担当教員	関口　信行		

副題

授業概要

1.情報ツール活用術の習得
研究発表において必要となる「テーマ設定」、「概要書作成」、「研究発表」、「論文作成」という一連の流れを、授業での演習および課題作成を通して体験することで、文書整形・数値計算・プレゼンテーションツール等を「ツール」として活用するための知識・手法（情報ツール活用術）を習得する。

2.情報ツール選択能力の習得
本科目では、授業環境としてのプラットフォームを特定せず、それぞれの学習項目においてさまざまなプラットフォームでの活用方法を学ぶ形式で授業を進める。これによって、プラットフォームに囚われず自身の目的を達成するための情報ツールの活用能力を習得すると同時に、ケースに応じて最適なプラットフォームを自身で選択し、活用できる能力を習得する。

3.文書表現・プレゼンテーション技術の習得
授業では「研究発表」、「論文作成」という演習・課題作成を通して、『効果的に相手に伝える』文書表現技術・プレゼンテーション技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

1. イントロダクション（第1-4週）
授業の進め方
研究発表の手順
有意義な情報検索手法
さまざまなプラットフォームとその違いを知る
コマンドライン
ファイル・ディレクトリ
エディタ
2. 数値・数式処理ツール（第5-6週）
コンピュータを利用した計算手法について
MATHEMATICA等を利用した数値数式処理演習
3. 文書整形ツール（第7-9週）
効果的に相手に伝える文書表現手法
LaTeX操作、手法
PostScriptやPDFへのファイル変換
4. プレゼンテーション（第10週）
効果的に相手に伝えるプレゼンテーション手法
5. 発表・討論（第11-12週）
発表、質疑応答
授業総評

【課題】
(1)概要書作成および提出。
(2)研究発表資料作成および提出。
(3)論文作成および提出。
課題作成で利用する情報ツール（ソフトウェア）選択は、特に指定しない。
学生に選択させることが理想。

教科書

参考文献

評価方法

出席、試問および課題（レポート・プレゼンテーション）の評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹2（月４）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	４時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	１年以上

その他　　%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹3（月5）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	盛川　浩志		

副題

授業概要　本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.情報ツール活用術の習得
研究発表において必要となる「テーマ設定」、「概要書作成」、「研究発表」、「論文作成」という一連の流れを、授業での演習および課題作成を通して体験することで、文書整形・数値計算・プレゼンテーションツール等を「ツール」として活用するための知識・手法（情報ツール活用術）を習得する。

2.情報ツール選択能力の習得
本科目では、授業環境としてのプラットフォームを特定せず、それぞれの学習項目においてさまざまなプラットフォームでの活用方法を学ぶ形式で授業を進める。これによって、プラットフォームに囚われず自身の目的を達成するための情報ツールの活用能力を習得すると同時に、ケースに応じて最適なプラットフォームを自身で選択し、活用できる能力を習得する。

3.文書表現・プレゼンテーション技術の習得
授業では「研究発表」、「論文作成」という演習・課題作成を通して、『効果的に相手に伝える』文書表現技術・プレゼンテーション技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス
1. イントロダクション（第1-4週）
授業の進め方
研究発表の手順
有意義な情報検索手法
さまざまなプラットフォームとその違いを知る
コマンドライン
ファイル・ディレクトリ
エディタ
2. 数値・数式処理ツール（第5-6週）
コンピュータを利用した計算手法について
MATHEMATICA等を利用した数値数式処理演習
3. 文書整形ツール（第7-9週）
効果的に相手に伝える文書表現手法
LaTeX操作、手法
PostScriptやPDFへのファイル変換
4. プレゼンテーション（第10週）
効果的に相手に伝えるプレゼンテーション手法
5. 発表・討論（第11-12週）
発表、質疑応答
授業総評

【課題】
(1)概要書作成および提出。
(2)研究発表資料作成および提出。
(3)論文作成および提出。
課題作成で利用する情報ツール（ソフトウェア）選択は、特に指定しない。
学生に選択させることが理想。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題（レポート・プレゼンテーション）の評価。

備考

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹3（月5）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹4（火4）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	瀧本　幸男		

副題

授業概要

1.情報ツール活用術の習得
研究発表において必要となる「テーマ設定」、「概要書作成」、「研究発表」、「論文作成」という一連の流れを、授業での演習および課題作成を通して体験することで、文書整形・数値計算・プレゼンテーションツール等を「ツール」として活用するための知識・手法（情報ツール活用術）を習得する。

2.情報ツール選択能力の習得
本科目では、授業環境としてのプラットフォームを特定せず、それぞれの学習項目においてさまざまなプラットフォームでの活用方法を学ぶ形式で授業を進める。これによって、プラットフォームに囚われず自身の目的を達成するための情報ツールの活用能力を習得すると同時に、ケースに応じて最適なプラットフォームを自身で選択し、活用できる能力を習得する。

3.文書表現・プレゼンテーション技術の習得
授業では「研究発表」、「論文作成」という演習・課題作成を通して、『効果的に相手に伝える』文書表現技術・プレゼンテーション技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

1. イントロダクション（第1-4週）
授業の進め方
研究発表の手順
有意義な情報検索手法
さまざまなプラットフォームとその違いを知る
コマンドライン
ファイル・ディレクトリ
エディタ
2. 数値・数式処理ツール（第5-6週）
コンピュータを利用した計算手法について
MATHEMATICA等を利用した数値数式処理演習
3. 文書整形ツール（第7-9週）
効果的に相手に伝える文書表現手法
LaTeX操作、手法
PostScriptやPDFへのファイル変換
4. プレゼンテーション（第10週）
効果的に相手に伝えるプレゼンテーション手法
5. 発表・討論（第11-12週）
発表、質疑応答
授業総評

【課題】
(1)概要書作成および提出。
(2)研究発表資料作成および提出。
(3)論文作成および提出。
課題作成で利用する情報ツール（ソフトウェア）選択は、特に指定しない。
学生に選択させることが理想。

教科書

参考文献

評価方法

出席、試問および課題（レポート・プレゼンテーション）の評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹4（火4）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上

その他　　%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹5（月1）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	盛川　浩志		

副題

授業概要　本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.情報ツール活用術の習得
研究発表において必要となる「テーマ設定」、「概要書作成」、「研究発表」、「論文作成」という一連の流れを、授業での演習および課題作成を通して体験することで、文書整形・数値計算・プレゼンテーションツール等を「ツール」として活用するための知識・手法（情報ツール活用術）を習得する。

2.情報ツール選択能力の習得
本科目では、授業環境としてのプラットフォームを特定せず、それぞれの学習項目においてさまざまなプラットフォームでの活用方法を学ぶ形式で授業を進める。これによって、プラットフォームに囚われず自身の目的を達成するための情報ツールの活用能力を習得すると同時に、ケースに応じて最適なプラットフォームを自身で選択し、活用できる能力を習得する。

3.文書表現・プレゼンテーション技術の習得
授業では「研究発表」、「論文作成」という演習・課題作成を通して、『効果的に相手に伝える』文書表現技術・プレゼンテーション技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス
1. イントロダクション（第1-4週）
授業の進め方
研究発表の手順
有意義な情報検索手法
さまざまなプラットフォームとその違いを知る
コマンドライン
ファイル・ディレクトリ
エディタ
2. 数値・数式処理ツール（第5-6週）
コンピュータを利用した計算手法について
MATHEMATICA等を利用した数値数式処理演習
3. 文書整形ツール（第7-9週）
効果的に相手に伝える文書表現手法
LaTeX操作、手法
PostScriptやPDFへのファイル変換
4. プレゼンテーション（第10週）
効果的に相手に伝えるプレゼンテーション手法
5. 発表・討論（第11-12週）
発表、質疑応答
授業総評

【課題】
(1)概要書作成および提出。
(2)研究発表資料作成および提出。
(3)論文作成および提出。
課題作成で利用する情報ツール（ソフトウェア）選択は、特に指定しない。
学生に選択させることが理想。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題（レポート・プレゼンテーション）の評価。

備考

関連URL:

試験　%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹5（月1）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上

成績評価方法	**レポート**	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹6（木2）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	河原井　茂義		

副題

授業概要

1.情報ツール活用術の習得
研究発表において必要となる「テーマ設定」、「概要書作成」、「研究発表」、「論文作成」という一連の流れを、授業での演習および課題作成を通して体験することで、文書整形・数値計算・プレゼンテーションツール等を「ツール」として活用するための知識・手法（情報ツール活用術）を習得する。

2.情報ツール選択能力の習得
本科目では、授業環境としてのプラットフォームを特定せず、それぞれの学習項目においてさまざまなプラットフォームでの活用方法を学ぶ形式で授業を進める。これによって、プラットフォームに囚われず自身の目的を達成するための情報ツールの活用能力を習得すると同時に、ケースに応じて最適なプラットフォームを自身で選択し、活用できる能力を習得する。

3.文書表現・プレゼンテーション技術の習得
授業では「研究発表」、「論文作成」という演習・課題作成を通して、『効果的に相手に伝える』文書表現技術・プレゼンテーション技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

1. イントロダクション（第1-4週）
授業の進め方
研究発表の手順
有意義な情報検索手法
さまざまなプラットフォームとその違いを知る
コマンドライン
ファイル・ディレクトリ
エディタ
2. 数値・数式処理ツール（第5-6週）
コンピュータを利用した計算手法について
MATHEMATICA等を利用した数値数式処理演習
3. 文書整形ツール（第7-9週）
効果的に相手に伝える文書表現手法
LaTeX操作、手法
PostScriptやPDFへのファイル変換
4. プレゼンテーション（第10週）
効果的に相手に伝えるプレゼンテーション手法
5. 発表・討論（第11-12週）
発表、質疑応答
授業総評

【課題】
(1)概要書作成および提出。
(2)研究発表資料作成および提出。
(3)論文作成および提出。
課題作成で利用する情報ツール（ソフトウェア）選択は、特に指定しない。
学生に選択させることが理想。

教科書

参考文献

評価方法

出席、試問および課題（レポート・プレゼンテーション）の評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹6（木2）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	1年以上

その他　　%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹7（金4）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	河原井　茂義		

副題

授業概要

1.情報ツール活用術の習得
研究発表において必要となる「テーマ設定」、「概要書作成」、「研究発表」、「論文作成」という一連の流れを、授業での演習および課題作成を通して体験することで、文書整形・数値計算・プレゼンテーションツール等を「ツール」として活用するための知識・手法（情報ツール活用術）を習得する。

2.情報ツール選択能力の習得
本科目では、授業環境としてのプラットフォームを特定せず、それぞれの学習項目においてさまざまなプラットフォームでの活用方法を学ぶ形式で授業を進める。これによって、プラットフォームに囚われず自身の目的を達成するための情報ツールの活用能力を習得すると同時に、ケースに応じて最適なプラットフォームを自身で選択し、活用できる能力を習得する。

3.文書表現・プレゼンテーション技術の習得
授業では「研究発表」、「論文作成」という演習・課題作成を通して、『効果的に相手に伝える』文書表現技術・プレゼンテーション技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

1. イントロダクション（第1-4週）
授業の進め方
研究発表の手順
有意義な情報検索手法
さまざまなプラットフォームとその違いを知る
コマンドライン
ファイル・ディレクトリ
エディタ
2. 数値・数式処理ツール（第5-6週）
コンピュータを利用した計算手法について
MATHEMATICA等を利用した数値数式処理演習
3. 文書整形ツール（第7-9週）
効果的に相手に伝える文書表現手法
LaTeX操作、手法
PostScriptやPDFへのファイル変換
4. プレゼンテーション（第10週）
効果的に相手に伝えるプレゼンテーション手法
5. 発表・討論（第11-12週）
発表、質疑応答
授業総評

【課題】
(1)概要書作成および提出。
(2)研究発表資料作成および提出。
(3)論文作成および提出。
課題作成で利用する情報ツール（ソフトウェア）選択は、特に指定しない。
学生に選択させることが理想。

教科書

参考文献

評価方法

出席、試問および課題（レポート・プレゼンテーション）の評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータリテラシー　基幹7（金4）		
科目キー	2600260001		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上

その他　　%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　基幹1（月5）		
科目キー	2600260002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	河野　泰人		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　基幹2（月4）		
科目キー	2600260002		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	鯉渕　道紘		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　基幹3（月1）		
科目キー	2600260002		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	井上　雅史		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　基幹4（水4）		
科目キー	2600260002		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	神山　司		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 （2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　基幹5（火5）		
科目キー	2600260002		
科目クラスコード	05	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	緑川　博子		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　基幹6（金2）		
科目キー	2600260002		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	荻田　晴美		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング入門　基幹7（金4）		
科目キー	2600260002		
科目クラスコード	07	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	青柳　滋己		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング入門　表現		
科目キー	2600260003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松永　奈美		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

*特に、今年度より「プログラムの流れ」を重視して講義を進める。

授業の到達目標

シラバス　イントロダクション：（第1回）
講義内容およびUNIXの基礎知識

UNIX上での操作・Fortranの概要（第2回）
ウィンドウでのコマンド操作，編集エディタ（Xemacsまたはemacs）の使い方，および，プログラム言語とは何かを理解する

Fortran言語 – プログラムの基礎1（第3回）
プログラムの作り方：出力文，四則演算・整数と実数，書式設定および
流れ図（プログラムの流れ），コンパイル方法や実行方法など

Fortran言語 – プログラムの基礎2（第4回–第5回）
プログラムのデバッグ方法（基本）
繰り返しと判断：DO文，IF文やブロックIF文，ELSE文など

Fortran言語 – プログラムの基礎3（第6回）
関数：組み込み関数，文関数

Fortran言語 – プログラムの基礎4（第7回–第8回）
見やすい出力法・配列：1次元配列，2次元配列など

Fortran言語 – プログラムの応用1（第9回–第10回）
副プログラムの使い方：関数副プログラム，サブルーチンなど

Fortran言語 – プログラムの応用2（第11回–第12回）
応用プログラムなど（簡単なプログラムをゼロから作成する）

教科書　教科書は特に指定しない。

参考文献　参考文献は、随時紹介する。

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考　1）Fortran90をメインとする予定だが、時間があればFORTRAN77との違いについても若干触れる。
2）講義では、特に「プログラムの流れ」を重視する。
3）教科書指定は行わないが、自分に合った参考書を1冊手元に置くことを薦める。

関連URL:

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング入門　表現		
科目キー	2600260003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング入門　電子光		
科目キー	2600260003		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	眞鍋　尚		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング入門　機械・航空		
科目キー	2600260003		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松永　奈美		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

*特に、今年度より「プログラムの流れ」を重視して講義を進める。

授業の到達目標

シラバス　イントロダクション：（第1回）
講義内容およびUNIXの基礎知識

UNIX上での操作・Fortranの概要（第2回）
ウィンドウでのコマンド操作，編集エディタ（Xemacsまたはemacs）の使い方，および，プログラム言語とは何かを理解する

Fortran言語 – プログラムの基礎1（第3回）
プログラムの作り方：出力文，四則演算・整数と実数，書式設定および
流れ図（プログラムの流れ），コンパイル方法や実行方法など

Fortran言語 – プログラムの基礎2（第4回–第5回）
プログラムのデバッグ方法（基本）
繰り返しと判断：DO文，IF文やブロックIF文，ELSE文など

Fortran言語 – プログラムの基礎3（第6回）
関数：組み込み関数，文関数

Fortran言語 – プログラムの基礎4（第7回–第8回）
見やすい出力法・配列：1次元配列，2次元配列など

Fortran言語 – プログラムの応用1（第9回–第10回）
副プログラムの使い方：関数副プログラム，サブルーチンなど

Fortran言語 – プログラムの応用2（第11回–第12回）
応用プログラムなど（簡単なプログラムをゼロから作成する）

教科書　教科書は特に指定しない。

参考文献　参考文献は、随時紹介する。

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考　1）Fortran90をメインとする予定だが、時間があればFORTRAN77との違いについても若干触れる。
2）講義では、特に「プログラムの流れ」を重視する。
3）教科書指定は行わないが、自分に合った参考書を1冊手元に置くことを薦める。

関連URL:

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング入門　機械・航空		
科目キー	2600260003		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング入門　情報理工		
科目キー	2600260003		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松永　奈美		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

*特に、今年度より「プログラムの流れ」を重視して講義を進める。

授業の到達目標

シラバス　イントロダクション：（第1回）
講義内容およびUNIXの基礎知識

UNIX上での操作・Fortranの概要（第2回）
ウィンドウでのコマンド操作，編集エディタ（Xemacsまたはemacs）の使い方，および，プログラム言語とは何かを理解する

Fortran言語 – プログラムの基礎1（第3回）
プログラムの作り方：出力文，四則演算・整数と実数，書式設定および
流れ図（プログラムの流れ），コンパイル方法や実行方法など

Fortran言語 – プログラムの基礎2（第4回–第5回）
プログラムのデバッグ方法（基本）
繰り返しと判断：DO文，IF文やブロックIF文，ELSE文など

Fortran言語 – プログラムの基礎3（第6回）
関数：組み込み関数，文関数

Fortran言語 – プログラムの基礎4（第7回–第8回）
見やすい出力法・配列：1次元配列，2次元配列など

Fortran言語 – プログラムの応用1（第9回–第10回）
副プログラムの使い方：関数副プログラム，サブルーチンなど

Fortran言語 – プログラムの応用2（第11回–第12回）
応用プログラムなど（簡単なプログラムをゼロから作成する）

教科書　教科書は特に指定しない。

参考文献　参考文献は、随時紹介する。

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考　1）Fortran90をメインとする予定だが、時間があればFORTRAN77との違いについても若干触れる。
2）講義では、特に「プログラムの流れ」を重視する。
3）教科書指定は行わないが、自分に合った参考書を1冊手元に置くことを薦める。

関連URL:

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング入門　情報理工		
科目キー	2600260003		
科目クラスコード	04	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Javaプログラミング入門　電子光・表現		
科目キー	2600260004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	丸山　一貴		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Javaプログラミング入門　機械・航空		
科目キー	2600260004		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	鄭　顕志		

副題

授業概要　「簡単なプログラムを読む・書く能力を身につける」ことに重点を置き、専門分野におけるプログラミング技術習得を目指す上での初級科目と位置づける。本科目は、以下3項目の習得を目標として授業を進める。

1.プログラミングを知る
プログラミング・言語の基礎知識を学ぶ。今後自分自身の研究分野において「なぜプログラミングが必要なのか？」を考える。各自の学習目標を明確に意識づける。

2.プログラミング基礎能力の習得
各学習項目において、実際のプログラムを読み、必要に応じて修正する（書く）ことを繰り返すことで、構文を理解できるプログラミング基礎能力を習得する。

3.プログラミング実践力の習得
各学習項目で学んだ内容を踏まえ、活用性の高い事例を選定し実際にプログラムを作成する。演習を通して、データ構造の設計、プログラミング、デバッグというプログラミングの行程を経験し、プログラミング実践力の習得を目指す。

授業の到達目標

シラバス　1. イントロダクション（第1週）
授業の進め方
プログラミング、プログラム言語について
2. プログラムを読む（第2-8週）
プログラムの事例を提示し、そのプログラムがどのような機能を持ったものかを解読する。
変数・標準入出力
条件分岐
繰り返し・配列
関数
ポインタ
構造体等
3. プログラムを書く（第9-10週）
プログラム作成演習
4. プログラムのデバッグ、改良（第11-12週）
『3.プログラムを書く』で作成したプログラムから新たな問題や機能を発見し、改良を加える。
デバッグ方法の理解
授業総評

【課題】
各学習項目に関する演習。（2-3回程度）。

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング　機航・表現		
科目キー	2600260005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	盛川　浩志		

副題

授業概要　実践的なプログラミング演習を多く取り入れ、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。

1.実践的プログラミング技術の習得
「プログラミング入門」で学んだ内容を踏まえて、科学技術計算処理、データの加工等、実践的事例を取り入れ、プログラミング技術の向上を目標とする。

2.プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、作品を完成させる演習を行う。演習を通して、設計・開発・評価というソフトウェア開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング　情報・表現		
科目キー	2600260005		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	蘇　洲		

副題

授業概要　実践的なプログラミング演習を多く取り入れ、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。

1.実践的プログラミング技術の習得
「プログラミング入門」で学んだ内容を踏まえて、科学技術計算処理、データの加工等、実践的事例を取り入れ、プログラミング技術の向上を目標とする。

2.プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、作品を完成させる演習を行う。演習を通して、設計・開発・評価というソフトウェア開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Cプログラミング　電子光		
科目キー	2600260005		
科目クラスコード	06	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	神山　司		

副題

授業概要　実践的なプログラミング演習を多く取り入れ、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。

1.実践的プログラミング技術の習得
「プログラミング入門」で学んだ内容を踏まえて、科学技術計算処理、データの加工等、実践的事例を取り入れ、プログラミング技術の向上を目標とする。

2.プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、作品を完成させる演習を行う。演習を通して、設計・開発・評価というソフトウェア開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング　電子光		
科目キー	2600260006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	眞鍋　尚		

副題

授業概要　実践的なプログラミング演習を多く取り入れ、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。

1.実践的プログラミング技術の習得
「プログラミング入門」で学んだ内容を踏まえて、科学技術計算処理、データの加工等、実践的事例を取り入れ、プログラミング技術の向上を目標とする。

2.プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、作品を完成させる演習を行う。演習を通して、設計・開発・評価というソフトウェア開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング　機械・航空　表現		
科目キー	2600260006		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松永　奈美		

副題

授業概要　実践的なプログラミング演習を多く取り入れ、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。

1.実践的プログラミング技術の習得
「プログラミング入門」で学んだ内容を踏まえて、科学技術計算処理、データの加工等、実践的事例を取り入れ、プログラミング技術の向上を目標とする。

2.プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、作品を完成させる演習を行う。演習を通して、設計・開発・評価というソフトウェア開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	FORTRANプログラミング　情報理工・表現		
科目キー	2600260006		
科目クラスコード	03	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	松永　奈美		

副題

授業概要　実践的なプログラミング演習を多く取り入れ、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。

1.実践的プログラミング技術の習得
「プログラミング入門」で学んだ内容を踏まえて、科学技術計算処理、データの加工等、実践的事例を取り入れ、プログラミング技術の向上を目標とする。

2.プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、作品を完成させる演習を行う。演習を通して、設計・開発・評価というソフトウェア開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Javaプログラミング　機械・航空　表現		
科目キー	2600260007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	石川　冬樹		

副題

授業概要　実践的なプログラミング演習を多く取り入れ、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。

1.実践的プログラミング技術の習得
「プログラミング入門」で学んだ内容を踏まえて、科学技術計算処理、データの加工等、実践的事例を取り入れ、プログラミング技術の向上を目標とする。

2.プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、作品を完成させる演習を行う。演習を通して、設計・開発・評価というソフトウェア開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Javaプログラミング　電子光・表現		
科目キー	2600260007		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	丸山　一貴		

副題

授業概要　実践的なプログラミング演習を多く取り入れ、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。

1.実践的プログラミング技術の習得
「プログラミング入門」で学んだ内容を踏まえて、科学技術計算処理、データの加工等、実践的事例を取り入れ、プログラミング技術の向上を目標とする。

2.プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、作品を完成させる演習を行う。演習を通して、設計・開発・評価というソフトウェア開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　出席、試問および課題評価。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	Cアプリケーションデベロップメント		
科目キー	2600260008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	3年以上
担当教員	尾崎　克久		

副題

授業概要

CG(コンピュータグラフィックス)、アプリケーション開発に関連するプログラミングを目的とした、プログラミング技術習得を目指す上でのアドバンスト科目と位置づける。
本科目は、以下2項目の習得を目標として授業を進める。
1. CG、アプリケーション開発プログラミング技術の習得
「Cプログラミング入門」「Cプログラミング」を通して学んだ内容を踏まえ、OpenGLを使ったCG、アプリケーション開発プログラミングに関する技術を習得する。
CGプログラミングを学ぶにあたって、線形代数および多変数関数の微積分に関するひと通りの知識が要求される。
2. プログラミングにおける総合的知識・技術の習得
本科目では、グループ単位で作品を完成させる演習を行う。この演習を通して、複数のプログラマーによる1つのアプリケーション開発における工程を理解する。
また、設計・開発・評価というアプリケーション開発における一連の工程を実践することで、プログラミングにおける総合的知識・技術を習得する。
なお本科目では、プログラム言語として「C言語」を用いる。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工文化論		
科目キー	2600510001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上
担当教員	田邉　新一		

副題

授業概要　新入生のみなさんにぜひ履修していただきたい授業が「理工文化論」です。20世紀は、人類史上最も「理工文明」の栄えた時代でした。21世紀に人類に課された命題は、その成果をいかに人間に回帰するかにあります。すなわち、21世紀は「理工文明」から「理工文化」への転換の時代であると言っても過言ではありません。各界のオピニオン・リーダーでもある理工教授陣に加えて、学外の著名な科学者・文化人がそれぞれの立場から「理工文化」への熱い思いを語って頂く講義です。早稲田理工でしか聞くことの出来ない講義でもあります。新入生が、今後、理工で学ぶための基礎となって欲しいと願っています。専門分野に留まることなく、自らの視野を広げ、幅広い知識を得たいと考えている意欲ある皆様には必見の授業です。意欲ある学生諸君の積極的な履修を期待しています。総長も出講予定です。早稲田の歴史、伝統も理解できる授業です。

授業の到達目標

シラバス　講義日程予定（08.03.12現在）

4月19日
1限　橋本　周司（理工学術院長）
「理工文化論序説　一夢の実現から夢の創造へ一」
「理工系離れ」といわれて久しいが、科学技術が今日の社会と文化を支えているのは厳然とした事実であり、その重要性は今後も変わることはないだろう。ここでは、ロボットやメディア技術を中心に最近の研究を紹介しながら、新しい科学技術の拡がりとその地平を展望し、理工第2世紀に向けた新しい夢の創造について考える。

2限　岸　輝雄（物質・材料研究機構　理事長）
材料・ナノテクの研究の意味とは？まずはこれを理解するために、我が国の科学技術振興の指針である科学技術基本計画が日本にもたらした功罪を振り返る。キーワードは、サイエンス、イノベーション、法人化である。
　科学技術立国日本において最も大切なのは、それを支える人材である。真にInnovativeな人材とは？どんな状況でつくられるのかにも触れる。
科学技術研究の世界は運・鈍・混である。その中で誰もがキラリと光る、大きく成長する可能性を秘めていることを改めて強調したい。Enjoy Science！

5月10日
1限　河合　素直（基幹理工学部長）
「新しい時代の科学技術の社会とのかかわりを考える」
文明の潮流に科学技術が大きなかかわりをもって久しくなる。そして、科学技術は種々の意味で人類の可能性を大きく広げると同時に、人類の多くの夢を現実のものとし、いわゆる豊かな社会の実現に大きく貢献してきた。
しかしがら、その反動として地球環境問題をはじめとする負の遺産に直面することにもなった。このような時代状況における科学技術の社会とのかかわりを考えることにしたい。

2限　廣瀬　禎彦（コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社
　　代表執行役社長　表現学科 非常勤講師）
「サイエンス、エンジニアリングそしてアート＆エンタテインメント」
20世紀は科学と技術の時代といわれていました。21世紀になって何が変わったでしょうか？変わりつつあるのは科学、技術とアート、エンタテインメントが融合しつつあることであり、そのきっかけはデジタル技術とインタネットです。
デジタル、インタネット技術とアート、エンタテインメントは両極端に存在するように見えます。また事実、これまではその通りでした。しかし、これからはこの両極端に存在するものがお互いに影響し合って新しい文化を生み出していきます。
音楽の世界においてその例を紹介いたします。

5月24日
1限　黒田　一幸（先進理工学部　応用化学科教授）
「資源・エネルギー・環境・医療に貢献する多孔質物質の化学」
ナノメートルサイズの孔を有する物質の化学をやさしく紹介しつつ、資源・エネルギー・環境・医療などへの化学の役割・貢献について述べる。国が推進するプロジェクト（グローバルCOEプログラム）が目指す方向も紹介する。世界は急速に国際化、学際化、業際化が進みつつある。そのような状況の中で、近い将来活躍が期待される諸君が、自らの頭で考える上での材料を提供したい。

2限　甘利　俊一（脳科学総合研究センター　センター長）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工文化論		
科目キー	2600510001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上

「脳、情報、そして数理科学への誘い　−理工系の新しい躍動ー」
脳は自然が生んだすばらしい情報処理装置です。人間では心の機能がここに生まれ、人類の文明が興りました。脳の仕組みはどうなっているのでしょう。コンピュータとはどう違うのでしょう。これを調べるために、生命科学は、脳の物質的な基盤を研究します。しかしその情報の機能を調べるには、数理脳科学が必要です。脳と情報と数理科学の結びつき、これをお話しましょう。

6月7日
1限　石山　敦士（先進理工学部長）
「生体から発する磁気を測る−臨床応用から脳機能解明、そして・・・」
超電導量子干渉素子（SQUID）磁束計の開発により、心筋の活動や人間の脳内の神経活動に伴う非常に微弱な磁界の測定が可能となりました。この素晴らしい技術が心臓や脳などの機能異常の診断や部位の推定、さらに脳や神経系の高次機能の研究に活用されています。また近年、脳磁界や脳波計測技術を用いたBMI（Brain Machine Interface）の研究が話題となっています。生命現象は電気現象である。それでは我々の意識・存在そのものが「生体電気現象」と言えるのであろうか？

2限　丹保　憲仁
　（北海道開拓記念館館長　元北海道大学名誉教授（第15代総長）　工学博士）
「21世紀はどんな時代か　日本と世界の今　」
世界の人口は21世紀初頭の今66億人に達して、歴史上最大の速度で増加している。この地球にはどれだけの人類が住めるのだろうか。先を見れば、地球温暖化、化石エネルギー・鉱物資源（ウラン・稀金属、リン鉱石など）の枯渇、水循環の困難など人類の未来に環境制約が大きく立ちはだかる。世界人口の適切な速度での減少と、長距離大量輸送に支えられてきたここ200年の近代文明を地域に立ち返らせる新文明にどの様に転換していけるかが人類の生存の未来にかかっている。宇宙大航海時代の到来まで今のやり方でいけそうにもない。

6月21日
1限　浅倉　むつ子（法務研究科　教授　早稲田大学男女共同参画室長）
「学術の世界における男女共同参画」
日本では、女性研究者比率は12%弱でしかなく、国際的にみても最低位にあります。2006年の第3期科学技術基本計画は、自然科学系で25%の女性研究者を採用することを目標としていますが、この数値はなかなか改善されません。この講義では、早稲田大学の男女共同参画の実情にもふれながら、男女共同参画が学術の発展にとってどんな意味をもっているのか、みなさんとともに学んでいこうと思います。

2限　白井　克彦（早稲大学総長）
「早稲田大学理工学部の生ひ立ちとこれから」
理工学部は今年2008年に創立100周年の節目を迎える。早大理工学術院は、現在学部、大学院を合わせて約1万人の学生を持つ最大規模の理工系組織である。このような理工学部がどうして生まれ育ってきたか、先輩達の苦労と活躍を少し述べてみたい。そしてこれからの科学技術に寄せられる一層の期待と可能性、早大理工が次の100年で果たそうとする方向について話す。

6月28日
1限　山川　宏（創造理工学部長）
「宇宙への工学の挑戦」
現在、日本から地球観測衛星として「だいち」などが、通信試験技術衛星として「きく8号」などが、また天文衛星として「すざく」などが、月探査衛星として「かぐや(SELENE)」などが打ち上げられて運用されている。これらの衛星は、地上の構造物と異なり、打ち上げ時の衝撃・振動に耐え、かつ宇宙空間では微小重力下で太陽光や放射線に暴露される過酷な環境下に置かれている。
本講義では衛星などの宇宙構造物の特徴の紹介とその設計に係る工学（エンジニアリング）の挑戦のいくつかの話題を提供する。

2限　安井　至（元国連大学副学長　東京大学客員教授）
「温暖化防止の意味と日本の貢献」
　温暖化防止への国際的な取り組みが強化されようとしている。日本は、2050年までに地球レベルでの排出量の半減を提案している。地球温暖化とその抑制の意味するところは、単なる環境問題の枠を100倍も超えたものである。単なる技術の問題ではない。産業にとって、そして個人にとって、その意味は非常に深遠である。西欧文明を追及してきた世界が、方向を変えることかもしれない。
最終的に、地球上で生存する人類というものは何なのか、といった哲学的かつ人類史的な考察までを必要とする問題である。日本は、あるいは、日本人は、一体何をどう考えるべきなのか。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	理工文化論		
科目キー	2600510001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	1年以上

教科書

参考文献

評価方法　毎回の講義の後に、授業の終了までに提出が必要となる小レポートが課されます。これらの成績の総合点で判断されます。遅刻、欠席はマイナス点となります。

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ボランティア		
科目キー	2600510002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	通年	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	柳澤　政生		

副題

授業概要　福祉、災害救援、環境保全、まちづくり、平和維持など、さまざまな場面で、ボランティア活動が大きな役割を果たし始めている現代社会において、理工学部の学生諸君が、ボランティア活動を実践することは、人間として生きていく上でも、科学技術の社会的な意味・影響を理解する上でも、きわめて貴重な経験となることは疑いを入れない。特に、身につけた科学技術を生かす「サイエンス・ボランティア」のあり方を模索することも、大いに奨励したいところである。

以上のようなボランティア活動とそこから得られたものを評価し、正式に単位として認定することを目的として設置された科目であり、学生の積極的な参加を期待する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	代数学序論		
科目キー	2601012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	楫　元		

副題

授業概要　群、環、体 など19世紀から20世紀にあらわれた代数系の基礎概念は、代数学のみならず解析学、幾何学など、他の数学の諸分野に応用されている。それにもかかわらず、上記の概念を初学者が理解し使いこなせるようになるのは易しくない。そのことをふまえて、代数学序論では、上記概念を理解する上での基礎となる集合，写像の概念から解説を始め，その基礎をもとに代数系の解説をする.

授業の到達目標

シラバス

教科書　特に指定しない.

参考文献

評価方法　期末試験，教場試験，レポート，受講態度などから総合的に評価する.

備考

関連URL:　http://pc193097.pc.waseda.ac.jp/
http://pc193097.

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	代数学A		
科目キー	2601012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	橋本　喜一朗	小松　啓一	

副題

授業概要　現代代数学の初歩を講義する。集合と写像に関する基本事項を既知として、集合上の同値関係と類別、商集合の概念について詳述し、自然数の体系から整数の体系、有理数の体系を構成する。また自然数を法とする合同式、有限環、有限体などの初等整数論の基礎を講義し、その一般化・抽象化として、集合上の2項演算の概念の導入、および 群・環・体等の代数系について、応用にも触れつつ解説する。最後に複素数の体系を構成する方法について論じ、代数学の基本定理にも言及する。

授業の到達目標

シラバス

1. 集合と写像の基礎(復習)
2. 同値関係と類別(復習)
3. 初等整数論
4. 2 項演算と結合律
5. 半群, 群の定義と諸例
6. 部分群と剰余類別
7. 群の準同型写像と核, 正規部分群
8. 群の準同型定理
9. 群の直積
10. 対称群と交代群
11. 環の定義と諸例
12. 加法群の自己準同型環
13. 群環と多項式環
14. 可換環の準同型写像
15. 可換環のイデアル, 素イデアルと極大イデアル, 剰余環
16. ユークリッド環, 単項イデアル環(PID)
17. PID 上の加群
18. 体の定義と諸例
19. 体の拡大(代数拡大, 超越拡大)
20. 代数学の基本定理

教科書　後期はプリント配布の予定

参考文献　「代数概論」森田康夫(著), 裳華房

評価方法　出席・平常点・試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	集合と位相		
科目キー	2601012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山崎　昌男		

副題

授業概要　前期はまず集合についての諸演算(和集合・共通部分など)と対応・写像についての諸性質(合成・逆対応など)を学ぶ。ついで集合上の関係(同値関係・順序関係)を学び、さらに集合の濃度、選択公理、ツォルンの補題を学ぶ。

後期は位相について、位相空間と近傍系の定義、連続写像の基本的な性質や分離公理を学習した後、compact な位相空間と連結位相空間およびその上の連続関数がもつ性質を学習する。さらに特別な位相空間としての距離空間において成り立つ諸性質を学習する。

授業の到達目標

シラバス

前期
(1) 集合の概念と相等性
(2) 部分集合、集合族
(3) 和集合、共通部分、差集合
(4) 直積、対応、グラフ
(5) 写像とその性質
(6) 同値関係、商集合
(7) 順序関係
(8) 集合の濃度
(9) 濃度の演算
(10) 選択公理
(11) 整列集合
(12) Zorn の補題

後期
(1) Euclid 空間の位相
(2) 位相空間の定義
(3) 位相の基底と基本近傍系
(4) 連続写像
(5) 部分空間と直積空間
(6) 各種の分離公理
(7) 連結性
(8) compact 性
(9) Tikhonov の定理
(10) 距離空間の位相
(11) 一様性に関わる諸性質
(12) compact 距離空間

教科書　松坂和夫「集合・位相入門」、岩波書店、1968.

参考文献　期末試験、教条中間試験、レポート等による。

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	現代数学演習		
科目キー	2601012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	陸名　雄一 白石　博	大貫　浩二	網谷　泰治

副題

授業概要　現代数学を学ぶにあたって最も基礎となる概念である集合、写像について演習を行なう。具体的には、論理の基礎（命題、否定、論理積、論理和、条件命題、逆・対偶・裏、同値）から始めて、集合の諸概念（集合、元、部分集合、和集合・共通部分、ベキ集合、補集合、直積集合）、写像の諸概念（写像、定義域、値域、グラフ、合成写像、直積写像、像、逆像、単射、全射、全単射、逆写像）について演習を行う。さらに、関係や濃度の諸概念についても演習を行なう。

授業の到達目標

シラバス

教科書　『集合・位相入門』松阪和夫著（岩波書店）

参考文献

評価方法　出席と平常点（演習の発表など）

備考　演習は4つのクラスに分かれて行います.
クラス分けと各クラスの指導教員，教室については掲示板等で連絡しますので，
見逃すことのないように気をつけてください.
後期の第1回目の授業において，
各自対応するクラスに行き指導教員の指導を受けてください.

この科目は演習科目です.
各自しっかり予習してくることが前提です.

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ベクトル空間と幾何		
科目キー	2601012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	郡　敏昭		

副題

授業概要　前期は行列の対角化とジョルダン標準形について学び、後期はベクトル空間の双対空間、テンソル積、交代テンソルなどについて学ぶ。また、幾何の入門的なトピックについてもふれる。具体的には、線型変換の固有値、固有ベクトル、複素内積空間と正規変換、最小多項式と半単純な線型変換、一般固有空間、ジョルダン標準形、ジョルダン標準形と線型微分方程式、双対空間、商線型空間、テンソル積、交代テンソルと行列式、及び幾何のいくつかのトピックスを学んでいく。

授業の到達目標

シラバス　(1)固有値, 固有ベクトル, 対角化
(2)最小多項式
(3)一般固有空間
(4)ジョルダン標準形
(5)ジョルダン標準形の計算法
(6)正規行列の標準形
(7)二次形式
(8)双対空間, 直交空間, 商空間
(9)テンソル積
(10)交代テンソル, 対称テンソル

教科書

参考文献　佐武一郎:線形代数、裳華房

評価方法　試験

備考　ベクトル空間の概念は一見わかりやすすぎるが実は
むつかしいので、安易にわかった気分になるのをいましめて、つねに定義にしたがってきちんと整理・理解するように。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	多変数解析		
科目キー	2601012006		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	田中　和永		

副題

授業概要　1年次における微分積分学（数学B）の発展として多変数解析学について講義する。内容としては陰関数定理、逆写像定理、そしてこれらの応用として、条件付き極値問題さらにベクトル解析の基礎的な事項（Green の定理、Stokes の定理等）およびその応用を扱う。これらの内容は微分幾何における多様体の定義の基礎づけを与え、さらに流体力学を理解するために欠くことのできないものである等、解析学のみならず種々な数学、応用数学にとっても必要不可欠なものである。

授業の到達目標

シラバス

教科書　鈴木, 山田, 柴田, 田中著, 微分積分 II, 内田老鶴圃

参考文献　授業の際に紹介する.

評価方法　1. 定期試験, 教場試験
2. report

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	解析学入門		
科目キー	2601012007		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	西田　孝明		

副題

授業概要　1年次に学んだ微分積分学（数学B）の発展として、関数列の収束と常微分方程式、偏微分方程式の入門について講義する。 内容としては関数列の一様収束について述べ、特にその応用をめざす。 また常微分方程式については求積法および2階線形微分方程式を中心に扱い、応用上重要な役割をはたす微分方程式の扱いを習熟させる。
さらに偏微分方程式論において広い応用をもつ Fourier 級数についても述べ、Hilbert 空間等を簡単に導入し微分方程式の現代的扱いに触れる。

授業の到達目標

シラバス　1。関数の連続性、微分、積分。$\varepsilon-\delta$ 法の理解。

2。関数列の収束とその応用
(1) 関数列の種々な収束
(2) 一様収束と極限の交換
(3) 関数空間の完備性

3。常微分方程式の基礎
(1) 常微分方程式とその解
(2) 初等的な求積法、定数変化法
(3) 解の存在と一意性
(4) 解の初期値およびパラメータについての連続依存性
(5) 2階線形微分方程式の境界値問題
(6) 力学系入門

4。Fourier 級数入門
(1) 熱方程式、波動方程式、Laplace 方程式
(2) Fourier の方法
(3) Fourier 級数
(4) Fourier 級数の収束

教科書

参考文献　入江 昭二 他著: 微分積分(上・下)、 内田老鶴圃
入江 昭二、垣田高夫著: フーリエの方法、内田老鶴圃
溝畑茂著　数学解析学(上・下)、朝倉書店

評価方法　定期試験・教場試験・平常点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ベクトル空間と幾何		
科目キー	2602012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	郡　敏昭		

副題

授業概要　前期は行列の対角化とジョルダン標準形について学び、後期はベクトル空間の双対空間、テンソル積、交代テンソルなどについて学ぶ。また、幾何の入門的なトピックについてもふれる。具体的には、線型変換の固有値、固有ベクトル、複素内積空間と正規変換、最小多項式と半単純な線型変換、一般固有空間、ジョルダン標準形、ジョルダン標準形と線型微分方程式、双対空間、商線型空間、テンソル積、交代テンソルと行列式、及び幾何のいくつかのトピックスを学んでいく。

授業の到達目標

シラバス　(1)固有値, 固有ベクトル, 対角化
(2)最小多項式
(3)一般固有空間
(4)ジョルダン標準形
(5)ジョルダン標準形の計算法
(6)正規行列の標準形
(7)二次形式
(8)双対空間, 直交空間, 商空間
(9)テンソル積
(10)交代テンソル, 対称テンソル

教科書

参考文献　佐武一郎:線形代数、裳華房

評価方法　試験

備考　ベクトル空間の概念は一見わかりやすすぎるが実は
むつかしいので、安易にわかった気分になるのをいましめて、つねに定義にしたがってきちんと整理・理解するように。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	多変数解析		
科目キー	2602012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	田中　和永		

副題

授業概要　1年次における微分積分学（数学B）の発展として多変数解析学について講義する。内容としては陰関数定理、逆写像定理、そしてこれらの応用として、条件付き極値問題さらにベクトル解析の基礎的な事項（Green の定理、Stokes の定理等）およびその応用を扱う。これらの内容は微分幾何における多様体の定義の基礎づけを与え、さらに流体力学を理解するために欠くことのできないものである等、解析学のみならず種々な数学、応用数学にとっても必要不可欠なものである。

授業の到達目標

シラバス

教科書　鈴木, 山田, 柴田, 田中著, 微分積分 II, 内田老鶴圃

参考文献　授業の際に紹介する.

評価方法　1. 定期試験, 教場試験
2. report

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	集合と位相		
科目キー	2602012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山崎　昌男		

副題

授業概要　前期はまず集合についての諸演算(和集合・共通部分など)と対応・写像についての諸性質(合成・逆対応など)を学ぶ。ついで集合上の関係(同値関係・順序関係)を学び、さらに集合の濃度、選択公理、ツォルンの補題を学ぶ。

後期は位相について、位相空間と近傍系の定義、連続写像の基本的な性質や分離公理を学習した後、compact な位相空間と連結位相空間およびその上の連続関数がもつ性質を学習する。さらに特別な位相空間としての距離空間において成り立つ諸性質を学習する。

授業の到達目標

シラバス　前期
(1) 集合の概念と相等性
(2) 部分集合、集合族
(3) 和集合、共通部分、差集合
(4) 直積、対応、グラフ
(5) 写像とその性質
(6) 同値関係、商集合
(7) 順序関係
(8) 集合の濃度
(9) 濃度の演算
(10) 選択公理
(11) 整列集合
(12) Zorn の補題
後期
(1) Euclid 空間の位相
(2) 位相空間の定義
(3) 位相の基底と基本近傍系
(4) 連続写像
(5) 部分空間と直積空間
(6) 各種の分離公理
(7) 連結性
(8) compact 性
(9) Tikhonov の定理
(10) 距離空間の位相
(11) 一様性に関わる諸性質
(12) compact 距離空間

教科書　松坂和夫「集合・位相入門」、岩波書店、1968.

参考文献　期末試験、教条中間試験、レポート等による。

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数理モデル基礎A		
科目キー	2602012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	高橋　大輔		

副題

授業概要　自然現象を記述する微分方程式について、現象からどのようにして方程式が導かれるか、得られた方程式をどのようにして解くかの2つの主要テーマについて解説する。登場する現象は、増殖、減衰振動、拡散現象、連成振動子、生存競争、電気回路、膜の振動などであり、各現象毎に物理的な背景と基本法則を説明し、方程式を導出した後に解の解析を行う。またこれらを解析するための数学としては、常微分方程式、複素関数の初歩、線形偏微分方程式、フーリエ級数、特殊関数の初歩などである。

授業の到達目標

シラバス

教科書　なし

参考文献　望月・トルシン「数理物理の微分方程式」培風館
寺沢寛一「自然科学者のための　数学概論」岩波書店

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	プログラミング基礎		
科目キー	2602012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	柏木　雅英		

副題

授業概要　計算機の活用は、現代の応用数学において重要な位置を占める。本講義では、計算機を自在に活用できるようになるためのプログラミング技術の基礎を学習する。プログラミング言語としてはC言語とJavaを用い、C言語ではハードウェアに近い部分で計算機のアーキテクチャを実感してもらい、Java言語ではオブジェクト指向等の現代的なプログラミング作法を学ぶ。演習を通じて、実践的な力を付けることを重視する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	数理モデル基礎B		
科目キー	2602022001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	米田　元		

副題　ベクトル解析の基礎・演習・応用

授業概要　微分積分および線形代数を道具として，自然現象を記述する方法を紹介する．ベクトル解析の基礎を学び，計算練習を積んで道具として使えるようにする．極座標の扱いにも慣れる．これらをベースにして，マクスウェルの方程式，ポテンシャル，波動方程式などを通して現象を記述する応用を学ぶ．

授業の到達目標

シラバス
1 内積と外積
2 座標と場
3 線積分
4 面積分
5 体積分
6 場の微分演算(2次元)
7 場の微分演算(3次元)
8 積分公式

教科書　小林亮・高橋大輔共著『ベクトル解析入門』東京大学出版会

参考文献

評価方法　試験と平常点

備考

関連URL:　http://www.f.waseda.jp/yoneda/mmb/

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	プログラミング　1班		
科目キー	2603012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	甲藤　二郎	鷲崎　弘宜	菅原　俊治

副題

授業概要　プログラミングの基礎を実習も交えて学習する．プログラミング経験に応じてクラス分けを行い，規模をおさえレベルを揃えての実習が随時に可能な体制を組み，TAも配置して実習を効果的に実施する．プログラミング言語としては，Javaを用いる．プログラミングにおける，問題解決，アルゴリズム，データ構造，デバッグ，性能実測などの位置付けを学ばせ，プログラミング言語のデータ，制御，抽象などの基本的な枠組みを学ばせる．

授業の到達目標

シラバス

【Java言語プログラミングレッスン(上)】
1．講義概要、Javaとは、計算、変数と型
2．条件分岐、繰り返し、メソッド
3．配列、上巻のまとめ

【Java言語プログラミングレッスン(下)】
4．オブジェクト指向とは、クラス、オブジェクト、属性
5．継承、インタフェース、例外処理
6．ガーベッジコレクション、デバグ
7．プログラミング演習(I)
8．GUI、コレクション
9．マルチスレッド
10．ファイル入出力、ネットワーク
11．プログラミング演習(II)

教科書　Java言語プログラミングレッスン(上)(下)

参考文献

評価方法　出席、課題評価、定期試験

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	プログラミング　2班		
科目キー	2603012001		
科目クラスコード	02	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	甲藤　二郎	鷲崎　弘宜	菅原　俊治

副題

授業概要　プログラミングの基礎を実習も交えて学習する．プログラミング経験に応じてクラス分けを行い，規模をおさえレベルを揃えての実習が随時に可能な体制を組み，TAも配置して実習を効果的に実施する．プログラミング言語としては，Javaを用いる．プログラミングにおける，問題解決，アルゴリズム，データ構造，デバッグ，性能実測などの位置付けを学ばせ，プログラミング言語のデータ，制御，抽象などの基本的な枠組みを学ばせる．

授業の到達目標

シラバス

【Java言語プログラミングレッスン(上)】
1．講義概要、Javaとは、計算、変数と型
2．条件分岐、繰り返し、メソッド
3．配列、上巻のまとめ

【Java言語プログラミングレッスン(下)】
4．オブジェクト指向とは
5．クラスとインスタンス
6．スーパークラスとサブクラス
7．例外、インタフェース
8．ガーベッジコレクション、パッケージ
9．マルチスレッド
10．コレクション、ファイル入出力
11．アプリケーション実装

教科書　Java言語プログラミングレッスン(上)(下)

参考文献

評価方法　出席、課題評価、定期試験

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	情報数学		
科目キー	2603012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	後藤　滋樹	小林　聡	

副題

授業概要　コンピュータが行う「計算」を数学モデルとして提示する。その性質を学ぶ。具体的には計算機のモデルとして、順序機械、オートマトン、チューリングマシンが登場する。さらに形式言語の理論を紹介する。この授業の内容はコンピュータ・サイエンスの基礎をなすものである。さらに論理学の初歩を紹介する。電子回路の論理回路と、公理と推論規則を使って数学的な証明を行うことは、どのような関係があるのか。命題論理と術語論理とは何か、という事柄を明らかにする。2名の教員が分担して授業を行う。

授業の到達目標

シラバス

オートマトンと言語理論
1. 順序機械
2. 有限オートマトン
3. 正則表現
4. 正則文法
5. 文脈自由文法
6. 句構造文法
7. チューリング機械
8. 万能チューリング機械
9. 決定不能性

論理学入門
1. ブール代数と命題論理
2. 述語論理とヤヨ
3. 完全性と不完全性

(注:授業回数と上の項番とは必ずしも一致しない)

教科書

オートマトンと言語理論の教科書を指定する。
富田悦次・横森貴「オートマトン・言語理論」森北出版, 1992.
ISBN-10: 4627805500, ISBN-13: 978-4627805507

論理学入門の教材は授業中に投影するスライドである。そのファイルの所在は授業中に明示する。

参考文献

評価方法　定期試験による。なお授業の途中でレポートの提出を求める予定。

備考　情報理工学科の「情報数学」(2単位)をコンピュータ・ネットワーク工学科または情報学科の再履修科目「情報数学」(3単位)として再履修する諸君は、それぞれの再履修科目「情報数学」(3単位)のシラバスを必ず参照して、再履修に関する備考を熟読しておくこと。

関連URL:　オートマトンと言語理論に関しては次のURLに関連する情報を掲示する。
http://comp.cs

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	回路理論		
科目キー	2603012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大附　辰夫	西　哲生	

副題

授業概要　電子回路の設計、解析をはじめ種々のモデルの構築には電気回路を理解することが極めて重要である。まず、線形な電気回路の定常特性について系統的に学ぶ。すなわち、回路の素子、直流回路から交流回路へと進み、二端子対回路の各種パラメータを扱う。つぎに、線形回路の過渡現象解析について学ぶ。集中定数のみならず、分布定数回路までを扱う。解析手法はラプラス変換に基づく演算子法を前提とするが、基本的公式の厳密な証明は省略して、回路の解析におけるそれらの使い方に重点を置く。2名の教員が各々全15コマを担当する。

授業の到達目標

シラバス

第1章　電気回路の基礎
1.1 電気回路の素子
1.2 電圧源と電流源
1.3 キルヒホフの法則
1.4 直流回路
1.5 正弦波交流の電圧/電流/電力

第2章　回路の定常状態と過渡現象
2.1 直流電源の印加と除去
2.2 時定数
2.3 正弦波交流を印加した場合の定常解と過渡解

第3章　交流回路の複素計算法
3.1 正弦波の複素表示
3.2 電圧，電流の複素表示
3.3 インピーダンスとアドミタンス
3.4 イミタンスとベクトル図
3.5 電力の複素表示
3.6 交流ブリッジ

第4章　回路の一般的解析
4.1 回路の節点と閉路
4.2 閉路方程式
4.3 節点方程式
4.4 二端子対回路パラメータ
4.5 可逆(相反)定理

第5章　回路の過渡現象解析
5.1 ラプラス変換の概要
5.2 ステップ関数とインパルス関数
5.3 演算子(s関数)の四則演算
5.4 CとLの初期条件
5.5 基本的なt関数の演算子表現
5.6 部分分数展開
5.7 RC回路，RL回路の過渡現象
5.8 二次RLC回路の過渡現象

第6章　分布定数回路
6.1 基礎方程式
6.2 特性インピーダンスと伝搬定数
6.3 無ひずみ(無損失)線路
6.4 RC線路

教科書　柳沢健，「回路理論基礎」，電気学会，オーム社
大附辰夫，「過渡回路解析」，電気学会，オーム社

参考文献

評価方法　主として、期末の定期試験に基づく。レポートおよび出席状況も参考にする。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	回路理論		
科目キー	2603012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	論理回路		
科目キー	2603012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	柳澤　政生	新井　浩志	

副題

授業概要　ディジタル電子回路の基本として、状態遷移図から論理回路を設計する一連の手法を習得する。そのために、ブール代数、論理式表現方法、論理式の簡単化手法、基本論理回路素子（演算器を含む）の構成と動作を理解することからはじめ、組み合わせ論理回路、順序回路、レジスタ回路等の具体的な回路構造を理解し、情報システムの基本的なハードウェア構造を理解した上で、ハードウェアのアーキテクチャ設計の基礎を習得する。

授業の到達目標

シラバス

(1)デジタル回路概要とその応用（イントロダクション）
- デジタル回路とは？
- デジタル回路の利点
- デジタル回路の応用例

(2)デジタル回路での数の表現
- 2進数と基数変換
- 補数、符号付、符号なし2進数
- 浮動小数点、ASCIIコード

(3)ブール代数と論理演算
- ブール代数と論理関係の表し方
- 論理ゲート、基本ゲート回路、多入力ゲート
- 加法標準形, 乗法標準形
- 論理の簡単化

(4)組合せ論理回路
- デコーダ、エンコーダ
- マルチプレクサ、デマルチプレクサ
- 一致比較器
- 組合せ論理回路の設計手順

(5)順序論理回路1
- ラッチ,フリップフロップ
- ステートマシン
- 順序回路と設計手順

(6)順序論理回路2
- クロック同期回路、非同期回路
- 状態遷移図、状態遷移表と設計手順

(7)レジスタとカウンタ回路
- レジスタ、シフトレジスタ
- 非同期カウンタ、同期カウンタ

(8)2進加減算回路
- 半加算器、全加算器
- 並列加算器
- 減算器
- ALU

(9)2進乗算回路
- 乗算アルゴリズム
- 繰り返し乗算器
- 並列乗算器

(10)メモリー回路
- RAM (Random Access Memory)
  - SRAM, DRAM
- ROM (Read Only Memory)
  - マスクROM, PLA, PLD, SPLD, CPLD

(11)デジタル回路設計の実際（設計手法）
- 論理設計
- 機能記述と論理検証
- 論理合成と配置配線

教科書

参考文献

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	論理回路		
科目キー	2603012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上

評価方法　出席、小テスト、レポート、期末試験

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータシステム論　1班		
科目キー	2603012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村岡　洋一		

副題

授業概要　計算機分野の導入として、計算機システムの主要構成要素、すなわち、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなどの概要について講じる。ハードウェアでは、プロセッサ、メモリ、入出力装置、ソフトウェアでは、プログラミング言語、オペレーティングシステム、コンパイラ、ネットワークではLAN、広域ネットワークのトポロジ、プロトコル、並びにPC・WSクラスタ、Grid等の最新ネットワークシステムの動向についても幅広く紹介する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータシステム論　2班		
科目キー	2603012005		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村岡　洋一		

副題

授業概要　計算機分野の導入として，計算機システムの主要構成要素，すなわち，コンピュータのハードウェア，ソフトウェア，ネットワークなどの概要について講じる．ハードウェアでは，プロセッサ，メモリ，入出力装置，ソフトウェアでは，プログラミング言語，オペレーティングシステム，コンパイラ，ネットワークではLAN，広域ネットワークのトポロジ，プロトコル，並びにPC・WSクラスタ，Grid等の最新ネットワークシステムの動向についても幅広く紹介する．

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	情報ネットワーク		
科目キー	2603012006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	後藤　滋樹	菅原　俊治	

副題

授業概要　計算機ネットワークを構築する際に必要となる基本的な技術について学習する。
具体的なネットワークの事例としてインターネットを取り上げる。インターネッ
トの急速な普及により、社会における情報ネットワークの重要性が増している。
インターネットは、あらゆる知的活動を行うためのツールとして定着しつつあ
るが、本学科の学生としては、計算機ネットワークに関連する技術を駆使し、
各種ツールや分散コンピューティングの原理を会得する必要がある。本講義で
は、その基本となるインターネットの仕組みを理解することに焦点を当てる。

授業の到達目標

シラバス　（菅原俊治）
・プロトコルとOSI参照モデル
・データリンク層(主にイーサーネット)
・Internet Protocol (IP/ICMP)
・トランスポート層プロトコルUDP/TCP
・経路制御とルーティングプロトコル
（後藤滋樹）
・インターネットの歴史と変遷
・インターネットのアプリケーション
・超高速ネットワークの限界
・ネットワークの管理と運用

講義の順序を示すものではありません。詳細については、備考にあるページを参照してください。

教科書　竹下・村山・荒井・苅田「マスタリングTCP/IP入門編・第4版」オーム社 ISBN4-274-06453-0.

参考文献　後藤滋樹, 外山勝保「インターネット工学」コロナ社, 2007.
ISBN978-4-339-01840-0

評価方法　定期試験・(定期試験を実施予定ですが、学期中に小テストを実施するかレポートの提出を求める場合があります。)

備考　本科目のスケジュールは下記のURLを参照してください。

http://www.goto.info.waseda.ac.jp/~goto/infonet.html

スケジュール以外の講義に関する情報も載せてあります。

関連URL:　http://www.goto.info.waseda.ac.jp/~goto/infonet.ht

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	アルゴリズムとデータ構造　1班		
科目キー	2603012007		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	４時限～５時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	戸川　望		

副題

授業概要　アルゴリズムとデータ構造についての基本的なことがらを学習する。探索、整列などを題材として、具体的なアルゴリズムとそこで 使われるデータ構造（スタック，ヒープ，リスト構造等）とを、C言語を使っての実習を行ないながら理解していく。合わせて、計算量の概念を修得させることを目的とする。

授業の到達目標

シラバス　講義内容・教材等の表示は，Course N@viを使用する。常時、内容をチェックしておくこと。

教科書　教科書：R.セジウィック，アルゴリズムC・新版―基礎・データ構造・整列・探索，近代科学社，2004.
参考書：R.Sedgewick, Algorithms in C (part 1-5), third edition, Addison-Wesley

参考文献

評価方法　定期試験・教場試験・レポート（作品を含む）・平常点

備考　【履修方法】
ネットワーク対応の2教室を使い、クラス分けし、講義と実習とを随時切り替えながら行う。受講生は、ノートPCを持参すること。ノートPCの設定については、第1回目の講義で指示がある。
【クラス分け】
クラスは分けは、学籍番号によって機械的に行う。指示されたクラスで受講すること。

【担当教員連絡先等】
戸川望(ntogawa@waseda.jp)

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	アルゴリズムとデータ構造　2班		
科目キー	2603012007		
科目クラスコード	02	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	４時限～５時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	筧　捷彦		

副題

授業概要　アルゴリズムとデータ構造についての基本的なことがらを学習する。探索、整列などを題材として、具体的なアルゴリズムとそこで 使われるデータ構造（スタック、ヒープ、リスト構造等）とを、C言語を使っての実習を行ないながら理解していく。合わせて、計算量の概念を修得させることを目的とする。クラス分けを行って講義を行う。2名の教員が各々全15コマを担当する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	電子回路		
科目キー	2603012008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山名　早人		

副題

授業概要　集積回路の基本ユニットとなるダイオード，バイポーラトランジスタ，電界効果トランジスタなどの半導体デバイスの構造，動作原理と等価回路について述べ，これを基にLSI設計に用いられている回路シミュレーションのデバイスモデルとの結び付きを解説する．つぎに，トランジスタなどの能動素子を含んだ回路で，素子が線形な動作をしている場合を扱う．アナログ回路では，増幅および発振の理論と具体的な回路例を示しそれらの動作を解析する．また，パルス回路では，回路のパルス応答，能動素子のスイッチング動作とともに応用回路について解説する．

授業の到達目標

シラバス
1回目　講義概要説明
2回目　アナログ電子回路の基礎
3回目　トランジスタとその動作1
4回目　トランジスタとその動作2
5回目　トランジスタとその動作3
6回目　小信号増幅回路1
7回目　小信号増幅回路2
8回目　オペアンプ1
9回目　オペアンプ2
10回目　負帰還回路と発信回路
11回目　AD/DA変換回路

教科書　電子回路基礎（根岸,中根,高田共著, コロナ社, ISBN4-339-00690-4）

参考文献　わかりやすい電子回路（篠田監修,和泉編著, コロナ社, ISBN4-339-00781-1）
よくわかるアナログ電子回路　杉本泰博著（オーム社）

評価方法　平常点・レポート点（25点）＋定期試験（75点）で評価する。
2／3以上出席がない場合は、自動的にFとなる。公欠に相当する場合は、必ず学部の指定様式にて先生に欠席届を提出のこと。

備考

関連URL:　http://www.yama.info.waseda.ac.jp/~yamana/CLASSES/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	情報理工学実験A　1班		
科目キー	2603012009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	富永　英義	戸川　望	大附　辰夫
	入江　克	村岡　洋一	筧　捷彦
	笠原　博徳	深澤　良彰	小松　尚久
	高畑　文雄	山名　早人	上田　和紀

副題

授業概要　講義を通して今まで学んできた，論理回路，回路理論，電子回路，情報ネットワーク，プログラミングなどの電子工学，情報学および情報通信学の基礎的な項目に関する知識を実験によって修得する．あわせて，実験機器の取り扱い方法をはじめとする基本的な実験技術，報告書作成の能力を養成することを目的とする．[実験項目名]マイクロコンピュータI・マイクロコンピュータII・フィルタI・フィルタII・信号処理とフーリエ解析I・信号処理とフーリエ解析II・ソフトウェア制作．各教員が1実験を担当．

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	情報理工学実験A　2班		
科目キー	2603012009		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	富永　英義	戸川　望	大附　辰夫
	入江　克	村岡　洋一	筧　捷彦
	笠原　博徳	深澤　良彰	小松　尚久
	高畑　文雄	山名　早人	上田　和紀

副題

授業概要

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ITと政策（BPMの視点）		
科目キー	2603032001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	村岡　洋一	荒井　広幸	

副題

授業概要　本講座は参議院議員で本学客員教授も努めた荒井広幸さんの全学部生のための講座です。「ITと政策（BPMの視点）」をテーマに政治、行政、ビジネス等のあらゆる分野から幅広く考察し、学生ひとりひとりがITを活用したビジネスモデルや政策を発想する力を養うことを目的としています。荒井さん本人による講義を基本とし、さらに数回、実業家、弁護士、官僚等その分野の第一線で活躍している方々を招待特別講師として招き、ビジネスや行政の現場で実際にどのようにITが活用されているのか講義してもらいます。レポート発表は就職の面接を意識し（プレッシャー等あるものではなく）全員から好評かつためになると評判でした。理工学部設置科目ですが、ITを活用したビジネスや政治などに興味のある文系学部の学生も積極的に受講することをお勧めします。また、講義以外にも、希望者で国会見学やコンパ等も行われました。
（社学2年　竹内裕基　談）

授業の到達目標

シラバス　【一昨年度受講生の感想】

すべての学部生へ

私は早稲田大学社会科学部の古澤隼です。一昨年度「ITと政策」の講義を受講していました。今やITの技術というのは日常生活に必要不可欠なものです。それは、皆さんがこのシラバスをインターネットからご覧になっていることからも納得いただけると思います。講師を務めるのは、新党日本の幹事長であり、テレビでもよく活躍している参議院議員の荒井広幸先生です。様々なことがIT化されることによって効率化されるようになってきた現代ですが、必ずしもそういった技術の進歩が人間の幸福に貢献しているとは言いきれません。ITという技術を、「どのように活用するか」といったことが問われるようになってきているのです。政治の世界の第一線で活躍される荒井先生が繰り広げるITと政治の関わりについての講義は、今後の日本、世界のあり方を考える上で必ず役立つものとなるでしょう。理系の方はもちろん、文系の方にもぜひ履修していただきたい講義です。講義はパワーポイントを用いて行われ、先生のユーモア溢れる語り口には睡魔も襲ってくることはありません。企業人や官僚としてITの世界で活躍されている方がゲストとしてお話してくれることもあります。昨年度は先生の引率で国会見学なども行われました。本講義は私の三年間の大学生活の中でも最も楽しく、役に立つものでした。文系の方も理系の方も、履修しておいて絶対に損はないと思います。荒井先生についてはこちらのホームページをご覧ください。（http://arai-tv.jp/）
【授業計画】
・BPM(Business Process Management)について
・電子自治体と住民意識
・サイバー国連創設について
・ITによる公共事業入札
・セキュリティの必要性等
・環境からみたIT
・CSR（企業の社会的責任）とIT政策及び環境政策

【授業形態】
1，全学部生に共通する（聞きたい）内容を講義
2，パワーポイント使用でビジュアルな講義
3，関係者が証言したり、意見を述べたりするゲストスピーカー方式を登用

教科書　特に無し

参考文献　改革ってそういうことじゃないんじゃないか会議　荒井広幸著　情報センター出版局

評価方法　政策提言方式（レポート）
平常点

備考　お互いに感動ある創造的授業をしましょう。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ITと政策（BPMの視点）		
科目キー	2603032001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	2年以上

評価方法
（2010年度以前）

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	確率・統計概論		
科目キー	2603032002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	鈴木　武		

副題　数理統計入門

授業概要　前半では、確率、確率変数、確率分布について、様々な具体例を挙げながら説明し、後半では、データからの情報抽出としての推測統計の基本的な事柄を述べる。統計モデルに含まれる未知母数の推測（推定や検定）の代表的な方法およびそれらの理論的根拠などについて講義する。時間があれば最近のトピックにも触れる。

授業の到達目標

シラバス

1. 確率空間、
2. 確率変数と確率分布
3. 多次元確率変数
4. 独立性
5. 期待値、特性関数
6. 条件付分布
7. 確率変数列の収束および極限定理
8. 十分統計量
9. 不偏推定量
10. 有効推定量
11. 区間推定
12. 最強力検定
13. 尤度比検定
14. 線形モデル
15. トピックス

教科書　鈴木武・山田作太郎　共著：数理統計学ー基礎から学ぶデータ解析.　内田老鶴圃

参考文献

評価方法　定期試験、レポート、出席

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	情報系の生命学		
科目キー	2603032004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	福田　賢一郎		

副題

授業概要　バイオインフォマティクスとは、進化や細胞機能のような自然現象に共通する情報構造を通して、生命現象のメカニズムを説き明かそうとする学問である。本講義では、情報系の学生がバイオインフォマティクス分野を学習するにあたり、基礎となる生命科学の基礎知識の習得を目標とする。講義では、生命現象を大きな3つのレベルである「配列」「構造」「システム」に分けて解説する。配列から構造では、DNAとRNAからアミノ酸、アミノ酸からタンパク質への構造を学習すると共に、構造からシステムでは、ゲノム構造から細胞のライフサイクルまでを学習する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	機械科学と航空宇宙技術		
科目キー	2604012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	本村　貢 戸田　勧	橋詰　匠 佐藤　哲也	太田　有

副題

授業概要　機械科学の基礎科目および関連する工学、理学を統合する1つの典型分野として、航空宇宙技術がある。このような立場から各教員の専門分野のテーマを取り上げ、専門教育の導入と学習の動機付けを図り、あわせて航空宇宙技術の将来を展望する。

授業の到達目標

シラバス
1. ダヴィンチとライト兄弟
2. 全金属機の出現からA380まで
3. 飛行原理と機械科学
4. SSTと航空将来展望
5. 航空機ジェットエンジン
6. 制御技術と無人機（UAV）
7. 航空宇宙材料と加工技術
8. チオコフスキーからOrionまで
9. 使い切りロケット
10. 将来宇宙輸送系
11. 衛星開発とはやぶさ
12. 宇宙開発不具合に学ぶ
13. 宇宙環境問題

教科書

参考文献

評価方法　出席点とレポート

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	工学系の数理1		
科目キー	2604012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山本　勝弘	吉村　浩明	

副題

授業概要　複素解析の基本事項を工学問題の応用に留意して解説する。複素数と複素関数、複素関数の極限・連続性・微分可能性、等角写像とその流体力学・熱力学・弾性学への応用、複素積分とコーシーの定理、正則関数の級数展開、特異点とローラン展開、留数定理と定積分への応用、積分変換と線形系の振動解析など。講義内容の理解のため適宜演習問題を課する。

授業の到達目標

シラバス

第1章 複素数
1.1 複素数とその演算
1.2 複素数の無限遠点
1.3 オイラーの公式と三角関数，指数関数
第2章 複素関数
2.1 複素数の関数
2.2 関数の極限値と連続性
2.3 微分可能性と正則関数
2.4 初頭関数の導関数
2.5 逆関数
第3章 等角写像とその初歩的な応用
3.1 正則関数による写像の性質
3.2 簡単な応用例
第4章 複素積分とコーシーの積分定理
4.1 複素積分
4.2 コーシーの積分定理
4.3 コーシーの積分公式
第5章 正則関数の整級数表示
5.1 正則関数と整級数
5.2 関数項級数の収束条件，正則性
5.3 整級数と正則関数のテーラー展開
第6章 特異点とローラン展開，留数定理
6.1 特異点とローラン展開
6.2 留数定理による実関数の定積分
第7章 積分変換による線形系の振動解析
7.1 デルタ関数
7.2 ラプラス変換による過渡現象解析
7.3 フーリエ変換による定常振動解析

教科書

参考文献

評価方法　授業中に提示する小テスト，レポート，および期末試験により総合的に評価する.

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	材料の力学1		
科目キー	2604012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	5時限～6時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	川田　宏之 北野　誠	浅川　基男	川口　清

副題

授業概要　機械を構成する部材の変形と強度に関連する静力学的な問題を対象とする。連続体における「応力・ひずみ」の概念と定義、「応力とひずみの関係」を基礎として、二次元における応力とひずみの理解を最優先した講義を行う。また、棒状部材の引張り、ねじり、曲げの問題に対して単純化された変形仮定に基づく実用的解法を示す。同時に、応力集中、疲労強度、弾性破損の諸説を概説し、単純な形状の機械要素や構造部材の初等的な強度計算の基礎を与える。講義の他に、演習は少人数に分かれたクラスで実施する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	機械材料学		
科目キー	2604012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	中江　秀雄 浅川　基男	落合　征雄 酒井　潤一	川田　宏之

副題

授業概要　機械材料の基礎を学びつつ、材料を実際の機械部品でどのように駆使し、いかに設計するかを念頭に置いた講義方式をとる。その内容は、材料と機械設計、材料の基本特性、金属材料の基礎、鉄鋼材料、非鉄金属材料、非金属材料（セラミック、高分子、複合材料）、機能材料（構造系、機能系）、機械材料の選び方、など。教科書は「基礎機械材料（培風館）」、参考書は「機械材料学（日本材料学会）」である。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	加工実習F （A班）		
科目キー	2604012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	本村　貢	浅川　基男	川本　広行

副題

授業概要　機械を作るという機械工学の最終目的を実現する方法を学ぶ。2年後期「加工学」で学ぶ理論に先立って、まずこの実習科目で実体験する。実習項目は機械技術者として最低限必要な基礎的なものであり、具体的には、切削加工（旋盤、フライス、NC・マシニングセンタ）、研削加工、塑性加工、溶接、精密計測、ロボット、ラピッドプロトタイピング　などである。実習は各専門の教員の指導の下で技術職員が指導する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	加工実習F （B班）		
科目キー	2604012005		
科目クラスコード	02	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	本村　貢	浅川　基男	川本　広行

副題

授業概要　機械を作るという機械工学の最終目的を実現する方法を学ぶ。2年後期「加工学」で学ぶ理論に先立って、まずこの実習科目で実体験する。実習項目は機械技術者として最低限必要な基礎的なものであり、具体的には、切削加工（旋盤、フライス、NC・マシニングセンタ）、研削加工、塑性加工、溶接、精密計測、ロボット、ラピッドプロトタイピング　などである。実習は各専門の教員の指導の下で技術職員が指導する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	工学系のダイナミクス1		
科目キー	2604012006		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	前期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	河合　素直	吉村　浩明	

副題

授業概要　未記入基幹理工学部1年次の共通科目の“モデリング”に引き続いている。より専門的な系についてのモデリングと共に、その結果、工学的な特性表現の基礎である線形定係数微分方程式で特性が表せる系の解析・設計について取り扱う。機械系のみに限定せず、電気系とのアナロジーなど、広義回路論的にシステムのダイナミクスにアプローチする方法について、演習を交えて、講義する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	機械科学・航空設計法F		
科目キー	2604012007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	富岡　淳 川崎　剛志	西川　進	丹羽　三樹弥

副題

授業概要　基本的な機械要素の性能や構造を理解するとともに、それらが組み合わさって出来た基本的な機械の設計を学習することが目的である。まず、基本的な機械要素であるねじ・軸・キー・転がり軸受・密封装置などの機能、構造、強度、寿命などを学ぶ。また、これらが組み合わさってできる機械において、2面当たり、はめあい、いんろうや、組み立て後の精度確保、製造コストなどを取り上げて、機械を設計するに当たって注意すべき点を学び、機械設計法の基礎を習得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	機械科学・航空製図法F		
科目キー	2604012008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	水	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	富岡　淳 川崎　剛志	西川　進	丹羽　三樹弥

副題

授業概要　機械製図法に関する基本的な技術、規則を習得して、作図力と読図力の能力を高めることが目的である。また、コンピュータを用いた作画技術（CAD）を学習する。まず、図面の基礎である図面の種類、尺度、文字や線の種類を学んだ後、投影法、断面法、図形の省略法、特殊な図形の図示法などの図形の表し方を学ぶ。その後、寸法記入法、表面性状の表し方、寸法公差とはめあい、幾何公差と普通公差を取り扱う。また同時に、CADの基本的な操作法や製図記号の記入の仕方を学び、実際に簡単な図面を描いてその表現方法を体得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	工学系の数理2		
科目キー	2604012009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山本　勝弘	吉村　浩明	

副題

授業概要　微分方程式の工学問題への応用に留意し，微分方程式に共通する性質，基本的な考え方に焦点を当て，解説する．代表的な近似解法（べき級数，折れ線関数列，逐次関数列）を中心に，基礎定理（解の存在・一意性），数値計算法（オイラー法，ルンゲクッタ法），線形系の理論（行列の固有値問題・指数関数）について述べる．1変数から出発して，2変数，多変数へと拡張し，具体例として基礎的かつ拡張性の高い機械振動の基本モデルをとりあげる．1年の必修科目「基礎の数学」，「数学A2,B2」「基礎物理学A,B」，「モデリング」等の知識を前提としている．

授業の到達目標

シラバス

1. 序論
  1.1 微分方程式の役割
  1.2 微分方程式の分類と代表的な問題
2. 微分方程式の解法と解の表示（1変数1階）
 2.1 求積法（初等解法）
 2.2 級数解法
 2.3 図式解法
 2.4 数値計算法
3. 常微分方程式の基本問題（1変数1階）
 3.1 初期値問題の解の一般的な解の構成方法と存在・一意性定理
 3.2 差分法による初期値問題の解
 3,3 定係数線形方程式の解の構成
4.1階連立常微分方程式の基本問題（1変数から多変数へ）
 4.1 ベクトルと行列のノルム
 4.2 解の存在・一意性定理
 4.3 差分法による初期値問題の解法
 4.4行列の指数関数と定係数線形系の形式解
5.定係数線形系の初期値問題
 5.1 システムの状態変化と微分方程式
 5.2 2変数線系システムの解
 5.3 n変数への一般化（exp(tA)の計算方法）
 5.4 変係数線形系微分方程式の解の構造
6. 自律系の平衡点とその安定性解析
 6.1 2変数線形系の平衡点
 6.2 n変数線形系の平衡点
 6.3 線形近似系による自律系平衡点の安定性解析

教科書　特に指定しない．

参考文献　参考書 マイベルク/ファヘンアウア著「工科系の数学 5常微分方程式」サイエンス社．
その他の参考書は授業中随時紹介する．
必要に応じて授業を補足するための資料をこの科目のコースナビに掲載する．

評価方法　授業中に出題する課題のレポートと期末試験により総合的に評価する．

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	流体の力学1		
科目キー	2604012010		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	5時限～6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	太田　有	手塚　亜聖	

副題

授業概要　機械・航空分野における流体力学の導入として、流体の基本的な性質、静止流体の力学およびポテンシャル流れを対象として、流体の運動の記述法、基礎方程式系などを解説する。特に、質量、運動量、エネルギーの保存則とそれらから導出される連続方程式、オイラー方程式およびナビエ・ストークス方程式、ベルヌーイの式についての基礎的理解に焦点を当てる。また、これらの基礎方程式を実際に用いて、実用的な流れ問題に対処する基礎的な能力を養成するために、演習を多用する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	熱力学1		
科目キー	2604012011		
科目クラスコード	01	**単位数**	3
学期名称	後期	**時限名称**	4時限～5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	齋藤　潔	内藤　健	佐藤　哲也

副題

授業概要　熱力学は、各種動力エネルギー機械の開発、材料開発、生命工学などの広範な領域の重要な基礎学問である。また、例えば、動力・エネルギー機械等の理想像と限界をみせてくれる。エネルギー保存法則やエントロピーという概念は、そのことを理解する上で欠くことができないものであり、本講義では、選定した基礎演習をまじえながら、それらをわかりやすく解説する。まず、温度や圧力・内部エネルギーといった基本物理量と状態方程式について学習し、熱力学第一法則について理解した後、エントロピーと熱力学第二法則などについて理解することを目標とする。

授業の到達目標

シラバス
1　熱とエネルギー（熱力学諸量、状態方程式、単位系）
2　熱力学第一法則（閉鎖系、開放系基礎）
3　理想気体
4　熱力学第二法則（カルノーサイクル、不可逆性）
5　エントロピーと自由エネルギー
6　理想気体サイクル（オットー、ディーゼル、ブレイトンなど）
7　定常状態の開放系熱力学
8　気体の準一次元熱流動
9　蒸気・相変化の基礎

教科書　最初の講義で示す

参考文献
1. Celgel & Boles: Thermodynamics, 5th editionMcGrawHill
2. 原島鮮：熱力学・統計力学（培風館）
3. 日本機械学会編「熱力学」

評価方法　期末試験、レポート、出席等を総合的に評価して決定する。（予定）

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	材料の力学2		
科目キー	2604012012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	川田　宏之	浅川　基男	戸田　勧

副題

授業概要　「材料の力学1」で修得した応力・ひずみ概念を基礎として、より難易度の高い問題を対象とする。薄肉開断面の問題、組み合わせ荷重、せん断中心、エネルギー原理、座屈問題を取り扱う。「材料の力学1」と同様に演習時間を設け、演習問題を通して講義内容の理解を深めることを行う。抽象論になりがちな力学の講義に加えて、生産・開発現場でどのように材力的な発想法が生かされ、具体的な計算事例を紹介しながら教授する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	加工学		
科目キー	2604012013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	本村　貢 酒井　潤一	中江　秀雄	川本　広行

副題

授業概要　ものを作るという行為はあらゆる学問・知識・経験を用いて創造的に形状・機能を実体化することである. 本科目は「機械材料学」を受けて, もの作りに関係の深い諸学問(塑性加工, 鋳造, 粉末成形, 溶接, 機械加工, 特殊加工, 生産システムなど)を有機的に学習し,「加工実習F」とも併せて, もの作りの体系を理解することを目的とする.

授業の到達目標

シラバス

1. Orientation(川本)
　切削加工(川本)ー運動の種類, 工具形状, せん断角, 切削力, 切削動力, 切削方程式, 工具寿命, 工具材料の種類 など

2. 研削加工(川本)ー研削加工の基礎(砥石, 特徴, 加工条件 など), 研削加工の実際(加工機, 加工例, 留意点 など), 研削加工理論 (静力学, 動力学, 熱力学)

3. 放電加工(川本)ー放電加工の基礎(原理, 構成, 分類, 特徴 など), 放電加工の実際(加工機, 加工例 など)
　レーザ加工(川本)ーレーザ加工の基礎(原理, 構成, 分類, 特徴など), レーザ加工の実際(加工機, 加工例 など)

4. 塑性加工の基礎(本村)ー加工の歴史論, 加工分類・特徴, 力学的基礎, 強化原理, 永久ひずみ など

5. 塑性加工学 (I)(本村)ー板の加工プロセス, 板厚・形状制御論, 加工機の原理・特性, 新連鋳圧延法 など
6. 塑性加工学 (II)(本村)ー鍛造加工の変形, 鍛造基礎力学, 鋳造加工との比較, 工程設計論　など

7. 塑性加工学 (III)(本村)ー切断加工, プレス加工の変形特性, 弾性回復, 特殊板成形加工法 など

8. 塑性加工学 (VI)(本村)ー押出し加工, 引抜き加工の変形, パイプの加工法, その他代表的な塑性加工など

9. 鋳物 (I)(中江)ー鋳造の歴史と技術的変遷:中国やトルコ, エジプトに始まった鋳造技術が日本でどのように発展し, 奈良の大仏の作製につながったかなどを紹介する.

10. 鋳物 (II)(中江)ー最新の鋳造技術とは, 本来, 型(木型, 金型)などを用いて鋳物を作ってきたが, その後の進展の最新技術までを紹介する.

11. 溶接(中江)ー溶接も、その歴史から始め、原理、エネルギー源などの関連から、最新技術と問題点

12. 腐食防食(酒井)ー人工物は腐食、環境脆化などにより、熱力学的安定状態になる傾向を持つ。その原理、材料組成の影響、表面状況の影響などを紹介する.

13. 加工工程(川本)ー開発プロセス, 製造工程, 加工工程, 加工工程立案の演習
　試験方法の説明(川本)

教科書　なし

参考文献　日本機械学会 編「生産加工の原理」日刊工業新聞社 (1998) ― 参考図書であり, 購入を勧めるが, なくても授業には支障ない.

評価方法　試験

備考

1. 私語は厳禁. 厳守して下さい.
2. 教室内では, 携帯電話の電源は切って下さい. そのほかの基本的なマナーも守ってください.
3. 原則として途中入場, 途中退場を認めません. やむを得ない場合 (病気, 交通遮断など) には, ほかの受講生の迷惑にならないように, 静かに入退場して下さい.
4. 質問は講義の途中でも随時受け付けます. 不明な点は積極的に質問してください.
5. 旧機械工学科の時には, 必修科目にもかかわらず, 毎年多くの学生諸君がFとなりました. 出席して講義に集中すれば容易に理解できる科目です. 必ず出席して聴講してください.

関連URL:　http://www.kawamoto.mech.waseda.ac.jp/kawa/
http:

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	加工学		
科目キー	2604012013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	工学系のダイナミクス2		
科目キー	2604012014		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	河合　素直	吉村　浩明	

副題

授業概要　モータや発電機などの電気機械、燃料電池における化学反応や流体機械におけるエネルギー変換過程、ロボット、情報機器などの工学系は、様々なエネルギーの場が結合したダイナミカルシステムとしてモデル化できる。本講義では、工学系のダイナミクス1で習得した、電気系と機械系のアナロジーや集中定数の線形システムとしての工学系の解析・設計法の基礎理論を発展させ、質点系、剛体および多体系の力学の定式化、電磁場、流体の場、熱伝導の場などエネルギー場の概念と分布定数系の取り扱い、さらには、振動・波動現象を中心に、モード解析などの多変数システム理論、変分法に基づくエネルギー原理など、工学系の解析・設計法について講義する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	制御工学F		
科目キー	2604012015		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	河合　素直	武藤　寛	齋藤　潔

副題

授業概要　工学基礎としての制御工学さらにはシステムの力学的な挙動を学習する第一歩として、「制御理論」としての制御の論理構造（初等的）を学習することを目的とする。制御に関する工学は各個別にとらわれない総合工学であるから、広義回路論の立場からシステムのダイナミックスをも含めて統一的に講義を進める。本講義では、まず1入力、1出力からなる線形なシステムについてラプラス変換、伝達関数にもとづいたシステムの記述方法を学習する。次に、一時遅れ、二次遅れ系を中心にダイナミックスとしての過渡応答、周波数応答についての理解をする。そして、安定性について学習するとともに、最終的にはフィードバック制御系の基本的な特性を習得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	航空材料学		
科目キー	2604022001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	川田　宏之	浅川　基男	増田　千利

副題

授業概要　航空機構造材料は初期には木材、1910年代にアルミニウム合金、1950年代にチタン合金に発展、1970年代には画期的な先端複合材料が登場してきた。これらを踏まえ、航空・宇宙材料への要求条件、変形・破壊、材料選択の指針、アルミニウム合金、マグネシウム合金、チタン合金、耐熱・高強度鋼、樹脂系複合材料、金属系複合材料、力学特性評価試験、非破壊検査を学ぶ。同時に宇宙機の材料および各種先端材料の加工方法も言及する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	電子光システム概論		
科目キー	2605012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大泊　巌	山本　知之	小山　泰正
	川原田　洋	柳澤　政生	山中　由也
	庄子　習一	宇高　勝之	齊藤　良行
	谷井　孝至	後藤　敏	木村　晋二

副題

授業概要　電子光システム分野における技術の実用化と研究開発に関して、歴史、現状の動向および将来展望などを分かりやすく説明し、マテリアル、ナノテクノロジー、光エレクトロニクス、システム設計分野に関する全般的な基礎知識と世界的な流れを修得する。また、将来、学生がそれら学問領域の専門家として活躍するために必須となる基礎学問の体系と高学年に配置されている専門科目との関連についてもガイダンスする。電子光システム学科の全教員が各自の専門分野に基づいて講義を行う。全教員が担当し、各教員が1コマを担当する。

授業の到達目標

シラバス　電子光システム学科の全教員が各自の専門分野に基づいて講義を行う。全教員が担当し、各教員が1コマを担当する（順不同）。最前線の研究事例も取り上げるため、内容が変更される場合がある。

・ユビキタス・アンビエント情報化社会に向けた動画像圧縮LSI（池永 剛）
ビデオデータの蓄積や伝送の効率化に欠かせない技術として、デジタルTVやモバイルなど情報化社会を支える幅広いアプリケーションのコアとして用いられてきている動画像圧縮LSIの技術動向を紹介する。

・ 明日を拓くフォトニクス（宇高 勝之）
現在の高度情報化社会を支える光ファイバネットワーク及びそれを実現する新機能光デバイスなどを理解するために、その基礎となる半導体光物性や量子構造、光機能材料、光機能デバイス、光センサー、光ファイバ通信などの一連の技術を紹介する。

・ナノエレクトロニクスの系譜（大泊 巌）
原子、分子（物質）、デバイス、回路、システムという階層構造を1段上るごとに機能が飛躍的に増加し、遂に生体機能との競合までが視野に入ってきたナノエレクトロニクスの系譜を解説する。

・ナノカーボン・エレクトロニクス（川原田 洋）
エレクトロニクスを未知領域に展開するためのナノカーボンや新素材による超高速・ハイパワー・トランジスタ、高感度ナノ・バイオセンサー、超伝導素子と、これから習う回路理論、電子・量子デバイスの関連を説明します。

・システムLSI設計の最適化と正当性の検証に関する研究（木村 晋二）
システムLSIの設計の最適化と正当性を保証する問題について、電力最適化技術や速度最適化技術、数学的証明に基づく正当性検証手法などの研究事例について述べる。

・マルチメデイア・システムのLSI化の研究（後藤 敏）
インターネットはマルチメデイア処理が可能となり、ますます便利に安全に楽しく使用できる方向に進歩している。この進展は、新サービスの創出というソフトウエアと技術の基幹を支えるハードウエア（LSI）で可能となった。ハードウエア面から研究の状況を紹介する。

・固体の中の自然とその不思議（小山 泰正）
固体の中の自然にも、5回軸や黄金比によって特徴付けられる準結晶状態等の、様々な調和を持った状態が存在します。本講義では、透過型電子顕微鏡によりこれら状態を直接観察した例について紹介します。

・発展方程式による界面ダイナミックスの研究（齊藤 良行）
相転移による秩序相の形成や非平衡系の界面ダイナミックスを記述する手段として発展方程式があるがその特徴と数値計算法に関してその概要を紹介する。

・MEMS/ナノテクノロジーの化学・バイオへの応用（庄子 習一）
半導体集積回路で培われた微細加工技術を応用したMEMS（Micro ElectroMechanical Systems）やナノテクノロジーが、化学やバイオテクノロジーの分野の装置や機器の小型化に応用されている。これらの技術の導入によりこれまで不可能であった観察や分析が可能となるなど、新たな融合領域ナノバイオフージョンシステム（大学院講義科目）が実現されている。講義では、電子回路や計測工学などの学部科目と上記分野のつながりを意識して最近の研究動向を解説する。

・電子光システムの具体例（谷井 孝至）
電子光システム学科のカリキュラムにおいてこれから学ぶことが、どのようにシムテムの中に組み込まれ、応用されているのかを、システムの具体例をいくつか挙げながら概説する。今後の学習計画を各履修生が自分で判断できる助けともなる。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	電子光システム概論		
科目キー	2605012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上

・大学での勉強の心得、ならびに、システム設計系専門科目（柳澤 政生）
高校と大学での勉強の違い、世界の教育制度の類似点を説明するとともに、電子光システム学科におけるシステム設計系専門科目の流れを説明し、次世代情報通信システム関連の研究を紹介する。

・現代物理学 – 量子力学を中心に（山中 由也）
電子光システム学科で取り組む物理分野について概観する。特に微視的世界で破綻した古典力学の取って代わった量子力学を解説する。多粒子系を統計物理学や身に付けるべき物理数学にも触れる。

・量子力学を用いた固体の諸物性解析（山本 知之）
量子力学に基づいて固体の諸物性を解析する方法について講義する。主に、シンクロトロン放射光を用いた極微量元素の局所環境解析について紹介する。

・計算科学的手法による半導体ナノプロセスの解明（渡邉 孝信）
原子・分子の視点に立った材料シミュレーション手法を概説するとともに、それらが半導体微細加工プロセスの微視的理解に応用されている事例を紹介する。

教科書　特になし。

参考文献　授業中必要に応じて紹介する。

評価方法　出席とレポート課題で評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	解析力学		
科目キー	2605012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山本　知之		

副題

授業概要　物質科学において、微視的世界（原子、分子、電子）の物理的見方というのは大変重要である。微視的世界を対象とするとき、量子物理学と統計物理学という理論が基礎となるが、この二つの分野を勉強する前の準備が必要である。本講義では、この二分野に必須の解析力学を主に扱う。あまり深入りはしないが、ラグランジアン、ハミルトニアン、正準変数、相空間といった概念を正しく理解することを目的とする。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　定期試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	電磁気学		
科目キー	2605012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	宇高　勝之		

副題

授業概要　ここでは主に静電磁気学及び電流について学ぶ。まず電磁気学を理解する上で不可欠なツールであるベクトル解析について学ぶ。そして静止電荷の作る電界、電位といった力線で表される場の概念を理解し、静電界の現象について学ぶ。静電界エネルギーなどについて学ぶ。さらに静磁界についても踏み込む。次に、移動する電荷である定常電流に関わる現象について、定常電流の作る磁界について理解し、そして電流間に働く力の源であるローレンツ力などについて学ぶ。これらは、次に学ぶ光電磁波工学の基礎となる事項である。

授業の到達目標

シラバス

1. 電磁気学のあらましと講義の目的(0.5)
2. ベクトル解析(2.5)
　和・積(内積、外積、スカラー三重積)、微分(勾配、発散、回転、ベクトル公式、2階微分)、積分(線積分、面積分、体積積分)、ガウスの定理、ストークスの定理、グリーンの定理、直交座標(直角、円柱、極)
3. 静電界(2)
　電荷、電界、電位(スカラーポテンシャル、電荷保存の法則、クーロンの法則、電気力線、ガウスの法則、位置エネルギー、電気双極子)
4. 導体と誘電体(2)
　導体と電界(静電誘導)、コンデンサー(静電容量、電界のエネルギー)、誘電体(誘電率、電束密度)
5. 静磁界(2)
　クーロンの法則(磁荷、電気と磁気、磁界)、磁石(磁気双極子)、磁束(磁性体、磁束密度)
6. 電流(3)
　オームの法則、定常電流、キルヒホッフの法則、電力、電荷の移動、アンペールの法則、ビオ・サバールの法則、ローレンツ力

教科書　「電磁気学」後藤尚久著(コロナ社)

参考文献　「ファインマン物理学Ⅲ、電磁気学」(岩波書店)ほか

評価方法　定期試験、レポート、出席などを総合的に勘案する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	回路理論A		
科目キー	2605012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	2時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	川原田　洋		

副題

授業概要　高校や大学の初年度で学んだ数学と物理の知識をもとに直流回路の理論から入り、インダクタ、キャパシタを含む回路の微分方程式、交流理論、二端子対回路などについて解説する。理工学の基礎である常微分方程式に慣れ親しみ、この理論の上に立って電気回路の交流理論の基礎を学ぶことを目的とする。その範囲は非同次項をもつ2階の常微分方程式までとするが、交流理論を形式的に捉えるのではなく、基本概念を学ばせることに重点をおく。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	情報理論		
科目キー	2605012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	柳澤　政生	前原　文明	

副題

授業概要　まず、情報理論の基礎となる確率と統計に関する知識を習得すべく、標本空間と事象、条件付確率とベイズの定理、確率変数と確率分布、推定量と推定値、最尤推定量、EMアルゴリズム、仮説検定、帰無仮説と対立仮説、二種類の過誤、独立性の検定について学ぶ。その後、情報理論と符号理論について基礎から解説する。具体的には、情報量とエントロピー、相互情報量、情報源符号化と定理、瞬時符号とその特徴づけ、通信路符号化定理、マルコフ情報源のエントロピーなどについて論じる。応用として、情報伝送のみならず、バイオインフォマティクスなどの分野と絡めながら説明する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　小テスト、出席、期末試験

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 **(2010年度以前)**	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	電子光システム演習Ａ		
科目キー	2605012006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	４時限～５時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	山本　知之 清家　綾	橘　孝博 鈴木　勝博	史　又華

副題

授業概要　電子光システムの基礎となる2年次前期必修講義科目（回路理論A，電磁気学，情報理論，解析力学）の理解を深めるために必要な演習を行う。2クラスに分割して、各クラス1名ずつの教員が担当する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　教場試験・レポート

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	量子力学A		
科目キー	2605012007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山中　由也		

副題

授業概要　量子力学は微視的世界力学法則であり、現代物理学、化学及びそれらの応用分野において基礎となる学問である。解析力学の基礎知識を前提に、量子力学の入門講義を行う。粒子と波の二重性、波動関数（状態）、演算子、交換関係、観測といった概念を導入し、主にシュレーディンガー方程式の立場で解説する。一次元定常系の自由運動、束縛問題、トンネリング問題を具体的に解き、量子力学の特質を明らかにする。応用上極めて重要な調和振動運動については詳細に取り上げる。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	光電磁波工学		
科目キー	2605012008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	宇高　勝之		

副題

授業概要　電磁気学を受けて、電磁波に至る事項を理解する。まず定常電流と磁場との相互運動により発生する電磁誘導についてまず学ぶ。ここで相互及び自己誘導について学び、磁気エネルギーについて触れる。次に動く電界と磁界の相互作用である電磁場を記述したマクスウェルの方程式の意味、そして電磁波の伝搬の仕組みについて理解する。ここで、電磁波が運ぶエネルギーと電磁波の偏りである偏波について理解する。次に媒質中の電磁波の伝搬ならびに媒質の境界を有する空間での電磁波の振る舞いについて学び、光を取り上げて現象の理解を深める。伝送路の基礎についても触れる。
講義内容は「電磁気学」の履修を前提とする。

授業の到達目標

シラバス
1. 本講義の背景と目的(0.5)
2. 電磁誘導(2.5)
　ファラデー法則(ファラデーの実験、ファラデー管、マクスウェルの応力)自己誘導・相互誘導(インダクタンス)、磁気エネルギー
3. 電磁波(3)
　マクスウェルの方程式(変位電流)、電磁波の伝搬、波動方程式、無損失・等方媒質中の伝搬(平面波、球面波)、ポインティングの定理、偏波
4. 物質中の電磁波の伝搬(3)
　媒質中の波動方程式、境界条件、平面波の反射と屈折、偏波、多層構造の反射と透過、完全導体への入射、異種媒質間に働く力
5. 伝送路における電磁波の伝搬(2)
　分布定数線路(電圧・電流の行列表示)、インピーダンス、反射係数、電圧定在波比、スミスチャート、導波管、同軸線路、共振器
6. 電磁波の放射と受信(2)
　アンテナの種類、放射の基本式、ダイポールアンテナ、指向性、アンテナの受信特性

教科書　「電磁気学」後藤尚久著(コロナ社)・・・前期「電磁気学」で使用
「光・電磁波工学」鹿子嶋憲一著(コロナ社)

参考文献　「ファインマン物理学Ⅲ、電磁気学」(岩波書店)ほか

評価方法　定期試験、レポート、出席状況などを総合的に勘案する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	回路理論B		
科目キー	2605012009		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大附　辰夫		

副題

授業概要　前期の「回路理論A」に引き続き、線形回路に起電力が印加されたときに応答が定常状態に達するまでの過程を解析する「過渡現象解析」について学ぶ。解析手法はラプラス変換に基づく演算子法を前提とするが、基本的公式の厳密な証明は省略して、回路の解析におけるそれらの使い方に重点を置く。RLC回路の基本過渡現象、伝達関数に基づく過渡現象解析、回路のパルス応答、一般線形回路網の過渡解析、過渡現象の定常的解析、分布定数回路の過渡現象などを習得する。

授業の到達目標

シラバス

第1章　回路の定常状態と過渡現象
1.1 直流電源の印加と除去
1.2 時定数
1.3 正弦波交流を印加した場合の定常解と過渡解

第2章　ラプラス変換と過渡現象解析
2.1 ラプラス変換の定義
2.2 ラプラス変換の基本的性質
2.3 インパルス関数
2.4 微分演算子
2.5 演算子代数
2.6 CとLの初期条件
2.7 初期値と最終値

第3章　基本的なt関数の演算子表現
3.1 指数関数
3.2 三角関数
3.3 指数関数と三角関数との積
3.4 部分分数展開

第4章　RLC回路の基本過渡現象
4.1 RC回路とRL回路
4.2 二次RLC回路
4.3 回路のパルス応答

第5章　分布定数回路
5.1 基礎方程式
5.2 特性インピーダンスと伝搬定数
5.3 無ひずみ（無損失）線路
5.4 RC線路

教科書　大附辰夫，「過渡回路解析」，電気学会，オーム社

参考文献

評価方法　主として、期末の定期試験に基づく。レポートおよび出席状況も参考にする。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	情報数学		
科目キー	2605012010		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	その他
曜日名称	無	**配当年次名称**	２年以上
担当教員	柳澤　政生		

副題

授業概要　コンピュータ・サイエンスの基礎となる計算論、広い意味でのアルゴリズムの理論について学ぶ。具体的には、正しいアルゴリズム、計算機モデル、チューリング機械、計算複雑度の理論、時間複雑度と空間複雑度、クラスNP完全とその証明、計算可能性などである。また、効率の良いアルゴリズムとデータ構造についても学習する。深い理論や詳細な証明を追求するのではなく、実際に工学者にとって、すぐに役に立つ知識と技術を習得する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　出席、小テスト、レポート、期末試験

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	ディジタル回路		
科目キー	2605012011		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	1時限～2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	後藤　敏		

副題

授業概要　デ?ジタル回路は現在使われているほぼすべての電子機器に組み込まれており、情報・電子・電気を専攻する学生にとっては基礎知識として身につけておかなければならないものである。トランジスタが発明されてから50年が経過したが、IC,LSI,超LSIと急速な技術進歩をもたらしたのは、電子回路がデジタル化され、より大規模な回路がチップ上に搭載されたことに他ならない。なぜコンピュータで計算できるのか、なぜネットワークを通してデータを送信できるのか、これらの基本原理を習得するためには、デジタル回路の知識を十分に習得する必要がある。
本講義では、デジタル回路の基本原理から組み合わせ回路、順序回路、メモリー、同期回路、非同期回路、複雑なデジタル回路を講義する。
英語の教科書を用い、講義は日本語で行う。

授業の到達目標

シラバス
（1）デジタルシステムとは
（2）ブール代数と論理演算
（3）ゲートレベル回路
（4）組み合わせ回路
（5）順序回路
（6）レジスターとカウンター
（7）メモリ回路
（8）レジスタートランスファレベル設計
（9）非同期回路
（10）デジタル集積回路
（11）デジタル回路応用

教科書　Degital Design by M.Morris Mano, published by Prentice Hall

参考文献

評価方法　試験

備考　英語の教科書を使用する。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	電子光システム演習B		
科目キー	2605012012		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	4時限～5時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	橘　孝博 中尾　正史	柳澤　政生	山本　欧

副題

授業概要　電子光システムの専門講義科目の理解を深めるために必要な演習を行う。量子力学A、光電磁波工学、回路理論B、情報数学、ディジタル回路などの専門科目から課題を出題し、この解答ならびに考察結果をレポートにまとめて報告する。また、コンピュータおよび情報処理に関する演習を行う。2クラスに分け、2名の教員が各々全30コマを担当する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法　教場試験, レポート

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	電子光システム実験A		
科目キー	2605012013		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限～4時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大泊　巌	山本　知之	小山　泰正
	川原田　洋	柳澤　政生	山中　由也
	庄子　習一	宇高　勝之	齊藤　良行
	松本　充司	谷井　孝至	渡邉　孝信

副題

授業概要　原子・分子からシステムまでエレクトロニクス・フォトニクス分野のデバイスとその機能集積とネットワーク統合によるシステム化までを網羅する電子光システム学科の教育理念にもとづいて、材料物性、電子・光デバイス、集積回路、システムオンチップ、コンピュータ等の基礎となる知識を実験により習得することを目的とする。電子光システム実験Aでは、「計測器実習」、「マイクロコンピュータ」、「LCR回路」、「デジタル回路」の4項目について実験し、それを通して電子光システム専門分野の基本的な実験方法を習熟する。

授業の到達目標

シラバス　「計測器実習」
　電子光システム実験を実施する上で必要な基本的な能力を身につけるため、電子部品の名称、回路図の見かた、計測機器の使い方について実際に自分たちで回路を組み、測定器を使いながら、その使い方を学ぶことを目的とする。あわせて「計測器演習」として、指定された課題の回路を各自で作成し、その動作結果について専用のノートにまとめる。

「ディジタル回路」

論理ゲートICを組み合わせた回路を試作ボード上で試作することを通して、
ディジタル回路を理解する。基本的な論理ゲートの動作をまず理解する。
次に、これらが複合的に組み合わされてできるエンコーダ／デコーダ、
フリップフロップ、マルチプレクサ／デマルチプレクサなどの動作を確認する。
さらにトランジスタを組み合わせて基本的な論理回路を試作する。
これらの試作と動作確認を通して、ディジタル回路の動作を理解する。

「マイクロコンピュータ」

教育用8ビット・マイクロプロセッサ(KUE-CHIP2)を用いて、アセンブラ言語によるプログラミング実習を行う。マイクロプロセッサ・ボードの操作方法とシステム概略を理解した後、ボード間通信等のプログラミングを行うことにより、命令の取り出し、解読、実行の基本サイクルを理解し、計算機のソフト、ハード両面の理解を深める。試問により評価を行う。

「LCR回路」

抵抗は電流と電圧との間の線形な関係を表現する。一方、キャパシタは電圧の微分が電流となる関係、逆にインダクタは電流の微分が電圧となる関係を表し、互いに双対の関係となっている。このようにキャパシタとインダクタは微分演算子あるいは積分演算子として作用するというのが交流理論である。その機能を共振現象、フィルタ、微分回路、積分回路という実際の回路から理解してもらうのが本実験の主旨である。

教科書

参考文献

評価方法　それぞれの項目で指定された諮問・実験レポートの内容により評価する。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	オルタナティブ・メディア制作		
科目キー	2606012001		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	4時限～5時限
曜日名称	火	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	長　幾朗 角井　英司	高橋　恭子	村上　輝生

副題　ドキュメンタリーを創る

授業概要　本講座では、メディアが提示する「現実」と私たちのものの見方との関係を意識化し、マスメディアから抜け落ちている視点（オルタナティブな視点）からコミュニケーションを作り出す力を身につけることを目標とする。具体的には、映像文法の基礎、企画、構成、取材、撮影、配信という映像制作の一連の過程を学ぶ。
今年度は大久保キャンパス周辺からテーマを発見し、短いドキュメンタリーを制作することを考えている。

授業の到達目標

シラバス
〇企画の発想
〇調べて、観察する （予備取材）
〇予備取材から企画書を作成
〇企画書のプレゼンテーション
〇構成を考える
〇アポどり、ロケハン
〇スケジューリング
〇取材対象者との関係
〇撮影
〇音声・照明ワークショップ
〇中間発表（撮影クリニック）
〇中間発表（構成クリニック）
〇あら編発表
〇最終発表

教科書　随時コピーして配布する。

参考文献　スティーブン・キャッツ「映画監督術 Shot by Shot」（フィルムアート 1996）

評価方法　出席、授業の参加状況、プレゼンテーション、課題作品の結果を加味して行う。

備考　授業時間外に撮影・取材・編集などの作業をすることもある。

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータグラフィックス基礎		
科目キー	2606012002		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	前期	**時限名称**	5時限～6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	長　幾朗　　大谷　淳　　盛川　浩志		

副題

授業概要　大谷担当部分では、コンピュータグラフィックスの基礎的な技術の理論について学ぶとともに、Cなどの計算機言語を用いたプログラミング方法を身につける。

授業の到達目標

シラバス　大谷　淳担当分

以下に示すような、コンピュータグラフィックスにおける基礎的な技術を扱う。各回とも、講義形式で理論を学んだ後、プログラミング実習により、コンピュータグラフィックス技術のコンピュータ上での実現方法の基礎を身につける。

1回目：座標変換、ポリゴンモデル
2回目：光学的モデルとシェーディング
3回目：レイトレーシング、自由形状表現
4回目：マッピング、ボリュームレンダリング、アニメーション

教科書　小笠原祐治著「C++による簡単実習　3次元CG入門」森北出版株式会社ISBN4-627-84142-6

参考文献

評価方法　・各回の授業後出すプログラミングについての宿題（10%）
・授業で学習した技術を駆使したCG作品制作課題（20%）
・試験（70%）

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	コンピュータ・アート基礎		
科目キー	2606012003		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	6時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	小畑　正好		

副題

授業概要　コンピュータによるビジュアル表現は、ファインアートに比べると、歴史的には始まって間もないに等しい。しかし、表現の手法としては様々な形態があり、今日の芸術表現の拡大に大きく貢献している。
この授業では、コンピュータによるアートの歴史を考察し、表現手法の解説をすることによって、コンピュータの基礎を学ばせる事を目的とする。

授業の到達目標

シラバス　2008年度履修可能な生徒
本授業のオリエンテーションに参加してアンケートに記入し提出した生徒で、他の授業と授業時間が重複しない生徒は全員履修できます。

本授業は画像処理の実習を行います。
教室は63号館　3階　PC端末室Dルームです。（2008年4月18日記）

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	文章表現基礎		
科目キー	2606012004		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	5時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　泰完	井上　明久	市川　真人

副題

授業概要　あらゆる表現の基礎となる言語による表現をさまざまな角度から学ぶ。簡潔で論理的つまり明快な文章を書くことが基本になるが、状況に応じ、目的に応じたメッセージを説得力のある文章にするためには工夫や創意つまり表現力が必要になってくる。論理的であることと美的であることとはあい矛盾しない。キーワード、起承転結等文章作成上たえず必要になってくる様々な基本項目を踏まえつつも、表現したい事柄をどのように明確でしかもイメージ豊かな文章にするか、ということなど自ら読み書くという作業を通じて学んで行く。

授業の到達目標

シラバス

山田
読むことが当たり前でなくなったこの時代に，読まずに書くことが可能かどうか考える。真似びから学びが成ったことの意味を考える。表現力とは？を考える。
講義概要には「簡潔で明快な文章を書くことが基本になる」とあるが，これは読み手に記述内容の明確なメッセージを伝えたい場合のことである。論文やレポートを書くときがそうだ。しかし現実には不明瞭で長々とした文章が適することもある。文章の内容よりは雰囲気のみを伝えたい場合がそれにあたる。しかもこれが伝えたいメッセージであることに変わりはない。
こんなことも考慮しながら文章を書くということの回りを巡ることになる。そして書くことになる。

市川
古代ローマの昔から「修辞学」なるものが今日に至るまであるのだから、その全貌は生涯かけても追うこと叶わず、また大学での机上ではなく各個人の言語習熟期から今日までの蓄積の結果として個々の言語能力がある以上、短い期間の少ない回数で可能なことは、それぞれの言語体験にわずかずつでも密度ある経験の回数を加えることだけだ。市川の担当する四回では、そこまでに行われた講義と、これ以後に行われる実践作業を繋ぐべく、すでにある文章を読み、書き換える経験を重ねてもらうこととなる。テキストとなる文章いくつかは教場で配布するが、それは作品の部分でしかないのだから、事後、それぞれの文章の含まれた作品や書籍を各自が読み通すことが望まれることは、いうまでもない。個々の回の内容については、初回講義時に予定を説明する。

井上
1回目：テーマを出題し，90分の授業内で，400字の原稿用紙2枚＝800字を書き上げる。
2回目：前回書き上げた文章を授業内で読み上げ，それについて短い講評をし，書くことの要点を指摘する。
3回目：新たなテーマを出題し，授業内で800字を書き上げる。
4回目：前回書き上げた文章を読み上げ，講評する。

教科書　プリントを配付する。

参考文献　その都度指示する。

評価方法　提出物とテストの結果を勘案する

備考　【担当教員連絡先等】山田泰完(taik@waseda.jp)　研究室:51号館504A

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	音・音楽表現		
科目キー	2606012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	4時限～5時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山崎　芳男	菅野　由弘	及川　靖広

副題

授業概要　音の基本的性質を学んだ後、工学的「音」と芸術的「音楽」の両面から、さまざまな事象を考えて行きます。

菅野が担当する4回は、「音楽」を中心に進めます。なお、音を扱う性質上、私語は厳禁いたします。また、遅刻も認めません。

授業の到達目標

シラバス　原則として3人の教員が4回連続で講義を行なう。

9月29日（及川）：音とは、振動の数学的表現
音は空気の粗密が伝わる縦波です。この音の物理的性質の基礎について学びます。
また、振動の数学的記述について学びます。運動方程式、振動の方程式など。
――――――――――
10月6日（及川）：音の数学的表現
音の数学的記述について学びます。波動方程式など。
――――――――――
10月20日（及川）：音場の記述
発音された音は空間に伝わっていきます。音の空間での振舞いを記述する方法（音場の記述）について学びます。
――――――――――
10月27日(菅野)：映像と音楽
「ラッシュと完成」
NHK大河ドラマ「炎立つ」、金曜時代劇「新・半七捕物帖」、月曜ドラマシリーズ「蜜蜂の休暇」など、菅野が音楽を担当した番組の、ポスト・プロダクションの過程を、ラッシュと完成画像を見ながら説明します。
また、音楽録音の現場(スタジオ風景)を、VTRを見ながら紹介し、説明します。
そして、テーマ音楽に関して、菅野が音楽を担当したNHKスペシャル「フィレンツェ・ルネサンス」のテーマ音楽決定プロセスを、デモテープを聴きながら解説。その他にも、さまざまなテーマ音楽を紹介します。
――――――――――
11月10日(菅野)：コンピュータ音楽
コンピュータ音楽がどのように作られるかを、実際にコンピュータを持ち込んで説明します。また、様々なコンピュータ音楽作品を聞き、現在の動向を探ります。
――――――――――
11月17日(菅野):環境音楽
ブライアン・イーノから始まった環境音楽を考えるとともに、菅野が作曲したサッポロビール北海道工場の環境音楽なども聞き、環境と音楽の関係を考えて行きます。
――――――――――
12月1日(菅野):感じるためのEtude「水」
音楽は感性で捉えるものです。音楽を「分かる、解る、判る」から「感じる」へ、価値観の転換を試みます。
――――――――――
12月8日（山崎）：発音
音声合成、スピーカ等の発音の仕組みについて学びます。
――――――――――
12月15日（山崎）：録音、場の記録
マイクロホンの仕組み、高速1bit録音機、それらを用いた場の記録について紹介します。
――――――――――
12月22日（山崎）：音場測定
残響時間等の音場の評価指標、音響測定の基礎から学び、これまで我々が測定してきた音響測定結果を紹介します。
――――――――――
1月19日（山崎）：音場の空間情報の把握
近接4点法を用いた音場の空間情報の把握、近年可能となってきたレーザドップラ振動計を用いた音場の可視化について述べます。

教科書

参考文献

評価方法　菅野の担当部分は、レポート提出といたします。提出方法などは、授業の中で発表します。

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	音・音楽表現		
科目キー	2606012005		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	４時限～５時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	２年以上

及川の担当部分は、出席、演習課題、試験により評価する予定です。

備考

関連URL:

成績評価方法	**試験**	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法（2010年度以前）	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	人工知能の基礎		
科目キー	2606012006		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	2時限
曜日名称	金	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	寺島　信義		

副題　サイバースペースにおけるアバターやエージェントと人間のコミュニケーション・インターフェースの高度化や知能エージェントの構築に役立つ人工知能

授業概要　人工知能はサイバースペース上で動作するエージェントをヒューマン・フレンドリーにしたり、コミュニケーション・インターフェースを高度化するために必要な技術であり、応用範囲が広い。そこでこの科目では人工知能の基礎概念について必要な事項を講ずる。
具体的には、人工知能とは、人工知能の専門分野、知識表現、記号論理、述語論理、Prologプログラミング、人工現実の原理やヒューマン・インターフェース、人工知能エージェントを取り上げ、理論と適用について講ずる。この科目を履修する事で、アバターやエージェントとわれわれ人間とのコミュニケーション・インターフェースの研究や知能エージェントの研究などに役立てることが出来る。
それぞれの基礎を講じた後、理解を助けるために適宜演習を実施する。

授業の到達目標

シラバス
0-12-68531.人工知能とは
2．人工知能の専門分野
3．知識表現と問題解決（1）
4．知識表現と問題解決（2）
5．記号論理（1）
6．記号論理（2）
7．述語論理（1）
8．述語論理（2）
9．Prologプログラミング（1）
10．Prologプログラミング（2）
11．人工現実（VR)の原理
12．VRを利用したヒューマン・マシーン・インターフェース
13・知能エージェント
14・サイバースペース表現と人工知能の関連

教科書　寺島信義：人工知能とハイパーリアリテイ，電気通信協会，ISBN4-88549-010-3

参考文献　Nobuyoshi Terashima:Artificial Intelligence Concept and Theory,DTP Publishing, ISBN4-901809-11-3C3055
Nobuyoshi Terashima:Intelligent Communication Systems,Academic Press
ISBN0-12-685351-7
John Tiffin and Nobuyoshi Terashima(eds):HyperReality-Paradigm for the Third Millennium,Routledge,ISBN0-415-26104-X

評価方法　教場試験　2回(中間，期末)60%と適宜の演習　30%
出席　10%
出席態度も見ます。授業にどれだけ積極的に参加しているかも評価の対象になります。
出席が3分の2に満たない場合には不合格となるので注意のこと。

備考

関連URL:　http://www.waseda.jp/sem-wasedateral/

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	芸術工学基礎		
科目キー	2606012007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	内田　種臣	長　幾朗	及川　靖広

副題

授業概要　文化活動としての芸術と科学技術の関連を理解することを目的とする。生物学、物理科学、数理科学、テレコミュニケーション、インタラクティブメディア、人工知能、視覚化技術などに関わるこれまでの芸術作品を概観し、それらの様々な視点からの理論とリサーチ方法を再検討する。この分野に関わる組織、リサーチセンター、ミュージーアム、資料などの世界の状況も紹介する。また、科学技術の将来の研究プロジェクト、課題、計画を考慮した芸術作品を創造するのに不可欠な工学的な装置の基礎を理解することも予定している。

授業の到達目標

シラバス　原則として3人の教員が4回連続で、講義を行なう。
内田担当
4月14日(月)、21日、28日、5月12日
・表現とは？記号論的考えから
・現代芸術の流れ(モダニズムからポストモダニズムへ)
・多様な視点の表現

長担当
5月19日、26日、6月2日、9日
芸術表現とは、心象や情緒の在り方、あるいは社会的事象や人的関係等をひと つの情報の体系や構造とする事、あるいは記号化する事でもある。つまりは、 インスピレーションや内的情動の根拠や動機を問う事、どのような契機による かを読み解く事、これらの情報の脈絡を探る事が芸術のひとつの方法論でもあ る。歴史においては、その表現形態は視覚的表現や文学、音楽、舞踊等として 形成されてきた。このような情報の様々な表現形態と人の感覚機能との関連 を、近代から今日までひとつの技術として構成され、これらを芸術工学とも称 している。このような芸術表現の歴史、そして芸術工学の変遷について、そし て現代の芸術表現の状況を事例を基に考察する。

及川担当
6月16日、23日、30日、7月7日
・科学・工学
科学とは？工学とは？

・芸術を支える技術
インタラクティブアートなど工学的技術を導入した芸術作品が数多く発表されている。それらを支える技術を紹介する。センシング技術、ディスプレイ技術など。

・フィジカルコンピューティング
マウス、キーボードからの入力、画面への出力以外にも我々が生活している環境にそったユーザインターフェースが考えられる。それらにより生活空間の様々な情報をコンピュータに伝え、多様な方式でコンピュータから情報を得ることができる。さらに、それらを芸術作品に生かすことが可能である。このようなフィジカルコンピューティングと呼ばれる分野の技術を紹介する。

・音とフィジカルコンピューティング
我々は五感の一つである聴覚により音を感じている。その仕組みと感じ方について紹介し、音響分野におけるフィジカルコンピューティングについて考察する。

教科書

参考文献

評価方法　3回のレポート提出による。

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	芸術工学基礎		
科目キー	2606012007		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	前期	**時限名称**	4時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

評価方法
(2010年度以前)

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	画像処理基礎1		
科目キー	2606012008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	大谷　淳		

副題

授業概要　画像処理は、計算機に人間と同等以上の視覚機能をもたせようとする技術の総称であり、カメラなどで撮像されたディジタル画像を計算機上で動作するプログラムにより処理するのが基本的な形態である。本講義では、画像処理の基本的技術をまず講述した後、実際に画像処理のプログラミングを実習形式で行い、理解を深める。適宜、宿題の提出を求める。

授業の到達目標

シラバス　1.概要説明

・授業の概要
・画像処理の概要
・プログラミング操作の説明

2. 画像の変換と画質改善

・平滑化による粒状雑音除去
　移動平均法、メディアンフィルター、選択的局所平均化
・コントラスト強調
　濃度変換、ヒストグラム平坦化
・鮮鋭化
　unsharp masking(Laplacianを用いる)

3. 2値画像処理

・2値化
　閾値処理、背景差分
・連結性と距離、連結成分の定義
・ラベリング
・収縮と膨張
・距離変換と骨格
・細線化
・輪郭追跡
・2値化の閾値決定法
　判別分析法など

4. 画像の特徴抽出

・エッジ抽出
　1次微分、勾配と方向を出力するエッジ検出法、
　Roberts, Prewitt, Sobel のオペレーター、Laplacian(とゼロ交差検出)
・線の検出
　直線のあてはめ、ハフ変換による直線検出
・領域分割
・図形(連結成分など)の形状特徴

5. パターン認識

・パターン認識の基本
・最近傍決定則
・ベイズ決定則

6. 3次元画像処理

・ステレオ画像処理
・レーザレンジスキャナー

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	画像処理基礎1		
科目キー	2606012008		
科目クラスコード	01	**単位数**	2
学期名称	後期	**時限名称**	3時限
曜日名称	月	**配当年次名称**	2年以上

7.　色彩画像処理

8.　動画像処理

・オプティカルフローの検出
・簡単な動物体の追跡

教科書　無し。
授業時等にコースノートを配布する。

参考文献　・田村秀行，“コンピュータ画像処理”，　オーム社、ISBN4-274-13264-1

・奈良先端科学技術大学院大学　OpenCVプログラミングブック制作チーム，“OpenCV プログラミングブック”，毎日コミュニケーションズ，ISBN978-4-8399-2354-9

評価方法　100点満点の内訳は以下の通りである。

定期試験：50点
中間試験：25点
宿題：15点
出席：10点

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	立体映像表現		
科目キー	2606012009		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	後期	**時限名称**	5時限～6時限
曜日名称	木	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	河合　隆史		

副題

授業概要　次世代のメディアとして期待される立体映像を対象とし、それらを活用したコンテンツの制作に関わる講義と実習を通して、新たな視覚表現への知識や技術を習得する。具体的には、奥行き知覚にかかわる立体情報や立体視の仕組み、グラス式や裸眼式など各種立体ディスプレイの原理、立体映像の撮影方法と特有現象、ノンリニア編集と視差量の調整、シアターやホームユースでの公開方法について解説する。さらに、3Dカメラや専用ソフトウェアを用いたコンテンツ制作実習を行う。

授業の到達目標

シラバス
1. ガイダンス：講義の概要、視覚系の立体情報
2. 国内外の関連動向：3Dシネマの最前線
3. 立体ディスプレイ：各種立体ディスプレイの原理
4. 2D/3D 変換技術I：2D3D変換による立体感の確認
5-7. 2D/3D 変換技術???：各自が選んだ2D 素材の3D 変換
8. ステレオ写真撮影I：ステレオ撮影の原理
9-11. ステレオ写真撮影???：ステレオ静止画撮影の実習
12. ステレオ動画編集I：ステレオ動画編集の原理
13-14. ステレオ動画編集??：ステレオ動画編集の実習

教科書　河合 隆史, 田中 見和：次世代メディアクリエータ入門1 立体映像表現（カットシステム）

参考文献

評価方法　実習の内容に沿った課題および小レポートを呈示し、講義内での提出を求める。それらと講義への参加状況などから総合的に評価を行う。

備考

関連URL:　http://www.creatorslounge.com/seminar/003.html

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	

配当年度	2008　年度		
科目名付クラス名	キャリアデザイン1		
科目キー	2606012010		
科目クラスコード	01	**単位数**	4
学期名称	通年	**時限名称**	1時限
曜日名称	土	**配当年次名称**	2年以上
担当教員	山田　泰完	内田　種臣	河合　隆史
	長　幾朗	大谷　淳	山崎　芳男
	菅野　由弘	寺島　信義	及川　靖広

副題

授業概要　学生の個性、進路希望、進度を見極め、個々の将来設計のための指導をゼミ形式で行う。それぞれの特性に応じて、必要な授業の取り方をはじめ、習得すべき知識と技術との関連を考えながら具体的に指導してゆくと共に、3年次以降の「プロジェクト学習」、「卒業論文、制作」に向けての準備、それらを進める上で生じる様々な問題へ対処法など、縦割りの「各論」を網目状につなげることを目的としている。

クラス分け等は、後日発表する。

授業の到達目標

シラバス

教科書

参考文献

評価方法

備考

関連URL:

成績評価方法	試験	%
	レポート	%
	平常点評価	%
	その他	%
	評価方法 (2010年度以前)	